

デ自分ノ部下ヲ率ヒテレコトニ對シテハ  
大イニ敬服シテ居リマス、ドウカサウ云フ風  
ニ大イニ部下ノ諸君ガ大臣ノ指導ニ對シテ  
感謝ヲシテ外務省ノ成績ヲ譽メルコトガ出  
來マスヤウニ希望シテ置キマス

モウ一ツノ點ハ是デアリマス、ソレハ我  
國ノ海外ニアリマス外交官憲法ニ選ツ  
テ居ルコト云フコト、非常ニ更迭ノ度ガ頻  
頻ト致シテ居リマスコトハ洵ニ外交刷新ニ  
不便デハナイカ、斯ウ思フテ居リマス、此  
ノ點ハ私ガ中上ゲルマデモナク大臣ハ能ク  
御承知ノコトデアリマスガ、吾々ガ常ニ海  
外ニ行ツテ見テ遺憾ニ思ヒマスルコトハ、何  
處ニ行ツテ見マシテモ領事、總領事、公使、  
大使ガ終始頻繁ニ選ツテ居リマスノデ、其  
ノ地方ノ言語風俗ニ通ズル時ニハモウ既ニ  
造ツテシマフ、斯ウ云フコトハ洵ニ事務  
ガ進捗シナイデハナイカ、斯ウ思フテ居  
リマス、之ヲ他ノ國ノ外交官ノ例ニ比シテ見  
マスト、此ノ缺點ハ日本トシテハ非常ナ損  
失デハナイカト思フテ居リマス、隨テドウ  
カ共ノ點ニ付テ十分御經驗モアリ、事情モ  
御存ジデアリマスル松岡外相ノ時代ニ於  
テ、之ヲ刷新シテ戴キタイト思フテ居リマ  
ス、先年歐洲戰爭ノ濟ンダ後デ「ロード」ノ  
一スクリフ」ガ世界ヲ廻ツテ各國ニ於ケル  
英國ノ領事、總領事其ノ他ヲ訪問シテ歸  
テ來テ、本國ニ於テ自分ノ新聞ヲ通シテ、  
又議會ヲ通シテ英國ノ外交ノ刷新ト云フコ  
トヲ叫ンデ居リマシタ、私ハソレヲ當時見  
テ、人ノ振りヲ見テ我ガ振りヲ直サナケレ  
バイカスト云フコトヲ痛感シタ譯デアリマ  
スガ、今日尙ホ我ガ國ノ外交ノ方面ニ於テ  
ハ斯カル方面ニ重大ナ缺陷ガアルヤウニ見

○松岡國務大臣 今御述ベニナツタ點ハ私  
モ豫テカラハ我ガ覆ケ關人事ノ一大缺陷  
デアルト痛感シテ居ルノデアリマス、私ガ  
何年開外務大臣デ居ルカ知リマセズガ、少  
モ私ガ外務大臣デ居ル間ハ、自分モ豫テ痛  
感シテ居ル點デアリマスカラ、其ノ點ハ改  
善シタイト決心シテ居リマス、序ニ此ノ前  
ノ御質疑申デ——是ハ言ツテモ言ハヌデモ  
宜イヤウナコトデアリマス友、私ニ直接關係  
スルコトデアリマスカラ、ガ能ンデ居リマス  
君ノ言ハレルヤウナ「デマ」ガ能ンデ居リマス  
ナラ御是正ノ願ヒタイト思フノデ申シマス  
ガ、今回ノ人事刷新ノ是非ノ論ハ私人ニ  
任セテ置キマスガ、其ノ責任者ハ私ガケ  
アリマス、實ハ大橋次官モ責任ハゴザイマ  
セズ、私ガ立テテ方針ヲ自分ノ補佐役デア  
ル大橋次官ニ私ガ申付ケテ斷行シテ貰ツタ  
ノデ、務案者デアリ且ツ唯一ノ責任者ハ外  
務大臣デアルト云フコトガ言明シテ置キ  
マス

年二月二十日ノ豫算總會ニ於テ答ヘタノダ  
ト云フコトヲ特ニ此ノ豫算總會ガ終了シテ  
イ間ノ機會ヲ利用シテ一言此ノ點ヲ明カニ  
シテ置イテ呉レト云フ所ノ手紙ガ參リマシ  
テ、私ハ斯ウ云フ機會デアリマスカラ、何  
モ追究シテ言フ必要アリマセズケレドモ  
一言茲ニ有田氏ノ言ハント欲スル所ハ御  
デアルト云フコトヲ述ベマシテ、外相ノ御  
答辯ヲ戴キタイノデアリマス、ソレハ即チ私  
ガ二三日前ニ於キマシテ外務省ト御懇々致シ  
ノ權限ノ問題ニ付キマシテ外務省ト御懇々致シ  
マシタ時ニ當リマシテ、昭和十四年二月二十  
日ノ有田前外相ノ御答辯ヲ引用シテ私ガ御  
質問申シタノデアリマス、ソレハドウ云フコト  
カト申シマス、興亞院ノ官制ヲ見テミマス  
ト、斯ウナツテ居ル政治トハ一體何カト私  
ガ總キマシタ時ニ、有田外相ハ、外交モ政  
治ノ中ノ一ツデアアル、政治ト云フハ外交モ  
含ムノガ當然デアアル、斯ウ云フコトヲ言  
ハレマシタ、ソコデ經濟、文化ハ是ハ能ク  
分ツテ居リマス、外務省ガ從來ヤツテ居ツ  
タ經濟工作トカ、或ハ對支文化事業ト云フ  
モノヲ大部分興亞院ニ移シテ居ルコトハ事  
實デアリマス、外交ノ方ハドウスルカト云  
フコトニ付テ、私ハアノ當時相當食ヒ下ツ  
タノデス、ソレデ有田前外相ノ言ニ依リマス  
ト、昭和十四年二月二十日ノ有田前外相ノ答  
辯デハ「支那ニ於テハ目下蔣介石政權ガ地方  
政權ニ隨シテシマツテ居ルノデアリマスル  
カラ、是ト正式ノ外交談判ト云フコトハナ  
イノデアリマス、併シ支那ノ新シイ政權ヲ  
承認スルヤ否ヤ、或ハ是ト條約ヲ締結スル  
等ニ於テハ、是ハ外務大臣ノ權限ニ屬スル  
ノデアリマス、又現在支那ニ大使館ガアリ

又大使館ノ館員ガ配置セラレテ居ルノデア  
リマスガ、支那ヲ舞臺トシタセマナ第三國  
トノ間ノ外交關係ガ現在シテ居リ、又將  
來モ生ズルノデアリマスガ、是等ノコトハ  
外務大臣ノ權限ニ屬シテ居リマス、隨テ是  
等ヲ處理セシメル大使館ニ大使館ノ館員ヲ  
必要トスルノデアリマシテ、之ヲ廢メル考  
ハゴザイマセズ、斯ウ答ヘテ居ルノデアリ  
マシテ、是ガ有田前外相ノ眞意デアルト云  
ハレマシテ、私ニ對スル手紙ニハ、小生ガ  
對支外交ノ外交權ヲ興亞院ニ委譲シタト述  
ベタル旨中島國務大臣ガ陳述シタコトハ正  
確ヲ缺クモノト存ゼラレル、現在ニ於テハ江  
政權ヲ正式承認シタルニ付キ對支外交ハ外  
務大臣ニ於テ之ヲ行フコトナリ居レリ、  
テハ固ヨリ外務大臣ヨリ訓令セラレテ居  
リ、是ハ小生ノ一昨年述べタ所ニ依ルモノ  
ニ有之候ト云フ手紙ガアリマシタカラ、茲  
ニモウ一應松岡外務大臣ニ對シマシテ、私  
共ハ外務省ノ權限ノ範圍、興亞院ノ權限ノ範  
圍ニ付キマシテ興亞院ニハ政治ト云フコト  
ヲ讓ツテアツテ分リマセヌノデ、此ノ點ヲ  
伺ヒタイト思フノデアリマス、支那全體ニ  
對スル外交ナリ、經濟ナリ、文化ナリ、全  
部ヲ今マデ外務省デヤツテ居ツタ、所ガ此ノ  
日支戰爭ガ始マツテ來テ、興亞院ト云フモ  
ノガ出來テ、支那ニ於ケル政治、經濟、文  
化ヲ掌ルト云フコトニナリ、經濟文化ハ能  
ク分リマスガ、政治ノ中ニハ外交モアリ、  
外交デナイモノモアル、ソレデ其ノ時ニ私  
ハ實例ヲ引イテ言ツタノデアリマス、汪兆  
銘ナラ汪兆銘ヲ通ジテ蔣介石ト交渉スルト  
云フヤウナ行爲ハ何ニ屬スルカ、是ハ政治  
カ外交カト云フコトヲ言ツタラ、有田前

ハハツキリ申サレナカツタノデス、唯其ノ  
時ニ明カニナツタノハ、支那ニ關スル事件  
ヲ通ジテ第三國ト交渉スル、是ハ外交デア  
ルト云ハレタ、ケレドモ、其ノ他ノ點ガハ  
ツキリシマセズ、今度汪政權ノ出來テ、是  
ガ中央政權ニナツテ、阿部大使ヲ送ツテ之  
ト交渉セシメルト云フノハ當然外務省ノ權  
限ニ屬スルコトデアリマス、サウスルト、  
興亞院ノ政治、經濟、文化トナツテ居ル所  
ノ政治ノ一部分ト云フモノハ當然外務省ニ  
移ツテ來ナケレバナラヌコトト私ハ考ヘ  
ルノデアリマスカラ、有田前外相ノ御手紙  
アリマシタコトニ付キマシテ、有田前外  
相ハ「ハスウダト云フコトヲ受次イデ呉レ  
ン」云フコトデアリマシタカラ、ソレヲ申上  
ゲテ、同時ニ此ノ點ニ付テハツキリ支那ニ於  
ケル所ノ所謂外交系統、政治系統ノ權限及  
ビ之ヲ掌ル機關ヲ明カニシ、併セテ將來  
ウ云フ御考ヘヲ御持チシテ外務省ニ吸收  
ルカ、興亞院ヲ廢シマシテ外務省ニ吸收  
ル御考ヘヲ持ツテ居ルノデアリカ、又一方  
ニ於キマシテハ對滿事務局ト云フモノモ  
アリマス、滿洲ニ於キマシテハ立派ナ政權  
ガ出來テ、滿洲皇帝ト云フモノガ在シマサ  
レルガ、滿洲國ニ對シマシテモ對滿事  
務局ト云フモノガアツテ、陸軍大臣ガヤツ  
テ居ラレル、斯ウ云フヤウナ點ヲ、日  
本ト滿洲國、支那ト云フ關係ヲズツト見  
ミマスト、外務省ガ機關ヲ統一サレル御考  
ヘヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウカ、豫  
算ニ於キマシテハ既ニ昨年ニ於キマシテ滿  
洲事件費ト云フモノハナクナツタ、ソレハ  
大藏省關係デ私共ハ能ク知ツテ居リマス  
ガ、滿洲事件費ト云フモノハ滿洲事變ガ始  
マツテ十年ニ垂ントスルノニ、サウ云

フコトハアリ得ナイ、治安モ平定シ、  
其ノ他ノ産業モ發展致シ、滿洲國ガ儼  
然トシテ出來テ居ルノニ、滿洲事件費ト云  
フノハアリ得ナイト云フノデ、陸海軍及ビ  
大藏省ノ豫算ト云フモノハ統一セラレテ、  
滿洲事件費ト云フモノハナクナツタ、  
全部一般會計ニ吸收サレテシマツテ居ル、  
ソコデ問題トナルノハ、機關ト云フモノガ  
其ノ儘殘ツテ居ル、對滿事務局ガアリ、興亞  
院ガアル、サウシテ興亞院ノ豫算ハ何處  
ヤツテ居ルカト云フコト、大藏省所管ノ豫算  
ニナツテ居ル、支那ニ於キマシテモ汪政權  
ガ出來タ以上ハ、外務省ハ是カラ先ハ汪政  
權ヲ中心トシテ交渉スルコト云フ段取ニナラ  
レルノダラウト思フ、其ノ機關ニ付キマシ  
テ、及ビ其ノ權限タル政治ト云フコトニ付  
キマシテ、ドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレ  
ルカト云フ點ニ付キマシテ、ハツキリシ  
方針ヲ示シテ戴キタイ、總ニ於キマシテ  
ハ時間ノ關係モアリマシテ、此ノ點ニ對シ  
テ詳細ノ御考申上ゲルコトガ出來マセズ  
デシタコト、之ヲ第一點トシテ御伺ヒ致シ  
マス

○松岡國務大臣 只今中島君ノ御讀上ゲニ  
ナリマシタ有田前外相ノ御手紙ヲ私ハ正確  
ニ聽イテ居ルカドウカ知レマセズガ、私ガ  
聽イテ居ル所ニ依レバ、私ガ先日申  
高君ニ御答ヘテ致シマシタ所ト大シタ差ハナ  
イト云フヤウニ感ジテ居ルノデアリマス、  
モウ一遍其ノ點ヲ簡單ニ申述ベレバ、當時  
ハ御承知ノ通り私ハ何モ興亞院官制ニ關係  
ヲシテ居リマセズシ、外務省ニ關係シテ居  
リマセズシテ居リマセズ、ケレドモ私ガ外務  
大臣ニナリマシタ時ニ、興亞院トノ關係ニ



入レルコトヲ御覽メニナリマシテ——政治ガアレバ見方ニ依ツテハ外交モ政治ノ中ノ一ツデアラカラ、外務省ノ外交ヲ移譲シタトモ見ラレ、幸ヒニ此ノ間ノ新聞ニモ載ツテ居リマシタガ、此ノ點ニ付テ中央地方ヲ通ジテ機關ヲ統一スルコト云フ外務大臣ノ御言葉モアレマシタカラ、サウ云フ意味カラ一ツ努力セラレンコトヲ希望シマ

ソレカラ第二點ト致シマシテ、此ノ間ノ蔣介石政権ニ反省ヲ促スト云フコトニ付テ御答ヘニナツタ點ニ付キマシテ、私マダ了解シ難イ點ガアツタノデアリマシテ、今朝井上君カラ外務大臣ニ對スル質問ノ御答ヘト致シマシテハ、外務大臣ハ私ハ合作サセヨウト云ツテ居ナイ、合作ハ彼等ノコトデ、吾々ガ蔣介石ヲ反省セシメテ汪政権ニ合流セシメタイスウ思ツテ居ル、詰リ汪ト蔣トノ間ノコトハ國內問題タ、斯ウ云フヤウノ仰シヤラレタヤウニ解釋シテ居リマシタガ、大臣カラノ私ニ對スル御答辯ニ依リマシト既ニ一昨年十一月デアリマシタカ、今ハハツキリ記憶シマセシガ、國民政府ニ於テモ若シ彼方反省シテ改メテ來ルナラバ話ヲセスト云フコトハナイト云フ方針ヲ執ツタノデアリマシ、是ガ所謂近衛聲明ノ後ノ言明デアリマシ、無論改心セヌ限リハ徹底ノ討ツト云フ方針ハ改メマセヌ、斯ウ仰シヤラレタノデアリマシガ、此ノ十一月ニハ御承知ノ通り汪政権ト云フモノハナクテ、蔣政権一ツアツタノデアリマシ、ソコデ近衛聲明ハ一番初メハ蔣政権ヲ對シニセズト云フコトニナツテ來テ、去年ノ十一月ニハ反省シテ來レバ對シニスルト云フコトニ變ツテ來タ、斯ウ解釋シテ宜シイノデアリマシ

ウカ、現在ハ無論汪政権ガ支那ノ中央政府デアツテ、之ヲ何處マデモ守立テテ、之ヲ何處マデモ援ケテ、支那ノ中央政府トシテ育成シテ行クト云フ考ヘニ付テハ、松岡外務大臣モ勿論御同意ノコトト思ヒマシタガ、又一方ニ於テ蔣政権ヲ反省セシムルト云フコトヲ仰シヤラレテ居リマシタガ、其ノ反省セシムルト云フコトハ、ヤハリ汪カラモ蔣ヘ手ヲ付ケテ反省セシムル場合モアルシ、又外務省カラ反省セシムル場合モアルシ、ソノナコトヲ言ツタラカモ知レマセヌガ、事實問題トシテ反省セシムル場合モアラウシ、色々ノ方面カラ反省セシムル場合ガアルダラウト思ヒマシタガ、サウシムル蔣政権トドウ云フヤウナ性質ノモノト認メテ、又反省セシムルコトハ如何ナル性質ノ行為ガ反省セシムルト云フノデアリマシカ、是ガ又今ノ外交トカ政治トカ云フコトニ關係シテ來マシタガ、ソコカラ換言スレバ色々ナ手カラ行ツテ、色々ノコトヲヤツテ行クト、頗ル向フヘモ響キガ惡イ、統一シテ斯ウスルトカ、アスルトカ云フ一ツノ方針ガ反省セシムルナラヌト私ハ考ヘルノデアリマシ、反省ノ性質ト云フモノニ付テハ、軍ノ方カラ言ヘバ、何處マデモ撃ツテ撃ツテ撃ツマクツテ行クノ反省ノ精神デアリマセウ、其ノ他色々ノ反省ニ付キマシテ手段方法ガアリマセウト思ヒマシタガ、其ノ反省ノ性質、手段方法ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ一ツ率直ニ御答辯ヲ申コトヲ望ミマシ

○松岡國務大臣 中島君ノ重慶側ノ反省ヲ求ムル手段性質方法如何ノ御質問ハ外交上機微ノ關係モアリマシノデ今朝及ビ豫算總會デ申上ゲマシタ以上答辯ヲ致シテ餘ル次第デアリマシ

○中島(彌)委員 率直ナル答辯デ了解シマシタガ、外相ハ蔣介石ヲ反省サセルニハ斯ウ云フ手段方法モアル、歐米ノ第三國ニ對シテモ此ノ手ヲ打ツノダト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、ソレガ「ソヴェット」ニ對シテモ英米ニ對シテモ、此ノ三國ガ一番援ケテ居リマシタガ、之ニ對シテ其ノ手ヲ今後打チ又打ツテ行ク自信ガアルト思ヒマシタ

○松岡國務大臣 ドウモ其ノ點ハ今現ニヤツテ居ルコトハアリマシケレドモ、是カラヤル手デモアリマシ、唯御想像ニ御任セシマシ

○中島(彌)委員 私人質問ハ是デ終リマシ

○依光至查 外務省ニ關スル質問ハ是ニテ終了致シマシタ、此ノ際一時休憩致シマシ、再開ハ三時カデゴザイマシ

午後二時三十分休憩

午後三時四十分開議

マスト

一、刑務作業ヲ適當ニスル整地工事ヲ施行スルト共ニ、軍需作業關係看守増員スル等ノ爲、前年度ニ引續イテ是ガ經費百四十九萬六千八百五十圓ヲ經常部及ビ臨時部ニ計上致シテアリマシ

一、物資供給調整ノ圓滑ナル運営及ビ價格等統制ノ徹底ヲ期シ、經濟犯罪ヲ迅速妥當ニ處理致シマシ、前年度ニ引續キ檢察及ビ裁判ノ機構ヲ強化シ、經濟事犯ノ防退ヲ圖ルノ要ガアリマシノデ、其ノ所要經費百二十八萬八千九百八十四圓ヲ經常部及ビ臨時部ニ計上致シテアリマシ

一、少年法中保護處分ニ關スル規定ヲ全國ニ施行スル爲、宮城縣及ビ北海道ニ橋正院、竝ニ同出張所ヲ設置スルノ要ガアリマシノデ、其ノ所要經費十萬四千六百三十六圓ヲ經常部ニ計上致シマシ

一、保護觀察所ノ機能ヲ圓滿ナル遂行ヲ期スル爲、之ヲ整備擴充スルノ必要ガアリマシノデ、其ノ所要經費二萬五千二百七十七圓ヲ臨時部ニ計上致シマシ

一、銃後治安ノ完備ヲ期スル爲、前年度ニ引續キ思想犯罪防退ニ關スル檢察及ビ裁判機構ヲ整備充實スルノ必要ガアリマシノデ、是ガ經費八十七萬四千二百五圓ヲ經常部及ビ臨時部ニ計上致シマシ

一、借地借家ニ關スル紛争ノ圓滿ナル解決ヲ圖ル爲、借地法、借家法及ビ借地借家

○調停法ヲ全國ニ施行スルノ要ガアリマシノデ、是ガ經費二十一萬七千圓ヲ經常部ニ計上致シマシ

一、戶籍事務ノ刷新改善ヲ圖リ、處理ノ適正敏捷ヲ期スル爲、是ガ指導監督ヲ強化スルノ要ガアリマシノデ、其ノ所要經費六萬八千九百九十五圓ヲ經常部ニ計上致シマシ

一、川越少年刑務所ハ明治四十一年度ノ建築ニ係リ經年久シキ爲、腐朽甚ダシク、是ガ改築ノ要ガアリマシノデ、總費額百三十萬圓ヲ昭和十六年度以降五箇年ニ互ニ繼續費トシテ改築ヲ企畫致シマシテ、其ノ本年度額額十三萬圓ヲ臨時部ニ計上致シマシ

○柳川國務大臣 司法省關係ノ下級職員ノ生活ニ關スル同情アル御質問ハ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、司法省ニ於キマシテモ、其ノ改善ニ努力致シテ居リマシタガ、是マデノ經過等ニ付テ司法官カラ御説明ヲ申上ゲマシ

○三宅政府委員 只今御言葉ノ通り、洵ニ下級職員ノ生活ハ實ニ見ルニ忍ビナイ程度デアリマシ、殊ニ其ノ結果職ヲ辭メテ他ニ轉ズルモノガ非常ニ多イノデアリマシテ、其ノ補充ニ苦シムル點タラウト思ツテ居リガ他ノ官廳以上ノ狀態タラウト思ツテ居リマシ、左様ナ狀況ヲ改善致シマシタルコトハ、刻下ノ急務ト存ジマシテ、屢々其ノコトハ財政當局ノ方ニモ申上ゲテ、増額ノコトヲ御願ヒシテ居リマシタガ、何分ニモ判任官ハ政府各省ニ互リマシテ非常ニ數ガアリマシノデ、一部ノミニ増給ヲ認メルト云フコトハ甚ダ困難ナル狀況ノ爲ニ、思フヤウニ參リマセヌ、併シ廷丁ニ付キマシテハ、只今皆サンニ御審議ヲ願フテ居リマシ、豫算ノ中ニモ其ノ一部ガ現ハレテ居ルノデアリマシ、ソレカラ裁判所書記ニ付キマシテハ、増俸ト云フコトデハゴザイマセヌガ、昨年モ御審議ヲ經マシテ、地方裁判所檢察局ノ監督書記ノ中、半數ヲ書記長ニ昇格セシメル、即チ高等官ト致シマシタルトニ依リマシテ昇進ノ途ヲ講ズル、而シテ又今回ノ豫算ニ於キマシテモ、其ノ殘リノ半數ヲ書記長ニ致シマシテ之ヲ高等官ニスル、數ニ於テハ極メテ少イモノデアリマシケレドモ、聊カデモ裁判所書記ノ爲ニ待遇ヲ好クスルコトニ依ツテ、其ノ不満足ノ一部ヲ補ヒタイト思ツテ居ル次第デアリマシ、尙ホ今後極力此ノ點ニ付テハ——是ハ事

○司法省トシテハ第一ノ問題ト致シテ常ニ努力シテ居ル次第デアリマシテ、ドウカ皆サンノ御力ニ依リマシテ、更ニ此ノ工作ヲ一層進メテ參リタイト思ツテ居ル次第デアリマシ

○中山委員 御承知ノ通り判任官ノ身分ハ憲法ノ保障スル所デアリマシタガ、所謂終身官ト云フ名ヲ以テ呼バレテ居ル位デアリマシ、是ハ安心シテ其ノ職ニ執掌ナサルコトガ出來ル譯デアリマシ、所デ是ハ此ノ前モ一回御質問申上ゲタコトガアリマシガ、中ニハモウ職務ニ堪ヘ得ラレナイダケノ神經衰弱トカ、回復スルコトノ出來ナイ病氣ニナツテ居ラレ方ガアリマシ、此ノ病氣ノ心理作用ト云フヤウナモノハ審理ノ上ニ非常ニ關係ガアルノデアリマシ、病氣ニナルト、オ互ニ醫陶シクナリ、アアウルサイト云フコトニナツテ十分ニ審理ガ出來スト思ツテ居リマシ、憲法ノ保障ト云フ城郭ガアルモノデアリマシカラ、司法省ニ於テモ是等ノ判任官ノ地位ヲ動カスコトハ容易ニ出來ルモノデナイ、停年ニナルマデハ神經衰弱ニナラレタ人ハ魚釣リデモ出來ルヤウナ田舎ノ裁判所ニヤルト云フ噂ガアル、ソレモ結構ナコトデアリマシタガ、一方國民カラ考ヘマシト云フト、天皇ノ名ニ於テ、總テ御審理ヲ仰ガ我ガ司法權ト云フ建前カラ申シマシト、何トカ御審理ニ差支ヘルヤウナ判任官ノ方々ニハ、御遠慮ヲシテ裁タノガ至當デアリナイカト考ヘマシタガ、ソレ等ノ處置ニ付テ司法省ニ於テハ、御考ヘニナツテ居ラレカドウカ、實際例申シマシト、或ル病氣ニナツテ道ヲ歩クコトモ出來ナイヤウナ人ガ、ヤハリ部長ヲシテ控訴院ニ居ラレル實例モゴザイマ

マシ、私ハ鹽野法相時代ニ色々ノコトヲ話シタ上、サウ云フヤウナ人ガドウ位アルダラウト聽キマシタラ、何デモ司法制度布カレテ以來、病氣ヲ辭メサセラレタ者ハ二人シカナイト仰シヤラレタノデアリマシ、是ハ重大ナ問題デアリマシカラ、一ツ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマシ

○柳川國務大臣 御説明ノ通り業務ガ非常ニ煩多ノ爲ニ、司法官中疲勞シ、其ノ任務遂行ニ支障ヲ來ス者アルヤモ計リ難イノデアリマシ、洵ニ今日重大ナコトト考ヘラレデアリマシ、併シ其ノ結果國民ニ非常ニ迷惑ニナリ、裁判ノ公正ヲ失スル如キコトガアリマシテハ重大デアリマシカラ、健康保全ニ注意スルト共ニ、サウ云フコトノナイヤウニ一面ニ注意シ、一面ニハ人事刷新ニ付テモ十分注意ヲ致シマシテ、斯ノ如キ事態ノ起ラヌヤウニ善處シタイト考ヘテ居リマシ、從來ノ事情等ニ付キマシテハ、私ハ就任以來マダ詳シク承ツテ居リマセヌノデ、現況ヲ司法官ヨリ御説明申上ゲマシ

○三宅政府委員 判任官ハ保障ガアリマシノ爲、多少有能ナラザルニ拘ラズ、尙ホ其ノ遺徳デアリマシ、何分ニモ、サウカト申シマシテ、實ハ憲法ノ保障ト云フモノヲ輕キシク廢止スルコトモ出來ナイト存ジマシタガ、其ノ處置ハ非常ニ困ツテ居リマシタガ、併シ絕對ニ其ノ途ガナイ譯デアリマシマセヌ、只今御言葉ニ依リマシタヤウニ、裁判所構成法ハ判任官ノ總數ニ於テ其ノ人ヲ辭メサセルコトハ出來ルノデアリマシタガ、其ノ職務ヲ執行コト能ハザルニ至リタルトキハ「下條文」ニアリマシノデ、餘程其ノ程度ガ高クゴザイマセヌト、判任官ノ總數デ其ノ退



職ヲ認メテ與レナイコトニナリマス、其ノ點多少遺憾ナシトモイハスガ、併シ一面サウ云フ職ヲ執ルニ十分ナラザル人ガ、其ノ職ニ居リマスルコトハ、ドウカシテハ止メテレバナラスノデアリマス、實ハ今年ニ於キマシテハ、出來ルダケサウ云フ人ヲ説得シテ辭メテ職ヲ退クニ致シマシテ、其ノ爲ニ退職金方此ノ豫算ノ面ニ二十萬圓大減額承認サレテ居リマス、是マデハ斯ウ云フ行政整理ト云フ風ナ關係ニナリマス時ニハ進んで辭メタイ人ヲ辭メサセルト云フヤウナコトデアリマシタガ、サウ云フコトデナク今ハ御言葉ニアツタヤウナ嫌ヒノアル人ニ目ヲ付ケマシテ、サウ云フ方ニ辭メテ職ヲ退ク、其ノ代リニ賜金ヲ差上ゲテ健康ノ保全ヲシテ職ヲ、又生活ニ支障ノナイヤウニシテ職ヲ退クコトニシタイト思ヒマシテ、實ハ其ノ意氣込ミデ居リマス、本年豫算ガ通りマスレバ、其ノ點ニ付テ多少效果ガアルカト存ジテ居リマス

○中山委員 大變有難イ思召デ洵ニ結構デアルト思ヒマス、人情ノ上カラ申シマシテ洵ニ私共サウ云フコトハ申上ゲニクイノデアリマスガ、ドウカ一ツ國家ノ爲デアリマスルカラ、相互ノ申合せニ依ツテモ自由ニ進退出來ルヤウニ御運ビ、御取扱ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、勿論ソレニ付テ手當ヲ支給ナサレルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリマシテ、私共ハ是非贊成シタイト思ツテ居リマス

體ドレ位ノ數ニナツテ居リマスカ、御伺ヒ致シマス  
○三宅政府委員 一寸計數ガ分リマセス爲メ、今此處デハツキリ申上ゲラレマセスカラ、後程調ベテ申上ゲマセガ、相當澤山來マシタガ、其ノ中選ヘラレタリ、又出ラレタコトヤウナ形ニナツテ居リマシテ、現在デハ大體ノ見當ヲ申シマスト、判檢事ノ職ニ在ル者ヲ召集ヲ受ケタガ、恐ラク十數名デアラウト思ヒマス、詳シイコトハ尙ホ取調ベテ申上ゲマス、  
○中山委員 私方聞キマスルノニハ、マダ澤山行ツテ居ラレルヤウニ承ツテ居リマスガ、併シ是ハ正確ニ調ベテモノデアリマセヌカラ分リマセス、ソコデ御伺ヒシタイノハ、日支事變ニ召集サレタ方ノ補充ハスツカリ付イテ事務ノ滞滯ハナイヤウニ完全ニ運ンデ居リマスノデセウカ、又其ノ爲ニ相當勞苦ノ爲ニ困ツテ居ルコト云フヤウナ實情ハ地方ニハゴザイマセヌノデセウカ、一ツ念ヲ押シテ御尋ネ致シマス  
○三宅政府委員 此處ニゴザイマス計數ニ依リマス、判事ガ十三名、中一名職死、檢事ガ十三名中一名職死トナツテ居リマス、但シ此ノ職死者ヲ除キマシタ二十四名ノ方ガ、皆現在前職ニ居ル譯デアリマセヌデ、運ツテ來タ者モアリマス、デアリマスカラ此ノ數ハ一寸今此處デ現在應召、職場ニ働イテ居ル人ハ何人ト云フ數ニハナラナイト思ヒマスガ、大體斯ウ云フ數デアリマス、參リマシタ方ノ數ガ其ノ爲ニ特ニ人員ガ増員ニナル譯デアリマセヌノデ、出來ルダケ現在アル人ヲ繰合セマシテ之ヲヤツテ居リマスガ、大體此ノ位ノ數デゴザイマスレバ、サウ事務ニ支障ヲ來タシテ居ルトハ

思ツテ居リマセス、先ヅ私共トシテハ支障ハ來タシテ居ラナイト認メテ居リマス  
○中山委員 次ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス點ハ、今尙事調停トカ、小作調停トカ借家調停トカ、或ハ家事調停ト云フヤウナモノノ制度ガ布カレテ居ツテ、大體調停制度ト云フモノハ成長シテ行クヤウデアリマスガ、私ノ聞キマスル所ハ全部ノ争ヒ事ヲ調停デ持ツテ行ク、ソレデ片附カヌ時ハ法廷ニ持チ出サセルト云フ議ガ起ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、サウ云フコトハアリマセヌカ、是ハ全部ノ訴訟事件ニ關聯スル問題デアリマス、カテ特ニ御伺ヒシテ置キタイト  
○三宅政府委員 只今御言葉ノヤウナ計畫ヲ今別ニ具體的ニ進メテ居リマセヌ、色々サウ云フ議論ヲスル人モアルヤウデアリマセガ、マダ司法省トシテハ何等サウスルトカ、シナイトカ云フコトニ付テハマダ議ヲ進メテ居リマセヌ  
○中山委員 ソコデ私司法大臣ニ御伺ヒシタイ、此ノ度ノ六千餘萬圓ノ司法省豫算、是非非常ニ少ナイノデアリマスケレドモ、戰時デアルカラ御遠慮ナスツタモノト謙ンデ敬意ヲ表スル次第デアリマス、其ノ中思想ニ關スル判檢事ノ増員ト云フ項目ガ含マレテ居リマス、思想ニ關スル判檢事ヲ御採用ニナル場合ノ方針ガ如何ナル御調ベヲ本人ニ付テサツテ、是ハ採用スベキモノ、是ハ採用スベカラザルモノト御判斷ニナルノカ、其ノ基準ヲ御伺ヒシタイ、是ハ風見法相ガ現職ニ居ラレル時、三宅次官其ノ他ノ方々ノ居ラレル前デ私申上ゲタコトガアルヤウニ、私ガ先般法廷ニ立チマシタ時、實ニ驚クベキ檢事ノ論告ヲ承ツタノデアリマス、ソレハ一口ニ申シマスト、其ノ

被告ハ統制問題ニ掛カツタノデスガ、千圓ノ罰金ヲ求刑サレテ論告ニ於テ、被告ハ從來國家ノ恩惠ニ浴シテ五十數萬圓ノ金ヲ蓄積シタノデアリ、此ノ場合此ノ罰金ヲ納メルコトハ當然デアルト云フヤウナ御議論ガアツタノデアリマス、ソコデ私ハ考ヘルノデス、個人ガ社會ニ對シテ憐憫ノ情或ハ同情ノ念ヲ發揮シ自己ノ財產ヲ出捐スルト云フコトハ一種ノ社會政策デアリマス、併シナガラ尙國家ノ權力ヲ後ニ背負ツテ居ル役人ガ、論告ニ於テ、被告ハ數十年來國家ノ恩惠ニ浴シテ居ルノデアリカラ、相當ノ財產ヲ蓄積シテ居ル立場カラ考ヘテモ、此ノ罰金ヲ納メナケレバナラスト云フ様ナコトハ、一種ノ共產主義的思想デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ恐レベキ論告ガ堂々ト法廷ニ述べラレルト云フコトハ、私ハ檢事ノ採用ニ付テ其ノ選擇ヲ誤ツテ居ルノデアリカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、ソコデ將來ドウ云フ風ニシテ思想ニ關スル判檢事ヲ選擇ニナル積リデアアルカ、司法大臣ヨリ御答ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス  
○柳川國務大臣 只今例ニ上ゲラレタヤウナ檢事ノ論告ガアツタト致シマスレバ、穩當デアリコトハ御意見ノ通りデゴザイマス、就キマシテハ斯ノ如キ思想ノ正統デアリ者ヲ無論採用スル考モナシ、又現ニ奉職シテ居ル者ニモサウ云フコトノナイヤウニハ十分戒告モシ、注意モシテ行カケレバナラスト思フノデアリマス、司法官ノ採用ノ上カラ思想上ノ標準ヲ御尋ネデアリマスガ、最モ重大ナ、而モ判決ニ依ツテ決定シ、又重大ナ豫備ノ調ベヲスル司法官デゴザイマスカタ、思想ニ於テハ最モ清純デナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、即チ國體精神ガ明カデ、サウシテ國憲國法ノ遵奉精神ガ最モ旺ンデ、而シテ國民ニ對スル同情ガ深イヤウナ考ヘノ持主ガ最モ司法官ニ適シテ居ルト思フノデアリマス、ソレハ法ノ精神ガ罰スル爲ノ法ト云フヨリモ、寧ロ助ケラレル爲ノ法ト考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、助ケラレルダケハ助ケルヤウニ、而モ犯サナイヤウニ、豫メ法ノ施行ニ依ツテ自然ノ戒メニナルヤウニ、職務ヲ執ツテ行クト云フヤウナ見込アル者ヲ採用スルコトヲ標準トシタイト考ヘテ居リマス

○中山委員 更ニ其ノコトニ付テ御伺ヒシタイノデゴザイマスガ、是ハ大臣、次官、各局長ノ御協議ノ上デ御採用ニナルノデゴザイマセウカ、又ドウ云フヤウナ任組デ御採用ノ最後ノ決ヲ探ラレルノデアリマスガ、○三宅政府委員 御說明申上ゲマス、最初ニ司法官候補ヲ採用致シマス際ニハ、次官、局長列席ノ上デ一人々々約二十乃至三十分ニ互リマシテ、其ノ人ノ人物等ノ考査ヲ致シマス、サウシテ司法官候補ノ修習期間一年半ノ間ニ於キマシテモ、只今デハ單ニ法律學トカ、實務ノ修習ト云フコトノ外ニ、出來ルダケ人物ノ鍛鍊ト云フコトヲ重シマシ、尙ホ其ノ一年六箇月ノ最後ノ三箇月ハ東京ニ呼ビマシテ、東京ニゴザイマス司法研究所ニ於テ専ラ人格ノ陶冶、識見ノ涵養ト云フコトニ主眼ヲ置イテ人物ノ陶冶ヲ致スノデアリマス、サウシテ此ノ實務ノ修習ヲ終リマシタ所デ、試験ガゴザイマシテ、是ハ果シテ實務上ノ經驗ヲ積ンダカ、ソレダケノ學識ヲ得タカト云フコトノ試験ガアリマスガ、其ノ試験ガ済ミマシタ所デ、更ニ又次官並ニ各局長列席ノ上デ、一人々々

ニ就テ同ジクヤハリ二十分内外ノ間其ノ人物ヲ考査ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ上デ初メテ判檢事ニナルト云フ風ナ慎重ナコトヲ致シテ居ル次第デアリマス、而シテ判檢事ニナリマシテモ、其ノ後ヤハリ適當ナ時期ヲ經マシタ後、又司法研究所ニ入レマシテ、サウシテ此處ニ二箇月ノ間、同ジクウナヤハリ其ノ年齢成長ノ程度ニ應ジテ人物、識見ヲ涵養サセルコトニ致シテ居リマス、サウ云フ風ニシテ出來ルダケ其ノ方面ニハ意ヲ用ヒテ居ル積リデゴザイマス  
○中山委員 サウ云フ風ニシテ御採用ニナルマシタ檢事ガ、サウ云フヤウナ論告ヲナサル時デアリマスカラ、此ノ度ハ十分本領ヲ發揮シテ、過チノナイヤウニ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、序ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスルノハ、是ハ從來大分議會デモ問題ニナツテ居リマスル裁判所ト檢察廳ノ純然タル區別デゴザイマス、別箇ノ廳舎トカ、或ハスツカリ仕切ヲ付ケテ他ノ部屋ニ區別ラシテ、裁判所ト檢察所ト交流ノナイヤウニスルコトガ、私ハ最モ必要デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ  
○三宅政府委員 裁別所ニ來タ者ガ裁判所デアルカ、或ハ檢事局デアルカ分ラナイト云フコトハ、甚ダ面白ナイノデゴザイマシテ、是非ハ自分ヲ調ベテ居ル人ガ檢事デアるか、或ハ判事デアるかト云フコトガ分ラナケレバ、ナラナイト思フノデアリマス、其ノ關係上廳舎ガ餘リ入込デ居リマス爲ニ、果シテ自分ヲ調ベテ居ル人ガ檢事デアるか、判事デアるか知ラナイト云フコトガ、間々起ルコトヲ私非常ニ遺憾ニ思ツテ居リマス、サウ云フコトカラ申シマスト、少クモ

サウ云フコトノ區別ヲ立テルト云フコトハ必要ダト思ヒマシテ、廳舎等ニ付テノ設備ヲ出來ルダケ粉飾ヲ生ジナイヤウニシタイト思ツテ居リマス、其ノ點ニ付テハ相當氣ヲ付ケテ居リマスガ、何分ニモ事務ガ段々多クナツテ居リマスニ、舊態依然タル裁判所ノ建物デアリマシテ、段々部屋ガ使ハレテ行キマス、隨テドウシテモ判事モ檢事モ割合ニ近イ所デ仕事スルヤウナ形ニナツテ參リマシテ、其ノ點ハ甚ダ遺憾デアリマスガ、併シ東京ニ於キマシテハ御承知ノ通り裁判所ト檢察局トハ全然別ノ建物ニナツテ居リマシテ、其ノ點ニ付テハ全ク區別サレテ仕事ヲシテ居リマス、其ノ點ハ大變ニ便利ダト思ツテ居リマス  
○中山委員 將來司法官判檢事ノ年齢ニ依ル停年制ハ、他ノ官吏ト幾分趣キ異ニシテ居リマスノデ、若イ方ニハ非常ニ御氣ノ毒ナ言ヒ分カカ知レマセヌガ、老年寄ハ早ク辭メテ退レバ宜イ、自分ノ卓越シタ腕ヲ振ツテヤルト考ヘルノハ、若イ者トシテハ當然カモ知レマセヌガ、是ハ普通ノ行政官廳ト違ツテ、司法省トケニハ有能ナ方ガ年ヲ御取リナツテモ殘ツテ職イタ方ガ却テ圓熟シテ、所謂司法畑ノ熟練ニナツテ殘ツテ職イタ方ガ、人民ノ爲ニハ幸福チヤナイカ、常識ノ圓滿ニ發達セラレタ方ガ澤山御殘リニナツテ居ラレル方ガ宜イノチヤナイナツテモ若イ者ナドハ進モ足元ニモ及バヌ位ナ豐富ナ知識ヲ持ツテ居ラレマシテ、日本ノ財政ヲ確立セラレタ大ナル功勞ノアラレタ御方デアリマス、年ヲ取ツテ裁判事務ヲ執レナイト云フコトハ餘リナイノデハナイカト考ヘマスガ、サウ云フ點ニ付テ將來

停年制ニ付テ餘裕ヲ殘サレルト云フ思召ハ現在ノ所ゴザイマセヌデセウカ、如何デゴザイマセウカ  
○三宅政府委員 停年制ニ依ツテ退職セラレル御方デ、尙ホ司法官ノ爲ニ十分働カレル認メルノデアリマス、併シ一面先程取リマシテ仕事ガ大儀ニナラレテ、サウシテドウモ十分ニ能力ヲ發揮サレナイ方モ相當ニアリマスノデ、彼此レ考ヘマシテ停年法ガ出來タモノト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ將來此ノ停年法ノ得失ト云フモノヲ能ク考ヘマシテ、研究致シタイト思ツテ居リマス、只今ノ所經々ニ之ヲ止メテシマフコトハドウカト云フ所マデハ考ヘテ居リマセヌ  
○中山委員 一寸司法大臣ニ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、日支基本條約ガ出來マシテ、日滿兩國ノ裁判事務制度ト云フヤウナモノニ準ジテ、此ノ日支ノ間ニ於テモ、北支或ハ蒙疆ト云フ所ニハ、日本ノ司法官ヲ顧問、或ハ當事者トシテ派遣サレルト云フヤウナ、滿洲類似ノ行爲ヲオヤリニナル思召シハゴザイマセウカ  
○柳川國務大臣 滿洲建國ノ當初、只今ノ北支、蒙疆等ノ狀況ハ能ク似テ居リマスノデ、御尤モノ御質問デゴザイマス、蒙疆政府デハ日本ノ官吏ヲ可ナリ官吏トシテ採用シテ居リマス爲ニ、司法官モ既ニ正式ニ就任シテ居ル者モアルノデアリマス、北支ハ蒙疆ヨリモ中央ニ近ク、又我が國ト近ク條約ヲ締結シマシタ支那ノ中央政府ノ統制ト云フ希望ノ關係モゴザイマシテ、日本ノ官吏ヲ直チニ北支政務員會ノ官吏ニ採用ス







取敢考ヘナケレバナラスノハ司法官ノ待遇問題アル、ドウモ判檢事ノ待遇ハ良クアリマセヌ、是ハ他ノ行政官吏ニ比較シテ...

カシテ、司法官ノ非常地位ノ高イコト、非常立派な職責ニアルコトヲ説イテ聴カシテ、サウシテ司法官ノ爲ニ働カセテ居ラ...

ウ云フコトノ爲ニ、滿洲國ノ司法官ハ實ニ生キトシテ仕事ヲシテ居ル、之ヲ滿洲ニヤリ切リニヤツテ歸サヌヤウニスルノハ...

○依光主査 是ヨリ引續キ拓務省關係ノ方ニ移リマス、委員諸君一寸御諮リシタ...

ルノデス、サウ無理バカリ仰セ下サツテモ困ルノデ、私ナドハモウ總會ノ時ニ秋田大臣方御見受ケテ通リ非常ニ端折ツテ、何ガ...

次ニ主要新規事項ニ付キマシテ大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、(主査退席、笠井主査代理着席)...

方面ニ對スル邦人移住地ノ建設、農林業試驗研究、礦業資源開發、水産業助成等各種事業ノ獎勵費デアリマス、次ハ南方進出人...

實施ヲ爲サシムルコトトシ、是ガ所要經費トシテ同協會ヘ補助金並ニ本事業ノ指導監督ニ要スル經費ヲ計上致シマシタ...



別會計歳入歳出共一億二千五百三十八万八千餘圓、朝鮮簡易生命保險特別會計歳入四千五百三十三万一千餘圓、歳出二千四百八十八千餘圓、臺灣米務移出管理特別會計歳入二億四千七百二十五万九千餘圓、歳出二億三千七百八十八万一千餘圓、臺灣官設鐵道用品資金特別會計歳入歳出共一千三百九十六万八千餘圓、特別會計豫算ガゴザイマス、以下各外地特別會計豫算ノ主要事項ニ付テハ、御説明ヲ致シマス

各地ノ特別會計ノ豫算ハ、何レモ内地一般會計ノ豫算編成方針ニ準據致シマシテ、物資、物價、勞力等ノ經濟情勢ニ對シテ、極力節約ヲ旨ト致シマシタコトハ勿論デアリマスガ、他而現下内外ノ情勢ニ對シテ、緊急措置キ難キ施設ガ處致シマス爲メ、緊要事項ニ關シ最モ少クアリマセソデ、是等ノ事項ニ關シ最モ限度ノ經費ヲ計上致シタデアリマス、尚ホ既定經費ノ節約ニ付キマシテモ、能フ限リノ節減繰延ヲ行フコトヲ致シテ居ルデアリマス

先づ朝鮮總督府特別會計カラ申上デマス、朝鮮ニ於キマシテハ、神社及ビ教育教化ニ關スル經費ト致シマシテ、護國神社造營費補助等十八万九千餘圓、國民學校制度ヲ昭和十六年度ヨリ實施スルニ伴ヒ、教科書ノ編纂、指導監督、學校設備ノ充實等ニ要スル經費ニ要スル經費八万九千餘圓、初等教育準備ニ要スル經費百九十一万九千餘圓、中等學校擴充ニ要スル補助二十万五千餘圓、初等教育費國庫負擔金ノ增加百五十餘圓等、總計四百三十三万八千餘圓ヲ豫定致シテ居リマス、朝鮮ノ金及ビ重要礦物増産施設ニ關スル經費ト致シマシテハ、金ノ増産獎

勵ニ要スル經費六十万八千餘圓、重要礦物増産獎勵、鑛産部ノ設置、送電線施設等ニ要スル經費六百四十三万八千餘圓、石炭増産獎勵金、新坑開鑿助成金及ビ生産補助金四百九十七万八千餘圓、合計一千二百二十五萬五千餘圓ヲ計上致シマシタ、食糧對策施設ニ關シマシテハ、米穀ノ増産ヲ圖リマス爲メ、土地改良事業ノ助成、灌漑用地下水利用ノ調査、排灌法ノ改善指導等ヲ行フニ要スル經費九百八十四万七千餘圓、食糧畑作物ノ増産獎勵等ニ要スル經費百四十万六千餘圓、自給肥料ノ増産獎勵等ニ要スル經費三十三万三千餘圓、食糧配給對策施設ニ要スル經費五百七十四万四千餘圓、合計一千七百三十三万一千餘圓ヲ豫定致シテ居リマス

生力ノ増強施設ニ關スル經費ト致シマシテハ、大蔵ノ増産獎勵ニ要スル經費十八万六千餘圓、羊毛代用綿ノ普及獎勵ニ要スル經費十一万四千餘圓、馬、牛、羊等畜産施設ニ要スル經費六十七万二千餘圓、水産施設ニ要スル經費四十四万餘圓、製鋼廠ノ生産助成ニ要スル經費二百六十八万圓、京城帝國大學理學部ノ開講、高等水産學校ノ新設其ノ他技術者養成ニ要スル經費百九十三万七千餘圓、人造石油要スル經費二十三万六千餘圓、人造石油木炭等燃料施設ニ要スル經費百六十六万二千餘圓等、總計八百四十万餘圓ヲ計上致シマシタ、又貿易ノ助長及ビ統制ニ關シマシテハ、八十二万四千餘圓ヲ計上致シマシテ、輸出資金融通損失補償及ビ輸出補助制度ノ續行、貿易組合令ノ施行、重要輸出品ノ検査機關ノ充實、原材料供給確保補助等ヲ行フ豫定デアリマス

厚生保健施設ニ關スル經費ト致シマシテハ、厚生局ノ設置、工場令及ビ勞働者災害扶助令ノ施行、體力管理ノ實施準備、高原寮養所ノ新設準備、中小住宅供給ノ爲メ住宅營團ノ助成等ニ要スル經費二百八十一万八千餘圓ヲ計上ガゴザイマス、東支那對策施設ニ關シマシテハ、國民總力運動ニ關スル經費六十一万七千餘圓、國土計畫ノ設定、國家總動員業務等ニ要スル經費二十一萬八千餘圓、航空輸送補助、航空氣象觀測整備費、航空路施設費ノ追加等百九十九萬餘圓、銃後對策事務處理、軍事接後施設、在留地徵集制度ノ實施等ニ要スル經費百七十一萬九千餘圓、防務諸施設ニ要スル經費三百九十五萬餘圓、物資需給調整價格統制、貯蓄獎勵、電力調整、會計整理統制、勞務需給調整、賃金統制、借地、借家小作料統制等ニ要スル經費五百六十九萬九千餘圓、臨時經濟調整及ビ取締ニ要スル經費三百七十七萬七千餘圓、移動警察、外車警察及ビ情報機關ノ充實ニ要スル經費七十六萬六千餘圓、青少年指導訓練施設ノ擴充等ニ要スル經費六十六萬一千餘圓等、總計一千七百八十四萬四千餘圓ヲ豫定致シマシタ

警察及ビ司法ニ關シマシテハ、警備機構ノ整備擴充等ニ要スル經費百五十萬六千餘圓、少年令及ビ矯正院令ノ施行ニ要スル經費二十六萬六千餘圓、裁判所職員ノ充實等ニ要スル經費十三萬六千餘圓、司法保護事業ノ整備ニ要スル經費十一萬三千餘圓等、合計四百三十二萬九千餘圓ヲ計上致シマシタ

交通及ビ通信ニ關シマシテハ、鐵道及ビ電信ノ事業増進、拓殖鐵道敷設費ノ追加、電信電話施設ノ擴充、航路補助、自動車交通

存シマスコトハ、昭和十四年度ヨリ實施致シマシタ米穀移出管理事業ニ依リ基金ガ、昭和十四年度決算ニ依リテ一千三十四万八千餘圓積立テラレマシタノデ、本年度ヨリ初メテ右積立金ノ中ヨリ昭和十六年度豫算ニ於ケル臺灣ノ農業調整、開發及ビ助長ニ關スル經費總額二千五百六十二萬餘圓ノ財源ノ一部ニ充當スルコトヲ致シマシテ、本年度ハ七百三十四萬八千餘圓ノ受入ヲ豫定致シタコトデアリマス、專賣事業ニ關シマシテハ、鹽、樟腦等專賣品製造數量ノ增加等ニ要スル經費一千二百二十三萬餘圓ヲ豫定致シテ居リマス

專業ノ助成等ニ要スル經費七千五百四十六萬五千餘圓ヲ計上致シマシタ以外ニ、鐵道建設及ビ改良費ニ於キマシテ、晉州三千浦間線路ノ建設其ノ他既設線ノ改良等ニ要スル經費二億六千二百九十九萬九千餘圓及ビ昭和十五年度ニ於テ決算上不用トナスヲ要シマス金額一千九百九十三萬八千餘圓ヲ既定額ニ追加シ、其ノ本年度年初額一千九百二十一萬餘圓ヲ增加致シマスト共ニ、既定額ノ繰延繰上等ヲ行ヒ、本年度豫定額ノ總額一億三千八百二十五萬八千餘圓ト相成ツテ居リマス

營繕及ビ土木ニ關シマシテハ、國防道路及ビ論山扶餘間道路ノ修築ニ要スル經費百五十五萬四千餘圓、元山、墨湖、三千浦、盤水各港ノ修築又ハ擴張ニ要スル經費百九十七萬圓、地方公共團體ニ於テ施行スル道路上水道、港灣及ビ河川等ニ對シテ事業費ノ補助百二十八萬五千餘圓等、總計九百七十七萬餘圓ヲ計上ガゴザイマス

在外朝鮮人ニ對スル施設ニ關シマシテハ、滿洲及ビ支那ニ在住スル朝鮮人ノ保護撫育滿洲開拓民ノ訓練等ニ要スル經費百七十五萬四千餘圓ヲ計上致シマシタ外ニ、滿洲拓殖公社ニ對スル出資拂込金三百七十五萬圓ヲ計上ガゴザイマス

臨時軍事費特別會計ニ對スル歳入金ト致シマシテハ、四千六百五十二万六千餘圓ノ增加ヲ豫定致シ、總計八千四百二十六万二千餘圓ノ歳入金ヲ計上致シテ居リマス、其ノ内容ハ、臨時軍事費財源歳入二千六百六十萬圓、支那事變特別稅收入其ノ他收入ノ歳入五千七百五十九千餘圓、北支事件特別稅收入歳入六十萬二千餘圓ト相成ツテ居リマス

次ニ臺灣總督府特別會計ノ豫算ニ付テ申上デマス、臺灣ノ教育及ビ教化ニ關スル經費ト致シマシテハ、勤勞奉仕制度ノ擴充ニ要スル經費三十五萬八千餘圓、臺北帝國大學工學部ノ校舍新營其ノ他創設準備ニ要スル經費六十二萬圓、臺北帝國大學豫科新設ノ爲メ校舍新營等ニ要スル經費六十七萬六千餘圓、臺北帝國大學理學部ニ講堂増設熱帶醫學研究所ニ國民保健科新設、其ノ他各學校ノ内容充實ニ要スル經費百九十四万三千餘圓、國民學校制度實施ニ伴ヒ要スル經費八十一萬餘圓、臺北高等商業學校東亞經濟專修科新設、南支那及ビ南洋方面邦人小學校教員派遣等、南方教育施設ニ要スル經費六十五萬三千餘圓等、總計六百四十五萬六千餘圓ヲ計上致シテ居リマス

衛生ニ關シマシテハ、官立醫院ノ整備充實結核療養施設助成、南支那及ビ南洋方面ニ於ケル醫療施設補助等ニ要スル經費百十七萬餘圓ヲ豫定致シテ居リマス、警察及ビ司法ニ關シマシテハ、防空施設、對岸派遣員制度ノ充實、警察官ノ素質向上、司法機關ノ充實等ニ要スル經費ト致シマシテ三百二十一萬四千餘圓ヲ計上致シマシタ、更ニ

財務ニ關シマシテハ、稅關事務充實、第二豫備金ノ增加等ニ要スル經費三百二十八萬一千餘圓ヲ計上ガゴザイマス

貿易振興ニ關シマシテハ、輸出補償制度ノ擴張、輸出資金等融通損失補償制度ノ實施、樟腦、茶、糖子等ノ増産並ニ輸出獎勵等ニ要スル經費百六十八萬六千餘圓ヲ豫定致シマシタ、又經濟統制ニ關スル經費ト致シマシテハ、經濟統制團體ノ指導監督並ニ助成、物動計畫物資其ノ他諸物資ノ需給統制、物價調整、勞務需給調整、國民登錄、米穀需給調整等ニ要スル經費四百七十六萬餘圓ヲ計上ガゴザイマス

臺灣ノ生産擴充施設ニ關シマシテハ、工業研究所ノ内容充實、天然瓦斯ヲ原料トスル合成石油製造工業ノ實驗、特殊工業獎勵等ニ要スル經費百九十九萬八千餘圓、國土計畫設定其ノ他ニ要スル經費五十一萬一千餘圓、金増産及ビ油田開發促進ニ要スル經費二百五十三萬七千餘圓、石炭増産獎勵ニ要スル經費百二十萬三千餘圓、米穀ノ増産ヲ圖リマス爲メ土地改良事業、畑地擴張改良事業、米品種改良、自給肥料ノ増産獎勵、病蟲害ノ防除、水利施設助成等ニ要スル經費七百五十三萬餘圓、大豆、小麥等ノ補食作物、葉煙草、亞麻等増産ニ要スル經費百六十八萬二千餘圓、山林局ノ設置、森林治水事業、湖沼樹ノ利用開發、山地開發道路ノ開鑿、木材、木炭増産等ニ要スル經費百九十九萬七千餘圓、水産振興、畜産獎勵、農業及ビ漁業開拓民招致等ニ要スル經費百九十九萬七千餘圓、海南島其ノ他南支那及ビ南洋方面邦人企業助成ニ要スル經費八十三萬八千餘圓等、總計一千九百九十七萬餘圓ヲ計上致シテ居リマス、尙ホ此處テ特ニ申上デタ

十三萬五千餘圓ノ本年度年初額四十二萬九千餘圓、中部橫斷道路開鑿ニ要スル經費總額九百三十三萬圓ノ本年度年初額三十萬圓、中壠臺南間縱貫道路鋪設ニ要スル經費總額五百六十七萬三千餘圓ノ本年度年初額五十萬圓等、總計九百二十一萬九千餘圓ヲ計上ガゴザイマス

臨時軍事費特別會計ニ對スル歳入金ト致シマシテハ、支那事變特別稅收入其ノ他歳入ノ分ヲ含メ一千六百八十八萬三千餘圓ノ增加ヲ豫定シ、本年度歳入金總額八千二百四十四萬五千餘圓ト相成ツテ居リマス、尙ホ臨時軍事費特別會計ニ關シマシテハ、三十一萬九千餘圓ヲ、南方ニ對スル發給、宣傳調査等ノ諸施設ニ關シマシテハ、七十二萬四千餘圓ヲ、臨時家族手当支給ニ關シマシテハ、二百五十四萬六千餘圓ヲノレム計上致シテ居リマス

次ニ樺太廳特別會計ニ移リマス、樺太ノ教育及ビ社會事業ニ關スル經費ト致シマシテハ、先づ國民學校制度ヲ昭和十六年度ヨリ實施スルニ伴ヒ、教員ノ再教育ヲナス等ニ要スル經費四萬圓ヲ計上致シマシタノ外、初メテシマシテ、國民體力制度ノ實施ニ要スル經費五萬九千餘圓、昭和十七年度ヨリ青年學校義務制ヲ實施スルニ付キ、是ガ準備トシテ專任教員ノ増員ヲナス等ニ要スル經費十萬二千餘圓、職業紹介所機構ノ擴充強化ニ要スル經費三萬六千餘圓、協和事業ニ對スル補助一萬二千餘圓等、總額九十二萬三千餘圓ヲ豫定致シテ居リマス、警察及ビ衛生ニ關シマシテハ、防空警備施設ノ擴充ニ要スル經費二十萬四千餘圓、銃砲火藥取締法及ビ阿片法ノ施行ニ要スル經費四萬餘圓、國境警備施設ノ整備ニ要スル經費







ツテ、人ノ意見ヲ聽イテ見タコトモアルノ  
デアリマス、サウ云フヤウナ事ニ付キマシ  
テノ總監ノ御所見ヲ承リタイ  
○大野政府委員 内地人官吏、朝鮮人官公  
吏ノ待遇ニ付キマシテハ、徐々ニ同ジヤウ  
ナ待遇ニスルヤウニ致シテ居リマス  
ソレカラ結婚ノ話デアリマスガ、御話ノヤ  
ウニ段々結婚ガ行ハレハヤウニナルコトハ  
極メテ願ハシイコトデアリマスガ、是亦行  
政的方法ト申シマスカ、左様ナ方法デヤルコ  
トガ宜シイカ、寧ロ段々風俗習慣ガ類似シ  
テ参リマス、其處ニ愛情ガ出テ來テ自然  
ニ結婚スルト云フコトニナリマス、其  
ノ點ハ總督府トシテハ少シ氣長ニ考ヘテ居  
リマス、併シ御話ノヤウニナルコトヲ願  
テ居ル次第デアリマス

テ行ク、ソレハ大概行ク時ニ二年トカ三年  
ト云フ約東デ行ク爲デモゴザイマセウガ、  
サウ云フヤウナコトデ良イ人ガ喜ンデ行ク、  
サウシテ年限ガ済メバ歸ツテ來ル、歸ツテ來  
タ人々ガ滿洲ニ於テ色々積ンダ所ノ經驗ヲ、  
我が日本ト滿洲トノ間ノ各種ノ政策ニ之ヲ  
利用シ、應用スルト云フヤウナコトガ出來  
テ非常ニ宜イと思フデアリマス、所ガ朝  
鮮デハ行政方面ニ付テハ段々交流ノアル  
コトハ承知シテ居リマスガ、私ガ特ニ申上  
ゲントスルコトハ司法部ノ關係デアリマス、  
朝鮮ノ司法官——判事、檢事ヲ言フデア  
リマスガ、朝鮮ノ司法官ト内地ノ司法官ト  
ノ交流ガ殆ド杜絶ノ狀況ニ在ルヤウデアリ  
マス、之ニ付テハ横田高等法院長ノ經驗等  
モアリマス、サウ云フコトハ私ハ此處  
デ申上ゲマセウ、ソレガ爲ニ朝鮮ニ行ツク  
司法官ハモウ彼處カラ内地ニ歸レナイト云  
ヤウナコトデ、自然内地ノ事情ガ味ナリ、  
自然ニ切斷ノ程度ガ薄クシテ居リマス、  
斯ウ云フガ、ドウモ内地ノ司法官ニ比ベル  
恐縮ニスガ、ドウモ内地ノ司法官ニ比ベル  
私ハ少シ落チルヤウニ思フ、朝鮮ノ司法  
官諸君ガ開イクラ不都合ダ言フカモ知レ  
マセウガ、事實タカラ仕方ガナイ、又朝鮮  
ノ司法官ノ方デサウ云フコトヲ是認シテ居  
ル方モアル、勿論中ニハ内地ニモ珍ラシイ  
位優秀ノ司法官モ居リマス、概シテ  
テ言ヘバ幾分質ガ落ちル、斯ウ云フヤウナ  
弊害ヲ是正スル爲ニハ、人事ノ交流ヲ盛  
ニスルノガ最モ適當デハナイカ、内地カラ  
朝鮮ニ優秀ノ司法官ガ喜ンデ行キ、又朝鮮  
カラ内地ニドン／＼歸レルト云フコトニ  
ナルト、非常ニ朝鮮司法官ノ發展ノ爲ニ慶賀  
スベキコトデアラウト思フデアリマスガ、

ドウモ私ハ數年前カラ其ノ事ヲ唱ヘテ居ル  
ケレドモ、一向行ハレナイ、斯ウ云フ點ニ  
付テ一ツ總督府關係ノ方面デ何等カ御考慮  
ニナツテ戴キタイと思フデアリマスガ、ソレ  
之ニ對シマスル御所見ヲ承リタイと思ヒマ  
ス  
○大野政府委員 一般ノ官吏ノ交流ニ付キ  
マシテハソレ／＼時々行ハレテ居リマスガ、  
御話ノヤウニ司法部ニ付テハ多少制度組織  
ガ違ツテ居リマス關係上、事實上ノ交流ガ  
困難ノヤウデアリマス、併シ御話ノヤウ  
ナ狀況デアリマス、時々清新ノ氣ヲ入  
レルコトガ必要ダ考ヘテ居リマス、現在  
既ニ内地ヨリ見エタ方モ相當居ルヤウナ譯  
ノ問題トシテハ色々待遇等ノ關係ガアリマ  
シテ、相當困難デアリマス、御話ノヤウ  
ヤウナ考ヘハ私共持ツテ居リマス  
○一松委員 大體結構デアリマス、ドウカ  
一ツソレヲ實際ニ行ハレハヤウニ御盡力ヲ  
願ヒタイノデアリマスガ、併シナガラ是ハ  
色々ノ歴史沿革ガアルコトデアリマス、  
直チニハ行ハレマス、ソコデ私ハ斯ウ  
云フ考ヘヲ持ツテ居ル、俄カニソレガ行ハ  
レナイトスレバ、朝鮮ノ司法官ヲ内地  
ノ司法官ヲ東京ニ集メテ再教育ヲヤツテ居  
リマスヤウニ、朝鮮ノ京城ニ全道ノ司法官  
ヲ集メテ再教育ヲヤル、尙ホ朝鮮ノ優秀ナル  
司法官ヲ内地ニ派遣シテ、少クモ數箇月  
間内地ノ司法事務ヲ視察ヲヤラセル、若  
シハ實施ニ付テハ修習ヲヤラセルト云フ  
ヤウナ方法ヲ執リ、又内地ノ優秀ノ司法官  
ヲ命ニ依ツテ向フニ派遣シテ戴ク、サウ  
云フヤウナコトデアリマス、非常ニ私ハ効果的  
ルト云フヤウナコトモ、

トシテヤツテ居ルヤウナ、兵隊ニ暨ヘテ  
見マス、兵卒ニ當ルヤウナ移民ト、下  
士官級ニ當ル移民、更ニ將校ト言フト少シ  
大袈裟ニナリマスガ、將校ニ相當スルヤウ  
ナ移民、此ノ三ツノ移民ガ必要デアラウト  
吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、所謂兵卒ニ當  
ル移民ニ付キマシテハ、大體南洋方面ニ相  
當大量ノ移民ヲヤリ得ルヤウナ情勢ニ相成  
リマス、又何時モヤリ得ル移民  
アラウト考ヘラレマス、其ノ方ニ付  
キマシテハ別ニ今ノ所訓練其ノ他ノ施設ハ  
必要ナイダラウ、吾々ノ計畫致シテ居リマ  
ス、ハ比較的上級ノ移民、所謂將校ニ該  
當スルヤウナ移民、移民ノ中デモ指導的ノ  
人物ヲ養成、斯ウ云フ移民ニ付キマシテハ  
南洋方面、其ノ他南洋方面ニ付キマシテハ  
得ルヤウナ時勢ニナリマシテモ、急遽ニサ  
ウ云フ者ヲ訓練スルコトハ中々困難デア  
リマス、斯ウ云フ際ニ豫メ準備トシテ  
訓練ノ施設ヲ設ケテ置ク必要ガアルダラウ、  
斯様ナ意味合ヲ以テマシテ、此ノ訓練施設  
ノ計畫ヲ實ハ致シテ次第デアリマス、ソレ  
ハ大體中學ノ四年修業程度ノ者ヲ、二箇年  
程度訓練スル目的デゴザイマスガ、其ノ中  
一年ハ現地ノ適當ナ産業會社ナリ或ハ商店  
ナリ、サウ云フ方面ニ委託致シマシテ實地  
ノ訓練ヲサシテ居ル次第デアリマス、ソレカ  
ラ第二ノ御質問ノ「ブラジル」移民、所謂南  
米移民等ニ付キマシテハ、現在内外ノ情勢  
カラ見テ、又日本ノ所謂人口或ハ勢力等ノ  
見地カラ見テ、如何ナモノカト云フヤウナ  
御尋ネダツカト思ヒマスガ、御承知ノ通  
リ此ノ「ブラジル」移民ニ付キマシテハ、

○一松委員 大野政府委員ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス  
○一松委員 大野政府委員ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス

功績ト相違ンデ朝鮮ノ人ハ今讀ヘテ居ルヤ  
ウナ狀況デアリマス、一層一ツ朝鮮統治  
ノ爲ニ御努力ヲ願ヒタイ、私ガ斯様ナコト  
ヲ申上ゲルノハ烏滸ガマシノデアリマス  
ガ、朝鮮民族ハ非常ニ喜ンデ居リマス、  
其ノコトヲ一ツ此ノ席デ申上ゲテ置キタイ  
デアリマス、殊ニ私ハ内地カラアソコニ  
參ツテ見ルト、年々歳々行ク度毎ニ統治ノ  
改善サレツツアルコトガ手ニ取ルヤウニ見  
エル、非常ニ私ハ喜バシイ、此ノ間、極ク  
卑近ナ例デアリマスガ、法廷デ辯論ヲシテ  
居リマス、十二時ノ「サイレン」ガ鳴ル、  
サウスルト裁判官モ、檢事モ、傍聽人モ、  
辯護士モ一度ニ立ツテ、直立不動デ黙禮シ  
テ居ル、私ハ内地ニ居ツテサウ云フコトヲ  
知ラナカッタ、私モ俄カニソレヲヤツタ、  
後デ聽イテ見ルト、「サイレン」ノ時ニハ半島  
ニ住ンデ居ル全部ノ人ガヤルノダサウデス、  
是ハ良イコトダ、誰ガ考ヘタノカ知ラヌガ、  
サウ云フヤウニシテ今第一線ニ活動シテ居  
ル將兵諸氏ニ對シテ感謝ノ念ヲ捧ゲルト  
云フヤウナコトガ、思想ノ向上發展ニ非常  
ニ裨益スル所ガ多イ、成程是ハ以テ學ブベ  
シト云フコトヲ感ジテ歸ツタノデアリマス、  
是ガ朝鮮ニ於テ内地ヨリモ一歩進ンデ居ル  
ト云フヤウナコトハ喜バシイ、斯様ナコト  
ヲ申上ゲテハ失禮カモ知レマセウガ、以上  
デ朝鮮問題ニ關スル質問ヲ打切リマス  
○依光主査 三善信房君  
○三善委員 大野政府委員ニ對シテ、  
シタイ、南洋方面ノ經濟的進出ヲセナケレ  
バナラシコトハ、我が國ノ東亞建設ノ上カラ  
申シマシテハ、最モ必要ダと思ヒマスガ、之  
ニ對シテ或ハ移民ニ對スル助成ノ方法ヤ、  
拓殖事業ニ對スル獎勵施設、其ノ他他物資

源、有ユル資源ノ調査ヲサレル等ノ爲ニ經  
費ヲ取ラレテ居リマス、是ハ最モ適切  
ナコトダと思ヒマス、殊ニ南洋進出ノ人物ノ  
訓練機關ノ設置ト云フコトガ設ケラレテ居  
リマス、是ハ滿洲移民ノ際ニモヤハリ訓練  
機關ノ設置ガアリマシタガ、ドウ云フ風ニ  
シテ此ノ訓練ヲナサルノデアルカ、ソレヲ  
伺ヒタイト共ニ、移民ト云フコトハ南洋  
及ビ滿洲方面ニ對シテドウシテモヤラナケ  
レバナラヌノデアリマスガ、今回更ニ從來ノ  
通り「ブラジル」或ハ「ハワイ」移民ニ對シ  
テ、之ニ助成ノ方法ガ講ゼラレテアリマスガ、  
從來ノ我が國ノ情勢ト今ノ國際情勢ヲ照シ  
合ハセテ見マス、南洋或ハ滿洲方面ノ移  
植ト云フコトハドウシテモヤラナケレバナ  
ラスコトダと思ヒマス、將來又我が國ガ人  
口一億ヲ目標トシテ居リシテ東亞國內ニ  
於ケル國土計畫ノ上カラ考ヘマシテモ、ソ  
レト人口ノ移植ト云フコトニ付テハ考ヘナ  
ケレバナラヌコトダと思ヒマス、今日ノ國  
際情勢ニ際シ、「ブラジル」、「ハワイ」ニ行ク  
一人ニ對シ、獎勵シテマデモヤル必要ガアル  
カドカウ、是ハ、東亞國內ニ於テ國土計畫  
ト人口配分トヤラレルニ付キマシテ、  
「ブラジル」及ビ「ハワイ」マデ手ヲ擴ゲテ移  
民ヲ獎勵スルコトガ我が人口政策ト如何ナ  
ル關係ニナルカ、其ノ點ガ今マデノ國際情  
勢ノ場合ト違フデアリマスガ、之ヲ承ツ  
テ見タイと思ヒマス

○北島政府委員 大野政府委員ニ對シテ、  
ヒマス、第一ノ御質問ノ「南洋」發展ノ爲  
訓練機關ニ付テ、實際上ドウ云フ風ニヤ  
ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、元來移民  
ヲ先ツ性質カラ分テ見マス、現在「ブ  
ラジル」デモ、或ハ滿洲デモ、所謂開拓民  
ト思フデアリマスガ、サウ云フコトハ  
總監ノ御考ヘ一ツデ宜シイ、僅カノ豫算デ  
出來ヤウト思ヒマス、之ヲ一ツ是非ヤツテ  
戴クヤウニ願ヒタイノデアリマスガ、ソレ  
ニ付テノ御考ヘハ如何デゴザイマセウカ  
○大野政府委員 御話ノヤウナコトハ私  
共モ考ヘテ居リマス、相當ノ豫算モ取  
ツテ居リマス、ソレデ先ツ普通ノ場合ニ於  
テ、會議等ニ付テハ何時デモコトヲ「寄越  
シマス、吾々ノ方ノ會議ノ際ニモ來テ戴  
ク、又實地ノ視察モソレ／＼致サセテ居  
マス、併シ御話ノヤウニ更ニ其ノ方面ニ  
付テカヲ入レテヤリタイと思ツテ居リマス  
○一松委員 有難ウゴザイマシタ——ソコ  
デ私ハ内地ノ司法研究所ミタイモノヲ京  
城ニ拵ヘテ、サウシテ全道カラ優秀ナル集  
メテ、在朝ノ司法官ヲ全道カラ、在野ノ法  
曹ノ話モ聽カセ、互ニ膝ヲ交ヘテ司法改善  
ニ努力スルト云フヤウナ方法ヲ頻繁ニ講ジ  
テ戴ク、私ハ今ヨリモ非常ニ良クナラウ  
ト思ヒマス、是非御實現ヲ願ヒタイ  
ソコデ次ニ御伺ヒ致シタイ朝鮮ノ刑事事  
件、民事ハ別デアリマスガ、特ニ刑事ノ裁  
判ハ内地ヨリモ如何カト私ハ思フデアリ  
マス、極端ナ批評ハ致シマセウ、サウ云フ  
コトハ自然ニ是正サレルト思フデアリマ  
スガ、一、二ノ例ヲ極ク抽象的ニ申シマス  
ト、經濟統制違反ニ對シマシテ、内地デハ  
餘程惡質デナレバ體刑ト罰金刑ヲ併科ス  
ルトカ、或ハ檢事ノ求刑ヨリモ重イト云フ  
ヤウナコトハ殆ド見ラレヌ、所ガ朝鮮デハ  
一寸シタコトヲ以テ、所謂嚴罰主義ト云フ  
ヤウナコトガ誤リ傳ヘラレテ居ルト見エテ、  
内地デモ、サウダ、朝鮮モ嚴罰ヲ以テ行カ  
ナケレバナラナイト云フノデ、非常ニ經濟

事犯ニ對スル刑罰ガ重イノミナラズ併科、  
檢事ノ求刑ヨリモ重イト云フノデ、朝鮮ノ  
在野ノ法曹ハ限リテ居ル、民衆ハ戰イテ  
居ルト云フコトハ實際デアリマス、サウ云  
フコトハヤハリ内地ノ狀況ヲ今少シ觀察シ  
テ、話ヲ聽カシテ戴クヤウニスレバ、自然ニ調  
和ガ取レテ、サウシテ思想上惡影響ヲ受ケル  
ト云フヤウナコトモ段々緩和サレルコトデ  
アラウト思フデアリマス、ソレガ今アナ  
タノ仰セニナリマシタヤウニ、思想問題ガ  
年々歳々改善サレツツアル、結構ナコトデ  
アルガ、一面ニサウ云フヤウナ方面カラ  
段々思想ヲ惡化セシメツアルヤウナ傾向ナ  
キニシモアラズ、アリトハ斷言致シマセウ、  
ナキニシモアラズ、故ニ斯ウ云フ點ニ付テ  
御説明願ヒタイ、先刻申シマシタ人事ノ交  
流、人格ノ向上發展、切瑛琢磨ト云フヤウ  
ナ方面ニ御力ヲ入レテ戴ク、サウ云フ弊  
モノナラウト思ヒマス、ドウカ一ツ  
サウ云フヤウナコトニ御盡力ヲ願ヒタイ、  
其ノ點ニ付テ御意見ガアレバ承リタイと思  
ヒマス

○大野政府委員 經濟事犯ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス  
○一松委員 大野政府委員ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス

○一松委員 大野政府委員ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス  
○一松委員 大野政府委員ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス

○一松委員 大野政府委員ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス  
○一松委員 大野政府委員ニ對シテ、現實  
ノ問題トシテドウ云フ取扱ヲ致シマシカ、  
朝鮮デハ可成リサウ云フ點ニ付テ、最初經濟  
事犯ニ對シマシテハ、極メテ寛カナ態度ヲ  
以テ向ツテ居ツタノデアリマスガ、中々是  
正ガ出來ナイ爲ニ、或ハ左様ナ事情ガ現實  
ノ問題トシテ起ツタカモ知レマセウ、併シ  
御話ノヤウニ思想上ノ點ニ付キマシテモ、  
十分ノ考慮ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス



現在既ニ約二十万ノ邦人ガ向フニ參ツテ居  
リマス、ソレデ若シ此ノ二十万ノ在留邦人  
ニ關シマシテ、日本カラノ移民ガ全然途絶  
エタ場合ヲ想像致シテ見マスルト、現ニ北  
米移民ナドハサウ云フ状態デゴザイマスガ、  
要スルニ新シイ血液ヲ注入スルト云フコト  
ガ、向フニ居ル在留邦人ヲ活カス途デアラ  
ウ、斯様ナ意味ヲ以テマシテ、ドウシテモ  
現在「ブラジル」方面ニ——向フニ入國制限  
ノ條項モゴザイマシテ、約三千人見當ハ入  
レ得ルコトニナツテ居リマスノデ、セメテ  
其ノ限度マデハヤハリ繼續シテヤツテ、二  
十萬ノ現ニ居ル同胞ガ今後新シイ血液ニ依  
ツテ十分活力ヲ得テ、活動シ得ルヤウニシ  
テ行キタイ、是ガ吾々ノ「ブラジル」移民等ニ  
於テ考ヘテ居リマス一ツノ目的デゴザイマ  
ス、今一ツ吾々ガ現在ノ時局ニ於テ考ヘラ  
レマスノハ、是ハ滿洲移民デモ同様デゴザ  
イマスガ、殊ニブラジル方面ニ於キマス移  
民ニ付キマシテ、從來カラ純粹ノ百姓以外  
ノ、所謂商工業者デモ相當参ツテ居リマシ  
テ、而モ相當ノ成績ヲ收メテ居ルノガ大體  
ノ事實デアリマス、隨ヒマシテ現在色々國  
内ノ情勢ニ依リマシテ、或ハ轉業或ハ失業  
ト云フヤウナモノモ、相當生ジテ居リマス  
ヤウナ現狀デゴザイマスノデ、サウ云フヤ  
ウナ純粹ノ農業者ハ勿論結構デゴザイマス  
ガ、農業者以外ノ者デモ「ブラジル」方面ニ  
於キマシテナラ、相當容易ニ移住ノ目的ヲ  
達成スルコトガ出來ル、サウ云フヤウナ見  
地カラ、又「ブラジル」移民モヤハリ出來ル  
ナラ繼續シテ参リタイ、斯様ナ意圖ヲ以テ  
マシテ、ヤハリ從來ノ方針ヲ以テマシテ、  
或ル程度ノ移民ヲヤツテ行キタイト云フヤ  
ウニ考ヘテ居リマス

○三善委員 訓練所ノ設置ノコトニ付キマ  
シテハ能ク諒解致シマシタ、是ハ現在デハ  
將校ト申シマスガ、指導者階級ノ人ヲ訓練  
スルト云フコトデアリマスガ、將來ハヤハ  
リ下士官等ニナルモノモ訓練シテ行カナケ  
レバナラス、將校ダケデハ本當ニ向フヘ移  
住シテ實務ニ就クト云フコトハ、容易デナ  
イト思ヒマス、此ノ點ハ適當ナ機會ガアツ  
タラ、サウ云フコトヲナサルト云フ御考ヘ  
デアリマスカラ、別ニ此ノ上申上ガマセヌ、  
更ニ「ブラジル」及ビ「ハワイ」ニ對スル移民  
計畫ハ、是ハ從來二十萬ノ同胞ガ向フニ行  
ツテ居ルカラ、ソレニ新シイ氣分ヲ植付ケル  
上カラ云ツテモ、此ノ程度ハ宜イデハナイ  
カト云フ、極ク消極的ナ御考ヘノヤウデア  
リマスカラ、私ハ敢テ之ニ反對スルモノデ  
ハアリマセヌ、併シ我ガ國ノ人口ト國土計  
畫、殊ニ東亞共榮圈ニ於ケル我ガ民族ヲ  
如何スルカト云フコトニ付キマシテハ、モ  
ソト大キナ見地カラ考ヘナケレバナラス  
思ヒマスノデ、此ノ點ハ將來根本計畫ヲ樹  
ツル上ニ於テ相當考究ス可キダト思ツテ、  
御察ネシタ譯デアリマスガ、只今御述ベニ  
ナル程度ノモノデシタラ、敢テ之ニ異存ヲ  
挟ムモノデハアリマセヌ

次ニ羊毛ノコトデアリマスガ、蒙疆  
及ビ北支方面ノ羊毛協會ニ對シテ、五  
十六萬圓ノ助成ヲナサルト云フデアリマ  
スガ、是ハドウ云フ風ニ御使ヒニナルノ  
デアリマセウカ、羊毛ノ必要ナルコトハ  
申スマデモナイコトデゴザイマスガ、蒙疆  
方面ノ羊毛ト云フモノハ非常ニ質ガ惡ク  
テ、我ガ内地デハ使用シ得ラレナイノデ  
ハナイカト思ヒマス、米國ノ機械デハ能  
ク是ガ精選サレマスケレドモ、日本ノ羊  
毛機械ニ於テハ此ノ質ノ惡イ、殊ニ砂混リ  
ノモノハ、中々内地ノ機械デハ十分ニ調製ガ  
出來ナイト云フコトヲ聞クデアリマスガ、  
此ノ助成金ヲ御出シニナツテ、果シテ蒙疆  
ノ羊毛ガ我ガ内地ニ於テ十分消化サレル  
ノデアルカ精選サレルノデアルカ、サウ  
云フ點ニ付テ御見キシテ見タイト思ヒマ  
ス

○植場政府委員 便宜私カラ御答ヘ致シマ  
ス、只今三善サンノ御考ネノゴザイマシタ  
ソコニ載ツテ居リマス蒙疆關係ノ豫算ハ、  
丁度現在モ東亞羊毛協會ヲシテ、張家口附近  
ニ一箇所牧場ヲ經營サシテ居ルノデアリマ  
ス、ソレカラモウ一箇所ハ多倫カラ約四十  
「キロ」バカリ奥地ニ入ツタ所デ、善隣協會ヲ  
シテ一箇所牧場ヲ經營サセテ居リマシテ、  
張家口ノ方ノ牧場ハマダ昨年未ニ羊ヲ入レ  
タ程度デゴザイマス、之ヲ更ニ繼續致シマ  
シテ、來年度モ北支蒙疆方面ニ約二箇所、  
ソレカラ多倫ノ牧場ニ對シテハ之ヲ更ニ擴  
大強化スル、其ノヤリ方ハ大體内地ノ「コリ  
デル」種ノ牡羊ヲ向フニ入レマシテ、地元ニ  
居ル蒙古羊ノ詰リ在來種ノ牝ニ交配シマシ  
テ、順次雜種ヲ作ツテ行ク考ヘデアリマス、  
企業院ノ計畫ト致シマシテモ、大體蒙古ニ  
差當リ二百萬頭ノ雜種ヲ拵ヘルト云フ見當  
デ、只今進シテ居ルノデアリマシテ、其ノ一  
端ヲ擔イデ活動セシムル補助金デアリマス、  
隨ヒマシテ只今三善サンノ御心配ニナツテ居  
リマス出來マシタ生産羊毛ト云フモノハ、コ  
リデル種ニ近イ雜種羊毛デアリマシテ、  
現在軍ハ勿論ノコト當業者モ非常ニ歡迎スル  
程度ノ、所謂「コリデル」種系統ノ羊毛ガ  
出來ルト云フ見込デ居ルノデアリマス、ソ  
レカラ尙ホ補足シテ申上ゲタイノハ、現在

○三善委員 私人羊毛計畫トシテ我ガ内  
地ニ相當ノ種羊ヲ飼ツテ、サウシテ羊  
毛ノ補給ヲ圖ルト云フ計畫ガアリマス  
ガ、私ノ大體ノ考ヘハ内地ノ此ノ飼料ノ  
少イ所ニ於テ種羊ヲ飼育スルヨリモ、寧  
ロ内地デハ種羊ヲ作ツテ、其ノ種ニ依ツ  
テ蒙疆或ハ滿洲方面ノ羊毛ヲ改良シテ  
行クコトガ一番宜イト思フ、内地ハ種ノ補  
給スル所ダ、斯ウ私ハ觀ンデ居ル、ソレヲ  
何デモ内地デ種羊ヲ作レ、羊毛ヲ作レ、自給  
自足カラト云フ言ツテモ、ソナコトハ中々  
出來ナイ、然ルニ今アナタノ「コリデル」  
種ヲ蒙疆ニ移シテ、サウシテ向フノ種羊ヲ改  
良スル、此ノ事ハ非常ニ適シタコトダト  
思ヒマス、私ガ平素考ヘテ居ルノト全ク合  
致シマシタノデ、大イニ歡迎致シマスガ、  
唯漫然ト向フノ羊ノ頭數ヲ殖ヤスト云フコ  
トダケナラ私ハ如何カト考ヘマスノデ、改  
良ノ目的ヲ以テオヤリニナルノハ非常ニ宜  
イコトダト思ヒマス、私ハ將來滿洲及ビ蒙  
疆ノ種羊ニ對シテハ、サウ云フ政策ヲ執ツ

テ、内地ハ所謂種羊ノ種ノ補給場、斯ウ云  
フヤウニ考ヘテ行カナケレバナナイノデ  
ハナイカト思ツテ居リマスノデ、今ノ御答  
辯ヲ得マシテ洵ニ此ノ點ハ満足致シマシタ  
次ニ食糧問題デアリマスガ、内地地自給  
自足ヲシナケレバナラスト云フコトハ、農  
林大臣モ既ニ御認メニナツタコトデアリマ  
スガ、私ハ從來我ガ日本ノ食糧政策ト云フ  
モノハ、内地ノ食糧ハ主トシテ朝鮮及ビ臺  
灣カラ仰イデ居ル、今マデ平均千石位朝  
鮮ト臺灣カラ内地ニ移入シテ居ツタ、是ガ  
内地ノ食糧ニ供給サレテ居ツタ譯デアリマ  
スガ、事變以來朝鮮及ビ臺灣カラ來ル所ノ  
米ハ殆ド少クナツタ、其ノ爲ニ内地ノ食糧  
ト云フモノガ非常ニ困難ヲ來シタト云フコ  
トニナルト思ヒマス、然ルニ内地ノ米ノ増  
産ト云フモノハ、是ハ言フベクシテ私ハ容易  
ニ成績ヲ擧グルコトガ出來スト思ヒマス、  
ソレハ一昨日豫算總會申シマシタ通り、  
内地ノ米ノ生産高ト云フモノハ、六千万石  
ヲ中心ニシテ、或ハ五千万石多クナリ、  
五百万石少クナリシテ容易デハアリマセ  
ヌ、二十年來常ニソレヲ繰返シテ居ルダケデ  
アリマス、唯望ミノアルノハ、朝鮮ト臺灣ニ  
私ハ非常ニ増産ノ望ミヲ囑シテ居リマス、  
朝鮮ハ百七十萬町歩デアリマシテ、農家戸  
數三百萬戸デ、一戸一町四段ニ當リマスガ  
平均收量ハ反當ニ石四斗デアツテ、内地ニ及  
バザルコト實ニ七斗ノ差ガアリマス、若シ  
朝鮮ノ米ガ内地同様ニ一反當リノ收量ガア  
ツタト致シマスナラバ、朝鮮ニ一千万石ヲ  
増加スルコトハ是ハ決シテ困難デナイト思  
フ、何故ニ朝鮮ガ一反當リノ收量ガ少イカ  
ト申シマスルト、是ハ土地ノ改良ガ十分デ

ナイ、又灌溉用水ノ便利ガナイ、天水ヲ當テ  
ニシテ耕作シテ居ル、此ノ灌溉ノ便利ヲ與  
ヘテヤリ、土地ノ改良スベキモノヲ改良シ、  
主トシテ灌溉ノ途ヲ開イテヤル、或ハ技術  
ノ遅レテ居ルノラモウ少シ進テヤル、或ハ  
肥料ナド内地ノ三分ノ一シカ使ツテ居ナイ、  
即チ金肥デ二圓一錢、内地ハ少クトモ六圓  
位入レテ居リマスノデ、肥料ハ内地ノ三分  
一シカ使ツテ居ナイ、是ガ朝鮮ノ一反當  
リノ收穫ノ少イ重大原因ダト思ヒマスガ、  
ソレヲ内地同様ニヤツテ下サレバ、千  
万石ノ増加ハ敢テ困難デナイト思フ、ダカ  
ラ内地ノ食糧問題ヲ解決スルノハ獨リ朝鮮  
ダ、斯ウ思ツテ居リマスガ、一昨年ハ大旱  
害ノ爲ニ非常ニ少クナツタ、昨年モ亦昨年  
ニ違シテ居ナイト云フヤウナ状態デ、此ノ  
食糧問題ノ啖シイ場合ニ、望ミヲ囑シテ居  
ル所ノ朝鮮ニ於テスラ十分ノ效果ヲ擧グル  
コトノ出來ナイコトハ、主トシテ灌溉設備  
不十分ノ爲デアル、ソレダケカ灌溉ニ付テ  
モウ少シ積極的ニ施設ヲシテ下サツタナラ  
バ朝鮮ニ於テ相當生産ノ増加ヲ擧グルコト  
ガ出來ハシナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ  
居リマスガ、本年度ハ千拓其ノ他ニ對シテ  
七百萬圓餘ノ色々ノ施設ガアリマスノデ、  
之ニ對シテ相當改良ノ行ハレルト思ヒマ  
スケレドモ、私ハ朝鮮ノ一反當リノ收穫ヲイ  
マ少シク増シタイ、内地ノ土地ハ地力ニ限  
度ガアツテ中々増スコトハ出來マセヌ、  
机ノ上デハ出來ルガ實際ハ出來ナイ、二  
十年此ノ方餘リ多クノ増産ニナツテ居ラ  
ナイ、然ルニ朝鮮ハ毎年天災ガナイ場合  
八年々増加ヲシテ居リマスガ、唯私ガ非  
常ニ惜ムコトハ、朝鮮ニ對シテ少シ内  
地ノ米ガ多イ時分ハ、朝鮮ニ手控ニ

シテ奥ルト云フノデ、昭和九年ニ朝鮮ハ開  
墾モ一時中止シタ、是ハ洵ニ其ノ當時ノ米  
穀ノ事情ニモ依ツタト思ヒマスガ、若シ朝  
鮮ノ開墾ヲ其儘進メテ行ツタナラバ、今日  
デハ相當米穀問題ニ貢獻シテ居ルト思ヒマ  
ス、是ハ其ノ當時ノ米穀事情ガ然ラシメタ  
ノデ止ムヲ得マセヌガ、朝鮮ニハ開墾可能  
地方九十萬町歩、又千拓ハ内地ノ千拓ヨリ  
容易ニシテ、五萬町歩ノ千拓スベキ好適地  
ガアリマス、此ノ九十萬町歩又ハ五萬町歩  
ノ開墾、千拓ヲ致シマシタナラバ、朝鮮ニ  
於テ相當ナル増産ヲ期待スルコトガ出來ル  
ト思ヒマスガ、此ノ増産ニ對スル御用意ト  
將來ノ見透シニ付テ御意見ヲ承ツテ見タイ  
ト思ヒマス

○大野政府委員 只今ノ朝鮮ノ米ノ増産ニ  
對スル計畫ニ付キマシテ御答辯ヲ致シマス、  
全般ノ計畫ト致シマシテハ、過般豫算總會  
ニ於テ拓務大臣ヨリ御答辯ガアツタノデア  
リマスガ、大體昭和二十五年年度目標ト致  
シマシテ六百八十萬石ノ増産ト云フコトニ  
ナツテ居リマス、其ノ内譯ト致シマシテハ、  
只今三善サンノ仰シヤラレタ耕種法ノ改善  
ヲ主トスルモノガ約五百萬石、ソレカラ  
開墾、千拓、所謂土地改良ニ依ルモノガ百  
七十萬石、斯ウ云フヤウナ豫定ニナツテ居  
リマス、昭和二十年度取ツテ見マスルト、  
耕種法ノ改良ガ、四百六十萬石、ソレカラ  
土地改良ニ依ルモノガ約百二十萬石、斯様  
ナ順序ニナツテ居リマス、御示シノヤウニ  
反當收量ガ非常ニ少イデアリマス、是ハ  
ドウシテモ耕種ノ改良ヲ致サナケレバナリ  
マセヌノデ、先ガ農業ノ組織ヲ與ヘル、是ハ  
前宇垣總督ニ於テ非常ニ熱心ニ努力サレマ  
シテ、所謂農村振興、運動ヲヤラシメテ、

今日ニ於テハ特ニ國民協力運動ノ一部トシ  
テソレヲ遂行スルコトニナツテ居リマス  
ガ、ソレハ「愛國隊」組織ヲ致シマシテ、  
一緒ニ協力シテヤルト云フヤウナ方向ニ向  
ツテ居リマス、或ハ品種ノ改良、又施肥ノ  
ヤリ方、或ハ深耕スルトカ、或ハ又病害蟲  
ノ驅除トカ、ソレハ「計畫」ヲ立テマシテ、  
御示シノヤウニ反當リ收量ヲ増スト云フ方  
法デ、是ハ約三斗位ヲ増シタイト云フヤウ  
ナ計畫ニナツテ居リマス、ソレカラ土地改  
良ノ方デハ、丁度先年米ノ増收ヲ圖リマシ  
タ計畫ニ依リマスルト、約三十五萬町歩ノ  
開墾千拓ヲ致スコトニナツテ居リマシタ、  
ソレガ半分、約十六萬町歩バカリヤツテ打  
切りニナツテ居リマシタノデスガ、其ノ殘  
ツタ部分ト申シマスガ、此ノ度ノ計畫モ約  
十六萬三千町歩バカリヲ目指シマシテ是等  
灌溉水ノ普及、或ハ千拓ト云フヤウナ計畫  
ヲ立テテ居リマス、ソレガ完成致シマスノ  
ハ昭和二十五年年度見越シテ居ルヤウナ譯  
デアリマス、大體六百八十萬石ト申シテ居  
リマスガ、私共ノ考ヘデハ極メテ手堅イ考  
ヘノ積リデアリマス、其ノ目的ヲ達スルヤ  
ウニ十分力ヲ入レマシテ、或ハ更ニソレ以  
上ノ結果ヲ見タイト考ヘテ居リマス



種ヲ増スコトガ第一ト思ヒマス、開墾シテ増加スルコトハ、一億ノ目標トシタ日本ノ人口ニ對スル食糧計畫トシテハ、何年カ後ニ是非ヤツテ行カレバナラヌコトト思ヒマス、目下ノ急務ハ一反當リノ増收デアリマス、一反當リノ増收ハ、朝鮮ノ方デハ出來ルガ、内地デハ容易デハアリマセス、内地ハ天候ニ惠マルレバ七千万石以上ニナルコトモアリマシヨウガ、天候ニ惠マルレバ、昨年ノ如キ七千万石ト云フ目標ニシテ居ツテモ、六千八百万石ト云フヤウナ減産デアツタ、十年二十年ト云フヤウナ先ノコトデナクテ、來年ノコトヲトウスルカ、之ニ全力ヲ集注シテ、食糧問題ニ對スル所謂集注主義ニテ反當増收ニ專念シテ行カレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ消費ノコトデアリマスガ、朝鮮ノ消費ガ増加シタコトハ私ハ驚イテ居ル、朝鮮ハ人口ハサウ増シテ居ナイ、内地ハ戰後三年四年ニナリマスカラ、百万石増シテモ、一人當リ一石八升バカリ食ベマスカラ、自然増加ハ仕方ガナイ、朝鮮ノ増加ハ戰前ニハ八百何十万石デアツタモノガ、今日ハ千七百何十万石、約八百何十万石ト云フノ増加デ、朝鮮ハ戰爭ニナツタカラ米ヲ多ク食フヤウニナツタノデアルカ、是ガ私ニハ了解出來ス、此ノ點ダケハ私ノ了解ノ行クヤウニ御説明願ハナケレバナリマセス、勿論内地ハ一人當リ一石八升、朝鮮ノ一人當リハ事變前ガ四斗何升、今ハソレガ六斗何升ニナツテ居ル、ソレカラ考ヘルト朝鮮ハ遙カニ一人當リ一石八升ヨリ少カツタ、若シ米ガ事變後急ニ消費ガ多クナツタトスレバ粟、麥、黍、稗ト云フヤウナ雜穀ガ殘ツテ來ナケレバナラヌ管デアル、粟モ麥モ

黍モ稗モ總テ食糧デアル、ダカラ朝鮮ノ米ガ八百万石多ク消費セラレルヤウニナツタ、他ノ雜穀類ガ殘ツテ來ナケレバナラヌ、然ルニ其ノ雜穀類モ足リナイト言フ事ガ私ニハ了解シ得ナイ、實ハ昨年モ農林大臣ガ私ノ質問ニ對シテ、三百万石朝鮮カラ米ガ來ルト云ハレタガ、私ハ三百万石ハ來ナイ、朝鮮カラハ殆ド其ノ十分ノ一モ來ナイト昨年言ツタノデアルガ、朝鮮ノ消費ガ千七百万石消費シテ居ル、然ルニ昨年朝鮮ノ生産額ハ千四百何十万石デアツタノデ、三百万石不足スル事ニナル、ソコデ三百万石來ル管ハナイト言ツタノデアリマスガ、其ノ時ハ農林大臣ハ必ズ來ルト云ハレタ、然ルニ僅カニ三十何万石來テ居ナイ、ソレダケヤハリ朝鮮ノ消費ガ多クナツタト見ナケレバナラヌ、消費ガ多クナツタ原因ハ何處ニアリカ分リマセス、今年モ農林省ハ朝鮮ヨリ五百万石移入スルト言ヒナガラ現在朝鮮ノ方ト約東シテアルノハ二百何十万石デアル、果シテ豫定ノ五百万石移入出來ルカ否カハ我が内地ノ食糧政策ノ上ニ非常ナ影響ヲ及ボス譯デアリマス、去年モ三百万石ノ見當違ヒヲシタガ、今年モ恐ラク二百數十何石ノ見當違ヒニナリハシナイカト思フ、果シテ農林省ノ言フヤウニ五百万石移出シタルカドウカ、消費増加ノ原因ガ單ナル景氣ガ好クナツタトカ、米ヲ食フヤウニナツタト云フヤウナ原因デハ承知シマセス、總體的ニ考ヘテ、總テ食糧全部ニ付テ増加シタノハドウ云フ原因カト云フコトニ付テ御尋ネシタイ、ソレト今年内地ニ對シテ五百万石移出スカドウカ、之ヲハツキリシテ置カナイト、今年ノ米穀政策ガ立チマセス、其ノ點ヲハツキリシテ置キタイト思ヒマス

○大野政府委員 ナゼ米ノ消費ガ増加シタカト仰セラレルガ、ナゼト申シテモ説明ハ出來ヌト思ヒマスガ、兎ニ角數字ノ上デ昭和十四年度ニ於テ千七百六十何十万石ヲ消費シテ居ルノデゴザイマス、ソレデヤハリ出來レバ段々食糧ニ付テ居ルノデアリマモ起リ得ルシ、出來ナケレバ食ベナイノデス、ソコデ一昨年ノ如キハ、御話ノヤウニ昭和十四年度、詰リ十五年度ハ千四百何十万石デアリマシタ、爲ニ非常ニ消費ガ少カツタ、ソレデ朝鮮ノ食物ハ内地ト非常ニ違フ點ハ雜穀ガ主ニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ米ガ寧ろ從ニナツテ居ル、ソコデ今朝鮮ノ消費ニ付テ申セバ、何時デモ雜穀ガ二、三百万石足りナイ、從前内地ニ餘リ米ガ入ツテ困ルト云フノデ、粟其ノ他大豆等ノ雜穀ニ付テ輸入關稅ヲ作ツテ自由ニ入レナイコトニ致シマシタ、サウシテ段々米ノ消費ヲ獎勵シテ消費デアリマス、是ハ當時ノ狀況トシテ内地ニ米ヲ持ツテ來ルナト云フ關係トシテハ當然ナ措置ヲ致シタ譯デアリマス、サウ云フヤウナ獎勵、ソレカラ又段々産業ガ一般的ニ發達スルシ、生活ノ程度モ上ツテ來ル、ソレカラ農家ノ經濟モ段々裕リガ出來テ來タ、斯ウ云フヤウナ理由デハ納得ガ出來ヌト仰セラレルカモ知レマセスガ、ソレヨリ外ニ私ハ原因ハナイト思ツテ居リマス、今餘所ニ出ルト云フ御話デアリマスガ、是ハサウ云フコトハゴザイマセス、假令出マシテモホソ少シデアリマセウ、内緒デ米ヲ持ツテ行ク者ガアリマセウガ、是ハ抑ヘテ居リマスカラ、其ノ點ハ全然ナイト考ヘテ居リマス

○ソレカラ今年内地ニ米ヲ移入ルカ、是ハ朝鮮ノ米ノ問題ニ付キマシテハ、私共非常ニ頭ヲ悩マシテ居ルノデアリマスガ、吾等ト致シマシテ内地ノ米ハ非常ニ窮乏ニナツテ居ル状態ハ能ク存ジテ居リマス、隨テ吾等ト致シマシテモ斯ウ云フ米穀事情ノ際ニハ、假令一石デモ餘計出スヤウニ出來ル限リ努力スルノガ當然ノ職務ト考ヘテ居リマス、左様ナ意味デ昨年ノコトヲ申セバ、昨年ノ千四百何十万石、是ハ雜穀ノ不足等カラ考ヘマシテ、約百五十何十万石ノ不足ガアルノデ、ソレヲ滿洲方面カラ大豆ナリ粟ナリデ補ツテ貰ツテ、アトノ百五十何十万石ハ米ト入替ヘニ出スト云フ計畫ヲ立テタガ、遺憾ナガラ其ノ通りニ行キマセシタ、本年ハ其ノ後實ハ多少實收高ナドガ變リマシタノデ、少シ後ニ動クカモ知レマセスガ、本年ハ御承知ノ通り第二回ノ豫想收穫高ガ二千九百何十万石デアリマス、ソレデハ之ニ對シテドレダケノ米ノ消費ヲ豫想シテ宜イカ、私共ハ色々調べ見マシテ、昭和十四年度米穀年度ノ消費ガ約千七百六十何十万石デアリマス、是ハ最も餘計消費シタ時デアリマス、之ヲ勘案致シマシテ、約千七百何十万石ノ消費スルノチヤナイカ、併シ斯ウ云フ時勢デアリマスカラシテ、之ヲ雜穀ヲ食ベテ或ル程度マデ抑ヘル、ドレ位抑ヘルカ、昨年ハ非常ナ早魃デアリマシタ爲ニ、私共ハ實ハ山野草マデ採ツテ食ベタト云フ通知ヲ出シマシタ、私共役人トシテサウ云フ通知ヲ出シタノハ初メデアリマス、今年ハサウハ行カヌノデ、約ソレノ七分位ヲ減ラスト云フコトニ依リマシテ、千六百何十万石ト云フモノヲ消費ニ振リ向ケル豫想デアリマス、其ノ外多少ノ持越ヲ見マス、結局内地ニ出シ得ルモノガ四百七十何十万石ト云フコトニナリマス、サウナルト四百七十何十万石ハ出

セルデハナイカト仰セラレデセウガ、今申上テヤウニ雜穀ノ收量ガ約二千三百万石デアリマスモノガ、丁度彼此レ三百九十何万石ノ雜穀ガ獲レナイデアリマス、ソコデ差引ラ數字ニ致シマスト、約三百何万石ト云フモノガ、兎ニ角無條件ニ内地ニ出シ得ル、其ノ他農林省トモ交渉ヲ致シマシテ、又滿洲方面トモ相談ヲ致シマシテ、或ハ粟ノ十五万トシ、或ハ大豆ノ十何万トシト云フモノヲ入レテ貰ヒマシテ、結局約三百五十何万石ト御承知願ツテ宜シト思ヒマス、是ダケヲ兎ニ角朝鮮デハ内地ニ御役立テラコトニナツテ居リマス、之ヲ甚ダ立入ツタ話デアリマスケレドモ、先達テ二百五十何万石デアリマスガ、其ノ差額ハ特殊ノ用途ニ用ヒラレモノト御承知願ツテ宜シト思ヒマス、今ノ所、其ノ積デアリマス、所ガ最近實收量ガ三十何万石積エマシタ、併シ雜穀ノ方ガドウモ少シ減ツタヤウナコトヲ言ツテ居リマス、是ハハツキリ其ノ數字ヲ言ツテ居リマセスガ、自然其ノ實體ニ依リマシテ、多少ノ移動ガアルト思ツテ居リマス、兎ニ角昨年ノ八月以來、朝鮮ニ於テハ雜穀ヲ都市ニ於テモ混入シ、ズツト混食シテ、京城方面ニ於テモ米ガ四割、雜穀ガ六割ト云フコトデズツト續ケテ參ツテ居リマス、今年ハ二千何百万石獲レタカラ、何モ雜穀ヲ食ベヌデモ宜イデアハナイカト云フコトヲ言ツテ居リマス、ソレヲ兎ニ角抑ヘテ、引續イテ斯様ナ時コソ内地ハ出スベキデアルト云フノデアツテ居ルト云フ點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○三善委員 三百五十何万石ト云ハレマスケレドモ、農林省デハ五百何万石トシテ計算シテ居リマスカラ、百五十何万石ノ相違ガアセテ數量トガ、ビツタリ來ナイト思フ、米

ルト思ヒマス、今朝鮮約東シタモノハ二百五十何万石ト云ハレマセスガ、實際ハ五百万石朝鮮カラ來ルヨウニ計畫シテ居リマスカラ、其ノ點ハ朝鮮ヨリ出シテ貰フヨリ外仕様ガアリマセス、私ハ朝鮮人ハ雜穀ヲ食ツテ、コチラニ米ヲ出セト云フノデアリマセス、併シ從來雜穀ガ本位デ、米ヲ從ニシテ居ツタノデアリマスカラ戰爭ガ始マツテモ雜穀ヲ主ニシテ米ヲ從ニシテモ宜イデアハナイカ、ソレヲ戰爭ガ始マツテカラ米ヲ本位ニシテ雜穀ヲ從ニスル、是ハ時局認識ガ少シ足ラヌデアリカト思ヒマス、併シナガラ私ハ朝鮮ニノ雜穀ヲ食ハシテ、内地ニ米ヲ寄越セト云フノデアリマセスカラ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ致シテ置キマスガ、先程ノ御説明デ私ガ誤解シニタイノハ、米ガ多ク獲レルカラ、自然米ヲ多ク食フヤウニナツタト云ハレ

ルガ、併シ朝鮮ハ昨年ト今年ハ減收デアリマス、以前ハ多ク獲レテ居リマスノデ、消費ガ以前ヨリ多クナツタ理由ハハナラヌト思ヒマス、ソレガアナクノ言ハレルヤウニ、事變關係デ、景氣ノ關係モアリマセウカラ、購買力ノ増加ト云フコトモアリマセウカラ、ソレダケノ購買力増加ニ依リテ消費ガ多クナツタ、斯ウ云フコトニナツテ米ノ消費ガ多クナツタトモ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、雜穀ト米ト合シテ見マスト、戰爭前ニ雜穀ヲ食ツタノ戰爭後ニ食ツタノ、ソレカラ戰爭前ニ雜穀ガドレ位他ノ方カラ移入若クハ輸入ヲサレタカト云フコトヲ考ヘマスト、戰爭前ノ米ト雜穀ト合セテ消費ノ數量ト、戰爭後ノ米ト雜穀ト合セテ消費ノ數量ト、ビツタリ來ナイト思フ、米







○大野政府委員 私人討論ヲ致ス譯デアリマセシガ、數字ヲ申上テテ置キタイト...

○高田委員 朝鮮ノ方ヲ一寸伺ヒマスガ、十五米穀年度ノ米ノ消費量ハ幾ラデスカ...

○中嶋(一)政府委員 一寸御答ヘテ致シマス前ニ、數字ヲ訂正致シタイト思ヒマス...

五十九錢、昭和十五年第一期作ニ於キマシテハ二十五圓十錢トナツテ居リマス...

○高田委員 尙ホ最後ニ伺ツテ置キタイコトハ、私實ハ臺灣ノ米穀移出管理ノ特別會...

○中嶋(一)政府委員 一寸御答ヘテ致シマス前ニ、數字ヲ訂正致シタイト思ヒマス...

ト一寸伺ヒタイ 御答ヘテ致シマス前ニ、數字ヲ訂正致シタイト思ヒマス...

テ御述ベニナリマシタヤウニ、一甲當リノ收量ヲ増加致シマスルコトト、竝ニ空地或ハ閑地ノ利用...

居リマスル看天田デスカラ、看天田ナドノ甲數ガ相當多イ爲ニ、植付面積ニ於キマシテモ...



昭和十六年一月三十一日印刷

昭和十六年一月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第二號)

第七十六回帝國議會 院 豫算委員第一分科(外務省司法省及拓務省所管)會議錄(速記)第二回

(三三)

會議 昭和十六年一月三十一日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

主查 依光 好秋君

鶴見 祐輔君

窪井 義道君

武田徳三郎君

笠井 重治君

高田 振平君

出席國務大臣左ノ如シ

出府政府委員左ノ如シ

拓務大臣 秋田 清君

拓務次官 北島謙次郎君

拓務省管理局長 副島 勝君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

拓務省拓北局長 今吉 敏雄君

拓務省拓南局長 森部 隆君

拓務書記官 中野 勝次君

朝鮮總督府政務總監 大野 綾一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 齋藤 樹君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

樺太廳長官 小川 正儀君

南洋廳長官 近藤 駿介君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十

六年度各特別會計歳入歳出豫算案中拓務

省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

ヲ要スル件中拓務省所管

○依光主查 是ヨリ會議ヲ開キマス、拓務省關係ノ豫算ニ付テ昨日ニ引續イテ質疑ヲ許シマス——笠井重治君

○笠井委員 私人本日本地方戰時日本ニ如何ナル貢獻ヲナシテ居ルカラウカト云フ意味ニ於テ本質問ヲ致シタイト思フテ居リマス、隨テ樺太、朝鮮、臺灣、南洋方面ノ資源開發ト云フコトニ付テ御伺ヒテ致シタイト

思フテ居リマス、而シテ最後ニ滿洲開拓移民ノ問題ニ付テ御伺ヒテ致シタイト思フテ居リマス、先ヅ以テ樺太ニ關スルコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、樺太ニ於テハ昨年

初メ諸君ガ隨分御盡力ヲ下サレ感謝シテ居リマス、併シテナガラ昨年ハ努力ノ不足ニ依ツテ十分石炭ノ増産ガ出来ナカウツカヤウ

デアリマス、政府ハ當時朝鮮カラ労働者ヲ移入スルト云フ案ヲ立テテヤウデアリマシ

タ、故ニ私ガ只今樺太長官ニ伺ヒシタ

イコトハ、本年度ニ於ケル石炭ガドレダケ増産サレテ居ルカ、如何ナル狀況ニアルカ、

又樺太ノ森林事業ガドウナツテ居ルカ、昨日ノ秋田拓務大臣ノ御説明ノ計畫ニ依レバ、官

行研伐ヲ行ヒ、之ニ對シテ豫算百四十四万七

千圓ヲ計上サレテ居リマスルカ、森林事業及

ビ木材其ノ他ノ輸出ノ状態ハ如何デアラウ

カ、如何ナル伐採ヲシテ居リマスルカ、且ツ

又其ノ森林伐採ノ結果、コバルトノ製産ノ

情勢ガ如何ナル方面ニドレダケノ増額ヲ致

シテ居ルカ、斯ウ云フコトニ付キマシテ、樺太

ノ最近ノ發展振興ト樺太ノ増産方面ニ付テ

ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フテ居リマス

○小河政府委員 只今ノ笠井委員ノ御尋ネニ御答ヘテ申上ゲマス、樺太ト致シマシテハ領有三十五年ニ相成ツテ居リマシテ、其ノ間經濟上ノ發展ハ遅々トシテ最近マデ參

ツタノデゴザイマスルガ、最近ノ時局ニ對

應致シマシテ、樺太ガ持つテ居ル資源ヲ以

テ此ノ國家非常時ニ對應シ得ルモノハ十分

御務マテ致シタイ、斯ウ云フ考ヘテ以テマ

シテ、石炭及ビ木材並ニ木材ノ原料トスル

所ノコバルト、人絹、バルブ等ノ増産ニ只

今努力ヲ致シテ居ルモノデゴザイマス、昭和

十五年度ニ於キマシテハ樺太ノ増産計畫ト

致シマシテ、或ハ此ノ數字ハ外部ニハ出セ

ナイ數字カト思ヒマスルガ、石炭ノ生産ト

致シマシテ六百七十万トシテノ生産ヲ舉ゲル

豫定デゴザイマシテ、其ノ中ノ四百三十五

万トシテノ内地及ビ朝鮮ニ移出ヲ致シテ計

デアツタノデゴザイマス、然ル所増産ノ方

ニ於キマシテハ、總理大臣ノ施政方針ノ御

演説ノ中ニモアリマシタ如ク、大體計畫通

リニ増産ヲ遂行シ得タノデゴザイマシテ、

實産見込額ハ六百六十二万餘トシテ云フ

豫定デゴザイマス、恐テク是ヨリモ多クナ

ツテ當初ノ計畫通りノ増産ニ行クト實ハ考

ヘテ居リマス、昭和十六年度ニ於キマシテ

ハ、八百五十万トシテノ生産ヲ致シ見込デ

アリマス、此ノ點ニ於キマシテモ、生産ニ

關スル限りニ於キマシテハ、只今不足シテ居

ル資料、努力ノ下ニ於キマシテモ、是ダケ

ノ増産ハ十分ニ達セ得ルト確信致シテ居

リマスルシテ、業者モ亦其ノ意氣込デ只今

増産ニ從事致シテ居リマス、唯内地ヘノ

移出ノ問題ハ、天候其ノ外ノ關係、又船繰

リノ關係デ、當初ノ豫定ノ四百三十五万

トシテノ移出スル計畫デアリマシタガ、五

十萬トシテノバカリ積殘シガ出来マシテ、豫

定通りニ運ビ得ナカウツタノデゴザイマス、

明年ハ又五百九十萬トシテノ移出致シ計畫

ニナツテ居リマスルガ、此ノ點モ船繰ノ船

繰リ等ガ十分ニ行キマスル限リニ於キマシテ

ハ、移出シ得ル見込ヲ持つテ居リマス、ソ

レカラ森林ノ状態デゴザイマスルガ、御承

知ノヤウニ、樺太ノ森林ハ過去數年間、或

ハ十數年間濫伐ヲ續ケマシタ結果、先年樺

太ノ森政ヲ確立致シタノデゴザイマス、其

ノ際ノ標準年伐量トシテ定メラレマシ

タモノハ千三百六十八萬石ト云フ豫定デア

ツタノデゴザイマスルガ、御承知ノヤウニ

前カラノ既契約ニ基テ義務ニ屬シテ居ル所

ノ年契約ノ伐採其ノ他ガアリマシテ、實

際上ハ年伐量ヲ超エテ伐採ヲ致シテ居リマ

ス、昭和十四年度ニ於キマシテハ千三百六

十八萬石ニ對シマシテ二千三百三十三萬石

ト云フ伐採ヲ致シテ居リマシテ、約一千万石

ノ過伐ト相成ツテ居リマス、昭和十五年

ニ於キマシテハ、千三百六十八萬石ニ對シ

マシテ二千五百三十三萬石ノ伐採量デゴザイ

マシテ、是亦一千万石以上ノ過伐ニ相成ツ

テ居リマスルガ、此ノ内、時局ニ對應致シマ

シテ、軍部ノ公用材ニ供出ヲ致ス必要ヲ生

ジマシテ、軍部公用材ト致シマシテ大體昭

和十五年度ニ於キマシテ、立木デ百七十萬

石、丸太ニ致シマシテ約八十五萬石ノ供出

ヲ致シテ居リマス、昭和十六年度ニ於キマ

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄

第二回 昭和十六年一月三十一日

三九



シテハ、百六十六万石ノ供出ヲ致ス豫定ニ  
相成ツテ居リマス、隨テ立木ト致シマスル  
ト、四百三十二万石ト云フコトニ相成リマ  
スルガ、斯様ナ過伐ニ相成ツテ居リマシテ、  
樺太ノ將來ノ林政ニハ多少ノ不安ハアリマ  
スルガ、是等ノ公用材ノ供出ハ、主トシテ  
今マデ殘ツテ居リマシテ、遺利ノ開發致  
シマシテ、今マデノ林政ノ中ニ積算シテナ  
カウツ枯損木、或ハ燒損木等ノ遺利、其ノ  
他伐採計畫ニ入ツテ居ラナカウツ材木ヲ伐  
採致シマシテ之ニ充テル積リテアリマシテ、  
ソレニ依ツテ將來ノ樺太ノ林分ノ保存ト云  
フコトニ努メタイト思フテ居リマス、ソレ  
ト共ニ明年度カラハ官行造林モ之ヲ非常ニ  
擴張致シマスルシ、又民間ノ造林モ擴張致  
シマスルシ、更ニ不日御審議ヲ仰ギマス樺  
太開發會社ト云フモノヲ設立致シマシテ、  
此ノ會社ニ今後十箇年間ニ約六万町歩ノ無  
立木地ニ人口植栽ヲ致サセマシテ、將來ノ  
樺太ノ林分ノ保存永續ト云フコトニ力ヲ致  
シタイト思フテ居リマス、幸ニシテ當局ノ  
計畫致シテ居リマスル如ク、是方實行致サ  
レマシテハ、於キマシテハ、將來ノ材木ノ  
伐出シニハ不安ハナシト只今デハ考ヘテ居  
リマス

ソレカラ此ノ伐採致シマシタ材木ニ基ク  
「バルブ」ノ生産デゴザイマスルガ、是モ昭  
和十五年度ニ於キマシテハ、製紙用「バル  
ブ」三十四万一千餘「トン」ノ生産ノ計畫デゴ  
ザイマシタガ、此ノ點ニ於キマシテハ各種ノ  
事情デ僅カバカリ此ノ計畫ニ副フコトガ出  
來マセズ、只今ノ見込デハ三十三万三千  
餘「トン」ノ生産ノ見込デゴザイマス、尙ホ  
人相「バルブ」ニ於キマシテハ、八万六千  
「トン」ノ生産ノ豫定デゴザイマシタガ、八  
万五千「トン」ノ實際ノ生産ヲ見込見込デ  
アリマシテ、是亦略シテ一致スル程度ノ  
増産ヲ致シテ居リマス、其ノ外低濕乾溜ニ  
依リマシテ液體燃料並ニ「コーク」ノ生  
産ニ當ツテ居リマスガ、此ノ外樺太人造石  
油工場ノ完成ヲ待チマシテ、將來液體燃料  
方面ニ於キマシテモ、年産五万「トン」ヲ目標  
ト致シマシテ、只今工場ノ建設ニ急イデ居  
リマス、此ノ工場完成ノ上ハ此ノ方面ニモ  
貢獻シ得ルモノデアラウト思ヒマス、併シ  
ナガラ今日ノ國際情勢並ニ國內ノ液體燃料  
需給ノ實際ニ鑑ミマシテハ、將來更ニ液體  
燃料増産ノ必要ガアルト思ヒマシテ、此ノ  
點ニ於キマシテモ、樺太トシテ其ノ一  
翼ヲ負擔シテ居リマス、斯様ニ考ヘテ居リ  
マス、天然石油ノ點ニ於キマシテハ今マデ  
多少ノ試錐ヲ續クテ參リマシタケレドモ、  
不幸ニシテ未ダ油ノ產出ヲ見ルニ至リマセ  
ズノデゴザイマスガ、只今試錐ヲヤツテ居  
リマスノハ、本斗ノ南ニアリマス所ノ牛荷  
澤ト云フ所ニ第四號井ヲ掘ツテ居リマス、  
是ハ只今試錐ヲ始メバカリデゴザイマシ  
テ、マダ其ノ成績ハ此處デ御發表申上ゲル  
マデハ行ツテ居ラズノデゴザイマスガ、  
第三號井ニ於キマシテハ相當ノ油分ヲ見テ  
居リマスノデ、或ハ此ノ試錐ニ依ツテ油ニ  
當ルコトガアルカモ知レズトハ考ヘテ居リ  
マス、併シナガラ僅カニ毎年一本ツツ位ノ  
試錐デハ、到底アノ廣イ油田ノ探求ヲ致ス  
ト云フコトハ至難ナ問題デアリマスノデ、  
將來ハ之ヲ擴張シテ十分天然石油ノ賦存ノ  
實情ヲ確メタイト考ヘテ居リマス、併シナ  
ガラ今日資材並ニ技術者ガ不足致シマシテ、  
來年度豫算ニ於キマシテモ今一本試錐ヲ續  
ケルト云フ程度ニ止マツテ居リマス點ハ甚

ダ遺憾デゴザイマスガ、業者ニ對スル補助  
金ノ割合ハ昭和十五年度ヨリモ増シマシテ、  
サウシテ十分ノ致シタイト考ヘテ居リマ  
スガ、更ニ十七年度以降ニ於キマシテハ尙  
ホ多數ノ試錐ヲ續致シタイト考ヘテ居リ  
マス  
○笠井委員 大體分リマシタ、ソコデ私ハ  
時間ヲ成ベク短縮致シマス爲ニ一括シテ御  
同ヒ致シマスカラ、ドウゾ其ノ御積リデ御  
答辯願ヒマス、今樺太ニ關スル増産計畫、  
森林其ノ他石炭ニ付キマシテ色々同ヒマシ  
タガ、一番心配ニナリマスコトハ、樺太ニ  
於ケル森林ノ濫伐、只今申サレタヤウニ一  
年ニ一千万石ノ過伐ヲシテ居ルト云フ、殊  
ニ製紙會社ガ濫伐ヲシテ居リマスガ、是ハ  
樺太廳ニ於テモ十分監督ヲセラレ、サウシテ  
彼等ヲシテ徒ラニ濫伐セシメスノミナラズ  
造林ヲサセル、出來得ベクシテ強制的ニ造  
林セシメルコトヲヤツテ戴キタイ、尙ホ樺  
太廳ニ於テ造林スルノミナラズ、會社ヲシ  
テ増殖セシメル必要ガアラウト思ヒマス、  
第二ハ交通ノ點デアリマスガ、本年度ノ豫  
算ニ買収ノ鐵道經營其ノ他ニテ一千八百八  
二万圓計上セラレテ居リマスガ、是ハ今ドウ  
ナツテ居ルカ、サウシテ惠取方面ノ鐵道關  
係ハ如何デアルカ、「レール」ヲ替ヘルト云  
フコトガアルカヤウデアリマスガ、是等八十  
分改良ガ出來マスノカ、現在ノ情勢ハ如何ウ  
デアリマスカ、之ニ就テ伺ヒタイ  
第三ハ、太平洋ニ於ケル「シール」ニ關ス  
ルコトデアツテ、昨年「アメリカ」「カナダ」「ロ  
シア」日本ノ四國條約ニ付テ、日本政府ガ單  
獨ニ是ガ廢棄ヲ通告致シマシタ、太平洋ノ  
「シール」ハ「ソ聯」「コンマンンドロスキ」  
島、「アメリカ」側デアリマス、「セント・ジ

ヨージ」「セント・ポール」ノ二島、ソレカラ日  
本側ノ樺太ニ屬スル島ニ棲息シテアリマス  
ガ、日本ノ領域ニハ割合ニ數ガ少イノデア  
ル、今後此等ヲ如何ニ捕獲セムトスル積リ  
カ、一年ノ産額ハドノ位ニナリマスカラ一  
寸伺ヒタイ、是マデハ條約ニ依テ捕獲數ヲ  
制限サレテ居リマシタガ、今後如何ナル方針  
ヲ以テ臨ムカニ付テ伺ヒタイ、第四ノ問題  
ハ「ソ聯」ノ關係ニ於テ、國境警備ハ如何  
ニナツテ居ルカ、偶ソ聯ノ飛行機ガ越境シ  
テ來ル、日本側カラ行クモノハ捕ハレルト  
云フコトガアルカヤウデスガ、御答辯ノ出來  
ル範圍ニ於テ最近ノ情勢ヲ伺ヒタイ、「ソ  
聯」ハ如何ナ出方ヲシテ居リマスカ、其ノ點  
ニ付テ伺ヒタイ、是等四點ニ付テ御意見ヲ  
伺ヒタイト思ヒマス  
○小河政府委員 御答ヘヲ申上ゲマス、樺  
太ノ森林ノ將來ニ對シテ御關心ニ相成ツテ  
居リマス點ハ全ク同感デゴザイマシテ、樺  
太廳當局ト致シマシテモ非常ニ心配ヲ致シ  
テ居リマス、政府ノ官行造林及ビ將來設立  
セラルベキ樺太開發株式會社ニ依リ造林ノ  
外ニ、王子製紙ニ對シマシテモ是方造林ヲ  
擴張致シテ居リマス、是ハ強制トマデハ行  
キマセズガ、製紙會社ニ於キマシテモ造林  
ヲ致シタイト云フコトデ、只今ノ見込デハ  
大體今後十二年間ニ十萬町歩以上ノ植林  
ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、其ノ  
外各炭礦業者ガ坑木トシテ使用致シマスル  
材木モ非常ニ多量ニ上ツテ居リマス、本年  
ハ大體四十五萬石、來年ハ六百五十萬石バカリ  
ノ材木ヲ使ヒマスルガ、是等ノ各炭礦ニ於  
キマシテモ、一定數量ノ出炭ニ對シテ、一  
定面積ノ植林ヲスルト云フヤウニ申合セテ  
今致シテ居リマシテ、此ノ方面カラモ植林

ヲ續クテ行キマシテ、只今無立木地方大體  
三十五萬町歩ゴザイマスガ、此ノ三十五萬  
町歩ノ無立木地方今後十六箇年位ノ内ニ全  
部人工植栽ヲシテシマヒタイ、斯ウ云フ計  
畫デ今進ンデ居リマス、何卒御諒察ヲ願  
ヒタイト思ヒマス  
ソレカラ交通機關ノ問題デゴザイマスガ、  
昨年ノ議會ニ於テ御協賛ヲ經マシタ樺太鐵  
道買収ハ來ル三月末日ヲ以テ引續クコトニ  
相成ツテ居リマシテ、是ハ引續クテシマシ  
タナラバ、此ノ鐵道ノ改良ヲ圖リタイト思  
フテ、御手許ニ出シテ居リマス來年度豫算  
ニ是方改良費ノ要求ヲ致シテ居リマス、是  
ハ今後四箇年間ニ改良ヲ致シタイト云フノ  
デ、軌條ノ交換ヲ主トシテ、是ハ「ゲージ」  
ノ問題デアリマセズガ、「レール」ガ只今  
四十五「ポンド」ノ「レール」ヲ敷イテ居リマ  
ス距離ガ相當ゴザイマスノデ、之ヲ六十「ポ  
ンド」ノ「レール」ニ交換ヲ致シタイ、ソレカ  
ラ貨車汽罐車等ノ車輛ガ不足致シテ居リマ  
スルノデ、此ノ車輛ノ増備及ビ建築物ノ改  
造等ガアリマスルガ、建築物ノ改造等ハ最  
後ニ廻シマシテ、取敢ズ軌條ノ交換、車輛ノ  
増備ト云フコトヲ致シタイト考ヘテ居リマ  
ス、ソレカラ只今御尋ネノ惠取取方面ニ向  
ヒマス鐵道ハ、是ハ鐵道建設ノ方デゴザイ  
マシテ、只今新線ヲ敷イテ居リマス、西海  
岸線ハ只今マデハ久春内カラ惠取取ニ  
至ルマデノ距離ノ鐵道ヲ只今建設中デゴザ  
イマシテ、是カラ四十四、五「キロ」ゴザ  
イマス珍内ト云フ所マデハ、大體路盤ノ構  
築ヲ終ツテ居リマシテ、其ノ内約十六「キロ」  
ハ資材サハ許セバ來年度豫算デ敷設致シマ

シテ、サウシテ營業ヲ致シタイ、斯様ニ  
考ヘテ今折角建設ヲ贊助致シテ居ル所デゴ  
ザイマス  
次ハ「シール」ノ問題、是ハ御承知ノ如ク  
帝國ハ昨年四箇國條約ヲ將來ニ向ツテ效力  
ヲ失ハシムル聲明ヲシ、此ノ通達ヲ關係國  
ニ致シタノデアリマスガ、是ハ條約ニ依ツ  
テ一箇年後ニ效力ガ發生スルコトニナツテ  
居リマスノデ、本年ノ秋カラ其ノ效力ヲ見  
ルコトニナツテ居リマス、是方對策ニ付キ  
マシテハ、目下農林省及ビ拓務省ノ間ニ協  
議ヲ進メテ居リマスガ、マダ具體的ニ此處  
ニ其ノ結果ヲ申上ゲルマデノ程度ニ立至ツ  
テ居ラナイノデゴザイマス、隨テ陸上捕殺  
ダケニ止マルヤ、海上捕殺モ之ヲ認メルヤ、  
而モ其ノ捕殺ノ頭數ヲ如何程ノコトニスル  
カト云フ點ニ付キマシテハ、今後ノ折衝ニ  
俟チマシテ、帝國ノ方針ガ定マツタ上デナ  
イト一寸御答致シニタイト思ヒマス  
次ハ國境警備ノ問題、昨年以來國境警備  
ノ充實ニ努メテ參リマシテ、御協賛ヲ經マ  
シタ豫算ニ基キマシテ、ソレノ施設ヲ進  
メツツゴザイマスルガ、マダ是デ萬全デア  
ルト云フ程度ニハ參ツテ居リマセズ、隨テ  
來年度豫算ニモ是方經費ヲ要求致シマシテ、  
警察官ノ充實、設備ノ完成ト云フ方面ニ進  
ミタイト思フテ居リマスガ、日「ソ」國境ノ狀  
態ハ「樺太」ノ國境ト云フモノハ、日「ソ」  
國境ノ一部分デアリマシテ、一班ヲ以テ全  
約ヲ判斷スルコトハ甚ダ至難ノコトデア  
ルトハ思ヒマスルガ、現在ノ所デアサウ大  
シタ不穩ノ狀況ハ無イヤウニ認メテ居  
リマス、毎年冬期ニナリマス、汽船ガ參  
リマセズノデ、郵便物交換ハ陸ノ國境ニ於  
テ致スコトニナツテ居リマスガ、是ハ不穩

ニ毎時行ハレテ居リマス、唯向フガ非常ニ  
打解ケテ和ヤカニナツテ居ルトモ言ヘスノ  
デゴザイマシテ、郵便交換ニ於キマシテモ  
マツテ居リマス、併シナガラ差當ツテ別ニ  
ドウスウト云フヤウナ氣配ハ認メラレナイ  
ノデゴザイマスガ、併シ是モ國際情勢ノコ  
トデアリマシテ、何時如何様ニ變ルカ分ラ  
ズト思フテ居リマスノデ、樺太廳ト致シマ  
シテハ、十分國境警備ヲ嚴ニ致シマシテ、  
彼ノ來ラザルヲ俟タズ我ガ備ヘアルヲ俟ツ  
ト云フコトニ致シタイト思ヒマシテ折角努  
力致シテ居ル次第デゴザイマス  
○竹井委員 諒察致シマシタ、樺太長官ニ  
對スル質問ハ是ニテ打切りマス  
次ハ滿洲開拓民ノ問題ニ付テ伺ヒタイ  
思ヒマス、之ニ付テハ豫算總會ニ於テ拓務  
大臣ノ滿洲開拓ニ對スル御抱負御經驗ニ就  
テ十分拜聴致シ、相當彈力性ヲ持ツテ居ル  
コトヲ伺ヒマシタ、我ガ日本ト致シマシテ  
ハ大和民族ノ大量移住ヲ大陸ニ向ツテ行  
ハルモ必要デアツテ、國家的重大事業  
デアルト思ヒマス、固ヨリ之ヲ政府ノ力デ  
ヤルコトハ當然デアリマス、而シテ今後時  
局ノ推移ニ依ツテ、送出スル人員ヲ増減ス  
ルコトモアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テ  
ハ當局トシテ萬々豫算ナキヤウニ努メテ戴  
キタイト思ヒマス、ソコデ今年度ノ豫算ニ  
依リマスガ、拓務省ノ滿洲開拓民ニ關スル  
經費ノ增加ガ、三千九百六十五万九千三百  
十一圓トナツテ居リマス、此ノ中集團開  
拓民ニ要スル經費ガ一千四百八十八万九千  
四百四十七圓、青年義勇隊ニ要スル經費ガ、二  
千三百七十四万八千八百九十五圓トナツテ  
居リマス、青年義勇隊及ビ滿洲開拓民ノ現

狀ニ付キマシテハ、國民モ多大ノ關心ヲ有  
シテ居リマス、政府ハ多額ノ國幣ヲ費シテ  
我ガ民族ヲシテ指導者ヲラシメ、一旦國境  
ニ重大問題ガ起リマシタ時ニハ、是等ノ移  
住シタ同胞ガ、先ツ尖端ヲ切ツテ其ノ衝ニ  
當ツテ行クト云フ重大ナ責務ヲ持ツテ居ル  
ヤウニ伺ツテ居リマス、此ノ青年義勇軍ハ  
昭和十二年以來實績ヲ舉ゲテ居ルヤウデア  
ツテ、之ニ付テハ朝野各方面ニ於テ成功ヲ  
希望シテ居リマス、今日マデ送出シタ人數  
ヲ見マス、昭和十三年度ニ青年義勇軍ガ  
二万四千九十九人、昭和十四年度ニ一万八  
十八人、昭和十五年度ニ八千四百八十一人  
デ、年々減少シテ居リマス、今日マデ合計  
三万九千四百四十八人、トナツテ居ル譯デ  
アリマス、私ハ内原訓練所ニ對シテハ多大  
ノ興味ヲ持チ、且ツ又多大ノ希望ヲ持ツテ  
居ルノデアリマス、而シテ其ノ費用ガド  
ノ位ニ達シタカト云ヘバ、相當ノ額ニ上ツ  
テ居リマス、内原ノ義勇軍訓練所ノミニ於  
テ、今年ノ如キハ百九十九万八千八百十四圓  
ト云フ豫算ヲ計上シテ居リマス、最初ノ昭  
和十一年度ニハ四十六万七千三百十圓デア  
ツタモノガ、今年度ハ二百萬圓ニ達シテ居  
リマス、ソコデ茨城縣内原ノ青年義勇隊訓  
練所ニ隣接セル鹽瀨村ニハ幹部訓練所ガア  
ル、而シテ幹部訓練所及ビ青年義勇隊訓  
練所ハ如何レモ加藤完治氏ガ所長トナツテ指  
導サレテ居リマス、是ハ非常ニ立派ナ仕事  
デアツテ加藤氏ニ對シテモ敬意ヲ拂ツテ居  
ルノデアリマスガ、斯カル仕事ハ最早ノ一  
個人ニ任セバキ仕事デハナシト思ヒマス、  
今日ハ委託事業ニナツテ居リマスガ、政府  
ノ直轄ノ下ニ國營トナセバキ事業デアルト



思フ、如何トナレバ、只今滿洲ニアル義勇軍ノ中ニハ非常ニ失望シテ居ル青年モアリ、或ハ結核其ノ他ノ病ニ罹ル、醫者ガ居ラス爲ニ治療ヲ得ル能ハザル者スラアル、故ニ彼等ノ父兄及ビ町役場等ニハ心配シテ居ルモノガ往々アリマス、斯カル缺陷ノ原因ガ何レニアルカヲ調査スル必要ガアリマス、今日其ノ規模ガ擴大セラレタ故ニ最早一個ノ人ヤ一協會ニ任スベキ仕事デハナイト思ヒマス、現地ニ於テハ幾多ノ秘密ガ有リマシテ是正ノ可キ問題ガ多クアリマス、コトハ遺憾デアリマス、併シテ何トシテモ民族ノ將來ヲトスベキ大事業デアリマス故ニ、拓務省當局ハ十分之ヲ監督スベキデアリト思ヒマス、而シテ之ヲ改革セムトセバ須ラク今ノ委託事業ヲ政府ノ直轄事業ニナスベキデアリト思ヒマス、今年デナクモ漸次國營ニ向ツテ進マナケレバナラナイト信ジテ居リマス、私モ内原及ビ鯉淵村訓練所ヲ視察シマシタガ、相當ニ改良ス可キ點ガアリマス、故ニ私ハ是等ノ缺陷ヲ指摘セントスルニアラズシテ、寧ロ之ヲ是正セントスル意味ニ於テ、一刻モ速ニ之ヲ委託事業ヨリ拓務省ノ直轄事業トナスベキコトヲ要望スル次第デアリマス、此ノ點ニ付テ拓務當局ノ御所見ヲ伺ヒたいと思ツテ居リマス

○北島政府委員 滿洲開拓民指導者ノ訓練ニ義勇軍ノ訓練ニ關スル事務ハ、現在滿洲移住協會ガヤルト云フ建前ニナツテ居リマシテ、更ニ移住協會カラ御承知ノ加藤完治サニ、訓練ヲ委託スルコト云フ形ヲ取ツテ居ルノデアリマス、之ヲ政府ノ直轄事業ニシタラドウカト云フ御意見ノヤウデゴザイマスガ、只今色々御述ベニナリマシタ通りニ、滿洲義勇軍及ビ指導者ノ訓練ト云フコトハ、色々ノ意味ニ於キマシテ非常ニ重要ナコトデモゴザイマス、而モ現在ノヤウニ相當大規模ニナリマス、中々其ノ間ニ色々實行上ニ於テ困難モ伴ヒマス、又色々多少其ノ間ニ第三者カラ見マシテ、彼此レ言ハレバヤウナ事態モナイトモ限ラナイト思フノデアリマス、政府ト致シマシテハ今後十分監督モ嚴重ニ致シマス、十分研究スベキモノトシテ、善キモ全然御同様ニ感ジテ居リマス、唯何分ノ直ダ國營ニスルト云フコトニ付キマシテハ餘程調査研究致シマシテ、慎重考慮ヲ要スル問題ト思ヒマスガ、御趣旨ノ存スル所ハ十分諒承致シマシテ、出來ルタケ少クモ現在ノヤウナ形ニ於キマシテモ、益々監督其ノ他十分ニ致シマシテ、相當ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ致シマス、場合ニ依ツテハ將來國營ニ移スト云フコトモ、十分研究致シたいトス様ニ考ヘテ居リマス

○笠井委員 北島次官ノ御答辯ニ付テハ諒承致シマシタ、更ニ一點伺ヒたいコトハ今日政府ノ如何ナル監督ヲシテ居ルカ、移住協會ニ對シ或ハ内原、鯉淵ノ訓練所ニ對シテ如何ナル監督ヲナシテ居ルカ、監督官ニテモ送ツテ居ルノデアリカニ就テ伺ヒたい、サウシテ國營ニ致シマスルコトハ、連ニ今年カラ來年ニ向ツテ實行スルコトハ困難デアラウト思ヒマスガ、漸次其ノ方針ヲ以テ進ンデ戴キたい、此ノ點ニ付テ更ニ伺ヒマス

○北島政府委員 現在拓務省トシテ監督シテ居リマス、其ノ方法トシマシテハ、常時監督ノ爲ノ人間目下ノ所ハ置イテ居リマセス、併シ一方會計検査院モ毎年所謂補助

團體ノ一ツトシテ検査員ガ實地検査モ致シマシテ、其ノ際ニ拓務省トシテモ勿論立會ウテ色々サウ云フ監督上ノコトヲ取調ベテモ居リマス、又必要ニ應ジマシテ、拓務省トシテハ度々色々ノ取締ノコトヲヤツテ居ルノデゴザイマス、併シ先程モ仰セニナリマシタヤウニ、最近ノ義勇軍ノ訓練ハ非常ニ金額ト云ヒ、頭數ト云ヒ非常ニ大規模ナモノニモナリマシタノデ、以前トハ違ヒマシテ、今後更ニ一層取締ヲ嚴重ニ致シテ行キたいト考ヘテ居リマス

○笠井委員 北島次官ノ御答辯ハ諒承シマシタ、ドウゾ十分ニ御監督ヲ願ヒマス、サウシテ出來得ベクンバ、近キ將來ニ於テ國營ニ移スト云フ方針ヲ以テ進ンデ戴キたいと思ツテ居リマス

○北島政府委員 北島次官ノ御答辯ハ諒承シマシタ、昨年ノ議會デハ龍津嶺ヲ新設セントノ計畫ヲ御立テナツテ居リマシタガ、北鮮方面ノ最近ノ發展ノ程度ハドウナツテ居リマス、更ニ茂山ノ鐵道及鐵道、清津方面ノ工業ノ發達、我ガ産業進展ニ貢獻シテ居ルコトハ偉大ナモノナリト思ヒマス、尙ホ最近ノ産金ノ狀態、及ビ金ノ支那方面ヘノ密輸出取締等ニ付テ簡單ニ重要ノ「ポイント」ニ付テ伺ヒたい

又可ナリ大キナ軍馬補充部ノ土地ヲ開放スルコトニ依リマシテ、國際幹線ノ主要ナル出入港トシテノ面目ヲ整ヘルコトニ、ソレゾレ遺憾ノナイヤウニ進ンデ居リマス

ソレカラ清津及ビ其ノ背後、大體茂山ヲ中心ト致シテ居リマス、是等ノ鐵ノ開發ニ付キマシテハ、是亦大體計畫通り進捗シテ居リマシテ、其ノ他各方面ニ於ケル鐵鑛石ガ朝鮮ニ於テハ溧山アリマスガ、我ガ日本ノ鐵ノ生産、鐵鑛石ノ供給ノ割合ヲ申上ゲマス、五割四分ヲ示シテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、今日ノ日本ノ鐵ノ生産ニ於キマシテ非常ニ寄與致シテ居ルコト云フコトヲ申シテ置キマス、鐵ニ於テサウデアリマス、又是ガ加工ノ上ニ於テモ或ハ三菱ノ今ノ直接製鋼法、又日本製鐵ノ工場、ソレカラ御承知ノ高周波ノ工場、是等ガソレ々着々進行致シテ居リマシテ、是ガ日本ノ今日ノ窮迫セル鐵ノ供給ニ於テ非常ニ役割ヲ致シテ居リマス、朝鮮當局トシテ非常ニ愉快ニ存ジテ居ル次第デアリマス

ソレカラ金デアリマスガ、是ハ色々ノ經濟ガアリマシテ、最近關係者間ニ於テ更ニ増産ノ線ニ沿フヤウニ協定ヲ致シマシテ、今後ハ非常ニ良クナルト思ツテ居リマス、多少停滯ヲ致シマシタ、是ハ買上價格等色ノ關係ガアリマシテ、足踏ミヲ致シタノデアリマスガ、先ヅ一寸、二年豫定計畫ヨリ遅レタ狀態ニナツテ居リマス、併シ今度左様ナ計畫ガ出來マシタノデ、恐ラク豫定ヨリ一、二年遅レタダケデ、計畫通り進行シテ行ク積リデアリマス、朝鮮ガ金ノ生産ニ於テ占メテ居ル全國ニ於ケル地位カラ申シマス、五割五分、是ガ朝鮮ノ産金ニ於ケル地位ニナツテ居リマス、其ノ他

地下資源ニ於テモ、「タンダステン」ナドハ實ハ六割位ノ地位ニナツテ居リマス、或ハ水鉛又ハ黒鉛、人造石油——人造石油ノ如キハ六割以上ノ地位ニナツテ居リマス、其ノ他各種ノ肥料等ニ付キマシテモ、御承知ノ燐灰石ノ豐富ナル鐵床ヲ見出シタノデ、是ガ開發ニ努メテ居ル次第デアリマス、又「アルミニウム」殊ニ「マグネシウム」ニ於テハ三十六億ノ「マグネサイト」ノ鐵床ヲ發見シテ是ガ開發ニ努メテ居リマシテ、順次其ノ計畫ガ進ンデ居リマス、是モ非常ニ貢獻ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス、全體トシテ朝鮮ガ地理上大陸ニ接シテ居リマス關係カラ申シマス、所謂大陸ノ兵站基地ト朝鮮デハ申シテ居リマス、左様ナ意味デ非常ニ生産擴充ニ努力ヲ拂ツテ居ルト云フコトヲ御承知願ヒたい

○笠井委員 此ノ質問ヲ大野政務總監ニ致シマシタ、此處ニアルノデアリマス、即チ最近國際情勢モ餘程緊迫シテ來マシタノデ、「シンガポール」方面及ビ「フィリッピン」カラ輸入スル鐵鑛量モ相當ニ少クナツテ來ルダラウト思ヒマス、ソコデ茂山ヲ將來擴張スレバドノ位ニ相成ルデアラウカ、其ノ「キヤンパシチ」ニ付テ伺ヒたい、サウシテ相當ニヤツテ居ルト仰セラレマシタガ、將來此等設備ヲ改造スレバ、是等ヲ補充スルコトガ出來ルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒたいと思ヒマス

○大野政府委員 茂山ハ御承知ノ通り埋藏量十六億「トン」ト申シテ居リマス、只今數量ハ一寸申上ゲル譯ニ行キマセマスガ、御承知ノヤウニ鐵ノ品位ガ四五%位ノ所デアリマスガ、之ヲ選鑛致シマシテ六五%位ノ品位ニシテ、今マデノ數量ノ約四倍位出スコトト思ヒマス

ニ致シテ居リマス、ソレガ爲ニ既ニ今マデノ鐵石ノ運搬ノ鐵道ガ狹軌デアリマシタノヲ廢軌ニ致シマシテ、更ニソレヲ複線ニ致シマシテ、サウシテ港ニ持ツテ來ルト「トン」級ノ船ガ港ニ入ツテ、直ダ鐵石ヲ運ブト云フヤウナ設備ニナツテ居リマス、隨テ「アメリカ」カラ入ラナイ鐵石全部其處デ補給シ得ルカ、是ハ私専門的ノコトヲ存ジマセスカラ申上ゲラレマセマスガ、非常ニ重要ノ地位ニアルト云フコトヲ御承知願ヒたいと思ヒマス

○笠井委員 南總督、大野政務總監ノ御盡力ヲ多ト致シマス、茂山ノ鐵鑛ハ我國ノ重要ノ資源デアリマス、十分發展セシムルヤウニ御盡力ヲ願ヒマス、私ノ朝鮮ニ關スル質問ハ是デ打切りマス

是ヨリ南洋方面ノコトニ付テ伺ヒたいと思ツテ居リマス、生産擴充ニ關シ資源ノ問題ニ付テ伺ヒたいノデアリマス、「ボーキサイト」及ビ燐鑛石ノ産額ハドノ位デアリマスカ、私ハ「トン」數ハ知ツテ居リマシケレドモ、大體今年ハ昨年ノ何割位増産スルカトノ傾向ニ付テ御答辯ヲ願ヒたい

更ニ南洋トノ航空連絡ニ付テ伺ヒマス、最近本土ト南洋ノ各島嶼間ヲ飛行機連絡ヲ完成ノ途ニアリマスガ、今ハドウナツテ居ルカ、國際的刺戟ヲ與フベキ質問ハ避ケたいと思ヒマスガ、新聞紙上ニ依ルト東京ト「ポルトガル」領「チモール」間航空路ヲ確立セントスル考ガアルヤウニ見エマス、是レ洵ニ結構デアリマス、我ガ委任統治ノ南洋群島間及ビ本國トヲ結付ケル航空路ノ發達ト、其ノ施設等ニ付テ御伺ヒ致シたいと思ヒマス

○笠井委員 南洋廳長官ニ對スル質問ハ是ニテ終リマシタ、最後ニ臺灣ニ關シテ、齋藤總務長官ニ伺ヒたいと思ヒマス、私ハ昨年臺灣ヲ訪問シテ其ノ發展ノ有様ニ驚嘆致シマシタ、併シ私ノ非常ニ痛感シタ點ガ二ツアリマシタ、其ノ一ツハ領臺以來茲ニ四十五年、臺灣ガ南方進展ノ重大ナル使命ヲ帯ビテ居ルト云フコトデアリマス、更ニ一ツハ——速記ヲ止メテ下サイ

○依光主査 速記ヲ止メマス

(速記中止)

○笠井委員 サウ云フ譯デアリマシテ、南方進展ノ基地トシテノ臺灣ノ使命ハ、實ニ重大デアリ、今後益々重大ニナツテ來ルデアラウト云フコトヲ痛感シタ次第デアリマス、ソコデ伺ヒたい點ハ、現在ドウデアアルカト云フコトデアリマス、昨年私ガ參リマシタ時ニハ、南寧作戰後ニテ、之ニ付テハ臺灣ハ多大ノ貢獻ヲシテ居リマシタ、殊ニ南方ノ高雄方面ハ活躍シテ居ツタヤウニ見受ケラレマシタ、又南支及ビ海南島ニ對シテ重要ナル關係ヲ有シテ居リマス、昨日ノ拓務大臣ノ御説明ヲ伺ヒマシテモ、本年ハ臺灣ガ多年要望シテ居リマシタ東岸ト西岸ヲ結ブ中部橫斷道路ヲ豫算ニ計上サレテアリマス、是ハ洵ニ結構ナコトデ臺灣發展ノタメ衷心慶賀シテ居リマス、其ノ他通信交通機關ノ整備ニ付テモ、相當ノ經費ガ計上

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄

第二回 昭和十六年一月三十一日







金ハ殆ド無盡蔵ノヤウニ世間ニ傳ヘラレテ居ツタノデアリマスガ、其ノ後ノ産出ノ狀況ハドウデアリマスガ、ソレカラ今一ツ石油ノ問題デアリマスガ、石油ニ付テハ臺灣ニ於テモ相當盡力ヲセラレテ居ルヲ試シテモ、又探掘モセラレテ居ルヤウデアリマス、其ノ狀況、ソレカラ樺太ニ於ケル石油ハ、最モ力ヲ入ルベキモノト考ヘマスガ、最近樺太ハ木材及石油ヲ非常ニ産出セラレマシテ、我が國ノ國策ノ線ニ沿ウテ多大ナル貢獻ヲシテ居ラレド、デアリマスガ、更ニ百尺竿頭一歩ヲ進メマシテ石油ノ湧出ガアルヤウニナツタナラバ國益上尙ニ結構ナコトト考ヘマス、之ニ對シテ各外地當局ニ於テ御盡力ニナツテ居ル現在ノ施設等ニ將來ノ御方針ヲ承リタイ

○小石河政府委員 御答ヘ致シマス、樺太ニ於ケル石油ノ賦存ハ相當ニアルト専門家モ申シテ居リマス、只今マデニ於キマシテハ、昭和四年以後補助費ニ於テ十二本、非補助費ニ於テ二本ノ補助費ヲ致シテ居リマス、非ニ於テ二本ノ補助費ヲ致シテ居リマス、居ラナイノデアリマス、併シテガガ此ノ時局ニ鑑ミマシテ、液體燃料ノ國內産出ト云フコトハ最モ重要ナルコトデアルト考ヘマシテ、積極的ニ是ヲ開發致シテ以テ實ハ考ヘテ居リマスガ、御承知ノ如ク資材並ニ技術者ガ非常ニ少イノデ、思フヤウニ行ツテ居ラナイノデアリマス、來年度豫算ニ於テハ、ドウモ十分デナカッタモノデゴザイマシマスガ、今マデノ補助費ガ樺太ニ於キマシテハ、ドウモ十分デナカッタモノデゴザイマシマス、來年度豫算ニ於キマシテハ、十五年度十二萬八千餘圓ノ補助費ヲ二十二萬二千餘圓ニ引上ゲマシテ、サウシテ此ノ事ヲサシテ行キタイト考ヘテ居リマス、併シテガガ之ヲ以テ十分ナリトハ考ヘマセヌノデ、若シ十六年度内ニ資材ナリ人ナリガ得ラレ

マシマス、追加豫算ナリ何等カノ方法ヲ以テ致シマシテ、若シ十六年度ニ於テソレガ至難デアリマスナラバ、十七年度以降ニ於テハ、モウ少シ積極的ニ是ヲ開發シ努メタイト考ヘテ居リマス

○石坂(豊)委員 能ク其ノ點ハ理解致シマシタ、尙ホ石油開發ニ付テハ我が國ノ燃料問題ニ大ナル影響ヲ占メテ居ルモノト考ヘマス、南米ニ對シテハ、必要ニ於キマシテ、十分地質上ノ研究ヲ遂ゲラレマシテ、大イニ是等ノ方面ヲ開發シテ載クヤウニ御願ヒ致シタイノデアリマス

次ニ是ハ意見ガマシイコトデアリマスガ、昨日カラ南米ニ對スル移民ニ付テ、少シ之ヲ手控ヘタラドウカト云フ意見モアツタノデアリマス、併シテ私ハ昨年本院ヨリ渡米ヲ命ゼラレマシテ、行ツテ見タ所ニ依リマス、非常ニ好成績ニ發展シ居ルノデアリマス、滿洲等ニ於ケル所謂北方移民モ無論或ル意味ニ於テ國策トシテ大イニ必要デアリマスガ、南米ニ對シテハ又別ノ意味ニ於キマシテ、國民ノ進出ト云フコトガ必要ト云ヒマス、事變ナルガ故ニ之ヲ中止スルト云フヤウナコトハ宜シクナリ、尙ホニ居ル人ハアツタカラ後續部隊ガ續キ來テ與レルコトニ依ツテ快ク働イテ居ルノデアリマス、今血ミドロニナツテ閉ツテ居ル「ドイツ」「イタリア」等ニ致シマシテモ、ヤハリ年々彼ノ地ニ渡リ、殊ニ「ドイツ」ノ如キハ「ブラジル」ニ二百万カラ居ルシ、「イタリア」モ三百万カラ居ル、固ヨリ我が國ハ漸ク三十年ノ歴史デアリマスカラ、何百年ノ歴史ヲ經テ居ル「ヨーロッパ」等ト比較スベクモアリマセヌケレドモ、事變ナルガ故ニ之ヲ止メラト云フコトハシテナラヌト思ヒマス、大

スガ、ソレ等ハ移民制限法ニ依ツテ制限サレタコトハ仕方ガナイケレドモ、其ノ制限法ノ範圍ニマデモ達セヌヤウデアリマス、因ツタコトデアリ、私共ガ歸ツタ以上ハ、ドウカ獎メテ——今「ブラジル」ニハ三千名ハ入レテ與レルト云ツテ居ルノデスカラ、ソレ位ノ程度ニ達スルヤウニシテ貰ハナケレバ、ナラヌト云ツテ、皆大イニ氣張ツテ出テ來テ居ルノデアリマス、勿論人間ノ不足ナ場合ニ於キマシテ、サウ云フヤウナコトハ出來ヌヤウニ、續々千五百名トカ二千名ト云フ風ニナルコトガ必要ト思ヒマス、尙ホカラモ亦歸ツテ參リマスノデ、歸ツテ來ル者ノ以上ニナラナケレバ、ヤハリ向フニ生レル者ダケニ止マルコトニナルノデアリマスカラ、ドウシテモ國策トシテ外ニ伸ビルト云フ精神ヲ失ハセテハナラヌト思ヒマス、此ノ施設ヲ一ツ御願ヒシテ置キマス

ソレカラ立ツタ序デニモウ一ツ御願ヒシテ置キマスガ、昨年樺太ニ於テハ非常ナル食糧難ニ襲ハレマシテ、彼ノ地ニ於ケル人共ガ毎日々々——灣内ニ於ケル労働者ノ陳述ニ依リマシテ一週間モ素麵ばかり食ベテ居ツタ、ソレデ炭礦ノ中ニ入ツテ石炭ヲ掘レト云ツテモ、腹ガベコノニナツテ居ツテドウシテ石炭ヲ掘レルカ、山ニ入ツテ木材ヲ伐ルコトハ思ヒモ寄ラヌ話デ、樺太ニ行ケバ十分ニ食糧モアリ、又給金モ豊富ニ貰ヘルト云フノデ遠イ所マデ行クノデアツテ、アンナニ不自由スルナラ行ク必要ガナイト云フノデ、吾々ノ郷里ノ労働者ナドハ歸ツテ來テ居ル人ガアルノデス、今年ハ幸ヒニ——是ハモウ當局者ヲ責メルノデモ何デモアリマセヌ、當局ノ努力ニ依リマシテ非常

ニ好ク行ツタヤウデアリマスカラ洵ニ結構ナコトト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ拓務當局並ニ樺太廳當局ガ十分御盡力ニナツテ居ル大體ノコトヲ此ノ議場ヲ通ジテ曉カシテヤツテ戴イタナラバ、尙ホ行ク労働者モ安心スルコトデアラウト思ヒマス、ドウカ今年ハ前報ノ限ムコトナク、一段ト豊富ナル食糧ヲ與ヘルヤウニシテ戴キタイ、尙ホ同時ニ鬼ノ角米ハ一粒モ出來ヌノデアリマスカラ、米バカリニ依存スルト云フコトデナク、日常生活ヲ改善シマシテ、彼ノ地デ出來ル現地物資ニ依ツテ生活スルト云フ生活改善ノ努力モ必要ト考ヘルノデアリマス、併セテ之ニ對スル當局ノ確乎タル御方針ヲ此ノ場合伺ツテ置キタイノデアリマス、私ハ實ハ内々知ラナイデハアリマセヌガ、私ガ知ツテ居ルダケデハイカヌ、是ハ斯ウ云フヤウナ絶好ノ機會ニ於テ國民ニ周知セシムルト云フコトガ必要ト考ヘマシテ、洵ニ御迷惑デゴザイマセウケレドモ、簡單デ宜シウゴザイマスカラドウカ説明願ヒタイ

○北島政府委員 御質問ノヤウデハゴザイマセヌデシタガ「ブラジル」移民ニ付テ御話ヲ一寸申上ゲテ置キタイト思ヒマス、昨日三善委員カラノ御話モアリマシテ「ブラジル」移民ヲ繼續スル趣旨ニ付キマシテハ昨日申上ゲタ通り再ビ繰返シ必要ガナイカトモ思ヒマスガ、只今石坂委員ノ御話モアリ、而モ去年現地ヲ親シク御覽ニナリマシタ石坂委員御自身ノ口カラ「ブラジル」移民ノ繼續ノ必要ニ付キマシテ重ネテ御懸念ナル御言葉ヲ戴キマシテ、私非常ニ喜バシク存ズラシ、大次第デアリマス、唯御承知ノ通り現在「ブラジル」ノ渡航者ハ約三千人足ラズダケ入り得ルコトニナツテ居リマスガ、ココ一

兩年此ノ限度マデモ達シナイデ、今御手許ニ差上ゲテアリマスル來年度ノ豫算ニ依リマス、多分千四百五、六十名ノ費用ガ計上シテアツタカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ拓務省ト致シマシテ、實ハ限度マデハ是非ノヤリタイト云フ考ヘテ持チマシテ、又一方最近御承知ノ轉失業者ノ關係カラモ「ブラジル」移民ニ付キマシテ併セ考慮スル必要ガアルモノトモ存ジマシテ、本年度ニ於キマシテモ既ニ限度ノ差額ノ分ダケハ豫備金支出ヲシテ轉失業者ヲ送ルト云フ豫算ヲ大藏省カラ貰ヒマシテ、現ニ其ノ方ノ移民ヲヤツテ居リマス、ソレカラ來年度ニ付キマシテモ三千人餘リト豫算ニ載ツテ居リマスル千四百幾ラトノ差額ノ分ハ、ヤハリ追加豫算トシテ計上ツテ、引續キ結局三千名程度ノ移民制限法ニ依ル限度マデハ送リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス



マ、ソレニ續キマシテ島民ノ慰安ニ關スル施設ハ何モナイ、實ニ殺風景ナ所デアリマスカラ、其ノ慰安ガナイト云フトヤハリ人ハ、小人閑居シテ不善ヲ爲スデアリマシテ、或ハ飲ミニ行クト云フ風ナ下級ノ方面ニ走り易イノデアリマスカラ、青年ガ高潔ナル指導ノ下ニ其ノ雄大ナル希望ヲ達成セシムルヤウニ之ヲ導イテヤルト云フコトガ必要デアルト思ヒマス、雪ノ多イ所デアリマスカラ「スキー」其ノ他ノ「スポーツ」ニ付キマシテハ段々發達シマシテ、此ノ點ニ於テ見ルベキモノガアルヤウニ考ヘマスカラ、普通一般ノ教育施設等ニ於テ今一段ノ進展ヲ見ルヤウニ、極メテ大雅把ナ言ヒ方デアリマスガ、長官ノ御考ヘヲ承ツテ置ケバ仕合セデアリマス

○小河政府委員 御答ヘ申上ゲマス、先ツ第一ノ樺太ニ於ケル教育施設ノ問題デゴザイマスルガ、御承知ノ如ク樺太ニ於ケルマシテハ、中等教育機關ハマダ十分シテヤツテラレマセヌケレドモ、略々整備シテ參ツテ居リマシテ、來年度豫算ノ御協賛ヲ願ヒマスレバ、敷資、惠須取ニモ中學校ヲ設ケルト云フ狀況ニナツテ居リマスシ、其ノ他既存ノ各地ノ中學校並ニ中等實業學校モゴザイマスルノデ、此ノ點ニ於ケマシテ、不十分デアリマスルガ、何トカ耐エ忍ンデ行カレルノデゴザイマスルケレドモ、高等專門教育ノ程度デ出來テ居リマスルカ、其ノ點ヲ御同ヒシテ置キタイト思ヒマス

ク全ク島内ニ其ノ機關ガ無イノデゴザイマシテ、此ノ點ハ甚ダ遺憾デアリマスシタガ、今マデノ上級學校志望者ノ數或ハ其ノ他カラ考ヘマシテ、開設ニ至ラナカツタノデゴザイマスルガ、近キ將來ニ於テ、高等專門教育機關ヲ設ケルノ必要ハ當局ニ於キマシテモ切實ニ考ヘテ居リマス

○石坂(豊)委員 モウ一ツ私ハ昨日一般會考ヘテ居リマス

○石坂(豊)委員 農林大臣ニモ質問ヲ致シマシタノデアリマスガ、樺太廳ニ於テハ森林資料ノ爲ニ殆ト總論ナル努力ヲ拂ヒ、我が國ニ於ケル木材界ニ一番貢獻シテ居レルガ、今年モ炭礦用材、軍需木材供出トシテ、此ノ戰時ニ非常ナ貢獻ヲシテ居ラレルノデアリマスガ、人力ニ於テ餘程無理ヲシテ居ルト考ヘラレル、是ハ時局柄致シ方アリマセヌガ、之ニハヤハリ木材ノ供出ト同時ニ、後ニ續クヤウニ、所謂造林或ハ山林ノ更新計畫ニ力ヲ入レテ、蓄積ハ成ベク保シテ行クヤウニシテ裁カナケレバナラストシテヒマスガ、此ノ造林ニ付テ特ニ發展ノ施設ヲ計畫ニナツテ居ル點ガアリマスナラバ、ソレヲ伺ツテ置キタイト、モウ一ツ消極的ニ、森林火災ノ防止ニ付テノ努力ハ以前ニ増シテモシテ裁カナケレバナラスノデアリマスガ、其ノ點ニ關スル經費ハ今年度ハ特別ニ多ク要求シテ居ルノデアリマスガ、豫算ノ上デハ餘リ認メラレマセヌガ、何か其ノ内容ニアルナラバ承リタイ、是デ質問ヲ打切リマス

○小河政府委員 順序ヲ反對ニ御答ヘラ申上ゲマスガ、森林火災ノ防止ノ必要デアリマスコトハ全ク同意デアリマスシテ、過去數年間樺太島民並ニ當局ハ非常ナ努力ヲ致シマシテ、ココ數年間ハ殆ト森林火災ヲ見ナイト云フ程度ニ參ツテ居リマス、之ニハ餘程努力ヲ致シテ參ツタノデゴザイマシテ、其ノ爲ニ今マデ經費ノ御協賛ヲ經テ參ツテ居リマスガ、來年度ニ於テ特ニ此ノ經費ヲ増シマシテ、新タナル施設ヲスルト云フコトハゴザイマセヌ、既定ノ經費ヲ以テマシテ、從來ヨリモ一層努力ヲシテ、島内ノ山火事ノ絶滅ヲ期シタイト考ヘテ居リマス

○石坂(豊)委員 私人外地當局ノ方々ガ此ノ時局ニ非常ナ努力ヲシテ居ルコトヲ感謝致シマスガ、同時ニ質問ヲ終ルニ際シマシテ、拓務大臣ニドウカ外地ノ現狀觀察ヲラレマシテ、一層拓務行政ノ進展ニ寄與セ

○依光主査 午後八引續イテ質疑ニ移リマスガ、暫ク休憩致シマス

午後一時十九分開議

○依光主査 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○高田委員 私人質問ノ一點ハ大臣デナケレバ困ルノデスケレドモ、オイデニナラナイノデスカ

○依光主査 大臣ハ後刻出席サレル筈デス

○高田委員 第一ハ臺灣ト朝鮮ノ米ノ管理ノ狀況デゴザイマス、御承知ノ通り、食糧ノ不足ノ結果、配給ヲ圓滿ニ公平ニシナケレバナラスト云フノデ、内地ニ於テハ省令ニ依ツテ米穀ノ管理ヲ實行スルヤウニナツテ居リマス、而シテ臺灣ニ於テハ數年前ヨリ移出米ノ管理ヲナツテ居リマスルガ、島内消費ハドンナ風ニ取ツテ居ルノデアリマスガ、朝鮮ニ於テモヤハリ何カ管理ヲナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスルガ、ドンナ狀況デヤツテ居ルノデアリマスガ、先ツソレヲ伺ツテ置キマス

○大野政府委員 朝鮮ニ於ケマシテモ、今日ノ食糧ノ狀況カラ致シマシテ管理ヲ致シテ居リマス、是ハ中央ノ配給組合、又各道ニ配給組合ヲ設ケマシテ、大體移出ニ充ツベキモノ、又朝鮮内ニ於テ、例ヘバ咸鏡北道咸鏡南道ノ如キ食糧ノ不足シテ居ル部分ニ廻スベキモノ、ソレノ「額」メテ買上ゲラ致シマシテ、サウシテソレノ移出ナリ或ハ管内ノ移動ヲセシムルコトニ致シテ居リマス

○中嶋政府委員 臺灣ニ於ケマシテモ、移出管理制度ニ依リ、買入方面ハ此ノ制度ヲ

運用致シマシテ、更ニ其ノ實行機關トシテ各地方廳ニ於テ出荷組合ヲ設ケサセテ、サウシテ之ヲ配給スル爲ニ、又同じ區域毎ニ配給組合ヲ設ケサセマシテ、配給出荷ノ旨ク行クヤウニ取ツテ居ルノデアリマス、消費現正ノ方面ト致シマシテハ、大體其ノ年度ニ於ケル消費可能數量ヲ豫定致シマシテ、ソレニ基イテ割當制度ヲ以テ、米ノ不足ノ部分ハ出來得ル限り代用食ヲ、殊ニ臺灣ニ於テハ芋ガ多イノデアリマスガ、芋ノ配給ヲ完全ニ行フコトニ依ツテ、出來得ル限り消費節約ヲサシメテ居リマス、尙ホ是ガ精神運動ト致シマシテ、相當強ク民衆ニ呼掛ケマシテ、物心兩方面ヨリ此ノ目的ヲ達成スルヤウニ努力致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○高田委員 私人ハ、一昨年ヨリ昨年ニ掛ケテ、外地當局ガ、殊ニ朝鮮ニ於テハ、一昨年ノ非常ナル減收ニモ拘ラズ、島内ノ食糧計畫ニ付テ徹底的ノ政策ヲ講ジマシタコトハ、是ハ洵ニ感佩ニ堪ヘザル所デアリマス、ソコデ伺ヒタイコトハ、是ハ一ノ大大臣ナケレバ困ルノデスケレドモ、内地、外地トソレノ「米」ノ問題ニ付テ統一サレテ居ナイ、私ハ斯ウ云フコトヲ考ヘマス、若シ朝鮮及ビ臺灣ガ一昨年ノ暮ヨリ昨年ノ暮マデニ掛ケテ徹底的ニ消費節約ヲ講ジタレバ、内地當局モ同様ナル消費節約ヲ講ズレバ、私ハ相當ニ米ノ餘裕ガ出來タヤウニ思フノデアリマス、所ガ朝鮮、臺灣ガ米ノ消費節約ニ付テハ、殊ニ米ノ多イ臺灣ナドハ隨分思ヒ切ツタコトヲオヤリニナツタヤウニ聞イテ居リマス、是ハ巴邑ヲ得ナカツタノデモウ、ソレデアルニモ拘ラズ、内地ハ、實ヲ言フト昨年ノ六月頃マデ吾々ガ幾ラ言ツテ

モヤラス、漸ク六月ニナツテ消費節約ヲ徹底的ニヤツタ譯デアリマス、而シテ又更ニ本年ノ米ノ移入ノ狀況ニ付テ誌クト、朝鮮總督府ノ方ハ、本年ハ辛ウジテ三百五十萬石内地ニ供給シ得ル、斯ウ言フ、所ガ農林省ハサウハ申シマセヌ、何トカソレ以上五百万石位ハ朝鮮カラ移入シタイ考ヘラ持ツテ居ルコトヲ説明ヲシテ居ルヤウデアアル、何カ内地ヲ通ジテ食糧消費ノ程度ナリ其ノ他ニ付テ相談ヲ達シテ貴ハナケレバナラス、同ジ日本デアツテ、一方外地ノ方面ハ、マア新付ノ民ト申スコトハ惡イカモ知レマセヌガ、徹底的ニサウ云フ政策ヲシテ居ルノニ、内地ハソレニシテ居ル、是デハドウモ面白クナイ、要スルニ食糧政策ニ付テ内地、外地ノ間ニ統一サレタ方策、機關ガナイカラ、豫算總會デモドンナカ質問ガアツタヤウデシタガ、明確ナ答辯ガナカツタ、是ハドウモ拓務次官トシテノ御答ヘデハ満足出來マセヌデ、實ハ是ハ總理大臣ニ聽キタイ位デスガ、併シ總理大臣ハ米ナシカ知ラヌデセウカラ、殊ニ米マデ心配サセテハ餘リ丈夫デモナイノニ可哀サウデスカ、ドウデスカ、是ハ農林大臣ト拓務大臣ニオイデ願フツテ、若シオイデ願フコトガ出來ナケレバ、何トカ是ハシナナケレバ、何ダカ日本ノ國ガ二ツニナツテ居ルヤウナ感じガ日本ノ國ガ二ツニナツテ居ルヤウナ希望ニスレバ宜イカ、何トカ内外地ヲ一緒ニシナケレバナラスト思ヒマスケレドモ、之ニ對シテ、ドウモ北島サンノ説明ヲ聽イテ

モヤラス、漸ク六月ニナツテ消費節約ヲ徹底的ニヤツタ譯デアリマス、而シテ又更ニ本年ノ米ノ移入ノ狀況ニ付テ誌クト、朝鮮總督府ノ方ハ、本年ハ辛ウジテ三百五十萬石内地ニ供給シ得ル、斯ウ言フ、所ガ農林省ハサウハ申シマセヌ、何トカソレ以上五百万石位ハ朝鮮カラ移入シタイ考ヘラ持ツテ居ルコトヲ説明ヲシテ居ルヤウデアアル、何カ内地ヲ通ジテ食糧消費ノ程度ナリ其ノ他ニ付テ相談ヲ達シテ貴ハナケレバナラス、同ジ日本デアツテ、一方外地ノ方面ハ、マア新付ノ民ト申スコトハ惡イカモ知レマセヌガ、徹底的ニサウ云フ政策ヲシテ居ルノニ、内地ハソレニシテ居ル、是デハドウモ面白クナイ、要スルニ食糧政策ニ付テ内地、外地ノ間ニ統一サレタ方策、機關ガナイカラ、豫算總會デモドンナカ質問ガアツタヤウデシタガ、明確ナ答辯ガナカツタ、是ハドウモ拓務次官トシテノ御答ヘデハ満足出來マセヌデ、實ハ是ハ總理大臣ニ聽キタイ位デスガ、併シ總理大臣ハ米ナシカ知ラヌデセウカラ、殊ニ米マデ心配サセテハ餘リ丈夫デモナイノニ可哀サウデスカ、ドウデスカ、是ハ農林大臣ト拓務大臣ニオイデ願フツテ、若シオイデ願フコトガ出來ナケレバ、何ダカ日本ノ國ガ二ツニナツテ居ルヤウナ感じガ日本ノ國ガ二ツニナツテ居ルヤウナ希望ニスレバ宜イカ、何トカ内外地ヲ一緒ニシナケレバナラスト思ヒマスケレドモ、之ニ對シテ、ドウモ北島サンノ説明ヲ聽イテ

ガ來マシタ上ニ御返事ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツ、是モ大臣ニ來テ貫ハスト困ルノデスカ、ソレハ、御承知ノ通り、私ノ見ル所デハ、食糧増産ノ問題ハ他ノ軍需工業ノ生産擴充ノ問題以上ニ必要ナモノデアルト私ハ考ヘル、特ニ、本年ハ大體ニ於テ數量モ決マツテ、外來輸入量モ相當量ノ確保ガ出來タヤウニ聞イテ居リマス、船方満足ニ運航ガ出來レバ不安ハナイ、併シ船方満足ニ通行出來ナイヤウニナレバ米ハ來ナイ、ソコデ本年ノ食糧ハ船方満足ニ運行出來レバ安心デア

ルガ、來年ノ食糧ハドウカト云フコトヲ吾々ハ今カラ考ヘテ居ル、ドウ考ヘテモヤハリ足リマセヌ、是ハ私ハ數字ハ申上ゲナイト思ヒマス、是ハ私ハ數字ハ申上ゲマセヌガ、アナタ方モ大體同感ト思フ、來年足リルコトヲ御判斷ナラバ數字ヲ示シテ、實ヒタイ、私ノ數字ハドウシテモ足リナイ、ソレニハ肥料ヲ云々セヨ、努力ヲ云々セヨト云フコトモアリマスケレドモ、サウ云フコトデハ中々思フヤウニ行キマセヌ、是ハ耕地改良トカ云フコトモ獎勵スレバ、相當ノ效果ハアリマセヌガ、中々サウハ行キマセヌ、努力ハ漸次減ルト思ハナケレバナリマセヌ、肥料モ増産タト云ヒマスガ、中中サウハ行キマセヌ、誰ガヤツテモ困難ダト思フ、ソコデ今アル肥料ト今アル努力デ

之ヲ調整運用シテ、肥料ト努力ト今アル努力デ二年カ前ニ田中サンガ仰シヤツタヤウニ、肥料ノ公平ナル分配、ソレカラ努力ノ適正ナル運用、之ヲアル、併シナガラソレデモ私ハ普通ノ方法ヲ行ツテハ、中々今年作以上ニ獲ルト云フコトハ困難ナ状態ニアルト

○依光主査 午後八引續イテ質疑ニ移リマスガ、暫ク休憩致シマス

午後一時十九分開議

○依光主査 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○高田委員 私人質問ノ一點ハ大臣デナケレバ困ルノデスケレドモ、オイデニナラナイノデスカ

○依光主査 大臣ハ後刻出席サレル筈デス

○高田委員 第一ハ臺灣ト朝鮮ノ米ノ管理ノ狀況デゴザイマス、御承知ノ通り、食糧ノ不足ノ結果、配給ヲ圓滿ニ公平ニシナケレバナラスト云フノデ、内地ニ於テハ省令ニ依ツテ米穀ノ管理ヲ實行スルヤウニナツテ居リマス、而シテ臺灣ニ於テハ數年前ヨリ移出米ノ管理ヲナツテ居リマスルガ、島内消費ハドンナ風ニ取ツテ居ルノデアリマスガ、朝鮮ニ於テモヤハリ何カ管理ヲナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスルガ、ドンナ狀況デヤツテ居ルノデアリマスガ、先ツソレヲ伺ツテ置キマス

○大野政府委員 朝鮮ニ於ケマシテモ、今日ノ食糧ノ狀況カラ致シマシテ管理ヲ致シテ居リマス、是ハ中央ノ配給組合、又各道ニ配給組合ヲ設ケマシテ、大體移出ニ充ツベキモノ、又朝鮮内ニ於テ、例ヘバ咸鏡北道咸鏡南道ノ如キ食糧ノ不足シテ居ル部分ニ廻スベキモノ、ソレノ「額」メテ買上ゲラ致シマシテ、サウシテソレノ移出ナリ或ハ管内ノ移動ヲセシムルコトニ致シテ居リマス

○中嶋政府委員 臺灣ニ於ケマシテモ、移出管理制度ニ依リ、買入方面ハ此ノ制度ヲ

運用致シマシテ、更ニ其ノ實行機關トシテ各地方廳ニ於テ出荷組合ヲ設ケサセテ、サウシテ之ヲ配給スル爲ニ、又同じ區域毎ニ配給組合ヲ設ケサセマシテ、配給出荷ノ旨ク行クヤウニ取ツテ居ルノデアリマス、消費現正ノ方面ト致シマシテハ、大體其ノ年度ニ於ケル消費可能數量ヲ豫定致シマシテ、ソレニ基イテ割當制度ヲ以テ、米ノ不足ノ部分ハ出來得ル限り代用食ヲ、殊ニ臺灣ニ於テハ芋ガ多イノデアリマスガ、芋ノ配給ヲ完全ニ行フコトニ依ツテ、出來得ル限り消費節約ヲサシメテ居リマス、尙ホ是ガ精神運動ト致シマシテ、相當強ク民衆ニ呼掛ケマシテ、物心兩方面ヨリ此ノ目的ヲ達成スルヤウニ努力致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄 第二回 昭和十六年一月三十一日

四九







ゲマシタコトガ、或ハ言葉ガ足りナイデ誤解ヲ招イタカトモ思ヒマスガ、農地管理令ガ内地ヲ通ジテ公布且ツ施行ニナツタ場合ニ、朝鮮臺灣ニ於キマシテ之ヲ適用スルコトハ實際上困難デ、是ハモウ空文ニスルンダト云フ意味デ申上テ積リハ毛頭ナカウタノデアリマス、之ヲ此ノ農地管理令ニ依リマシテ、現在例ヘバ米以外ノ食糧ヲ採ヘテ居ル場合ニ、轉作命令モ出來マスルシ、或ハ又空閑地ガアリマスレバ、其處ヘ米ヲ作レトカ、或ハ馬鈴薯ヲ作レト云フ命令又下シ得ルコトニモナツテ居リマスルシ、又現在農耕地ノ部分ヲ工場地帯或ハ市街地ニスルト云フ場合ニ於テハ、ソレヲ制限或ハ禁止スルト云フヤウナ條項モアツタヤウニ記憶致シテ居リマス、ソレデ出來得ル限リサウ云フモノニ付キマシテハ、例ヘバ市街地或ハ住宅地ニスル爲ニサウ云フ耕地ヲ潰シヤウナコトガオイヤウニ、或ハ又場合ニ依ツテハ、米以外ノ何カ大シテ必要デナイヤウナモノヲヤツテ居ル場合ニ、ソレニ轉作ノ命令ヲスルト云フヤウナコトモ、是ハ當然朝鮮、臺灣トシテモナル積リニナツテ居リマス、唯高田君自身ノ御言葉ニ依リマシタヤウニ、砂糖ノヤウナモノハ潰シテ米ヲ採ヘテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ御言葉モアリマシタカラ、サウ云フヤウナモノヲ、之ニ依ツテ大規模ノ米増産ニ關スル效果ヲ期待スルト云フコトハ甚ダ困難デハナイカ、殊ニ砂糖ニ付キマシテハ、先刻モ申上テマシタヤウニ、砂糖自身ガ非常ニ不足デ困ツテ居ルヤウナ状態ダカラ、此ノ上ニ更ニ砂糖ノ耕地ヲ潰シテ米ヲ採ヘテ持ツテ行クト云フコトニ付キマシテハ、又他ノ觀點カラ實行上ノ困難ガアツテ、多ク

ヲ期待スルノハ困難ダト云フコトヲ申上テ止マルノデアリマス、併シナガラ現ニサウ云フ農地管理令モアリマスガ、最近ナヤウ米穀需給ノ逼迫ニ鑑ミマシテ、臺灣ニ於キマシテモ農地管理令ノ適用ヲ減少致シマシテ、之ヲ水田ノ方ニ轉向シタアリマス、サウ云フ規定ガアルトナイツトハ、米ノ増産ニハ極力努力致シテ居ル次第デアリマス、其ノ點誤解ガゴザイマシタカラ一寸一言申上テ置キタイト思ヒマス

○依光主査 高田君ノ御質問ハ主トシテ拓務大臣ノ御答辯ヲ御要求ナサツテ居リマスカラ、此ノ際御質問ヲ留保致シマシテ、次ノ質問者ニ移リマス——森田重太郎君

○森田(重)委員 森田重太郎君ニ駐在シテ居リマスル青年義勇軍ノ關係ニ付テ御伺ヒ致シタイト思フノデゴザイマスガ、一體此ノ青年義勇軍ト云フモノヲ滿洲ニ駐在セシメタ其ノ根本的ナ理由、目的ト云フモノハ、ドウ云フモノナラドゴザイマセウカ、此ノ點ニ付テ先ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○今吉政府委員 森田委員ニ御答ヘ致シマスガ、昭和十三年カラアレハ實施シタト思ヒマスガ、當時アレヨリマシマス場合ノ根本的ナ考ヘ方ハ、要スルニ十六歳カラ十九歳マデノ間ノ極メテ純真無垢ノ青年ヲ滿洲ノ現地に送りマシテ、三年間訓練致シマシテ、之ヲ以テ開拓民ノ基礎タルベキ素質ヲ滿洲ニシテ、本當ニシツカリシタ開拓民トシテアノ土地ニ訓練ガ終リマシタ後ニ定着セセウ、是ハ開拓政策ノ遂行上必要アルト同時ニ、國防上ノ觀點カラ致シマシテモ、特ニ重要アルト云フ意味ニ於キマシテ、出

來ルダケ大量ノモノヲ送り出シテ行キタイト云フノデ、アレヲ送り出シタモノト考ヘテ居リマス

○森田(重)委員 其ノ目的ハ現在ニ於テモ何等ノ變更ガナイノデゴザイマセウカ、ソレト現地ニ駐在セシムルニ至ルマデノ訓練ノ狀況ト方針ヲ承リタイ、ソレト現在一體ドレ位ノ人数ソコニ居ルノデゴザイマスカ、是モ明ニスルコトガ出來マスルナラ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○今吉政府委員 第一ノ當時ノ方針ト變ツテ居ナイカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ現在ニ於キマシテモ當時ノ方針ト全然變リハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ向フニ送り出シタマシマスデノ訓練デゴザイマスル練所ニ於キマシテ大體二箇月ノ訓練ヲ施シテ居リマス、其ノ訓練ノ中心ハ、大體ニ於テ僅カニ二箇月デゴザイマスカ十分ナコトハ出來マセウケレドモ、此ノ義勇軍ノ洵ニ重要アル點ヲ能ク本人ニ諒解サセルト同時ニ、徹底シタル滿洲開拓民タルベキ精神ヲ叩キ込メテ居リマス、又現地ニ渡リマシテカラ後ニ於ケル各種ノ狀況ナリ態度ナリト云フモノヲ豫メ此處テ教ヘ込メテ居リマス、本當ノ農民魂、開拓民トシテ必要ナル精神ヲ徹底的ニ叩キ込メテウニ努力致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ大體今マデ送り出シマシタ數ハ、十三年カラ現在マデ約四万七千ト超エテ居ル存ジテ居リマス

○依光主査 森田君ニ一寸御語り致シマスガ、アナタノ御質問ハ相當掛マスカ

○森田委員 ハア

○依光主査 ソレデハ只今申上ゲマシタ拓務大臣ガ御見エニナリマシタノデ、アナタ

中々オ役人同志ハ纏ラスノデスガ、ドウデスカ、アナタハ相當御英斷ノアル方ト思ヒマスガ、一ツ事務當局ト御相談シテ御願出來マセウカ、此ノ點簡單ニ伺ヒタイ

○秋田國務大臣 食糧ノ問題ニ付キマシテ、内外地ヲ通ジテ一貫スル方策ヲ立テマシムコトハ、現下ノ時局ニ於テ最モ必要ナ事柄ダト存ジマスガ、最近ニ於ケル米穀事情ニ於テ最モ其ノ必要性ガ多分ニアリマスルコトハ、是ハ萬人ノ認メテ居ル所デアリマスルガ、私ハ決シテ此ノ十六米穀年度ノ問題トカ、或ハ十七米穀年度ニ付テドウトカ云フコトデナク、將來永久ニ互リマシテ内外地ヲ通ジ、生産、消費、配給、總テノ點ニ互ツテ一貫シテ働キガソコニ付イテ行クノデナケレバ、今日申ス高度國防國家體制ノ確立ト云フ要請ガ全キヲ致スト云フ譯ニハ參ラナイコトダト存ジテ居ルノデゴザイマス、御趣意ニ於テハ全然高田君ノ御意見ト同様デゴザイマス、差向キノ十六米穀年度ニ於キマシテ、農林省ノ方デハ朝鮮カラ五百萬石要望スルガ、朝鮮總督府ノ方デハサウ農林省ノ註文通りニハ參リ象ヌルトカ、或ハ又臺灣ニ於キマシテモ、農林省ノ方デハ三百五十萬石ノ要望ヲ持ツテ居ルガ、臺灣ノ事情ハ必ズシモ農林省要望ノ通りニハ參リ象ヌルカモ知レト云フヤウナ状態ニアリマスルコトハ、是ガ差向キノ一ツノ現ハレトシテ其ノ遺憾ニ存スルコトデゴザイマスルノデ、根本ノ方策ガ決定致シマシテ、ソコニ水モ漏ラナイヤウナ仕組ガ付イテ居リマシタラバ斯ウ云フ遺憾ナ状態ハ見ズニ濟ムコトガ出來ルノデハナカラウカト存シテハ、是ハ内地事情ノ上カラ農林省ノ註

文モ無理カラヌコトデアリマスルト同時ニ、又朝鮮ノ方デ懸念致シテ居リマスルコトモ決シテ無理カラヌコトデアリマシテ、是ハ滿洲ノ方カラ難關ヲ入レル、其ノ入レルコトニ付テモ、滿洲方面ト打合せモ十分ニ致サナケレバナラヌコトダト存ジマスルガ、其ノ内地カラモ出來ル限リ入レルト云フヤウナコトニ致シマシテ、一方朝鮮ノ要望ヲ滿シ、同時ニ又内地ノ要求ニ成ベク近寄ツテ參リマスルヤウニ、ソコニ調和調整ノ途ヲ圖ツテ行クト云フコトヨリ外ニナリ様ハナイモノト思フテ居リマスルガ、臺灣ニ付キマシテモ亦同様デゴザイマス、併シ斯ウ云フコトハ唯差向キノ十六米穀年度ダケノ問題ニ過ギナイノデアリマシテ、御心配ノ主眼ハ決シテサウ云フ手近ナ問題ヲドラスウト云フコトバカリデナクシテ、將來永遠ニ互ツテ此ノ食糧政策ニ對シテ統一アル働キヲソコニ見ルヤウニ、サウシテ何等ノ不安モナカラシムルヤウニ云フ御心配カヲ來テ居ルト存ジマス、是ハ必ズシモ米ガ足りナイ時ニ於テ必要ト云フバカリデナクガ起ツタ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ此ノ生産、消費、配給ヲ通ジテ一貫シタル方針ノ下ニ組織機構ガ働イテ行クト云フコトデナケレバ困難トデアリマスルカラ、何レニ致シマシテモ、此ノ食糧問題ニ付キマシテ、根本的ニ内外地一貫ノ方策ヲ確立スルヤウナ一ツノ機構ガ完全ニ立ツテ、ソコニ水モ漏ラナイヤウナ働キヲ付テ行クコトガドウシテモ必要ダト存ジマスルノデ、之ニ對シテ只今ノ所ニ於テハ内外地ノ當該機關ガ成ベク打合せヲ致シマシテ、ソコニ離隔ノナイヤウニト云フコトヲヤツテ居ルノ

デアリマスルケレドモ、之ヲ以テハマダソコニ足ラザル所ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、是ハ篤ト一ツ農林大臣ト私ノ間ニ於キマシテ十分ニ話合ヒテ致シマシテ、研究ノ結果、斯ウ云フ重大ナ問題デゴザイマスルカラ、閣議ニ於キマシテモ能ク相談ヲ遂ゲマシテ、只今高田君ノ御心配ノヤウナコトガ將來ニ久シク續キマセウニ一ツ何分ノ考慮ヲ取進ビタイト存ジマス、左様ナ考ヘテ持ツテ居ルコトヲ御承知下サイマシテ御諒解ヲ得タイト存ジマス

○高田委員 御答辯ハ拜承致シマシタ、兎ニ角御答ヘハ極メテ簡單デスケレドモ、實行スルコトハ中々難シヤウニ存ジマスカラ、大英斷ヲ振ハレテ實行センコトヲ希望致シマス

第二ノ問題ニ付テハ、北島次官カラ大體御答辯ヲ得マシテ諒承ハ致シタヤウナモノデスケレドモ、如何ニモ氣持ガ弱イ、故ニ大臣ニ對シテ要領ダケヲ申上ゲマシテ御實行スベキ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレハ斯ウ云フコトデアリマス、昭和十六年度ノ食糧ハ大體ニ於テ相當量ノ外米ノ確保ガ出來タトスレバ、而シテ其ノ運輸ガ思フヤウニ行クトスレバ不安ガナイト私ハ思ヒマス、併シナガラ十七年ハドウナルカト云フコトニナルト、如何ニモ不安アル、ヤハリ輸入ヲシナケレバ足ラヌト云フ數字ガ出マス、但シ思ヒ切ツタ消費ノ節約ガアレバ宜イガ、中々出來ナイト思ヒマス、若シ夫數年前ニ現ハレマシタ如キ、東北、北海道ニ於ケル冷害ガアリマシテ、内地生産五千五百石ト云フヤウナ收量ヲ呈シタ場合ニ於キマシテハ、洵ニ戰慄スベキモノガアリマス、殊ニ此ノ事變中ニ於テ私ハ非常ニ心配シナケレバナ

ラスト思ヒマス、ソレニハドウシテモ肥料ノ増産ヲセヨ、労働ノ確保ヲセヨト言ツタ所ガ中々困難デアリマス、誰ガヤツタ所ガ肥料ノ増産ト云フコトハ、中々困難デアル、労働力ハ減レバト云ツテ中々殖エルモデハナイ、要スルニ私ノ考ヘデハ今アル労働力ヲ、或ハモツト要ルカモ知レマセウガ、今アル労働力ヲ肥料、之ヲ善用ト云フ言葉ガ宜イカ、運用ト云フ言葉ガ宜イカドウカ知リマセウガ、兎ニ角サウ云フコトヲシテ、或ル程度ノ重要食糧ヲ取ラナケレバナラヌ、ソレニハ水田ハ先ツ御承知ノ通り是ハ米ヲ種ルノデアル、サウシテ二毛作モソコデ荒レタ田ニ於テハ重要食糧以外ノモノヲ耕作スル、如ハ各種ノ嗜好農産物、果實ニシテ或ハ先程言ヒマシタケレドモ、臺灣デ言ヘババナナデアルトカ、西瓜デアルトカ、内地ニ於テモ西瓜デアルトカ、サウ云フヤウナモノハアツテモナクテモ宜イモノダト私ハ思ヒマス、斯ウ云フヤウナモノハ廢作ヲシテ、サウシテ麥ナリ、小麥ナリ、裸麥ナリヲ作ラセル、又豆ナリ何ナリヲ作ラセルト云フコトニスルノデナケレバイカス、私ハ如何ニモ心配性デアルカラ、サウ云フノカモ知レマセウガ、併シサウデナクテモ、安全デアルト云フ御見込ガ立ツナラバ、私ハ斯様ナコトハ申シマセウ、私ハドウシテモ心配スル、ソレヨヤルコトハ成程先程北島君ノ御説明ノ通り、臺灣ニ於キマシテハ相當ヤツタヤウニ思ヒマス、御承知ノ通り米ノ餘リ時ニモ相當ヤツタヤウニ思ヒマスカラ、足りナケレバ尙ホヤルト思ヒマス、而モ總動員法ニ依ツテ文字通りノ管理法ガ出來タノダカラ、此ノ際



思ヒ切ツテヤツテ貴ヒタイト思ヒマス、ソレヲヤラヌデ置イテ、若シ不足ヲ来シタナラバ、是ハ當局ノ責任ハ非常ニ重イコトニナルノデスカラ、大イニヤツテ貴ヒタイ、農林省ノヤリ方ヲ見テ居ルト、政府自ラ思ヒ切ツテヤレバ出来ルノデ、吾々ハ政府ニ向ツテ此ノ點ニ付テ要望スル積リデアリマスガ、外地當局ニ於キマシテモ拓務大臣ニ於テ此ノ點ヲ能ク一ツ御諒承ヲ下サツテ、サウシテ徹底的ニ轉作命令ヲ實行スル、荒田、荒畑ヲ耕作セシメル方法ヲ取ラナケレバナラヌガ、ソレダケチヤ不安デゴザイマスカラ、北島君ヨリ大體御説明ガアリマシタケレドモ、併シ大體ノ話ハ弱イ、何ダカ砂糖ノコトバカリ説明シテ居ルガ、砂糖ノコトハ、是ハ一寸言ツタノデ、ソレハ砂糖モ少シハ關係ガアルカモ知レスガ、私ハ砂糖ヲ全廢シロトハ言ヒマセヌ、食糧ノ重要性ハ言フマデモナイカラ、ドウゾ此ノ點ハ是非一ツ徹底的ニ勅令ノ實行ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトデゴザイマス

知レマセヌガ、大體サウ云フ數字ガ出テ居リマス、是ハ無論生産費ガ上ツタカラ上ゲタノダラウト思ヒマスガ、ソレガ農民心理ニ及ボス影響ヲドウ云フ風ニ臺灣當局者ハ思ツテ居リマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

○高田委員 サウデハアリアマセヌ、私ノ言ヒ方ガ惡カツタカモ知レマセヌガ、私ノ調在シタ所ニ依レバ十六年度一期作ノ値段ヲ近頃委員會ニ於テ御決メニナツタノチヤアリマセヌカ、其ノ値段ハ十五年一期作ノ値段ヨリモ一石ニ付テ約三圓四十錢位上ツテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレレ買上値段ヲ上ゲタコトガ農民心理ニ如何ナル影響ヲ及ボシタカ、臺灣當局ハドウ御覽ニナツテ居リマスカ

持タズニ輕率ニ御返事申上ゲルコトモ如何カト考ヘマスルケレドモ、從來此ノ議會等ニ現レマシタ議論カラ判斷致シマシテモ、此ノ値開キヲ少クスルト云フコトガ、農民ノ心理上ニ好キ影響ヲソアレ、惡イ影響ガアラウトハ考ヘラレナイノデアリマス、是ハ併シ具體的ノ事實ニ付テ其ノ影響ガ如何ニ現ハレルカト云フコトハ、今後ニ出テ來ルデアラウ、或ハ米ノ供出状況等ニ現ハレテ來ルト存ジテ居リマス、又今後ノ米作ノ上ニ此ノ效果ガ現ハレテ來ルノデアリナイカ、斯様ニ存ジテ居リマス

コトヲ言明ナスツテ居ラレハ、是ハ記録ニアル、所ガ實行ノ跡ヲ見レバ全然議會ニ於ケル答辯ヲ裏切ツテ、昭和十四年ノ決算ヲ拜見シマスルト、十四年ノ取扱數量ハ約百四十七萬八千石デゴザイマス、而シテ其ノ利益トシテ豫算ニ計上シタモノハ僅ニ百九十七萬圓デアリ、所ガ決算ヲ見ルト驚ク勿レ一千三十四萬圓ト云フ、即チ一石ニ付テ七圓以上ノ利益ヲ取ツタノデゴザイマス、多少ノ數字ノ差ハアルカモ知レマセヌケレドモ大體サウデアリ、私ハ洵ニ臺灣當局ノ無暴ナル運用ニ驚キ入ツタ、其ノ後漸次買上値段ヲ引上ゲマシテ、先程申上ゲマシタ通り約三圓四十錢ト、昭和十五年第一期作米ヨリモ第二期作米ノ値段ヲ引上ゲタノデゴザイマスカラ、昭和十六年度アタリニナルト相當ノ利益ヲ得ルノデアラウト思ヒマス、而シテ十六年度ノ豫算ニ現ハレタ所ノモノヲ見レバ、五百四十萬石デ一千七百萬圓ノ利益ガ計上サレテアリマス、約一石ニ付テ七圓ゴザイマス、併シナガラ書イテアリ所デハ當ニナラナイ、實際何ヲスルカ分ラナイ、昭和十四年ノ決算ガ其ノ實例ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、私ハソレニ付テ其ノ當時反對シタ理由ハ兎モ角モ、此ノ法案ハ米ガ餘ツテ困ル時ニ立テタ案デアリ、是ハ臺灣米穀移出管理法概要ナンカニモサウ云フ意味ガ書イテアル、ソレガ十四年ニ足リナクナツタノダカラ、是ハ逆施行行デアリ、セメテ私ノ考ヘル所デハ先程申上ゲマシタ理由ニ依ツテ米一粒デモ餘計種ヲナケレバナラヌ、麥一粒デモ餘計種ヲナケレバナラヌト云フ時ニ、今尙ホ此ノ法案ヲ實行スルト云フコトハ、農民心理ヲ阻害スル虞レガアツテ、其ノ結果減産ヲ來ス、只今尙ツタノハ

○秋田國務大臣 食糧ノ生産擴充ヲ徹底的ニヤレト云フ御要望ダト存ジマス、御趣意ニ對シテモ全然御同意デゴザイマス、内地ハ中スマデモナイコトデアリマスガ、特ニ此ノ拓務關係ト致シマシテハ、外地當局ヲ督勵致シマシテ御趣意ニ副ヒマスルヤウニ、此ノ生産擴充ニ向ツテ全力ヲ傾倒致ス方針デアルト云フコトヲ御答ヘ申上ゲマス

○高田委員 ドウゾサウ願ヒマス、ソコデ是ハ大臣デナク臺灣當局ニ合ノ間ニ一寸伺ヒマスガ、昨年ノ第一期作ノ買上値段ヨリモ本年ノ第一期作ノ買上値段ハ一石ニ付テ約三圓四十錢位上ゲタ、少シ違フカモ

ソレガ爲デアリ、三圓四十錢上ゲタコトガ農民心理ニ好イ影響ガアルダラウト云フコトヲ仰シヤルノハ是ハ洵ニ其ノ通りデ、之ヲ廢シテ一錢モ利益ヲ取ラナケレバ非常ニ好イ影響ヲ與ヘルト思フ、ソコデ私ハ昨年ノ議會ハドウデアツタカト申シマス、小磯サンハ中々正直ナコトヲ仰シヤル、本會議ニ於ケル私ノ此ノ問題ニ對スル質疑ニ對シテ、是ハ砂糖ノ値段ヲ安クセシムル爲ニ米ノ値段ヲ安クシナケレバナラヌカラ、仕方ガナイカラ實行スルト云フコトヲ説明サレタ、所ガ其ノ七十四議會デハソソコトハ少シモナイ、芋麻ヲ作ルトカ、棉花ヲ作ルトカ、熱帯植物ヲ作ルトカ云フコトハソレハ嘘デアツテ、砂糖ノ値段ヲ安クスル爲ニ、米ノ値段ヲ安クシナケレバナラヌカラ仕方ガナイト云フナラ、何モソコトナ法律ヲ作ラヌデモ、何カ他ニ行政上ノ運用宜シキヲ得レバ方法ガアツタラウ、寧ロ其ノ方宜カツタラウト云フ意味ノ御答辯ガアツタノデアリマス、實際是ハ小磯サンノ眞意デアツタラウト思フ、所ガ其ノ後豫算總會カ何カデ、誰ガ教ヘタカ言ヒ直シヤサレタ、併シ最初ニ本會議デ私ガ突然聽イタ時ノ御答ヘガ本當デアツタ、ソコデ私ハ拓務大臣ニ御願ヒスル、拓務大臣ハ吾々ノ知ル範圍ニ於テハ閣僚トシテ最も民間ノ事情ヲ知ラレル人デアリ、甘イモ酸イモ知ツタ方デアルト私ハ思フ、温室育苗ツク人ニハ斯ウ云フコトハ分ラナイ、民情ガ分ラナイ、小磯サンハ數年後實行シタ跡ヲ見テ貴ヒタイト云フコトデハ結論ニナツタ、小磯サンデサハ此ノ法律ハ惡イト云フ、アタノヤウニ民間ノ事情ニ精通セラレ、甘イモ辛イモ知ツテ居ル方ガ一石ニ付テ三圓四十錢位上ゲタ、少シ違フカモ

圓モ、場合ニ依ツテ糯米ナドハ十二圓モ取ル、斯ウ云フヤウナコトヲスル法律ヲ實行シテ臺灣ノ農民ガ喜ンデ米ヲ作ルト思召サレマスカ、最近聞ク所ニ依ルト、大政翼賛會ノ諸君ハ非常ニ高イ俸給ヲ取ツテ居ルト云フ話ガアル、ソコデ大政翼賛會ノ役員ハ高イ俸給ヲ取ツテ居ルカラト云ウテ所得稅ノ外ニ如何カ特別稅ヲ取ルト云フコトヲ決メタラ大政翼賛會ノ人々ハ喜ビマスカ、大抵喜バヌデセウ、ソレト同ジヤウナコトヲヤツテ居ル、臺灣ノ農民ハ内地ノ農民、朝鮮ノ農民ヨリモ米ヲ作ルトニ依ツテ利益ヲ多ク取ルカラ其ノ頭ヲ割ネテヤレト云フ、民情ニ通曉スル秋田拓務大臣ハ深ク此ノ點ヲ御諒解ニナラナケレバナラヌト思フ、農民ヲシテ喜ンデ米ヲ作ラセルト云フカラハ、内地ノ米ノ値段デサヘモ上ゲナケレバナラヌト云フハレテ居ル今日、大キナ聲デハ言ヘヌケレドモ、大抵ノ人ハ米ノ値段ヲ上ゲナケレバナラヌト云フテ居ル、是ハ何時カ遠カラザル時期ニ實行ニ現ハレルト思ツテ居ル、ソレナニ臺灣ノ農民ニ對シテ、私モ能ク存ジマセヌガ、經濟的觀念ニ於テハ本島人ハ内地人ヨリ進ンデ居ルサウデアリマス、其ノ人達ガ粒々辛苦ノ結果作ツタ米ヲ一石ニ付テ三圓ナリ、五圓ナリ總督府ガ頭ヲ割ネルト云フ、是デ農民ガ解シナイモノデアリ、農民心理ハ自分ノ作ツタ米ガ一石五十錢デモ三十錢デモ高ク賣ルコトノミヲ樂シミトシテ作ツテ居ルニ、旨ク種ヲ見ルト一石少クモ二圓、今後ドウナルカ分リマセヌケレドモ、兎モ角モ昭和十四年ニハ七八圓取ツタ、斯ウ云フ政治ハ食糧問題ノ難カシイ今日、一粒ノ

米デモ餘計種ヲナケレバナラヌト云フ際ニ如何ナモノデアリマセウカ、米穀管理ハ宜シウゴザイマス、是ハ仕方ガナイ、併シナガラ農民ノ頭ヲ割ネルトダケハ是非止メルヤウニ此ノ法律ヲ廢シテ別ニ立法スルナリ、此ノ法律ヲ改正スルナリシテオヤリナルコトガ食糧問題ニ忠實ナル所以ト私ハ存ジマス、殊ニ大東亞共榮圈ヲ云々スル場合ニ、臺灣ノ農民ガ少シバカリ米ヲ作ツテソレガ宜イカラト云ツテ、其ノ頭ヲ割ネテ農事ノ改良ニ向ケルト云フヤウナ淺マシイ根性ハ止メルヤウニシテ欲シイ、私ハ食糧問題ノ見地ヨリ、臺灣統治ノ見地ヨリ、更ニ大東亞共榮圈ノ見地ヨリ、我が帝國トシテコソナナ慘メナ氣持ヲ持ツタ法律ハ止メテ戴キタイト思ヒマス、之ニ對スル拓務大臣トシテ、御所見ヲ拜承シタイト思ヒマス

○秋田國務大臣 臺灣ノ移入米管理制度ニ付キマシテ、高田サンガ終始一貫非常ナ御關心ヲ持タレテ御心配下サツテ居リマスルコトニ對シテ、先ゾ以テ私ハ深ク敬意ヲ表シマス、此ノ管理制度ヲ廢止スルナリ、或ハ改正スルナリ、何レカノ方法ヲ採ツテ臺灣農民ヲシテ眞ニ我が國策ヲ現下ノ要ニ連シテ行ツタラバ宜イデアリナイカト云フ御高見ニ對シテモ、深く敬意ヲ表スルノデゴザイマス、御趣意ニ對シテハ全ク御同意デアリマスガ、元來此ノ制度ヲ創設致シマシタ理由ハ、臺灣ノ産業全體カラ眺メマシテ、又我が國ノ經濟ノ實情ニ鑑ミマシテ、臺灣産業ノ調和的發展トデモ申シマスルカ、併シテ農家經濟ノ安定向上ヲ圖ルト云フ其ノ目的ト、臺灣自體ガ我が國全體ノ經

濟ノ一環ト致シマシテ擔ツテ居ル産業ノ使命ヲ達成セシメヨウ、斯ウ云フ理由カラ致シマシテ、此ノ制度ガ創設セラレタデアリマス、又米穀政策全體ノ立場カラ見マスルト、生産ト消費ノ調整強化ヲ最モ必要トスル今日デアリマスルカラ、只今述ベマシタヤウナ理由デ創設セラレテ居リマスル制度デアリマス以上、理窟カラ申セバ先ゾ以テ適當ナル制度ヲ申スヨリ外ニハナイノデアリマシテ、殊ニ實施以來マダ日ノ淺イコトデアリマシテ、十四年ノ二期作米カラ初メテ是ガ始マツタト云フヤウナ譚デアリマス、今直チニ此ノ制度ヲ廢止スル、根本的ニ改正スルト云フヤウナコトガ果シテ適當デアリマセウカ、如何デアリマセウカ、或ハ即斷ニ失スルト云フ嫌ヒガナイトモ申シ兼、併シナガラ目指ス所ハ固ヨリ食糧政策ニ完全ニ寄與シヨウト云フ所ニアルノデゴザイマスカラシテ、實情ト目的トガ相副ハヌト云フヤウナコトニ相成リマシテハ、是ハ國家ノ爲ニ相濟マヌコトデゴザイマスカラシテ、今日ノ要諦タル米穀政策ニ逆行スルト云フヤウナ事實ガ明カニ生ジタト云フヤウナコトヲ發見致シマシタナラバ、是ハ運用ノ上ニ於キマシテ徹底的ニ改善ヲ加ヘルト云フコトハ一刻モ躊躇スルコトノ出来ナイ事柄ダト思フノデアリマス、要ハ只今ノ場合ニ於テハ、運用宜シキヲ得ルヤウニ、當局ヲシテ十分ニ注意セシムルト云フコトデ宜シイノデアリナカラウカト云フ風ニ、私ハ只今ノ場合考ヘテ居ル次第デアリマス、併シナガラ尊敬スベキ高田サンノ御意見デゴザイマスルカラシテ、私ハ申サマデモナク又臺灣當局ニ於キマシテ十分御諒ヲ蒙味







ウナコトヲシテ、働キサヘスレバソレ宜イノコト云フヤウナ恰好ノヤウデアリマス、サウ云フ所ニ行ツテ居ル者ノ間ニハ將來一...

収入ノ學費、足リナイ所ハ政府ガ補助シテ行ク、斯ウ云フ考ヘ方デ進ムコトデアリ...

ハヤリ方ニ相當大キイ缺陷ガアルト云フコトヲドウシテモ考ヘサセラルルモノガ...

親トシテモ堪ラナイシ、子供トシテモ堪ラナイ、又日本ノ國家トシテモ斯ウ云フヤウ...

ノ告白ナラデス、ソコデドウスルノデアアルカト云フト、残りノ十五町歩ハ滿洲ノ人々...

クマデモ大眼目デアリマシテ、ソレデナケレバノ大地ニ根ヲ生ヤシタ移民ト云フモ...

限リサウ云フ目標ニ向ツテ、關係者全部ガ一致協力シテ一日早ク目的ヲ達シタイ...

ハ付イテ居ル次第デアリマス。○森田(重)委員 ソコデ考ヘラレルコトハ、南海或ハ比較的氣候ノ好イ方面ニ於テハ...



勿論氣候狀態方南トモ違ヒマスシ、同じ北  
ノ中ニ於キマシテモ、所謂極限ノ方ハ、相  
當氣候状態モ違フノデアリマス、隨テ大體  
今日本ノ開拓民ヲ大量入レテ居リマス三江  
省、牡丹江省方面ニ比ベテ、黑河ハ更ニ變  
ツク氣候状態デアルト思フノデアリマス、  
實ハソコラ邊リニ付テモ具體的調査ト云フ  
コトニナリマス、現在拓務省ハ持つて居  
リマセテ、唯開拓關係ノ非常ニ重要ナル點ニ  
鑑ミマシテ、勿論現地ニ於テモ、滿洲國ニ  
於テハ所謂大陸科學研究所トカ、或ハ又滿  
拓ナリ其ノ他ノ關係ニ於テ調査研究ハ進メ  
テ居リマススケレドモ、マダ的確ニ北海道農  
法ヲ以テスレバ失敗スルノデハナイデアラ  
ウカ、或ハ機械農法デナケレバ成立タナイ  
ノデハナイカト云フヤウナ結論マデハ承ツ  
テ居リマセヌガ、何レソレ等ノ點ニ付テハ、  
吾等トシテモ十分調査研究ヲ集メマシテ、其  
ノ狀態ニ合フヤウナリ方ヲ是非ヤリタイ  
ト云フコトハ、固ヨリ御趣旨ノ通りニ考  
ナケレバナラヌダラウト思フノデアリマス、  
唯、今ノ狀態カラ直チニ機械農法ヲ極限  
方デヤツテハドウカト云フコトニナルト、  
ソレハ實ハ資財其ノ他ノ關係中々困難デ  
ハナイカ、現ニ滿拓ニ於キマシテモ、自分  
ノ社有地ニ於テ機械農場ヲ二三箇所設ケテ  
居リマス、ソレカラ特設農場ヲ設ケテ相當  
ノ機械ヲ用ヒテ居リマススケレドモ、中々目  
的通り建設ノ完了ト云フモノガ進ンデ參  
スノデアリマス、今直チニ之ヲ開拓民ニ對  
シテ、組合其他ノ組織ニ依ツテ機械農法ヲ  
採用サセルト云フコトヲ考ヘマシテモ、適當  
ツテノ所ハ實行ガ非常ニ困難デアラウト考  
ヘラレルノデアリマス

○森田(重)委員 私ノ考ヘ方モ是ハ一ツノ  
願設デアリマシテ、實地ニ基イタモノデモ  
ナシ、又科學的ナ檢討ヲ經テ上デノ考ヘデ  
モアリマセテ、併シ私ハ今ノ組合ヲ基礎ト  
セル農業ト云フコトデモナリマス、ソレシ  
ヤノ共產主義ニ類似スルヤリ方ニナルカラ  
イケナイ、ヤハリ日本ノ内地ヲ其ノ儘持ツ  
テ行ツヤウナ自作農中心ノソレデ行カ  
ケレバナラナイノグト云フヤウナ議論ガ、  
必ズソコニ起ツテ來ルト思フノデアリマス、  
恐ラクハ之ヲ觀念的ニハツキ整理スル  
云フコトハ非常ニ困難ダト思フ、ケレドモ  
私ハサウ云フコトハ「イデオロギー」ニ因  
ルル必要ハナイト思フ、農業ト云フモノハ、  
自然カラ教ハツテ、其ノ上ニ人間ノ知能ヲ  
科學的ニドウ組立テ行ツテ、ソコカラ吾  
等ノ生活資源ヲ獲ルカト云フノガ、私ハ本當  
ノ農業經營デアルト思フノデアリマス、其  
ノ意味ニ於テハ私ハ如何等ノ困難必要ハ  
ナイト思フ、今ハマダアナタ方ノ御豫定通  
リノ移民ト云フモノガ向フニ入ツテ居ナイ  
ノデアリマス、マダソコマデ考ヘル必  
要ハナイヤウニ思ヘラレカモ知レマセヌガ、  
將來ハ必ズ此ノ問題ハ起ツテ來ルト思フ、  
サウシテ何回カ失敗シタ後ニ、其ノ間ニハ  
「イデオロギー」ノ闘争ガアツテ、ヤツト結  
論ニ到達スルト云フヤウナコトニナルノ  
ヤナイカト云フコトヲ私ハ今カラ心配スル  
ノデアリマス、取越苦勞テハアリマスガ、  
ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ今カラ一定  
ノ計畫ヲ立テ、果シテ如何ナル方法ニ依  
ルノガ北滿ニ於ケル本當ノ農業經營デア  
ルカ、此ノ點ヲ十分研究下サレ御心構ヘヲ御持  
テ下サランコトヲ御願ヒ致シマシテ、私  
ノ質問ヲ終リマス

○森井至奎代理 前川正一君  
願設デアリマシテ、實地ニ基イタモノデモ  
ナシ、又科學的ナ檢討ヲ經テ上デノ考ヘデ  
モアリマセテ、併シ私ハ今ノ組合ヲ基礎ト  
セル農業ト云フコトデモナリマス、ソレシ  
ヤノ共產主義ニ類似スルヤリ方ニナルカラ  
イケナイ、ヤハリ日本ノ内地ヲ其ノ儘持ツ  
テ行ツヤウナ自作農中心ノソレデ行カ  
ケレバナラナイノグト云フヤウナ議論ガ、  
必ズソコニ起ツテ來ルト思フノデアリマス、  
恐ラクハ之ヲ觀念的ニハツキ整理スル  
云フコトハ非常ニ困難ダト思フ、ケレドモ  
私ハサウ云フコトハ「イデオロギー」ニ因  
ルル必要ハナイト思フ、農業ト云フモノハ、  
自然カラ教ハツテ、其ノ上ニ人間ノ知能ヲ  
科學的ニドウ組立テ行ツテ、ソコカラ吾  
等ノ生活資源ヲ獲ルカト云フノガ、私ハ本當  
ノ農業經營デアルト思フノデアリマス、其  
ノ意味ニ於テハ私ハ如何等ノ困難必要ハ  
ナイト思フ、今ハマダアナタ方ノ御豫定通  
リノ移民ト云フモノガ向フニ入ツテ居ナイ  
ノデアリマス、マダソコマデ考ヘル必  
要ハナイヤウニ思ヘラレカモ知レマセヌガ、  
將來ハ必ズ此ノ問題ハ起ツテ來ルト思フ、  
サウシテ何回カ失敗シタ後ニ、其ノ間ニハ  
「イデオロギー」ノ闘争ガアツテ、ヤツト結  
論ニ到達スルト云フヤウナコトニナルノ  
ヤナイカト云フコトヲ私ハ今カラ心配スル  
ノデアリマス、取越苦勞テハアリマスガ、  
ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ今カラ一定  
ノ計畫ヲ立テ、果シテ如何ナル方法ニ依  
ルノガ北滿ニ於ケル本當ノ農業經營デア  
ルカ、此ノ點ヲ十分研究下サレ御心構ヘヲ御持  
テ下サランコトヲ御願ヒ致シマシテ、私  
ノ質問ヲ終リマス

ノデハナイカト私共ハ考ヘテ居リマス、斯  
ウ云フ點カラ考ヘマス、滿洲ノ開拓民ノ  
問題モ、大陸ニ基地ヲ求メテ國防的見地カ  
ラヤルノグト云フ、斯ウ云フ方針ダケデナ  
クテ、更ニ之ヲモウ少シ複雑ニ分解シテ  
考ヘナケレバナラヌノデハナイカト思フ  
デアリマス、特ニ最近戰時食糧問題ノ充足  
ト云フ極メテ大キナ役割ガ湧イテ來タ、是  
ハ農林大臣モ先日豫算總會上ニ於テ言  
ツテ居ラレ、二百萬町歩以上ノ開墾可能  
ノ土地ガアル、ソレガ現在ハ三十萬町歩位  
シカ開墾サレテ居ナイ、マダアト隨分開  
墾ノ餘地ガアル、ソレニ對シテ拓務大臣ハ  
私ノ質問ニ答ヘラレテ、第一期ノ計畫ダケ  
デモ辛ウジテヤツタノデアツテ、サウ開拓  
ノ計畫ヲ大キクスルコトハ出來ナイト云  
ハレマシタ、併シナガラ今日本ニ至上命令ト  
シテ與ヘラレテ居ルモノハ如何ニシテ戰時  
食糧ヲ充足スルカノ問題デアリマス、而シ  
テ内地デ如何ニ米ヲ多ク作ラウトシテモ、  
昨日モ三善委員デシカガ申サレタヤウニ、  
國內ノ増産ハ非常ニ困難デアル、臺灣モ私  
共ガ豫想シテ居ルヨリ内地ニ來ル米ハ減ル  
ラシ、支那ニ於テハモウ慢性的ノ飢饉デ  
アル、ソコデ手取り早イノハ臺灣ト滿洲ニ  
期待ガ出來ルト思フ、而モ農林大臣ガ此ノ  
間モ言ハレタヤウニ滿洲ニ於テハ僅カ九箇  
月ノ間デ荒レタ土地ガ立派ナ水田ニナツテ  
反當一石三斗ノ收穫ガ出來タト云フ、斯ウ  
云フヤウナ理想ノ所ハ他ニ無イト思フ、  
日本デハ最近五十萬町歩ノ開墾計畫ヲ立テ  
タケレドモ是ガ實現ハ中々困難デアルト思  
フ、ソコデ滿洲ノ開發ニ付テハ今マデノ開  
拓民送出ノ方針ノ上ニ、更ニ戰時食糧政策  
ノ立場カラ特ニ之ヲ重ク考ヘナケレバナラ

○前川委員 他ニモ質問ノ御方ガアルヤウ  
デスカラ極メテ簡單ニ質問申上ゲマス、先  
日ノ總會ニ於ケル質問ハ時間ノ關係カラ十  
分私ノ意見盡シマセヌデシタシ、拓務大臣カ  
ラモ詳細ナル御答辯ガナカッタノデアリマ  
スガ、私共ノ積キニ付テ二三御尋ネテ致シ  
タイト思フノデアリマス、私ノ先ツ考ヘマ  
スルコトハ、大東亞共榮國ノ確立ハ色々ナ政  
治的、軍事的ナ仕事モアラウケレドモ、先  
ヅ經濟的ナ場面カラ此ノ仕事ガ着手サレ  
ルガ割合ニ早イノデハナイカ、特ニ大東亞共  
榮國ノ中ニ包含サレレバ豫定サレテ居リ  
マス地域内ニ住ンデ居ル人間ノ大部分ハ農  
民デアル、其ノ中デ日本ノ農業ガ一番進  
ンデ居ルノダ、支那ニ於テ日本ノ農業ガ一  
ノナラバ日本デハ三出來ル、滿洲ハ其ノ中  
間ノ二シカ出來ナイ、斯様ニ農業ノ技術等  
ガ日本ハ一番優秀ナノデアリマスガ、此ノ  
住民ノ中デ最も多ク占メテ居ル農民ヲ獲  
得スル、ソレモ一番進ンデ居ル日本ノ農業  
ノ方法ヲ以テ、技術ヲ以テ、農業ノ指導方  
針ヲ以テ進ンデ行クコトガ、大東亞共榮國ノ  
確立ニ於テ一番手取り早イノツツ方法デハ  
ナイカ、斯ウ云フコトヲ實ハ御尋ネシヨウ  
ト思フテ居ツタノデアリマス、其ノ際ニ考  
ヘラレマスルコトハ、今モ森田君ノ御意見  
ニ出テ來タツテ行クコトハ出來ナイ、是  
ハ其ノ通り性格ガアルトシテ、土地ト云フ  
モノニハ皆性格ガアルトシテ、遊牧ノ民ハ  
何時モ移動シテ居ルカラ土地ニ親シミガナ  
イ、小麦ヲ食ツテ居ル所ノ畑作地ノ人間モ、  
肥料ガ潤レテ居ル人間ハ一度根ヲ下シタ  
水田ヲ耕作シテ居ル人間ハ一度根ヲ下シタ  
限り定着性ヲ持つテ居ル、土人間トガ合

スノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ  
其ノ點カラ御質問申上ゲタ譯デス、所ガソ  
レハ今マデノ經驗カラ見ルナラバ、青少年  
義勇軍ヲ出スニシテモ、集團移民ヲ出スニ  
シテモ色々ノ事情ガアルカラ、是レ以上速  
カニハ出來ナイト云フヤウナ御答ヘデア  
リマシタ、所ガ最近轉失業ノ問題ガ問題ニナ  
ツテ來テ居ル

○窪川主査代理退席、主査着席  
ソレデ昭和十五年度及ビ昭和十六年度ニ  
於テ中小商工業者ノ中カラ轉業シタ者ヲ五  
千戸出ス、是ハ或ハ農具ナドヲ造ル工業移  
民トシテ行クノカモ知レマセヌガ、或ハ又  
山梨縣アタリノ米屋サンヤ菓子屋サンガ集  
ツテ相談シテ、是マデハ米ノ配給業者デア  
リマシタモノガ、今度ハ米ノ生産者ニナツ  
テ向フヘ行クト云フヤウナ運動モ近頃アツ  
テ、農村更生協會ナドニ於テ此ノ運動ヲヤ  
ツテ農業ノ經驗ハナクテモ、精神的ニ是ガ  
緊張シ、ソレニ多少農業ノ訓練ヲ施シ、サ  
ウシテ政府ガ農具ヲ之ニ與ヘ、多少ノ助成  
ヲ今マデノ農業移民以上ニシテ行クナラバ、  
可能性ハ十分ナルノグト云フコトヲ、滿  
洲ノ拓植公社ノ經驗者ハ既ニ發表シテ居ル、  
斯ウ云フコトカラ考ヘテ、非常ニ大キナ役  
割ガ滿洲ノ農業開發ニ課セラレテ來タト思  
フノデアリマス、私ハ、今マデノ開拓團、  
開拓民ト云フモノノ計畫ダケニ因ハレズ、  
ソレ以外ニ中小商工業者ノ轉失業者ヲモ含  
メテ行ク、或ハ昨年モヤリマシタシ、今年  
モヤラウトシテ居ラレル所ノ學生ノ義勇隊  
ノ編成モヨリ多クスル、又ソレ以外ニ考ヘ  
ラレラババモツト色々ナ方法デ、一番早  
ク出來サウナ滿洲ノ開發ト云フコト同時

ニ、今ノ必要ナ米ヲ間ニ合ハス、斯ウ云フ  
ヤウナ御計畫ヲ拓務省トシテ御執リニナル  
コトガ必要デハナイカ、又アルノデハナカ  
ラウカ、斯ウ云フコトヲ實ハ御尋ネシヨウ  
ト思フノデアリマスガ、今申上ゲマシタ  
ヤウナ事情デ、若シ何カ案ガアリマスナラ  
バ御聽キシタイト思ヒマス

○秋田國務大臣 前川君ノ御意見ノ如ク、  
士ノ力、地ノ力、所謂土地ノ力ト云フモノ  
ガ極メテ偉大ナルモノデアルトハ、全ク  
御説ノ通りダト思ヒマス、人ノ力ヨリハ土  
地ノ力ガ強イノデアリマス、所謂江南ノ橋  
ヲ江北ニ移セバ積ニナルト云フコトヲ支那  
人ガ言ツテ居リマスガ、土地ノ持つ性格ト  
云フモノヲ尊重シテ臨マナケレバナラヌト  
云フ御意見ヲ拜承致シマシテ、私モ全然同  
感ニ存ジマス、隨テ今後此ノ滿洲開拓政策  
ト云フヤウナ事情ニ付キマシテモ、此ノ點  
ニ深ク留意致シテ、出來得ル限リ現下ノ要  
請ニ對シテ拓植計畫ナドヲ擴充シテ行カ  
ナケレバナラヌト云フコトハ、根本趣意ニ於  
テ全然御同意デゴザイマシテ、少シモ異存  
ハナイノデアリマス、唯過般豫算總會ニ於  
テ申上ゲマシタ通り、只今ノ國內事情ノ  
總テカラ眺メマシテ、所謂勞務ノ動員計畫  
ナリ、又物資ノ計畫資金ノ計畫、是等ヲ全  
然度外致シマシテ、唯滿洲ノ持つ土地ノ性  
格ガ國策上最モ利用スベキモノナリト見  
地ニ立ツテノミ政策ヲ決定スル譯ニハ參リ  
發スルノデゴザイマスカラ、人口政策、食糧  
政策、國土計畫、凡ユル點カラ配合ハセテ  
技ニ此ノ程度ノ計畫ヲ立テテ臨マウツ云フ  
コトニ、總テノ國策ニ基イテ、只今ノ實情  
マツテ來ルノデゴザイマス、只今ノ實情  
ニ於キマシテハ、豫立立テテ居リマス二

一化シテ居ル、是ハ日本ダケデハナイ、  
タビアル地方ニ於ケル僅カノ水田地方ニ於  
キマシテモ、ソレ等ノ農民ハ土地ニ魂ヲ感  
ズルト云フ、特ニ日本人、漢民族、滿洲或  
ハ半島、臺灣等ノ水田ヲ主體トシテ農業ヲ  
經營シテ居ル地方ニ於キマシテハ、一ツノ  
共通シタモノガアル、土人間トノ融一、  
此ノ一ツノ性格、特徵ガアルト思フ、之ヲ私  
ハ今最も重要ナ「ポイント」トシテ握ラナケ  
レバイカヌノデハナイカト思フノデアリマ  
ス、滿洲ノ開拓モ、南方ヘノ進出、支那ヘ  
ノ進出モ、斯ウ云フ觀點カラ考ヘラレナケ  
レバナラナイノデハナイカト思フノデス、  
例ヘバ最近紹介サレマシタ「ハウス・ホー  
ファー」ノ例ノ「ゴボリ」トハ日本ノ古事記カ  
ラ來テ居ル、一例ヲ申シマスト四國ノ愛媛縣  
ハ愛比賣ト云ヒ女性デアル、香川縣ハ飯依  
比古ト云ツテ男性デアル、古事記ノ昔ニ於  
キマシテ其ノ地方ニ於ケル土地ノ性格ガ區  
別サレテ居ル、女性ト男性ト土地ニチヤン  
ト性格ヲ與ヘテ居ル、其ノ上ニ産業ノ色々  
ナ方針ガ決ツテ來テ居ル、國土計畫ハ古事  
記當時ニ於テ其ノ基本ガアツタト思フ、其  
ノ上ニ地方ノ産業其ノ他ガ開ケテ行ク、滿  
洲ノ農業經營ニ付テモ滿洲ノ性格ガアル、  
支那ノ農業ニハ自ラ支那ノ農業トシテノ性  
格ガアリ、朝鮮ニハ朝鮮トシテノ性格ガア  
リ、臺灣ニハ臺灣トシテ特有ノ性格ガア  
リ、日本ノ農業ニハ日本トシテノ獨特ノ性  
格ガアリ、南洋ノ農業ニハ南洋トシテノ  
性格ガアル、此ノ性格ト云フモノヲ各、活カ  
シナガラ如何ニ地勢學的ニ統一シ指導シテ  
行クカト云フコトガ、大東亞共榮國確立ノ農  
業部面カラ喰込ンデ行ク基本的問題ニナル



サウサウ大キナモノ、チヤナイト思フノデア  
リマス、現在ノ家ノ中ノ道具ヲ持ツテ行ク  
デアリマス、新シイモノハ大シテ要ラナ  
イノチヤナイカ、多少政府ノ助成金ト云フ  
ヤウナモノハアリマセウガ、是ハ拓務省ト  
シテ此ノ際思切ツテ主張シテ宜イト思フ、  
大東亞國ノ確立ノ經濟參謀本部ナラバ、  
今マデトハ變ツテ來タ、大東亞國ヲ確  
立スル經濟參謀本部トシテ新シイ役割ヲ持  
ツテ來タ拓務省トシテハモウ少シ勇敢ニ豫  
算ヲ御取リニナツテ宜イノチヤナイカト私  
ハ思フノデアリマス、ソレカラ勞務員ニ付キ  
點ニ觸レマシタガ、現在ノ勞務員ニ付キ  
マシテモ、私ハ昨日モ小森商工大臣ニモ色  
色質問致シマシタケレドモ、商工省ニ於テ  
ハ中小工業者ノ轉失業者ノ何處ニ振向ケ  
ルカト云フ方針ガナイノデアリマス、轉失  
業者ハ隨分出テ來テ居ル、何處ニ行カウカ  
ト云フコトヲ皆考ヘテ居ル、ケレドモ皆成ベ  
ク自主的ニヤツテ實ヒタイト云フコトニナ  
ツテ居ル、自主的ニ業者自體ニ於テ解決セ  
ヨト言ハシバカリノコトヲ言ツテ居ル、ダ  
カラ自主的ニ滿洲ニ行カウト云フ中小商工  
業者ガアル譯デア、工業者ハ農具ノ製造  
等ガアツテ宜シイガ、併シ商賣人ノ方ハマ  
サカ滿洲デ商賣スル譯ニ行カスカラ農民ニ  
ナル、既ニ滿洲ニ行カウトスル商賣人ガ團  
體ヲ組織シテ出テ居ル、サウ云フヤウニ、  
今マデハ農民タケテ對象トシテ御考ヘニナ  
ツテ居ルヲ管ナノデスガ、モウ開拓民ハ農  
民ニアラザル所ノ轉業ヲ餘儀ナクサレテ居  
ル商賣人アタリガ滿洲ニ行カウトスル氣勢  
ヲ構ヘ、其ノ行動ヲ起シ掛ケテ來テ居ル  
云フコトハ、私ハ新シイ傾向ト思フ、之  
ヲ述スコトナク此ノ際促ヘルコトガ必要ナ

ノチヤナイカ、斯ウ云フ意味ニ於テ、二十  
年間百方戸ト云フ計畫ハ此ノ儘デ宜イノデ  
ス、ケレドモ、ソレ以外ノ斯ウ云フ新シ  
イ傾向ガ出テ來タコトモ御考慮ナクナレ  
バナラズノチヤナイカ、ソレヲ促進セシメ  
レルコトガ宜イノチヤナイカ、斯ウ云フコ  
トヲ私ハ申上ゲヨウ思フテ居ル譯ナノデア  
リマス  
○秋田國務大臣 只今モ御答へ申上ゲマシ  
タ通り御趣意ニ於テハ全然私ハ感ラ同ジウ  
致シ居リマス、隨テ此ノ二十年間百方戸ト云  
フ既定計畫ヲ維持シツツ、尙モ現狀ニ即應  
致シマシテ、ソコニ餘地ガアリマシタ場合  
ニ決シテ之ヲ見送スモノジヤナイノデアリ  
マス、ドウカ左様ニ御承取ヲ願ヒマス  
○前川委員 實ハ商工省ハ轉業問題ニ對シ  
テ非常ニ冷淡ナノデアリマス、私ハ非常ニ  
憤慨スルノデアリマス、昨日マタリモドウシ  
テモ方針ヲ示サナイノデアリマス、サウナ  
リマスト轉業シタ人達ヲ救フ途ハ厚生省  
ト拓務省ニ殘サレテ來ルト思フ、此ノ際拓  
務省ガ大キナ手ヲ差出シマシテ、此ノ際落  
シテ行ク人達ヲドウカ新シイ滿洲ノ天地ニ  
行クヤウニシテ載キタイト云フコトヲ御願ヒ  
スルノデアリマス、尙モ食糧問題ノ建前カラ言  
ヒマシテモ、ソレガ必要デアリマスト同時  
ニ、現在山東省邊リノ苦力ガ所謂慢性的ナ  
食糧飢饉ノ爲メ農繁期ニ滿洲ニ或一定數派  
レ込メテ來テ居ル、ソレハ極力許可カ何カ  
ナケレバ來ラレナイト思フテ居リマス、數  
字ハ言ツテ宜イカ惡イカ分リマセウガ、前  
ハ相當來テ居ルツタガ、今ハ限定サレマシ  
テ五十七萬程度シカ來テ居ラナイコトニナツ  
テ居ル、此ノ際戰禍ノ中ニアリマシテ、十分  
生活モ出來ズ、食糧ニ飢エテ居リマスル所ノ

山東苦力ヲ暫定的ニ、臨時的ナ措置トシテ滿  
洲ニ入レマシテ、之ヲ日本ノ指導者ガ指導  
シマシテ、開墾事業ヲサセ、耕作物ヲ作り  
上ゲルト云フヤウナ應急措置ヲ此ノ際御執  
リニナルコトハ、内地ノ食糧問題全體ノ上  
ニ一ツノ大キナ役割ヲ果タスノデハナカラ  
ウカ、斯ウ思フノデアリマス、但シ今マデ  
ハ軍ノ方針ト作戰上ノ關係ナドガアツタノ  
デ、或ハ山東苦力ヲ入レナカウカモ知レ  
スト思フノデアリマスガ、現地側ト十分打  
合ハサレマシテ出來ルコトナラバ、斯ウ云フ  
新シイ方法ヲ一ツ此ノ際御進メニナルコト  
ハ如何カト思フノデアリマス、唯滿洲ノ農  
業經營ハ、「イデオロギ」的ニドウ云フ形  
ガ一番滿洲ニ正シイカト云フ議論ニ先走ツ  
テ、現實ノ食糧ヲ如何ニシテ充タスカ、斯  
ウ云ツタヤウナ問題ガ動モスレバ輕視サレ  
ルノデハナカラウカト云フコトヲ私達滿洲  
ノ現地ニ參ツテ痛感シタノデアリマス、今  
直グ間ニ合フ措置トシテ斯ウ云フ方法ヲ御  
考ヘニナツテ居ルノデセウカ、ドウデアリ  
マセウカ  
○秋田國務大臣 洵ニ尊重スベキ參考意見  
ダト存ジマス  
○前川委員 只今森田君カラ滿洲ノ營農方  
針ニ付テ御尋ネニナツタノデスガ、今滿洲  
ニ於キマシテハ、三箇省五十數縣デ以テ、  
試驗的ノ營農ヲヤツテ居ル營農アルト思フ  
ノデスガ、既ニ地主的ナ經營デハ駄目ダ、  
ソレカラ在來ノ滿洲型デハ駄目ダ、私ハ有畜  
農業ヲ兼ネテ一ツノ北海道型ノ農具ヲ使ツ  
タ十町程度ノ耕作、改良農具ト云ハレテ居  
リマスガ、ソレガ一番滿洲ニ適當デハナカ  
ラウカト云フコトガ大體ニ於テ結論デア  
ルヤウニ思ハレルノデアリマス、是ハ既ニ島

木健作君ガ滿洲ニ行キマシタ時ニモ、サウ結  
論ヲ得テ歸ツタ、ソレカラ滿洲ニ參ツタ私  
共ノ友人モ前カラサウ云フ考ヘヲ持ツテ居  
ル、大體試驗ハ終ツタト思フノデアリマス  
テ、滿洲ノ性格ニ合ツタ經營ノ方法ヲ早ク  
御示シニナツテ御指導ナサルコトガ必要デ  
ハナカラウカト思フノデアリマス、地方カ  
ラ參リマス時ニハ皆自分ノ出身地ノ農業經  
營ヲ頭ニ描イテ行クト思フノデス、ソレガ  
向ウニ行キマシテ不幸ナ目ヲ見ル、時ニハ  
間違ツテ煙草ノ種ヲ持ツテ來タ所ガ、案外  
ウマク出來タト云フ僥倖ナコトモアツタノ  
デスガ、大體ニ於テ失敗ガ多カウタト思フ  
ノデアリマス、是ハ先ヅ内原ノ訓練所ニ於  
テ其ノ訓練ノ方針ニ於テ、精神的ナ方針ハ  
是デ宜シイノデスガ、經營上ノ、實務上ノ訓  
練ノ一ツノ方針ガ決ツタラ、サウ云フ型ニ  
成ベク早く入レラレタ方ガ宜イノデハナイ  
カ、滿洲ニ行ツテモウ一遍出直スト云フ  
デハナクテ、出テ行ク前ニチヤナイトシタ方  
針ヲ握ツテ行ケルト云フヤウニナサルコト  
ガ宜イノデハナイカ、試驗ノ結果ハ發表ニ  
ナツテ居ルノデアリマスカラ、内原ニ於テ  
モ採用サレテ宜カラウト思フノデスガ、内  
原ニ於キマシテハ、既ニサウ云フコトヲナ  
サレテ居ルノカドウカ御伺致シマス  
○今吉政府委員 大體御話ノヤウナ方向ニ  
向ツテ指導シテ行キタイト云フコトハ、先  
刻森田委員ノ御質問ニ對シテ御答へシタ積  
リデアリマス、尙モ訓練ノ點ニ付キマシテハ、  
内原ノ訓練所ニ於キマシテモ、或ル程度滿  
洲農法ニ付テハ訓練政シテ居ル積リデアリ  
マス、結局北海道式ノ農具ヲ用ヒルト申シ  
マシテモ、私ガ申上ゲマシタノハ、山東苦  
力ヲ「セーブ」スル意味ニ於テ先ヅ滿洲ノ現

狀ヲ無視シテ農法ヲ採り入レルコトハ出來  
ナイ、隨テ滿洲ニ行ク農民ニ滿洲現地ニ於ケ  
ル滿洲農法ヲ相當叩キ込メシテ、北海道  
式ノ改良農具ヲ用ヒテ山東苦力ヲ「セーブ」  
スルト云フ考ヘ方デナイト、先刻御話ノヤウ  
ナ土地ニ即シテ農法ハ出來ナイ、先ヅ内原  
訓練所ニ於テ滿洲農法ヲ或ル程度ヲラセ、  
向フニ參リマシテ滿洲農法ヲラセ、ソ  
レヲ側面カラ援助シテ、今ノヤウナ改良農  
具ヲ出來ルダケ配給シテ苦力ヲ「セーブ」シ  
テヤツテ行キタイト云フ方針デヤツテ居ル  
ノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス  
○前川委員 滿洲ニ付キマシテハ、モウ少  
シ觸レタイノデアリマスガ、是デ打切りマ  
ス、南洋方面ニ付テ、南方政策ハ十分ニ方  
針ヲ持ツテ居ラレ、併シ此ノ席上デハ發  
表出來ナイト大臣ハ言ハレタノデアリマス  
ガ、南方政策ト云フ言葉ハ非常ニ抽象的デ  
駄目ダト思フ、豫算ノ中デモ南洋及ビ南米  
方面ノ開拓民ト言ヒマスガ、移民ト申シマ  
スカ、可ナリ拓殖事業ニ助成ガアルガ、南  
洋方面ニ出ラレレ移民ハ、何ト申シマスガ、  
商業ヲ主トシテ居ルモノカ、或ハ農業方面  
ノ指導者トシテ行クノカ、農業ノ經營者ト  
シテ行クノカ、南方ニ出テ行ク移民ノ大體  
ノ傾向ト申シマスガ、ソレヲ御伺ヒシタイ  
ト思ヒマス  
○森部政府委員 只今ノ御尋ネニ對シマシ  
テ私カラ御答へ致シタイト存ジマス、南洋  
方面、特ニ蘭印等ニ付キマシテハ、只今ノ  
所從來カラ出テ居リマスノハ北「ボルネオ」  
ノ「タワオ」ニ農業トシテ出テ居ルノガアル  
譯デアリマス、其ノ他ズツト以前カラ引續  
イテ出テ居ルノハ「フィリピン」地方ニ於  
キマシテ「ダバオ」ニ麻ヲ栽培シテ居ルモノガ

二千人カラアルコトハ御承知ノコトト存ジ  
マス、其ノ他拓務省關係トシテ南洋方面ニ出  
テ居ルモノト致シマシテハ、商業實習生若  
クハ向フニ居リマシテ商館等デ商業ヲ見習  
ツタモノヲ獨立サセルト云フ仕事ヲ致シテ  
居ル譯デアリマス、併シナガラ是等ハ今マ  
デ極々備カナ數ガ出テ居ル程度デゴザイマ  
ス、マダ其ノ他ニモ或ハ「マレー」半島ノ所  
デ「カメル」高原アタリデ蔬菜栽培ノモノ  
ヲ出シテ居ルノガ、少クモ「ハゴザイマ」  
スガ、大體ニ於テサウ云フ所デアリマス、  
今後如何ナル形ニドウ云フ風ニ出スベキカ  
ト云フコト、所謂東亞共榮圈ノ中ニ入ツテ  
參リマシテ、如何ニスベキカト云フコトニ  
付テハ、私共トシテハ計畫ハナイデモナイ  
譯デアリマスガ、現在ノ所、此ノ問題ハ大臣  
カラノ言ヒニタイト斯ウ云フ御話ノアリマ  
シタト同様ニ、目下芳澤代表ガ、其ノ前ハ  
小林商相ガ蘭印ニ行ツテ是等ノ點ニ付テ  
交渉ヲシテ居ラレレ所デアリマス、ソレデ  
斯ウ云フ問題ヲ此處デ詳細申上ゲマスコト  
ハ却テ外交交渉ニ支障ヲ來ス虞ガアルノデ  
アリマス、佛印ハ蘭印ト聊カ趣キヲ異ニシ  
テ居リマスケレドモ、之ニ於キマシテモ、  
マダ佛印現地ニ於キマシテ、松宮大使ガ行  
カレ、更ニ引續イテ東京會議ガ行ハレテ居  
ルコト御承知ノ通りデアリマスガ、全般ノ  
問題ト致シマシテハ、或ハ入國ノコト、居  
住ノコト、或ハ企業、農業、林業、水産業、  
工業方面ノ企業ノコト、其ノ他物資ノ日本  
ニ必要ナルモノヲ獲得スルコトカ、或ハ日本  
カラ其ノ方面ニ出スト云フ各種ノ方面ノコ  
トニ互ツテ交渉ヲ致ス譯デアリマス、蘭  
印ト聊カ趣キハ異リマスケレドモ、是亦目  
下交渉中デゴザイマス、茲ニ多クヲ申述ベ

マスコトハ却テ支障ガアルト存ジマスノデ  
此ノ席デ是以上申上ゲルコトハ差控ヘタイ  
ト存ジマス、左様御承取ヲ願ヒマス  
○前川委員 時間モアリアマセウカ私ハ是  
デ打切りマスガ、唯私ノ御願ヒシタイコト  
ハ、交渉ハ何レ決裂スルカ、纏マルカ、邦  
家ノ爲ニ纏マルコトヲ私共ハ期待スルノデ  
アリマスガ、其ノ纏マリマシタ後ニ、直チ  
ニ行動ガ出來ルヤウニスル、ソレカラボツ  
ボツ調査ヲ始メテ行クト云フヤウナヤリ方  
デハナクシテ、即時行動ガ出來ルヤウニシ  
テ置イテ戴キタイ、東亞共榮圈ノ確立ト云  
フコトハ、モウ行動ノ時代デ理論ノ時代デ  
ハナイノデスカラ、其ノ御用意ヲ十分ニシ  
テ置イテ戴キタイ、私ハサウ云フコトヲ御  
願ヒ致シマシテ質疑ヲ打切りマス  
○依光全查 中山福藏君カラ質問ノ通告ガ  
ゴザイマスガ、中山君ハ午前午後モ此ノ  
會議ニ一回モ御顔ヲ見セマセウ、只今探シ  
マシタガ何處ニモ見エマセウノデ棄權サレ  
タモノト認メマス、仍テ是ニテ拓務關係ノ  
質疑ハ全部終了致シマシタ、明日ハ午前十  
時ヨリ本案ノ態度決定ノ爲ニ御集マリヲ願  
ヒタイト存ジマス、本日ハ是ニテ散會致シ  
マス  
午後三時五十二分散會

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄 第二回 昭和十六年一月三十一日



昭和十六年一月三十一日

昭和十六年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第二號)

第七十六回帝國議會 院 豫算委員第一分科(外務省、司法省及拓務省所管)會議錄(速記)第三回

會議

昭和十六年二月一日(土曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

主査 依光 好秋君

鶴見 祐輔君

窪井 義道君

中山 福藏君

出席國務大臣左ノ如シ

拓務大臣 秋田 清君

司法大臣 柳川 平助君

出席政府委員左ノ如シ

外務次官 大橋 忠一君

外務省東亞局長 山本 熊一君

外務省歐亞局長 阪本 瑞男君

外務省亞米利加局長 寺崎 太郎君

外務省通商局長 水野伊太郎君

外務省條約局長 松本 俊一君

外務省書記官 武内時之助君

司法次官 三宅正太郎君

司法書記官 坂野 千里君

司法書記官 石田 壽君

拓務次官 北島謙次郎君

拓務省管理局長 副島 勝君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

拓務省拓北局長 今吉 敏雄君

拓務省拓南局長 森部 隆君

拓務書記官 中野 勝次君

朝鮮總督府政務總監 大野 健一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 齋藤 樹君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

樺太廳長官 小河 正儀君  
南洋廳長官 近藤 駿介君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中外務省、司法省及拓務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中外務省及拓務省所管

(第一號)昭和十五年歳入歳出總豫算追加案中外務省所管

○依光主査 是ヨリ會議ヲ開キマス、是ヨリ三案ノ討論及ビ採決ニ入リマス

○窪井委員 本分科ノ所管ニ屬スル豫算各案ニ對マシテハ、討論ヲ省略シマシテ直チニ採決サレシコトヲ望ミマス

○依光主査 只今ノ窪井君ノ御動議ニ御異議ゴザイマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○依光主査 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ヨリ採決致シマス、各案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ望ミマス

(議員起立)

○依光主査 起立議員、仍テ各案トモ原案ノ通り可決致シマシタ、是ニテ散會致シマス

午後一時十二分散會

衆議院豫算第一分科會議錄第二回中正誤

頁 段 行 誤 正

五 一 二 九 六 斗 五 升 七 合 六 斗 七 升 三 合



昭和十六年二月一日印刷

昭和十六年二月二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第一類 第三號

第七十六回帝國議會 院 豫算委員第二分科(内務省、文部省及厚生省)會議錄(速記)第一回

會 議  
昭和十六年一月三十日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 主席 末松備一郎君
- 加藤 綱一君
- 田中 好君
- 久山 知之君
- 三善 信房君
- 今井 新造君
- 兼務 三宅 正一君
- 伊禮 肇君
- 森田 福市君
- 北 昉吉君
- 小野 謙一君
- 平川松太郎君

同日第一分科所屬員武田徳三郎君、平川松太郎君及第六分科所屬員森田重次郎君ハ孰レモ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

内務大臣 男爵平沼騏一郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務次官 菅場 軍藏君

内務省地方局長 留岡 幸男君

内務省警保局長 橋本 清吉君

内務省土木局長 成田 一郎君

内務省計畫局長 藤岡 長敏君

内務書記官 三好 重夫君

神祇院副總裁 飯沼 一省君

北海道廳長官 戸塚九一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案中内務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件内務省所管

○末松主査 是ヨリ豫算委員會第二分科會ヲ開會致シマス、本分科ノ所管ハ内務省、文部省及厚生省デアリマシテ、所屬委員ハ本務者十名及ビ今マデノ申込兼務者十二名、合計三十二名ニ達シテ居リ、且ツ多數質問通告ノ申出ガアリマス、而シテ御承知ノ通り、分科會ノ審議期間ハ本日及ビ明日ノ二日間ニ限定セラレテ居リマス、故ニ大體左ノ如キ順序ニ依リ審議ヲ進メタイト思ヒマス、即チ本日夕刻マデ内務省所管、今夜及ビ明日午前中ヲ厚生省所管、明日午後ヲ文部省所管ノ質問トシ、質問ノ順序ハ通告順ニ依リ本務者ヲ先ニシ、兼務者ヲ後ニシ、質問時間ハ二日間ヲ通ジテ、大體ニ於テ本務者四十分、兼務者三十分ノ程度トシ、成ベク多數ノ希望者ニ質問ノ機会ヲ與ヘルコトニ致シタイト思ヒマス、隨テ質問者モ政府ノ答辯者モ、最も必要ナル事項ノミヲ所定ノ時間内ニ簡單ニ陳述シ得ルヤウニ御注意アラントラ希望致シマス、又既ニ豫算總會ニ於テ質問シタル委員諸君ノ質問ハ最後ニ廻ハシタイト思ヒマスカラ、假令分科會ニ質問ヲ留保セラレタル委員ニ於テモ、或ハ質問ノ時間ガナイコトニナルカモ知レマセス、此ノコトハ豫算總會承テ願ヒマス、尙ホ會議進行ノ經過ヲ見テ、質問ノ時間又ハ順序等ニ付テハ主査ニ於テ

適宜變更ヲ加ヘタイト思ヒマス

右ニ付キ御異議ナシト呼ブ者アリ

○末松主査 御異議ナシト認メマス、之ニ依リテ豫算ヲ進行致シマス、尙ホ質問者ハ御手数ナガラ速カニ各別ニ質問事項ヲ書記ノ方ヘ御申出ヲ願ヒマス、之ニ依リテ質問ノ順序ヲ決定メタイト思ヒマス、是ヨリ質問ニ入りマスガ、其ノ前ニ内務大臣カラ大體ノ御説明ガアリマス

○平沼國務大臣 昭和十六年度内務省所管一般會計豫算ノ要求額ハ經常部三億八千二百九十八萬餘圓、臨時部二億四千四百三十七萬餘圓、合計五億九千七百三十六萬餘圓デアリマシテ、之ヲ前年度豫算額五億二千九十一萬餘圓ニ比較致シマスルト、經常部ニ於テ四千五百五十七萬餘圓、臨時部ニ於テ二千九百八十八萬餘圓、合計ニ於テ七千五百四十五萬餘圓ヲ増加致シテ居リマス、而シテ十六年度豫算ニ於ケル増減ノ大要ニ關シマシテハ、豫定經費要求書中ニ於テ各事項毎ニソレレノ説明ハ致シテアリマスガ、其ノ主要ナルモノニ付テ概要ヲ茲ニ申述ベタイト存マテス

先ヅ神社ニ關スル經費ト致シマシテ、式年御造營ニ關スル經費ノ本年度割額二百萬圓、官幣大社廣田神社、官幣大社島島神社及ビ國幣大社熊野神社敷修築並ニ境内整理ニ要スル經費ノ本年度割額六萬餘圓、神思想普及ニ要スル經費七萬圓計上シ、地方行政ニ關スル經費ト致シマシテ、地方分與稅分與金特別會計ニ關スル經費ノ增加三千八百九十四萬餘圓、町村吏員充實助成ニ要スル經費五百七十萬圓、町村吏員互助施設助成ニ要スル經費百萬元、部落振興ニ要スル經費百二十萬圓計上シ警察施設ニ關スル經費ト致シマシテ、警察通信施設整備ニ要スル經費五十六萬餘圓、外事警察機構擴充ニ要スル經費九十二萬餘圓計上シテ居リマス

次ニ土木ニ關スル經費ニ付キマシテハ、之ヲ河川、港灣及ビ道路ニ大別シテ説明致シマス、河川ニ關スル經費ト致シマシテハ、渡良瀨川上流、大分川及ビ名取川新規三河川改修ニ要スル經費ノ本年度割額三十七萬圓、天龍川及ビ信濃川上流二河川改修費追加ニ要スル經費ノ本年度割額十九萬圓、澁川低水工事費追加ニ要スル經費ノ本年度割額八萬圓デアリマス、利根、渡良瀨兩川維持費追加ニ要スル經費ノ本年度割額八十一萬圓デアリマス、直轄砂防工事追加ニ要スル經費ノ本年度割額八十五萬圓、中小河川改良費補助追加ニ要スル經費ノ本年度所要額二十六萬圓、河水統制事業費補助ニ要スル經費ノ本年度所要額二十萬圓、災害防除施設費補助ニ要スル經費百十萬圓計上シ、港灣ニ關スル經費ト致シマシテハ、神戸港、橫濱港及ビ門司港修築費追加ニ要スル經費ノ本年度割額六十六萬圓デアリマス、新潟港及ビ小名濱港修築並ニ補助追加ニ要スル經費ノ本年度割額八十三萬圓デアリマス、地方港灣改良費補助追加ニ要スル經費ノ本年度所要額八十二萬圓、臨海地帯造成費追加ニ要スル經費ノ本年度

費ノ增加三千八百九十四萬餘圓、町村吏員充實助成ニ要スル經費五百七十萬圓、町村吏員互助施設助成ニ要スル經費百萬元、部落振興ニ要スル經費百二十萬圓計上シ警察施設ニ關スル經費ト致シマシテ、警察通信施設整備ニ要スル經費五十六萬餘圓、外事警察機構擴充ニ要スル經費九十二萬餘圓計上シテ居リマス

費ノ增加三千八百九十四萬餘圓、町村吏員充實助成ニ要スル經費五百七十萬圓、町村吏員互助施設助成ニ要スル經費百萬元、部落振興ニ要スル經費百二十萬圓計上シ警察施設ニ關スル經費ト致シマシテ、警察通信施設整備ニ要スル經費五十六萬餘圓、外事警察機構擴充ニ要スル經費九十二萬餘圓計上シテ居リマス















併シ御多忙ト見エマシテ何等ノ御返事モ聴クコトガ出来マセヌ、餘儀ナク此ノ席上ニ於キマシテ質問ヲスルノテ、悪シカラズ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ問題ニ入ルニ先ダチマシテモウ一ツ、從來議會ニ於テ、問題ニナリマシタノハ、相當國

事ガ講演ヲシテ居ル間ニ市會議員アタリガ奔走シテ廻ツテ、地方ノ有志ヲ納得サシテ所定ノ金ヲ取ツテ、成程其ノ事業ガ金ヲ必要ト致シマスノデスカラ、寄附ノ外費用ノ支辨ガ出来ナイ場合ハ左様ナ方法ニ出ル

イ負擔ニ苦シンデ居ル、成ルベク公課以外ノ寄附ト云フモノハ權力ヲ以テシテ強要シタクナイト云フノガ私ノ考ヘ方デアリマス、政府モ亦左様ナコトヲ取締ルト云フコトハ仰セラレタノデアリマスガ、地方ニ於テハ

會社ヲ合同スル、或ハ都城ヲバスラ合同セシムルト云フヤウナコトガ次カラ次行ハレテ參ツテ、又地方ノ間ニハ此ノ時局柄成ベク農村ノ浪費ヲ避ケサセナケレバナラナイト云フノデ、料亭ノ廢止或ハ又抱ヘテ居ル

ヒマスルカ、背離ト言ヒマスルカ、サウ云フヤウナ事柄ガ行ハレテハナラヌト思フノデアリマス、所ガ其ノ鹿兒島財閥ガヤツテ居ツタノハ、鹿兒島縣カラズト南部阿郡ヲ通ツテ宮崎マデ來ル路線デアリマスガ、ソレヲ警察部長ガ取上ゲテ理由ハ、毎日上

ビ總務部長排斥ノ空氣ガ起ツタノデアリマス、而シテサウシタ時ノ起ツタ時ニ總務部長ガ送ヘラレタ、私共ハ之モ何カノ御都合デアルト考ヘテ居ツタノデアリマス、所ガ昨

レガ一齊ニ起テ上ツテ、外部カラ見マスト是ハ如何ニモ排斥ノ結果ノヤウニ見ラレ、又排斥ニ上京シテ者モ今度ハ一ツ右翼方面カラ、又今度ハ一ツ某關係方面ヲ動カシテ

レバ分ルガ私ハ未ダ會テ縣政ニ口ヲ出シタコトハナイ、私ハ唯正シキコトノミ事念シテ今日マデ來タノデアル、電報ヲアナタニ差上ゲタノハモウ役人連ガ野郎投ゲテ、私達ハ自信ヲ失ヒマシタト云フコトヲ下僚







學校トカ、云フヤウナモノガアツテ、ソコ  
デ御取扱ヒニナルノモ結構デアリマスガ、  
少クトモ一校位ノ制デサウ云フ學校ヲ  
建テルカ、或ハ相當ノ夜間講習デモヤルカ、  
又各學校ノ教科書ニ防空ニ關スル文句ヲ挿  
入スルトカ、色々ナコトヲヤツテ、モウ少  
シ敏捷ニ防空訓練ノ基礎トナル事項ヲ頭ニ  
打込ムヤウナ方法ヲ執ツテ實ヒタイト思ヒ  
マスガ、如何デゴザイマセウカ

○藤岡政府委員 防空豫算ガ少イト云フ御  
説デゴザイマシタガ、私共是デ多過ギルト  
ハ申上ゲ兼ネルノデゴザイマス、併シ金額  
ヲ多ク取りマシテモ、中々資料或ハ努力等  
ノ關係デ、消化シ切れナイモノガアリマス、  
大體見透シラ付ケマシテ、消化シ得ル程度、  
又緊迫シタ情勢上是非對應シナケレバナラ  
スト云フ施設等ニ付キマシテハ、追加豫算  
ヲ計上致シタイト思ツテ、目下考慮シテ居  
ル所デゴザイマス、防空教育ニ關シテ、地  
方ニ少クトモ一箇所位ノ機關ヲ持ツ必要ガ  
アルノチヤナイカト云フ御説ハ、私共全ク  
同感デアリマス、實ハ内務省ノ防空研究所  
ニ研究部ヲ置キマシテ、中央デ一ツノ方針  
機關ヲ持チ、ソコニ養成サレテ者ガソレ  
ノ地方ニ歸リマシテ、地方デソレソレノ  
防空學校ナリ、防空講習所ナリヲ持チマシ  
テ、家庭防空群、或ハ警防團等ノ防空ノ指  
導者ニナルヤウナ人達ヲ、徹底的ニ訓練致  
シタイト考ヘテ居リマス

○中山委員 次ニ一ツ次官ニ御伺ヒ致シタ  
イト思ヒマス、近時言論ノ統制ト申シマス  
カ、取扱ト申シマスカ、新聞雜誌等ヲ拜見  
致シマス、丁度官報ヲ讀ンデ居ルヤウナ  
氣ガスル、是ハソコトヲ言フト變ナ話  
デアリマスガ、ドウモ半分位ハ官ノ方デ處  
シタイト考ヘテ居リマス

理ナサルノチヤナイカト云フヤウナ感ジラ  
受ケルノデス、又一般國民モ私ト同ジヤウ  
ナ感ジラ持ツノチヤナイカ、斯フ云フコト  
ヲ考ヘラレバ、ソレデハ、國家非常  
ノ時デアリマス、已ムヲ得ナイノデアリ  
マスケレドモ、セメテ國際情勢ニ關スル問題  
テハ眞相ヲ知ラシテ實ヒタイ、内部ノ思想  
ノ混亂ヲ來サナド云フヤウナ憂ヒノアル  
問題ハ別トシテ、國際情勢テハ國民ニハツ  
キリ知ラシテ置カケレバ、是ハ大變ナコ  
トニナルト思フ、此ノ間「アメリカ」ノウ  
イルキー「ト云フアノ大統領候補ガ、ルーズ  
ヴェルト」ニ負ケタノデアリマスガ、アノ時  
デモ日本ノ新聞ノ調子ヲ見テ居ルト、ヒヨ  
ウトスルト「ウイリキー」ガ勝ツノチヤナイ  
カト思ハレル節ガ多クアル、所ガ色々ナ外  
國ノ連中ナカカラモイテ見ルト、ハツキ  
リ「ルーズヴェルト」ガ勝ツト云フコトハ皆  
分ツテ居ツタ、而モ五倍ト云フ多數ノ票ヲ  
取ツテ當選シテ居ルノデアリマスガ、是ハ  
分ラナイコトハナイ、ソレデモ「ルーズヴェ  
ルト」ガ參戰スルト言フト、獨逸ノ關係、  
日本ノ立場ト云フ點カラ推シテ、ドウモ難  
ニ觸ルカラト云フヤウナ調子デ書カレタノ  
デハナイカト云フヤウナ感ジラ與ヘテ居ル  
ノデアリマス、殊ニ近來「ドイツ」ノ大使館  
或ハ「イギリス」ノ大使館カラ、私共ノ所ニハ  
秘密文書類似モノヲ送ツテ參リマシタガ、  
各、勝手ナ報告ヲシテ居ル、殊ニ「イタリア」ナ  
カハ同盟國デアアルカラ、是ハ負ケルト困ル、  
斯ウ云フヤウナ先入主ニナツテ居ル感ジカ  
ラ新聞ニ現ハレマス所ハ、ドウモ物足ラナ  
イ氣ガスルノデアリマス、ソレデ私ガ一例  
ヲ取ツテ御參考ニシタイノハ、此ノ間駐英大  
使ヲシテ居ツタ米國ノ「ケネディ」ガ英國

カラ「アメリカ」ニ歸ツテ大統領ニ談判ヲ持  
込シテ、私ハ對英援助ハ反對ガ、斯ウ云フ  
コトヲ言ツタ所ガ、大統領ハソレデハオ前  
議會デソレヲ言ツタ宜イデハラウ、國民ニ  
對シテソレヲ言ツタ宜イデハラナイカ、堂  
堂トヤツテ呉レト、斯ウ大キク出テ居リマ  
ス、又世界第一戰ノ時「ロイド・ジョー  
ジ」ガ内閣ヲ組織シテ居ツタ時ニ堂々ト反  
對シテ、天下ニ大ビラニ、ワシコソハ「ロ  
イド・ジョージ」内閣ニ對シテ反對ダト云フ  
聲明ヲシタノ「マクドナルド」ヘンダーソ  
ン」デアリマス、斯ウ云フコトハヤハリ大  
國ダト云フ感ジラ受ケル、ソコデ別ニ是等  
ノ事ヲ禮贊スルノデハナイガ新聞ノ記事ニ  
付テモモウ少シ大キクナツテ、國際情勢等  
ハセメテ國民ニ徹底セシムルヤウニ、私ハ  
内務省トシテ御考ヘニナル方ガ宜イト思フ、  
吾ウシナケレバ國民ノ期待外レニナツテ、  
國民ノ心構ノ上ニ非常ニ影響スルト思フ、  
ソレデ今日ノ日米關係ハドウナルカ、日蘭  
ノ關係ハドウナルカ、日ソノ關係ハドウ  
ナルカト云フ瀬戸際ニ立ツテ、國民ハ事前  
ニ十分ナル心ノ準備ヲシテ大和心ノ發揚ヲ  
圖ルヤウニシナケレバナラスト考ヘマスガ、  
現在マデノ統制デ行カウト云フ御積リデア  
リマセウカ、或ハ國際情勢ニ付テハ、新聞雜  
誌等ノ記事ヲ少シシテ緩和サレル思召シガ  
ナイデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キ  
マス

○齋藤政府委員 特ニ私ニト云フ御名指シ  
デアリマスカラ御答ヘシマスガ、實ハ警保局  
長ガヨリ詳細ニ御答ヘスルカト思ヒマス、  
御質問ノ御趣意ハ、實ハ政府トシテ考ヘナ  
ケレバナラスト考ヘ多イカト思フノデアリ  
マス、御承知ノ通り内務省關係ニ於テハ、

新聞紙法ニ基ク新聞紙ノ取締ヲヤツテ居ル  
ダケデアリマシテ、情報局ガ出來マシテカ  
ラハ、輿論ノ指導ハ此ノ方デヤツテ居ルヤ  
ウナ次第デアリマス、御話ノ點ハ一々御尤  
モデアリマスガ、何ガ世界ノ眞相デアアル  
ト云フコトハ、非常ニ難カシイコトデア  
ルト思フノデアリマス、只今御話ニモアリマ  
シタ通り、或ハ「ドイツ」ノ大使館、或ハ「イ  
タリア」ノ大使館カラ色々御手許ニ「ニユー  
ス」ガアルト云フコトデアリマスガ、同様ニ  
又「イギリス」カラ、或ハ米國カラ宣傳メ  
タ自國ニ有利ナ、乃至ハ自國ノ不利ヲ隱  
ヤウナ「ニユース」ト申シマスガ、情報ト云  
フモノガ盛シニ記登シテ居ルト思フノデア  
リマス、ソレデ國際情勢ノ眞相ヲ知ルト云  
フコトハ、非常ニ難カシイ問題ダト思フ  
デアリマス、御質問ノ點ハ甚ダ御尤モデア  
リマスガ、内務省一省ダケデハ中々サウハ  
行カナイヤウナ次第デアリマス

○末松主査 中山君、成ベク簡單ニ願ヒマ  
ス

○中山委員 ソレデハマダデアリマスケレド  
モ遠慮シマシテ、神祇院副總裁ノ飯沼サ  
ンガ居ラレルヤウデアリマスカラ御聴キシ  
タイト考ヘテ居リマス、近來八絃一宇ト云  
フ言葉ガ大流行デアリマシテ、一ニモ二ニ  
モ八絃一宇ノ茶碗ヲ抱ヘナケレバ飯ガ食ヘ  
ナイト云フ時代ガ來テ居ル、ソコデ御聴キ  
タイノデスガ、豫算總會ニ於テモ近衛總理  
大臣ガ島田俊雄氏ノ大政翼贊會ノ性格ヲ明  
確ニセヨト云フ要求ニ應ジテ、政府ノ思惑  
ヲ述ベラレルト云フコトデアリマスガ、是  
ハ私ハ少クトモ飯沼副總裁カラハツキリシ  
タ所謂緊國ノ精神ト申シマスカ、八絃一宇  
ト申シマスガ、ソレヲ御發表ニナラナケレ

バナラヌ問題デハナイカト考ヘル、一ニモ  
二ニモ緊國ノ精神、一ニモ二ニモ八絃一宇  
デアリマス、サウシテ八絃一宇ノ精神ニ基  
キテ出來タノガ大政翼贊會ダ、斯ウ仰シヤ  
ツテ居ル、是ハアナタガ基本ニナラデス、  
總理大臣ノ御聲明ヨリ以上ニアナタノ仰シ  
ナルコトハ私ハ價值アルモノダト思ヒマ  
ス、ソコデ御伺ヒシマスガ、近來政府ノ仰  
シヤイマス八絃一宇トカ、緊國ノ精神トカ  
云フコトハ、是ハ度々繰返サレル問題デア  
リマスガ、アナタガ特ニ其ノ衝ニ當ツテ居  
ラレマスカラ一ツ御信念承ツテ置キタイ、  
定義的ニ御述ベテ願ヒタイ

○飯沼政府委員 只今御尋ネニナリマシタ  
問題ハ國ノ根本方針ニ關スルコトデアリマ  
シテ、私カラ御答ヘ申上ゲルコトハ如何カ  
ト考ヘマス、唯私ノ御預カリ致シテ居リマ  
ス仕事ノ關係カラ申シマシテ、神祇院コト、  
神祇院御記リスルト云フ此ノコトガ日本  
ノ國ノ政治、教育ノ根本ニナラナケレバナ  
ラヌト云フコトハ、私共日頃左様ニ深ク考ヘ  
テ居ルノデアリマス、之ヲ外レテ日本ノ國  
ノ政教ト云フモノハナト考ヘテ居リマス、  
隨テ日本ノ國ニ於キマスル神祇院ニ關スル行  
政モ之ヲ目標ト致シマシテ、一億國民ガ皆  
神祇院御記リスル心持テ御奉公スル、斯様  
ニシテ一億一心ト云フコトガ初メテ出來ル  
モノデアル、斯様ニ私ハ考ヘルノデゴザイ  
マス、皇祖ガ國ヲ御建テニナリマシタ其ノ  
心持ヲ遵奉シ、朝晩其ノ思召ニ違ハザラン  
コトヲ國民一同ガ努メマシテ、サウシテソ  
レソレノ職分ニ於テ御奉公スル、斯クシ  
テ初メテ私ハ日本ノ國ガ永久ニ若クシテ榮  
エテ行クモノデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リ  
マス

○中山委員 私ハソレハ仰セラレク通りダ  
ト思ヒマス、詰リ泉ガ湧イテ、溝ガ通ツテ、  
其ノ泉ヲ切難シテノ御話デアリマス、ソコ  
ハ誰デモ分ル、其ノ泉ヲ御尋ネシテ居ル  
ノ御心持ト云ハレル、其ノ心持ヲ聽イテ居  
ルノデス、是ハ重大ナ問題デス、副總裁ト  
シテソレガ御分リニナラナケレバ神祇院ノ御  
祭ハ出來スト私ハ考ヘテ居ル、其ノ滾々ト  
シテ湧出ツル所ノ大和民族ノ大精神、是ガ  
皇祖ノ御心デアリマセウ、ソレハ如何ナル  
原理ニ基キテ皇祖ガ御發表ニナツタカト云  
フコトヲチヤント會得シテ置カケレバ駄  
目ダト思フ、政府ノヤラレルコトハ皆ソレ  
ダカラ國民ガ迷フ、口ニ八絃一宇ヲ唱ヘ、  
職權奉公、臣道實踐ヲ言フガ、歡喜力行ト  
云フ魂ガ生レテ來ナイ、皆泉ヲ切難シテ川  
ノ流レバカリ説明シテ居ラレバ、御承知ノ  
通り日本ニ初メテ書物ガ出來タノハ、古事  
記、日本書紀ノ出來タ奈良朝時代デス、ソ  
レマデ千年ノ間ハ書物ガナイ、其ノ書物ノ  
ナイ千年ノ間ノ氣持ト云フモノヲ書物ト云  
フ望遠鏡ヲ通シテ私共ハ見テ居ルノデス、  
此ノ日本書紀、古事記ニハ行事ト云フモノ  
ガ表ハレテ、書物ノ中ニ織込マレテ居ルノ  
デアリマス、三千年前ノ昔ノ人ガ斯ウ云フ  
コトヲナサツタデアラウト云フコトヲ望遠  
鏡デ吾々ハ想像シテ居ルノデアル、諸部ト  
云フ者ガソレヲ語ツタト云フコトデアリマ  
スガ、凡ル御詔勅、凡ル 陛下ノ思召シ  
ノ記録ヲ見デミルト、天地ノ公道ト云フコト  
ヲ御書キニナツテ居ツテ、大自然ニ對スル  
觀察ニ依ル所ノ結果ト云フモノガ現ハレテ  
居ル、日本ノ國體ト云フモノハ、大自然ニ  
對スル所ノ會得ト云フモノガ根本ノ原理ニ

ナツテ居ルノデス、今頃近衛首相ガ臣道實  
踐、共存共榮ト云フコトヲ言ハレテ、ソラ  
個人主義ガイケナイ、自由主義ガイケナイ  
ト言ハレルガ、個人主義モ、自由主義モ、  
全部日本ノ國ニハ含マレテ居ル、國家ノ根  
本原理ガ御分リニナラヌカラ、自由主義ヲ  
排撃ナサル、個人主義ヲ排撃ナサル、何ト  
云フ不徹底ナコトデアリマセウ、斯ウ云フコ  
トデハ幾ラ政府ガ御吹イテモ國民ガ躓イ  
テ來ナイ、一本ノ樹ヲ見テモ、唯一本ノ時  
ニハ幾ラデモ個人主義、自由主義デ榮エテ  
行ク、隣リニ樹ガ生エマス、お互ニ讓リ  
合ツテ、生長ガ鈍ル、共存共榮ノ原理ガ天  
地自然ノ間ニ現ハレテ居ル、此ノ大道ヲ吾  
吾ノ祖先ガ會得サレテ書物ニナツテ居ルノ  
ガ、日本書紀デアリ、古事記デアリ、是ガ  
日本ノ國體ノ本源デアリ、斯ウ云フコトニ  
付テハドウ思召シニナリマスガ、只今マデ  
ハ泉ヲ切難シタ後ノ川ノ流レタデデアツタ、  
ドウカ一ツ副總裁トシテ、總理大臣ノ上ニ  
立ツ位ノ哲學的ナ大信念ヲ以テ御答ヘテ願  
ヒタイ

○飯沼政府委員 大變深イ御研究ノ結果ヲ  
拜聴致シマシタ、洵ニ御説ノ通りト考ヘマ  
ス、私共ト致シマシテ考ヘテ居リマスコト  
ハ、古事記ナリ日本書紀ナリ日本書紀ニ表  
ハレテ居リマスコトヲ國民ガ能ク體得致シ  
マスコトハ、無論ニ必要ナコトト考ヘマ  
ス、併シナガラソレデ十分ト考ヘナ  
イノデアリマシテ、要スルニ自分デ實行ス  
ルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、  
唯其ノ實行致シマス内容ニ付キマシテハ、  
是ハ人ニ依ツテソレソレニ違ヒマスノデ、總  
テ人ニ對シテ同ジコトヲ政府トシテ行ハ  
シメルト云フコトハ、難カシイコトト考ヘ

マス、併シナガラ其ノ最小限度ニ於テ、總  
テノ國民ガ神祇院ヲ拜ムコトニ依テ、其ノ  
境地ニ到達シ得ル、是ガ第一歩デアルト考  
ヘテ居ルノデアリマス、神祇院ハ只今大體  
サウ云フ方針デヤツテ居ル次第デアリマス  
置キマスガ、能ク一ツ御研究ニナツテ置キ  
タイ、是ハアナタガ根本ニナラナケレバナ  
ラヌ大問題デアルト思ヒマスカラ、飯沼副  
總裁ハ十分首相トモ御相談ニナツテ、只今  
ノ政府ノオヤリニナツテ居ルヤウナ淺薄ナ  
コトデアハ、國民ハ躓イテ來ナイト云フコト  
ヲ頭ニ置イテ置キタイ、サウシテアナタ自  
身神祇院ニナツテ置キタイ、御願ヒシマス

○田中(好)委員 ソレデハ私ハ他ノ委員諸  
君ノ關係ガアル問題ヲ先ニ質問シマス、此ノ  
非常時局下ニ於キマシテハ相繼離散ガアツ  
テハナラナイ、軍官民一體ニナツテ事變處  
理ニ邁進セイト云フコトハ、是ハ輿論ニナ  
ツテ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスル  
カラ官廳間ニ於キマシテモ、ヤハリ此ノ精  
神デ行政事務ヲヤツテ行カケレバナラヌ  
ト思フノデゴザイマスガ、一昨日ノ豫算總  
會デ石坂君ガ一寸質問ヲ致シマシタ砂防工  
事ト河川工事トノ喧嘩、是ハ一體ドウ云フ  
ヤウニ處理セラレラレデアラウト云フコト  
ハ、地方ノ者ガ非常ニ懸念ヲシテ居ル大キ  
イ問題デアルノデゴザイマス、砂防ト云  
ヒ、河川ト云ヒマシテモ、畢竟スルニ利  
水治水ノ效果ヲ擧ゲルト云フ目的ニ止  
マルノデゴザイマシテ、歸一スル所ハ  
同ジ目的ノ爲ニ河川トシ砂防トシ、手段ガ  
違フダケデアル、所ガ其ノ手段デアル所ノ  
河川ト砂防トガ各、領域ノ争ヒヲシテ居ル



ト云フヤウナコトハ、洵ニ時局ニ反シタヤリ方デハナイカト考ヘルノデアリマス、近時山ヲ随分伐リマシテ、吾々ノ郷里ハモウ裸山バカリニナツテ居ルノデゴザイマスガ、伐リマシテモ一年十二年ハ山腹ハ崩壊シナイト思ヒマス、併シナガラ二年三年後ニナリマシテ、伐採シマシタ木ノ根ガ腐ツテ来マスト、山ハドシト崩レテ行クノデアリマシテ、砂防工事ヲ特ニ必要トスルヤウナ時代ニナルノハ、コトハ二年ノ後ガラウト思フノデゴザイマス、水ノ利用ヲ巧クヤウテ行クト云フコトヲ計畫スルニ付テハ、山地ノ溪流カラ大河川ニ到リ海ニ到ルマデ巧クヤウテ行カケレバナラス、サウシナケレバドウ致シマシテモ治水水利ノ效果ヲ擧グルコトハ出来ナイ、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、山カラ海ニ到ル間ノ一貫シタ治水政策ガナクテハナラス、其ノ方法トシテ山地部ノモノハ砂防トシ、然ラザル部分ハ河川工事トシテオヤリニナルト云フコトガ、從來内務省ノ執ツテ居ラレタ所ノ一貫シタ方針デアツト私共ハ承知スルノデアリマス、其ノ事ハ内務省自身モ十三年デゴザイマシタカ、砂防工事ナル「パンフレット」ヲ御出シニナリマシテ、河川工事ト砂防工事トノ違ヲ所ハ、斯ウ云フヤウナ區別ノ標準ガアルノデアルト云フコトヲ示サレタノデアリマス、其ノ「パンフレット」ヲ拜見致シマス、砂防工事ノ工法、或ハ工事ヲ施行スベキ地域ノ範圍、サウ云フヤウナコトヲ細カク書イデアリマシテ、砂防工事ハ單ニ山地間ノ工事ニ限定スベキモノデハナイ、又溪流ノミニ限ツテ工事ヲ行ハルベキモノデハナイ、溪流ノ沿岸耕地ノ流亡ヲ防禦スル爲ニハ、堰堤モ設ケ、護岸モ設ケ、

水路モ設ケケレバナラス、斯ウ云フコトガ此ノ「パンフレット」ニ書イテゴザイマス、此ノ趣旨デ總テ砂防工事ヲ施行セラレテ居ルモノト私ハ確信シテ居ル、サウシテ前年度ニ大キナ砂防費ノ繼續豫算ガ設定セラレマシタ時モ、此ノ配ラレタ「パンフレット」ノ趣旨ヲ豫算ガ編成セラレテ居ルト承知シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ昭和十五年度ニ於ケル府縣砂防工事ニ對スル内務省ノ方針ハ全然吾々ノ思ツテ居タ所ニ反シテ居リマス、各地ニ於キマシテ非常ニ問題ヲ起シテ居ル所ノ内務省ノ方針ニ依ツテ各地方廳ハ十五年度ニ於ケル砂防計畫ヲ樹立シテ、サウシテ内務省ニ申請シタ、所ガ全然許サナイト云フヤウナ事ガ全國各地ニアルノデゴザイマス、ソレヲ區別シテ見テミマスルト、三四箇所ニ分レノデアリマスガ、中小河川施工ノ地點カラハ遙カ上流ニ砂防工事ヲスル、而モ其ノ砂防工事ヲスル所ハ砂防法ノ規定ニ依ツテ地區ニ編入サレテ居ル箇所デアアルノデゴザイマス、府縣ガ砂防法ノ規定ニ依ツテ一定ノ計畫ヲ立テテ砂防工事ヲ施行シテ來タ所ガ、十五年度ニナルト、其處ハ砂防工事デハイケナイ、河川デヤラナケレバイカスト云フコトデ、是マデヤツテ續イテヤルベキ箇所ヲ切ツテシマハレテ居ル、二三年間續イテ來タ所ガ、十五年度ニハ砂防ヲヤナイノダ、是マデ砂防トシテ認メテ來ナガラ、十五年度ニ於テハ是ハ砂防トシテ認メナイト云フコトデハ地方デハ困ツテシマフ、ソナラ河川ニ對シテ相當内務省ガ助成政策ヲ執ツテ居ルカト申シマス、サウ云フ所ニハ及バナイ、地方ノ三年位工事ヲヤツテ來タモノヲ十五年度デ廢止シテシマハナケレバナラス、是ハ先程申シタ一貫シテ治水政策ヲ立テナケレバナラスト云フ根本原則ニ反スル考ヘデアラウト思フノデアリマス、ソレハ京都府ノ例デゴザイマス、又昔カラ平地、山地ヲ併セテ砂防工事ヲ施行シマシテ、相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ル、地方民ハ非常ニ喜ンデ、同ジヤウナ效果ガアリ、同ジヤウナ位置ニ於テ施行スル所ノ砂防工事ヲ、縣ガ一定ノ計畫ニ基イテ申請シタ所ガ、是ハ河川工事デアアルカラ、是ハ許サナイト云フヤウナ事例モアル、是ハ廣島縣ノ事例デアリマス、ソレカラ又或ル一部デハ、溪流地ニ於ケル所ノ災害復舊工事ヲ施行スル、ドウモ災害復舊工事デハイケナイカラ、災害復舊工事ニ附加ヘテ砂防工事ヲ再ビ災害ヲ受ケナイヤウニ相成ル箇所、ソレニ對シテドウ云フヤウナ内務省ノ方針カト申シマス、是ハ災害復舊工事ヲ併セテヤルノダカライケナイノダト云フヤウナコトヲ述ベテ否認セラレテ居ル、是ハ兵庫縣ノ實例デアリマス、斯様ニ致シマシテ十五年度ハ非常ニ地方ハ迷惑ヲシテ居リマス、一體ドウ云フ譯デス様ナコトヲナサレルノデアルト云フコトヲ、段々詮索シテ見マスルト云フ、土木局自體ニ於テ内輪デ喧嘩セラレテ居ル、ソレデスカラ砂防ノ書面ガ河川課ニ參ルト、是ハ河川工事デアアル、砂防デナイト言ヒマスガ、何故斯ウ云フヤウナコトヲナサレルコトニナツタノデアルカ、是ハ豫算編成ノ場合ニ於ケル所ノ趣旨ニ反スルノデナカラウカ、此ノ考ヘテ是正スル考ヘハナイカト云フコトヲ先ツ第一點トシテ御伺ヒ致シマス

○成田政府委員 昨午ノ貴族院ノ豫算委員會ニ於テ此ノ問題ニ付テノ御論議ガアツタノデアリマス、是ハ詳シク申上ゲマス、非常ニ長クナルト思フノデアリマスガ、アノ質問並ニ答辯ニ付キマシテ、是ハ砂防ト河川トノ區別ニ付テ、内務省ノ方針ヲ變ヘタモノトハ信ジテ居ラナイノデアリマス

デアリマス、又此ノ砂防ト河川トノ境界ノ問題ニ付テ、内務省ノ中デ争ヒガアルト云フヤウナコトヲ御指摘ニナリマシタガ、ソレハ自ラ技術者ト致シマシテハ、ソレノノ信念ヲ持チ、ソレノノ考ヘモアルコトデアリマス、サウ云フヤウナ意味合ニ於ケル意見ノ相違ト云フコトハ、是ハ差支ヘノナイコトデハナイカ、唯内務省ノ仕事トシテ現ハレル場合ハ、其ノ間ニ調和ヲ取リマシテ、地方ノ迷惑ノナイヤウニシテ行クト云フコトデナケレバナラスト考ヘマス、私微力デアリマスガ、左様ナ考ヘデ、此ノ仕事ニ當ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○田中(好)委員 砂防ト河川ノ區別ニ關シマシテハ、今局長御説明ノ通りデ或ハ宜イカトモ思ヒマス、併シナガラ山間地域ニ於キマシテモ、ヤハリ洪水ノ氾濫ヲ防止スルコトハ砂防ノ任デアツテ、砂ヲ止メテ、ソレヲモノガ砂防デアルト云フヤウナ窮屈ナ解釋ヲスル必要ハナカラウ、又十三年三月ニ配布セラレタ「パンフレット」ノ中ニ、砂防工事ノコトガ書イテアル、堰堤バカリデハナイ、護岸工事モ皆アル、私等ハ之ヲ教科書トモ思ウテ居ル、是ハ内務省土木局ガ御出シニナツタ教科書ト思ツテ居ル、ソレデ先程カラ申シマス京報、大阪、兵庫、廣島ト云フヤウナ各地ニ於テ却下セラレマシタ砂防工事ハ、之ニ書イテアルノニ該當シテ居ル、ソレヲ河川工事ダト云フ、成程技術官ハ各信念ヲ持ツテ研究セラレルノハ宜イカモ分ラヌ、ソレハ勝手ニ御研究ニナツテ宜イ、サウシテ勝手ニ喧嘩セラレテ居ツテモ支差ヘナイ、差支ヘナイガ其ノ結果ガ地方ニ及ブ、先程申シマシタヤウニ、

二三年間續ケテ居ツタ砂防工事ヲ途中ニ於テ打切ツテシマフ、是ハ地方ガ困ル、内務省ノ技術官同志ノ喧嘩、或ハ研究ハ勝手ニオヤリ下ツテ宜シイ、ソレデ土木局長ニ再ビ承リマスガ、此ノ教科書ニ書イテアル方針通り今後オヤリニナル積リデアアルカドウカ、ソレカラ十五年度ノ工事トシテ却下セラレマシタ事ニシテ、此ノ教科書ニ該當スルモノガアリトスレバソレハ再度是正ヲナサレ御考ヘデアアルカドウカト云フ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○成田政府委員 重ねテ御尋ネデゴザイマシタガ、其ノ「パンフレット」ハ私モ一應ハ拜見シマシタガ、是ハ内務省ノ砂防ト河川ノ境界ニ付テノ教科書トハ私承知シテ居リマス、實際從來砂防トシテスル如キ仕事ヲシテ居ツト云フコトニ付テ其ノ效果、其ノ任務ニ付テ却テ一般ノ理解ヲ求メル、或ハ認識ヲ深メルト云フ意味合ニ於テノ印刷物デアルト云フヤウニ私ハ承知シテ居ルノデアリマス、此ノ「パンフレット」ニアル通り内務省ハヤルノカト仰シヤラレマシルト、是ハ一寸直ク御答ヘハ出来マセヌ、内務省ノ考ヘ方トシマシテハ、先程御答ヘシマシタヤウナ砂防ト河川トノ目的ニ依リテ差異ト云フモノヲ物差ト致シマシテ、而モ是モ申上ゲマシタ通り「主トシテ」ト云フ註釋付キデアリマス、實際ノ場合ニ當リマシテハ成ルベク地方ノ迷惑ニナラナイヤウニ其ノ間ノ融通ヲ圖ルト云フコトハ、ソレハアリ得ルコトダト考ヘテ居リマス

○田中(好)委員 サウシマス、此ノ「パンフレット」ニ餘リ重キヲ置カレナイト云フ御意見ハ分リマシタ、サウシマス、去年ノ貴族院ノ豫算委員會ニ於テ、砂防ト河川ノ工事ノ區別ニ付テ、勾配ハ何處マデノモノヲ以テ砂防工事トスル、河川工事トスルカ云フコトヲ貴族院デ御説明ニナツテ居リマスガ、ソレモ御變ヘニナルノデスカ、ソレヲ貴族院デ御答ヘニナツタ通り、今後モ區別ノ標準ヲ以テ行カレルノデアリマスカ

○成田政府委員 昨年ノ貴族院ノ豫算委員會ニ於テ此ノ問題ニ付テノ御論議ガアツタノデアリマス、是ハ詳シク申上ゲマス、非常ニ長クナルト思フノデアリマスガ、アノ質問並ニ答辯ニ付キマシテ、是ハ砂防ト河川トノ區別ニ付テ、内務省ノ方針ヲ變ヘタモノトハ信ジテ居ラナイノデアリマス

○田中(好)委員 サウシマス、貴族院ノ豫算委員會ニ於ケル標準ト私ハ承知致シテ宜シウゴザイマス

○成田政府委員 一寸今ノ御尋ネノ趣旨ガ能ク分リマセマシタガ、貴族院ニ於ケル質問並ニ答辯ニ付キマシテ、是ハ砂防ト河川トノ區別ニ付テ、内務省ノ方針ヲ變ヘタモノデアルト云フ御質問デアリマス、ソレハハサウデナイ、斯ウ云フ風ニ御答ヘスル譯デゴザイマス

○田中(好)委員 ソレデハ從來ノ方針ヲ答辯セラレタモノト承知シテ置キマシテ宜シウゴザイマス

○成田政府委員 一應申上ゲテ置キマスガ、或ハ此ノ速記録ニ載リマシタ文字ヲ見マスルト、誤解ガアルヤウニ讀マレマス、ケレドモ、私トシマシテハ其ノ點ニ付キマシテハ、當時ノ大臣トモ打合セテ致シマシテ方針ヲ變ヘタモノデナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田中(好)委員 次ニ移リマシテ災害防除工事ノ豫算ヲ百十萬圓程要求セラレテ居リマスガ、私ハ是ハ僻シク見方カモ知レマセヌ、砂防ト河川トガ今喧嘩シテ居ル、又茲ニ災害防除工事ト云フモノガ出テ來テ、一層紛争ヲ深刻ナラシムルモノデアアルマ、イカト云フヤウナ懸念ヲ持ツノデスカ、災害防除工事ト砂防工事ト又河川工事トハ、ドウ云フ風ニ見地ニ於テ區別セラレテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ一ツ...

○成田政府委員 砂防工事ト河川改修ノ工事ニ付テノ區別ハ、先刻御話シタヤウナコトデアルト思ヒマス、ソレカラ今御尋ネニナリマシタ災害防除工事ト云フノハ、非常ニ局部ノ河川改修トモ申シマセウカ、或ル川ニ於キマシテ、非常ニ堤防ノ弱イ所ガアル、或ハ屈曲部ノ非常ニ甚ダシイ所ガアルト云フヤウナ場所ガアリマシテ、其處デヨク災害ヲ起シ、洪水ガ起ルト云フ點ガアルノデアリマス、斯様ノ局部ノ弱點ヲ除ケバ、極少イ金デ以テ災害ヲ防止シ得ルト云フヤウナ箇所ガ段々トアルノデアリマス、是モ非常ニ澤山ノ經費ガアリマシテ、總テ河川ニ付テ改修モ出来、又砂防モ出来マセバ、左様ナ問題ハナイノデアリマス、何分ニモ遺憾ナコトニハ、河川改修ニ關スル經費ガ十分ニアリマセヌ爲ニ、依然改修ノ出来ナイ川ガ相當ニアリマス、而シテ左様ナ川ニ付テハ今申上ゲマシタヤウニ、局部ノ改修ヲスルコトニ依ツテ、災害ヲ防除出來ルト云フノガ澤山アリマス、而シテ地方ニ於テハ河川改修ガ出來ナクテモ、左様ナ局部ノ補強ヲスルト云フ仕事ヲヤツテ貰ヒタイト云フ非常ニ熱望モアリマス、之ニ對ヘマシテ所謂災害防除施設補助トシテ、百十萬圓ノ豫算ヲ現在要求シテ居ルヤウナ次第デゴザイ



○武田委員、一寸今ノ田中君ノ質問ニ關聯シテ、私ハ只今ノ土木局長ノ御答辯ヲ承ツテ、聊カ諒解ニ苦シム點ガアリマス。カ、重ネテ之ニ關聯シテ承リタイト思ヒマス、昨年ノ議會デ吾々同志ハ、相當長イ間此ノ砂防ノ問題ニ付テ研究シ、又森林施設ノコトニ付テ研究致シマシテ、其ノ結果トシテ昨年建議案ヲ出シテ居リマス、是ハ主トシテ農林關係ノコトニ付テノ建議案デアリマシタケレドモ、ソレハ農林關係、内務關係ノ砂防ニ付テ、相當ナ重點ヲ置イテ建議案デアツタノデアリマス、其ノ建議案ニ付テ私ハ其ノ説明ノ任ニ當ツタノデアリマス。カ、其ノ建議案ノ提案ノ趣旨ニ付テハ、私ハ能ク知ツテ居ル譯デアリマシテ、政府委員ニ於テモ多分其ノ趣旨ハ御聽取サツタト思フノデアリマス。其ノ建議案ハ從來我ガ國ノ内務省、農林省方面ノ治水政策ニ付テ、砂防ニ力ヲ御入レニナラヌコトハ誤ツテ居ルト云フ根本觀念カラ、是ガ出テ居ルノデアリマス、兎角ドウモ從來ノ内閣ノミヲ申スノデアリマセヌガ、衆議院若シクハ貴族院ニ於テ決議サレタモノデ、決議案ナドハ甚ダ重キヲ置カレラガ、建議案ナドハ如キ非常時局ニ於テ、所謂官民ガ一致シナケレバナラヌヤウナ場合ニ、吾々モ成ベク澁リニ建議ナドハシナイヤウニ自斷シテ居ル際ニ於キマシテハ、一タビ衆議院ノ全會一致ニ依ツテ行ハレタル建議若シクハ決議ニ付テハ、政府ハ相當ノ考慮ヲ拂ハレテ然レベキモノデアラウト思フノデアリマス、然ルニ依然トシテドウモ之ヲ輕視

サレル傾キガアルノハ、甚ダ私ハ遺憾ニ思ヒマス、一體内務省ニ於カレマシテモ、又農林省ニ於カレマシテモ、サウ云フ傾キガアルト思フノデアリマス。カ、砂防ト云フコトヲ甚ダ輕視シテ居ラヌガ、私ハ山間地方デアリマシテ、利害ノ關係スル人々ハ人口ノ上カラ見レバ極メテ少イノデアリマス、ソレトカ、御願ヒスルト云フ機會ハ少イ、隨テ政府ハサウ云フ山間地方ノ利害ト云フモノヲ、輕視サレル傾キガアルト私ハ思フ、是ハ是非一ツ殊ニ之ニ關係ノアル土木局長サンナドカラ、深ク此ノ事實ノ認識ヲ御改メ願ヒタイ、今日ハ盛ニ國土計畫ト云フモノガ論セラレテ居リマス、併シマダ確定ハ致サナイヤウデアリマス。カ、議院サレテ居ル所ヲ見ルト、國土人口ノ關係、産業ノ種類別ノ分配ト國土ノ關係ト云フヤウナコトニ重點ヲ置イテ、治水政策ト云フヤウナ森林政策ト國土ノ關係ト云フヤウナコトニ向ツテハ、比較的ドウモ重點ヲ置イテ居ラナイヤウニ思ハレル、併シ日本ノ如キハ山嶽重疊シテ居ル國柄デアツテ、中央ノ山脈ガズツト南カラ北マデツ通シテ居テ、其ノ山嶽カラ流レテ居ル河川ガ頗ル急流デアリヤウナ日本ノ國土ノ形勢カラ見マスト、治水政策ト云フモノハ極メテ重大デアリ、又此ノ國土ノ形勢ニ順應シタル治水政策デナケレバ、ナラヌト私ハ思ヒマス、而シテ此ノ治水ニ付テハ、相當從來内務省ハ力ヲ入レテ居ラレマセケレドモ、ソレハ災害ノアツタ後ニソレヲ復舊スルコトノミニ力ヲ入レテ居ラレテ、其ノ本ノ所謂根本塞源ノ途タル砂防ト云フコトニ向ツテハ甚

ダ閉却サレテ居ル、其ノ弊害ハ歷々トシテ現ハレテ居ルデアリマセヌカ、從來私ノ縣ノ新潟縣ノ信濃川トカ、或ハ關東地方ノ利根川トカ、是ハ最モ政府ノ金ヲ食ツテ居ル川デアリマス、信濃川ノ改修ハ未ダツツカリ終リマセヌガ、利根川ノ如キハ先づ先年一通リ終ヘタト云フコトニナツタナラバ、莫大ナ國幣ヲ食ツテ居ルデアリマス、先ヅ日本國內ノ河川ノ改修工事ニ付テ、内務省ガ最モ力ヲ御入レニナツタモノハ利根川デアルト私ハ思フ、其ノ後信濃川、淀川ノ如キニモ力ヲ御入レニナツタノデアリマセヌガ、一番金ヲ食ツテ一番力ヲ入レタモノハ利根川デアルト思フ、然ルニ其ノ改修ガ稍一段落付イテ結果ハドウデアリマシタカ、大正十年カラ大正十三年マデノ洪水ニ於テ、スツカリ其ノ計畫ハ誤ツタモノデアルト云フコトヲ、事實ガ反證シテ居ルデアリマセヌカ、之ニ對シテ内務省ノ答辯ノ言葉ハ何デアルカ、是ハ從來ノ洪水量ト云フモノノ測定ヲ誤ツタノダ、コンナニ水ガ出ルトハ思ハナカツタト云フコトデアリマス、私ハ内務省ノ技術官ノ技術ヲ疑フモノデアリマセヌ、是ハ技術ガ惡イノデアリナイ、一體見當ノ付ケ方ガ惡カツタノデアリマス、私ヲシテ言ハシムレバ、從來何箇年間ノ洪水量ト云フモノハ、必ズ年々測定サレテアルノデアツテ、學術的ニ測定サレタモノデアラウト思フ、然ルニ其ノ治水事業ガ一段落付イテ後ニ於テ、洪水量ノ測定ヲ誤ツタト云フコトハ何デアルカ、私ハ技術的ニハ分ラヌガ、是ハ實際ノ事情ヲ聞イテ見マシテモ、又其ノ地方々々ノサウ云フコトニ關心ヲ持ツテ居ル吾々同僚ノ意見ヲ承

○武田委員、今度ハ簡單デス、承ル所ニ依ルト鬼怒川ノ上流ニ於キマシテ、五十里ト云フ地點ニ於テ可ナリ大キナ堰堤ヲ御造リニナツテ、其處デ水ヲ止メテ、鬼怒川ノ治水ニ利用スルト同時ニ、發電ヲスルト云フヤウナ御計畫デアアルニ聞イテ居ル、ソレハ本年ノ此ノ豫算ニモ出テ居ルヤウニ思ヒマス、然ルニ實際ノ事情ヲ知ツテ居ル人ノ意見ヲ聞キマス、ドウモ此ノ上流ハ土砂ノ堆積ガ非常ニ甚ダシイ所デアツテ、上ノ砂防工事ヲヤラナイデ、唯其處ヘ堰堤ヲ造ツタケデハ、二年ニシテ其ノ貯水池ハ埋マツテシマフデアラウト云フノ點ヲナス人ガアルノデアリマス、私ハ其ノ地點ヲ知りマセヌガ、自分ノ郷里ガ山地デアラダケニ、色々深山サウ云フ小サイ實際ヲ見テ居ルノデアリマス、内務省ハ之ニ向ツテ、今申上ダタ鬼怒川ノ堰堤ノ上流ニ向ツテ砂防工事ヲセシテモ差支ナイ、ソレハ埋マラナイ、豫定通りノ所謂一石二鳥ノ治水ニモ亦發電ニモ、兩方出來ルト云フ確信ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマス。カ、ドウデアリマス。カ、万一吾々ノ憂フルガ如ク、上流ノ砂防工事ヲ十分ナサラヌデ、此

ノ豫算ニ一千万圓カラ計上サレテ居ル、非常ニ大キナ金ヲ之ニ使ツテ、若シ吾々ノ憂フルガ如ク、二、三年若シクハ四、五年ノ間ニ此ノ貯水池ガ皆埋マツテシマツタト云フヤウナコトニナツタ場合ニ、誰ガ其ノ責任ヲ負フノデアリマセウ、私ハ之ニ向ツテ内務省ガ確信ヲ持ツテ、差支ナイト云フ御考ガアルカドウカラ承リタイト同時ニ、此ノ上流ノ土砂ガ甚ダシク流レテ居ルト私ハ聞イテ居リマス。カ、ソレ等ニ付テノ砂防ニ對シテ、如何ナル計畫ト、如何ナル御考ヲ持ツテオイデニナルカト云フコトヲ承リタイト存ジマス

○武田委員、今御述ベナリマシタコトノ前段ハ、砂防ガ非常ニ大切デアル、而シテ之ニ對シテ内務省ノ關心ガ十分デアリデハナイカト云フコトノヤウニ伺ツタノデアリマス、内務省ト致シマシテモ砂防ノ重要ナコトハ認メマシテ、出來ルダケヤツテ居ル積リデアリマス、不十分デアルト云フシマシテハ川來ルダケノコトヲシテ見タイ、十六年度ノ豫算ニ於キマシテモ、少イカト存ジマセケレドモ、砂防ダケデ二百萬圓位ノ増額ニナツテ居ルヤウナ譯デアリマセヌカ、此ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

次ニ十六年度ノ豫算トシテ只今御要求ヲ致シテ居リマス河川ノ中デ、鬼怒川ノ上流ニ堰堤ヲ設ケルコト云フ豫算ガゴザリマス、之ニ付キマシテ其ノ上流部ハ非常ニ荒レテ居ルノデアルカラ、之ヲ捨テテ置イテ堰堤ヲ造ツタノデアリ、直キニ埋マツテシマフノデアリカト云フ御心配ノ御考デアツタノデアリマス、此ノ計畫ハ、現在鬼怒川ノ改修

計畫ハ現ニ施行中デアリマス、大正十五年カラ昭和二十一年マデノ長キニ亘ツテ、鬼怒川ノ改修工事ヤルコトニナツテ居ルノデアリマス。カ、昭和十三年ノ九月ニ非常ナ大水ガ鬼怒川ノ出タノデアリマス、是ハ單ニ鬼怒川ダケデハゴザリマセヌガ、鬼怒川筋ニ於キマシテモ非常ニ大キナ、豫想セザル洪水ガ出タノデアリマシテ、此ノ災害ヲ豫防スルト云フ意味ニ於キマシテ、今回計畫ヲ立テマシタノガ、鬼怒川ノ上流ノ五十里ト云フ所ニ堰堤ヲ造ルト云フ計畫デアリマス、實ハ此ノ場所ニ堰堤ヲ造ルト云フコトハ、昔考ヘラレタコトガアルノデアリマシテ、既ニ其ノ當時上流ニ向ツテ幾ツカノ堰堤ハ現在入ツテ居リマス。カ、是デ必ズシモ十分デアルトハ吾々申上ダラレナイト思ヒマス、十分ニ調査ヲシマシテ、必要ナ砂防工事ハヤル必要ガアルノデアリカト考ヘテ居リマス。カ、事ノ順序ト致シマシテ、鬼怒川筋ニ付キマシテハモット大切ナ、又緊急ニ迫ツテ居リマス。大谷川筋ノ砂防ト云フ方ヲ先ニヤルコトニ致シマシテ、今御指摘ニナリマシタ五十里堰堤ノ上流ニ對セル部分ハ、砂防ノ方ガ豫算化シテ居リマセヌカ、向ホ此ノ鬼怒川ノ工事ハ現在施行中デアリマス。カ、今申上ダマシタ五十里堰堤ヲ造ルト云フ計畫モ、實ハ十七年度以降ノ豫算トシテ増加サレテ居ル、斯ウ云フヤウナ形ニモナツテ居リマス。カ、旁、十分ニ注意ヲシテ、今御心配ニナリマシタヤウナ砂防工事ヲヤラナイ爲ニ堰堤ガ非常ニ埋マルト云フコトノナイヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中(好)委員、私モ武田君ガ今質問セラ

レマシタ五十里堰堤ノ問題ニ付テ更ニ御尋ネシタイノデアリマス、此ノ五十里堰堤ハ今土木局長ガ計畫シタコトガアルト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、是ハ非常ナル内務省ノ失敗ヲ致シマシテ居ル工事デ、當時貴族院ニ於キマシテハ非常ニ論難セラレテ、内務省ノ技術官ノ信任ヲ疑フト云フ所マデ結局行ツタ問題デアアルノデアリマス、是ハ昭和元年カラ着手セラレマシテ、十七年度マデノ間ニ五十里ノ堰堤ヲ拵ヘテ、サウシテ其處ニ洪水時ニハ水ヲ貯メテ、洪水時ニアラザル時ニ之ヲ放流スル、又鬼怒川ト利根川トノ合流點ニ遊水池ヲ設ケテ、ヤハリ同ジヤウナ作用ヲシテ利根川治水ヲ計畫スルト云フノガ當時ノ計畫デアツタノデアリマス、サウシテ堰堤ヲ拵ヘテドン／＼ヤツテ行ツタ、所ガドウモ地質ガ惡イ、地質ノ試驗ヲヤツテ見タ所ガ、河床カラ二十「メートル」カ三十「メートル」ノ間ニハ岩盤ガアルト云フコトガ分ツテ掘鑿ヲ始メタ、所ガ其ノ二十「メートル」三十「メートル」ヲ掘ラナイ前ニドン／＼水ガ出テ來テ、是ハ大變タト云フコトニナツテ排水ノ隧道ヲ設ケテ何トカヤツテ行カウト云フコトヲ計畫サレタサウデアス。カ、又工事中ニ其ノ隧道ニ水ガ溜ツテ來ル、是ハドウモ水ノ出ルコト出來ナイト云フヤウナコトデアリマス。カ、此ノ點ヲ止メルト同時ニ、堰堤工事モ仕方ガナイト云フノデアリマセヌガ、是ハ非常ニ地質ニ迷惑ヲ與ヘタ工事ナノデアリマス、結局ノ所ハ百二十八萬圓ヲ投ジタケレドモ、此處ニ堰堤ヲ設ケル爲ニ政府ハ五十二萬圓ノ損ヲシタノデアルト云フコトヲ貴族院デ辯明セラレテ居ルノデス、五十二萬圓ヲ無駄ニシテシマツタ其ノ簡處ニ今回又堰堤ヲ



設ケヨウト云フヤウナコトヲ御計畫ニナルノハ、吾々ドウ云フ譯カ知ラント斯様ニ思フノデアリマス、何モ地質ガ改良クナツタ譯デモナイ、ヤハリ當時掘ツテ見タ所ガ非常ニ土地ガ採メテ居ル、採メテ居ルカラコトナ所ニハモウドウシテモ出来ナイト云フノデ、私共ガ當時最モ土木技術ノ權威トシテ崇拜シテ居リマス物部博士等モ到頭頭シテ投テシマツタ、サウシテ國家ニ五十二万圓ノ損害ヲ與ヘタ、其處ニ又堰堤ヲ築造セラレト云フノハ一體技術上ノ深イ理由カラ割出サレタノデアラウト思ヒマスルカドモ、再ビ失敗ヲ繰返サナイト云フダケカガ質問スルコトガ明瞭ニナツテ居リマスルカラ、此處デ一ツ御親切ニ、安心シテ居ツテモ宜イノダト云フ所ノ御説明ヲ承レバ仕合セド思ヒマス。

○成田政府委員 只今御尋ネナリマシタ問題ハ、主トシテ技術上ノ問題ニモ關聯致シマスルノデ、一應私カラ申上ゲマシテ、尙ホ足ラヌ所ヲ次官カラ申上ゲルコト云フコトニ致シタラバ如何カト存ズルノデアリマス、鬼怒川上流ニ五里堰堤ヲ造ルト云フ問題ニ付テ今マデノ經緯ハ大體今御述ベニナリマシタ通りデアリマス、今堰堤ヲ造ラウトスル場所ニ堰堤ヲ造ルト云フ計畫ハ大正十五年ニ既ニ決ツテ、其ノ計畫ノ下ニ着々準備シテ居ツタノデアリマスルガ、昭和七年、八年ニナリマシテ愈々ツツテ見マシタ所ガ、岩盤ニ弱イ所ガアルト云フヤウナコトニナリマシテ、非常ニ慎重ニ研究ヲ致シマシタ結果、結局其ノ「コンクリート」

堰堤ハ止メルト云フコトニシテ、他ノ方法ニ依ツテ洪水防禦ノ實ヲ擧ゲルト云フ風ニ計畫ガ變更セラレタノデアリマス、其ノ後先程モ申上ゲマシタヤウニ昭和十三年ノ九月ニ非常ニ大水ガ出マシテ、之ニ對スル對策ヲ色々ト考究致シマシタ、又地元ニ於キマシテハ一方洪水ノ對策ノミナラズ、廣ク水利ノ立場カラ此ノ土地ニ何トカシテ安全ナル堰堤ヲ造ツテ貰ヒタイト云フ御要望モ熾烈ナルモノガアツタノデアリマス、旁ノ内務省ノ技術ノ方面ニ於キマシテ非常ニ調査研究ヲ遂ゲマシテ「コンクリート」堰堤ハ安全ハ期シ得ラレナイ、ケレドモ所謂石塊式ノ堰堤デアリマスレバ大丈夫デアアル、是ハ外國ニ於テモ非常ニ深山側ガゴザイマスルシ、聞ク所ニ依リマス「メートル」以上ノ石塊式堰堤モアルト云フヤウナコトデ、色々調査研究ヲシマシタ結果、此ノ石塊式堰堤ナラ大丈夫デアアル、而モ其ノ規模ト云フモノハ外國デヤツテ居ルヨリモモトト大キモノノシマシテ、安全ノ上ニモ安全ヲ加ヘマシテ、是ナラバ内務省ノ技術上シテ大丈夫デアアルト云フ見極メヲ付ケタ案ガ出來マシタノデ、十六年度ノ豫算トシテ計上ヲ致シタ譯デアリマシテ、私共モ技術ノコトハ能ク存ジマセヌガ、前ニ左様ナ經緯モアリマシタコトデアリマスルカラ、十分ニ話ハ聽イテ、吾々トシマシテ念ニハ念ヲ入レタ積リデアアルノデアリマス、要シマスルノ前同ハ「コンクリート」堰堤ヲ其ノ盤ノ上ニ造ルト云フコトハ難カシ、併シナガラ今同ハ「コンクリート」ニアラスシテ石塊式ノ堰堤ト云フモノヲ造ル、而モ其ノ土臺ト云フモノハ非常ニ廣イモノニシマシテ安全度ヲ高メル、又更ニ岩盤ノ弱イ所ニ「コンク

リート」ヲ注射スルト云フヤウナ技術モ一段最近ハ行ハレテ來テ居ルノデアリマシテ、旁ノ以テ技術的ニ見テ安全デアアル、斯様ナ結論ニ到達シタノデアリマスガ、尙ホ十分ナ點ハ次官カラ御説明ヲ致スコトニ致シマスカドウデス。

○田中(好)委員 宜シウゴザイマス。成田君ハ局長非常ニ御考ヘニナラナイト私ハコホハ問題ヲ起シテ來ルノデハナカラウカ大キナ問題ヲ起シテ來ルノデハナカラウカト思フノデス、石塊式ノ堰堤ニ改メルト仰ソレデハ山谷口技師ノ御研究デスタナツタノデアリマスルガ、私共ガ聞イテ居ルノデハ、川前技師ハモウ如何ニシテモハ拋棄スル外ナイ、涙ヲ吞ンデ拋棄シタ箇處ニ更ニ堰堤ヲ拵ヘルト云フノデゴザイマスカラ、是ハ餘程御研究ニ御研究ヲ重ネテ施行セラレナイトイケナイノデアアルマイカト斯様ニハ感ズルノデゴザイマスガ、是ハ技術ノ點デ餘リ私モ知リマセヌ、ソコデ次ニ承リタイノハ、此ノ五里堰堤ヲ廢止スルヨリ外ナイト云フ問題ガ起ツタ時、ソレデハドウシテ此ノ附近ニ於ケル洪水ノ疏通ヲ良クシヨウカト云フ問題ガ起ツテ、ソレデハ西鬼怒川ヲ改修シヨウチナイカ、サウシテ水ヲ河床ニ氾濫セシメテ流セバ、五里堰堤ヲ廢止シテモ構ハナイ、斯ウ云フコトデ現ニ工事ヲオヤリナツテ居ル管デアリマス、所ガ又元ヘ戻ツテ、此處ニ石塊式堰堤ヲ拵ヘルト云フコトニナリマス、先般來オヤリナツテ居ル所ノ西鬼怒川工事ハ

ト申シマスモノガ大部分デゴザイマス、ソレ等ノ費用ヲ合セマシテ只今御話ノヤウニ全力ヲ擧ゲテヤツテ居リマス。

○田中(好)委員 ドウゾ一ツ全力ヲ擧ゲテ取締ツテ戴キタイ、私ガ聞キマス所ニ依リマスルト、統制經濟違反者ニ對シテ警察ガ取締ヲヤツタ、ソレハ酒屋ト材木屋デス、所ガ其ノ酒屋ト材木屋ヲ經濟法規違反トシテ處罰セナケレバナラス其ノ時、マア情狀ヲ聽カレタコトハ思ヒマスガ、其ノ人達ニ對シテ、ソレ等ノ者ガ若シ檢舉セラレタナラバ納付セナケレバナラス所ノ罰金額ヲ寄附セシメテ、ソレヲ警察設備ニ補充シタ地方ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、サウシテ警察ノ方ハ其ノ被疑者ヲ釋放シテ寄附金ヲ現ニ貰ツタ、ソレデ事ガ濟ンデシマツタノカト思ツテ居ルト、今度ハ檢舉ガ本當ニソレヲ檢舉シテ、檢舉ガ檢舉スル位ナラ寄附金ナドスルノチヤナカウツト云フテ梅ンデ居ル地方ガアリマスガ、ソレ等ハ今後ドウ云フヤウナ取締ヲヤツテオイデニナルノカト云フノガ一點、ソレカラ豫算總會デ三善君ガ名古屋ノ警察ノヤハリ類似ノ問題ニ付テ質問致シマシタガ、是モ一ツ併セテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○田中(好)委員 宜シウゴザイマス。成田君ハ局長非常ニ御考ヘニナラナイト私ハコホハ問題ヲ起シテ來ルノデハナカラウカ大キナ問題ヲ起シテ來ルノデハナカラウカト思フノデス、石塊式ノ堰堤ニ改メルト仰ソレデハ山谷口技師ノ御研究デスタナツタノデアリマスルガ、私共ガ聞イテ居ルノデハ、川前技師ハモウ如何ニシテモハ拋棄スル外ナイ、涙ヲ吞ンデ拋棄シタ箇處ニ更ニ堰堤ヲ拵ヘルト云フノデゴザイマスカラ、是ハ餘程御研究ニ御研究ヲ重ネテ施行セラレナイトイケナイノデアアルマイカト斯様ニハ感ズルノデゴザイマスガ、是ハ技術ノ點デ餘リ私モ知リマセヌ、ソコデ次ニ承リタイノハ、此ノ五里堰堤ヲ廢止スルヨリ外ナイト云フ問題ガ起ツタ時、ソレデハドウシテ此ノ附近ニ於ケル洪水ノ疏通ヲ良クシヨウカト云フ問題ガ起ツテ、ソレデハ西鬼怒川ヲ改修シヨウチナイカ、サウシテ水ヲ河床ニ氾濫セシメテ流セバ、五里堰堤ヲ廢止シテモ構ハナイ、斯ウ云フコトデ現ニ工事ヲオヤリナツテ居ル管デアリマス、所ガ又元ヘ戻ツテ、此處ニ石塊式堰堤ヲ拵ヘルト云フコトニナリマス、先般來オヤリナツテ居ル所ノ西鬼怒川工事ハ

○成田政府委員 鬼怒川本川ニ付テノ堤防ノ嵩上ハヤツテ居リマス、鬼怒川ニナリマシタ西鬼怒川ノ一部分、之ニ付テハ洪水ノ時ニ流スト云フダケノモノトシテ、之ニ對シテハナイト思ツテ居リマス。

○田中(好)委員 今現ニ西鬼怒川ノ工事ヤラ増補工事ヲオヤリナツテ居ルデスヨ、其ノ工事費ガ全部無用ニナルト云フ……

○成田政府委員 鬼怒川本川ニ付テノ堤防ノ嵩上ハヤツテ居リマス、鬼怒川ニナリマシタ西鬼怒川ノ一部分、之ニ付テハ洪水ノ時ニ流スト云フダケノモノトシテ、之ニ對シテハナイト思ツテ居リマス。

テハ豫算ヲ使ハナイコトニナツテ居リマス。

○田中(好)委員 ソレカラ先程武田君ノ質問ニ對シテ、上流ニ砂防工事ヲヤラス、十七年ニヤルカラ宜イト云フ御答辯デゴザイマシタガ、是ハ局長ハ行カレタカ知リマスガ、吾々ハ實地ニ見テ來タノデアリマス、ドウシタツテハ埋マルコトハ決ツテ居リマス、五里堰堤ヲ築造セントスル上流ニ橋ガアルノデアリマスガ、其橋脚ナドハドン／＼縣ガ上ゲテ居ルノデアリマス、是ハドウシテモ砂防工事十七年頃カラオヤリナルト云フ計畫ヲセラレナケレバイケナイダラウト斯様ニ考ヘマスカラ、ソレダケ申上ゲテ私ノ土木ニ關スル質問ハ止メテ置キマス。

○田中(好)委員 ドウゾ一ツ全力ヲ擧ゲテ取締ツテ戴キタイ、私ガ聞キマス所ニ依リマスルト、統制經濟違反者ニ對シテ警察ガ取締ヲヤツタ、ソレハ酒屋ト材木屋デス、所ガ其ノ酒屋ト材木屋ヲ經濟法規違反トシテ處罰セナケレバナラス其ノ時、マア情狀ヲ聽カレタコトハ思ヒマスガ、其ノ人達ニ對シテ、ソレ等ノ者ガ若シ檢舉セラレタナラバ納付セナケレバナラス所ノ罰金額ヲ寄附セシメテ、ソレヲ警察設備ニ補充シタ地方ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、サウシテ警察ノ方ハ其ノ被疑者ヲ釋放シテ寄附金ヲ現ニ貰ツタ、ソレデ事ガ濟ンデシマツタノカト思ツテ居ルト、今度ハ檢舉ガ本當ニソレヲ檢舉シテ、檢舉ガ檢舉スル位ナラ寄附金ナドスルノチヤナカウツト云フテ梅ンデ居ル地方ガアリマスガ、ソレ等ハ今後ドウ云フヤウナ取締ヲヤツテオイデニナルノカト云フノガ一點、ソレカラ豫算總會デ三善君ガ名古屋ノ警察ノヤハリ類似ノ問題ニ付テ質問致シマシタガ、是モ一ツ併セテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

ク速クニ慎重ニ正確ニ事柄ヲ調査致シマシテ、第一ノ點ニ御答ヘ致シマシタヤウナ趣旨ニ從ツテ處理致シタイト存ジテ居リマス。

○田中(好)委員 此ノ問題ハドウゾ一ツ慎重ニ御調査ヲ願ヒマスレバ、私ノ言ウタコトハ間違ヒナイト云フノガ吾々同僚一同ノ希望デゴザイマスカラ、其ノ點ヲ御願ヒシテ置キマス。ソレカラ地方事務ニ關シマシテ、地方官ガ非常ニ此ノ頃干渉スル、ドウ云フヤウナ方法デ干渉スルカト云フコトヲ調ベテ見カレ、尙ハ交付金ニ依ツテヤル權能ガアルノダサウダカラ、町村ノ自治制ナルモノハ尙等ガ言ウ通りニヤツテ來イト云フヤウナ考ヘノ下ニ、豫算ニ對シテ認可ノ制度ヲ執ツテ居ラレト云フヤウナ所ガアルノデアリマス、サウシマシテ、地方ノ市町村長ガ、マア是ハ一ツ活キタ仕事ダカラ、新事業ヲヤツテ見ヨウト思ツテ、豫算ニチヨウヒリ持ツテ行タト知事ハ許サナイ、新事業ヲシテハイカス、前年度通りノ制度デ宜イ、斯ウ云フヤウナナリ方デアリマスカラ、本當ニ自治制ノ進展ト云フモノハ行ハレナイ、成ベク事務勿レ主義ト云ヒマスガ、少シ慎ンデ居レバ宜イ、町村ノ自治事務ニ對シテハ少シモ新味ガナイ、結局交付金ヲ貰ツタガ爲ニ、自治制度ナルモノハ抑ヘ付ケラレテシマツテ居ル、斯ウ云フヤウナ傾向ガアツテ、地方自治制度ヲ大ニ進展シテヤラナケレバナラヌト云フヤウナ考ヘノ下ニ行政セラ

ルベキ内務省ガ、却ツテ地方行政ノ進展ヲ抑ヘルト云フ嫌ヒガアリマスルガ、此ノ制度ヲ廢止セラレル所ノ御意見ガナイカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス。

○留岡政府委員 御答ヘ致シマス、今ノ御尋ネハ豫算ノドウ云フ點ニ付テノコトカ能力ガ分リマセヌガ、恐ラク想像デゴザイマスルガ、認可事項ハ非常ニ少クナツタノデアリマス、大概自治體ニ委セル、又經營ノ點ハ地方長官ニ認可事項ヲ移シマシテ、内務、大藏兩大臣ニ參リマスノハ少イノデアリマス、唯御尋ネノ趣意ガ恐ラク認可ト申シマスガ、監督ノ作用ト致シマシテ、昨今戰時デ、資金モ何時モ「ヤウ」ニハゴザイマセヌ、ソレ等ヲ配合ハセ、又税ニ付キマシテモ、御承知ノ通り本年度初メテ出來マシタ制度デゴザイマスノデ、豫メ相談ヲ致スコトデゴザイマス、サウシテ起債ノ點ナド十分御相談ヲ致シマシテ、サウシテ最モ生産力ノ擴充ニ影響アリマスルモノヲ成ベクヤツテ行ク、是モ地方ノ御希望ヲ十分承リマシテ、サウシテ多額ノコトヲ御決議ニナリマシテモ、事實年度ニ入りマシテ御申請ニナツテモ、殆ドソレガ資金ノ關係、物資ノ關係カラ豫定通り行カナイノデゴザイマス、之ヲ能ク御調ベ下サイマスド云フト、只今吾々ノ方デ許可シテ居ルモノデモ、如何ニ地方ノ方ニ繰越シガ多イカト云フコトヲ御覽ニナレバ、詰リ物ノ關係、努力ノ關係デ行カナイ部分ガアルノデアリマス、ソレ等ヲ能ク一ツ豫メ御相談ヲ願ツテ、サウシテ出來ルダケ豫算面ニ現ハレテ、御決議ニナツタモノハオヤリ願フ方ガ親切デアルト存ジマシテ、事前ニ御相談ヲ致ス、所謂内聽キヲ致スコトニナツテ居リマス、特ニ地



方ノ事情ナドハ十分ニ御聴キ致シマシテ、サウシテ其ノ地方々々ノ特色、又國家ノ要求シテ居リマスル生産力擴充ノ目的ヲ達シマスルヤウニ、相談ノ上デヤツテ居ルノデゴザイマス、御注意ノ點ハ將來トモ十分注意ヲ致シマス、唯自治ヲ委譲サセルトモ十分注意ヲ云フ御趣旨ノヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ハ御同感デゴザイマス

○田中(好)委員 私ノ言フノハ今御答ヘニナツテ居ル點ヲ言フテ居ルノデハナク、例ヘバ十六年度ノ豫算ヲ町村ガ編成スル、サウシマスルト、編成スル前ニ、一寸ソレヲ持ツテ來イト云ウテ、其ノ府縣廳ノ方ガ在定スルノデス、此ノ通り村會ヲ決議シテ來イ、サウデナケレバ交付金ノ方デ手加減スルゾ、斯ウ云フヤウナ態度デヤラレマスルカラ、町村自治ハ委譲シナイヤウニ思フツテモ、委譲シテマフ、官僚化シテマフノデス、私ハサウ云フヤウナコトヲシナイヤウニ、成ベク町村側ノ思フヤウナコトヲヤラセテ、サウシテ交付金モ相當ノモノヲオヤリニナル方宜イデナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシテ居ルノデアリマス

○留岡政府委員 只今ノ御言葉ハ私モ其ノヤウナ積リテ居ルノデアリマス、別ニ趣旨ヲ取違ヘテ居ナイト思ヒマス、道府縣ナリ、六大都市ノヤウナ大キイ自治體ニ於キマシテハ、私共ト致シマシテハ、ソレ以下ノ町村ト同ジヤウナ意味合デ、町村ノ豫算ヲ拜見致シテ居ルノデアリマス、唯餘リ細目ニ互ツテ、若シ其ノヤウナコトヲ致シテ居リマスレバ注意致シマスルガ、資金モ御承知ノ通り公共團體ニ幾ラト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソレヲ市ニドノ位ナルカ、町村ニドノ位ナルカト云フコト

○留岡政府委員 只今ノ御言葉ハ私モ其ノヤウナ積リテ居ルノデアリマス、別ニ趣旨ヲ取違ヘテ居ナイト思ヒマス、道府縣ナリ、六大都市ノヤウナ大キイ自治體ニ於キマシテハ、私共ト致シマシテハ、ソレ以下ノ町村ト同ジヤウナ意味合デ、町村ノ豫算ヲ拜見致シテ居ルノデアリマス、唯餘リ細目ニ互ツテ、若シ其ノヤウナコトヲ致シテ居リマスレバ注意致シマスルガ、資金モ御承知ノ通り公共團體ニ幾ラト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソレヲ市ニドノ位ナルカ、町村ニドノ位ナルカト云フコト

ヲ、ヤハリ協議ヲシテ裁カナイト、豫メ勝手ニ資金ヲ配債ニ求メラレテオヤリニナリマシテモ、全體ノ計畫ヲ拜見致シマセスト、ドレダケノ許可ヲスルカト云フ譯ニ行カナイ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、或ハ細目ニ互リ過テマセテ思ヒマスルガ、或ハ細目ハ致シテ居リマセスト思ヒマスルガ、何カ交付金ト關係致シテ居ルヤウナ筋ガアリマスルナラバ、十分注意ヲ致シマス

○末松主査 堤康次郎君 ○堤委員 只今田中君ト武田君カラ治水問題ニ付テ、土木局長ト質疑應答ガアリマシタ、之ニ關聯シテ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、是ハ専門的ノコトデナク、常識的ノ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、而モ又内務省ノ行キ方ト云フコトニ關聯シテ居リマスカラ、次官カラ御説明願ヒタイト思フノデアリマス、只今田中君ガ如何ニ堤ヲ作ツテモ埋マツテマフデヤナイカト云フ御質問、是ハ私ハ非常ニ尤モト思フ、内務省ハ堤ヲ造ツテ、サウシテ大量ノ水ヲ其處ヘ一時入レルト云フ考ハ、私ハ是非非常ニ良イ考ダト思ヒマス、荒狂フ所ノアノ洪水ヲ堰堤ニ入レテ、丁度暴力團ヲ一時留置スルヤウナモノデ、其處ニ留置シテ置イテ、サウシテ其ノ水ヲ有效ニ働カセウト云フノデカラ、ソレハ考ヘ方トシテハ私ハ非常ニ結構ダト思フ、併シナガラドナナ堰堤、ダムヲ拵ヘマシテモ、其處ヘ土砂ガ、流レ込メシマシマヒマシナラバ直グ埋マツテシマフノデアリマスカラ、是ハ根本ノ砂防ヲシテ掛カラナケレバ此ノ仕事ハ、常識的ニ見テ效果ガナイ、會テ臺灣デ日月潭

ノ水力電氣ヲヤル時ニ、アノ水ハ濁水溪ノ水ヲ採入レテ、濁水溪ト云フノハ讀シテ字ノ如ク濁水デアル、仍テ其ノ濁水ガ堰堤ノ中ニ入レバ直グ埋マツテシマフカラ、是ハ駄目ダト云フコトガ常識的ノ輿論ニナツタ、ソコデ水ヲ濾シ設備ヲシテ「ダム」ヘ入レルコトニシテ位デアリマス、然ルニ上ノ方ノ土砂ノ流レテ來ル砂防ヲ後述シシテ、堰堤ヲ先ニスルコトハ、是非常識的ニ見テ内務當局ノ考ヘ方ハ非常ニ宜イケレドモ、順序ガ少シ逆ニナツテ居ルノチヤナイカト思ハレルノデアリマス、ソコデ是ハドウシテモ其ノ砂防ヲ先ニシテ、ソレカラ堰堤ヲヤルコトヲガ順序ノヤウニ、常識的ニ見テ思ハレマスガ、次官ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○留岡政府委員 是ハ専門ノコトハ存ジマセマスガ、常識的ノ御答ヘシカ出來ナイノデアリマスガ、堰堤ヲ作ル場合ニ砂防工事ヲヤウナ宜イデハナイカ、ソレガ常識ニ合フデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ計畫ヲ立テマシテ基本ハ恐ラテ技術上ノ檢討ヲ經テ、其ノ結果ニ基キテ豫算ヲ要求シテ行ツタコトト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ常識ダケデハドウモ分リ難ネルノデハナイカト思ヒマス

○堤委員 是ハ水ガ入ルノナラ宜イケレドモ其處ヘ土砂ガ入ツタノデハ、ドナナ大キイ「ダム」ヲ造ツテモ、埋マツテシマフ、ダカラ埋マラナイヤウニシテカラ「ダム」ヲ拵ヘナケレバナラヌト思ヒマス、私ハソレニ付テ具體的ニドウ斯ウト云フテ後カラ追究スル考ヘハアリマセマスカラ、サウ固クナラナイイデ御答辯願ヒタイ、ソレハ誰ガ聽イテモ常識

ノ水力電氣ヲヤル時ニ、アノ水ハ濁水溪ノ水ヲ採入レテ、濁水溪ト云フノハ讀シテ字ノ如ク濁水デアル、仍テ其ノ濁水ガ堰堤ノ中ニ入レバ直グ埋マツテシマフカラ、是ハ駄目ダト云フコトガ常識的ノ輿論ニナツタ、ソコデ水ヲ濾シ設備ヲシテ「ダム」ヘ入レルコトニシテ位デアリマス、然ルニ上ノ方ノ土砂ノ流レテ來ル砂防ヲ後述シシテ、堰堤ヲ先ニスルコトハ、是非常識的ニ見テ内務當局ノ考ヘ方ハ非常ニ宜イケレドモ、順序ガ少シ逆ニナツテ居ルノチヤナイカト思ハレルノデアリマス、ソコデ是ハドウシテモ其ノ砂防ヲ先ニシテ、ソレカラ堰堤ヲヤルコトヲガ順序ノヤウニ、常識的ニ見テ思ハレマスガ、次官ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○留岡政府委員 是ハ専門ノコトハ存ジマセマスガ、常識的ノ御答ヘシカ出來ナイノデアリマスガ、堰堤ヲ作ル場合ニ砂防工事ヲヤウナ宜イデハナイカ、ソレガ常識ニ合フデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ計畫ヲ立テマシテ基本ハ恐ラテ技術上ノ檢討ヲ經テ、其ノ結果ニ基キテ豫算ヲ要求シテ行ツタコトト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ常識ダケデハドウモ分リ難ネルノデハナイカト思ヒマス

○堤委員 是ハ水ガ入ルノナラ宜イケレドモ其處ヘ土砂ガ入ツタノデハ、ドナナ大キイ「ダム」ヲ造ツテモ、埋マツテシマフ、ダカラ埋マラナイヤウニシテカラ「ダム」ヲ拵ヘナケレバナラヌト思ヒマス、私ハソレニ付テ具體的ニドウ斯ウト云フテ後カラ追究スル考ヘハアリマセマスカラ、サウ固クナラナイイデ御答辯願ヒタイ、ソレハ誰ガ聽イテモ常識

ノ水力電氣ヲヤル時ニ、アノ水ハ濁水溪ノ水ヲ採入レテ、濁水溪ト云フノハ讀シテ字ノ如ク濁水デアル、仍テ其ノ濁水ガ堰堤ノ中ニ入レバ直グ埋マツテシマフカラ、是ハ駄目ダト云フコトガ常識的ノ輿論ニナツタ、ソコデ水ヲ濾シ設備ヲシテ「ダム」ヘ入レルコトニシテ位デアリマス、然ルニ上ノ方ノ土砂ノ流レテ來ル砂防ヲ後述シシテ、堰堤ヲ先ニスルコトハ、是非常識的ニ見テ内務當局ノ考ヘ方ハ非常ニ宜イケレドモ、順序ガ少シ逆ニナツテ居ルノチヤナイカト思ハレルノデアリマス、ソコデ是ハドウシテモ其ノ砂防ヲ先ニシテ、ソレカラ堰堤ヲヤルコトヲガ順序ノヤウニ、常識的ニ見テ思ハレマスガ、次官ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○留岡政府委員 是ハ専門ノコトハ存ジマセマスガ、常識的ノ御答ヘシカ出來ナイノデアリマスガ、堰堤ヲ作ル場合ニ砂防工事ヲヤウナ宜イデハナイカ、ソレガ常識ニ合フデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ計畫ヲ立テマシテ基本ハ恐ラテ技術上ノ檢討ヲ經テ、其ノ結果ニ基キテ豫算ヲ要求シテ行ツタコトト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ常識ダケデハドウモ分リ難ネルノデハナイカト思ヒマス

デアル、砂ガ入ツテ來タノデハ幾ラ堰堤ヲ高クシテモ限リガナイ、堰堤ヲ高クスルコトト砂ガ入ルコトト競争スルヤウナモノデアアル、ダカラ砂ノ入ラナイヤウニシテヤルコトガ必要デアル、唯、唯、唯、今此處デ餘リソレヲ追求スルコトモオ氣ノ毒ト思ヒマスカラ、是ハ能ク御考ヘヲ願ヒタイ

ソレカラ又田中君カラ、治水ト砂防トノ間ニ内務行政ニ多少行違ヒガアルト云ハレタ、是ハ全國的ノ問題デ、殆ド皆知ツテ居ルヤウナコトデアリマスカラ、ドウカ是ハ是非次官ガ調節ヲセラレルコトガ、内務行政ノ爲ニ非常ニ私ハ必要ダト思フ、ソレハ何處ニ其ノ原因ガアルカト云フコトハ、吾々ニハ能ク分ツテ居ル、殊ニ内務省ノ土木局長ナドハ能ク分ツテ居ルデアラウト思フ、併シ技師ト云フモノハ中々難カシイモノデ、自分ノ狭イ立場ニ立籠ツテ居ル爲ニ技師ガ一旦主張シ掛ケテラ進モ其ノ主張ヲ曲ゲルモノデハナイ、尤モ學問ハ妥協ガアツタノデハ學問ニナラナイ、妥協シナイノガ學問デアリマスガ、其ノ狭イ所ニ立籠ツテ、ソレヲ主張シテ居ル、實ニ困ツタモノデアル、恐ラク成田土木局長ガ幾ラ名局長デモ是ノ扱ヒ方ニハ相當御苦心ヲラウト思フ、ソレハドウ云フ所カラ起ツテ來ルカト云フト、技師ハ土木ノ學問ヲヤハリ主トシテ原書ヲ學ンダ、所ガ外國デハソナニ土砂ガ流レナイ大體外國ノ治水事業ハ堤防ヲヤレバソレ宜イ、ト云フノハ大平原何百里、何千里ニ互ツテ流レテ居ルカラデアル、所ガ日本ハドウカト云フト、年々季節的ニ颱風ガ來テ、鹽ノ水ヲサツト空ケタヤウニ大水ガ出ル、而シテ真中ニ山脈ガアツテ、日本海ト太平洋ニ分レテ居ルノデ、流

○留岡政府委員 是ハ専門ノコトハ存ジマセマスガ、常識的ノ御答ヘシカ出來ナイノデアリマスガ、堰堤ヲ作ル場合ニ砂防工事ヲヤウナ宜イデハナイカ、ソレガ常識ニ合フデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ計畫ヲ立テマシテ基本ハ恐ラテ技術上ノ檢討ヲ經テ、其ノ結果ニ基キテ豫算ヲ要求シテ行ツタコトト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ常識ダケデハドウモ分リ難ネルノデハナイカト思ヒマス

○堤委員 是ハ水ガ入ルノナラ宜イケレドモ其處ヘ土砂ガ入ツタノデハ、ドナナ大キイ「ダム」ヲ造ツテモ、埋マツテシマフ、ダカラ埋マラナイヤウニシテカラ「ダム」ヲ拵ヘナケレバナラヌト思ヒマス、私ハソレニ付テ具體的ニドウ斯ウト云フテ後カラ追究スル考ヘハアリマセマスカラ、サウ固クナラナイイデ御答辯願ヒタイ、ソレハ誰ガ聽イテモ常識

○留岡政府委員 是ハ専門ノコトハ存ジマセマスガ、常識的ノ御答ヘシカ出來ナイノデアリマスガ、堰堤ヲ作ル場合ニ砂防工事ヲヤウナ宜イデハナイカ、ソレガ常識ニ合フデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ計畫ヲ立テマシテ基本ハ恐ラテ技術上ノ檢討ヲ經テ、其ノ結果ニ基キテ豫算ヲ要求シテ行ツタコトト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ常識ダケデハドウモ分リ難ネルノデハナイカト思ヒマス

路ガ非常ニ短カイカラ驚クベキ速度デ水ガ流レテ行ク、所ガ外國ニハ日本ニ當ルマル土木學ノ原書ガナイ、ダカラ技師ガ外國ノ原書ニ因ハレテシマツテ、治水ハ堤防サハヤレバ宜イト考ヘル所ニ缺陷ガアルノデハナイカ、而シテ又近頃治山ノ必要ガ叫バレテ來テ、大分其ノ方面ノ朝野ノ認識ガ新タニナツテ來タノデ、一寸ソコニ妙ナ感情ガ入ツテ居ルノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、是ハ答辯ハ要求致シマセマスカラ、次官、土木局長ニ於テ主トシテ之ヲ調節セラレマシテ、サウ云フ小キイ摩擦ノ爲ニ、國費ヲ濫費シ、又國土ヲ流出シ、國民ニ塗炭ノ苦シミヲサセルノハ宜クナイコトデアリマスカラ、速カニ是ハ善處シテ戴キタイト思フノデアリマス、ソコデ大體治水ヲドウスルカ、年々一億以上、數年前ニハ四億、五億ノ被害ガアツタ、是ハ何トシテモ早クナクスルヤウニシテ行カナケレバナラナイ、大體水害デ流ス所ノ被害ハ、國富ヲ海ニ流シテシマフノデアリマスカラ、全クノ損耗デ浪費デアリマス、是ハ速カニナクシナケレバナラヌノデアリマス、大體日本ノ水害ハ水ノ害ト云フヨリモ土砂ノ害ダト云フ方ガ、適當ナ言葉デアラウト思フ、ト云フノハ會テ數年前ニ石川縣ノ手取川ニ大キナ石ガ山カラ流レテ來タ、其ノ一番大キイ石ハ疊百四十疊數位ノ大キナモノデアリマス、ソレガ數里ニ互ツテ流レテ來タ、ソレヲ計算致シマスト二百三十萬貫アル、其ノ石ヲ動かスノニ八十萬人ノ人間ガ要ルト云フ程ノ石ガ數里ノ間流レテ來タ、ソレハドウ云フコトカ、ソレハ水ガドシナ力ガアツテモ、二百三十萬貫ノモノヲ動かセルモノデハナイ

ソレハドウ云フコトカト云フト、土砂ガ流レテ來テ到ル處ニ「ダム」ヲヤウナモノガ出來ル、ソレガ飽和點ニ達シテ來ルト、其ノ「ダム」ノヤウナモノガドツト切レル、ソレガ段々切レテ、決河ノ勢ヒデドツト流レテ來テ、二百三十萬貫ノ大キナ石ノ前ニヤツテ來テ其ノ前ヲ掘ル、掘ルカラ流レナイノデ其ノ石ガ轉ガツテ行ツテシマフ、サウ云フヤウニシテ二百三十萬貫ノ石ガ流レテ來タト云フ實例ガアル、私ハ今次官ニ質問シテ居ルノデアリマスガ、是ハ土木局長モ能ク御聴キヲ願ヒタイノデアリマス、大體日本ノ水害ハ土砂ノ害ダト思フガ、此ノ點ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ

○留岡政府委員 御説ノ通り、私モサウ思ヒマス

○堤委員 ソコデ土砂ノ害ガアルコトヲ認メタラ、土砂ヲ止メルコトヲ考ヘナケレバナラヌ、先程武田君ハ山ノ仕事ハ人目ニ觸レナイ、人目ニ付カストツイ疎カニナル、下流ノコトハ人目ニ付カストツイ疎カニナル、ソコデ兎角下流ノ事ニ主ニ因ハレト云ハレタガ、ソレハヤハリ眞理ダト思フ、昔ハ人氣取ナドノサウナカマシタナイ幕府時代ナドデハ、人民ガ何ト云フテモ構ヒハシナイ、善イト思フタラヤル、其ノ點ハマア私ハ昔ノ專制政治ノ良イ所ダト思フノデアリマスガ、兎ニ角サウ云フヤリ方デアリマスカラ、決シテ堤防ト云フモノハ決潰シテ居リマセム、ソコデ私ハ一ツ文獻ヲ調べテ見タノデアリマスガ、淀川ノ改修工事ヲ河村瑞軒ガヤツタガ、ドウ云フコトヲヤツタカト云フト、先ツ桂川、木津川、淀川ノ奥ノ山ヘ樹ヲ植エ、樹ヲ植エタケデナク、床岡メヲヤツタ、サウシナケレバ谷ガ水デ荒



ヲ治メテ貫ヒタイ、サウシテ内務行政ニ於テ相剋摩摯ナドノナイヤウニ善處サレテ、國民ノ侵害ヲ未然ニ防グヤウニ最善ノ努力ヲシテ戴キタイ、是ハ切ニ私ハ國家ノ大局カラ見て御願ヒテ申上グルノデアリマス

○西川委員 昨年ノ税制改革ニ依リマシテ地方ノ財政制度ハ根本的ニ改革シタルデアリマス、其ノ結果町村民カラ申シマスト非常ニ負擔ハ輕減サレタ、多年叫バレテ居リマシタル都市農村トノ負擔ノ不均衡ト云フヤウナ點ハ餘程是正サレマシテ、ソレ等ノ點ハ地方民ト致シマシテ非常ニ満足致シテ居リ、内務當局ノ御努力ニ對シマシテ、私共多大ノ敬意ヲ拂フ者デゴザイマスガ、之ヲ執行致シマシタ後ニ非常ニ困ツト問題ハ、町村ノ財政ガ機械的ニ拘束ヲ受ケルヤウナ傾向——是ハ當初カラ豫想シタコトデモアルノデアリマスガ、窮屈ニナリマシタコトハ是ハ已ムヲ得ザルコトト致シマシテモ、現モ角モ十五年度ノ町村ノ豫算ガ組メナイ、詰リ十五年度ノ豫算ハ此ノ税法ガ改革サレマス以前ニ既ニ成立シテ居ツタ、サウシテ配付稅ハ是タケハ貫ハナクテヤナレナイト云フ數字ガ大體ニ於テ明カデアツタノデアリマス、所ガ之ニ對シマシテハ、總計ノ上ニ於テハ大體餘裕ガアルヤウニ配付稅ノ金額ハ見積ツテアルト云フコトヲ税法ノ委員會デハ承ツクノデアリマスガ、實施ヲシテ見ルト、體程其ノ點ニ食違ヒガ起ツテ居ル、私ノ手許デ調査シタモノカラ見マス

トモ致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ町村ノ方ニハ第三種ヲ加ヘマシテ、其ノ結果ハ吾々ガ當初豫想シタヨリモ非常ニ落着キガ宜イヤウニ考ヘ居リマス

○西川委員 第三種配付ノ結果、大體豫想以上ニ落着キガ宜イト云フ御説明デアリマシタガ、是ハ多少泣寝入ト云ツタヤウナ風モアリマシテ、筋ガ立ツテ寢タノデハナイヤウデアリマス、ト云フノハ、表ノ當局ノ方ハ大體收マツタヤウニ見エテモ、裏ノ方ノ吾々ノ所ニハ非常ニヤカマシク言ツテ來テ居ル所ヲ見マス、泣寝入ノ點モ多イヤウデアリマスガ、是ガ是正ニハヤハリ第三種ノ配付稅ノ力ヲ、モツト強化スル必要ガアルノデアリマス、大體此ノ制度ニ於キマシテハ、當局者ノ志ナクモ依ツテ手心ヲシタノデハ、色々弊害ガ出來ルカラ、成ベク機械的ニキチツトヤラウト云フ狙ヒヲ立テテ、其ノ狙ヒハ又一面大ニ理由ノアルコトデアリマスガ、併シナガラ何シロ町村財政ト申シマシテモ、是ハ生物デアリマシテ、生キタ物ニ對シテ一ツノ固定シタ定規ヲ當テヨウトシマスト、其ノ定規ガドンナニ理論的ニハ精密ニ考ヘラレテ居リマシテモ、アノ配付稅ノ色々標準ハ、極メテ精密ニヤラレテ居ルト吾々ハ諒承シテ居リマスガ、如何ニ精密ナル尺度ヲ以テ致シマシテモ、ヤハリ實情ニ當嵌ラス所ガ出テ來ルノデアリマス、昨年ノ稅制委員會ニ於キマシテ申述ベマシタヤウニ、アノ制度自體ニ救フベカラザル缺陷ガアルノデアリマス、ソレデ之ヲ救ヒマスニハ、第三種配付稅ノ力ヲモツト強化致シマスト同時ニ、私共ハモウ斯ウナレバ當局ヲ信賴スルヨリ外ナイノデアリマスカラ、ヤハリ府縣

縣——マダ調査書類ノ回答ノナイ所モアリマスガ、ソレ等ノ所ハ大體ニ於テ不足致シテ居ル、北海道ノ如キハ二百五十八萬圓モ不足致シテ居ル、又熊本縣ノ如キモ百三十三萬圓、長野縣ニ於キマシテモ百八十八萬圓、青森縣デモ九十七萬圓、山口縣デモ六十四萬圓、巴カリ不足致シテ居ルヤウデアリマス、又反面ニハ超過シテ居ル所モ相當アルノデアリマス、例ヘバ千葉縣ノ如キモ百萬圓、和歌山縣ニ於キマシテハ三百三十五萬圓ト云フ風ニ超過ノ數字モ出テ居ルノデゴザイマス、尤モ全體ヲ通ジマシテハ大體適當ノ數字デアツタカト思フノデアリマス、是ハ府縣單位ニ申スノデアリマスガ、町村毎ヲ見マス、其ノ間非常ニ凹凸ガアル、是等ニ付テハドウ云フ缺陷ガアツタノデアルカ、當局トシマシテハ十分ニ御調査ニモナツテ居ルコトト存ジマスガ、ドウ云フ點ニ缺陷ガアツタノデアルカ、是等缺陷ニ對シテ十六年度ニ於テハドウ云フ措置ヲ執ラレカ、是タケノコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○留岡政府委員 御答ヘテ申上ゲマス、府縣相互ニモ多少分與稅ニ付キマシ凸凹ガ出來マシタガ、大體府縣ノ方ハ御話ノ通りデアリマシテ大體均等トハナク行ツテ居リマス、ソレカラ市町村ノ方、是モ特ニ市ノ方ハ大シクコトハゴザイマスガ、町村ノ方ニ可ナリ財政ガ窮屈ニナツタ所モアルヤウデゴザイマス、是ハドウ云フ譯カ、又其ノ對策ヲドウ致シタカト云フ御質問ノ要旨ノヤウニ承リマシタガ、是ハ今御示シノ通り總額ニ於テハ不足ハナイノデアリマス、唯其ノ相互ノ間ガ皆行カナクアツタト云フ御質問ノ屈ナ町村モ大分アツタト云フコトハ事實ノヤウデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り町村

ニ依リマシテ非常ニ財政力ニ差等ガアリマシテ、何ト申シマシテモ農山漁村ニ參リマスト課稅物件自體ガ課稅ケヨウニモノナイノデアリマス、山トカ畑トカ云フヤウナモノバカリデアリマス、其ノ凸凹ガアルデアラウト云フコトモ豫想致シマシテ、百分ノ五ノ所謂特殊事情ノアル所ニハ特別ニ配付出來マスルヤウナ制度モ作ツテアルノデゴザイマス、此ノ第三種ノ町村ニ配付致シマシタ結果ヲ見マス、大シクコトトナシニ處置ガ出來タヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、是ハ御承知ノ通り經過年度ガゴザイマス、段々年度ガ經テバ經テ程、即チ昭和十二年度ニナリマスルト、本當ニ財政力ニ逆比例シテ配付致シマスル第一種ノ配付額ノ作用ガ、完全ニ行ハレハレノデハナイカ、今ハ過渡期デゴザイマス、又其ノ基礎ノ數字ニモ推定ヲ加ヘザルヲ得ナイト云フ舊稅カラ新稅ニ移リ變リノ時デゴザイマス、又急激ナリ財政ノ變化ヲ來サシメタクナイト云フノデ、所謂第四種ト云フモノヲ拵ヘテ居リマス、斯ウ云フノガ二十年ニナリマスト皆取リマス、所謂第一種ノ第二種ガ本體トナリマス、ソレデモ尙凸凹ガアルト云フヤウナ時ニ、第三種ノ制度ガ働クト云フヤウナ制度ニナリマス、今日ノヤウナ非常ニ窮屈ニ態狀ハ來サナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデ十五年度ノ窮屈ノ所ハ、ドウシタカト云フ御請ネデゴザイマスガ、其ノ前ニ一言私ノ理由ヲ、モウ一點御請ネガアリマシタカラ、御答ヘ申上ゲテ置キマスガ、今年窮屈ニナツタ理由ハ大體二ツアリマス、ソレハ負擔ノ均衡ト云フコトヲ即時斷行シタイ、斯ウ云フノガ稅制改革ノ根本精神デアリマス、ソレデ即時斷

知事ヲ信賴シマシテ、相當自由裁量ト云フカ、對酌ノ餘地ヲ與ヘテ、誰ガ見テモ是ハ逆モイカス、規則デハ斯ウナルケレドモ、是デハハレナイト云フコトニ對シテハ、第三種ノ中カラ相當ソレ等ノ方面ニ付テ、臨機ノ措置ヲナシ得ルト云フコトニ——現在モアリマスケレドモ、モツトソレヲ強化スル必要ガアルノデアリカト考ヘルノデアリマス、ソレ等ノコトニ付テ承リタイト云フコトト、ソレカラ次ハ、已ムヲ得ザル所ニハ、三稅ノ附加稅ノ制限外徵收ヲ御認メニナツタト云フ御話デスガ、是ハモウ殆ド全部ガ三稅ノ附加稅ニ依ツテ、不足シタ所ハヤウタノデアルト思ヒマス、而モ此ノ點モ、私共ハ當初カラ三稅ノ附加率ト云フモノガ非常ニ大キナル、大體當局ハ百分ノ二百四十程度——二百ヲ大體限度トサレテ、四十位ノ所マデハ大體認メテ行クト云フヤウナ御方針デアツタヤウデアリマスガ、吾々ノ聞ク所ニ依レバ、百分ノ千ヲ超ニテ附加稅ヲシタ所モアルヤウニ聞クノデアリマス、八百トカ六百トカ云フ非常ニ大キナ課稅ト云フモノハ、ザラニアツタヤウニ私共ノ所ニハ報告シテ來テ居ル、是ハ非常ニ重大ナ弊害ヲ齎スモノナラズ、ト申シマス、ハ三稅ハ地租、營業稅、家屋稅ト云フモノノデアリ、農村ニ於ケル土地ノ所有者ト云フ農民、ソレカラ實際ニ營業シテ居ル者ト申シマスレバ、極メテ零細ナル小商工業者デス、ソレカラ大ヲ持ツテ居ル者、斯ウ云フ農村ニ於ケル大家業農民ト申シマスルカ、中層、下層ノ階級ガ其ノ稅ノ負擔者デアリ、相當ノ預金トカ株式トカ云フ風ナモノヲ持チ、財産所得ヲ持ツテ居ル者ハ、是ハ相當ノ所得ヲ持ツテ居リマシテモ、町村民稅ヲ賦課スルノ

ミデアリマシテ、三稅ハ負擔シナイ、隨テ三稅ノ附加稅ハ負擔シナイコトニナル、町村長デモ餘リ地租ヤ家屋稅ヲ負擔シテ居ラヌケレドモ、非常ニ深山預金ヲ持ツテ居ルトカ、或ハ株式ヲ持ツテ居ツテ、非常ナ所得ガアル、町村ノ經費ハ非常ニ大キイモノナツタガ、村長自身ハ殆ド負擔シナイト云フヤウナノガ、實際ニ於テ非常ニ深山アル、是ハ町村自治ノ圓滿ナル運行ノ上ニモ、多大ナ支障ガアルノデアルカラ、何トカ匡救ノ方策ヲ別ニ御考ヘニナラナレバナラスト云フコトハ、昨年ノ稅ノ審議ノ際ニモ、非常ニ是ハ問題ニナツタ點デアリマス、是ハ餘程困難ナ點デアリマスケレドモ、今年、更ニソレガ非常ニ深山課稅ラレルト云フコトハ非常ニ自治ノ運用上困ツタ問題デアリマスルガ、之ニ對スル是正ノ方策等ニ付キマシテ、大體去年ハサウ云フ場合ニ於テハ、市町村民稅ノ盛り方ニ於テ、指導的ニ多少ノ點ヲ考慮スルト云フヤウナコトヲ、私共ハ諒解的ニハ何カ御話ヲ聽イタヤウデアリマスルガ、サウ云フ多少ノ處置ヲ執ラレタカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○留岡政府委員 御答ヘテ致シマスルガ、第一點ハ第三種ノ配付稅ヲ増額シタラドウカト云フ御話ノヤウニ承リマシタガ、是ハ昨年モ出タサウデゴザイマシテ、色々論議ノアル所ダラウトハ思ヒマスガ、御述ベニナルマシタ通り、自由裁量ノ利ク金ヲ多クスルト云フコトハ、一面考ヘナレバナラス、是ガ非常ニ多クナルコトハ、寧ロ吾々ノ考ヘデハ、サウ云フ例外ガ非常ニ多イ

行政シマスト、ドウシテモ負擔ノ均衡ト云フコトニ重キヲ置ク結果、輕減ハサレルト思ヒマス、負擔ハ都市ト農村ト非常ニ均衡ガ取レルヤウニナルト思ヒマスガ、一面輕減ト云フコトカラ、動トモスルト起リ易イ村自體、町自體ノ財政ト云フコトニ付テ、負擔ヲ輕減スルカラ、ソレカラモウ一ツナルト云フ現象ガ起ル、ソレカラモウ一ツハ、サウ云フコトハ起サナイヤウニト云フコトデ、十三年度ノ所要額ヲ基礎ト致シマシテ、而モソレニハ相當ノ自然増加ノ率モ見テ、十五年度ノ所要額ヲ計算シタノデアリマスルガ、補給金カラノ移リ變リヲ見マス、何ト申シマシテモ今回ノヤウナ困ツテ居ル村ハ、非常ニ戶數割ガ高イノデアリマス、ソレデ成ベク戶數割ハ財政補給金ノ時代ニ減稅サセテ參リマシタガ、其ノ金ガ入りマス、町村ノ經費ガ膨脹シ易イ、所ガ半年ノ自然増加率ヲ遙カニ凌駕シテ、十五年度ノ豫算ハ町村ノ方デ膨脹シタヤウデアリマス、之ニハ又膨脹シタ理由モアラウカト思ヒマスガ、教育費ノ方デ小學校教員ノ俸給ヲ府縣費ニ取リマシタノデ、ドウセハ取ラレカト云フコトト、少シ放漫ノ經理ヲシタ町村モアルヤウデアリマス、色々原因ガ重ナリマシタノデアリマスガ、サウ云フ經理上ノ點モ私ハ確カアツタカト思フノデアリマス、之ヲ十五年度デドウ是正シタカト申シマス、成ベク不念ノ經費ハ廢メナレバナラナイ、ソレデモ足ラナイ所ハ、固ヨリ三稅ノ制限外課稅ヲ認メテ居リマス、又預金部ノ融資ナドノ點ニ付キマシテハ、成ベク償還方法ヲ變更シテ、大藏省ト相談致シテ繰延ベテ戴イテ、サウシテ此ノ際ノ財政需要ヲ充スト云フヤウナコ

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千

ノダト云フコトニナレバ、寧ロ第三種稅ヲ殖ヤスト云フヨリモ、外ニ原因ガアルノデアリカ、例ヘバ課稅力ニ逆比例シテ分與額ガ少イノデアルカ、或ハ財政、事業ニ比例シテ配付スル額ガ少イノカ、全體トシテ考ヘナレバナラヌコトデ、此ノ例外規定ガ餘リ多クナルト云フコトハ、制度トシテモ如何デアラウカ、或ハ又機械的以外ノアラウカト云フ御意見モ、昨年ノ論議ノ時ニモアツタヤウニ拜承致シテ居リマス、來年ハ御承知ノ通り只今提案シテ居リマス分與稅法中改正法律案ニ於キマシテ、道府縣カラ市町村ノ方ニ約二千萬圓移讓致スコトニナリマシテ、全體ノ額ガ多クナリマシタノト、率ノ變更ト兩方デゴザイマスガ、ソナラ關係デ第三種モ殖エマスシ、固ヨリ外ノ方モ殖エルノデアリマス、十六年度ハ私ハ先ヅ心配ナイノデアリマス、斯様ナ見透シヲ持ツテ居リマス、其ノ次ニ御請ネ三稅ノ附加稅ハ、是ハ大體非常ニ高イ、ソレニハソレノ理由モアルヤウデアリマスガ、之ヲ一々申述ベマスト非常ニ長クナリマスカラ、省略サシテ戴キマスガ、北海道ノ如キモ非常ニ高イノデアリマス、御承知ノ通り北海道ハ特別ノ反別割ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、町村ガ有租地ニ對シテ、相當課稅シテ居リマスガ、賃賃價格ガ非常ニ減リマシテ、ドウシテモ率カラ言フト高クナルノデアリマスガ、村民ノ負擔カラ言ヒマス、寧ロ輕減サレテ居ルト考ヘテ居リマス、大體建設的ニ申シマス、二百分ノ三百ト五百ノ間デ治マツテ居ルノデゴザイマス、特殊ノモノハ、ゴザイマスガ、ソナモノハ殆ド數カラ言フト、一万一千



ノ町村カラ言ハバ少イノデアリマス、一番多イノハナハリ二百四十カラ三百、此ノ間ガ一番多イヤウデゴザイマス、其ノ外ノコトハ他ノ政府委員カラ御答ヲ致スコトニ致シマス

○三好政府委員 西川サンノ御質問中デ、市町村民税ノ賦課方法ニ付テ御答ネガゴザイマスガ、去年ノ議會ニ於テ隨分御議論ニナリマシタウニ、三好益稅附加稅ノ賦課率ガ、非常ニ高クナリマス、土地ヲ持テズ、家屋ヲ持テズ或ハ營業ヲ營ンデ居リマセズ者トノ間ニ、負擔ノ不均衡ガ起ル、斯ウ云フ問題ガアル譯デゴザイマス、其ノ際只今御指摘ニナリマシタウニ、其ノ不均衡ハ市町村民税ノ賦課方法ニ於テ、考慮ヲ致ス積リデアルト云フコトヲ、御答ニ致シテ置イタノデアリマス、改正稅制施行ニ當リマシテ、左様ナ指導ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯唯ニ申譯ナイコトデアリマスガ、御承知ノヤウナ大規模ナ改正デゴザイマスノデ、制度施行ノ當初ニハ、十分手ガ廻リ兼ネマシタ點ガゴザイマシテ、隨ヒマシテ個々ノ町村ニ於キマシテ、或ハ非難サレルヤウナ、或ハ望ミ通りノ措置ヲ執ツテ居ラナイ所モアルカト存ズルノデアリマスガ、是等ハ最近人手モ殖ヤシタコトデゴザイマス、精々指導ヲ加ヘマシテ、當局デ考ヘテ居リマスヤウナ方向ニ、持ツテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ立チマシタ序ニ御諒解ヲ得タイノデアリマスガ、其ノ一ツハ只今局長ガ御答ニ致シマシタ三好益稅附加稅ノ賦課率デゴザイマス、是ハ大部分ハ三百以下デ治マツテ居リマス、百分ノ二百即チ標準率ヲ以テ賦課シテ居リマス町村ガ四千二百八十四、二百四十以下ガ千七百六十八、三百以下ガ三千二百二十デゴザイマスカラ、九千餘リノモノハ一万一千餘リノ町村ノ中ニ於テ、三百以下デ済ンデ居ルノデアリマス、御話ニナリマシタ千ヲ超エル所ガアル云フ町村ハ、是ハ北海道ノ均一賦課ノシテ居ル所ガアリマス、是ハ船舶リ等ヲ持ヘテ借金ヲ多額ニ持ツテ居ルノデ、其ノ借金ノシテ財政状態ヲ作出サセルト云フ指導ヲ加ヘマスナラバ、六百乃至七百程度マデハ、引下ゲ得ル見込ノアルモノデアリマス、結果ニ於キマシテハ、結局實際ニ賦課スルモノデ、千ヲ超スモノハ起ラナイ譯デアリマス、尙ホ明年度ノ配付稅ハ相當増額ニ相成リマスガ、本年度ハ已ムヲ得ナイ事情ニゴザイマス、明年度以降ニ於テハ、此ノ三百ヲ超シテ居ルヤウナモノハ、賦課率モ引下ゲテ行カレルトデアラウト云フ見込ヲ付ケテ居ル次第デアリマス、尙ホ稅收入ガ非常ニ改正後不足シタト云フ御話デゴザイマシテ、數字ヲ御擧ゲニナリマシタガ、是ハハ恐ラタ昭和十五年ノ豫算計上額ト御比較デアラウト思ヒマス、併シ此ノ豫算計上額ニハ、御承知ノ通り歳出方面ニ於キマシテ、小學校教員俸給費ノ負擔ガ免レ關係デ、差引ヲ加ヘナケレバナラヌモノガアルト思フノデアリマス

或ハ其ノ差引ヲ加ヘルコトニ付テ、御進ベニナツタコトト思フノデアリマスガ、併シ當初豫算ノ計上額ニ於キマシテハ、稅制改正ヲ當テシテ、多少ニトリテ見テ計上シテ居ツタモノガゴザイマス、ソレデ小學

校教員俸給ノ經費ノ方ヲ流用致シマシテ、之ヲ浮イタ金ノヤウニ考ヘテ使ヒマシタ町村モ、中ニハアツタノデアリマス、ドレダケノ町村ガサウ云フコトヲ致シタカ、是ハ詳カニ致サナイノデアリマスガ、サウ云フテ指導ヲシ、實情ニ即應シテ財政整理ヲスルヤウニ、相談ヲ致サセマシタ結果、先程申シマシタヤウナ賦課率デ治マル程度ニ相成ツテ居ル次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○西川委員 御説明ハ大體諒承致シマシタガ、尙ホ一段ト御努力ヲ願ヒマシテ、是等ノ矛盾ノ點ノ是正ガ行渡ルヤウニ切望ヲ致ス次第デアリマス、尙ホ現在ノ政府ノ經濟政策ハ、一般ノ經濟ノ膨脹、諸リ財政ノ膨脹等ニ比較致シマスレバ、國民所得ニ對シテシテハ一種ノ抑制政策ヲ執ツテ居ルト云ハザルヲ得ナイノデアリマス、例ヘバ會社經理統制令其ノ他色々ノ政策ニ於テ、所得ハ餘リ膨脹シナイヤウナ政策ヲ執ラレテ居ル、又一面進興飲食等ニ付キマシテハ、七・七禁令以來、餘程其ノ方面ノ緊縮モ行渡ツテ來マシテ、是ハ今年ノ歳入豫算ノ上ニモ、遊興飲食稅ノ減額ガ既ニ二千萬圓ト出テ居ル、是ハ今後益々サウ云フ趨勢ハ増シテ行クモノト思フ、サウ致シマス所得稅、法人稅、遊興飲食稅ノ一定率ニ、此ノ分與稅ノ財源ガ機械的ニ結付イテ居リマス關係上、分與稅財源ノ減退ヲ來スノ虞ナシトシナイノデアリマスガ、是等ノ對シマシテドウ云フ風ナ考慮ヲ運ラサレテ居リマスルカ、御聽キシタイノデアリマス

○三好政府委員 地方稅收入ノ相對額ニ於キマシテ、御指摘ニナリマシタ配付稅ノ收入ガ減ル場合ニ於キマシテハ相當減額ヲ見ルノデハナイカト思フノデアリマス、唯其ノ際ニ於キマシテ、配付稅ノ額ハ——御承知ノヤウニ昭和十七年度以降收入セラレマス率ガ高ク相成リマス、一七・三八マデ持ツテ行クコトニナリマシテ、配付稅ノ絕對額其ノモノハ、現在ノ稅收入ガ殖エマセズデモ、或ハ多少減リマシテモ、變ハナイ見込デゴザイマスノデ、其ノ程度ガ激シクナリマスガ、只今ノ見込デハ絕對額方昭和十六年度ノ三億二千萬圓ノ割ルヤウナコトハ先ヅナイ、殖エルコトハアツタモ減ラナイデアラウト云フ見當デゴザイマス、左様致シマスナラバ、配付稅ノ額ガ落ちナイノデアリマスカラ、自然財政ノ調整作用ガ強マリマスノデ、地方團體個々ノ財政整理ト云フモノニハ、減收ガアリマシタ割合ニハ、大キイ影響ヲ與ヘナイデアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 地方自治制度ノ改革ト云フコトハ、既ニ數年ノ懸案トナツテ居ルノデアリマスガ、更ニ本年ニ於キマシテハ、農林諸團體ノ統一問題ト關係致シマシテ、茲ニ私共ハ町村ノ機構、特ニ町村民ノ生活團體、又產業團體、ソレ等ノ全面ニ互リマシテ根本的ニ檢討ヲ加ヘル時期ニ達シテ來タト思フノデアリマス、此ノ問題ノ解決ニハ、當然地方財政上ノ問題モ相關聯シテ行カナクテハナラヌノデアリマスガ、大體此場合、國ハ委任事務ト市町村ノ固有ノ自治事務ト云フモノヲ、出來ルダケ區別ヲシテ、委任事務ニ屬スルモノハ成ベク國費ヲ以テ、或ハ府縣費等ニ依ツテ交付スル、固有ノ事務ハ何處マデモ町村民ノ共同ノ責任、共同ノ業

務トシマシテ之ヲ支辨スル所ノ機構ヲ確立シテ行ク、是等ガ町村民ノ生活ナリ、産業ナリト結付イタ關係ニ於テ、産業團體ノ統制問題等モ考ヘラレナクテハナラヌト思フ、是ハ所謂總力戰態勢ノ下ニ、高度國防國家體制ヲ頗リニ言ハレテ居リマス此時代ニ於テハ、一日モ怠ラ要スル問題デアルト思フノデアリマス、私共ハドウモ若輩デ分リマセスガ、一體斯ウ云フ風ニ時局ガ急迫シタカラ是等ノコトヲ取止メルト云フ意味ガ、私共ニハ呑込メヌノデアリマス、内務省トセラレマシテハ自治制度ノ改革ナリ、地方ノ產業團體ノ改革等ニ關聯シテ、時局ガ急迫スレバ急迫スル程、合理的ノ解決ガ速カニサレナクテハナラヌノデアリカト吾々ハ考ヘル、之ニ對シテハ内務當局トシテハ、ドウ云フ御用意ヲ持ツテ居ラレカ、又ドウ云フ方針ヲ以テ進シテ居ラレカ、何ト云ヒマシテモ少クモ町村ニ於ケル凡ニル機關ガ綜合統一サレテ、町村民ノ總力ガ國家ノ目的ニ集中動員サレヤウナ機構ガ、町村單位ニ整ヘラレテ行カナクテハナラヌト云フコトハ、時局ガ急迫スレバ急迫スル程其ノ必要ガ緊切ニナルノデアリマシテ、争フ餘地ハナイト思フ、其ノ機構ノ立テ方ニ於テハ、色々ノ議論ガ起ルデアリマセウケレドモ、町村ニ於ケル凡ニル機關ガ綜合統一サレ、町村民ノ總力ガ一つノ方向ニ集中動員サレル、斯ウ云フ機構ヲ作ラナケレバナラヌト云フ必要ニ於テハ、最早議論ノ餘地ガナイト思フ、又組織機構ニ於テ完全ナルモノガ直チニ出來ナケレバ、應機ノ措置トシテモ何等カノ方策ガ執ラレナケレバナラヌ、是ハ内務、農林、厚生省等關係各省ノ協議ノ下ニ於テ

根本的ナ機構ノ改變ハ別ニシテモ、應機ノ措置デモ執ラナクテハナラヌト思フノデアリマスガ、ソレハ本年度ノ計畫トシテ、差當リ豫算ノ上ニ於テドウ云フコトガ考慮サレテ居ルカ、ドウ云フ施設ヲ行ハウトサレテ居ルカ、其ノ點ヲ御聽シテ置キタイ

○西川委員 產業團體ヤナシカニ關聯シタ問題デス、產業團體ニ付キマシテモ内務省トシテ相當ノ意見ヲ持ツテ居ラレドセウカラ...

○西川委員 部族團體ノ重要性ニ付キマシテハ、昨年モ色々申サレタノデアリマスガ、内務省ガ是ガ整備ニ非常ニ努力ヲサレマシタコトハ、吾々多トスル次第デアリマス、何ト申シマシテモ部族團體ノ眞ニ活動的ナ強クナルコトシ、又之ヲ綜合統一スル一ツノ町村ノ舉村一致體制ヲ確立スルト云フコトガ、此ノ戰時體制ノ下部組織トシテ絕對ニ必要デアル、私共ガ大政翼贊會ノ地方組織ニ期待ヲ致シテ居リマスル所以モソコニアル、私共ハ是ガ大政翼贊會ノ機構ニ於テ行ハレテモ、ソレハドウモ宜イト思フ、是ハ徹底的ニ見ニ角ヤラネバナラヌ、只今部族振興費ニ付テ百二十萬圓バカリノ經費ヲ計上シタト仰セラレルノデアリマスガ、百二十萬圓ト云フ經費ハ一體一部族ニ對シテ幾ラニ當ルカ、一年三圓ニシカナラヌ、一部族ニ一年三圓位ノ金ヲ出シテ部族ニ配ツタ所仕儀ガナイカラ、恐ラク部族指導者ノ講習會ヲヤルトカ、或ハ縣ニ其ノ方ノ係一ツ設ケルトカ云フ程度ニ過ギナイ、ソノナコトデハ間ニ合フ話デハナイ、少トモ部族ガ働ケル一ツノ力ヲ持タナクテハナラヌ、大體此ノ日本ノ自然部族ト云フモノハ、昔ノ儘ニ置イテオケバ働ケル組織ニナツテ居ツタ、皆部族有財產ヲ持ツテ居ツタ、私共ハ昨年モ申上ゲマシタヤウニ、部族ト云フモノハ祖先崇拜ノ部族ノ氏神様ガアリ、是ガ部族ノ魂デアリ、サウシテ部族財產ガ身體デアル、部族財產ト云フ身體アリ、氏神様ト云フ魂アツテ、初メテ部族組織ト云フモノハ生キタ働キガ出來ルノデアラウ、其ノ







ナツテ居ル、斯ウ云フ悪辣ナヤリ方ヲ以テ、町村長ヲ解職スルコト云フコトハ實ニ怪シカラス、政府トシテハ從來此ノ訴願ノ審査ニ對シテ、ドウ云フ御取扱ヲナサツテ居ルカ知リマセシガ、私ハ斯クノ如キ問題ハ、單ナル文書ニ依ツテ其ノ御決定ニナルコトハ、甚ダ危険ナルアルト思フ、是非トモ政府ハ適當ナル役人ヲ御派遣下サイマシテ、此ノ知事ガヤツタ理由、何モノ件、不公平ノ件トハ何カ、之ヲ實地調査ノ上デ裁決ヲシテ裁キタイト存ジマスガ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○留岡政府委員 訴願ハマダ拜見シテ居リマセシガ、是ハ固ヨリ一個人ガ解職シテ居ルノデハナイ、市町村吏員懲戒審査會ノ議ヲ經テヤツテ居ル手續デアリマス、ソレニ對スル訴願ガ内務大臣ニ申請セラレルノデアリマシテ、是ハ固ヨリ御説ノ通り十分調査致シマス、一種ノ裁決デアリマスカラ、十分理由ヲ調ベテ裁決スル積リデアリマスガ、當該縣ニ出張シテ調ベルカドウカト云フコトハ、只今斷言スルコトハ出来マセシ

○伊禮委員 成程御答へノ通り、懲戒審査會ノ議ヲ經テヤツテ居リマス、併シ是ハ形式ハサウナリマシテモ、要スルニ之ヲ議長トシテ主宰スル知事ノ意思ニ依ツテドウデモナル、而モ懲戒委員ニ參事會員カラ出タ者ニ對シ、前晚通知ヲ致シマシテ、サウシテ秘密ニ決行シ、更ニ訴願ノ書類ヲ全部其ノ場取上ゲテ、外部ニ洩レルコトヲ禁止シテ居ル、私ハ之ヲ御調ベニナルニ付テハ、ドウシテモ誰カヲ派遣シナケレバ徹底シテ御調査ハ難カシト思フ、此ノ點十分ナル御調査ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ニ關聯シマシテ、此ノ町村制ノ改正ニ付テ、更ニ御所見ヲ伺

ヒタイト思ヒマス、政府デハ地方制度改正ノ御準備ガアルヤニ聞イテ居リマスガ、果シテ此ノ點マデ御改正ニナルカドウカ分リマセシガ、市制ノ第七十條、町村制ノ第五十條、是ガ懲戒處分ノ規定ニナツテ居リマスコトハ、御承知ノ通りデアリマスガ、私ハ内務省トシテ此ノ訴願ニ對シテ、今申上ゲルヤウナ何等ノ理由モ發見出来ナイ場合ノ審査ニ付テハ、餘程御困リデアラウト思フ、又被害者デアアル所ノ村長ハ尙ホ困ル、唯文書ノ上ニ於テ之ヲ御決定ニナルコトハ非常ニ困ルト思フ、ソコデ市制ノ第七十條第四項、町村制ノ第五十條第四項ニ解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得トアリマスガ、此ノ規定ヲ、解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト、是ニ選擇ヲ與ヘ、訴願タケテナシニ行政訴訟ニモ出來得ト云フコトニ、町村制ノ改正ヲシテ裁キタイ、斯ウ考ヘル、斯クノ如キ問題ハ寧ろ行政訴訟ニ於テ、五ニ攻撃防禦シ、證據ノ覆滅ヲスル機會ヲ與ヘテ貰ハネバナラス、サウ云フコトニ依ツテ明瞭ニ裁決ガ出來ルト私ハ考ヘマス、ソレデスカラ、斯クノ如キ不祥事ノナイコトヲ希望シマスガ、或ハ今後トモナイトモ限リマセシカラ、是非市制並ニ町村制ノ改正ヲ、私ハ希望シマス、更ニ同ジ簡便デアリマスガ、第五項中ニ解職ノ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得トアル、是ハ命スルコトヲ得下アリマスガ、私ハ解職セントスルニ懲戒審査會ヲ開クナラバ、其ノ前提トシテ先ヅ停職ヲナル、サウスレバ懲戒ヲ受ケントスル所ノ町村長ニ於テ、或ハ市長ニ於テ、若

シサウ云フ懲罰ヲ受クベキ良心的ノ責任ヲ感スレバ、其ノ間ニ辭表ヲ出ス、懲戒審査會ノ決定マデ行カヌデ済ム、今ハ停職ヲ命スルコトヲ得テアルカラヤツテ居ナイ、斯ウ云フ風ニ出張不在中ヲ見計ラツテ解職處分ヲナシ、停職モ何モセシ、現ニ縣農會長デアリ、縣會議員デアリ、斯ウ云フ全部ノモノニ對シテ謝辭ヲ來ササト云フ計畫ノ行爲ダト、私ハ斷定シマス、斯クノ如キ不祥事ヲ防グ爲メ、市制並ニ町村制ノ改正ヲ希望致シマス、更ニ告示ノ日ヨリ二十一日間トアリマス、是モ決定書ヲ交付ヲ受ケタル日ヨリトシナイト、今申上ゲマスヤウニ、不在中ニ告示ヲ出シテ、例ヘバ本人ニハ三日カ四日前ニシカ着カヌヤウナコトニナル、告示ノ日ヨリトシマス二十一日ト云フノハ直ダ來マス、ダカラ此ノ期間ノ方ハ、私ハ交付ヲ受ケタル日トカ、何トカ適當ナ改正ガ必要ダト思ヒマスガ、内務省ハ今回ノ地方制度ノ改正ニ付テ、此ノ點ニ關レバ是等ニ對シテ改正ノ御意見ガナイカ、ドウカ

○留岡政府委員 町村制ノ改正ニ付テ御尋ネデゴザイマスガ、新聞紙上、又三三三程前デアリマスガ、地方制度、町村制ノ改正ナド、殆ド提案スルマデニナツテ居ツテ提案シナカツタ時代モゴザイマス、又目下吾々ノ内ニ於キマシテ、改正ヲ進メテ居リマス、御案内ノ通り、政府ハ今回戰爭ニ直接關係シナイヤウナモノハ、成ベク控ヘルヤウニト云フ御指圖デアリマスカラ、提案ヲ見合セテ居ルノデアリマス、其ノ内容ハハツキリ申上ゲル譯ニ參リマセシ、マダ私等ノ手許デ改正ノ案文ヲ練ツテ居ル次第デアリ

シテ、マダ法制局マデモ參リマセシ、隨テ又閣議ノ決定モ經テ居リマセシノデハツキリ申上ゲル譯ニ參リマセシ、是モ町村制バカリデゴザイマセシ、市制ニモ通ジマスシ、或ハ府縣制ニモ通ズル問題デアリマス、或ル程度改正シタイト思フテ居リマス、ドウ云フ風ニ改正スルカト云フコトハマダ決リマセシ、申上ゲル時期デモナカラウト思ヒマス、改正ノ意思ハ持つテ居ルト云フコトダケ御答へ致シテ置キマス

○伊禮委員 是ダケハ將來是非改正シテ貰ヒタイコトヲ希望致シマシテ此ノ點ハ打切ツテ置キマス、モウ一點、地方デハ地方官ガ産業團體ニ關係シタガリ難ガアル、私共ハ産業團體ハヤハリ地方ノ民間團體ノ相當人物ニ經營サシテ、縣ガ之ヲ監督スル方ガ宜イト思フ、所ガドウモ縣ノ役人ガ關係シタガツテ仕様ガナイ、現在問題ヲ起シテ居ル所ガアル、縣農會デ青物蔬菜類ノ出荷ヲヤツテ居リマスガ、又一面ニ於テ或ル一二三ノモノガ團體ヲ作りマシテ、青物出荷組合ヲ作ツテ居ル、ソレニ經濟部長ガ會長カ何カニナツテ競争シテ居ル、サウシテ縣農會ノ方ガ成績ガ良ク、縣ノ關係シテ居ルノハ成績ガ良クナイ、ソレデ合併シヨウト言フ、合併スルコトハ宜イ、所ガ其ノ合併ハ、縣農會カラ奪ヒ取ツテ、ヤハリ經濟部長ガ中心ニナツテ會長カ何カシテ居ル方ハ統合シヨウト云フノデ無理ニ壓迫シテ居ル、私ハ斯ウ云フコトハ宜シクナイト思フ、斯ウ云フ産業團體ハ、地方民ガ出來スナラバ關係シテモ宜イガ、地方ノ團體ガ圓滿ニ進行シテ居ルモノヲ、強ヒテ役人ガ立入ツテ自分ガヤラウト言フ、監督スベキ者ガ經營者ニナル、斯ウ云フコトハ憤ムベキモノダト思ヒマス、

勤者デアツタリ、或ハ月末デナケレバ金ガ入ラナイ下層階級ノモノデアリマス爲メ、ツイ之ヲ放棄シテシマフ、其ノ爲メ金ノアル人ガ、丁度其ノ町内ニ廻ツテ來タカラト云フノデ餘分ニ取ツテシマフ、一方ニ於テハ非常ニ豊富ニ持つテ居ルニ拘ラズ、一方ニ於テハ子供ノ才糧ヲ乾カス發モ足ラナイト云フ狀況ニナツテ居ル事例ガ、相當ニアルノデアリマス、町内會長ナドモ非常ニ之ヲ心配致シマシテ、何トカ立替ヘテモヤリタイト考ヘテ見マシタガ、ソレヲ町内會長ガ個人デ立替ヘルト云フ譯ニモ行カナイシ、ソレカラ又非常ナ金持ガ町内會長ヲヤツテ居ツテ、遺棄ニヤツテ居ル形デアリマス、ドウシテモ擇イ所ニ手ガ届カナイ、ソコデ第一點ト致シテハ、是ハ一番大切ナ末端ノ國民組織デアリマス、町内會ノ世話ヲ致シマス人トシテハ、一ツ有給テ専任ノ人ヲ御置キニナルコトガ必要デナイカ、ソレデ職業ノ狀態モ、病氣ノ狀態モ、或ハ又其處ニ非常ニ不平ヲ抱イテ居ルモノガアルトカ、色々ナ狀態ニ付テモ彼モ末端ニ於テ分ルト云フコトニナリマスレバ、是カ後トシテ空襲ヲ受ケマシテモ、何ガ起キマシテモ、非常ナ力強イモノトナルノデアリマシテ、斯ウ云フ意味ニ於テ、練達ノ專任ノ有給ノ指導者ヲ三百軒一人トカ、兎モ角ソレ位ノモノニ付テ御置キニナル必要ガアルデハナイカト云フコトガ第一點デアリマス

第二點ト致シマシテハ、今申シマシタヤウナ事情ガアリマシテ、兎モ角戰爭經濟ト云フモノハ、平時ノ經濟ヲ建直スノデアリマスカラ、其ノ過程ニ於テ失業者モ出テ來ルシ、ソレカラ良クナルモノ、進ムモノ、

色々ノ關係ガ出テ參リマスノデ、現金ヲ持タナクテモ、兎モ角最低限度ノ必要ナ物ハ配給ノ出來ルヤウニ、町内ノ相互金庫ト申シマスガ、或ハ町内相互厚生組合ト申シマスガ、斯ウ云フヤウナ形ニ於キマシテ、金ノアル者ハ餘計出シ、ナイ者モ出來タ時ニ少シツツ負擔致シマシテ、ソレニ自治體ナリ、國ナリガ相當ノ助成ヲ致シマシテ、兎モ角末端ノ一番弱イモノデアツテモ、家族國家ノ一員トシテ、家族ノ一員ガ病氣ニナツタ時ニ、ソレヲ困ラサナイト同ジ意味ニ於キマシテ、同ジ日本人ガ同ジ町内ニヤツテ困ルモノガナイヤウニスルト云フ、サウ云フ一ツノ形ノモノヲ作り上ゲル必要ガアル是ガ出來マスレバ、町内會ト云フモノガ回覽板ヲ廻ストカ、サウ云フ仕事カラ本當ノ地域生活協同體トシテノ生命ノ通ツタモノニナルト思フノデアリマス、今日ハ厚生省ノ方ガ居ラレナイト思ヒマスガ、國民健康保險組合ノ如キモ、町内會ニ一ツ御委メニナツタ宜イト思フノデアリマス、ソレデズツト各町内通ジマシテ、都市ニ於テ連帶性ノ少イ、隣ノ人モ分ラナイト云フヤウナ狀態ガ、生活ノ關係ニ於テモ、病氣ヲシテモ、相互扶助ダ、何ヤツテモ助け合フト云フ形ノ、本當ノ生活協同體ニナリ得ルト云フノデアリマシテ、是ハ一ツ是非何ト致シマシテモ、上ノ方カラ彼此レ言フノデアリマシテ、末端ノ組織ガ本物ニナラナケレバ、本當ノ強イ國民組織ト云フモノハ出來上ラナイト考ヘマスノデ、此ノ點ニ付テ内務省ノ御考ヘヲ承リタイト考ヘルノデアリマス

○留岡政府委員 御答へ致シマス、町内會其ノ他、配給事務ナドモ非常ニ多クナツタ



カラ、専任ノ書記ヲ置イテラドウカト云フコトハ、私等ハ其ノ必要性ヲ認メテ居リマス、唯御案内ノ通り、其ノ區域ニ依リマシテ所謂強制的ノ配給ト申シマスカ、サウ云フ區域ニナツテ居ラナイ町村モ、大分アリマス、東京ナドハ多分年度ノ豫算ニ、其ノ費用ヲ當市會ニ計上スルヤニ聞イテ居リマスシ、サウ云フ方向ニ少クとも大都市ハ早ク進ムノデハナイカ、又サウナルコトヲ吾々ハ望ムデ居リマス、唯町内會ノ區域ガ、一町内會ヲケテハ少シ人手ガ餘リ過ギルコトガアリハシナイカ、其ノ町内會ノ或ル程度ノ聯合會ト云フヤウナコトモ、研究シテ行キタイト思フテ居リマスガ、御趣旨ニハ私ハ同感デゴザイマス

ソレカラ町内會ニ相互金庫ト申シマスカ、サウ云フモノヲ置イテ、現金ノナイヤウナモノガ渡ルヤウニシテヤウナラドウカト云フ御話デゴザイマスガ、是モ將來考ヘテ行キタイトハナイカト考ヘテ居リマス、是ハ御意見トシテ承ハリマシテ、昨今發達シタ町内會デゴザイマスノデ、サウ云フ考ヘ方ヲ以テ十分研究シテ見タイト思ヒマス

ソレカラ最後ニ、是ハ厚生省ノ所管デ一例トシテ御舉ゲニナツタノデアリマスガ、國民健康保險ナドモ計畫シタラドウカト云フ點モ考ヘ方ト致シマシテハ、三宅サント私同ジ程度ニ、サウ云フ仕事ハヤラシテ行ツタラドウカ、殊ニ御述ベニナリマシタヤウニ、國民健康保險ナドハサウシタイ、不日法律ガ提案サレルヤウニ聞キ及ンデ居リマスガ、ドウ云フ法案ニナリマスカ知リマセヌガ、所謂貯蓄組合法ノ如キモ、私ハ大蔵省ノ係

官ニ成ベク町内會ノヤウナモノヲ基礎ニシテ、御考ヘ願ヒタイト云フコトヲ申出デ居ルノデゴザイマス、御説ニハ大體私ハ共鳴致シマス

○三宅委員 大體御同意ノ御答ヘマシテ満足デアリマスガ、私ハサウ云フ風ニナツテ参リマシタラ、本當ニ組織ガ生キテ來ルト思フノデアリマシテ、現ニ私ハ國民健康保險ノ問題ニ付テモ、厚生省ガ出來マシタ時代デアリマシタカ、埼玉縣ノ越谷市納稅組合ヲヤツテ居ル、日掛貯金デ日儲ヒデモ一錢、二錢ツツ毎日金ヲ集メマシテ納稅サセテ、所ガ月ニ五十圓位ノ收入シカナイモノガ、借テ病氣ニナツタラ納稅ガ出來ヌコトハ、實際ニ當ツテ見ルト直グ分ル、ソコデ納稅組合ヲ補強スル爲ニハ、一ツ町内會ニ國民健康保險組合ヲ作ツテ、病氣ノ時心配ノナイヤウニシテヤラナケレバナラヌ、是モ只診テヤルト云フノデハ、恩惠主義ニナツテ駄目ダカラ、ヤハリ僅カデモ積立テ行キタイト云フニシテ行カケレバナラヌト云フ所カラ、越谷町ニ國民健康保險組合ガ日本一番初メ出來タノデアリマス

斯ウ云フヤウナ發生ノ沿革ナドヲ色々見マスト、本當ニ町内會ヲ活カス爲ニハ、ソレヲヤツテ戴カケレバナイイシ、現ニ物ガ買ヘナイデ困ツテ居ルコトニ付テ、町内會ノ責任者ガ何トカソレノ解決ヲ付ケテヤル、失業者ノ點ニ付テモ最末端ノ機關トシテモ、ソレヲ何トカ解決ヲ付ケテヤルコトニナラナケレバ私ハ嘔吐ト思フ、東京市ノ如キモ、現ニ私ノ所ニ言フテ來テ居リマスガ、高田馬場アタリニ最近變ツテ來テ住ミマシタ所ガ、米屋ガ米ヲ賣ツテ與レナイ、仕方

ガナイカラ變ツテ來タ三軒ノ家ガ共同シテ、日暮里マデ來テ買ヒニ行ツテ居ル實例ガアリマス、斯ウ云フコトニ付テハ、警察ト連絡ヲ取ツテモ世話ヲシテヤルコトガ必要ダ、是ハ金ガナクテ買ヘナイノデハナク、配給ノ不合理ノ爲ニ賣ツテ與レナイヤウナ状態デアリ、サウ云フ卑俗ナ些末ナ問題ニ付テ、私ハ拜イ所マデ國民ノ最下部ノ弱イ環ニ付テ世話ヲスルコトガ、本當ノ國民組織ノ確立ダト考ヘルノデアリマシテ、最近非常ニ力ヲ入レラレテ居ル町内會ニハ、地方局長ノ申サレルヤウニ、東京ノヤウナ連帶性ノ薄イ新シイ町ニ於テハ、特ニ必要デアルカラ専任職員ヲ財政裕カナル大都市ナドデハ、直チニヤラセルヤウニ御勸奨ヲ願ヒタイシ、少クとも來年度ニ於テハ本當ニ發達ガ宜カッタラバ、豫備金等ニ於テ助成スルヤウニ御考慮キヲ願ヒマシテ、末端組織ハ實ニ強イノダト云フコトニ、戰時體制ヲ整ヘルヤウニ致サレンコトヲ、特ニ希望シテ置キマス

○末松室長 森田福市君

○森田(福)委員 私ハ大臣ニ御聽キシタイコトガアルノデスガ、大臣ガオイデニナラヌノデ、事務的ノコトヲ三點ダケ御尋ネシタイ

一 物價政策ノ取締ハ、御承知ノ通り府縣デハ經濟保安課ト云フモノガ出來テヤツテ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ經濟保安課ノ取締ノヤリ方ハ、ドウモモウ一息國民ノ得心シ難キ點ガ多クアル同ジ縣ノ中デ經濟部ノ商工課ガ決メテ、是ナラ宜カラウト云フモノニ對シテモ、經濟保安課デハイケンイト云フノデ檢舉スル、例ヲ引ケバ例ハ幾ラデモ引イテ宜シイガ、兎ニ角其ノ檢舉ハ、

私ノ知ツテ居ル範圍デハ、警察署ガ任意ニヤツテ居ルノデハナク、悉ク經濟保安課ニ電話ヲ掛ケテ指揮ヲ仰イデ居ル、サウ云フモノニ手ヲ着ケルベキヤ否ヤト云フコトハ相談シテヤツテ居リマス、隨ツテソコガ手ヲ着ケル、着ケルナト云フコトヲ言フノデアリ、私ハ手ヲ着ケル前ニ、モウ一ツ經濟部ノ商工課ニ相談シテヤルベキモノダト思フ、私等ノ縣デ問題ニナツタハ、主トシテ木炭デアルガ、サウ云フ場合ニハ木炭ノ價格ハ何處渡デドコマデハ認メルヤウニ商工課ノ方デハシタノカト云フコトヲ打合セテヤツテ、檢舉ニ着手スルナラ着手シテ、其ノ業者ノ購ヲ寒カラシメルノモ宜イガ、其ノ打合セモ相談モセズニヤルカラ、縣ノ商工課カラ購買組合ニ對シテ、何處渡デ此ノ程度ナラ宜カラウト云フ話ナド、ソレヲ炭燒キニ通知シテ燒カセル、所ガ借テソレヲ取引スルト、其ノ二錢三錢ガ間ダト云フノデ、警察ニ引ツ張出シテドウ云フコトヲヤルカト云フト、是ガ立憲的ニヤルノナラバ宜イガ、引ツ張出シテ圖書ヲ取ツテ、略式命令ノ罰金ヲ受ケルヤウニシテヤルカラ、決シテ正式裁判ヲ仰イデハイカヌソト云フコトヲ圖書ニ取ル、私ハコンナ馬鹿ゲタコトハナイト思フ、檢事デモ警察官デモ、人間ノヤルコトダカラ何處ニ無理ガアルカモ知レヌカラ、君ニ得心ガ行カナカッタラ正式裁判ヲ仰ゲト云フヤウニ教ヘテヤルコトガ立憲的デハナイカ、ソレヲヤラヌト云フコトヲ圖書ニ取ルナド、何タル非立憲的ナヤリ方デアルカ、斯ウ云フヤウナコトヲ地方ノ經濟保安課ノ指導ノ下ニヤツテ居ルノデアルガ、私ハモウ一ツ斯ウ云フコトヲアナタ方ニ相談シテ見タイ、

此ノ經濟保安課長ト云フノハ、大體何處ノ府縣デモ資格者デアツテ若イ人々デス、ソレハ勿論是非ノ判斷ガ出來ヌヤウナ人デアリマス、何ト云フテモ經驗ガ淺イカラ、餘程實情ノ分ツタ人ガ當ルベキガ筋合デハナイカ、ソコデ私ハ地方警察官ヲ初メカラヤツテ上ツテ來テ警部ナリ、警視ナリガ經濟保安課長ヲヤツタラバ、今少シ地方ノ國民ノ納付クヤウニ始末ガ付クノデハナイカ、此ノ頃ハ人ガ餘計要ルノデスカラ、必ズシモ彼處ヘ見習フヤツテ直グノ人間ヲ持ツテ行カヌデモ、マダ持ツテ行ク所ハ今日幾ラデモアルノデスカラ、此ノ方面ニハ地方ノ實情ニ即シテ、經驗モアリ總テノモノニ無理ノ行カヌ常識ノ發達シタ者ヲアノ位置ニ据エテ置ク方ガ宜イノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、之ニ對シテ內務當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○橋本政府委員 經濟警察ノ關係ノ御話デ、仕事ノヤリ方、連絡ヲ能ク保ツテヤリ方ヲ合理的ニヤルト云フヤウナコト、ソレカラ最後ニ御話ニナリマシタ經濟保安課長ノ人選ニ付テノ御話ハ、一ツノ御意見トシテ御尤モノ點ガアルト考ヘマス、將來ニ於キマシテハ、是等ノ點ヲ能ク參考ト致シマシテヤツテ行キタイト存ジテ居リマス

ツタノハ御承知ノ通りデスカラ、ソレハ繰返シマセス、是ハ政治的ノ質問スルノデハアリマセスカラ大臣デナクテモ宜シイノダガ、大政覽會ノ辯士ガドウ云フコトヲ言ツテ歩イテ居ルカ、是ハ私ガ言ハナクテモ本家本元ダカラ御承知ダラウト思フガ、色色ナ人ガ知事カラ任命サレテ居ル、私ハ其ノ任命サレタ人ガ良イトカ惡イトカ申上ゲマセス、良イカラ御任命ニナツタノデセウ、所ガ此ノ任命ヲ受ケタ運動員ト云フカ、常務員ト云フカ、能ク覺エテ居リマセヌガ、兎ニ角是等ノ役員ノ人ガ國內到處ヲ廻ツテ運動ト稱シテ演説シテ歩イテ居ル、アノ演説ハ治安警察法ノ取締ヲ受ケヌカラト云フノデ言ヒタイ放題ニ言ハンテ居ルヤウニ見エル、同時ニサウ云フ人々ガ次ノ代議士府縣會議員、市町村會議員ノ選舉ニ立タウ居ルコトハ、大抵アナタノ方ニ手懸ヘガアツテ承認アルト思フガ、斯ウ云フヤウナ自己ニ有利ナルヤウナ政談演説ヲヤツテ歩イテモ、尙且ツ大政覽會ノ看板デ歩クノナラ構ハヌカ、サウ云フ者ハ治安警察法ノ取締ヲ受ケテ居ラス、ソレハ政事結社デナイカラ構ハヌカドウカ、殊ニ私ハ暫ク村長ヲシテ居ツテ知ツテ居ルカ、其ノ講師ノ連中ニ課長ヲ指圖シテ來ルカ、村ナラヤツテ受ケヌカラ、サウ云フ人々ハ、三人ヤツテ來ル、ソコデ村ノ人ニ忙シイノヲ集メテ聽カスガ、側ニ居ツテ聽イテ居ルト、何ノ必要ガアツテ、是タラウヤウナ仕事ヲ休ンデマデ懸キニ集マラシタラウカ、私自身ニハ分ラナイ、勿論聽イテ居ル者ハテンブンカンシラシテ分ラヌ、何ヲ言ウタラヤラ全ク分ラナイ一ツノ指導理念ヲ以テ講演スルノデハナイ、

役人ノ惡口ヲ言フ者モアレバ、自家廣告ヲナル者モアル、三人ナラ三人ノ講師ノ言フコトハ一ツモ理論ガ一貫シテ居ナイ、アンナコトヲ聽カセテ、ソレデ國民ガ良クナルノダラウカ、ソレカラ內務當局ガ放ツテ置イテ宜イモノダラウカ、昨日平沼內相ハ公事結社トシテノ取締ヲスルト言ハレタガ、コトナカ、私ハ迂遠ニシテ治安警察法ヲ讀ンデ居ラスカラ知ラヌガ、政談演説ヲヤツテモ、大政覽會ノ看板ヲ掛ケテヤルモノナラ自己ガ次ノ選舉ニ出ル爲ノ運動デアツテモ構ハヌカドウカ、ソレヲ參考ノ爲ニ聽イテ見タイノデアリマス

○橋本政府委員 其ノ點ハ昨日豫算總會デ私ハハッキリ申上ゲタノデアリマス、大政覽會ノ集會デヤツテ居ルコトモ、安寧秩序ヲ紊ル場合ニ於テハ治安警察法第十條ノ適用ニ依ツテ取締ルベキモノデアリ、是ハ將來ノ取締方針トシテ左様ニ考ヘテ居ルト云フコトヲ、アノ時アナタハオイデニナラナカッタカモ知レマセヌガ、私ハ明確ニ申上ゲマシタ、只今御話ノヤウナ事柄ガ果シテ安寧秩序ヲ紊ルモノデアラカドウカト云フコトハ、又考ヘナケレバナリマセヌガ、少クとも大政覽會ノ集會ニ於ケル辯論デアツテモ、治安警察法第十條ニ該當スル場合ニ於テハ、之ヲ取締ルコトヲ昨日私ノ口ヨリハッキリ申上ゲマシタ

○森田(福)委員 其ノ點ハモウ一遍申上ゲマス、私ノ申上ゲ方ガ惡クッタノデセウ、私ノ申上ゲルノハ、大政覽會ノ新體制ニ付テノ地方ノ運動デアラト稱シテ、役場ノ手ナドヲ借りテ、人ヲ集メテ、其ノ席上



新體制ノ話ヲスル、新體制ノ何モノデア  
ルカト云フコトハ、總理大臣デサヘモ能ク  
御分リニナツテ居ラス、誰モ是ガ分ツ者  
ハ居ラス管デアアル、ソレガ分ツテ居ルハ  
シテ、何デモナイ人ガ、何デモナイ人ナ  
ドト言ツテ怒ルカモ知レヌガ、地方デハ  
全ク何デモナイ人デアアル、ソレガ地方ノ  
實會支部ノ役員ニ任命セラレカト云ツテ、  
吾々ガ新體制ト認メラレタ、吾々ガ新體制  
ニ取ツテ變ラナケレバナラヌト云フ考ヘテ  
持ツテ、到ル處デ話ヲシテ居ル、今度ハ吾  
吾ガ出ル、大政覽實會ノ方デモ、自分等  
次ニ出ヨト云フコトカラスウ云フ風ニ常任  
委員ニシテ與レタ、ソレデ出来ル限リ是カ  
ラ演説ニ歩クノダト云フコトヲ自分自身講  
演會ノ席上デ言フノデアリマス、吾々ガ取  
ツテ變ルノダ、サウ云フ考ヘテ、下ニ政談演  
説ヲヤリ、自己紹介ヲヤツテ、國ノ行クベ  
キ途ヲ國策トカ云フヤウナコトデナシニ、  
自分ノ信ジテ居ル一ツノ政策ヲ述ベテ、サ  
ウシテ將來ノ選舉ニ備ヘテ行クヤリ方ヲシ  
テ居ル、ソレハハハリ政談演説會ノ肩ヲサ  
セテ取輪ルノガ宜イノチヤナイカ、或ハソ  
レハ政談演説ト認メズニ肩ヲサセテ取輪ラ  
ヌデモ宜イト思ハレルノカ、斯ウ云フ質問  
デス

コトハ一寸眞直ニハ言ヘナイノデハナイカ  
○森田(福)委員 私ハ何モ大政覽實會ヲ結  
社ト見ルカ見ナイカト云フ議論ヲシテ居ル  
ノデハナイ、私ノ言フノハ、從來カラ政黨  
ニ關係ノナイ人間、中立ノ人間デモ政談演  
説ヲスル場合ニハ届出ヲスル、サウシテ警  
察官ガ監視シテ其ノ警察官ノ監督ノ下ニヤ  
ツテ居リマス、所ガ現在サウ云フ政談演説  
ヲスル場合ニ、看板ガ大政覽實會デアアルカ  
ラ其ノ届出ヲセヌデモ宜イ、サウ云フヤウ  
ニ考ヘテ居ルカドウカト云フコトヲ御尋ネ  
シテ居ルノデス

○橋本政府委員 ドウモソレガ大政覽實會  
ノ看板ヲ掲ゲテヤリマシテモ、一個人ガ勝  
手ニト云フト言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、  
話ヲスル場合偶々言ツタコトガ、大政覽  
實會ノ性質カラ言ヘバソノコトハ言フベ  
キデハナイノニ、事實問題トシテ其ノ個  
人ガサウ云フコトヲ演説シタト云フ場合デ  
ナイカト思ヒマスガ、ソレカラ直チニ大政  
覽實會其ノモノガ政事結社ト云フヤウナ

フヤウナ答辯ガアツタ、然ルニ最近炭ガ十  
分手ニ入ラヌカラ、自分ノ山、若クハ親戚  
ニ炭ヲ燒カシテ東京ニ持ツテ來タイト云フ  
モノガ幾多アル、炭ガ手ニ入ラヌコトニ付  
テハ、私ハ此處デオ喋ベリル必要ハナイ  
程アナタノ方デ御承知デナケレバナラヌ、  
所デ其ノ縣デ炭屋ノ店ニアルモノヲ買ツテ  
來ルナラバ、配給ノ關係カラ一點ノ考慮ヲ  
要スルデアラウガ、サウデハナイ、自分ノ  
親戚、自分ノ生レタ家ニ言ウテヤツテ、其  
處デ別ニ炭ヲ燒カシテ持ツテ來ヨウト思  
ツテモ、中々許可ヲセヌ、米亦然リ、ソコデ  
私ハ同ジ國民デアアルナラバ、ドウカ内務當  
局ハ縣「ブロック」ニ對シテ、知事ニ言ツテ斯  
様ナ規則ヲ出サヌヤウニシテ貰ヒタイ、  
内務省トシテハ地方長官ヲ仰ヘル位ノ力ハ  
持ツテ居ナケレバナラヌ、外國ニ持ツテ行  
クト云フノナラバ、ソレハ國ノ輸出入ノ  
取締法ガアルカラ一向差支ヘナイ、何モ問  
題ハナイガ、日本ノ内地デ東京ハ廣島カラ  
持ツテ來ル、消費地ニ生産地カラ持ツテ來  
ルコトニ對シテ、今日ノヤウニ規則ツクメ  
デヤツテ行クト、自分ノ縣ニハ木炭ハ十分  
ダガ米ハ十分アルガ木炭ハナイト云フ所  
縣ニハ米ハ十分アルガ木炭ハナイト云フ所  
モアリマス、其ノ四凸ノ自由ニ調整出來ル  
モノヲ、統制ニ名ヲ藉リテサウセナイ、  
知事ガヤツテ居ルノハ、治安ヲ維持スル上ニ  
於テ、餘所ノ縣ニ米ガ足ラウト足ルマイト、  
炭ガ足ラウト足ルマイト、自分ノ縣ニ問題  
ガ起ラナケレバ宜イト云フ考ヘカラ、アレ  
ヲ出シテ居ル、サウ云フ考ヘテ持ツタズニヤ  
ハリ自分ノ縣ニ餘ツタモノモアリ、又足ラ  
ヌモノモアルノダカラ、アア云フモノハ速

マシタケレドモ、モウ追付カナイ、木炭ノ  
産地デアリナガラ縣民ニ非常ナ不自由ヲ掛  
ケタ經驗ヲ持ツテ居リマス、斯ウ云フ風ニ  
流スケレドモ流シテ貫ヘルト云フ保證ガ付  
ケバ知事ハ喜ンデ流シデアラウト思ヒマス、  
流スコトバカリ強制セラレテモ、入ルコトニ  
對シテ保證ハナイ、而モ入ラナクツテ其  
ノ責任ハ知事ガ負フ以外ニナイト云フコト  
ガ現實ニ起ツテ來マス、精神トシテハハ  
ハリ其ノ縣々デ止メタリナンカシナイノガ  
宜イト思ヒマスケレドモ、今日ノヤウナ妙  
ナ經濟狀態ト申シマスカ、物ノ流レガ平常  
ト違ツテ現象ヲ呈シテ居ル今日、一概ニサ  
ウスルコトガ善イカ惡イカハ、モウ少シ個  
個ノ問題ニ付テ檢討シテ戴キタイト思ヒマ  
ス、若シ現實問題トシテ斯ウ云フ點ガ甚ダ  
困ルト云フコトガアリマスナラバ、ドウノ  
ロツクカ存ジマセヌケレドモ、十分吾々モ  
承リマシテ、個々ノ問題ニ付テ撤廢スベキ  
モノハ撤廢スルヤウニ相談ヲ進メテ行キタ  
イト思ヒマスシ、又理由ヲ聽イテ見テ、ドウ  
シテモ斯ウ云フ風ニヤラナケレバ將來縣民  
ノ生活ノ保障ガ困難ト云フヤウナ場合ガ  
アルナラバ、其ノ困難ヲ除去シテヤラナ  
ケレバ、地方長官トシテハ縣民ヲ預カリ  
シテ居ル以上ハイケンイノデハナイカ、斯  
様ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、私ノ答辯  
ガ不十分デアリマシタナラバ、又更メテ御  
尋ネテ願ヒマス

カニ撤廢サス考ヘハナイカ、サウシテ國內  
ダケハ自由ニ有無相通ジサスベキデハナイ  
カト考ヘルガ、内務當局ハ各縣知事ガサウ  
云フ宜シクナイ規則ヲ出シテ居ルナラバ、  
之ヲ取止メヨト云フ通牒ヲ出ス考ヘハナイ  
カ、ソレハ大臣デナケレバ分ラヌト云フナ  
ラバ別問題デスガ、事務當局トシテハドウ  
御考ヘニナルカ

○森田(福)委員 不十分デハ決シテアリア  
マシ、私ハ撤廢ヲセラレタ方ガ宜イデハナイ  
カト言ヒ、アナタノ御答ハドウモ趣旨トシ  
テハ宜イカモ知レヌガ、現在ハハリ縣々ヲ  
預カツテ居ル地方長官トシテハ、物ガ流レ  
テ行クダケデアツテ、入ツテ來ル保證ガナ  
ルヤウニ食ハシテ、餘レバ供出米ニスル、

○留岡政府委員 「ブロック」會議ヲ主宰シ  
テ居ル關係上私カラ便宜御答ヘテ申上ゲマ  
ス、或ハ其ノ規則ハ警察命令カモ知レマセ  
ヌガ、便宜私カラ御答ヘ致シマス、御尤モ  
ナ御説ニ私モ考ヘマス、併シ又知事ノ立場  
ニ立ツテ見マス、自由ニ流シテ居ツテ果  
シテ縣民ガ必要ナ食糧ヲ出シテ與レルカド  
ウカト云フコトニ、地方長官トシテハ重大  
ナ責任ヲ感スルト思フノデアリマス、自分  
ノ縣サヘ困ラナケレバ他所ノ縣ハドウデモ  
宜イト云フ考ヘデハナイ、他所ノ縣ニヤツ  
タ爲ニ自分ノ縣ガ困ルト云フコトニナレバ  
非常ニ困ルカラ、他所ノ縣モ宜イシ自分ノ  
縣モ宜イト云フコトナラバ知事ガ止メル管  
ハナイト思ヒマス、ソコノ物ノ動キガ非常  
ニムツカシイノダト思ヒマス、制限セズニ  
自由ニ出得ルコトニシテモ、必ズ縣民ノ最  
小限度ノ生活ヲ保障スルコトノ出來ル物資  
ヲ他所カラ流シテ下サル見透シガ付タナラ  
バ、私ハ知事ハヤラナイダラウト思フ、若  
シ自由ニシテ置キマスト大手筋ナドノ買付  
ガアツテ、スツトモノヲ持ツテ行カレルト  
非常ニ困ル、サウ云フ點ヲ懸念スルノデハ  
ナイカト思フ、私ノ乏シイ經驗カラ申シマ  
シテモ、炭ノ如キハ大丈夫ダト思ツテ居タ  
サウシテ氣ノ付イタ時ハモウ物資ハズツト  
流レテ行ツテ居ツタ、ソレカラ慌テヤリ

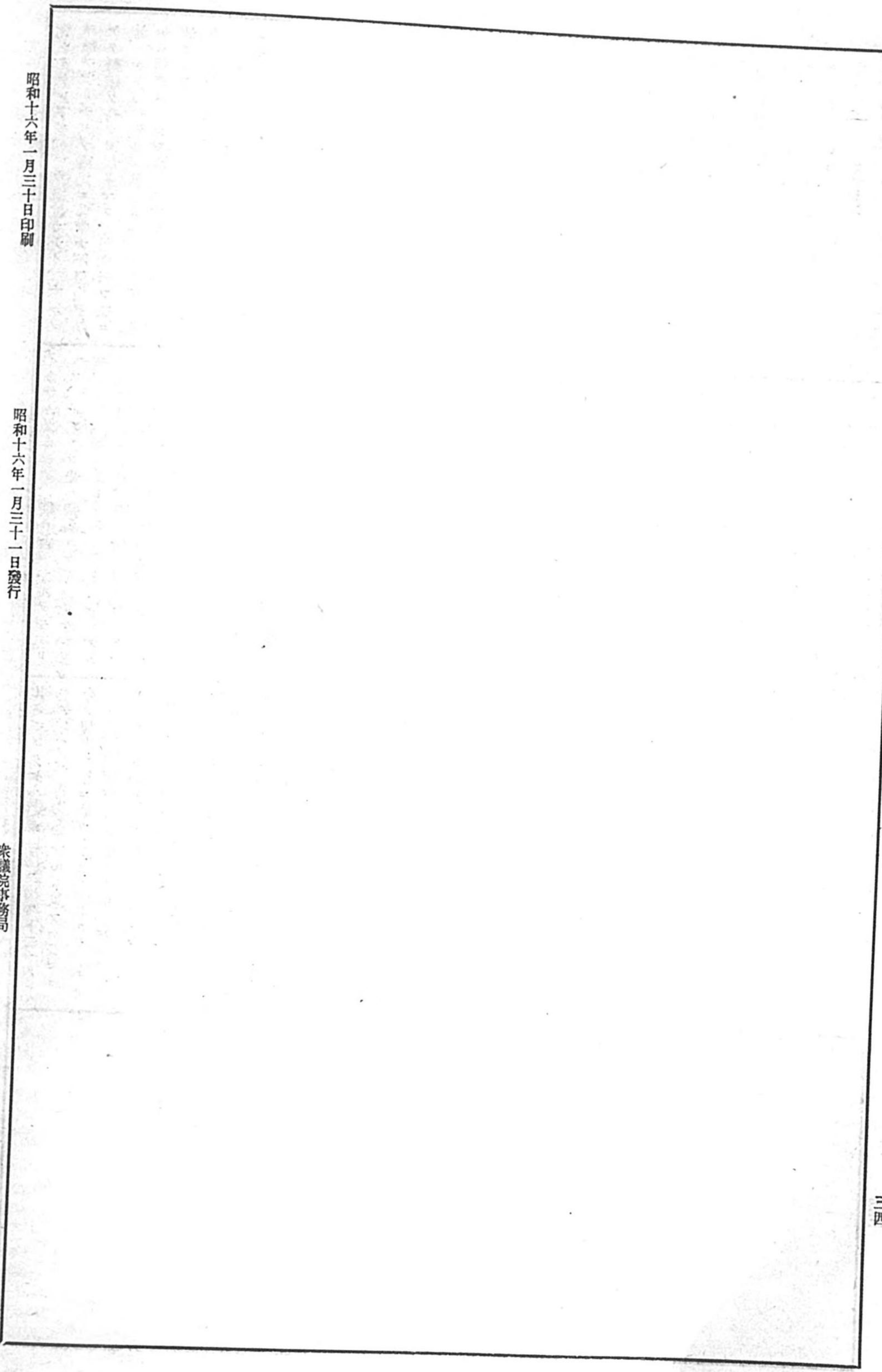
イカラムツカシイ、斯ウ仰シタルノデアリ  
マス、此處カラ先ハ議論ニナリマスケレド  
モ、ソレハ私ハ流レテ出ル代リニ流レテ入  
ルカラ同ジコトダ、現ニ斯ウ云フコトヲヤ  
ラナイ前ハサウ行ツテ居ツタ、ダカラ何モ  
コトヲヤルコトハ要スルニ消費地ヲ苦シメ  
ルダケノコトデアアル、率直ニ申シマスレバ、  
東京トカ大阪トカ云フ消費地ヲ苦シメルダ  
ケノコトデアアツテ、何等益スル所ハナイ、  
サウ云フヤウナコトヲオヤリニナラヌニ、ヤ  
ハリ自由ニ流レテ出テ來テ、又餘レバ還元シ  
テ行クノダカラ差支ヘナイ、個々ニ何カ意  
見ガアレバ話セテ云フコトデアリマシタガ、  
私ガ今主トシテ話シテ居ルノハ米ト炭デス、  
ソレ以外ノモノデマダサウ酷ク干渉ラシテ  
縣ガヤツテ居ルモノハ聞イテ居リマセヌ、  
消費地ノ方ハ小作米サヘ取寄セサセナイ、  
今日ノ狀況ハ東京ニ地主ガ居ツテ、地方ノ  
府縣ニ田地ヲ持ツテ居ツテモ、其ノ規則ガ  
アル爲ニ、一方ノ許可ヲ取ツテモ、知事ノ  
許可ヲ得ラレナイ、農林省ハ宜イト書イテ  
居ル、地主ガ自分ノ家デ食フダケノ米ヲ留  
保シテ、後ハ供出米ニセイト、是ハ譯ノ分  
ツタコトヲ書イテ居ル、農林省ノ方ハ是デ宜  
イ、所ガ縣ノ方ハドウカト云フト、地主ガ  
東京ニ居ルノダカラ送リタイト云フテモ許  
可セヌノデス、農林省ノ規則ノ如何ニ拘ラ  
ズ、自分ノ縣ノ規則ヲ精ニ取ツテ、米一ツ  
出スコトハ出來マセヌ、ソコニ非常ナ無理  
ガアル、地方デ米ヲ賣ツテ、地主ガ金ヲ東  
京ニ持ツテ歸ツテ、東京デ買ツテ食ベレバ  
宜イデセウガ、ソノナコトヲセヌデモ、自  
分ノ田デ作ツタモノハ、農林省ガ決メテ居  
ルヤウニ食ハシテ、餘レバ供出米ニスル、

其ノモノダケハ縣ガ自由ニ出スコト云フヤウ  
ニ私ハ行クベキモノデアルト思フケレドモ、  
今ノ規則ハ撤廢シテ宜イト申上ゲタノデア  
リマス、是ハ重要ナ問題デアアルカラ、別  
是以上即決デアナタ方ノ答辯ヲ取ラウトモ  
何トモ考ヘマセヌガ、深甚ノ考慮ヲ廻ラサ  
レタイ、消費地ニ生産地カラ流レテ來ルヤ  
ウニシヨウト思ヘバ、各府縣ニ「ブロック」ヲ  
立テサセマシテ、今ノヤウナコトヲヤラス  
コトハ恰モ昔ノ藩制ト何等變リガナイコト  
デアツテ、徒ラニ消費地ノ人ヲ苦シメルダ  
ケノコトデアアル、是ハ出來得ルナラバ撤廢  
シ、撤廢出來ヌ事情ガ今言ウタ事以外ニア  
ルナラバ研究シテ、成ベク不便ヲ感ジサセ  
ヌヤウニ此ノ際善處シテ貰ヒタイ、私ハ是  
デ打切りマス

○末松主査 是ニテ内務省關係ノ質問ハ大  
體終了致シマシタ、明日ハ午前十時カラ厚  
生省關係ノ豫算ニ付テ審議ヲ始メマス、今  
日は是ニテ散會致シマス  
午後五時三分散會

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日





昭和十六年一月三十日印刷

昭和十六年一月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第三號)

第七十六回帝國議會 豫算委員第二分科會議錄(速記)第二回

(三三)

會議 昭和十六年一月三十一日(金曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

- 主席 末松備一郎君
- 加藤 綱一君
- 木村 正義君
- 大本貞太郎君
- 前田房之助君
- 井上 良次君
- 高田 毅平君
- 三宅 正一君
- 西尾 末廣君
- 北 時吉君
- 多田 滿長君
- 出府國務大臣左ノ如シ
- 厚生大臣 金光 庸夫君
- 文部大臣 橋田 邦彦君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 文部次官 菊池豐三郎君
- 文部省專門學務局長 永井 浩君
- 文部省普通學務局長 中野 善教君
- 文部省實業學務局長 關口 勳君
- 文部省社會教育局長 瀨藤 彌三君
- 文部省體育局長 小笠原道生君
- 文部省圖書局長 松尾 長造君
- 文部省宗教局長 阿原 謙藏君
- 文部書記官 柴沼 直君
- 教學局長官 藤野 惠君
- 教學局部長 堀池 英一君
- 厚生次官 兒玉 政介君

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

厚生省體力局長 佐々木芳遠君  
 厚生省衛生局長 加藤於菟丸君  
 厚生省豫防局長 高野 六郎君  
 厚生省社會局長 熊谷 憲一君  
 厚生省労働局長 持永 義夫君  
 厚生省職業局長 内藤 寛一君  
 厚生書記官 生悅住求馬君  
 保險院長官 橋本 隆三君  
 保險院副總裁 三島 誠也君  
 保險院總務局長 川村 秀文君  
 保險院簡易保險局長 木村 清司君  
 保險院簡易保險局長 前田 禮君  
 軍事保護院總務局長 櫻井安右衛門君  
 軍事保護院業務局長 櫻井安右衛門君  
 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
 昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中文部省及厚生省所管  
 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス  
 ○末松主席 是ヨリ第二分科會ヲ開會致シマス、大臣ノ御説明ヲ願ヒマス  
 ○金光國務大臣 厚生省所管ノ昭和十六年度豫算要領ヲ御説明申上ゲマス、厚生省所管昭和十六年度一般會計豫算ノ要求額ハ經常部ガ一億七千八百五十二萬圓臨時部ガ七千九百三十九萬三千五百六十一圓、合計一億八千八百九十一萬三千三百一十三圓ニシテ、昭和十五年度豫算ニ比較シマスト、二千七百四十八萬八千四百九十九圓ノ増額トナツテ居リマス、而シテ昭和十六年度豫算中ニ於ケル新規増加額ハ一億三千九百九十九萬七千八百六十七圓デアリマスガ、其ノ大要ニ付キマシテハ、豫算案ニ提出シマシタ當省所管豫算要領ノ初ニ各事項ニ付テソレソレノ説明ヲ附記シテゴザイマスガ、之ヲ大別シテ(一)軍事扶助其ノ他ノ軍人援護ノ事業、(二)國民體力ノ向上ニ關スル事項、(三)國民ノ保健衛生ニ關スル事項、(四)國民生活ノ安定ニ關スル事項、(五)勞務對策ニ關スル事項、(六)五ツノ事項ヲ分ケテ大要ヲ御説明申上ゲマス

先ツ第一ニ軍人援護ニ關スル事項デアリマスガ、事變下ニ於キマシテ最モ必要ナコトハ、軍人ノ遺家族ノ扶助援護、傷病兵ノ保護等デアリマスノデ、軍事扶助法ニ依リマスル扶助ヲ遺憾ノナイヤウニ施行致シマス共ニ、法ノ適用ヲ受ケナイ人々ニ對シテ必要ナル施設ヲ前年ニ引續イテ施行スルコトト致シマシテ、(一)軍事扶助費ノ增加五千七百六十二萬六千四百四十四圓、(二)傷病軍人保護ニ要スル經費二千三百三十七萬三千六百四十圓、(三)軍人援護事業助成等ニ要スル經費千六百五十萬五千六百圓、(四)育英助成ニ要スル經費八十四萬五千六百圓、(五)國立結核療養所新營費ノ追加七十二萬四千圓、(六)軍事保護院ニ要スル經費五十二萬八千六百十六圓、(七)戰死者遺族援護ニ要スル經費百十五萬五千八百圓、(八)軍事援護相談所設置助成ニ要スル經費九十四萬八千三百六十圓ヲ計上致シテ居ルノデアリマス

千三百六十圓ヲ計上致シテ居ルノデアリマス  
 次ニ第二ニ體力向上ニ關スル事項デアリマスガ、國ヲ學ゲテ東亞新秩序建設ニ邁進シテ居リマス我ガ國ト致シマシテハ、國民體力ノ低下ヲ防止シ、其ノ増進ヲ圖リマスコトハ刻下喫緊ノ要務ト認メラレマスノデ、之ニ要スル經費トシテ(一)武備振興ニ要スル經費十一萬五千二百六十四圓、(二)國民體力管理ニ要スル經費三百二十九萬七千四百二十四圓、(三)乳幼児體力向上指導ニ要スル經費八十七萬八千五百九十九圓等ヲ計上致シテ居リマス  
 第三ニ保健衛生ニ關スル事項デアリマスガ、國民ノ健康増進ヲ圖リ、疾病豫防ニ努メマスコトハ事變下ニ於テ極メテ肝要ナル時務デアリマスノデ、結核豫防其ノ他保健衛生ノ施設ニ特ニ力ヲ致スコトトシマシテ(一)結核豫防費補助ノ增加三百四十四萬七千五百三十三圓、(二)都市小兒結核豫防費補助ノ增加六十五萬六千二百五十四圓、(三)結核豫防生活指導獎勵ニ要スル經費十六萬四千四百五十五圓、(四)北陸地方結核豫防特別計畫ニ要スル經費三十五萬三千二百八十三圓、(五)保健所費補助ノ增加六十三萬圓、(六)國民醫療施設ニ要スル經費ノ增加七十五萬七千二百五十五圓、(七)水道費補助ノ增加、七千圓、(八)國民優生法施行ニ要スル經費十四萬七千七百八十九圓、(九)公立癩療養所國營移管ニ要スル經費百九十九萬三千九百八十七圓等ヲ計上致シマシタ  
 又第四ニ國民生活安定ニ關スル事項トシテ(一)醫療保護法施行ニ要スル經費百五十



萬圓、(一)住宅團設立準備ニ要スル經費  
二萬圓、(二)貸家組合施行ニ要スル經費  
十三萬七千九百八十圓、(四)土地家屋賃  
事情其ノ他調査ニ要スル經費十九萬六千九  
百九十一圓、(五)國民健康保險ニ關スル經  
費ノ增加百九十五萬五千七百一十一圓等ヲ計上  
致シマシク

最後ニ五、勞務對策ニ關スル事項ト致シ  
マシテ生産力ノ擴充等ヲ圖リマス爲ニ(一)  
臨時勞務對策ニ關スル經費二百六十四萬二  
千四百五十五圓、(二)勞働手帳制度創設ニ  
要スル經費百一萬三千七百七十六圓、(三)賃  
金統制ニ要スル經費二十三萬二千五百五十八  
圓、(四)國民登錄ニ要スル經費百四萬五千  
十七圓、(五)技能者養成ニ要スル經費二百  
十八萬二千四百五圓、(六)青少年雇傭規則  
ニ要スル經費五十萬二千六百二十圓等ヲ計  
上シテ居リマス

以上厚生省所管昭和十六年度一般會計豫  
算ノ大要ヲ御説明申上テ次第デゴザイマ  
ス  
尙ホ厚生省所管ノ特別會計ニ付テ申上テ  
マシレバ、健康保險特別會計ニ於ケル來年  
度豫定額ハ歲入歳出トモ七千三百三十三萬五  
千四百三十二圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫  
定額ニ比較シマスルト、歲入歳出トモ千四  
百八十八萬八千三百三圓増加シテ居リマス、  
又職員健康保險特別會計ニ於ケル來年度豫  
定額ハ歲入歳出トモ八百四十一萬八千七百  
十五圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫定額ニ比  
較シマスルト歲入歳出トモ二百二十二萬四  
千九百十四圓増加シテ居リマス、又船員  
保險特別會計ニ於ケル來年度豫定額ハ歲入  
九百三十七萬七千八百六圓、歳出二百十六  
萬四千四百九十圓、差引歳入超過七百二十

萬圓、(一)住宅團設立準備ニ要スル經費  
二萬圓、(二)貸家組合施行ニ要スル經費  
十三萬七千九百八十圓、(四)土地家屋賃  
事情其ノ他調査ニ要スル經費十九萬六千九  
百九十一圓、(五)國民健康保險ニ關スル經  
費ノ增加百九十五萬五千七百一十一圓等ヲ計上  
致シマシク

一萬三千三百十六圓デアリマシテ、之ヲ本  
年度豫定額ニ比較シマスルト、歲入ニ於テ  
二百八十六萬三千五百八圓、歳出ニ於テ七  
十七萬七千八百五十九圓、歳入超過ニ於テ  
二百八十八萬五千六百四十九圓増加シテ居リ  
マス、又勞働者災害扶助責任保險特別會計  
ニ於ケル來年度豫定額ハ、歲入歳出トモ七  
百八十九萬六千六百七十圓デアリマシテ、  
之ヲ本年度豫定額ニ比較シマスルト歲入歳  
出トモ百九十二萬八千九百九圓増加シテ居リ  
マス、又簡易生命保險特別會計ニ於ケル來  
年度豫定額ハ、歲入歳出トモ八萬五千九百二  
百九圓、歳出三萬五千五百四十七圓、  
差引歳入超過五萬四千四百四十二圓、  
九圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫定額ニ比  
較シマスルト、歲入ニ於テ一億二千三百四  
十一萬九千九百九十九圓、歳出ニ於テ六千六百  
六十七萬九千六百八十五圓、歳入超過ニ於  
テ五千六百七十三萬九千四百三十四圓増加  
シテ居リマス、又郵便年金特別會計ニ於  
ケル來年度豫定額ハ、歲入歳出トモ八千八百三  
千八百三十二圓、差引歳入超過六千四百五十三  
千五百五十四圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫  
定額ニ比較シマスルト、歲入ニ於テ四千四百  
九萬四千一圓、歳出ニ於テ六千二百二十八  
萬五千二百四圓、歳入超過ニ於テ三千五百十六  
萬八千八百九十九圓増加シテ居リマス、是等  
ニ付テハ詳細イ説明ハ省略致シマス  
以上厚生省所管昭和十六年度一般會計及  
ビ特別會計ノ豫算ノ概要ヲ申上テテゴ  
ザイマス、何卒御審議ノ上御協賛アラシ  
コトヲ希望致ス次第デゴザイマス  
○末松重吉 一寸申上テマスガ、本日モ實  
問ノ通告者ガ非常ニ多數ニ上ツテ居ルノデ

アリマスガ、後ニ文部省所管ノ質問應答ヲ  
續イテナリタイト思ヒマスカラ、成ベク三  
時間程度ヲ厚生省ノ關係ヲ終リタイト思ヒ  
マス、隨テドウカ皆サ十分ニ御注意下サ  
イマシテ、簡潔ニ要領ヲ御質問ヲ願ヒ  
マス、政府ニ於テモ其ノ點十分ニ御注意ヲ  
願ヒマス——多田滿長君  
○多田委員 簡潔ニ三伺ツテ見タイト  
思ヒマス、高度國防國家ノ建設ノ一翼ヲ成  
シテ居リマスノ資源ノ確保ノ問題デアリ  
マス、新聞ヲ拜見シマス、今日二十一日  
カノ閣議ト思ヒマスガ、人口問題ニ付テ政  
府ハ積極的ノ方策ヲ講ズルト云フコトガ見  
エテ居リマス、是ハ勿論其ノ一ツノ方法ダ  
ト思ヒマスガ、更ニ消極的ニモ人の資源確  
保ノコトヲ研究シナケレバナラズト思ヒマ  
ス、是等ノ問題ヲ通ジテ今日ニ於ケル人の  
資源確保ニ關スル大體ノ方針ヲ大臣カラ承  
ツテ見タイト思ヒマス  
○金光國大 多田君ノ御質問ニ御答  
申上テマス、人の資源確保ノ必要ナルコト  
ハ今更申上テラマシテモナイト思フ次第デア  
リマス、從前カラ厚生省內ニ人口問題研究  
所ヲ設ケマシテ、専ラ是ガ研究ニ當ツテ居  
ルノデアリマス、ソレカラ人口問題ニ關ス  
ル委員會ヲ先般開キマシテ答申ヲ得マシタ  
ノデ、其ノ答申ニ基キマシテ色々研鑽致シ  
マシタ結果、一ツノ成果ヲ得マシタノデ、  
企業院トモ協議ノ上只今御話ニナリマシタ  
ヤウニ閣議ノ決定ヲ見ルニ至リマシタ譯デ  
アリマス、斯クテ漸ク其ノ基本的ノ對策ガ  
決マツタノミデアリマシテ、マダ實施ノ具  
體案ヲ決定致シテ居ル譯デモゴザイマセ  
ス、一般的ノ行政機構ノ編成替ト關聯シテ、  
厚生省內ニ人口局ヲ設ケ、専ラ人口對策ヲ

實施スルコトニ致シタイト思ヒマシテ、只  
今考究中デゴザイマス、差當リト致シマシ  
テハ本年度ハ研究調査ニ關スル經費、其ノ  
他僅カバカリノ對策ヲ實施致シタイト存ジ  
マスガ、綜合的ニ研究調査ヲ要スル必要ガ  
アリマスノデ、是カラ一般的ノ具體的對策  
ヲ練ルコトニナツテ居リマスガ、本年度ノ  
豫算計上ハ遺憾ナカラ間ニ合フマイト存ジ  
マス、只今考ヘテ居リマス對策ノ詳細ニ付  
キマシテハ、次官ヨリ御説明致スコトニシ  
タイト思ヒマス、ドウソ左様御承知ヲ願ヒ  
マス  
○兒五政府委員 人の資源ノ確保ノ爲ニ今  
後研究ヲ進メテ行ク點ハ、只今大臣カラ御  
答ヘニナツク通りデアリマシテ、大體政府  
ニ於テ先般大綱ヲ決定致シテ居リマス、  
又只今御話ノ如ク人口問題研究所ヲ設置セ  
ラレ、更ニ厚生科學研究所ト云フモノガ設  
ケラレマシテ、人文科學的、又自然科學的  
ノ調査研究ヲ遂ゲマシテ、詳細ノ事業計畫  
ヲ決定致シタイト考ヘテ居リマスガ、只今  
ノ所私共ノ手許ニ於テ實行ニ移サレツツア  
ル方策ト致シマシテハ、之ヲ大別シテ申シ  
マスレバ、量ヲ増強スル問題ト、質ヲ増強  
スル問題トニツガアルノデアリマスガ、量  
ノ増強ト申シマスレバ、出生率ヲ増加スル  
コトト、死亡率ヲ低下スルコト、此ノ二ツ  
ニ大別スルコトガ出來ルカト思フノデアリ  
マス、出生率ノ増加ト云フコトニ付キマシ  
テハ、全般的ニ國民體力ノ向上ヲ期スル  
又女子ノ保健衛生、殊ニ勞働婦人ニ付テ  
各種ノ施設ヲ講ジテ居ル譯デアリマスガ、  
何ト申シテモ結婚年齡ヲ成ベク低下サセ  
ル、言ヒ換ヘレバ早ク結婚ヲサセルコトガ必要  
デアルト思フノデアリマスガ、之ヲ講ジマ

スニハ各般ノ生活安定ノ方策ヲ講ジナケレ  
バナラズデアリマシテ、相當廣汎ノ施設  
ヲ講ジナケレバナラズメスノデ、今後ノ研  
究ニ關リタイノデアリマスガ、或ハ醫療  
普及デアルトカ、或ハ優生法ノ施行デア  
ルコトカ、或ハ社會保險制度ノ擴充デア  
ルコトカ、或ハ既ニ現在行ヒツツアル  
所デアリマシテ、斯様ナ施設ガ徹底スル  
トニ依リマシテ、一面ニ於テハ出生率ノ増  
加ヲ圖ル積リデアリマスガ、死亡率ノ低  
下ヲ圖ルト云フ上ニ於キマシテハ、是ガ又只  
今申上テマシタ醫療ノ普及ト云フコトモ其  
ノ根本的ノ對策ノ一ツデアラウト思ヒマス  
ガ、特ニ日本ノ國民ノ死亡ノ原因ノ最モ大  
キナ部分ヲ占メテ居リマス結核ノ對策ヲ講  
ズル、或ハ傳染病ノ豫防ノ方策ヲ講ズル、  
或ハ又日本ニ於キマシテハ、特ニ乳幼児ノ  
死亡率ガ、世界ノ各國ニ比較致シマシテ、  
最モ多イト云フヤウナ見地カラ致シマシテ、  
乳幼児ノ保護對策ヲ講ズルト云フヤウナコ  
ト、或ハ昨年ノ議會ニ於テ御決議ヲ戴キマ  
シタ優生法ノ中ニモ、濫ニ避妊ノ處置ヲ講  
ズルコトガ出來ナイト云フヤウナ規定モ設  
ケマシテ、専ラ死亡率ノ低下ノ出生率ノ増  
加ヲ圖ル積リデアリマスガ、更ニ質ノ  
向上ヲ期サナケレバ人的資源ノ確保ハ期シ  
得ラレナイノデアリマシテ、此ノ見地カラ致  
シマスレバ、醫療ノ方面、或ハ營養、保育  
ノ方面、或ハ環境衛生ノ改善、或ハ體力ノ  
訓練、鍊磨ト云フヤウナ各種ノ問題ガアル  
ト思フノデアリマス、其ノ爲ニ現在體  
力管理制度ガ本年度カラ實施セラレテ居  
リ、乳幼児保護ノ施設モ、兩三年此ノ方ハ相當  
ナ規模ニ行ハレテ居リ、或ハ又國民營養ノ  
方面ニ於キマシテモ、營養研究所ニ於ケル

研究、更ニ之ヲ國民ノ一般ニ廣ク普及サセ  
ル爲ニ、從來モ色々ノ宣傳、普及ノ方策ヲ  
講ジテ居リマスガ、本年度ノ豫算ニ於キマ  
シテハ、一層之ヲ國民ニ浸透セシメル爲ニ、  
各府縣ニ其ノ機構ヲ整備致スコト云フヤウナ  
コトモ行ツテ居リマス、或ハ又乳幼児保育  
ノ施設ニ付テモ、相當ノ經費ヲ計上シテ居  
ルノデアリマスガ、更ニ環境衛生ノ方面ニ  
於キマシテモ、從來行ハレテ居リマス施設  
ノ外ニ、住宅ノ改善或ハ勞務ノ管理、各般  
ノ施設ヲ講ジマシテ、人的資源ノ積極的  
ニ消極的ノ確保ヲ圖リタイ、斯様ニ考ヘテ  
居ルノデアリマスガ、更ニ人口政策要綱  
中ニ掲ゲラレテアリマス結婚費ノ貸付、或  
ハ租稅ノ減免、或ハ家族手当制度ト云フヤ  
ウナコトモ、將來十分ニ研究ヲ致シテ見  
イ、斯様ニ考ヘテ居リマス、大綱ヲ申上  
テマス  
○多田委員 此ノ問題ハ戰時下ニ於ケル物  
的資源確保ノ事柄ト相混ミマシテ非常ニ重  
要ナ問題デアリマス、只今大體ノ御説明ヲ  
伺ヒマシタガマダ相當ニ研究シ、施設  
化シナケレバナラズモノアルト云フ御話  
モアリマシタガ、一ツ早急ニ御速ビテ願  
ヒタイト思ヒマス、只今御話ノ中ニ人口増殖  
ノ問題ガアリマシタガ、此ノ人口増殖ハ  
凡ソドノ位ノ人數ヲ標準トシテ御考ヘニナ  
ツテ居ラレマスガ、或ハ凡ソ何年間ニド  
位ヲ確保シテ行ク積リデアルト云フヤウナ  
計畫ガアリマシタラバ、御伺ヒ致シタイ  
ト思ヒマス  
○兒五政府委員 先般決定ニ相成リマシタ  
人口政策要綱ノ目標ト致シマシテハ、昭和  
三十五年ニ内地人ノ人口ヲ一億ニ致シタイ  
ト云フ目標ヲ以テ施設ヲ講ズルコトニ致シ

テ居リマス  
○多田委員 ソコデ私ハ、消極的方面ノ事柄  
デアリマスガ、只今次官ノ御答ヘテハ死亡  
率ノ一番多イ結核、此ノ事柄ヲ伺ツテ見  
イト思ヒマス、私ノ調べニ依リマス、結  
核患者ハ昭和七年以來非常ニ増加デアリ  
マス、一昨年ノ死亡者數ヲ見マス十五萬五  
千人、全ク未曾有ノ多數ヲ示シテ居ルノ  
デアリマシテ、之ヲ患者ニ付テ見マス  
固ヨリ醫師ノ死亡診斷書ヲ基礎トシテ居  
ルノデアリマスカラ正確トハ申サレマセ  
ケレドモ、百五十萬ニ達シテ居ララウ  
ト思フ、更ニ之ヲ推算シテ見マス、二百  
萬人位ニナツテ居ララウト云フヤウニモ  
思ハレラレデアリマス、而モ患者ノ大部分  
ハ青年層或ハ壯年層ノ階級ニ屬シテ居  
ルノデアリマシテ、是ハ現下最モ必要ト致シ  
テ居リマス兵力ノ問題、或ハ勞働力ノ問題ニ  
モ重要ナル關係ヲ持ツテ居リマシテ、國家  
トシテ見マスレバ大損失デアリマス、高度  
國防國家ノ建設ノ上ニ非常ナル障礙ヲ來  
スモノト見ナケレバナリマセヌ、是ガ對策ハ  
現下ノ急務デアリマシテ、只今大臣ノ説明  
ノ中ニモ或ル程度ノ豫算ハ計上シテアルヤ  
ウニ伺ヒマシタケレドモ、結核對策ニ付テ  
現在執ツテ居ラレ方針、或ハ又將來執  
ラントス對策ナドニ付テ御説明ヲ願ヒ  
イト思ヒマス  
○兒五政府委員 我方國ニ於ケル結核ノ甚  
延狀況、死亡者ノ激増スル狀況ハ只今御述  
ベニナリマシタ通りデアリマシテ、洵ニ憂慮  
ニ堪ヘザル次第デアリマス、其ノ對策トシ  
テ執ラレテ居リマス方策、又執ルベキ方策  
ハ色々アルト思ヒマスガ、大綱トシテ申上  
テラレバ、先ツ第一ハ療養施設ノ擴充ト云フ

點デアラウカト思フノデアリマス、只今御  
述ベノ如ク百數十萬ノ結核患者ガ居ルノ  
ニ對シマシテ、結核病床ノ數ガドレ程アルカト申  
シマスルト、公立或ハ公益法人、或ハ私人ノ建  
テ居リマス療養所ノ病床ヲ合計致シマシテ、  
約三萬少シ出タ位ノ所カト考ヘマスガ、大  
體結核ノ病床ノ數ハ結核ニ依ツテ死亡スル  
者ノ數位ハ少クモナケレバナラズト言ハ  
レテ居ルノデアリマス、左様ニ致シマスレバ只  
今御示シノ數ヲ基礎トスレバ十五六萬ノモ  
ノガナケレバナラズ譯デアリマスガ、ソレニ對  
シテ從來三萬餘リノモノシカナイト云フヤ  
ウナ状態デアリマス、政府ニ於キマシテハ急  
速ニ病床ヲ擴充致シタイト云フコトヲ考  
ヘテ居ルノデアリマス、私共ノ希望スル所  
ハ之ヲ數年間ニ急速ニ實現致シタイ、斯様  
ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、昨年度ハ厚  
生省ノ豫算計上致シマシタ病床數ガ四  
千數百床ヲ増設致シタノデアリマスガ、本  
年度ノ豫算ニ載ツテ居リマスル所ヲ合計致  
シマス、八千餘床近イモノニナツテ居  
ル譯デアリマス、斯様ニ致シマシテ、病床數  
ヲ増加スルコト云フコトガ其ノ一點、第二ハ、  
病氣ニナル前ニ早期ニ發見ヲシテ、指導ヲ  
加ヘルト云フ點カラ致シマシテ、相談指導  
ノ設備ヲ擴充スルコト云フコトデアリマスガ、  
此ノ方面ニ於キマシテハ、昭和十二年以來  
保健所ト云フモノヲ各地方ニ設ケルコトニ  
ナツテ居リマス、現在ハマダ百餘リデアリ  
マスガ、將來計畫トシテハ五百五十ノ本所  
ト、約一千ノ支所ヲ設ケルコト云フ計畫ヲ持  
ツテ居ルノデアリマスガ、財政ノ都合上中  
中進行致サヌコトハ甚ダ遺憾ニ思ツテ居  
リマスガ、來年度ハ此ノ點ハ從來ヨリモ餘程



多數ノ保健所ヲ増設スル計畫ヲ致シテ居リマス、尙ホ其ノ外ニ放送協會カラ「ラヂオ」ノ聴取料一箇月分ヲ政府ニ納付致シマシテ、結核相談所ノ施設ニ充テテ居ルノデアリマスガ、是ガ百數十箇所ニ上ツテ居リマス、其ノ外ハ保健婦デアルトカ、其ノ他保健指導ノ末端的ノ施設ニ付テ或ル程度ノ施設ヲ來年度ノ豫算ニ計上致シテ居リマス

尙ホモウ一寸申上ゲマスガ、或ハ第一ニ申上ゲタカト思ヒマスガ、都會ニ於キ適當デアツタカト思ヒマスガ、都會ニ於キマシテハ、小兒ノ結核ト云フモノガ非常ニ多ク、小兒ノ結核ニ依ツテ死亡スル者ガアルト云フヤウナ状態デアリマス、此ノ方面ニ對シマシテハ、小兒結核ノ相談施設ヲ特ニ六大都市ニ設ケテ居リマス外、都會ニハ早期ノ小兒結核ノ保護所ヲ昨年度一千五百箇所、來年度一千五百箇所ヲ増設スルコトニ相成ツテ居リマス

次ニ農村ノ方面ニ於ケル結核豫防生活ノ指導デアリマスガ、兵力或ハ勞働力ノ源泉トモ言フベキ農村方面ニ近來非常ニ結核ガ蔓延ヲ致スト云フコトハ、甚ダ懸念ニ堪ヘザル次第デアリマス、此ノ方面ニ注意ヲスル必要ガアルト思フノデアリマスガ、農村カラ都會ニ出稼ギヲ致ス、或ハ工場ノ勞働ニ從事スルト云フヤウナ者ガ、歸郷致シマシテ、都會ニ於テ感染シタ結核ヲ農村ニ蔓延サセルト云フヤウナコトガ大キナ原因ヲ成シテ居ルト考ヘラレマス、斯様ナ都會カラ、歸郷致シタ者ニ對シテ結核豫防ノ相談ナリ指導ヲ加ヘルト云フ必要ヲ感ジマシテ、昨年度カラ此ノ方面ニ相當ノ施設ヲ行ヒツツアルノデアリマシテ、成績ノ

相當見ルベキモノガアルヤウニ存ジテ居リマス、引續イテ今後モ行ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ一般國民ニ對スル結核豫防思想ノ普及ヲ圖ルト云フ意味ニ於キマシテ、政府ニ於テモ努力ヲ致シテ居リマス、御承知ノ 皇后陛下ノ御下賜金ニ依リマシテ出來マシタ結核豫防會ニ於キマシテモ、專ラ此ノ方面ニ努力ヲ致スト云フコトニ相成ツテ居リマス、關係者ヲ相謀リマシテ今後一層ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○多田委員 時間ガアリマセスカラ簡單ニ簡條書ニ御尋ネ致シマス、只今ノ次官ノ御説明ノ十萬床計畫、更ニ進ンデハ今日ノ患者ト稍、同數ノ十五萬床計畫ト云フコトハ、是ハ洵ニ結構ト思フノデス、御説明デハ八百床位來年度作ルト云フ御考ヘノヤウデアリマス、是モ成ベク早キヤウテ載カスト困ル、十萬床計畫ヲ大體數年ト云フ御話デアリマスガ、私共ノ考ヘデハ斯ウ云フコトハウソク豫算ヲ取ツテ、二年カ三年デ、少クトモ三年位デ以テ片付ケルト云フ位ノ計畫ヲ立テテ欲シノデス、是ハ私ノ希望デアリマス、一ツ特ニ御考慮ヲ願ヒタイ、ソレカラ只今農村ノ結核豫防ノ問題ニ付テ御説明ガアリマシタガ、洵ニ近來ノ農村ハ都會地カラ結核患者ガ盛ニ流レ込ミテ感千萬デアル、ソレガ農村ニ對シテ徹頭徹尾散ラシ、農村ニ結核患者ヲ多カラシムルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、而モ御話ノ如ク兵力ノ上ニ付テ極メテ大ナル影響ヲ來スノデアリマス、是ハ一ツ中央ノ工場或ハ商工業者ニ對スル所ノ結核ニ關スル福利施設ト云フヤウナモノデモ十分計畫ヲ立テラレテ、農村

ニ流レ込ム此ノ結核患者ヲ防止スルヤウニ願ヒタイノデアリマス、此ノ點ニ付テ現在出來テ居ル施設ガアリマス、簡單デ宜シウゴザイマスカラ承ツテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ只今健康相談施設ノ御話ガアリマシタガ、是モ洵ニ結構デアリマシテ、「ラヂオ」ノ納付金カラスルモノ、或ハ保健所ノ作ルト云フ御話モアリマシタガ、私ノ見ル所デハ、是ガ少シ重複シテ居ルデハナカラウカ、「ラヂオ」ノ納付金ニ依ツテ健康相談所ノ施設スル或ハ保健所ヲ作ツテ、勞務者ヲ除ク一般患者ノ結核ニ付テ相談スル、或ハ又健康保險ノ方面カラ健康相談スル、勿論是ハ被保險者ヲ對象ト致スノデアリマセウガ、サウシタ施設モアル、更ニ又簡易保險ノ方面カラ見タ健康相談ト云フヤウナモノモアル、マア四通リアルヤウニ思ヘル、此ノ四通リノモノガツレム、土地ニ指重複シテ居ル所ガ全國デ五箇所アリマス、三種類重複シテ居ル所ガ五十二箇所、二ツ重複シテ居ル所ガ八十箇所アルノデアリマシテ、是等ハ一ツ厚生省或ハ其ノ他ノ官廳ニ於テ連絡ヲ取ツテ、成ベク重複ヲシナイヤウニシテ相談ニ應ズルト云フコトニナリマス、經費モ少ク行キマセウシ、或ハ事務ノ簡捷ヲ圖ルコトモ出來ヨウト思ヒマスガ、之ニ付テ當局デハドウ御考ヘニナツテ居ラレマス、伺ツテ置キタイト思ヒマス

○末松主査 成ベク簡單ニ御説明願ヒマス

○兒玉政府委員 工場結核ノ豫防施設ヲ致シマシテハ、採用ノ當初ニ於テ健康診斷ヲ行フト云フヤウナ施設並ニ大キナ施設ヲ致シ

マシテハ、健康保險ノ施設ニ於キマシテ工場労働者ノ檢診ヲ大規模ニ行フト云フコトヲ考ヘテ、來年度ノ豫算ニ計上致シテ居リマス、保健所並ニ「ラヂオ」ノ納付金ニ依ル相談所、健康保險ノ相談所、簡易保險ノ相談所ガ重複シテ居ルト云フ點ニ付キマシテハ、御話ノ如キ傾向ガアルト存ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ努力メテ關係者ガ協議致シマシテ重複ヲ避ケル、サウシテ能率ヲ擧ゲルト云フコトニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、既ニ保險院内部ニ於キマシテハ、簡易保險、健康保險、ソレ等ノ相談所ノ相互ノ連絡活用ト云フコトニ付テ考究ヲ重ネテ居ルヤウナ次第デアリマス

ハ現在ノ狀況ヲ以テ致シマスレバ、各方面全力ヲ擧ゲテ進ンデ行クト云フコトガ宜イノデアリマス、尙ホ御意見ノ點ハ併セテ再檢討ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、從來ニ於ケル各局ノ結核行政ト云フモノガ重複シ區々ニ互ル處ガアル、此ノ連絡ヲ圖ル必要ガアルデハナイカト云フ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマス、豫算ノ編成或ハ施設ヲ講ズル上ニ於キマシテ、從來ニ於キマシテモ相當ノ點ニ付キマシテハ協議ヲ重ネマシテ施設ヲ講ジテ居ル積リデアリマスガ、今後結核行政ガ一層擴充セラレムニ伴ヒマシテ、此ノ點ニ付テハ十分ノ注意ヲ圖リタイト思ヒマス、極ク簡單ニモウ一言附加ヘテ置キマス、結核ノ治療ト云フコトニ對シテ病床ヲ設ケテヤウシテ居ラレルトハ洵ニ結構デアリマスガ、私ハ之ヲ唯單ニ醫者ノ方面ノミニ任セナイデ、モウ少シ精神ノ方面ノ治療ヲサレタラドウカト考ヘ、今現在各病床、病院アタリハドウ云フ施設ヲ採ツテ居ラレカ分リマセウガ、私ノ考ヘ方ト致シマシテハ、一週ニ一回カ月ニ二回ト云フヤウナ風ニ患者ニ對シテ精神修養或ハ精神方面カラ病氣ヲ治サセル意味合ニ於ケル訓話或ハ講演ト云フモノヲヤラレル必要ガアルト思ヒマス、唯單ニ醫學ガ任シテ置クト云フコトデアツテハ是ハ遺憾ナセス、殊ニ若イ青年ガ多イノデアリマス、是等ニモウ少シ心身ノ修養ニナル方面ノコトヲ注入シテ、醫學的治療ト相俟ツテ其ノ治療ヲ圖ルト云フコトガ最も必要ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウシタ方面ニ對スル施設ヲヤウシテ居ラレルトデアリマス、或ハ又將來ス

○多田委員 健康相談ノ施設重複ニ付テ當局ニ於テハ、既ニ御氣付ニナラレテ調査研究或ハ實行ニ移ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、洵ニ結構ナコトデアリマス、ソコデ私ハ最後ニ結核行政ニ對シテハ、再檢討デアリマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ伺ツテ見タイノデゴザイマスガ、ソレハ現在豫防事業ニ付テハ府縣ニ國庫カラ補助ヲシテ居ル、斯ウ云フコトデ大體各療養所ナドモ造ツタリナドシテ居リマス、是ハ一ツ國立デヤツトラドウダラウカ、國家デ經營スルト云フコトニシナケレバ、只今次官カラ御話ガアリマシタケレドモ、中々地方ヘ對シテ補助ヲスル位ノ程度デハ本當ニ進行シナイト思ヒマス、此ノ根本ノ觀念ニ付テ當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイ

ソレカラ今一ツハ機構ノ整備ノ問題デアリマス、ト申シマス、ハ厚生省デハ豫防局、是ハ工場労働者ヲ除ク一般國民ヲ對象ト

シテヤツテ居ル、ソレカラ體力局、此處デハ體力管理ノ被管理者ヲ對象ト致シテ居ル、労働局、是ハ勞務者ヲ對象ト致シテ居ル、保險院ノ方デハ健康保險及ビ簡易保險ノ被保險者ヲ對象ト致シテ居ル、衛生局ノ方ハドウデアアルカト云フト、健康相談施設デアル保健所ヲ對象ト致シテ居ルト云フヤウナ有様デ、各局ニ結核行政ト云フモノガ分散シテ居ルノデアリマス、其ノ分散ヲシテ行政ニ力ヲ注グ、是等ノ點ニ付テモ低下シテ來ル、一貫セル所ノ企畫ト云フモノモ十分出來スト云フ處レガ可ナリアルト思ヒマス、私ハ斯ウシタ各局ニ分散ヲ致シテ居リマスモノ、之ヲ一ツニ纏メテ行ク、ソレデ結核行政ノ一貫ヲ圖ルト云フヤウナ方針ニ出デラレマシタナラバ、更ニ今後此ノ方面ニ對シテノ進展ト申シマス、發展ノ上ニ非常ナル影響ヲ來スデハナカラウカト思ヒマス、敢テ斯ウ云フ質問ヲ致スノデアリマスガ、當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

ハ現在ノ狀況ヲ以テ致シマスレバ、各方面全力ヲ擧ゲテ進ンデ行クト云フコトガ宜イノデアリマス、尙ホ御意見ノ點ハ併セテ再檢討ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、從來ニ於ケル各局ノ結核行政ト云フモノガ重複シ區々ニ互ル處ガアル、此ノ連絡ヲ圖ル必要ガアルデハナイカト云フ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマス、豫算ノ編成或ハ施設ヲ講ズル上ニ於キマシテ、從來ニ於キマシテモ相當ノ點ニ付キマシテハ協議ヲ重ネマシテ施設ヲ講ジテ居ル積リデアリマスガ、今後結核行政ガ一層擴充セラレムニ伴ヒマシテ、此ノ點ニ付テハ十分ノ注意ヲ圖リタイト思ヒマス、極ク簡單ニモウ一言附加ヘテ置キマス、結核ノ治療ト云フコトニ對シテ病床ヲ設ケテヤウシテ居ラレルトハ洵ニ結構デアリマスガ、私ハ之ヲ唯單ニ醫者ノ方面ノミニ任セナイデ、モウ少シ精神ノ方面ノ治療ヲサレタラドウカト考ヘ、今現在各病床、病院アタリハドウ云フ施設ヲ採ツテ居ラレカ分リマセウガ、私ノ考ヘ方ト致シマシテハ、一週ニ一回カ月ニ二回ト云フヤウナ風ニ患者ニ對シテ精神修養或ハ精神方面カラ病氣ヲ治サセル意味合ニ於ケル訓話或ハ講演ト云フモノヲヤラレル必要ガアルト思ヒマス、唯單ニ醫學ガ任シテ置クト云フコトデアツテハ是ハ遺憾ナセス、殊ニ若イ青年ガ多イノデアリマス、是等ニモウ少シ心身ノ修養ニナル方面ノコトヲ注入シテ、醫學的治療ト相俟ツテ其ノ治療ヲ圖ルト云フコトガ最も必要ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウシタ方面ニ對スル施設ヲヤウシテ居ラレルトデアリマス、或ハ又將來ス

ウ云フコトニ對シテ御考ヘニナラレカドウカト云フコトヲ最後ノ一言トシテ私ハ打ち切リマス

○兒玉政府委員 疾病術ト云フヤウナコトヲ申サレテ居ル著書等モゴザイマス、結核治療ニ於テハ格別病氣ト關マスト云フコトガ非常ニ大切デアラウカト考ヘルノデアリマシテ、御意見ハ洵ニ御尤モトコト存ズルノデアリマス、療養所ト申シマシテモ私人ノ療養所或ハ法人ノヤツテ居ル療養所等モアリマス、一概ニ此ノ施設ヲ實行行政ト云フコトハ相當難カシイ點モアルカト思ヒマス、醫者自身ガ既ニサウ云フ意味ヲ以テ患者ニ相當ニ注意ヲ與ヘテ居ルコトモ存ジマスガ、特ニ厚生省ニ於テ最モ難ツタ施設トシテ行ツテ居リマス、傷痍軍人ノ結核療養所ニ於キマシテハ、只今御示シノ點ニ非常ナル注意ヲ拂ヒマシテ、絶エズサウ云フ意味合ノ講話等ヲ行ヒマシテ治療ノ完全ヲ期シテ居ル次第デアリマス、尙ホ將來ニ於キマシテモ御示シノ點ニ付キマシテ十分注意ヲ致シタイト考ヘマス

ラスト云フ考ヘニ、政府ノ考ヘ方ガ發展ヲ示シテ居ルコトニ付テ吾々非常ニ嬉シク感ズル者デアリマスガ、現下國際情勢ノ緊迫、大東亞共榮圈ノ確立ト云フ見地カラ考ヘマシテ、現下我國生産力ノ擴充ト云フ問題ハ實ニ重要ナ問題デアリマス、之ノ問題ヲ除イテハ今日ノ時局ヲ乘切ルコトガ出來ナイ、是ハ何人モ常識ニナツテ居ル、併シ此ノ常識ニナツテ居ルヤウナ問題ガドウカシマス、一審練カニ扱ハレルトデアリマス、特ニ勞働生産性ノ擧揚ノ問題ニ付テハ非常ニ問題ガ簡單ニ扱ハレル傾向ガアルノデアリマス、例ヘバ資本ノ問題或ハ機械設備、資材等ノ問題、經營上ノ問題ト云フヤウナコトニナルト、利潤ヲ中心ニシテ眞細ナ討論ガ行ハレマス、ケレドモ、勞働ノ生産力ヲ擧揚スル問題ニ付テハ餘リ世間問題ニシナイ、特ニ豫算總會、本會議等ニ於テモ勞働生産性ノ擧揚ノ問題ニ付テ論議ガ洵ニ少イノデアリマス、私ハ特ニ此ノ際此ノ問題ニ對スル監督指導助成ヲサレテ居リマス、政府當局ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、要ハ今日日本ガ當面シテ居リマス勞働生産力擧揚ノ對象ハ「ソ」聯ノ生産力、「ソ」聯ノ労働者ノ有スル技術ト其ノ生産性、之ニ對應スル日本國內ノ労働生産力並ニ労働者ノ技術ト云フ問題ガ一番重要ニナツテ來ルト思ヒマス、更ニ海ヲ越エテ「ア」メリカニ於ケル生産力ノ問題、飛行機トカ戦車トカ又ハ之ニ伴フ所ノ重工業、精密工業等ノ生産力ニ對應スル我國ノ生産力ト技術ノ問題ガ考ヘラレル、海ヲ越エテ「ア」メリカニ、陸ニ續ク「ソ」聯、東亞ヲ廻ル此ノ二大列強ニ對應スル我が國內ノ労働生産性ノ擧揚ト云フ問題ハ實ニ必死ノ問題デア

○兒玉政府委員 結核行政ニ關スル再檢討ヲスル必要ハナイカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、只今國民體力會議會ニ結核豫防ノ對策ニ付テノ諮問ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、只今會議ノ途中ニアリマス、又一面先程申シマシタ結核豫防會ノ中ニモ委員會ヲ設ケマシテ結核對策ノ審議ヲ致シテ居リマス、斯様ナ各方面ノ審議ニ基キマシテ結核對策ノ再檢討ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、總テ結核施設ヲ國營ニスルガ宜イカドウカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、御意見ヲ酌ミ取りマシテ考究ヲ致シタイト考ヘマス、大體

ハ現在ノ狀況ヲ以テ致シマスレバ、各方面全力ヲ擧ゲテ進ンデ行クト云フコトガ宜イノデアリマス、尙ホ御意見ノ點ハ併セテ再檢討ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、從來ニ於ケル各局ノ結核行政ト云フモノガ重複シ區々ニ互ル處ガアル、此ノ連絡ヲ圖ル必要ガアルデハナイカト云フ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマス、豫算ノ編成或ハ施設ヲ講ズル上ニ於キマシテ、從來ニ於キマシテモ相當ノ點ニ付キマシテハ協議ヲ重ネマシテ施設ヲ講ジテ居ル積リデアリマスガ、今後結核行政ガ一層擴充セラレムニ伴ヒマシテ、此ノ點ニ付テハ十分ノ注意ヲ圖リタイト思ヒマス、極ク簡單ニモウ一言附加ヘテ置キマス、結核ノ治療ト云フコトニ對シテ病床ヲ設ケテヤウシテ居ラレルトハ洵ニ結構デアリマスガ、私ハ之ヲ唯單ニ醫者ノ方面ノミニ任セナイデ、モウ少シ精神ノ方面ノ治療ヲサレタラドウカト考ヘ、今現在各病床、病院アタリハドウ云フ施設ヲ採ツテ居ラレカ分リマセウガ、私ノ考ヘ方ト致シマシテハ、一週ニ一回カ月ニ二回ト云フヤウナ風ニ患者ニ對シテ精神修養或ハ精神方面カラ病氣ヲ治サセル意味合ニ於ケル訓話或ハ講演ト云フモノヲヤラレル必要ガアルト思ヒマス、唯單ニ醫學ガ任シテ置クト云フコトデアツテハ是ハ遺憾ナセス、殊ニ若イ青年ガ多イノデアリマス、是等ニモウ少シ心身ノ修養ニナル方面ノコトヲ注入シテ、醫學的治療ト相俟ツテ其ノ治療ヲ圖ルト云フコトガ最も必要ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウシタ方面ニ對スル施設ヲヤウシテ居ラレルトデアリマス、或ハ又將來ス

ウ云フコトニ對シテ御考ヘニナラレカドウカト云フコトヲ最後ノ一言トシテ私ハ打ち切リマス

○兒玉政府委員 疾病術ト云フヤウナコトヲ申サレテ居ル著書等モゴザイマス、結核治療ニ於テハ格別病氣ト關マスト云フコトガ非常ニ大切デアラウカト考ヘルノデアリマシテ、御意見ハ洵ニ御尤モトコト存ズルノデアリマス、療養所ト申シマシテモ私人ノ療養所或ハ法人ノヤツテ居ル療養所等モアリマス、一概ニ此ノ施設ヲ實行行政ト云フコトハ相當難カシイ點モアルカト思ヒマス、醫者自身ガ既ニサウ云フ意味ヲ以テ患者ニ相當ニ注意ヲ與ヘテ居ルコトモ存ジマスガ、特ニ厚生省ニ於テ最モ難ツタ施設トシテ行ツテ居リマス、傷痍軍人ノ結核療養所ニ於キマシテハ、只今御示シノ點ニ非常ナル注意ヲ拂ヒマシテ、絶エズサウ云フ意味合ノ講話等ヲ行ヒマシテ治療ノ完全ヲ期シテ居ル次第デアリマス、尙ホ將來ニ於キマシテモ御示シノ點ニ付キマシテ十分注意ヲ致シタイト考ヘマス

ラスト云フ考ヘニ、政府ノ考ヘ方ガ發展ヲ示シテ居ルコトニ付テ吾々非常ニ嬉シク感ズル者デアリマスガ、現下國際情勢ノ緊迫、大東亞共榮圈ノ確立ト云フ見地カラ考ヘマシテ、現下我國生産力ノ擴充ト云フ問題ハ實ニ重要ナ問題デアリマス、之ノ問題ヲ除イテハ今日ノ時局ヲ乘切ルコトガ出來ナイ、是ハ何人モ常識ニナツテ居ル、併シ此ノ常識ニナツテ居ルヤウナ問題ガドウカシマス、一審練カニ扱ハレルトデアリマス、特ニ勞働生産性ノ擧揚ノ問題ニ付テハ非常ニ問題ガ簡單ニ扱ハレル傾向ガアルノデアリマス、例ヘバ資本ノ問題或ハ機械設備、資材等ノ問題、經營上ノ問題ト云フヤウナコトニナルト、利潤ヲ中心ニシテ眞細ナ討論ガ行ハレマス、ケレドモ、勞働ノ生産力ヲ擧揚スル問題ニ付テハ餘リ世間問題ニシナイ、特ニ豫算總會、本會議等ニ於テモ勞働生産性ノ擧揚ノ問題ニ付テ論議ガ洵ニ少イノデアリマス、私ハ特ニ此ノ際此ノ問題ニ對スル監督指導助成ヲサレテ居リマス、政府當局ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、要ハ今日日本ガ當面シテ居リマス勞働生産力擧揚ノ對象ハ「ソ」聯ノ生産力、「ソ」聯ノ労働者ノ有スル技術ト其ノ生産性、之ニ對應スル日本國內ノ労働生産力並ニ労働者ノ技術ト云フ問題ガ一番重要ニナツテ來ルト思ヒマス、更ニ海ヲ越エテ「ア」メリカニ於ケル生産力ノ問題、飛行機トカ戦車トカ又ハ之ニ伴フ所ノ重工業、精密工業等ノ生産力ニ對應スル我國ノ生産力ト技術ノ問題ガ考ヘラレル、海ヲ越エテ「ア」メリカニ、陸ニ續ク「ソ」聯、東亞ヲ廻ル此ノ二大列強ニ對應スル我が國內ノ労働生産性ノ擧揚ト云フ問題ハ實ニ必死ノ問題デア



リマス、此ノ見地カラ特ニ御考ヘテ願ヒタイ  
ノハ、是等兩國ニ對抗出來ル技術ヲ保持得  
ル労働ノ生産性ヲ昂揚スルコト、此ノ點ニ  
カラ考ヘマスト労働技術ノ發展ト云フ間  
題ハ、労働者ガ同一ノ工場ニ、同一ノ職  
ニ、同一ノ産業ニ永ク勤シテ居ラナケレ  
バナラスノデアリマス、轉々工場ヲ變ヘ  
タリ轉々仕事ヲ變ヘタリシタノデハ到底  
技術ノ向上モ、精神ノ生産力向上ニ對ス  
ル熱意モ湧キ出テ來ナイ、同一産業ニ、同  
一工場ニ、同一仕事場ニ永ク働カシムル對  
シテ政府ノ方デハ労働者ノ移動ヲ防止スル  
目デ移動防止令ヲ出ス、雇入制限令ヲ出  
ス、或ハ又最近労働手帳制度ノ採用ナドヲ  
考ヘマシテ、出來ルガケ労働者ノ移動ノ防  
止ヲ圖ラウト云フ點ニ色々御考慮戴イテ  
居リマスケレドモ、如何セン、ソレハ法律  
ノ力ニ依リテ移動防止ノ對策デアツテ、何故  
ニ労働者ガ職場カラ離場ヘ舊イ仕事カラ新  
シキ仕事ヘ移リ變テ行クカト云フ労働者  
側ノ心理ニ付イテ、労働者側ノ生活面ニ立  
ツテ對策ガ立テラレテ居ナイト云フコトニ  
對シテ、非常ニ私ハ遺憾ニ存スルノデアリ  
マス、特ニ戰時下熱練労働者ノ保持、是ガ培  
育助成ト云フ問題ニ對シテ具體的ナ對策  
樹テラレテキマセス、是等熱練労働者ニ對  
スル具體的ナ對策ニ對シテ政府ハ一體ドウ  
考ヘテ居リマセウカ、熱練工ノ技術ノ保持  
問題ニ對シテ、熱練工ノ國家的ニ活用セ  
バナラスト云フ問題ニ對シテ具體的ナ例ヲ  
取ツテ見ルト、最近「ガソリン」ノ配給ガ少  
クナツタ、「ガソリン」ノ配給ガ少クナルト  
云フコトハ運轉手ノ失業ヲ齎シマス、所ガ  
今國家ガ要求シテ居リマス近代國防國家ト

云フモノハ、近代兵器即チ機械化部隊ノ増  
強編成デアリマス、此ノ機械化部隊ノ編成  
及ビ其ノ飛躍的發展ト云フ問題ニ對シテマ  
シテ自動車ノ運轉技術ト云フモノハ非常ニ  
重要トナツテ來ル、所ガ今日「ガソリン」ノ  
配給ガ少クナツテ運轉手ガ失業スルト、其  
ノ技術ヲ有効ニ轉用出來ル仕事ニ中々轉職  
セズニ、外ノ産業方面ニ轉業シテ居ル例ガ  
澤山アル、斯ウ云フヤウニ國家ニ取ツテ非  
常ニ大切ナ技術デ、而モ其ノ技術ガ今日ノ  
重大ナ時局下ニ有用活用スレバ非常ニ國家  
的ニ役立つ技術デアルニ拘ラズ、サウ云  
フ方面ニ對スル十分ナル指導ト手當ガ行届  
キマセヌニムサ／＼大切ナ技術ヲ死物ニ  
シテ居ルト云フ例ヲ私共ハ澤山知ツテ居ル  
ノデアリマスガ、技術ノ保持培養助成ト云  
フ問題ニ對シテ一體ドウ御考ヘデアリマス  
カ、技術者養成或ハ技術者ノ教育ニ對シテ  
色々骨折ラレテ居ルト云フコトヲ吾々ハ承  
ツテ居リマスケレドモ、現在技術ヲ保持テ  
技術者、或ハ熱練工ニ對シテ對策ニ付テ同  
ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス、先ツ  
之ニ對スル御答ヲ簡單ニ願ヒマス、  
○見玉政府委員 高度國防ノ見地カラ労働  
者ノ生産性ノ昂揚ヲ圖ル必要ガアルト云フ  
點ハ全ク御同意デアリマス、ソコデ技術ノ  
培養育成ト云フ點ニ付キマシテ學校教育ノ  
部面ハ結構ト他ニ讓リマシテ、厚生所管ニ  
於キマシテモ只今御示シモアツタノデアリ  
マスガ、或ハ技術者ノ檢定制度デアルトカ、  
或ハ幹部機械工ノ養成デアルトカ、或ハ技  
能者ノ養成ガ各事業主ニ命ズルト云フヤウ  
ニ致シマシテ、技能ノ培養ト云フコトニ努  
メテ居ルノデアリマスガ、是ガ移動ヲ防止  
シナケレバナラスト云フ點ニ付テモ亦御意

見ノ通りト存ジマスノデ、移動防止ニ付テ  
ノ各種ノ方策ヲ強化スル、之ニ依ツテ相當  
生産能率ヲ向上サセルコトガ出來ル、斯様  
ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、更ニ進  
デ移動ヲ頻繁ニスル原因何處ニアルカト  
云フ點ニ付キマシテ十分研究ヲ致シマシ  
テ、此ノ原因ニ對スル對策ヲ講ジタイ、斯  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、資金ノ統制  
ノ實施ニ於キマシテモ斯様ニ見地ハ十分注  
意ヲ拂ツテ行ツテ居ル積リデアリマス、更  
ニ轉職致ス者ノ能率ノ利用ト云フコトニ付  
キマシテハ將來職業行政ノ上ニ於キマシテ  
ヲ致シタイト考ヘル大第デアリマス  
○井上(良)委員 此ノ問題ニ關聯致シマシ  
テ最近問題ニナツテ居リマスノハ、生産力  
低下ト云フコトガ非常ニ喧シク唱ヘラレテ  
居リマス、労働者ガ非常ニ喧シク唱ヘラレ  
コトヲ、最近資本家側ノ方カラボツ／＼申シ  
テ居リマス、特ニ關西ニ於テサウ云フ意見  
ガ強クナツテ來テ居リマス、何故ニ労働者  
ガ此ノ重大時局ニ能率ヲ低下シテ居ルカト  
云フコトニ對シテ、何トカハハ對策ヲ講ジ  
ナケレバナラスト云フコトヲ、色々資本家  
側ノ方カラモ吾々承ツテ居リマスガ、労働  
能率ノ低下ノ重大原因ハ、政府ガ労働者  
ノ生活ニ對スル十分ナ理解ヲ持テ、彼等ノ  
御意ヲ彼等ノ工夫ト、彼等ノ産業ニ對スル  
熱意ヲ引出サナイ所ニアルノデゴザイマス、  
賃金統制ヲ一昨年九月ニ斷行致シマシタ  
切り、其ノ後移動防止、労働時間制限、或  
ハ又電力ノ不足ニ依リ臨時休業等ニ依ル實  
收資金ノ低下ノアル所ハ物價ノ暴騰ニ、彼等  
ノ生活ハ全ク行詰ツテ居ル、物價ハ釘付ニ  
シテ居ルト云フケレドモ、生活必需品ハ釘

付ニナツテ居リマセス、假ニ釘付ニナツタ  
モノガアルニシテモ、間取引ガアル、間相  
場ノ上ニ買フ品物ノ品質ガ惡クナツテ居ル、  
彼等ノ生活必需品ノ一カラ十マデマルツ  
キリベテンバカリノ相場デ労働者ハ生活シ  
テ行カナケレバナラス、賃金ヲ「ストップ」  
シテ、其ノ上ニ時間制限デ残業、夜業ヲ止  
メテシマツテ、更ニ電力ノ消費規正ニ依リ  
臨時休業デ休マナケレバナラス、其ノ上ニ  
移動防止、斯ウナツテ居ル、ソコヘテ來  
テ、片方ハ公債ノ増發、通貨ノ膨脹、大豫  
算ノ編成ト云フヤウナ譯テ、物價騰貴ノ原  
因ノ上ニ物資ノ配給不足ニ付テ前途通貨ノ  
膨脹ト、公債ノ増發ハ「インフレーション」片方ニ呼  
起シテ居ル、此ノ中ニ労働者ノ生活ハ決  
込マレテシマツテ、動キモ何モ取レナイ、  
此ノ實情ヲ少しモ考ヘテ呉レナイ、厚生大  
臣、或ハ總理大臣ハ、國民生活ハ戰時下非  
常ニ重大ダカラ、是ハ安定シナケレバナラ  
スト云ウテ喧シク言ウテ居リマスケレドモ、  
一體國民生活ノ安定ノ標準ト云フモノヲ政  
府ハ何處ニ置イテ居ラレルカ、ドン／＼生  
活ヲ窮迫ニ追詰メテ、彼等ノ生活ハ現在非  
常ニ低下シテ居ル、此ノ生活ノ低下ハ今多  
田サンカラモ御質問ガアリマシタヤウニ、  
労働者ノ體力ノ問題ニ重大ナ影響ヲ及ボシ  
テ來マス、労働者ノ體力ドコロノ騒ギデハ  
ナイ、出產上子女ノ養育ノ上ニ、又其ノ子  
供ノ體質ノ上ニ重大ナ影響ヲ及ボシテ來マ  
ス、他方政府ハ人口増殖ノ大方針ヲ決メラ  
レテ、昭和三十幾年マデ一億ニ人口ヲ殖  
ヤスト言ツテ居ルケレドモ、今日ノ如キヤ  
リ方ダツタナラバ、人口ノ増加ハ出來ズ逆  
ニ減少シテシマフノミデアル、根本的ニ對策  
ガ誤マツテ居ル、政府ニ賃金委員會ト云フ

フモノガアツテ、初給賃金ヲ決メテ切り、  
其ノ後サツバリ此ノ委員會ハ活動シテ居  
ナイ、此ノ委員會ハ何ヲシテ居ルカ、モツト  
活動ニ委員會ノ活動ヲ促シテ、本當ニ戰時  
下労働者ノ生活ノ安定ヲ考ヘテ労働生産性  
ノ昂揚ヲ爲シ全力ヲ注グヤウニ、サウ云フ  
方面ニ力ヲ入レテ貫ハナケレバ困ル、此ノ  
賃金モ全國的ニ委員會ガ決メルト云フコト  
ハ、複雜多岐ニ互リマシテ容易ナラスコト  
ト思ヒマスガ、手取早ク行カナイト云フコ  
トナラバ、政府ハ此ノ際少クモ労働者ノ  
生活必需品、即チ米トカ、炭トカ、醬油ト  
カ、酒トカ、味噌トカ、或ハ野菜類トカ、  
衣服トカ、斯ウ云フ労働者ノ生活ニ絕對ニ  
必要ナモノダケヘ、何トカ優先的ニ配給シテ  
ナル對策ヲ立テテヤラナケレバナラス、幾  
ラ移動防止令ヲ出シ、或ハ又ソレニ伴フ勞  
働手帳制ヲ以テ労働者ヲ一ツノ職場ニ括リ  
付ケテ置カウトシテモ、生活ニ追ハレレ、  
生活不安ノ網ガ引張リニ來ル、之ヲ忘レテ  
ハイケナイ、生活安定ノ賃金ト工場ニ引帳  
リ出サレマスカラ、ソレニ對スル眞剣ナル  
對策ヲ樹テナイト、日本ノ技術ハ「ロシア」  
ノ技術ニ劣リマスヨ、或ハ「アメリカ」ノ技  
術ニ劣リマスヨ、體力ハ弱ツテ來マスヨ、  
サウナツタ場合ニヤイ／＼懸イデ見タ所デ  
追付カナイ、ダカラ私ハ此ノ際政府ハ此ノ  
労働者ノ生活ノ安定ニ對シテ、眞先ニ賃金  
ノ適正化ヲ圖リ、其ノ適正化ノ具體化スル  
マデハ生活必需品ノ優先的配給斷行スル必  
要ガアル、サウシテ彼等ニ生活ノ安定ヲ得  
セシメ、全精力ヲ打込シテ産業労働ニ従事  
シ得ルヤウニシテ戴キタイト云フコトヲ考  
ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル厚生大臣  
トシテ所感ヲ承リタイト思フ

○金光國務大臣 労働生産力ノ低下ノ傾向  
ニアルコトハ、全ク井上君ノ御心配同様  
デアリマス、其ノ原因ハ色々ゴザイマセウ  
ガ、井上君ノ御意見デハ、是ガ對策トシテ  
生活ノ安定、體力ノ増強等御主張ニナリマ  
シタガ、是亦當然ノコトト存ジマスガ、何  
分御承知ノ通り物資ノ不足、總テノ點ニ不  
自由ナ時節柄デアリマスカラ、政府トシテ  
ハ出來ルガケ國民生活ノ安定ヲ得サシタイ  
ト努力スベキハ勿論ノコトデアリマスケレ  
ドモ、其ノ意ニ任セヌ點ガ多クイノデゴザイ  
マス、ソコデ先ツ最低生活ヲ我慢シテ貫ツ  
テ而シテ労働生産上著シイ影響ヲ及ボサナ  
イヤウニ、體力ノ低下ヲ防ギ得ル程度ニ於  
テ、出來ルガケ生活ノ安定ヲ圖リタイト努  
メテ居ル大第デアリマス、ソレカラ優先的  
配給ト云フ御意見モゴザイマシタガ、ソレ  
モ御尤モデアリマスケレドモ、是亦物ニ依  
ツテハ労働者ニ特ニ必要ナモノハサウ云フ  
コトモ考ヘラレマスガ、國民全體ガ打ツテ  
一丸トナツテ、高度國防國家體制ノ建設ニ  
當ツテ居ル今日デアリマスカラ、是モドノ種  
類ノ業務ニ従事シテ居ル、ドノ方面ノミ優  
先的ニ配給スルト云フコトモ中々困難ダラ  
ウト思ヒマス、其ノ點ハ御互ヒニ我慢シ合  
フテ、戰時ニアルト同様ニ不自由ヲ忍ビテ  
産業戦士タル心掛ケヲ持ツテ、御奉公スル積  
リデ働イテ戴キヤウニ指導スルコトヲ政府  
モ努メ、諸君ニモ御協力ヲ御願ヒシタイト  
存スルノデアリマス、ドウゾ左様御諒承ヲ  
願ヒマス  
○井上(良)委員 今一ツ生産性ノ昂揚ニ對  
シテ重大ナ問題ハ、生産性ノ昂揚ニ特ニ顯著  
ナル成績ヲ示シタ労働者ニ對シテ、例ヘバ産  
業界ニ有益ナ發明ヲナシタトカ、或ハ作業上

ニ非常ナ工夫ヲ考ヘ出シ能率ノ増進ヲ計ル  
コトヲ考ヘタトカ、或ハ他ノ多クノ勤勞者  
ニ對シテ模範トナル勤勞者ヲシタトカ、或  
ハ又工場ニ於テ多クノ労働者ノ尊敬ノ的ニ  
信頼サレテ模範ノ能率ヲ擧ゲテ居ルヤウナ  
人トカ、サウ云フ労働者ヲ此ノ際國家的ニ  
表彰シテ、全労働者國家的熱意ヲ高  
メシメルト云フ對策ガ絕對ニ必要デアルト  
思ヒマス、是ハ多クノ豫算モ要リマセス、  
例ヘテ申セバ、位階勳等は是等ノ人々ニモ  
拜受出來ル途ヲ開イテヤツテ貰ヒタイ、此  
ノ際特ニ労働者ノ士氣ヲ昂メ、如何ニ産業  
戦士トシテ重大ナ役割ヲ國家的ニ果サナケ  
レバナラスカト云フコトノ獎勵ノ途ヲ先ツ  
開ク爲ニ、此ノ際政府ハ是等有能ナル又模  
範的ナル労働者ニ對シマシテ、位階勳等、勳章  
等ヲ與ヘ、進シテハ之ニ恩給モ考ヘテヤリ、  
又政府ノ方カラ住宅ヲ提供シテヤル、今度住  
宅營團ト云フモノヲ考ヘテ、労働者ニ對スル住  
宅對策ニ付テ御心配願ツテ居ルサウデア  
リマスガ、併シテハ昔ノ工場寄宿舎のナ建  
物デアラウト吾々ハ想像スルノデアリマシ  
テ、進モ安シク足ヲ伸バスヤウナコトハ  
中々難カシイノデヤナイカト云フコトマデ  
想像サレマス、露骨ナ言ヒ方デアリマスガ  
レドモ……、ソレヨリモ本當ニ住ミ好イ家  
ヲ能ク働イタ者ノハ、僅カ二千圓カ三千圓  
出セバ一戸出來ルノデアリマスカラ、政府  
ノ方デサウ云フモノヲ建テテ彼等ニ安住セ  
シメルコトデスヨ、本當ニ労働能率ヲ上ゲ  
タ者ニハ……、更ニ又慰勞休暇制ヲ考ヘテ  
政府ノ方デ公休日ヲ與ヘル、一年間無缺勤  
デ工場ニ出タ者ニハ一週間ナリ二週間ノ慰  
勞休暇ヲヤル、斯ウ云フ新シイ制度ヲ設ケ  
テ、一生懸命働イタラ慰勞休暇ヲ貰ヘルノ

ダト考ヘテ労働者ハ元氣ニ精勤シマス、或  
ハ又慰勞養致シマシテモ、本當ニ能ク勤  
タ労働者ヲ歌舞伎座トカ有樂座トカ云フ所  
ニ招待シテヤツテ、サウシテ本當ニ彼等ガ  
心身共ニ、他ノ國家ノ爲ニ働イテ居ルノガ、  
國家ノ生産力ノ要請ニ應ジテ自分ノ全精神  
ヲ打込シテ働カナケレバナラスト云フ氣持  
ヲ、此ノ際奮立シタシメルコトガ必要デア  
ラウト考ヘラレシ、或ハ今日餘暇利用ノ問  
題ガ非常ニ喧シク唱ヘラレテ居リマスケレ  
ドモ、單ニ是ハ精神のナ調話、講話、鍊成  
ト云フ方面ダケニ向ケマシテ、建設的ナ餘  
暇利用ト云フモノガナイ、是ハ「ドイツ」ニ於  
ケル餘暇利用ノ運動ヲ見マシテモ、労働者  
ノ地位ノ向上或ハ又慰勞娛樂ノ上ニ重大ナ  
關係ガアル建設的專業ヲ、工場單位ニ、産  
業單位ニ行ツテ居ル例ヲ澤山私共ハ伺ツテ  
居ルノデアリマスガ、日本モ斯ノ如キ建設  
的ナ方面ニ餘暇時間ヲ活用サレマシテ、資  
本ヲ持タレテ居ル人モ、經營ノ方ヲ持タレ  
テ居ル人モ、打ツテ一丸ニナツテ、此ノ重  
大ナ生産性昂揚ノ問題ニ對シテ協力ヲ願フ  
ヤウニシナケレバナラス、其ノ爲ニ國家的  
ナ對策トシテ、今申シタ模範労働者ノ表彰  
ヲヤツテ戴キタイト考ヘルノデアリマスガ、  
此ノ點ニ對シマシテノ大臣ノ御所感ヲ伺  
ツテ見タイト思ツテ居リマス  
○金光國務大臣 御答ヘ致シマス、表彰ニ  
關スル御趣旨ニ付テハ御同意デゴザイマス、  
尙ホ目下實施中ノ石炭ノ強調週間ニ對ス  
ル表彰ノ如キモ其ノ一例デ、其ノ一端ノ現  
ハレデアリマスガ、尙ホ左様ナコトデ足レ  
リトスルモノデハ無論ゴザイマセヌノデ、  
表彰慰勞ノ施設ニ付キマシテ専ラ考慮中デ



ゴザイマス  
 ○末松主査 井上君マダアリマスカ  
 ○井上(真)委員 モウ二點程……  
 ○末松主査 極ク簡單ニ願ヒマス、モウ時  
 間ガ大分経チマシタカラ……  
 ○井上(真)委員 非常ニ重要ナ問題デアリマ  
 スカラ、アト産業報國會ノ問題ト婦人労働  
 問題ニ付テ何ツテ見タイと思ヒマスガ、主  
 査(ハサウ急ガスデ、少シ……(笑聲)産業報國會  
 運動ニ對シマシテ私共ハ絕對ニ此ノ運動ヲ  
 支持シ、且ツ是ガ圓滿ナル發達ヲ吾々微力  
 デアルガ、薩ナガラ協力ヲシテ今日マデ參  
 ツクノデアリマスガ、最近政府ノ御指導ト  
 又關係各位ノ御賛成ニ依リマシテ、愈々大  
 日本産業報國會ノ中央本部ガ結成サレ過ル  
 日發會式ヲ舉ゲタノデアリマス、サウシテ  
 労働ハ國家ノモノデアリ、國家ノ生産力擴  
 充ノ要求ニ對シテ、資本モ労働モ經營モ皆  
 融合一體化シテ、全力ヲ舉ゲテ國家目的ノ  
 爲ニ協力シナケレバナラスト云フ立場ニ立  
 ツテ、愈々産業報ノ運動ヲ展開スルノデアリマ  
 スガ、其ノ展開ニ當ツテ此ノ本部組織構成  
 ノ上ニ於ケル缺陷ハ、一名ノ労働者出身ノ  
 役員モ入ツテ居ナイト云フコトデアリ、是  
 ハ一體ドウ云フ譯デアリマセウカ、労働者  
 ノ精神ヲ昂揚シテ此ノ難局ニ協力セシムル  
 勞働側ノ組織運動ヲ展開スルノニ、労働者  
 出身ノ役員ハ一名モ居ナイ、實際考ヘテ見  
 テモソナナ飽極ナ話ハアリマセウ、役人  
 サント資本家ノ代表者ガ集ツテ、指導命  
 令サレテ労働者ガ心ノ底カラ協力シマス  
 力、少クトモ此ノ本部ノ中ニ數人ノ見  
 識ノアル、國家ノ今ノ時局ヲ理解シ、産  
 業報國會ノ精神ヲ能ク體得シタ思想ノモ堅  
 固ナ人ヲ役員ニ入レテ、サウシテ全國ノ勞

働者ノ協力ヲ求メルト云フコトヲシナケレ  
 バ、斯ノ如キ人ノ構成デハ、結局産報ハ御  
 用團體デアルト云フ昔ナガラノ考ヘ方ニナ  
 ツテ労働者ハ協力シマセウ、斯ウ云フ點ニ  
 對シテ政府ハ一體ドウ御考ヘデアリマセウ  
 カ、ソレガ一點、ソレカラ今一ツハ此ノ産  
 報運動ハ我が國時局下ニ於ケル重大ナ國家  
 的ノ運動デアリマス、國ヲ舉ゲテ國防國家  
 體制ハ總力ヲ發揮シナケレバナラス、其ノ  
 基本ハ生産力ノ擴充ニアル、隨テ生産力擴  
 充ノ組織ヲ完備シナケレバナラス、其ノ生  
 産力擴充ノ中核體ハ労働組織ノ完成デアリ  
 マス、此ノ労働組織ノ完成ノ爲ニハドウシ  
 テモ國民的ノ協力ヲ得ナケレバナラスノデ  
 アリマスルカラ、隨テ産報運動ハ一ツノ國  
 民運動トシテ展開シテ行カナケレバナラ  
 ス、國民組織ノ中核體トシテ産報ハ活動シ  
 ケレバナラス、然ルニ今日ノ新體制運動タ  
 ル大政實會ノ運動ハ、地方的ノ配給消費  
 ノ部面ノ組織運動デアリマス、生産部面ノ  
 組織ニハ手ヲ付ケテ居リマセウ、勿論此ノ  
 地域組織ガ惡イ言フノデアリマセウ、  
 必要デアリマセウケレドモ、併シ大政實會  
 ニ依リ新體制運動ガ配給消費ノ部面ヲ組  
 織シテ、産報ノ運動ト云フモノハ別働隊  
 アツテ、大政實會ト産報トノ關係ハ、單  
 ニ連絡部ニ於テ連絡シテ居ルケレバ、單  
 此ノ國家ノ要請ノ生産力擴充ノ運動ノ中  
 核體デアリ、而モ國民組織ノ中核體トナラ  
 ナケレバナラス産報運動ガ、厚生大臣ノ指  
 導監督ノ下ニ置カレテ居ルノハドウ云フ譯  
 デアリマスカ、何故總理大臣ノ監督ノ下ニ  
 置カレナイノデアリマスカ、是ハドウ云フ  
 譯デアラウコトニナルノデセウカ、大政  
 實會ノ別働隊デアリマセウカ、ソレトモ

大政實會ノ指導ヲ受ケルノデアリマセウ  
 カ、吾々新體制運動ニ協力スル上ニ於テ、此  
 ノ點ヲ明確ニシテ置カナイト工合ガ惡イノ  
 デアリマスカ、之ニ對スル御所見ヲ御伺ヒ  
 シタイ、ソレカラ産報ノ組織デ一番大キナ  
 缺陷ハ、労働者ノ下意上通、上意下達、詰  
 リ労働者ノ不平不満ト希望ヲ述ベル機關  
 ガナイ、大政實會ニハ協力會議ト云フ會  
 議ガアル、所ガ産報ニハサウ云フ機關ガ何  
 處ニモナイ、何處ヲ探シテモ、本部ノ規約  
 ノ中ニアリマセウ、勿論工場ニ行キマス  
 ト、懇談會ガアツテ、其處デ經營者側ト勞  
 働者側トガ懇談會ヲ月一回カ三月一回  
 位開イテヤツテ居リマセウケレドモ、是デハ  
 中々労働者側ノ下意ガ上達シナイ、本部組  
 織ハ成程立派ナ人ヲ多ク集メテ組織サレ、  
 近ク本部事務所モ設置サレルサウデアリマ  
 ス、併シ此ノ本部ノ意思、本部ガ考ヘテ居  
 ル方針、本部ガ是カラヤラウトスル政策ガ  
 下部組織、即チ工場ヤ工場ニ一體通スルカ、  
 通ジナイ、何故カト云フナラバ、其ノ間ニ  
 本部ノ意思ヲ十分ニ體得シテ、挺身國家ノ  
 協力ノ下ニ圖ラウトスル所ノ指導員居リ  
 マセウ、ソレダカラ本部ノ任命指揮員  
 各職場ハ配置シテ、サウシテ其ノ職場  
 經營者及ビ労働者ト協力シテ、政治的ノ意  
 識ノ下ニ國家ノ要請ガ其ノ産業ニ如何ニ重  
 大ナ要請ヲシテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ  
 活動スル挺身指導員ガ、各工場ニ絕對的ニ  
 必要デアラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ關ス  
 ル政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイ  
 尙ホ細カキ點ニ付テ色々質問シタイノ  
 デアリマスカ、主査ガ急ギマスカラ先ニ進  
 ミマスガ、今一ツ産報ノ仕事トシテ重大ナ

點ハ、福利厚生施設ノ徹底デアリマス、是  
 ガ缺陷テ居リマシタナラバ労働者側カラ必  
 ズ不平ガ起リマス、會費ヲ取ルノデアリマ  
 スカラ、此ノ福利厚生施設ガ非常ニ徹底致  
 シテ来マス、月ニ五十錢取ラレテモ労働  
 者ハ文句ハ言ヒマセウ、ダカラ此ノ福利厚  
 生運動ト云フモノヲ相當徹底シテ、労働者  
 ノ生活確保ノ爲ニ、彼等ノ協力ヲ求メルコ  
 トデアルト思フ、サウシナイト、今ノヤウ  
 ニ日本精神、日本張りテ、産業報國會精神  
 勞報國精神、神様(ハ參レ、佛様ヲ買ウテ来  
 イト云フヤウナ譯デ、サウ云フコトノミヤ  
 ヲテ居ツクノデアリマセウ、ソレハ日本國  
 民トシテ皆常識トシテ知ツテ居ルノデアリ  
 マスカ、ソナコトハ役人ヨリ労働者ノ  
 方ガ眞面目デ正直ニ實行シテ居ル労働者  
 ノ方ガ神様ニモ能ク參ル、サウ云フ點カラ考  
 ヘテ、ドウカスルト此ノ産報運動ヲ單ナル  
 精神運動ノ一線ニ唯ヒ止メヤウトスル經營  
 者側ノ考ヘ方ガアルノデスカ、ソレニ負  
 ケテハイカヌ、生産性ヲ高メナケレバナ  
 スト云フ國家ノ要請ニ立ツテ居ルノデア  
 リマスカ、單ナル精神の御説教團體ニ  
 ナツテハ斷ジテナラス、此ノ點ハ特ニ私ハ強  
 調シテ置キマス、其ノコトヲ補フ爲ニハ、  
 全國ヲ打ツテ一丸トシマシタ大規模ノ産  
 業福利ノ協同體ヲ結成スル必要ガアルト  
 思フ、此ノコトガ非常ニ重要デアルト云フ  
 コトヲ附加ヘテ申上ゲテ置キタイと思ヒマ  
 ス  
 ソレカラ特ニ最後ニ御伺ヒシテ置キタイ  
 點ハ、婦人労働問題デアリマス、此ノ問題  
 ハ、時局ノ進展、特ニ大東亞共榮圈ノ建設  
 ト、次ニ迫ル世界情勢ニ對シテ應ジマシテ、  
 婦人ノ工場進出ハ年々激増致シマス、萬一

大戦争ガ勃發センカ、男子ハソレノ應召  
 サレ、或ハ又ソレノ國家ノ任務ニ就カナ  
 ケレバナラスコトニナリマスカ、必然ニ  
 婦人ノ職業及ビ労働方面ヘノ進出ハ非常ニ  
 増加スル、特ニ婦人ノ工場ヘノ進出ハ必至  
 ノ要請トナツテ来マス、ソコデ大體未婚婦  
 人ヨリノ工場進出ノ數ハ毎年一定シテ居  
 マス、所ガ是カラハ既婚婦人ガドシ、工  
 場ヘ出テ来ルト云フコトヲ吾々ハ豫想シテ  
 置カナケレバナラス、是等婦人労働ニ對ス  
 ル政府ノ對策ハ今日マデ殆ド保護、救護ト  
 云フ點カラ一步モ出テ居ナイ、モツト建設  
 的ナ、モツト積極的ナ對策ヲ立テル必要ガ  
 アルト思フ、例ヘバ未婚婦人ノ労働者ニ對  
 シマシテハ、技術ヲモツト徹底ニ習得セ  
 シムル必要ガアル、現在工場ニ於ケル女工  
 ノ作業状態ヲ見テ居リマス、男ガ居ラナ  
 ケレバ女ハ仕事ガ出来ナイ、機械、技術ニ  
 對スル何等ノ知識ヲ持ツテ居ラナイカラ、  
 一人デ仕事ガ出来ナイ状態ニアル、何故  
 ニ政府ハ是等婦人労働者ニ技術教育ヲ施サ  
 ナイカ、技能者養成令ト云フモノガアリマ  
 スガ、此ノ技能者養成令ハ婦人ニハ適用サ  
 レテ居リマセウ、此ノ婦人ノ技術者ヲモツト  
 職場ニ政府ニ於テモ登用セシメテ工場ノ監  
 督ニスルトカ、官吏ニスルトカ云フヤウナ  
 方面ニ採用シ、女子ノ技術向上ノ目標ニス  
 ル等ノコトニ付テ相當考慮ヲ向ケマスナラ  
 バ、今日直結「モーター」ヲ以テ運轉致シマ  
 ス機械デアリマスカ、婦人デモ十分操  
 作ハ出来ルノデアリマスカ、斯ウ云フ點  
 カラ考ヘマシテモ、是非婦人ノ技術教育ヲ  
 徹底スル必要ガアル、其ノ爲ニ女子青年學  
 校ト云フモノヲ新シク拵ヘル必要ガアル、  
 是ハ是非一ツツテ置カナケレバ大變ナコ

トニナリマス、前ノ歐洲大戦デ世界各國ハ  
 此ノ婦人ニ對スル技術教育ノ不徹底ノ爲ニ  
 非常ナ支障ヲ來シテ居リマス、今日「ドイ  
 ツ」ガ斯ク歐洲大勝ヲ博シテ居リマス裏  
 面ニハ、婦人ノ技術上ノ進展ト云フモノハ  
 目覺マシイモノガアルト云フコトヲ吾々ハ  
 見逃シテハナラス、デアリマス、是ハ他山  
 ノ石トシテ吾々ハ參考トシテ置カナケレバ  
 ナラス、更ニ今一ツ重要ナ點ハ、既婚婦  
 ノ労働進出ノ問題デアリマス、此ノ既婚婦  
 人ハ家庭ヲ持ツテ居ル、一方政府ハ我が國  
 ノ國體ノ基礎ヲ家族制度ニ置イテ、家庭ノ  
 健全化ヲ主張シテ居リマス、所ガ婦人ガ工  
 場ヘ進出シテ行クコトニナルト、工場ニ於  
 ケル勤務時間ハ男子ト同等デアリマスカ、  
 家庭ト工場ト兩方掛チテアル、婦人ニ  
 デ一體家ヲ守ラレ家族制度ガ確保サレルト  
 御考ヘデアリマセウカ、又夫婦生活者トシ  
 テ家庭ニ於テ本當ニ味ハヒノアル生活ガ一  
 體出来ルト御考ヘナリマセウカ、婦人ハ  
 一方ニ於テハ第二國民ヲ産マナケレバナラ  
 ス、子供ヲ立派ニ育てナケレバナラスト云  
 フ婦人トシテ獨自ノ出產、育児ノ重大ナ國  
 家の責任ヲ負ハサレテ居リマス、工場ニ行ケ  
 バ國家ノ生産ニ從フコトヲ云フ生産上ノ責任モ  
 亦負ハサレルノデアリマス、此ノ二方デハ  
 將來國家ノ中堅トナツテ行ク所ノ第二國民  
 民ヲ養育シナケレバナラス、片一方ニハ工  
 場ニ於テ鐵錘ヲ造ラナケレバナラスト云  
 フ、生産ト出產トノ掛チテ居ルハヤラサ  
 レテ居ル、其ノ外ニ家庭ヲ麗ハシク温カク  
 維持シテ行クコトヲ云フ家族制度ノ基本ガ此ノ  
 婦人ニアルノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ政  
 府ハ眞面目ニ眞實ニ考ヘラレテ之ニ對スル  
 對策ヲ立テナケレバ人口政策上、國民保健

上大變ナコトニナルト云フコトヲ私ハ此ノ  
 際強調シテ置キマス、隨テ第一ハ、家庭ヲ  
 破壊サセナイ工夫ト致シマシテハ、婦人ノ  
 出勤時間ノ制限ヲ政府ノ方デモ御考ヘテ願  
 ヒタイ、現在ノヤウニ、男子ト同ジヤウニ  
 出勤ヲシ退社致シテ居リマシタノデハ、家  
 庭ニ於ケル主婦トシテノ務メニ依リ健全家庭  
 ハ建設サレマセウ、勤務時間ヲ男ヨリ一時  
 間短ク出テ行クコトヲ一時間早ク歸ルト云フヤ  
 ウナヤリ方デモ考ヘテ、ソレヲ法制化ス  
 ルコトヲナケレバナラス、更ニ、最近四五  
 十ノ子供ヲ持テ居ル婦人ガ工場其ノ他ヘ進  
 出シテ居リマスカ、此ノ五十萬ニ垂レトス  
 ル既婚婦人、而モ子持婦人、是等子供ノ養育  
 ト云フ問題ニ付キマシテハ非常ニ問題ガア  
 ル、勿論大資本ヲ持ツ工場ニ於テハソレ  
 ソレ設備ガアリマセウケレドモ、尙ホ大多數  
 ノ工場、鑛山ニ於テハ是等保育施設ガ十分  
 ニ完備シテ居リマセウ、此ノ保育施設ガ十分  
 完備スルコトヲ強制スル必要ガ此ノ際アルト  
 考ヘマスガ、之ニ對シテ一ツ御考ヘテ願ヒタ  
 イ、同時ニ婦人問題ニ對シテ關聯シタ問題ハ  
 賃金ト時間ノ問題デアリマス、今日婦人勞  
 働者ノ賃金ハ自活資金デハナイ、自分一人  
 ガ生活出来ル賃金ヲ貰ツテ居ナイ、家庭ノ補  
 助資金トシテノ賃金シカ與ヘラレテ居ルニ  
 過ギナイ、是デハ眞實ニナツテ婦人ノ労働  
 ヲ確保シテ行クコトハ出来ナイノデアリマ  
 スカラ、技術ノ向上ニ伴ツテ賃金ノ増額ト  
 云フコトニ考慮ヲ拂ハナケレバナラス、今  
 一ツ婦人ノ休憩時間ノ問題ハ、大體全國四  
 十分前後デヤナイカト吾々ハ想像スルノデ  
 アリマスガ、此ノ點ニ對シマシテモ、婦人  
 ノ身體ノ如何ニ重大ナルカト云フコトヲ  
 考ヘラレ、又婦人ノ健康上ニ及ボス影響ガ

如何ニ大キイカト云フコトヲ考ヘラレテ、婦  
 人ノ休憩時間ハ少クトモ一時間ハ確保シテ  
 ヤラナケレバ、其ノ體位ガ確保サレナイト  
 云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアリマスカ  
 ラ、斯ウ云フ點ニ對シテ一ツ政府トシテノ  
 御所見ヲ伺ツテ置キタイ、尙ホ私ハ此ノ際  
 労働年金法ガ愈々出來ルサウデアリマスカ、  
 此ノ労働年金制度採用ニ對シマシテモ、現  
 角一部資本家ノ方デハ之ヲ法律案トシテ議  
 會ニ提出スルコトニ贊成シナイヤウナ機運  
 ガ最近起ツテ居ル、若シ此ノ法案ヲ提出シ  
 ナイト云フコトニナツタナラバ、労働者側  
 ノ失望ハ多キ労働者側ハ非常ニ之ニ期待ヲ  
 持ツテ、政府モヤハリ吾々労働者ノコトモ  
 考ヘテ與レルト云フコトヲ非常ニ喜ビ其ノ  
 實現ニ希望ヲ持ツテ居ルトデアリマスカ  
 ラ、速カニ成案ヲ得ラレテ本議會ニ提出セ  
 ラレルヤウニ政府ノ御考慮ヲ願ツテ置キマ  
 ス、尙ホ轉失業問題ニ對シテ質問シタイノ  
 デアリマスガ、是ハ長時間ノ關係デ労働手帳  
 其ノ他ノ問題ノ時ニ伺フコトニシマシテ、  
 此ノ際ハ大體最前質問ヲ致シマシタ三項ニ  
 對スル問題ト婦人労働ノ問題、ソレカラ  
 労働者ノ年金法案ノ提出ヲ速カニヤツテ載  
 キタイト云フ點ニ付テ要點ガ御答辯ヲ願  
 ヒマス、私ノ質問ハ是デ大體終リマス  
 ○金光國務大臣 御尋ネハ産業報國會ノ最  
 高幹部ノ中ニ労働者出身ノ者ガ居ナイデハ  
 ナイカト云フコトデアリマシタガ、ソレ  
 ハ只今最高幹部ノ中ニハ労働者出身ノ方ハ  
 御願ヒ致シテ居リマセウガ、舊労働團體ノ  
 關係者ノ有力者ヲ理事等ノ役員ニ御願ヒシ  
 テ居ルノデアリマシテ、今後事務局關係  
 職員ノ採用ニ付テハ、御意見ノ點ヲ十分考  
 慮致シタイと思ヒマス



ソレカラ産業報國運動ハ全國民ノ運動デア  
ルカラ、總理大臣ノ所管トスベキデア  
イカト云フ御尋ネニ付キマシテ御答ヘ申上  
ゲマス、産業報國運動ハ勤勞新體制ノ中心  
組織デアリマシテ、其ノ對象トスル所ハ  
勞務行政ト密接不可分ノ關係ニ立ツテ居ル  
ノデアリマス、隨ヒマシテ現段階ニ於テハ  
專ラ勞務行政ヲ所管スル厚生省ニ於テ之ヲ  
主管シテ居ルデアリマス

尙ホ大政翼贊會トノ關係ハ本會ガ職域組  
織ノ一ツトシテ、大政翼贊會ト十分ナル連絡  
ヲ取リマシテ、進ム次第デアリマス、大政  
翼贊會ノ指揮ヲ受ケテヤルト云フ譯デア  
リマセス、獨立シタル産業報國運動デア  
リマス

ト女子ノ方面ニモ任意的ニ行ハレツツアリ、  
又將來行ハレルコトニ相成ルモノト、斯様  
ニ考ヘルノデアリマス、又既婚婦人ト云フ  
モノハ一面ニ於テハ育兒ヲ擔當スル、又家  
族制度ヲ擁護スル上ニ於テ非常ニ重要ナ位  
置ヲ占メテ居ル、是等ノ點ニ付テ婦人勞働  
ニ付テハ十分考慮スベキデアリカト云フ  
點ニ付テハ、尙ホ一寸附加ヘテ申上  
テ、成ベク多ク休憩時間ヲ與ヘルヤウニ指  
導ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ  
ス

ソレカラ大政翼贊會中ニハ下情上通上  
意下達ノ機關トシテ協力會議ノ如キモノガア  
ルデアリカ、然ルニ産業報國會ノ方ニハソ  
レガ無イト云フヤウナ仰セデアリマシタガ、  
成程中央ニ於ケル大日本産業報國會ハ職場ト  
ハ直接ノ關係ハナイヤウデアリマスガ、ソレ  
ハ各職場ヲ基礎トシテ居ルノ産業報國會ヲ  
會員トシテ組織シテ居ルノデアリマシテ、  
其ノ職場トノ連絡ハ單位ノ産業報國會ガ行  
ツテ居ルノデアリマス、隨テ先程御話ノヤ  
ウナ懇談會ノ如キモノガアツテ、職場々々  
ニ於ケル下意上達ノ産業報國會ガ取り纏  
メテ、中央ノ大日本産業報國會ト連絡シ、  
其ノ大日本産業報國會ヲ通ジテ厚生省ニ意  
見ヲ申出デ、厚生省ハ其ノ意見ヲ參酌シ  
テ、之ヲ實際ノ政治ニ反映スルヤウニ努力  
スル、斯ウ云フコトデ大體ノ筋ハ立ツト思  
ヒマス

○金光國務大臣 御尋ネノ勞働年金ニ付テ  
ハ提出スル積リデ只今準備中デアリマス  
○兒玉政府委員 尙ホ一寸附加ヘテ申上  
テ、先程御尋ネ中ニ賃金委員會ガ一向  
働キヲシテ居ラスヤウナ御示シモアリ、生  
活安定ノ見地カラ適正ナル賃金ヲ速カニ定  
ムベキデアルト云フヤウナ御話モアツタ  
ムベキデアリマスガ、賃金委員會ハ昨年來初給  
金ノ改訂デアルトカ、或ハ新シイ統制令ノ  
制定デアルトカ云フヤウナ方面ニ隨分努力  
ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマスガ、更ニ  
目下御示シノ標準賃金ト申シマスガ、適正  
賃金ト申シマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ厚生  
省並ニ専門委員ガ専ラ研究ヲ致シテ居リ  
マスガ、引續イテ賃金委員會ニ於テ十分ナル  
検討ヲ遂ゲテ實ヲ云フコトニ相成ツテ居  
リマスカラ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

ソレカラ福利厚生施設ノ御話ガゴザイマ  
シタガ、是亦當然過ギル程當然ノ御尤ナ御  
心機ヲ平時體制ノ下ニ於テ勞務行政カラ  
戰時體制ニ遷リ變ルノダト云フヤウニ一  
轉セシメル意味ニ於キマシテ、總理大臣初  
め陸海軍大臣、厚生大臣ハ勿論ノコトデア  
リマスガ、全國ノソレノ工場ナリ鑛山  
ニ出掛ケテ行ツテ、直接私ガ申シマシタヤ  
ウナ自覺ヲ促シ、政府亦眞實ニナツテ勞務  
者ノコトモ考ヘテ居ルノダト云フコトヲ此  
ノ際勞務者ニ直接呼掛ケル必要ガアルト思  
フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ大臣ノ  
御考ヘテ承ツテ置キタイト思フノデアリマ  
ス點、ソレカラ政府トシテハ此ノ困苦ニ耐  
エネバナラヌト云フ理由ヲ能ク説明シテ得  
心サセル爲メ努力ヲ拂ハネバナラヌト云フ  
點、是亦當然ナコトデアリマス、併シ勞務  
者ニ臥薪嘗膽ヲ強ヒルト云フ反面ニハ、政  
府トシテハ出來ル限リコトヲ反シテ之ヲ表  
彰シ、慰安シ、凡ル手段ヲ講セバナラ  
ズト云フ點、是モ亦全然御同感デアリマス、  
例ヘバ道ヲ以テスルト云フ御言葉デアリマ  
シタガ、十分ニ満足ヲ感ズ得ルヤウナコト  
ハ無論出來マセスケレドモ、出來ル限り生  
活ノ安定ヲ圖ルト同時ニ、殊ニ表彰ノ如キ  
ハ意ヲ用フレバ相當ノ程度マデ出來ルコト  
デアリマスカラ、私ハ出來ル限リサウ云フ  
方面ニ力ヲ盡シタイト思ヒマス、尙ホ勞務  
者ノ自覺ヲ促シ、且ツ得心サセル爲メ、工  
場鑛山等ニ出張シテ勞務者ト隔離ナキ話合  
ヒヨシ指導監督シタラ宜イデナイカト云  
フヤウナ御意見モ全然御同感デアリマスガ  
ラ、事情ノ許ス限リサウ云フ方面ニ努力致  
シタイト存ジマス、唯今日マデソレガ出來  
マセスデシタノハ、就任後色々ナ行事等モ

○持永政府委員 只今ノ御質問デゴザイマ  
スガ目下ノ所地方ニ特別ナル勞働ニ關スル  
機構ヲ擴充スル意思ハゴザイマセスガ、新  
聞等デ御承知デアリマセウ、賃金トカ、或  
ハ近ク勞務管理ノ爲メ特別ナル事務官ヲ設  
置スルコトニ致シテ居リマス、サウ云フ  
風ニシマシテ、漸次地方ニ於ケル勞働行政  
テ私ノ質問ヲ終リマス

ノ圓滿ナル運用ヲ期シタイ、併シ目下ノ所  
御話ノヤウナ所マデハ考ヘテ居リマセス  
○末松至奎 西尾君——一寸西尾君ニ御注  
意シマスガ、厚生大臣ハ十二時カラ臨時閣議  
ニ御出席ニナル豫定デスカラ、若シ厚生大  
臣ニ對スル御質問ガアリマシレバ一番先ニ  
簡單ニ願ヒマス

○西尾委員 私人豫算總會ニ於キマシテ一  
切ノコトハ分科會ニ讓ルト云フコトデ、一  
切ノコトヲ此ノ分科會ニ讓ツテ置キタイ  
ス、其ノ時ニ大綱ヲ申上ゲマシタコトハ、  
今日勞働者自身ニ對シテ高度國防國家ノ  
見地カラ勞働者ノ擔ツテ居ル責任ノ如何ニ  
重大デアルト云フコトヲ勞働者自身ニ自  
覺セシメルコトガ非常ニ重要デアルト云  
フ一點ト、勞働者ヲ自覺セシメルハ全國モ  
社會モ道ヲ以テシナケレバイカス、ソレヲ遇  
スルニ道ヲ以テシナケレバイカス、ソレヲ遇  
ト申上ゲテ置キタイデアリマシタガ、只今  
ノ井上君ノ御質問ニ對シテ大臣ガ御答辯ニ  
ナツタ趣旨其ノ儘ヲ擴大シ、演譯致シマス  
レバ、私ノ質問ノ要旨ニ合致スルノデアリマ  
ス、即チ今日幾多ノ不自由ヲ勞働者ハ致シ  
居ルノデアリマスガ、ナゼコトナ不自由ヲ  
シナケレバナラヌカ、政府モ亦極力出來ル  
ダケノコトハヤツテ居ルノダケレドモ、是  
レ以上ノコトハサウ急ニ中々行カヌト云フ  
云フコトヲ勞働者ニ得心サセル努力ヲシ  
ケレバイカス、ソレガ一點、同時ニ又出來  
ルダケノコトハ勞働者ニ對シテヤラナケレ  
バナラス、斯ウ云フコトニナルノデアリマ  
シテ、ソレニハ色々アリマスケレドモ、唯  
大臣ガ居ラレマスカラ、大臣ニ簡單ニ御尋  
ネ致シタイノデスカ、此ノ際心機ヲ一轉セ  
シメル意味ニ於テ、産業界ノ、殊ニ勞務者

ノ心機ヲ平時體制ノ下ニ於テ勞務行政カラ  
戰時體制ニ遷リ變ルノダト云フヤウニ一  
轉セシメル意味ニ於キマシテ、總理大臣初  
め陸海軍大臣、厚生大臣ハ勿論ノコトデア  
リマスガ、全國ノソレノ工場ナリ鑛山  
ニ出掛ケテ行ツテ、直接私ガ申シマシタヤ  
ウナ自覺ヲ促シ、政府亦眞實ニナツテ勞務  
者ノコトモ考ヘテ居ルノダト云フコトヲ此  
ノ際勞務者ニ直接呼掛ケル必要ガアルト思  
フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ大臣ノ  
御考ヘテ承ツテ置キタイト思フノデアリマ  
ス點、ソレカラ政府トシテハ此ノ困苦ニ耐  
エネバナラヌト云フ理由ヲ能ク説明シテ得  
心サセル爲メ努力ヲ拂ハネバナラヌト云フ  
點、是亦當然ナコトデアリマス、併シ勞務  
者ニ臥薪嘗膽ヲ強ヒルト云フ反面ニハ、政  
府トシテハ出來ル限リコトヲ反シテ之ヲ表  
彰シ、慰安シ、凡ル手段ヲ講セバナラ  
ズト云フ點、是モ亦全然御同感デアリマス、  
例ヘバ道ヲ以テスルト云フ御言葉デアリマ  
シタガ、十分ニ満足ヲ感ズ得ルヤウナコト  
ハ無論出來マセスケレドモ、出來ル限り生  
活ノ安定ヲ圖ルト同時ニ、殊ニ表彰ノ如キ  
ハ意ヲ用フレバ相當ノ程度マデ出來ルコト  
デアリマスカラ、私ハ出來ル限リサウ云フ  
方面ニ力ヲ盡シタイト思ヒマス、尙ホ勞務  
者ノ自覺ヲ促シ、且ツ得心サセル爲メ、工  
場鑛山等ニ出張シテ勞務者ト隔離ナキ話合  
ヒヨシ指導監督シタラ宜イデナイカト云  
フヤウナ御意見モ全然御同感デアリマスガ  
ラ、事情ノ許ス限リサウ云フ方面ニ努力致  
シタイト存ジマス、唯今日マデソレガ出來  
マセスデシタノハ、就任後色々ナ行事等モ

○西尾委員 只今ノ大臣ノ御答辯ニ満足致  
シマシタ、是カラハ御答辯ノ趣旨ヲ如何ニ  
實踐ニ移スカト云フコトガ、吾々モ出來ル  
限リ厚生省ニ御協力申上ゲマスガ、厚生省ト  
シテ來ルト思フノデアリマス、井上君モ迷  
ラレタヤウデアリマスガ、其ノ方針デア  
リマスレバ、色々途ガアルノデアリカ  
ト思フノデアリマス、産業報國會ノ中央ノ  
組織ノコトガ述ベテラレマシタガ、ソレノミ  
ナラス、地方ノ産業報國會ニ機關ニ致シマ  
シテモ、恐ラクハ産業報國會ニ大シタ興味  
モ持タナケレバ、知識モ持ツテ居ナイ、唯  
偶々住友ノ理事デアルトカ、或ハ大會社ノ工  
場主デアルト云フヤウナコトノ爲メ、持ツ  
テ來ルコト云フコトヲヤツテ、眞ニ産業報國  
會ノ爲メ情熱ヲ持ツテ努力シヨウト云フヤ  
ウナ人ハ入レナイ、少クモ産業報國會ノ  
地方ノ幹部ヲ決定スル場合ニ於テモ、是ガ  
勞働者ニ對シテ如何ナル影響ヲ與ヘルカト  
云フコトニ對シテ十分ニ考慮サレテ居ナイ  
ノデアリマス、私ハ厚生省ノ行政ニ於テ非  
常ニ骨ヲ折レコトハ能ク知ツテ居リマス、  
從來厚生省ガマダ社會局ト云フテ居ツタ  
時分カラ、何等カノ進歩的ノ政策ヲヤラウ  
トスルト、ソレガ常ニ強ク抵抗ヲ受テ、色々  
其ノ抵抗ノ爲メ常ニ押シ潰サレテ、色々  
ナ苦心ノ立案モ聞カラ聞ニ難ムラレシマ

フコト云フコトガ從來モ屢、アツタノデア  
リマス、今日私ガ不満足ニ思ツテ居ル點ハ、  
其ノ衝ニ當ツテ居ル者ハ、モツト良イコト  
ヲシタイト思フケレドモ、サウ云フ抵抗ニ  
遭ツテ出來ヌ點ガアラウト思フノデアリマ  
ス、併シ私ハ今マデノコトハ言ハヌノデア  
リマスガ、斯ウ云フ非常ニ重大ナ時局ニナ  
ツテ來タノデアリマスカラ、是ハ平時對  
策——私ハ特ニサウ言フノデアリマスガ、今  
マデノ勞働對策ハ平時對策デアリマシテ、  
戰時對策ニナツテ居ラスト思フノデアリマ  
ス、斯ウ云フ戰時對策ヲ樹立スルノヲ轉機  
ト致シマシテ、此ノ際地方ノ産業報國會ノ  
組織等モ思ヒ切ツテ變ヘテ行ク、一歩前進  
スルト云フコトガ必要デアリカ、ソレニハ  
今日工場ニ於テ青年職工ガ色々働イテ居  
リマスガ、彼等ハ單ニ段々給料ガ上ツテ行  
クダケデナク、自分等ガ段々腕ヲ磨イテ行  
クト云フ、將來ニ對スル光明ヲ示スト云フ  
トガ必要デアツテ、今日青年職工ノ陶冶ニ  
各方面トモ非常ニ苦心シテ居ルノデアリマ  
スガ、ソレニモ重要ナ影響ヲ與ヘルノデア  
リマスカラ、此ノ點當局ニ於テモ亦氣持ヲ  
新タニスルト云フ意味ニ於テ、モツト強ク  
進んで實ヒタイト思フノデアリマスガ、此  
ノ點ニ關スル大臣ノ御意見ヲ承リタイノデ  
アリマス

○兒玉政府委員 産業勞働政策ノ上ニ於テ、  
單ニ當面ノ戰時對策ニ止マラズ、平時對  
策トシテ恒久的ノコトヲ考ヘル、勞務者ガ  
將來ニ對スル向上ノ光明ヲ持ツヤウナコト  
ヲ考ヘナケレバイカナイト云フ御意見ハ、  
全ク同感デアリマス、産業報國會ノ運動ハ戰  
時對策デアリマスガ、唯單ニ目前ノ戰時











專門學校ヲ設置セント致シマスルト、青少年學徒ニ對シテ體操教育ノ徹底ヲ圖リマスルガ爲メ、集團勤務及ビ滑空訓練等ノ指導施設ヲ講シマスルト同時ニ、體育ニ關スル獎勵施設ヲ講ゼント致シマスルト、昭和十四年度以來青年勤務奉仕隊ヲ組織シ、學生生徒及ビ一般青年ヲ大陸ニ派遣致シマスルガ、尙ホ之ヲ繼續スルノ必要ガアリマスルト、學校生徒ノ疾病ヲ豫防シ、健康ヲ増進セシメマスルハ洵ニ緊要ノコトト存ジマスルノデ、直轄諸學校及ビ公立高等專門學校等ニ於キマスル生徒ノ身體検査ヲ強化致シマスルト共ニ、師範學校ニ對シテハ、保健施設ニ必要ナル設備費ノ一部ヲ補助セント致シマスルト、從來ヨリ實施シテ參リマシタル學齡兒童ノ營養給食施設ハ、尙ホ之ヲ繼續實施スルノ必要ガアリマスルト、虛弱兒童ノ増加著シキ現狀ニ鑑ミマシテ、國民學校ニ營養學校ヲ設置セシメ、營養指導、健康訓練、健康診査等ヲ行ハシメ、是等兒童ノ健康ノ保持増進ヲ圖リマスル一方、結核ノ發生防止ニ努メマスルガ爲メ、之ニ要スル經費ノ一部ヲ補助セント致シマスルト、國民學校教員ノ健康保全ヲ圖リマスルト共ニ、就學兒童ノ疾病防止ニ萬全ヲ期スルノ必要ガアリマスルノデ、國民學校教員ニ對シテ、特別健康診察施設ヲ講ゼント致シマスルトノ爲メ、是等ノ經費百七十七萬千餘圓ヲ計上致シタノデアリマス

第七八私立大學補助ノ増加ニ要スル經費デアリマス、大正大學ニ對シマシテ、新タニ補助金ヲ交付セント致シマスルノデ、此ノ經費一萬圓ヲ計上致シタノデアリマス、而シテ本費ハ總額二十五萬圓デアリマシテ、本年度以降十六箇年度ニ互リ支出スルモノデアリマス

第八九社會教育振興ニ關スル經費デアリマス、近時ノ社會情勢ニ鑑ミマシテ、健全ナル家庭教育施設ヲ講ズル等ノ必要ガアリマスルト、國民教育ノ徹底ヲ圖ルノ必要ガアリマスルトノデ、是ガ指導施設ヲ擴張セント致シマスルトノ爲メ、是等ノ經費二十九萬圓ヲ計上致シタノデアリマス

第九〇氣象機關ノ整備擴充ニ關スル經費デアリマス、航空並ニ軍事上氣象觀測施設ノ整備擴充ヲ圖ルノ必要ガアリマスルノデ、昭和十三年度以來逐年之ヲ擴張シテ參リマシマスルガ、尙ホ是ガ整備ヲナスノ必要ガアリマスルノデ、此ノ經費二百二十八萬七千餘圓ヲ計上致シタノデアリマス

其ノ外特別會計ニ於キマシテハ、大學及ビ學校ニ於ケル各種研究施設ノ新設擴充ヲ行ヒマシテ、現下ノ時局ニ最モ緊要ナル學術ノ振興ヲ圖リマスルト同時ニ、東北帝國大學ニハ抗酸菌研究所ヲ設置致シマスルト、京都帝國大學ニ於テハ、理學部化學科學生ヲ、北海道帝國大學ニ於テハ、理學部學生ヲ、北海大學ニ於テハ、理學部學生ヲ、ソレノ増募セント致シマスルト、高等師範學校及ビ女子高等師範學校ニ於ケル生徒ヲ増募致シマスルト、東京農業教育專門學校及ビ東京高等師範學校園藝手工科ノ修業年限ヲ延長致シマスルト、外國語學校ニ於テハ、言語部ヲ設置致シマスルト共ニ、露語部ノ生徒ヲ増募致シマスル等、諸般ノ施設ヲ講ジマスルノ爲メ、是等ノ經費計上致シタノデアリマス

以上ハ昭和十六年度文部省所管豫算ノ大要ニ付キマシテ申述ベマシタ次第デアリマス

○末松圭章 北陸吉君  
○北陸委員 只今ノ文部大臣ノ昭和十六年度ノ文部省關係ノ豫算ノ説明ニ於キマシテ、時局ニ關スル幾多ノ必要ナル施設ガナサレツアルコトヲ知リマシテ、意ヲ強ウシタノデアリマスガ、此ノ豫算ノ細目ノ審議ニ入ルニ先ダチマシテ、二ツバカリ重要ナル問題ニ付テ御質問ヲ致シタノ思ヒマス

○橋田國務大臣 大政翼贊會ノ青年部ノ補助機關デアリマス以上ハ、大政翼贊會其ノモノガ補助機關デアリマス以上ハ、翼贊會ノ青年部モ亦補助機關デアリマス以上ハ、文部省ノ指導ニ從ツテ活動スルヨリ外餘地ガナイト斯ウ解釋サレテ宜イと思ヒマスガ、唯文部大臣ノ指導スル事項以外ハ少シ不明瞭ダト思フノデ、寧ろ文部大臣ノ指導ニ從ツテ下働キノ仕事ヲスルモノデアルト云フコトヲハッキリ一ツ御述ベ願ヒタノ思ヒマス

ガ全責任ヲ帶ビテ一切ヲナルノデアリマス

○北陸委員 只今ノ文部大臣ノ御答辯デ満足致シマス、其ノ方針デ飽タマデモ徹底シテ戴キタノ希望致シマス

第二ノ私ノ承リタイ問題ハ、日本學生協會ノ運動デアリマスルガ、私ハ此ノ問題ヲ極メテ重大視致シテ居ル一人デアリマス、一時學生間ニハ「デモクラシー」ノ思想更ニ進シテ「マルキシズム」ノ思想ガ可ナリ強ク働イテ居ツタヤウニ思フノデアリマスガ、滿洲事變以來サウ云フ運動ガ段々下火ニナリ、思想傾向モ大分善クナツタと思フト共ニ、學生ガ時局ニ對シテ何事モ受身ニナリ、無氣力ニナリ、動モスレバ懷疑ノニナツテ、第三者的ノ批判ノ態度ヲ執ル傾向ガアツタヤウデゴザイマス、青年ノ意氣ガ旺シクシテ居ルナラヌニ斯ウ云フ傾向デハ數カハシイト實ハ思フテ居リマシタ所ガ、近來一部ノ學生ガ日本學生協會ト云フモノヲ作りマシテ、活潑ナル思想運動ヲ起シテ居リマス、數年前ニ其ノ代表者ナル者ガ來マシテ、運動ノ動機、性質ニ付テ私ハ意見ヲ聽キマシタ、又最近ニナリマシテ是等ノ學生ノ訪問ヲ受ケマシテ、彼等ノ信ズル所、是カラナサントスル所ヲ聽イテ、實ハ私共ノ學生ニ對スル認識ガ少シ誤ツテ居ツタ、是ハ一種ノ思想的ノ維新運動ノ初メデハナイカ、斯ウ考ヘタノデアリマス、ソレ共ニ斯ウ云フ運動ニ動モスレバ附屬ヒ易イ、學生ノ本分ヲ離レ、常軌ヲ逸スルヤウナコトハナカラウカト云フ心配ガアツタノデ、私トシテハ相當此ノ問題ヲ深刻ニ考ヘタノデアリマス、文部省側ト致シマシテ、第一ニ此ノ日本學生協會ノ運動ハ、如何ナル動機ニ依ツテ發生シタト御認めニナツテ居リマスガ、

此ノ動機ノ認識ガ十分デナイト文部省ノ之ニ對スル對策モ亦當ヲ得ナイ結果ニナルノデアリマスガ、其ノ動機ニ付テ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○橋田國務大臣 日本學生協會ノ組織サレマシタル動機ト致シマシテハ、今御話ノ通り從來動モスレバ學生ノ思想動向ニ其ノ動搖ヲ見、或ハ確乎タル方針ガ定マツテ居ナイト云フコトヲ是正センガ爲メ、修練ヲ旨トスル學生運動トシテ組織サレタノガ動機デアルト考ヘマス

○北陸委員 文部大臣ノ御答ヘデハ、學生ニ信念思想ノ動搖ガアツテ、確乎タル立場ガナイノヲ憂ヒテサウ云フ確乎タル立場ヲ求メンガ爲メ生ジタト云フ御説明デアリマス、大體私モサウ考ヘテ居リマス、所ガ此ノ運動ハ可ナリ深刻ニ是カラ發展シテ行ク可能性ガアルト私ハ思フ、丁度「ドイツ」ノ統一ガ十分出來ナイ前ニ「オーストリア」ノ支配ヲ受ケテ居ツテ、「ドイツ」國內ガ封建的ニ分裂シテ居ル、所謂「メテルニヒ」ガ分割シテ支配スルト云フ政策ヲ執ツテ、「ドイツ」ハ長ラク不統一ニ苦シンデ居リマシタ、其ノ時「ドイツ」ノ學生運動ガ起キマシテ、是デハイカスト、自由ト統一ト云フコトヲ標語ニシテ立ツタ、其ノ自由ト云フハ御承知ノ如ク「オーストリア」ノ羈絆ヲ脱シヨウ、統一ト云フコトハ分裂シテ居ル封建的「ドイツ」ヲ清算シテ、統一國家ヲ作ラウト云フノデアリマス、當局ノ凡ニ爾彈壓ニモ拘ラズ此ノ運動ガ遂ニ燎原ノ火ノ如ク普及シマシテ、近代「ドイツ」ノ作用ヲナツタト云フコトハ、「ドイツ」ノ歴史ヲ研究シ、更ニ「ドイツ」ノ大學ノ歴史ヲ研究シテ者ハ何人モ知ツテ居ル所デアリマスガ、私ハ此ノ日本

メルコトニ依ツテ將來大政翼贊會ノ活動ト政府各官廳ノ活動トノ間ノ相剋摩擦ヲ生ズルコトヲ未然ニ防ギ得ルト信ジマス、職域奉公ト言ヘバ各職域ノ範圍ヲ守ツテ全責任ヲ以テ其ノ責任ヲ果スト云フコトデアリマスルノデ、是非非常重要ナル問題デアルト思ヒマスルカラ、大政翼贊會青年部ノ青年ニ對スル指導及ビ文部省ノ學生及ビ生徒ニ對スル指導ノ見解ノ相違並ニ其ノ後ノ經過及ビ結論ヲ具體的ニ御話サレバ洵ニ結構デアルト思ヒマス

○橋田國務大臣 大政翼贊會ノ青年部ノ方針ト、文部省ノ青年部並ニ學生生徒指導ニ關スル方針トノ間ニ何等カノ摩擦ガアツタヤウニ新聞ナドヘ一寸出タコトガゴザイマスガ、是ハ當初カラ實ハ摩擦ハナイノデゴザイマシテ、新聞ニ出マシタノハ唯青年部ノ方ノ何カ策ヲシテ居ル人ノ意見ガ一寸漏レタケニ過ギナイノデゴザイマシテ、上層部ト文部省ノ當局トノ間ニ於キマシテハ初メカラ青年部ニ新タニ組織サレマシテ文部大臣ノ統率致シマスル青年團、學校生徒ノ訓育指導ノ全責任ヲ文部省ガ帶ビルト云フ意味ニ於テ大政翼贊會モ全然承認致シテ居ルノデゴザイマス、大政翼贊會ノ青年部指導ノ根本方針ハマダ其ノ後十分確立シテ居ルカドウカ存ジマセマスガ、若シ青年部ト云フモノニ於テ何カラシヨウトニスルナラバ、文部省ノ監督シナイ部分ノモノニ對シテ適當ナ措置ヲ講ジヨウトシテ居ルノダト存スルノデゴザイマシテ、大政翼贊會カラノ直接指導ニ依ツテ學生生徒及ビ青年團ハ動カサレルモノデアナイコトヲハッキリ申上ゲテ置キマス



專門學校ヲ設置セント致シマスルト、青少年學徒ニ對シマシテ體操教育ノ徹底ヲ圖リマスルガ爲メ、集團勤務及ビ滑空訓練等ノ指導施設ヲ講ジマスルト同時ニ、體育ニ關スル獎勵施設ヲ講ゼント致シマスルト、昭和十四年度以來青年勤務奉仕隊ヲ組織シ、學生生徒及ビ一般青年ヲ大陸ニ派遣致シマシテ、現地訓練ヲ施シテ參ツトデアリマスルト、尙ホ之ヲ繼續スルノ必要ガアリマシト、學校生徒ノ疾病ヲ豫防シ、健康ヲ増進セシメマスルハ洵ニ緊要ノコトト存ジマスルノデ、直轄諸學校及ビ公立高等專門學校等ニ於キマスル生徒ノ身體檢査ヲ強化致シマスルト共ニ、師範學校ニ對シマシテハ、保健施設ニ必要ナル設備費ノ一部ヲ補助セント致シマスルト、從來ヨリ實施シテ參リマシタル學齡兒童ノ營養給食施設ハ、尙ホ之ヲ繼續實施スルノ必要ガアリマシト、尙ホ學齡兒童ノ増加著シキ現狀ニ鑑ミマシテ、國民學校ニ營養學級ヲ設置セシメ、營養指導、健康訓練、健康診査等ヲ行ハシメ、是等兒童ノ健康ノ保持増進ヲ圖リマスル一方、結核ノ發生防止ニ努メマスルガ爲メ、之ニ要スル經費ノ一部ヲ補助セント致シマスルト、國民學校教員ノ健康保全ヲ圖リマスルト共ニ、就學兒童ノ疾病防止ニ萬全ヲ期スルノ必要ガアリマスルト、國民學校教員ニ對シマシテ、特別健康診察施設ヲ講ゼント致シマスルトノ爲メ、是等ノ經費百七十七萬千餘圓ヲ計上致シタデアリマス

第七八私立大學補助ノ増加ニ要スル經費デアリマス、大正大學ニ對シマシテ、新タニ補助金ヲ交付セント致シマスルト、此ノ經費一萬圓ヲ計上致シタデアリマス、而シテ本費ハ總額二十五萬圓デアリマシテ、本年度以降十六箇年度ニ互リ支出スルモノデアリマス

第八ハ社會教育振興ニ關スル經費デアリマス、近時ノ社會情勢ニ鑑ミマシテ、健全ナル家庭教育施設ヲ講ズル等ノ必要ガアリマスルト、融和及教育ノ徹底ヲ圖ルノ必要ガアリマスルト、是ガ指導施設ヲ擴張セント致シマスルトノ爲メ、是等ノ經費二十九萬圓ヲ計上致シタデアリマス

第九ハ氣象機關ノ整備擴充ニ關スル經費デアリマス、航空並ニ軍事上氣象觀測施設ノ整備擴充ヲ圖ルノ必要ガアリマスルト、昭和十三年度以來逐次之ヲ擴張シテ參ツタデアリマスルガ、尙ホ是ガ整備ヲナスノ必要ガアリマスルト、此ノ經費二百二十八萬七千餘圓ヲ計上致シタデアリマス

其ノ外特別會計ニ於キマシテハ、大學及ビ學校ニ於ケル各種研究施設ノ新設擴充ヲ行ヒマシテ、現下ノ時局ニ最モ緊要ナル學術ノ振興ヲ圖リマスルト同時ニ、東北帝國大學ニハ抗酸菌研究所ヲ設置致シマスルト、又京都帝國大學ニ於テハ、理學部化學科學生ヲ、北海道帝國大學ニ於テハ、豫科生徒ヲ、文理科大學ニ於テハ、理科學生ヲ、ソレハ、培養セント致シマスルト、高等師範學校及ビ女子高等師範學校ニ於ケル生徒ヲ培養致シマスルト、東京農業教育專門學校及ビ東京高等師範學校圖書工科ノ修業年限ヲ延長致シマスルト、外國語學校ニ於テハ、言語部ヲ設置致シマスルト共ニ、露語部ノ生徒ヲ培養致シマスル等、諸般ノ施設ヲ講ジマスルノ爲メ、是等ノ經費ヲ計上致シタデアリマス

以上ハ昭和十六年度文部省所管豫算ノ大要ニ付キマシテ申述セマシタ次第デアリマス

○末松圭彦 北陸吉君

○北陸委員 八只今文部大臣ノ昭和十六年度ノ文部省關係ノ豫算ノ說明ニ於キマシテ、時局ニ關スル幾多ノ必要ナル施設ガナカレツアルコトヲ知リマシテ、意ヲ強ウシタデアリマスガ、此ノ豫算ノ細目ノ審議ニ入ルニ先ダチマシテ、二ツバカリ重要ナル問題ニ付テ御質問ヲ致シタト思ヒマス

第一ハ御承知ノ如ク新國內體制ト致シマシテ大政翼賛會ガ發生シ、其ノ中核體トシテ大政翼賛會ガ發生レタデアリマスルガ、此ノ大政翼賛會ノ性質ガ極メテ不明確デ、此ノ議會ノ論議ノ的トモナツタデアリマスルガ、今マデノ中デ明確ニナツタ點ハ、大政翼賛會ナルモノハ政府並ニ議會ノ補助機關トシテ活動スルモノデアアル、又不明確ナル點ハ、活動ノ性格デアリ、補助機關トシテ活動スル内容ハ、今マデ明確ニナリマシトデアリマスルガ、今マデ明確ニナリマシタダケテ基礎ニシテ考ヘテ見マシテモ、文部省ノ學生並ニ生徒ニ對スル指導ト云フコトト、大政翼賛會ノ青年部ノ青年指導、隨テ又青年ノ中ニ含マルベキ學生生徒ノ指導ト云フコトニ付テ、相當意見ノ對立ガアツト云フコトヲ新聞紙上デ承知致シテ居リマス、其ノ後何等カ又解決ニ達シタト云フコトモ新聞紙上見致シタデアリマスルガ、レドモ、ドウモ其ノ關係ガハツキリ分リマセズ、私個人ト致シマシテハ、文部省ハ官私ノ學校ノ學生並ニ生徒ニ付テ全責任ヲ以テ指導スベキモノデアアル、文部省側ノ見解ヲ是トスルモノデアリマスルガ故ニ、此ノ問題ヲ十分究メテ置キタイ、此ノ問題ヲ究

○北陸委員 只今ノ文部大臣ノ御答辯ニ満足致シマス、其ノ方針ト他クマデモ徹底シテ戴キタイト希望致シマス

第二ニ私ノ承リタイ問題ハ、日本學生協會ノ運動デアリマスルガ、私ハ此ノ問題ヲ極メテ重大視致シテ居ル一人デアリマス、一時學生間ニハ「モラルラシー」ノ思想、更ニ進シテハ「マルキシズム」ノ思想ガ可ナリ強ク働イテ居ツタヤウニ思フデアリマスガ、滿洲事變以來ヤウ云フ運動ガ段々下火ニナリ、思想傾向モ大分善クナツタト思フト共ニ、學生ガ時局ニ對シテ何事モ受身ニナリ、無氣力ニナリ、動モスレバ懷疑ニナツテ、第三者ノ批判ノ態度ヲ執ル傾向ガアツタヤウデゴザイマス、青年ノ意氣ガ旺ンデナカレバナラスノニ斯ウ云フ傾向デハ數カハシト實ハ思フテ居リマシタ所ガ、近來一部ノ學生ガ日本學生協會ト云フモノヲ作りマシテ、活潑ナル思想運動ヲ起シテ居リマス、數年前ニ其ノ代表者ナル者ガ來マシ、運動ノ動機、性質ニ付テ私ハ意見ヲ聴キマシタ、又最近ニナリマシテ是等ノ學生ノ訪問ヲ受ケマシテ、彼等ノ信ズル所、是カラナサントスル所ヲ聴イテ、實ハ私共ノ學生ニ對スル認識ガ少シ誤ツテ居ツタ、是ハ一種ノ思想的ノ維新運動ノ初メデハナイカ、斯ウ考ヘタデアリマス、ソレト共ニ斯ウ云フ運動ニ動モスレバ附纏ヒ易イ、學生ノ本分ヲ離レ、常軌ヲ逸スルヤウナコトハナカラウカト云フ心配ガアツタノデ、私トシテハ相當此ノ問題ヲ深刻ニ考ヘタデアリマス、文部省側ト致シマシテ、第一ニ此ノ日本學生協會ノ運動ハ、如何ナル動機ニ依ツテ發生シタト御認メナツテ居リマスガ、

此ノ動機ノ認識ガ十分ナイト文部省ノ之ニ對スル對策モ亦當ラナイ結果ニナルデアリマスガ、其ノ動機ニ付テ御所見ヲ承リタイデアリマス

○橋田國務大臣 日本學生協會ノ組織サレマシタル動機ト致シマシテハ、今御話ノ通り從來動モスレバ學生ノ思想動向ニ甚ダ動搖ヲ見、或ハ確乎タル方針ガ定マツテ居ナイト云フコトヲ是正センガ爲メ、修練ヲ旨トスル學生運動トシテ組織サレタガ動機デアルト考ヘマス

○北陸委員 文部大臣ノ御答ヘデハ、學生ニ信念思想ノ動搖ガアツテ、確乎タル立場ガナイノヲ憂ヒテサウ云フ確乎タル立場ヲ求メンガ爲メ生ジタト云フ御説明デアリマス、大體私モサウ考ヘテ居リマス、所ガ此ノ運動ハ可ナリ深刻ニ是カラ發展シテ行ク可能性ガアルト私ハ思フ、丁度「ドイツ」ノ統一ガ十分出來ナイ前ニ「オーストリア」ノ支配ヲ受ケテ居ツテ、「ドイツ」國內ガ封建的ニ分裂シテ居ル、所謂「メッテルニヒ」ガ分割シテ支配スルト云フ政策ヲ執ツテ、「ドイツ」ハ長ラク不統一ニ苦シンデ居リマシタ、其ノ時「ドイツ」ノ學生運動ガ起キマシテ、是デハイカニト自由ト統一ト云フコトヲ標語ニシテ立ツタ、其ノ自由ト云フノハ御承知ノ如ク「オーストリア」ノ聯邦ヲ脱シヨウ、統一ト云フコトハ分裂シテ居ル封建的「ドイツ」ヲ清算シテ、統一國家ヲ作ラウト云フノデアツテ、當局ノ凡ニ爾彈壓ニモ拘ラズ此ノ運動ガ遂ニ燎原ノ火ノ如ク普及シマシテ、近代「ドイツ」ヲ作ル源ニナツタト云フコトハ、「ドイツ」ノ歴史ヲ研究シ、更ニ「ドイツ」ノ大學ノ歴史ヲ研究シタ者ハ何人モ知ツテ居ル所デアリマスガ、私ハ此ノ日本

メルコトニ依ツテ將來大政翼賛會ノ活動ト政府各官廳ノ活動トノ間ノ相如摩擦ヲ生ズルコトヲ未然ニ防ギ得ルト信ジマス、職域奉公ト言ハバ各職域ノ範圍ヲ守ツテ全責任ヲ以テ其ノ責任ヲ果スト云フコトデアリマスルノデ、是非非常ナ重要ナル問題デアルト思ヒマスルカラ、大政翼賛會青年部ノ青年ニ對スル指導及ビ文部省ノ學生及ビ生徒ニ對スル指導ノ見解ノ相違並ニ其ノ後ノ經過及ビ結論ヲ具體的ニ御話サレバ洵ニ結構デアルト思ヒマス

○橋田國務大臣 大政翼賛會ノ青年部ノ方針ト、文部省ノ青年部並ニ學生生徒指導ニ關スル方針トノ間ニ何等カノ摩擦ガアツタヤウニ新聞ナドヘ一寸出タコトガゴザイマスガ、是ハ當初カラ實ハ摩擦ハナイノデゴザイマシテ、新聞ニ出マシタノハ唯青年部ノ方ノ何カ畫策ヲシテ居ル人ノ意見ガ一寸漏レタダケニ過ギナイノデゴザイマシテ、上層部ト文部省ノ當局トノ間ニ於キマシテハ初メカラ青年部——新タニ組織サレマシテ文部大臣ノ統率致シマスル青年團、學校生徒ノ訓育指導ノ全責任ヲ文部省ガ帶ビルト云フ意味ニ於テ大政翼賛會モ全然承認致シテ居ルノデゴザイマス、大政翼賛會ノ青年部指導ノ根本方針ハ、マダ其ノ後十分確立シテ居ルカドウカ存ジマセマスガ、若シ青年部ト云フモノニ於テ何カラシヨウトスルナラバ、文部省ノ監督シナイ部分ノモノニ對シテ適當ナ措置ヲ講ジヨウトシテ居ルノダト存ズルノデゴザイマシテ、大政翼賛會カラノ直接指導ニ依ツテ學生生徒及ビ青年團ハ動カサレルモノデアナイコトヲハツキリ申上ゲテ置キマス

○北陸委員 只今ノ文部大臣ノ御答辯デ

大體文部省ノ方針ヲ諒得致シマシタ、大政翼賛會ガ政府ノ補助機關デアルト云フ以上ハ、文部大臣ノ監督セザル事項ニ付テ大政翼賛會ガ青年部並ニ學生生徒ヲ扱フコトハアルカモ知ラヌト云フコトデアリマスルガ、大政翼賛會其ノモノガ補助機關デアル以上ハ、翼賛會ノ青年部モ亦補助機關デナクテハナイ、サウスレバ文部省ノ命令ヲ奉ジ、文部省ノ指導ニ從ツテ活動スルヨリ外餘地ガナイト斯ウ解釋サレテ宜イト思ヒマスガ、唯文部大臣ノ指導スル事項以外デハ、少シ不明瞭ダト思フノデ、寧ロ文部大臣ノ指導ニ從ツテ下働キノ仕事ヲスルモノデアルト云フコトハツキリ一ツ御述べ願ヒタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 先刻申上ゲマシタノハ其ノ趣旨デアリマシテ、文部省ガ全責任ヲ負ツテ青年團及ビ學生生徒ヲ指導教育シテ參ツテデゴザイマス、其ノ間ニ文部省ノヤリマシタコトニ付テ或ハ何カ向フデ斯ウシタラバ宜イノデハナイカト云フヤウナコトデモアツタ時ニハ、一應コトヲ注意ラシテ吳レト云フコトハ是ハ無論快ク其ノ趣意ヲ受取リ積リデゴザイマス、文部省ハ全責任ヲ帶ビテ教育全體ヲ掌ル積リデ居リマス、ソコデ唯文部大臣ノ團長トシテ統率シテ居リマスル青年團ガ年齢二十歳マデデゴザイマスカラ、二十歳以下ノ青年ニシテ學校ニ入ラナイ、或ハ在郷軍人會ト云フヤウナモノニ入ラナイ者デ、ヤハリ一種ノ團體ヲ組織シナケレバナラスモノガアツテ、ソレニ依ツテヤハリ社會教育ト云フ方面ヲ補ツテ行ク必要ガアル場合ニハ、専ラ大政翼賛會ノ青年組織デソレヲ實行スル組織ニナラウカト思フテ居ルノデアリマス、吾々ノ與カツテ居リマスルモノニ付キマシテハ全タ文部省

ガ全責任ヲ帶ビテ一切ヲヤルノデアリマス

○北陸委員 只今ノ文部大臣ノ御答辯ニ満足致シマス、其ノ方針ト他クマデモ徹底シテ戴キタイト希望致シマス

第二ニ私ノ承リタイ問題ハ、日本學生協會ノ運動デアリマスルガ、私ハ此ノ問題ヲ極メテ重大視致シテ居ル一人デアリマス、一時學生間ニハ「モラルラシー」ノ思想、更ニ進シテハ「マルキシズム」ノ思想ガ可ナリ強ク働イテ居ツタヤウニ思フデアリマスガ、滿洲事變以來ヤウ云フ運動ガ段々下火ニナリ、思想傾向モ大分善クナツタト思フト共ニ、學生ガ時局ニ對シテ何事モ受身ニナリ、無氣力ニナリ、動モスレバ懷疑ニナツテ、第三者ノ批判ノ態度ヲ執ル傾向ガアツタヤウデゴザイマス、青年ノ意氣ガ旺ンデナカレバナラスノニ斯ウ云フ傾向デハ數カハシト實ハ思フテ居リマシタ所ガ、近來一部ノ學生ガ日本學生協會ト云フモノヲ作りマシテ、活潑ナル思想運動ヲ起シテ居リマス、數年前ニ其ノ代表者ナル者ガ來マシ、運動ノ動機、性質ニ付テ私ハ意見ヲ聴キマシタ、又最近ニナリマシテ是等ノ學生ノ訪問ヲ受ケマシテ、彼等ノ信ズル所、是カラナサントスル所ヲ聴イテ、實ハ私共ノ學生ニ對スル認識ガ少シ誤ツテ居ツタ、是ハ一種ノ思想的ノ維新運動ノ初メデハナイカ、斯ウ考ヘタデアリマス、ソレト共ニ斯ウ云フ運動ニ動モスレバ附纏ヒ易イ、學生ノ本分ヲ離レ、常軌ヲ逸スルヤウナコトハナカラウカト云フ心配ガアツタノデ、私トシテハ相當此ノ問題ヲ深刻ニ考ヘタデアリマス、文部省側ト致シマシテ、第一ニ此ノ日本學生協會ノ運動ハ、如何ナル動機ニ依ツテ發生シタト御認メナツテ居リマスガ、

學生協會ノ運動モ、惡クスレバトシテモナイ説法の行爲マデ行キハシナイカト云フコトヲ憂ヘルト共ニ、良クスレバ「ドイツ」ノ大學學生ノ運動ノヤウニナリハシナイカ、勿論日本ハ其ノ當時「ドイツ」トハ違ツテ、外國ノ支配ヲ受ケテ居リマセマス、又「ドイツ」ガ封建制度ニ苦シンダヤウナ事態ヲ持ツテ居リマセマス、併シナガラ何ト云ツテモ世界ノ政局ノ變化ガ激シク、色々ノ思想ガ流レ込ンデ、本來ノ日本ノ姿ガ晦マサレテ、平沼内務大臣モ、革新ト云フノハ日本精神ニ疊リガ掛ツテ居ルノヲ取除クコトデアアル、鑄ノ附イテ居ルノヲ拂除ケルコトデアアル言ツテ居リマスガ、サウ云フ意味ノ革新ハ日本ニ起キナケレバナラナイ、單ニ制度ヲ機構ヲ變ヘルダケデハ魂ガナイノデ、本當ハ青年カラ日本精神ノ眞髓ニ目覺メテ運動ガ起キテ來ナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテ、文部當局トシテハ其ノ眞ノ精神ヲ生カシテ、サウシテ行動ノ常軌ヲ逸シナイヤウニ對策ヲ講ジナケレバナラス、唯ノ彈壓ダケデハ此ノ運動ハ收マナラセズ、又收メタ所ガ國家ノ爲ニ必ズシリマセズ、又收メタ所ガ國家ノ爲ニ必ズシモ喜バシイコトデアナイト思ヒマスガ、文部省ハ此ノ眞ノ精神ヲ生カシ、而モ學生ノ行動ガ常軌ヲ逸セザルヤウニ對策ヲ講ズベキデアリマスガ、如何ナル對策ヲ持合ハセガアリマセウカ、其ノ大體ノ御方針ヲ承リタイ

○橋田國務大臣 御趣旨全ク同感デゴザイマシテ、根本ノ動機ニ付キマシテハ、文部省ニ於テモ同様ナ趣旨ヲ以テ學生ノ精神ヲ鍛鍊シ、信念ヲ養成サシタイト云フコトハ、全面的ニ希望シテ居ル次第デゴザイマス、唯此ノ際ニ於キマシテ、先程モ御話ノアリマシタ通り、職分ヲ守ルト云フ建前ヨリ逸



設ルコトガナイヤウニ、切ニ戒防シナケレバナラヌノデアリマシテ、只今ノ所學生協...

○北(時)委員 文部省ノ取締ノ方針トシテハ、只今ノ御答ヘ以外ニ出ル譯ニハ行カスト...

教授ト取交ハシタ往復ノ文書ヲ見マシテモ、ドウモ日本ノ官私大學ニ於ケル法學部...

○橋田國務大臣 帝國大學ノ法學部等ニ於キマシテ、思想的ニ甚ダ面白カラザル傾向...

○北(時)委員 文部大臣モ從來大學ノ法學部系統ニ遺憾ナ點ガ非常ニアツテ、次第ニ...

○今(新)委員 教學ノ刷新ニ付キマシテハ、先般本會議ニ於テ近衛首相モ特ニ其ノ...

バ、理論物理ナドガサウデアリマセウシ、數學ナドハ自然科学デアリマセウケレド...

○今(新)委員 能ク分リマシテ、只今ノ大臣ノ教育者ハ自分コソ眞ノ教育者デア...

カラウカ、「マルクス」主義ノ流行モ、階級闘争ノ歴史、中産階級ガ「プロレタリア」階級...

○北(時)委員 文部大臣ノ御説明ハ其ノ點ガマダ十分明カナツテ居リマセウガ、サ...

○今(新)委員 教學ノ刷新ニ付キマシテハ、先般本會議ニ於テ近衛首相モ特ニ其ノ必要ヲ力説セ...

○今(新)委員 能ク分リマシテ、只今ノ大臣ノ教育者ハ自分コソ眞ノ教育者デア...



ル、ガカラ教育者トシテノ自覺ニ立ツコトハ勿論アルケレドモ、教育者其ノ人ノ思想ナリ精神ト云フモノガ反國體ノモノヲ抱イテ居ルヤウナコトガアツテハ飛ンダコトニナル、吾々ガ心配スルノハ其處デアル、文部大臣ニ無學ノ私ガ教育ニ付テ、其ノ方針ガドウデアルトカスウデアルトカ云フヤウナコトヲ申上ゲルノハ釋迦ニ説法デアリマスガ、私ハ教育ノ本旨ト云フモノハ一言ニシテ言ヘバ立派ナ日本人ヲ作ルコトデアリ、立派ナ日本人ヲ作ツテ君國ノ爲ニ役ニ立ツ人間ヲ養成スルノガ、是ガ教育ノ眼目デナケレバナラス、此ノ一言デ盡キテ居ルト思フ、立派ナ日本人ヲ作ルニハドウスルカ、私ハ教育ガ從來ノヤウニ形式ニ流レ、單ナル知識、單ナル技能ノ末ニ走ルコトヲ改メテ、日本人トシテノ魂ヲ養フ、純乎タル日本精神ヲ體得セシメル、一切ノ根本ハ、此處ニアルト思フ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、皇道精神ヲ體得セシメルニアリト思フ、然ルニ拘ラズ、從來ノ教育ト云フモノハサウ云フ線ニ沿ツテ居ラナカッタ、偶ハ先程帝國大學ノ問題ガ北君ノ口カラ出マシタカラ、私モ其ノ點ニ付テ御尋ね致シタイト思ヒマスガ、吾々ノ聞ク所ニ依レバ、今日ノ帝國大學ナント云フモノハ、多額ノ國帑ヲ費シテ、何ノ爲ニアラヌ云フ大學ノ國家ガ設立サシテ置クノカ分ラナイ、帝國大學ノアノ費用ト云フモノハ、國民ガ營營々トシテ汗水流シタ税金カラ出テ居ル、帝國大學ノ設立ノ目的ト云フモノハ、國家有用ノ人材ヲ養成スルニアルコトハ言フマデモナイ、然ルニ大正以來今日マデ、或ハ「マルクス」ダトカ、或ハ「デモクラシー」ダトカ言ツテ、帝國大學ガ殆ド共產主義ノ温床

ニナツテ居ル、本營ニナツテ居ル、尊貴ナル皇祖皇宗ノ御神靈ヲ冒瀆シタリ、尊貴ナル國體ヲ破壊スルヤウナ反國體ノ教師、又ハ其ノ教師ノ説ヲ信ジテ妄動スルヤウナ所謂赤化學生ヲ何處ノ學校カラ一番當局ガ檢査シタカト云ヘバ、帝國大學セウ、斯ウ云フコトニナツテ來ルト、大學ハ國ノ爲ニアルノカ、國ヲ破壊スル爲ニアルノカ、吾々ニハ分ラナイコトニナル、十年、十五年、二十年前ノコトチヤナイ、是ハ當局ノ方デモ御調ベガアルト思フケレドモ、現ニ昨年ノ秋モ經濟學部ノ學生ガ六七名檢査サレテ居ル、此ノ戰時下ニ於テ、一億一體、全ク已レテ空シウシテ君國ニ御奉公申上ゲナケレバナラナイ此ノ非常時局ニ最高學府ニ身ヲ置ク學生ガ赤化ノ嫌疑ヲ以テ大學校カラ檢査セラレタ何タルコトデアラ、近衛サシモ、先ツ生徒ヲ導カントスルニハ教師其ノモノガ責任ヲ重シクシテ、己レガ道ニ生キナケレバナラナイト云フコトヲ言ハレテ居リマスケレドモ、一體サウ云フ赤化學生ヲ帝國大學カラ出シタコト云フ原因ハ何處ニアルカ、ソレハ先生ガ惡イデセウ、先生ガサウ云フ赤化思想ヲ吹込ムカラ、此ノ教師カラハツタ學生ハサウ云フ反國體ノ思想ヲ持ツ、ガカラハ生徒ヲ製造シタ製造元ノ教師ヲ處分シナケレバナラス、ソレヲ等閑ニ付スト云フコトデハ何時ニナツテモ教學ノ刷新ハ絕對ニ出來ナイ、此ノ點ニ對スル文部大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

本人ヲ養成スルト云フコト以外ニ吾々ノ言フ教育ト云フコトハナイデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ、教育者ト云フコトハ眞ニ日本人タルノ自覺ヲ持ツ者デナケレバ教育者タルノ資格モナイコトハ申スマデモナイコトデアリマス、東京帝國大學ニ於キマシテ、赤化學生ガ赤化ノ嫌疑ヲ以テ檢査サレマシタ事實ハ其ダ恐縮ニ堪ヘナイ、又遺憾千萬ニ存スルノデアリマシテ、事態ノ判明スルト共ニ、又ソレニ即應シテ色々畫策シテ居ル所モゴザイマシテ、教師其ノ人ヲ得ルニアラザレバ教育ノ實ハ學ヲナイト云フ建前デ、教學ノ刷新ノ方針ヲ着々進メテ行キタイト考ヘテ居リマス

ト云フノデ、大學ヲ退學ニナツタ、是ガ退學ニナツタ原因ガサウデアリマスガ、思想ニ於テ、學生ヲ心服セシムル誠意モ實力モナク、暴力、強權ヲ以ツテ、學生ヲ退校セシムルガ如キ、實ニ言語道斷デアラ、詳細ヲ論ズル時間ガナイノデ、細カクハ略シマスガ、現實ノ問題トシテ此ノ腐敗シ切ツタ帝國大學ノドウスレバ改革出來ルカト云フコトヲ、文部ノ當局モ吾々モ眞誠ニ國家ノ爲ニ考ヘタイト思ヒマス、學生協會ノ運動ト云フモノハ、自分達ガ教ハツテ居ル先生ノ陰私ヲ發イテ攻撃スルトカ、人身攻撃スルト云フヤウナ道ニ背クコトハ其ノ目的デモナイシ、勿論會テ今日マデ彼等ハサウ云フ行動ニ出タコトハナイ一點タリトモナイ、本當ニ純學術的ニ帝大カラ反國體ノ邪説ヲ一掃シ、健全ナ思想ヲ帝國大學ノ學風ニシタイト云フノガ目的デ立ツテ居ルノデアラ、是等ノ愛國眞誠ノ學生ガ全國ノ學生同志達ニ呼掛ケテ、サウシテ本當ニ天皇陛下ニ忠義ヲ盡シ得ルヤウナ純日本思想ヲ全國ノ學生ニ強ク握ラセル學生運動ヲ起スト云フコトハ、教學刷新ノ念トスル當局者トシテハ寧ろ獎勵助長スベキ運動ダト思ヒマス、之ニ對シテ先程文部大臣ハ決シテ此ノ運動ヲ彈壓シナイト云フ御話デアリマスカラ、私ハ其ノ點ハ諒ト致シマス、勿論彼等ニシテ若シ學生ノ本分ヲ逸脱スルヤウナ行動デアリマシタラバ、當局モ戒メナケレバナラス、吾々モ戒メタイト思ヒマスガ、少クとも今日マデアノ學生達ノ執ツタ行動ト云フモノハ全ク愛國ノ念ニ燃エテ行ツタコトダト私共ハ考ヘテ居リマス、私ハ諒トシマセマスガ、帝國大學ノ刷新、肅學ト云フコトニ付テハ、飽迄モ

眞誠ナ氣持デ當ツテ戴キタイ、ソレカラ現在帝大ニ居ル赤化教授デアリマスガ、現在帝國大學ニ職ヲ奉ジテ居ル教授ノ中ニ、吾吾ガ見テモ、斯様ナ反國體ノ思想、學說ヲ本ニ出シテ平氣デ發賣シテ居ルノハ實ニ怪シカラズチヤナイカト思フヤウノ著述ヲシテ居ル教授ガ現ニ帝國大學ニ居ル、斯ウ云フコトハ文部當局ガ御調ベニナレバ、大學ニ於テ誰ト誰トガ怪シカラズ反國體ノ學者デアルト云フコトハ直チニ御分リニナリマスカラ、赤化學生製造ノ責任者トシテ是ハ斷乎トシテ適當ノ處置ヲ講ジテ戴キタイ、教學刷新上、是ハ絕對的ニ當然ノコトデアリマス、私ハ衷心ヨリ大臣ニ之ヲ御願ヒ致シマス

何處ト何處ノ區域、慶應ハ何處、早稻田ハ何處、帝大ハ何處ト云フヤウニ區域ヲ決メテ、學生ニ防空演習ヲ、消防ノコトナドヲ眞劍ニシラセ、斯ウ云フヤウナ戰時體勢ヲ執ラセコトガ私ハ一番必要ダト思ヒマス、斯ウ云フコトニ付テハ文部當局ニモ御成案ガアルダラウト思フ、若シオアリニナルナラ此ノ機會ニ御發表願ヒタイト思ヒマ

モ將來役ニ立タヌヤウナ人間ハ、相當ハ考慮セバナラス、サウ云フ餘リ頭ノ優レナイ平凡者ガ大學校デゴロノシテ居ルヨリモ、日本ノ國民ハ總テ二十三カ二十四ニナツタラ、直チニ國家ノ爲ニ實務ニ就イテ御奉公スルト云フヤウナ、計畫の方針ヲ一ツ御研究ニナツテ、實施スルコトガ非常ニ必要デハナイカ、人物經濟ノ上カラ、國防國家建設ノ上カラ、人的資料ノ確保ノ上カラ、非常ニ必要デハナイカト思ヒマスガ、此ノ點ニ對シテ御所見ヲ承リタイ

カ、英語ナンカ殆ド必要ハアリマセヌ、必要ノナイコトデ生徒ノ力ヲソレニ注ガセテ苦シメテ、サウシテ學校ヲ出レバチツトモ役ニ立タナイ、サウ云フ英語ナドヲ女學校デ教ヘルヨリモ、寧ろ其ノ時間ニ家事ヲ習ハセル方ガ宜イ、年寄ノ肩ノ採ミ方デモ教ヘタ方ガソレダ役ニ立ツ、サウ云フ實理實學ヲヤラナケレバ私ハ駄目ダト思フ、單ニ是ハ形ノ上ノミノコトダケデナク、今マデノ日本人ハ多クハ御承知ノ通り西洋崇拜、西洋中毒ニナツテ居ル、政治、經濟、教育一切ノ痛方西洋崇拜、中毒カラ來テ居ル、サウ云フ精神ヲ叩キ直ス爲ニモ、私ハ今日不要ノ英語ハ出來ルダケ中等學校カラ其ノ教授時間ヲ減ラヌベキモノダト考ヘル、此ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイ



フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

○今井(新)委員 只今御答辯ハ私モサウダト思ヒマス、例ヘバ中學校ノ生徒ニシテモ、上ノ學校ヘ志ス者ハソレニ必要ダケノ英語ハ勿論學ブ必要ガアルダラウト思ヒマス、英語ヲ絕對ニ學ブナト私ハ言ツテ居ルノデハナイ、必要以上ニソレニ力ヲ注イデ居ルカラ適當ニヤラセロ、斯ウ云フコトナリマスガ、色々御答辯致シタイコトモアリマスガ、時間ノ關係モアリマスカラ、教育ノ問題ハ其ノ程度デ打切りタイト思ヒマス、諄イヤウデアリマスガ、帝大ノ醫學部新ト云フコト、健全ナル學風ノ確立ニ付テハ御忘レナイヤウニ一ツツツカリト御願ヒテ致シマス、マダ幾ラカ時間ガアルヤウデアリマスカラ、宗教ノコトニ付テ御答辯シタイト思ヒマス

セラレタ其ノ廣大仁慈ナル御聖旨ニ對シテモ、政府當局ガ今日マデ此ノ天理教ヲ放任シテ參ツタコトハ實ニ言語道斷デアルト思フ、是ハ勿論司法省ニモ内務省ニモ關係ノアルコトデアリマスガ、宗教ヲ直接監督ナサツテ居ル文部當局トシテ、天理教ハ轉向シテ、轉向シタカラモウ宜イデヤナイイカト云フヤウナ間違ツタ考ヘガ文部當局者ノ今日マデノ意見ダト私ハ考ヘテ居リマス、然シハ斷ジテ私ハ轉向シテ居ナイト思フ、根本教義ト云フモノガ失ハレタノデアリマスカラ、天理教ハ宗教トシテ存在價値ノナクモナク、アレハ宗教チヤナイ、斯ウ私ハ見テ居リマスガ、其ノ宗教ニ對スル論争ハ姑ク措イテ、假令轉向シタト雖モ、多年ニ互ツテ大逆不敬ノ思想ヲ流布宣傳シテ天理教ノ管長ノ責任ハドウナルカ、天理教ノ管長ノ責任ヲ文部當局トシテハ處斷シナケレバイカスチヤナイイカト云フ私ノ所論ニ對シテ、ソレハ考慮致シマス、善處致シマスト文部大臣ガ去年此ノ部屋デ、議會ニ於テ約東ナサツタ、約束ナサツタ以上ハ、私ハ何等カノ御處置ガアルカト思ツタラ、今日マデ一向ヤウ云フコトヲ聞カナイ、之ニ對シテ今日マデニドウ云フヤウナ御取調ヲサツテラカ、又現在ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレカ、此ノ點ヲハツキリシテ戴キタイ

○橋田國務大臣 天理教ノ問題ニ付キマシテハ、明ラサマニ申上ゲマスガ、私一向存シマス、其ノ後ノ經過ニ付キマシテハ、若シ御必要ガアレバ政府委員カラ御説明申上ゲマス

○阿原政府委員 只今御話ノ天理教ノ問題デスガ、數年前問題ニナリマシテ、文部省トシマシテハ天理教全般ニ付キマシテ非常

ナ調査ヲ致シマシタ、其ノ結果惡イ點ニ付キマシテハソレノ指摘致シマシテ、改ムベキモノハ改メルト云フコトヲ段々改善シテ參ツタ思フノデアリマスガ、マダ私共ノ考ヘハ十分ダトモ考ヘテ居リマセスカラ、サウ云フ點ニ付キマシテハ現在宗教團體法ノ實施ノ途中デゴザイマスノデ、吾々トシテモ監督ヲ十分ニシテ遺憾ノナイヤウニヤリタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○今井(新)委員 逆モソナ答辯チヤ駄目デス、サウ云フヤウナアナタノ答辯ナカ、モウ今日マデ耳ニ聒ルノ出來ル程聽イテ居ル、ソナ答辯チヤイカス、天理教ガ轉向シタトカセヌトカ、サウ云フコトデナクテ、今私ガ聽イタノハ、假令轉向シタトシテモ、多年國體ヲ無視シテ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シタヤウナ思想ヲ宣傳シタ其ノ罪ト云フモノハ消ユルモノチヤナイ、大學校ノ教授ガ赤掛ツタコトヲ書イテモ起訴スルコトデアラガ、方問題ニナル、固ヨリ當然ノコトデアラガ、ソナチモソノ天理教ノ管長ノ罪惡ト云フモノヲ比レバ、是ハ殆ド比較ニナラス程大罪ヲ犯シテ居ル、此ノ管長ヲ如何ニ處分スルカ、管長ヲドウ云フヤウニ處置スルカト云フコトヲ私ハ伺ツテ居ル、是ハ去年デスヨ、去年私ト文部大臣ガ固ク約束シタ、文部大臣ハ初メ、天理教ノ管長ノ處分ト云フコトニナリマスト事方面倒ダ、斯ウ言フ、私ハ何方面倒ダ、面倒ダナント云フコトデアラガ、以テ濟マサレル問題カ、詰ラヌコトヲ大臣言ツテハイカスゾト云ツタ、其ノ結果大臣ハ必ズ考慮致シマスト聲明シタ、考慮スルト云ツタ以上ハ、今日マデ一年間棄テテ置イタトハ思ハレナイ、此ノ點モウ一度管長ノ責任ヲドウスルカト云フコトヲハツキリ

御答辯願ヒタイ、御答辯出來ナケレバ宜シイ、或ハアナタ方ノ手ニハ負ヘナイカモ知レナイ、サウナラサウデ私共又考ヘル

○菊池政府委員 天理教ノ問題ニ付キマシテハ、私モ從前幾ラカ聞及ンダ記憶ガアルヤウデゴザイマスケレドモ、實際ノ所其ノ後當局モ大分選ツテ、本當ノコトニ付テ能ク調ベテ居リマセヌ、併シ只今宗教局長カラ申上ゲマシタヤウニ、此ノ宗教團體法ノ實施ニ伴ヒマシテ、教義、宗制其ノ他諸般ノ重要ナコトニ付キマシテハ目下色々取調ベテ居ルコトモアリマス、サウ云フ場合ニ篤ト一ツ研究致シタイト考ヘマス

○末松主査 今井君マダアリマスカ、簡單ニ願ヒマス

○今井(新)委員 其ノ點ハソレデ宜シウゴザイマス、是以上、何ヲ申シテモ效果ガアリマセヌ、文部當局ハ宗教監督ノ任ニアル以上、モウ少シ深刻ニ眞劍ニ國家ノ爲ニ考ヘテ當ツテ戴キタイ、是ダケ申上ゲテ置キマスソレカラ序デスガ、救世軍ノ問題デス、救世軍ハ私去年議會會問題ニ致シマシテ、其ノ結果平民ノ福音ハ絶版ニナリマス、嫌疑デ檢査サレテ、アア云フ「スパイ」ト云フヤウナ問題デ檢査サレ、根本教義トシテ「ユダヤ」宗教デ團體ト相容レナイ思想ヲ信奉シテ居ル團體デスガ、アア云フ團體ヲ此ノ戰時下ニ存在シテ置ク必要ガ何處ニアル、當時私ハ宗教局長ニオ目ニ掛ツテ、私ノ考ヘヲアナタニ申上ゲタ、是ハ必ズ解散命令ガ出ララウト思ツタ所ガ、救世軍ノ軍ヲ團トシ、是ハ形式ノ問題デスガ、軍服紛ヒノモノハ廢メテシマフ、少尉ト力中尉ト力カ云フ階級ナコトハ言ハナイヤウニスル、根本ニ於テ英國ト縁ヲ切ルコト

ヲ絕對條件トスル、斯ウ云フヤウナ色々ナコトデ改組シタヤウデアリマス、アレダケ惡イコトヲ長イコトヲツテ、救世軍ハ長イコトヲ惡イコトヲシテ申ツタコト云フ機嫌ノ發表ヲ其ノ後未ダ一回モシテ居ラナイ、自分達ハ長イ事國家國民ニ迷惑ヲ掛ケタケレドモ、今度ハ本當ニ心ヲ入レ替ヘテ、本當ニ純日本人ノ自覺ニ立ツテ國家ノ爲ニ御奉公スルト云フヤウナ彼等ガ聲明ヲ出シタト云フコトハ私ハ聞カナイ、此ノ態度ヲ以テスルモ、事實ハ反省シテ居ラナイノデセウ、早ク言ヘバ着物ダケ脱イデモ身體ノ臭ミハ取レナイノデアル、此ノ戰時下ニ於テ皆ガ一生懸命防禦ニ就テモ心配シナケレバナラナイ時ニ、アア云フ外國關係ノ危險性ヲ持ツタ團體ヲ其ノ健全宗教ノ團體トシテ存在サセル必要ガ何處ニアル、吾々ハナイト思ヒマスガ、其ノ後ノ文部省ノ救世軍ニ對スル御處置、今後ノ方針、斯ウ云フコトニ付テ一應承リタイ

○阿原政府委員 只今御答辯ノ救世軍ノ問題デアリマスガ、御承知ノヤウニ昨年ノ夏「スパイ」嫌疑ヲ受ケテ檢査サレタノデアリマス、ソレニ付キマシテ當局ト致シマシテモ、時局柄洵ニ申譯ナイコトデアルト感シマシテ、早速救世軍ノ幹部ヲ呼ビマシテ、此ノ際ドウ云フヤウニスルカト聽キ質シタノデアリマス、其ノ結果救世軍トシテハ、洵ニ惡カツタ、是カラハ日本ノ國體ノ本義ニ基イテ、國情ニ副フヤウニ救世軍ヲ改組致シマスト云フコトデ、覺書ヲ出サセマシテ、之ニ依ツテヤルト云フコトニナリマシタノデ、吾々トシテハソレヲ信ジマシテ、其ノ後指導監督ヲ十分ニヤツテ居ルノデアリマス、唯改組後マダ日モ淺イノデアリマスカラ、

其ノ結果ヲ十分ニ期待スルコトハ出來ナイト思フノデアリマスガ、今後私共トシテハ十分遺憾ノナイヤウニ監督ヲヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○今井(新)委員 今御話デ分リマシタガ、分ラナイ點ハ、兎ニ角自分ノ責任ヲ明カニスルト云フナラバ、今マデ救世軍ノ幹部トシテ居ツタ者ハ責任上引退シナケレバナラバ當然ノコトナラ、然ルニ拘ラズ改組シタト云ヒナガラ、今マデノ幹部ガ依然トシテ坐ツテ居ル、テツトモ責任ヲ感ジテ居ラナイ、ソレカラ又耳ニスルコトハ、軍方團トナツタケレドモ何モ變ツタノチヤナイヨト云フコトヲ漏ラシテ居ル幹部サヘアルト云フ、應以テ私ハ怪シカラスト思フ、昨年モ論議シマシタガ、アレハ元々英國ノ命令ニ依ツテ對外的ニ動イテ居ル團體デアル、今度改組スルニ付テハ此ノ「ロンドン」ノ萬國本營ト絶縁スルコト云フコトガ根本ノ問題デアルト私ハ耳ニシタガ、所ガ何處ニ居ルカト云フト、從來通り神田ノ神保町ノ萬國本營ノ所有ニ係ルアノ建物ニ入ツテ居ル、是デハ改組デモ何デモナイ、更生デモ何デモナイ、英國ノ財産デアリ萬國本營ノ所有ニ係ル建物、其ノ中ニ依然トシテ入り込ンデ居ル、唯軍ヲ團ト變ヘタダケデアル、是デハ英國ト絶縁シタコトニハナラナイ、法律ニ於テ、實際ニモ精神的ニモサウ云フコトヲ言ヒ得ル、法律上ノ建物、土地ト云フモノハ英國ノモノデアラ、其處ニ入り込ンデ居ツテ英國ト絶縁シテ居ラナドト云フコトハ斷ジテ言ヘナイグラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テドウ云フ御見解ヲ御持チテアリマセウカ

○阿原政府委員 只今ノコトニ付キマシテハ、救世軍ノ幹部、特ニ首腦部ハ全部更迭致サセマシタ、唯下ノ方ノ人ハ仕事ノ關係一部殘ツテ居ル者ガアルト思ヒマスガ、首腦部ハ全部更迭致サセマシタ、ソレカラ萬國本營トノ關係ハ、私ノ方デハ縁ヲ切ラナケレバイカスゾト云フコトデ、救世軍ノ本部ノ方カラ萬國本營ノ方ニ電報ヲ打ちマシテ、是ハ絶縁シタト申シテ居リマス、尙又資金ノ關係ガ少シ殘ツテ居リマシタカラ、是モ今後絕對ニ英國政府カラ資金ノ援助ヲ仰ガナイト云フコトデ、現在自給自足デヤルト云フ方針ノ下ニ進シテ居ルヤウニ思ヒマス

○末松主査 今井君、成ベテ簡單ニ願ヒマス

○今井(新)委員 モウ時間デアリマスカラ止メマス、止メマスガ、今ノ救世軍ノコトハ只今ノ御答辯デハマダ私ニハ逆モ諒解シ難ネルトガアリマス、反駁シテ居ルト長クナリマスカラ止メマスガ、反駁スルトカセヌトカ云フコトヨリモ、此ノ監督ノ任ニ在ルアナタ方ガ本當ニ眞劍ニナツテヤツテ戴キタイ、今ニモ「アメリカ」ト戰ガ始マレバカリノ形勢ニアル今日ノ場合、防禦關係ト云フコトニ付テモ餘程御注意ヲ願ヒタイト私ハ思フ、救世軍ノ本營ハ英國、英米ハ一體滿洲國ノ救世軍司令官ハ現在「アメリカ」人デセウ、サウ云フコトヲ御心得ノ上、萬軍拔カリナクシツカリトヤツテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ私ハ質問ヲ終リマス

○末松主査 木村正義君

○木村(正)委員 私ハ二十分カ三十分位シカ時間ヲ持チマセウカラ、極々簡單ニ五六

ノコトヲ御伺ヒ致シマシテ、大臣ノ御所見ノ在ル所ヲ御尋ね致シタイト思ヒマス

第一ハ此ノ重大ナ時局ニ文部大臣ハ文政ノ局ニ當ラレマシテ、御苦心ノ點ハ御察シ上ゲル次第デアリマスガ、文政ノ當局トシテ今日最モ教育刷新ノ必要ナ點ハドウ云フ點ニ在リト御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、私ハ此ノ新規要求等ニ付テ示サレマシタヤウナ事項ヲ御伺ヒスル意味デアラマセヌ、ヤツクバラニ、大臣ガ文政ノ當局トシテ特ニ御考ヘニナツテ居ル其ノ重要ナ點ヲ御聽キ致シタイノデアリマス

○橋田國務大臣 文部當局ト致シマシテハ、フコトヲ一體トシテ教學ノ刷新ト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ狹義ニ於キマスル教學ノ刷新ト云フコトニ付キマシテハ、先程質問者ニ答ヘマシタガ、其ノ根本ハ何處ニアルカト云フコトハ、教育ニ携ハル者ガ眞ニ教育者タルノ自覺ニ目覺メ、唯觀念的デナク、眞ニ教育者タルノ自覺ニ目覺メテ、教育者タルノ資格ヲ得テ與レルコトニ在リ、其ノ外ニハ、事ヲ以テシテ或ル程度マデ行ハレルトシマシテモ、具體的ナ實際ノ刷新ハ行ハレナイト考ヘテ居リマスノデ、教育者ガ教育者タルノ自覺ヲ喚起シテ、本當ニ體得スルコトニ努メサセルヤウニスルコトヲ根本ノ方針ト致シテ居リマス

○木村(正)委員 大臣ガ教學ノ刷新ノ根本ハ教員其ノ人ニ在リ、此ノ教員ヲ良クシナケレバ到底教學ノ刷新ハ出來ナイト、斯ウ御考ヘニナツテ居ル點ハ私ハ洵ニ同感デアリマス、其ノコトハ皆今日マデモ考ヘテ居リマシタガ、其ノ教員ガ眞ニ今日ノ時局ヲ認識シテ國家目的ノ爲ニ教育ニ一身ヲ捧ゲル、



教育報國ノ實ヲ示ス、斯ウ云フ爲ニハドウ云フコトヲナサントスルノデアルカ、私ガ今日マデ各地方ヲ見マシテ考ヘルコトハ、ドウシテモ教育界ニ一大清掃ヲ行ハナクテ、

立場カラ考ヘ、又文部省ノ立場カラ考ヘルト、サウ云フ理念ノナコトダケテ目的ヲ達スルモノデナクシテ、眞ニ教育家トシテ安

先ツ理念ヲ掲ゲルト同時ニ、其ノ理念ノ現實スルヤウナ具體的ノ條件ヲ満足セシメテ

豫算ヲ取ラナクテハナラズト云フ性質ノモノデモナイノデアツテ、是ハ社會ニ對ヘレ

○橋田國務大臣 科學教育ノ振興ト云フコトニ付キマシテハ、色々ナ方面ニ留意シナ

○木村(正)委員 只今大臣ノ申サレタコトモ洵ニ結構デアラウト思ヒマスガ、科學教

ト私立ノモノトニ甚ク差ガアルコトハ御説ノ通りデアリマス、私立ノモノニ付キマシ

論デゴザイマシテ、ソレニ付テ文部省ニ於キマシテモ、二三ノ施設ヲ試ミテ居ルノデ



育ニハ、此ノ考ヘ方ラシツカリ叩キ込ム必  
要ガアリマスカラ、特ニ此ノ問題ニ付テ從  
來學校ニ於テ教育シテ居ツタ外ニ、此ノ點ニ  
付テ如何ニ徹底セシメルカト云フ特別ノ考  
案ト計畫ガナクテハナラヌト思ヒマス、別  
ニ今日マデサウ云フ計畫ナリ、施設ガ若シ  
アリマセスケレバ、其ノ點ニ付キマシテ特  
別ノ考慮ヲ拂ツテ、力ヲ入レラレル必要ガ  
アルト私ハ考ヘマスガ、ソレ等ノ點ハ如何  
ニナツテ居ルノデアリマスカ

○菊池政府委員 只今御話ノ點ハ洵ニ御同  
感デゴザイマス、是ハ恒久的ニ相當ノ大キ  
ナ規模ニ於テ考ヘテ行カクテチヤナラヌ事  
柄ガ相當ニアルト思ヒマス、只今マデ取  
ズ實施シテ居リマスル事柄ハ、先程一寸  
申述ベキヤウナコトデアリマスルガ、尙ホ  
之ニ必要ナ施設ヲ工夫實施致シテ行ク關係  
マシテハ、文部省ノ渉外教育ニ關スル必要  
ナ機關ヲ設置致シテ居リマス、  
其ノ他一昨年以來實施致シテ居リマスル所  
ノ、例ヘバ學生青年ノ興亞勤勞報國隊ノ派  
遣等、非常ニ效果ヲ發揮致シツタハモ  
ト考ヘテ居リマス、來年度ニ於テモ是ハ實  
施致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○木村(正)委員 次ニ御尋ネ致シタイノ  
ハ、私ハドウシテモ文部省ナリ學校ナリノ  
外ニ、教育團體ト云フモノノ活動ヲ活潑ナ  
ラシメテチヤナラヌト思ヒマスガ、我が  
國ノ帝國教育會、府縣教育會、有ニル教育  
會ハ其ノ點カラ考ヘマスト非常ニ遺憾ノ點  
ガ少クナイト考ヘマス、私ハ新體制ノ問題  
ナドハ寧ろ教育會カラ叫バレナクテチヤナ  
ヌ問題デアアル、然ルニ今日マデハ皆他ノ方  
面カラ叫バレタコトニ教育界ガ追隨シテ行

ク、受身のノ態度ヲ執ツテ居ル、教育界ニ  
ハ激刺タル愛國ノ熱情ガ起ツテ居ナイ、斯  
ウ云フ風ニ見エレルデアリマス、ドウシテ  
モ文部省ガ行政ノ一大活氣ヲ振ヒ起ス爲  
ニ、文部省トカ學校活動ヲ促スコトガ必要  
外廓團體ノ活潑ナル活動ヲ促スコトガ必要  
デアアルト思ヒマス、ソコニ激刺タル教育界  
ノ元氣ガ起ツテ來ルノデナケレバナラナイ、  
今日ノ急務ハ先程大臣ノ申サレタ趣旨ヲ徹  
底スル上カラ申シマシテモ、教員ニ活潑ナ  
ル氣魄ヲ持タセルコトガ必要デアツテ、其ノ  
爲ニハ外廓團體ノ活動ヲ促スコトガ必要デ  
アラウト思ヒマス、私ハ諸外國ノ教育團體  
ナドト比ベマシテ、日本ノ教育團體ハ全ク  
睡眠状態ニ陥ツテ居リハシナイカ、隨テ教  
育界ニ活氣ガナイノダト思ヒマス、此ノ點  
ニ付テ文部大臣ハドウ云フ御考ヘデアリマ  
セウカ、今後は等ノ教育團體ヲシテ眞ニ其  
ノ使命ヲ達成サセル爲ニ、活潑ナル活動ヲ  
ナサシメル爲ニ、獨自ノ立場ニ立ツテ御努  
力ナサル、斯ウ云フ御考ヘガアルノデアリ  
マセウカ、如何デアリマセウカ

○木村(正)委員 今日マデサウ云フ方面ニ  
國トシテドウ云フ補助ガアルノデアリマセウ  
カ、私ハ殆ド補助ナドハナイヤウニ思ヒマ  
スガ、幾ラカ補助ガ行ツテ居リマスカ、ソ  
レヲ御伺ヒ致シマス

○菊池政府委員 帝國教育會等ニ對シマシ  
テハ、ホンノ數千圓ノ補助シカ行ツテ居リ  
マセウ、其ノ他或ハ教化團體トカ各種ノ團  
體ハアリマスガ、御尋ネノ御趣旨ハ其ノ意  
味ハナカウツテラウト思ヒマス、只今教育

團體ノ關係ニ付キマシテノ御所見ハ吾々全  
ク御同感デアリマス、只今大臣カラ御答辯  
ガアリマシタヤウニ、色々機構、運用等ニ  
付テ目下大ニ研究致シテ居リマス

○木村(正)委員 私人團體ノ補助等ニ付キ  
マシテモ數千圓位デアリマス、ナラヌノデア  
リマスカラ、モウ少シ根本的ニ御考ヘニナ  
ツテ、是等ノ團體ヲシテ眞ニ教育ノ爲ニ活  
躍セシムルヤウニ御配慮ヲ特ニ御願ヒ致シ  
タイト思ヒマス、ソレカラ私ハ青年學校ニ  
付キマシテハ自分ノ一ツノ考ヘヲ持ツテ居  
リマスケレドモ、今日ハ時間ガアリマセウ  
カラ此處ニ申上ゲマセウガ、現在ノ制度ノ  
青年學校ニ對シマシテモ、今ノヤウナ經費、  
今ノヤウナ教員組織ヲ日本ノ青年ヲ指導シ  
テ行クト云フコトデハ、是ハ到底目的ヲ達  
セラレヌト思ヒマス、教員組織ヲ充實シ、寧  
ろ小學校カラ獨立シテ教員組織ヲ作り、又  
今日ハ幾ラニナツテ居リマスカ、恐ラク各  
學校平均致シマシレバ數千圓ニ過ラナイト  
思ヒマスガ、今ノ少クモ二倍、三倍位ノ  
經費ヲ取ツテモマダ私ハ足ラヌ位ニ思ヒマ  
ス、唯形ガ義務制ニナツタト云フヤウナ恰  
好タケデハ、實ニ國家ノ爲ニ私ハ憂フベキ  
事態デアアルト思ヒマス、今日青年教育ノ必  
要デアアルコトハ私ガ申上ゲルマデモナイノ  
デアリマスカラ、此ノ點ニ付テ根本的ナ改  
革ヲ圖リ其ノ計畫ヲ御立テニナラナクテハ  
ナラヌト存ジマスガ、ドウ云フ御考ヘデア  
リマセウカ

○木村(正)委員 御答ヘニナツタ點ガアル  
ナラバ、ソレデ差支ヘアリマセウガ、若シ  
文部省ガ當然ナスベキコトヲ大政翼贊會ノ  
方デヤルト云フヤウナ、例ヘバ青年ノ中カ  
ラ優良ナ者ヲ集メテ、ソレヲ特ニ教育、訓  
練スル、鍊成スルコト云フヤウナコトガア  
リマスナラバ、是ハ如何ナモノデアアラウ

青年學校ヲ十分ニ擴充振興サセナケレバナ  
ラスコトハ尤モコトデアリマス、其ノ點  
ニ付キマシテハ出來ルルケ努力ヲ致シタイ  
ト思ツテ居リマス

○木村(正)委員 其ノ點ハ唯教育審議會ガ  
ドウ云フ制度ヲ作ツタトカ、サウ云フコト  
ニ拘泥サレズニ、根本的ニ文政ノ當局トシ  
テハ御考ヘニナラナクテハナラヌ義詰ツタ  
問題デアアルト私ハ思ヒマスカラ、特ニ御願  
ヒラ申上ゲテ置キマス、先般青年團ノ統  
合ナドヲナサレマシタガ、ソレニ付テ彼此  
レノ批判ハ申上ゲマセウ、唯大政翼贊會ガ  
何カヤハリ青年部ト申シマスカ、青年教育  
ト申シマスカ、サウ云フ方面ヲ擔當シテヤ  
ルト云フヤウナコトモ伺ヒマシタガ、文部  
省ノ青少年ニ對スル教育ト、大政翼贊會デ  
ヤル教育ト、ドウ云フ關係ニナツテ居リマ  
スカ、或ハ大政翼贊會デハ何モヤラナイノ  
デアリマセウカ、其ノ點能ク分リマセウ、  
何カサウ云フ點ニ關シテ計畫デモアリマス  
ナラバ、其ノ點ヲ御伺ヒシテ見タイト思ヒ  
マス

○木村(正)委員 是ハ先刻北君カラ御質問  
ガアリマシテ十分ニ御答辯申サレバ……唯  
一タカラ、後デ速記ヲ御覽下サレバ……唯  
一言申シマスガ、文部省監督下ニアリマスル  
青年學校學生生徒ハ、文部省ガ全責任ヲ以  
テ教育指導スルコトニ致シテ居リマス

カ、サウ云フコトハ當然文部省ガアルベキ  
コトデハナカラウカ、他ノ團體ニ御一任ニ  
ナツテオヤリニナルヤウナ性質ノモノデハ  
ナカラウト思ヒマスガ、其ノ點ハ其ノ通りデ  
アリマスカ、ドウデアリマスカ、御答ヘテ  
願ヒマス

○橋田國務大臣 其ノ通りデアリマス  
○木村(正)委員 モウ一ツハ入學試験ノ問  
題デアリマス、是ハ中々重要ナ問題デアリ  
マシテ、此ノ問題ハ色々御工夫ニナツテ居  
ルヤウデアリマスケレドモ、今日マデノ文  
部省デ御考ヘニナツタコトハ、結局是ハ問  
題ヲ解決シテ居ナイト私ハ思ヒマス、ドウ  
シテモ此ノ問題モ一ツ根本的ニ御考ヘニナ  
ツテ、少クモ中等學校ナドハ希望スル者  
ハ全部入レル、此ノ方針デ御進ミニナラナ  
ケレバナラヌノデアツテ、中等學校ハ入ル  
者ヲ篩ヒ分ケテ、或ル者ハ入レ或ル者ハ入  
レナイト云フヤウナ制度ヲ私ハ認ムル  
コトガ出來ナイノデアリマス、隨テ其ノ  
爲ニハ結局官公立或ハ私立學校ノ内容  
ヲ整備充實スルシ、私立學校ナドモ若シ  
充實シナイモノガアルナラバ充實セシ  
ムル方途ヲ講ズル、教員組織、設備其ノ他  
ニ於テ公立私立ノ間ニ差別ナカラシムル、ソ  
レマデ政府ノ方デ一ツ努力致サレマシテ、  
ソレカラ先ハ希望スル者ハ總テ通學區域等  
ニ依ツテ割當テテ試験ナンカハ全廢スル、  
希望スル者ハ全部共ノ方針ニ從ツテ割當テ  
テ入レル、斯ウ云フ制度ヲ御執リニナラナ  
ケレバ、此ノ入學試験カラ生ズル所ノ非常  
ナル弊害ヲ除クコトハ出來ナイ、今日ドレ  
位國民ノ元氣ヲ消耗サセテ居ルカ知レナイ、  
兒童ノミナラズ父兄其ノ他ニドレ位ノ迷惑  
ヲ與ヘテ居ルカ分ラナイ所ノ此ノ教育界ノ

惡弊ヲ一掃サセルニハ是ヨリ外ニナイト思  
ヒマス、大シタ金チヤナイ、又大シタ金ガ要  
ツテモ差支ヘナイト思フ、ソレヲ唯考査方  
法ヲドウスルカスルスト云フヤウナコトダ  
ケテ其ノ場限リデ過スト云フヤウナコトハ、是  
ハ教育界ノ大問題デアラウト私ハ思ヒマス、  
此ノ點ニ付テ若シ御意見ガアレバ承ルト同  
時ニ、サウ云フ風ニ一ツ御考ヘハ出來ナイ  
モノデセウカ、大臣ノ御考ヘヲ御伺ヒシマ  
ス

○橋田國務大臣 根本ノ方針ト致シマシテ  
ハ御説ノ通りノ方針ニ向ツテ進ミツツアル  
積リデゴザイマス、唯過渡期ノ問題トシテ  
萬已ムラ得ナイ時代ガアルコトハ御承知ノ  
通りダト思ヒマス

○木村(正)委員 私人質問ハ是デ終リマシ  
タ

○末松主査 三浦虎雄君  
○三浦委員 私人豫算ノ説明ノ時ニ丁度居  
リマセウシタガ、今度ノ文部省ノ豫算ノ  
中ニハ神武天皇マデノ聖蹟顯彰ノ豫算ト云  
フヤウナモノハ計上シテナイノデスカ如何  
デスカ

○菊池政府委員 來年度ノ豫算ニハ計上致  
シテゴザイマセウ、實ハ神武天皇聖蹟顯彰  
ニ關スル經費ハ、本年度マデ紀元二千六百  
年ノ奉祝會カラ委囑ヲ受ケマシタ其ノ事業  
トシテ文部省ノ方ノ豫算ニ計上シタ譯ナ  
デアリマス、此ノ事業ガ一應段落シマシタ  
カラ、來年度ニ於テハ其ノ關係ヲ斷ツテ居  
リマセウ

○三浦委員 只今政府委員ノ御答ヘデハ一  
應段落シタト云フ御説明デアリマシタガ、  
私ハ一應段落シテ居ラヌト思フ、問題ハ而  
モ團體ニ關スル問題デアリマス、即チ奉祝

會ノ費用ヲ以テ文部省ニ聖蹟顯彰ノサウシ  
タ調査ヲ依頼、文部省ガ主トシテソレヲ  
ヤツテオイデニナツタ、而シテ其ノ奉祝會  
カラノ委託ニ依ツテ文部省ノ調査ト云フ  
モノハ昨日、今日ニ始マツタモノデハナイ、  
四年前ノ第一次近衛内閣ノ時カラ起ツタ問  
題デアリマス、ソコデ四年前カラ掛ツタ  
デアリマスカラ、定メシ紀元二千六百年ノ奉  
祝ノ目出タキ其ノ日ニ於テハ神武天皇ノ御  
聖蹟ガハツキリスルデアラウト云フコトハ  
國民ハ待望シテ居ツタデアリマス、所ガ  
神武天皇ハドチカラオイデニナツタカト  
云フコトハ全ク調査ガ出來ナカツタノデア  
リマス、樞原神宮ヘオイデノ道筋ノ途中ダ  
ケハ御分リニナツテ御發表ニナリマシタケ  
レドモ、猶テ日向ノ何處カラオイデニナツ  
タカ、而シテ高千穂ハ何處デアラウタカト云  
フヤウナコトハ到頭ハツキリシナカツタ、  
國民ハ、奉祝會ノ希望モサウデアリマシタ  
ラウ、折角ノ二千六百年、二千七百年ハ  
又百年經タナケレバ來ナイノデアリマス、所  
謂千載一遇トモ言フヤウナ芽出度イ時ニ於  
テ、文部當局ハ關係ノ調査ノ學者達ヲ督勵  
致サレテ、必ズ二千六百年ニハサウシタ事  
柄ガハツキリスルデアラウト云フコトヲ國  
民ハ待望シテ居ツタ、決シテ是ハ一應段落  
シタノデアリナイ、私共今ノ政府委員ノ御  
説明ヲ承服シ難キ者デアリマス、ソコデ  
奉祝會カラ頼マレタカラ奉祝會ノ費用ヲ使  
ツテヤツタノダト言ハレル、併シナガラ今  
申シマスルヤウニ、一應段落シテ居ラナケレ  
バ更ニ之ヲ繼續シテ調査スル必要ガアルノ  
デアリマス、然ルニ繼續シテ調査スル必要  
ガアルニ拘ラズ、文部省ガ之ニ對シテ何等  
ノ費用ヲ計上シテ居ラヌト云フコトハ一體

ドウシタコトカ、私共ハ常識ト致シマシテ、  
子供ノ時カラ高天原ニ御降臨遊バサレタ、サ  
ウシテ神武天皇ハ四十五歳ノ御時ニ其ノ高  
千穂カラ御出マシニナツテ、樞原神宮ノ方  
ニオイデニナツタト云フコトヲ教ヘラレテ  
居ル、サウ云フ團體デアリ、國柄デアアルト  
私共ハ承知シテ居ル、所ガ何モ一應段落シ  
タノデアリナイ、一體何ニ依ツテ小學校ノ讀  
本其ノ他ニハ、天孫降臨遊バサレタ高千穂  
宮カラ御進發遊バサレテ樞原神宮ニ行カレ  
タト云フコトガ書イテアルノカ、此ノ頃小  
學校ノ本ヲ讀ミマセウケレドモ、吾々ノ小  
學校ノ時代ニハサウ教ハツタノデアリマス  
ガ、一體ソレハ何ニ依ツテ左様ニ小學兒童  
等ニ教ヘテ居ラレルノカ、其ノ據リ所ヲ承  
リタイト存ジマス

○菊池政府委員 只今色々御話ガゴザイマ  
シタガ、私ノ申上ゲヤウガ足ラナカツタモ  
ノト思ヒマスカラ尙ホ一應申上ゲテ置キマ  
ス、御承知ノヤウニ紀元二千六百年ノ奉祝  
會カラ委囑ヲ受ケマシテ、文部省ニ神武天  
皇聖蹟顯彰委員會ト云フモノガ設ケラレマ  
シテ、其ノ委員會ニ於テ各方面ノ學識經驗ノ  
アル御方々ノ非常ニ慎重ナル御調査ニ依リ  
マシテ、神武天皇聖蹟顯彰ニ關シテ全國ニ互  
ツテ調査ヲ致シタノデゴザイマス、其ノ調  
査致シマシタ結果判定致シマシタモノハ、  
其ノ答申ニ基キテ保存顯彰ヲ致スコトニ決  
定致シタヤウナ次第デアリマス、サウシテ  
御承知ノヤウニ其ノ決定ノ發表モ致シタヤ  
ウナ次第デゴザイマス、唯遺憾ナガラ其ノ  
中數箇所ニ付テ熱心ニ慎重ニ調査致シマシ  
タ所、色々見地カラ十分ニ證據ヲ得ルコ  
トガ出來ナクシテ、只今ノ所デハ決定致シ

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第二回 昭和十六年一月三十一日



難イト云フ部分ガ數箇所アリマシタ、只今ノ御話ハ其ノ點ヲ御話シテ思ヒマセガ、出來得ルナラバ此ノ二六百年ニ總テガ完全ニ調査モ出來、サウシテ完全ニ公表出來ルマシタガ、慎重ニ調査致シマシタケレドモ、只今ノ所マダ確證ヲ得ルニ至ラナカッタト云フ點デ、公式ニ發表スル程度ニ至ラナカッタノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、其ノ點ヲ誤解ノナイヤウニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三浦委員 只今ノ御話デハ其ノ中ノ數箇所ガ判明スルニ至ラナカッタノハ遺憾デア、斯ウ云フ御話デアリマシテ、結局文部當局ハ國民ガ考ヘテ居ルト同ジヤウニ、此ノ二六百年祭ニ之ヲハツキリスルコトガ出來ナカッタコトハ同様ニ遺憾ニ思フテ居ルト云フコトガ明瞭ニナツタデアリマス、殊ニ只今其ノ中數箇所ガト云フ極メテ包括的ナ言葉ヲ御用ヒニナリマシタガ、私ガ言ツテ居ルノハ點々タル其ノ中ノ數箇所デハナク、途中カラノ御話デガ明カニサレテ、而モ高千穂宮ハ何處ニアツタカ、御船出ノ場所ハ何處デアツタコト云フ根本ガ分ラナカッタト云フコトガ、唯單ニ數箇所ガ分ラナカッタト云フコトハナクシテ、根本的ニ遺憾千萬デア、遺憾ト云フコトハ萬全ヲ盡シテ居ラナイカラ遺憾ト云フコトデアリマス、萬全ヲ盡シタガ遺憾ト云フコトハナクシテ、尙且ツソコマデ進ミ得ナカッタト云フコトハ、監督ノ立場ニアル所ノ文部省トシテモ其ノ責任ガアルト思フ、併シナガラ今茲左様過去ヲ追究シテ居ルノデハナイ、既ニ其ノコトガハツキリシナ

カッタコトガ遺憾デアラナラバ、又將來ソレヲハツキリスル意思デアルト云フヤウナ意味ノ御言葉ヲ御述ベニナツタ以上ハ、當然是ハ文部省ノ豫算ノ中ニ其ノ費用ヲ計上サレテ、サウシテ神武天皇ノ高千穂宮、御船出ノ場所、一番根本ノ場所ヲ明白ニサレル其ノ責任ガ尙モ殘ツテ居ルト思フデアリマスガ、最初ノ御話デハ一應段落シタト云フコト豫算ヲ計上シナカッタト云フ御話デアリマスガ、追加豫算デモ宜シイ、或ハ又文部省ノ豫算ノ中ニ計上シニタイナラバ、内閣ノ方ノ豫算デモ宜イ、私共ハ其ノ所管ノ如何ヲ述べテ居ルノデハナイ、私共モ遺憾トシ、文部省モ遺憾トシ、國民モ遺憾トシテ居ルコトガ殘ツテ居ラナラバ、ソレヲ明白ニスル仕事ガ殘ツテ居ラナラバ、何等カノ手段ヲ講ズベキデハナイカ、然ルニソレヲ其ノ儘ニシテ放任スルコト云フコトハ、文部省トシテ、私ハ神武天皇ニ對シテモ、皇室ニ對シテモ甚ダ多イ次第デアリマシカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、重ねテ御伺ヒシマスルガ、追加豫算デモ、或ハ他ノ省ノ所管ノ經費デモ宜イガ、此ノ豫算ヲ議會ニ要求ナサル意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ御尋ね致シマス

○菊池政府委員 只今御意見ヲ承リマシタガ、尙ホ補足致シテ置キマス、文部省ハ決シテ之ヲ勿論ニ附シテ居ル譯デアゴザイマセス、非常ニ大切ナ事柄デゴザイマセカ、實ハ萬全ヲ盡シタノデゴザイマス、萬全ヲ盡シマシタガ、今日ノ段階ニ於テハ各種ノ徵證ノ上ニ於テ、遺憾ナガラ其ノ結論ニマデ達スルコトガ出來ナカッタト云フ意味デゴザイマセカ、左様御諒承ヲ願ヒマス、

尙ホ是ハ只今御話ノヤウニ極メテ大切ナ問題デゴザイマス、仕事ノ關係ハ或ハ内閣、或ハ宮内省、其ノ他關係各省トモ相談ヲ致サナレバナラス、目下色々サウ云フ點ニ付テ相談モ致シテ居リマス、御言葉モゴザイマシタシ、能ク篤ト考究致シタイト思ヒマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カ、之ニ要スル費用ヲ御要求ナサルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 ドウモ一寸ハツキリシマセカレドモ、私ハ斯ウ解釋シマス、大切ナコトデアリ、ヤラナレバナラナイカラヤラヤ積リデア、斯ウ諒承シテ宜シウゴザイマセカ、ソレヲ大切デアレバアルダケ御調査ガ延ビタト云フコトモ諒承致シマス、ソレマデモヤラナレバナラナラス考ヘテ居リマセカ

○三浦委員 只今モ政府委員カラ御說明申上ゲマシタ通り、今日マデ決定シナカッタノガ甚ダ遺憾トシテ居ルノデゴザイマセカ、今後決定ヲ見ルニ至ルマデハ何時マデモヤラナレバナラナラス考ヘテ居リマセカ

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス

○三浦委員 只今ノ御話デ萬全ヲ盡シタノデアツテ、必ズシモ遺憾デアツタノデハナイ、私共ハソレヲ咎メヨウトハ致シマセス、唯一番重點ヲ置イタノハ、此ノコトヲハツキリスルコトガ國體上大切ナコトデアラナラバ、此ノ調査ヲ繼續シテオヤリニナルカ否カト云フコトヲ質問致シタ、之ニ對シテノ政府委員ノ答辯ハ内閣其ノ他ノ所管ニモ屬スル點ガアルノ最善ノ努力ヲナスト、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ政府ガ此ノ大切ナ國體ニ關スル調査ノコトヲ繼續シテオヤリニナル意思アリト諒解致シマシテ宜シイノデアリマスカ、文部大臣カラ御意見ヲ承リマス



居ル青年ト云フモノハ、却テ逆ニ之ニ反撥ヲ加ヘテ來ルト云フヤウナコトガ、私ハアリ得ルト思フ、ドウモ文部當局ノヤリ方ハ、サウ云フ點ニ於テ若干ノ缺陷ヲ有スルノデハナイカ、全面的ニ否定スルノデハアリマセズガ、若干ノ缺陷ヲ有スルノデハナイカ、斯ウ云フ疑ヒヲ持ツノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ大臣ハ如何ナル御所見ヲ持ツテ居ラレマス、御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○森田(重)委員 只今ノ私ノ考ヘ方ハ文部省ニ對シテハ、ソレダケデアツタノデスガ、一面又私ハ我が國ニ於ケル思想ノ先達ト云フ方々、此ノ方々ノ方ニモ一面一ツノ責任ガアルノデハナイカト云フコトヲ、吾々ハ反省シテ見ル餘地ガアルノデハナイカト思フ、ト云フノハ最近ノ日本國家全般ニ對シテ、根本的ナ反省ヲ加ヘナケレバナラナイト云フ思想ガ物與シテ參リマシタ、サウスルト是ハ復古思想ニナリマス、復古思想ニナリマス、ソレハ勿論古典ニ根據ヲ持ツト云フコトハ、是ハ當然ノコトナラデスガ、

○村田國務大臣 先達ニナツタ人ノ間ニ、全部ト申シマセズガ、今カラ考ヘマス、聊カ誤リデハナカッタカト思ハレ

○森田(重)委員 尙ホ次ニ觀點ヲ變ヘマシテ、私等ハ唯共產黨ノ思想ガ惡イト云フヤウナコトバカリデ、沒批判的ニ壓迫シヨウト云フヤウナコトハ、面白クナイコトダト思フ、ソレダケ吾々ハ一體ナゼ青年ガ「マルクス」ニ惹カレルノカト云フコトヲ、更ニ考ヘテ見ル必要ガアルト思フ、ソレヲ再考スルトシナイト、ソレヲ否定スルト否トハ別ニ致シマシテ、一應ナゼ青年ガサウ云フモノニ心ヲ惹カレルカト云フコトヲ考ヘテ見ル必要ガアルト思フ、ソレヲ私ハ實ハ斯ウ考ヘル、ソレハ「マルクス」ノ根本的ナ基礎理論トシテハ、言フマデモ素朴的ナ哲學デアリマス、而モソレハ極メテ素朴的ナ哲學論ト考ヘテ居リマス、而モ極端論ノ上ニ立脚シテ構成セラレタル一ツノ社會科學的ナ理念ト云フモノハ、何かシラ理論的ニ徹底シタモノガアルヤウニ見エ、ソレハ一面のナ物ノ見方デアラケレドモ、何かシラ惹キ付ケラレ理論性ヲ持ツテ居ル、私ハ斯ウ思フ、恐ラクハ私ハ青年ト云フモノハ、先程モ大臣ノ仰セラレタヤウニ、學理的ニ追求シヨウト云フ興味ヲ非常ニ強ク持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ私ハ單ナル觀念のナモノデアツテ居ツテ、満足ノ出來ナイ者ハ必ズヤソコニ一ツノ光

セラレタ科學性ノ一體性ト云フ所ニ、魅力ヲ感ジテ居ルモノデアルノニ、我國ニ於ケル指導者ノ執ラレテ居ル一ツノ立場ト云フモノハ、唯謂ハバ哲學ナラ哲學ノ立場ダケデモノヲ見テ居ル、例ヘバ西田サンノ哲學ノ如キハ、最モ尊敬ニ値スル哲學ダト云フコトヲ考ヘマスケレドモ、ソレハ其ノ上ニ一ツノ科學的ナモノノ原則ト云フモノガ、果シテアノ中ニ見ラレテ居ルカドウカト云フコトニハ若干ノ疑問ガアル、ソレハ西田サントシテハ、ソレハ自分ノ研究ノ領域チヤナイト云ハレバ、ソレデ済ムト思ヒマスケレドモ、最モ高イ「レベル」ニ達シテ居ル人ダト思ツテ居ルノ人ニ於テサウデア、況ヤ其ノ他ノ佛教哲學ナドヲ論ジテ居ル方方ハ、非常ニ觀念的ナ物ノ見方デ、結局現實的ナモノニ觸ルル現實ト哲學ノ一致ト云フコトヲ、忘却シテ居ルカノヤウニ見エ、サレバト云ツテ、然ラバ科學的ニ物ヲ想定スル見方カラ、日本ノ人ハドウ云フ見方ヲ立テテ居ルカト云フ、是モ亦單純ニ外國ニアツタ事柄ヲ、「ドイツ」ハドウデアツタトカ、「ロシア」ハドウデアツタトカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ、今ノ根本哲學ト科學性トノ間ニハ、マルキリ連絡ノナイ形デ、青年ノ間ニ投出サレテ居ルカノヤウニ、私ニハ考ヘラレノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ニ、例ヘバ佛教哲學ニ依ツテ坐禪ヲスレバ宜イト云ツタヤウナ方法デ、教導政シテ參リマシテモ、彼等ガ坐ツテ居ル場合ハ、一ツノ雰囲気ノ中ニアル間ハ、ソレデ満足シテ居ルカモ知レマセズガ、一歩街頭ニ立ツタ以上ハ、單ナル坐禪ナリ、或ハサウ云フ哲學ヲ解決シ得ナイ、餘リニモマザノトシタ現實ヲ見セ付ケラレルノ

○森田(重)委員 全ク同感デゴザイマス、戴キタイ、ソレハ何デアルカト云フ、マノ一ツノ理由ハ、インテリナシナルト云フモノニ對スル一ツノ考ヘ方ダト私ハ思フ、學生ト云フモノハ決シテ私ノ事ヲ考ヘテ居ルノデハナイノデス、何ヲ考ヘテ居ルカ、全人類ニ觸レタ意義アル生活コソ、學生ト云フモノハ望シテ居ル、其處ニ投掛ケテ來タモノガ「インテリナシナル」ノ思想、「コミンテルン」ノ思想、世界國家ノ思想、此ノ思想ニ觸ルルト云フコトハ、ハナリ學生ト云フモノガ、之ニ心惹カルル根本的ナ原因ダト思フ、嘗ツテノ聖人トシテ現ハレタ「キリスト」ニシテモ、釋迦ニシテモ、或ハ孔子ニ對シマシテモ、恐ラクハ全人類ト云フヤウナモノヲ、己自身ニ活カシ切ラウトスル所ニ、アノ人達ノ最大ノ苦悶ガアツタト私ハ見ル、吾々モ亦是等ノ聖人ニ心打タルモノハ、ソレハ單ナル一個ノ「キリスト」トシテノ人間ニアラズシテ、全人類ノ集積トシテ見タ「キリスト」デアリ、釋迦デアリ、孔子デアルト考ヘル、ソコニ吾々ハ「インテリナシナル」ヲ如何ニ

取扱ハネバナラナイカト云フコトヲ、根本的ナ問題トシテ取上ゲナケレバナラナイ間題ダト私ハ思ヒマス、サウ考ヘマシテ、ソコデ私ハ其ノ點ニハ恐ラク大臣モ御同感デアラウト思ヒマス、時間ノ關係上モウ一ツ突入ツテ申サカ、サウ云フ場合ニ第三「インテリナシナル」ノヤウナ畫一的ナ意味ニ於ケル「インテリナシナル」デアツテハ、是ハ明カニ惡平等ノ思想デス、ソレハ必ズヤ部分ガ即チ全體デア、全體ガ即チ部分デア、此ノ現象ト實ニ關係ニ於テ、實ニ即現象、現象即實在、此ノ根本的ナ理念ノ上ニ立ツテ、即チ特殊ト全體、平等ト特殊、斯ウ云フヤウナ點ヲ綜合シタ一ツノ根本理念ト云フモノハ、私ハソコニ立ツテ來ナケレバナラナイノデハナイカト思フ、ソレニ依ツテ初メテ世界各民族ナリ世界各國ガ、各ノ民族國家ノ特性ヲ、同ジ姿ニ於テ發現スルノダ、サウ云フ風ナ一ツノ畫調的ナ團體生活ガ、全人類ノ上ニ行ハレナケレバナラナイモノダト云フ建前ガ、私ハソコニ立ツト思フ、サウ云フヤウナ理念ガハツキリ立ツト云フモノハ、私ハ初メテ此ノ八絃一宇ノ理想ト云フモノノ哲學的根據ト云フモノガ付ケラレレドモ、哲學的根據ト云フモノガ付ケラレ味ニ於ケル世界思想、國際思想ナダ、ケレドモ投掛ケラレタル一個ノ特殊の現象ト致シマシテハ、私ハハツキリ一ツノ現實ト云フモノガ横タハルト思フ、其ノ意味ニ於テ日本ハ支那トナゼ戦ツタノデアラカ、又外ノモノトナゼ戦ハナケレバナラヌノデアルカト云フ一ツノ特殊性ノ現實ニ根據ヲ置イテ、初メテ今回ノ聖戰ノ理論付ケ

ト云フモノガ、私ハ完全ニナルノダト考ヘル、斯クノ如キ理論デアリマス、即チ實在ト現象トノ間ニ、今ノヤウナモノガ系統付ケラレテ、サウシテ今ノ國際思想、「インテリナシナル」ダガ、是ハ東洋獨特ノ「インテリナシナル」ダ、日本ノ國家獨特ノ「インテリナシナル」ダ、斯ウ云フ風ナ形ニナツテ來ルノデアリ、私ハ學生ハ納得シナイデアラウト云フコトヲ考ヘル、此ノ點ニ付テドウカ非常ニ此ノ道ニ達シテオイデナラレ、其ノ點ニ於テ私ガ非常ニ尊敬措クコトノ出來ナイ文部大臣カラ、是等ノ點ニ付テ御意見ヲハツキリト講場ヲ通シテ一ツ宣言シテ戴キタイ、實ハ斯ウ云フコトヲ果シテ戰時下ノ立場カラ、議會ニ於テ論ゼラレベキモノカドウカト云フコトニ付テ、私ハ大分感ツタノデアリマス、併シ此ノ間、近衛サングアソコデ非常ニ敬重ナル態度ヲ以テ自己告白ヲ致シマシタ、アノ告白ノ態度ト云フモノハ、私ハ一ツノ宗教ダト思フ、即チ日本ノ國家ハ、今ヤ一切ノ文化ヲ發露スルコトニ依ツテ、初メテ本當ノ宗教的ナルモノ、其ノ宗教ノ底ニハツキリ科學的ナルモノヲ包容シタ最高ノ段階ニ、今立ツタノダト云フヤウナ感ニ打タレタ、是ハドウシテモ文部省ト致シマシテモ、サウ云フヤウナ方向カラ、ハツキリ一ツノ根據ヲ示サナケレバナラナイ、ドウカ一ツ文部大臣カラ、サウ云フコトヲ一般學生ナリ、或ハ民衆ノ指導者ニ對シテ、斯ウ云フ高イ理念ノ信念ヲ一ツ御披露下サイマシテ、サウシテ此ノ議會ヲ通シテ、日本ノ行キ方ハ斯クノ如キモノデアルト云フコトヲ、御示シ戴キタイ、斯ウ考ヘタノガ私ノ今日ノ質問トナツタ理由デアリマス、ドウカ其ノ點



御洞察下サイマシテ、一ツ思切ツタ閣下ノ御高見ヲ御洩ラシテ下サラシコトヲ、御願ヒ申上ゲル次第デアリマス。

○橋田國務大臣 御高見ヲ拜聴シマシテ、言葉ノ表現ノ仕方ハ違ヒマスケレドモ、從來私ガサウアラネバナライト考ヘテ居リマシタコトノ大體ヲ、御述ベ下サイマシタコトハ、私自ラトシマシテモ甚ダ心強ク感じテ居ル次第ゴザイマス、事細カクナルヤウデアリマスケレドモ、學生ガ、インテリナシナルト云フコトニ付テ非常ナ魅力ヲ感ズルデアラウト仰セラレマシタガ、其ノ通りダト存ジマス、是ハ本ヲ糺セバ抽象ト具體トヲ履キ違ヘテ、一般妥當性ト云フ抽象ト具體トノモノガ具體トナモノト云フ考ヘルガ故ニ、インテリナシナルト云フ事柄ヲ眞先ノ問題ト考ヘルデアリマセウケレドモ、インテリナシナルト云フ言葉自身ガ示シマス通り、「ナシナル」デナイモノニ「インテリナシナル」ハナイ、「ナシナル」ガアルガ故ニ初メテ、「インテリナシナル」ト云フコトガ出来ルデアラウト、インテリナシナルガ出来ルト云フコトノ空論デアラコトハ間違ヒナイデアリマス、ソコニ於テ吾々ガ先ヅ立テナケレバナライナイ、「ナシナル」ナルモノハ何カト云フト、日本帝國デアアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、日本帝國ヲ吾々ガ立テルト云フ事柄ハ、先ヅ吾々ガ各、己ヲ自覺シマシテ、其ノ自覺シタ己ヲ捧ゲ、一應自覺シタ己ヲ再ビ無シテ、陛下ニ歸一シ奉ルコトニ於テ、日本國ハ本當ノ姿ヲ現ハスコトハ申スマデモナイコトゴザイマス、其ノ日本國ト云フモノガ、吾々ノ勤キト申シテハ良多イデスガ、

御後威ノ中ニ包マレル吾々ノ勤キニ於テ日本ノ姿ガ本然ノ姿ヲ現ハシテ來ル所ニ、ハ紘一字ト云フコトハ自ラ現ハレテ來ルベキモノデアラ、唯理念トシテ掲ゲル標識ヲ除リニ掲ゲ過ギテ居ルト云フコトノ爲ニ、根本的ニ其ノ理念ヲ理念トシテ實現スルノハドウシタラ宜イカト云フコトヲ知ラズニ迷ツテ居ルト云フヤウナ時代デアラト云フコトモ一面ニ考ヘラレタルデアリマス、各所ヲ得シムルト仰セラレマシタ通り、各ガ各、正シキ強キ人間トシテ、分ヲ守リナガラ、又同ジク人間トシテ一ツニナレル、斯ウ云フコトニナル所マデ來ルノガハ紘一字ノ根本ノ理想デアアルコトハ疑ヒモナイコトデアルト存ズルデアリマスガ、ソレニハ先ヅ吾々ノ務ムベキコトハ、我が日本國ヲ本然ノ姿ニ盛上ゲルト云フコト以外ニ何モノナイデアリマス、唯外國ノコトヲ見、外國ノコトヲ知ルト云フコトハ、實ハ我が日本ヲ日本タラシメシメテ見ルノデアリ、知ルノデアリマシテ、吾々ハ、イギリス、人タラシメシメテ、イギリスノコトヲ知ルノデハ決シテデアリマセウ、「ドイツイ」人タラシメシメシメテ、「ドイツイ」人ナインデアリマス、我が日本ヲ本然ノ日本タラシメシメシメテ、彼ヲ見、彼ヲ察スルノデアリマシテ、其ノ意味カラ申スマスルナラバ、吾々ノ立場ニ於テハ、社會ハ日本以外ニナイ、日本ト云フ立場ニ立ツテ、日本ト云フ勤キノ中ニ於テ世界ヲ見、世界ヲ取扱ツテ居ルノデアリマス、ソレガ體又ハ紘一字ト云フコトノ一面ノ理念のナ、哲學的のナ、宗教的のナ意味ヲ持ツコトニモナラウト存ジテ居ルノデアリマシテ、吾々ノ今ナスベキコトハ何デアアルカト申シマス、度

度申上ゲマス通り、傳統ヲ現實ニ活力シテ、又未來ヲ其ノ現實ノ中ニ織込シタ其ノ現實ノ姿ニ於テ日本ヲ本然ノ姿ニ起テ上ラセ、其ノ爲ニ吾々ハ今大東亞共榮圈ノ建設或ハ大東亞新秩序ノ建設ト云フコトニ邁進シテ居ルデアリマシテ、是ハ吾々自ラノ問題トシテ考ヘマス時ニハ、日本ヲ本然ノ姿ニ起テ上ラセルト云フコトデアリマス、オ互ヒ存在スルノデハナイデアリマス、日本ダケガ手ヲ携ヘテ行カケレバナライ隣邦ガアル際ニ於テハ、隣邦ヲシテ隣邦タラシメルトコトガ、體テ吾々ハ吾々トシテ起テ上ルコトデア、斯ウ云フ意味ニ解シマス時ニ、吾々ガ今キツテ居リマス事柄ハ、是非共ヤラナケレバナライコトヲヤツテ居ルノダト云フコトガ、ハツキリスルト云フデアリマス、從來ハ紘一字ト云フコトヲ解シマスニシマシテモ、先程モ仰セラレマシタ先達ノ士ノ中ニハ、八紘ト云フコトヲ提ゲ來ルト、是ハ必ズ侵略主義デアルト考ヘル人ガアルカラ、此ノ言葉ハ使ハナイヤウニシロト云フ人モアリマス、又八紘一字ト云フ言葉ハ古イ言葉デ、其ノ時八紘ト云フノダカラ、ソレヲ今世界全面ニ向ツテ八紘一字ト云フコトヲ言フノハ間違ツテ居ルト云フヤウナ解釋ヲシタ人モアリマス、併シナガラ先程モ仰セラレマシタ通り、古典ヲ吾々ノ信念ノ根源ニシテ、而モソレヲ現實ノ世界ニ於テ如何ニ活カスカト云フコトヲ考ヘマス時ニ、其ノ古典ノ中ニ現ハレテ居ル文字ガ現代的ニ生キタ意味ヲ持ツナケレバナライコトハ言フマデモナイコトデアリマシテ、八紘ト云フ言葉ニシマシテモ、

神武天皇ガ如何ナル御趣旨ヲ仰セラレテ居ルカト云フコトヲ拜察スルコトハ無論吾々ニ出來ナイコトデアリマスケレドモ、併シ當時ノ我が日本ノ建國ト云フコトノ理想カラ考ヘテ參リマスルト、八紘一字ト云フコトハ正ニ吾々ノ知ツテ居ル全世界デアルト解釋スルコトニチツトモ差支ヘナイと思フデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、吾々ノ傳統トシテ吾々ノ信念ノ中ニ生キ、又吾々ノ眞ノ生命トシテ生キテ居ル此ノ古典ノ精神ヲ、一面ニ於テハ哲學的ニ、或ハ科學的ニ十分其ノ據リ所ヲ紘シテ、其ノ精細ナル考察ニ依ツテ、先程モ申シマシタ通り、一絲亂レザル理論體系ガ現實ニ即シテ作ラレナケレバナライ、架空ノ上デナク、現實ノ吾々ノ生命ノ此ノ生キノトシタ姿ニ於テ作ラレナケレバナライ、其ノ理論ト而モソレヲ活カシテ居ル吾々ノ勤キ、此ノ二ツノモノニ於テ世界ノ人類總テガ吾々ノ立場ヲ能ク諒承シテ、吾々ト同ジ歩調ヲ歩ミ來ル如クニ吾々ハ將來ニ向ツテ奮闘シナケレバナライト考ヘテ居ルノデゴザイマス。

○森田(重)委員 非常ニ有難ウゴザイマシタ、ソコデ私ハ最後ニ總括ト致シマシテ御願ヒ致シタイコトガアルノデアリマス、ソレハ何デアアルカト云フト、此ノ教學刷新ノ費用ガ相當盛ラレテ居ルノデアリマス、繰返シテ御願ヒ申上ゲタイと思フノハ、是ガ若シオ上ガヤルノダゾト云ツタヤウナ心構ヘニナリマスルト、生命ガ力ガ發散シテシマヒマス、是ハ文部省トシテ最モ注意セナケレバナライ要點ト思フ、今學生ノ求メルモノハ量デハナイ、質ナノデス、質ニ於テ吾々ノ知ラナイ所ヲドウシテ分ラセテ與レルカト云フコトヲ求メテ居ル、ソレヲ斯ウ云

フヤウナ施設ヲスルニ當ツテ、若シ誤ツテ是ハオ上ノ施設ダゾト云フ舊來ノ官ノ句ヒガ僅カデモ出ルト云フコトニナリマスルト、眞ノ姿ハ埋没シテシマヒマス、ドウカ此ノ點ニ付テハ萬全ノ御用心ヲ下サイマシテ、今ノ日本ノ苦悶ト今ノ混亂ノ中カラ、是カラコソ吾々ハ本當ノ思想ガ生レ出ルデアラウト云フコトヲ確信シテ居ル、ドウカサウ云フ意味ニ於テ、一ツ教學刷新ノ據リ所ト云フモノガ、大臣ノ今御宣言アラレタ心構ヘノ中カラ生レ出ルヤウニ御助長下サイマシヤウニ切ニ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス、ソコデ今私ノ申上ゲマシタコトガ大臣ノ御共鳴ヲ得マシテ、私非常ニ感謝スルノデアリマスガ、結局ハ人間ノ生活ハ生命ガ力デス、魂デス、無論是ハ物の基礎ノ上ニ立ツコトハ言フマデモナイコトデス、一體誰ガ魂ヲ傳ヘルノデスカ、生命ハ生命ヘノ共感ニ依ツテノミ成立ツノデスカ、鏡以外ニアリマセウ、最モ高イ力ヲ持ツタ魂カラ最モ高イ力ヲ持ツタ魂ヘノ呼掛ケニナル、其ノ道ヲ傳フルモノハ一體何デス、私ハ師道ニ依ルヨリ外ニ途ハナイと思フ、師道ヲ正サズンバ一切ノモノハ混亂致シマス、然ルニ我が日本ニ於ケル師道刷新ノ方法ハ如何デアリマセウカ、一體師範學校ヲナゼアナンニ虐待シテ居ルノデス、高等小學校ヲ終ツテ五年掛ツテ居ル、ソレト、他ノ小學校デソレト同ジ位ノ年限ヲ掛ケタ者ニ比ベマシテ、依然トシテ繼子扱ヒヲ受ケテ居ル、新タニ改正セラレデアラウト言ハレテ居ル教育審議會ニ掛ツテ師範ノ昇格問題、是ハ閣下ハドウ御取扱ニナラレタカ、私分リマセウガ、昨年私ハ此ノ點非常ニ重大視シマシテ、松浦閣下ニ御尋ね致シマシタ所、今年ハ豫算

ニ計上スルト仰シヤツタ、計上サレテ居ルカドウカ、能ク後ヲ御伺ヒシテ見タイと思ヒマスガ、能ク後ヲ御伺ヒシテ見タイと思ヒマス、併シ計上サレテ居ナイト云フコトニナルト、是ハ又大キナ問題ト思ヒマス、高等工業學校ハ七校モ建ツ、獸醫ノ學校モ建ツ、物ヲ培ヘルコトト動物ヲ培ヘルコトニハ金ヲ入レテ、人間ヲ作ルコトニハ金ヲ入レズノデス、是デドウシテ國策ノ根本ガ御立チニナルト御考ヘニナルカ、是ハ又非常ニ大キイ問題ト思フ、今日日本ノ國家ガ、此ノ國難ニ直面シテ思想問題ヲ構ム、是位私ハ國家トシテ恥ツベキコトハナイと思フ、道ノ傳統ヲ維持シテ傳ヘル所アラバ、何デ斯ウ云フヤウナ現實的ナ混亂期ニ、更ニ道ノ復興ヲ叫ブ必要ガアリマセウカ、餘リニモノニ出シ過ギタ、高等工業、到ル處高等工業デアアル、サウシテ物ノ方面トサウ云フ方面ダケカラ入レテ居ル、是ガ文部省ノ御態度デアアルカ、國民ガ魂ヲ閉却スルノハ、私ハ當然ノ報イダト思フノデアリマス、是ハドウシテモ考ヘナケレバナライ、繼子扱ヒニシテハイケマセカ、ナゼ明ルミニ出シテ戴ケナイノデアアル、同ジ年限勉強シテ、ナゼ明ルミニ出シテ戴ケナイカ、ソレハ金ガ掛ルノダ、斯ウ仰セラレレケレドモ、金ハ兎ニ角今アルノデスカ、ソレニ若干ノ補助カ何カヲ國家ガ致シマスナラバ、私ハ明カニソレ等ノ點ヲ補充ガ付タト思フ、今日師範學校ヲ卒業シテ、小學校ノ教員ニナツテ居ル人々ハ、餘リニモ肩身ガ狭イト云フ、師範學校ハ入ツテ居ルコトソレ自體ガ、何カ知ラ肩身ガ狭イ、サウ云フ思ヒヲサセナガラ、一面大東亞ノ建設デアルト、何タルコトデアアルカ、

大東亞ノ建設ヲナスニハ、先ヅ人心ノ作興ヲ圖ラナケレバナライ、民心ノ作興ヲ圖ラナケレバナライ、民心ノ作興ヲ圖ラナケレバナライ、先ヅ師範學校ノ心ヲ廣大ナラシムルト云フコトガ根本デアアル、明朝ナラシムルト云フコトガ根本デアアル、ソレヲ斯クノ如キ虐待セル姿ニ置イテ、現實ナルガ故ニ汝等之ヲ誦メヨト、斯ウ仰セラレタナラバ、ソレハ私ハ本當ノ道ノ體験者デナイト考ヘテ居ルノデス、私ハ橋田文部大臣閣下ヲ非常ニ尊敬スル、アナタノ著書ヲ讀ミマシタ、併シ非常ニ感佩ニ打タレマシタ、併シサウ云フヤウナ要點ヲ御忘レニナルト云フコトデアリマスレバ、是レ即チ實在ハ現象ノミニ依ツテ表現セラレル、今ノ現實、時ニシテ永遠ノ今、空間ニシテ古今、此ノ觀點ニ立ツタ重大ナル問題ニ對シテ、ドウカ師道刷新ノ根本ヲモウ少シ建直スコトニ、意ヲ用ヒテ貴ヒタイト云フコトヲ、切ニ考ヘルモノデアリマス、教育審議會カラ答申セラレタ案ガアルサウデアリマスカラ、是ハ速カニ實行ナサルダケノ御處置ニ出ラレテ、サウシテ師範學校ニ新タナル道ノ創造ノ機會ヲ御與ヘ下サラシコトヲ御願ヒ申シマス、同時ニ大臣ノ御所見ヲ承ルコトガ出來マシレバ幸ヒデアリマス。

○橋田國務大臣 國民一般ノ基礎教育ト云フコトガ重大デアリマスガ故ニ、國民學校案トシテ小學校令ノ改正ナドヲ企テマシタノハ、全ク教育ト云フコトガ、如何ニ高度ノ國防國家態勢建設ニ向ツテ、重要デアアルカト云フ事柄ヲ能ク心得テノ事柄デアリマス、就キマシテハ師道ノ興隆ト云フ事柄ハ、私ハ就任尙々ニ文部大臣談トシテ、眞先ニ掲ゲテ居ル大問題デアリマス、而モ先程申シ

マシタガ、師道ノ興隆ト云フコトニ付キマシテハ、唯教育者ノ自覺ヲ持テト云フ主觀的ニ唯奮勵スルダケデナク、本當ニ師タル身分ヲ分トシテ持テ得ル客觀的ナ條件ヲ備ヘテヤラナケレバナライコトハ、重々承知シテ居リマス、唯色々ナ事情カラシテ私ノ企願スル事柄ヲ、甚ダ微力ナルガ故ニ十分ニ、又皆サン方ノ御満足ノ行キマシヤウニ、事柄ガ直ダ實行出來ナカツタノハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマスケレドモ、是ハ私ガ文部省ノ行政部門ニ於ケル最モ重大ナル問題トシテ、關心ヲ離ラナイ問題デアアルコトヲ御承知置キ願ヒタイと思フノデアリマス、殊ニ師範學校ノ問題ニ付テハ、既ニ豫算ニモ御協賛ヲ御願ヒシテ居リマスガ、出來ルダケ速カニ改善ヲ施スト同時ニ、改善ニ伴ツテ教員ノ優遇ト云フ事柄モ實現出來ルヤウニ、出來ルダケ努力ヲ拂ヒタイト存ジテ居リマス。

○末松至奎 次ニ多田滿長君

○多田委員 私ハ極ク簡單ニ三、四ノ點ニ付テ伺ツテ見タイと思ヒマスガ、此ノ席ニ居リマセウコトガ多カウツモノデスカ、若シ重複スル點ガアリマスレバ御注意願ヒマス。

第一ニ伺ヒタイコトハ、時局ニ即應シテ文教ニ關シテ改善スル、或ハ新タニ計畫スベキコトガ頗ル多イと思ヒマス、高度國防國家ノ建設ハ、國民ノ常識ニナツテ居リマス、政治ニ於テ、經濟ニ於テ、文化ニ於テ、凡ユル方面ニ互ツテ改善ヲ要スルコト頗ル多イデアリマス、即チ是ガ革新トナリ、或ハ新體制トナツテ現ハレテ居ルノデアリマスガ、我が文教ノ府ニモ、今日ノ場合特ニ考慮シナケレバナライ事柄ガ、頗ル多カ



ヲ御河察下サイマシテ、一ツ思切ツタ閣下ノ御高見ヲ御洩ラシテ下ララント云フ、御願ヒ申上ゲル次第アリマス。

○橋田國務大臣 御高見ヲ拜聴シマシテ、言葉ノ表現ノ仕方ハ違ヒマスケレドモ、從來私ガサウアラネバナラナイト考ヘテ居リマシタコトハ、私自ラトシマシテモ甚ダ心強ク感ズテ居ル次第デゴザイマス、事細カクナルヤウデアリマスケレドモ、學生ガ「インテリナシナル」ト云フコトニ付テ非常ナ魅力ヲ感ズルデアラウト仰セラレマシタガ、其ノ通りダト存ジマス、是ハ本ヲ糺セバ抽象ト具體ト履キ違ヘテ、一般妥當性ト云フ抽象的ナ建前ノモノガ具體的ナモノダト考ヘルガ故ニ、「インテリナシナル」ト云フ言葉自身ガ示シマス通り、「ナシナル」デナイモノニ「インテリナシナル」ハナイ、「ナシナル」ガアルガ故ニ初メテ「インテリナシナル」ト云フコトガ出来ルデアラウト云フアツテ、「ナシナル」デナイモノニ「インテリナシナル」ガ出来ルト云フコトハ空論デアラウトハ間違ヒナイデアリマス、ソコニ於テ吾々ガ先ツ立テテケレバナラナイ、「ナシナル」ナルモノハ何カト云フト、日本帝國デアアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、日本帝國ヲ吾々ガ立テテ云フ事柄ハ、先ツ吾々ガ各、己ヲ自覺シマシテ、其ノ自覺シタ已ヲ捧ゲ、一應自覺シタ已ヲ再ビ無シテ 陛下ニ歸一シ奉ルコトニ於テ、日本國ハ本當ニ委ヲ現ハスコトハ申スマデモナイコトデゴザイマス、其ノ日本國ト云フモノガ、吾々ノ働キト申シテハ畏多イデスガ、

御成程ノ中ニ包マレル吾々ノ働キニ於テ日本ノ委ガ本然ノ委ヲ現ハシテ来ル所ニ、八紘一宇ト云フコトハ自ラ現ハレテ来ルベキモノデアラ、唯理念トシテ掲ゲル標識ヲ除リニ掲ゲ過ギテ居ルコト云フコトノ爲ニ、根本的ニ其ノ理念ヲ理念トシテ實現スルノハドウシテ宜イカト云フコトヲ知ラズニ迷ツテ居ルコト云フヤウナ時代デアリマス。コトモ一面ニ考ヘラレラレデアリマス、各所ヲ得シムルト仰セラレマシタ通り、各ガ各、正シキ強キ人間トシテ各ノ分ヲ守リナガラ、又同ジク人間トシテ一ツニナレ、斯ウ云フコトニナル所マデ来ルノガ八紘一宇ノ根本ノ理想デアアルコトハ疑ヒモナイコトデアルト存ジマスデアリマスガ、ソレニハ先ツ吾々ノ務ムベキコトハ、我が日本國ヲ本然ノ委ニ盛上ゲルコト云フコト以外ニ何モノモナイデアリマス、唯外國ノコトヲ見、外國ノコトヲ知ルト云フコトハ、實ハ我が日本ヲ日本アラシメシテ見ルノデアリ、知ルノデアリマシテ、吾々ハ「イギリス」人タラシテガ爲ニ「イギリス」ノコトヲ知ルノデアリマシテ「イギリス」ノ文化ヲ知ラシメシテ「ドイツ」ノ文化ヲ知ラシメシテ「イギリス」ノ文化ヲ知ラシメシテ「ドイツ」ノ文化ヲ知ラシメシテ、我が日本ヲ本然ノ日本アラシメシテ、彼ヲ見、彼ヲ察スルノデアリマシテ、其ノ意味カラ申シマスラバ、吾々ノ立場ニ於テハ、社會ハ日本以外ニナイ、日本ト云フ立場ニ立ツテ、日本ト云フ働キノ中ニ於テ世界ヲ見、世界ヲ取扱ツテ居ルデアリマス、ソレガ總テ又八紘一宇ト云フコトノ一面ノ理念的ナ、哲學的ナ、宗教的ナ意味ヲ持ツコトニモナラウト存ジテ居ルデアリマシテ、吾々ノ今ナスベキコトハ何デアアルカト申シマス、度

度申上ゲマス通り、傳統ヲ現實ニ活力シテ又未來ヲ其ノ現實ノ中ニ織込メシテ其ノ現實ノ委ニ於テ日本ヲ本然ノ委ニ起テ上ラセ、其ノ爲ニ吾々ハ今大東亞共榮圈ノ建設或ハ大東亞新秩序ノ建設ト云フコトニ邁進シテ居ルデアリマシテ、是ハ吾々自ラノ問題トシテ考ヘマス時ニハ、日本ヲ本然ノ委ニ起テ上ラセルト云フコトデアリマス、同時ニ我が日本ト云フモノハ、日本ダケガ存在スルノデアリナイデアリマス、オヒヒニ手ヲ携ヘテ行カケレバナラナイ隣邦ガアル際ニ於テハ、隣邦ヲシテ隣邦タラシメルコトガ、體テ吾々ハ吾々トシテ起テ上ラセ、吾々ガ今ナツテ居ルコトハ事柄ハ、是非共ヤラナケレバナラナイコトヲヤツテ居ルデアリマス、從來八紘一宇ト云フコトヲ解シマスニシマシテモ、先程モ仰セラレマシタ先達ノ士ノ中ニハ、八紘一宇ト云フコトヲ提ゲ来ルト、是ハ必ズ侵略主義デアルト考ヘル人ガアルカラ、此ノ言葉ハ使ハナイヤウニシロト言ツタ人モアリマス、又八紘一宇ト云フ言葉ハ古イ言葉デ、其ノ時八紘一宇ト云フハ、唯日本ノ島々ノコトヲ八紘ト仰セラレタノダカラ、ソレヲ今世界全面ニ向ツテ八紘一宇ト云フコトヲ言フハ間違ヒナラナイコトデアリマス、併シナガラ先程モ仰セラレマシタ通り、古典ヲ吾等ノ信念ノ根源ニシテ、而モソレヲ現實ノ世界ニ於テ如何ニ活カスカト云フコトヲ考ヘマス時ニ、其ノ古典ノ中ニ現ハレテ居ル文字ガ現代的ニ生キタ意味ヲ持タナケレバナラナイコトハ言フマデモナイコトデアリマシテ、八紘一宇ト云フ言葉ニシマシテモ、

神武天皇ガ如何ナル御趣旨デ仰セラレテ居ルカト云フコトヲ拜察スルコトハ無論吾々ニ出来ナイコトデアリマスケレドモ、併シ當時ノ我が日本ノ建國ト云フコトノ理想カラ考ヘテ參リマスルト、八紘一宇ト云フコトハ正ニ吾々ノ知ツテ居ル全世界デアルト解釋スルコトニチツトモ差支ヘナイト思フデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、吾等ノ傳統トシテ吾等ノ信念ノ中ニ生キ、又吾等ノ眞ノ生命トシテ生キテ居ル此ノ古典ノ精神ヲ、一面ニ於テハ哲學的ニ、或ハ科學的ニ十分其ノ據リ所ヲ糺シテ、其ノ精細ナル考察ニ依ツテ、先程モ申シマシタ通り、一絲亂レザル理論體系ガ現實ニ即シテ作ラレナケレバナラズ、架空ノ上デナク、現實ノ吾々ノ生命ノ此ノ生キノ上デシテ、於テ作ラレナケレバナラナイ、其ノ理論トモソソレヲ活カシテ居ル吾々ノ働キ、此ノ立場ヲ能ク諒承シテ、吾々ト同ジ歩調ヲ歩ミ來ル如クニ吾々ハ將來ニ向ツテ奮闘シナケレバナラズト考ヘテ居ルノデゴザイマス。

○森田(重)委員 非常ニ有難ウゴザイマシタ、ソコデ私ハ最後ニ總括ト致シマシテ御願ヒ致シタイコトガアルデアリマス、ソレハ何デアアルカト云フト、此ノ教學刷新ノ費用ガ相當盛ラレテ居ルデアリマス、繰返シテ御願ヒ申上ゲタイト思フノハ、是ガ若シオ上ガヤルノダゾト云ツタヤウナ心構ヘニナリマスルト、生命力ガ發散シテシマヒマス、是ハ文部省トシテ最モ注意セナケレバナラナイ要點ダト思フ、今學生ノ求メルモノハ量デハナイ、質ナノデス、質ニ於テ吾等ノ知ラナイ所ヲドウシテ分ラセテ呉レルカト云フコトヲ求メテ居ル、ソレヲ斯ウ云

フヤウナ施設ヲスルニ當ツテ、若シ誤ツテ是ハオ上ノ施設ダゾト云フ舊來ノ官ノ句ヒガ僅カデモ出ルト云フコトニナリマスルト、眞ノ委ハ埋没シテシマヒマス、ドウカ此ノ點ニ付テハ萬全ノ御用心ヲ下サイマシテ、今ノ日本ノ苦悶ト今ノ混亂ノ中カラ、是カラコソ吾々ハ本當ノ思想ガ生レ出ルデアラウト云フコトヲ確信シテ居ル、ドウカサウ云フ意味ニ於テ、一ツ教學刷新ノ據リ所ト云フモノガ、大臣ノ今御宣言アラレタ心構ヘノ中カラ生レ出ルヤウニ御助長下サイマシタウニ切ニ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス、ソコデ今私ノ申上ゲマシタコトガ大臣ノ御共鳴ヲ得マシテ、私非常ニ感謝スルノデアリマスガ、結局ハ人間ノ生活ハ生命力デス、魂デス、無論是ハ物的基礎ノ上ニ立ツコトハ言フマデモナイコトデス、一體誰ガ魂ヲ傳ヘルノデスカ、生命ハ生命ヘノ共感ニ依ツテノミ成立ツノデスカ、鍛錬以外ニアリマセズ、最モ高イ力ヲ持ツタ魂カラ最モ高イ力ヲ持ツタ魂ヘノ呼掛ケニナル、其ノ道ヲ傳フルモノハ一體何デス、私ハ師道ニ依ルヨリ外ニ途ハナイト思フ、師道ヲ正サズンバ一切ノモノハ混亂致シマス、然ルニ我が日本ニ於ケル師道刷新ノ方法ハ如何デゴザイマセウカ、一體師範學校ヲナゼアナンニ虐待シテ居ルノデス、高等小學校ヲ終ツテ五年掛ツテ居ル、ソレト、他ノ小學校デソレト同ジ位ノ年限ヲ掛ケタ者ニ比ベマシテ、依然トシテ鞭子扱ヒヲ受ケテ居ル、新タニ改正セラレデアラウト言ハレテ居ル教育審議會ニ掛ツタ師範ノ昇格問題、是ハ閣下ハドウ御取扱ニナラレタカ、私分リマセスガ、昨年私ハ此ノ點非常ニ重大視シマシテ、松浦閣下ニ御尋ネ致シマシタ所、今年ハ豫算

ニ計上スルト仰シヤツタ、計上サレテ居ルカドウカ、能ク後デ御伺ヒシテ見タイト思ヒマスガ、計上サレテ居レバ結構ダト思ヒマス、併シ計上サレテ居ナイト云フコトニナルト、是ハ又大キナ問題ダト思ヒマス、高等工業學校ハ七校モ建ツ、獸醫ノ學校モ建ツ、物ヲ拵ヘルコトト動物ヲ拵ヘルコトニハ金ヲ入レルガ、人間ヲ作ルコトニハ金ヲ入レズニナルト御考ヘニナルカ、是ハ又非常ニ大キイ問題ダト思フ、今日日本ノ國家ガ、此ノ國難ニ直面シテ思想問題ヲ構ヘ、是位私ハ國家トシテ取ツベキコトハナイト思フ、道ノ傳統連續トシテ傳ヘル所アラバ、何デ斯ウ云フヤウナ現實的ナ混亂期ニ、更ニ道ノ復興ヲ叫ブ必要ガアリマセウカ、餘リニモノ出シ過ギタ、高等工業、到ル處高等工業デアアル、サウシテ物ノ方面トサウ云フ方面ダケ力ヲ入レテ居ル、是ガ文部省ノ御態度デアアルカ、國民ガ魂ヲ閉却スルノハ、私ハ當然ノ報イダト思フノデアリマス、是ハドウシテモ考ヘナケレバナラズ、鞭子扱ヒニシテハイケマセ、ナゼ明ルミニ出シテ戴ケナイノデアアルカ、同ジ年限勉強シテ、ナゼ明ルミニ出シテ戴ケナイカ、ソレハ金ガ掛ルノダ、斯ウ仰セラレレケレドモ、金ハ鬼ニ角ナルノデスカラ、ソレニ若干ノ補助カ何カヲ國家ガ致シマスナラバ、私ハ明カニソレ等ノ點ノ補充ガ付タト思フ、今日師範學校ヲ卒業シテ、小學校ノ教員ニナツテ居ル人々ハ、餘リニモ肩身ガ狭イト言フ、師範學校ハ入ツテ居ルコトソレ自體ガ、何カ知ラ肩身ガ狭イ、サウ云フ思ヒヲサセナガラ、一面大東亞ノ建設デアルト、何タルコトデアアルカ、

大東亞ノ建設ヲナスニハ、先ヅ人心ノ作興ヲ圖ラナケレバナラズ、民心ノ作興ヲ圖ラナケレバナラズ、民心ノ作興ヲ圖ルニハ、先ヅ師範者ノ心ヲ廣大ナラシムルコト云フコトガ根本デアアル、明朗ナラシムルコト云フセル委ニ置イテ、現實ナルガ故ニ汝等之ヲ諦メヨト、斯ウ仰セラレタナラバ、ソレハ私ハ本當ノ道ノ體驗者デナイト考ヘテ居ルノデス、私ハ橋田文部大臣閣下ヲ非常ニ尊敬スル、アナタノ著書モ讀ミマシタ、併シ非常ニ感佩ニ打タレマシタ、併シサウ云フヤウナ要點ヲ御忘レニナルト云フコトデアリマスレバ、是レ即チ實在ハ現象ノミニ依ツテ表現セラレル、今ノ現實、時ニシテ永遠ノ今、空間ニシテ古今、此ノ觀點ニ立ツタ重大ナル問題ニ對シテ、ドウカ意ヲ用ヒテ貴ヒタイト云フコトヲ、切ニ考ヘルモノデアリマス、教育審議會カラ答申セラレタ案ガアルサウデアリマスカラ、是ハ速カニ實行ナサレダケノ御處置ニ出ラレテ、サウシテ師範者ニ新ナル道ノ創造ノ機會ヲ御與ヘ下サランコトヲ御願ヒ申シマス、同時ニ大臣ノ御所見ヲ承ルコトガ出来マスレバ幸ヒデアリマス。

○橋田國務大臣 國民一般ノ基礎教育ト云フコトガ重大デアリマスガ故ニ、國民學校案トシテ小學校令ノ改正ナドヲ企テマシタノハ、全ク教育ト云フコトガ、如何ニ高度國防國家態勢建設ニ向ツテ、重要デアアルカト云フ事柄ヲ能ク心得テノ事柄デアリマス、就キマシテハ師道ノ興隆ト云フ事柄ハ、私ハ就任刻々ニ文部大臣談トシテ、眞先ニ掲ゲテ居ル大問題デアリマス、而モ先程申シ

マシタガ、師道ノ興隆ト云フコトニ付キマシテハ、唯教育者ノ自覺ヲ持テ云フ主觀的ニ唯奮勵スルダケデナク、本當ニ師タル身分ヲ分トシテ持テ得ル客觀的ナ條件ヲ備ヘテヤラナケレバ出来ナイコトハ、重々承知シテ居リマス、唯色々ナ事情カラシテ私ノ念願スル事柄ヲ、甚ダ微力ナルガ故ニ十分ニ、又皆サン方ノ御満足ノ行キマシヤウニ、事柄ガ直ダ實行出来ナカツタノハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマスケレドモ、是ハ私ガ文部省ノ行政部門ニ於ケル最モ重大ナル問題トシテ、關心ヲ離タナイ問題デアアルコトヲ御承知置キ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ師範學校ノ問題ニ付テハ、既ニ豫算ニモ御協賛ヲ御願ヒシテ居リマスガ、出來ルダケ速カニ改善ヲ施スト同時ニ、改善ニ付ツテ教員ノ優遇ト云フ事柄モ實現出來ルヤウニ、出來ルダケ努力ヲ拂ヒタイト存ジテ居リマス。

○末松圭彦 次ニ多田滿長君

○多田委員 私ハ極ク簡單ニ三、四ノ點ニ付テ伺ツテ見タイト思ヒマスガ、此ノ席ニ居リマセスコトガ多カツタモノデスカラ、若シ重複スル點ガアリマスレバ御注意ヲ願ヒマス。



ラウト思ヒマス、私ハ文部大臣ノ此ノ點ニ  
關シテ抱負ト云フヤウナモノヲ、先ツ一  
應伺フテ見タイト思ヒマス

○橋田國務大臣 高度國防國家態勢ノ建設  
ニ向ヒマシテ、文教ノ府トシテ、方針  
ハ、教育ヲ出來ルグケ充實スルト云フコト  
以外ニナシト存ジマス

○多田委員 ソコデ私ハ具體的ニ二、三御  
質問ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、只今教育  
ヲ充實スルコトガ、高度國防國家建設ノ主  
要點ナル、斯ウ仰セラレマシタ、洵ニ文  
教トシテハサウアルベキダト思ヒマスガ、  
現在ノ教育ト申シマシテモ、國民教育ノ點  
ニ於テ頗ル遺憾ノ點ガ多ク思ヒマス、即  
チ此ノ時局ニ際シテ、或ハ小學校教  
員ニシテ出征スル者、或ハ轉職スル者、即  
チ教員ニ満足セズシテ轉職スルト云フヤウ  
ナ者ガ、可ナリ多ク見ラレマシテ、小學校  
教員ノ數ハ頗ル不足致シテ居リマス此  
ノ機會ニ於テ、實際ノ狀況ヲ見マシテ、先  
ツ女學校アタリヲ卒業シタ十八九歳ノ小  
娘ト申シテハ、語弊ガアルカモ知レマセ  
シ、若イ娘ヲ無暗ヤタラニ各町村デ之ヲ頼  
ミ入レテ代用教員ニスル、所謂二月位教育  
ヲシテ之ヲ尋常科本科正教員ニ引直スコト  
ハ、全國到ル處ニ其ノ例ヲ見テ居ルノデ  
アリマス、唯單ニ女ノ先生バカリニアラズ  
テ、今日ノ小學校教員ハ、ス、入ト云フ  
言葉ハ宜クアリマセ、立派ナ教員モ數多  
クアリマスケレドモ、吾々カラ見テ物  
足ラヌ者ガ可ナリ多ク見ラレマシテ、斯  
ク云フ連中ニ教育サレマシテ、今後十年或ハ  
十數年後ニ於ケル日本ノ青年男女ハ、如何  
ナルコトニナルデアラウカト云フコトハ、  
凡ソ子女ヲ持ツ人々ノ心配シテ居ル所デア  
ラウシ、私共亦斯ウ云フ點ニ付テ、非常ナ  
ル憂慮ヲ感ジテ居ルノデアリマス、即チ教  
育ノ眞髓ヲ此ノ時局下ニ於テ發揮シ得ナイ  
ト云フノガ現狀デアリマシテ、大臣ノ今申  
サレル所トハ、可ナリソコニ徑庭ガアルヤウ  
ニ思フノデアリマスルガ、文部大臣ハ其ノ  
點ヲ如何ニ御認識サレテ居ルノデアリマ  
スカ、又私ノ言フコトガ眞實デアルトスル  
ナラバ、如何ナル方策ヲ立テテ、之ニ向ハ  
ントスルノデアラカト云フコトヲ伺フテ置  
キタイ

○橋田國務大臣 事變下ニ於キマシテ、小  
學校教員ガ種々ナ意味カラ手不足ニナリ、  
隨テ代用教員ガ増加致シテ參ツテ居リマス  
コトハ、仰セテ通りデゴザイマシテ、其ノ  
點ハ教育ヲ充實シタイト思フマシテ、其ノ  
吾々ニ取ツテモ、實ニ遺憾ナルノミナラ  
ズ、如何ニセバ、其ノヤウナ傾向ヲ防ぎ得  
カト云フコトヲ、日夜苦心シテ居ルノデ  
ゴザイマシテ、一面ニ於テハ教員ノ優遇ニ付  
テ、國家ノ現狀ニ於テ許サレルグケノコト  
ヲ、出來ルグケ努力スル、同時ニ教員ノ養  
成、言換ヘマシテ如何ニセバ師範學校ノ機  
能ヲ十分ニ發揮セシメ得ルカニ付テ、色々  
ノ方面カラ考慮ヲ運ラシテ、教員ノ不足ヲ  
出來ルグケ緩和シタイト考ヘテ居ル次第デ  
ゴザイマス

○多田委員 只今大臣ノ仰セラレルコトハ、  
恒久的對策ノヤウニ私ハ認解スルノデアリ  
マス、サウ云フ方法モ惡イトハ申シマセ  
ケレドモ、現狀ノ教員ノ不足、サウシテ之  
ヲ救済スルニハ、如何ナル手段方法ヲ執ル  
カト云フコトハ、文部當局トシテハ應急對策  
トシテ考ヘテ置カナケレバナラヌコトヲ思  
フノデアリマスガ、應急對策トシテ何カ方針

ガアルカト云フコトヲ、御伺ヒ致シタイノ  
デアリマス

○菊池政府委員 多田委員ノ只今ノ御話ハ  
御尤モデアリマシテ、只今大臣カラ御説明  
モゴザイマシタヤウニ、ヤハリ師範學校ニ  
於テ優良ナ生徒ガ集マツテ來ルヤウニ、先  
ツ努力シナケレバイカニ考ヘテ居リマス、  
隨テ學費補助ノ増額ヲ、來年度ノ豫算ニモ  
計上シテ協賛ヲ願フコトニナツテ居リマス  
ガ、學費ノ補助ノ増額ヲ、尙ホ是ハ先  
ノ話ニナルカモ知レマセマスガ、其ノ制度ニ  
關シテハ教員ノ優遇、年功加俸、家族手当  
共濟組合、其ノ他ノ施設ヲ現ニ豫算ノ上ニ  
於テモ計上シテ、實施シタイト考ヘテ居リ  
マス、其ノ外最モ急ナ應急施設ト致シマシ  
テハ、現ニ存在シテ居リマス代用教員ニ對  
シテ、必要ナル相當長期ノ講習ヲ行ヒマシ  
テ、教育訓練ノ上ニ於テ十分力ヲ發揮シ得  
ルヤウニ、再教育ヲ實施致シテ居リマス

○多田委員 次官ノ御答辯モヤハリ恒久的  
對策ノヤウニ、私ハ認解スル、私ハサウ  
云フコトヲ聽イテ居ルノデハナイ、現在教  
員ガ不足ヲ致シテ居ル、實ノ惡イ連中ガ  
相當流レ込メテ居ル、サウ云フ人々ニ教育  
サレル日本ノ小學校兒童ハ、洵ニ悲シムベ  
キデアル、而モ是ガ今後數年後、十數年後  
ニ現ハレルノ結果ヲ見マシテ、由々シキコ  
トニナルデハナイカト云フコトニ付テ、聽  
イテ居ルノデアツテ、直グサマ應急對策ヲ  
講ジナケレバナラヌト云フノガ、私ノ質問  
ノ主要點デアリマス、只今講習ヲスルト云  
フヤウナコトヲ言ハレテ居リマス、私モ講  
習ノコトハ聞イテ居リマスガ、僅カ二箇月  
位ノ講習ヲシテ、ソレデ一人前ノ小學校教  
員ト云フコト、之ヲ小學校ニ突出シテ居ル

ト云フヤウナ狀況デアリマス、ソノナコトデ  
ハイカス、私ハ茲ニ一ツノ考ヲ持ツテ居リ  
マスカラ、應急對策ノ一ツトシテ之ヲ申上  
ゲテ、大臣及ビ次官ノ御一考ヲ煩ハシタイ  
ト思ヒマス、ソレハ若イサウ大シテ經驗ノ  
ナイ人々ニ、僅カバカリノ教育ヲシテ、本  
科正教員ニ直スト云フヤウナコトヨリカ、  
寧ロ五十歳或ハ五十數歳ニシテ、誠切ラ  
レテ居ル元ノ小學校長或ハ訓導、是ガ全國  
ニ頗ル多ク見ラレマシマス、恐ラクハ一町村  
ニ二人カ三人カハ、勿論アルト思ヒマス、  
全國デハ何万人ト云フモノガ、魚ノ釣ツテ  
ブラ／＼シテ居ルトカ、或ハ保險ノ勸誘ヲ  
シテ居ル者ガ、相當アラウト思ヒマス、斯  
ウシタ人々ガ其ノ力ヲ用ユルコトナクシテ、  
恩給ヲ貰ツテ遊ンデ居ルヤウナ現狀デアリ  
マス、私ハ斯ウシタ人々ヲ一ツ引上ゲテ、  
小學校教育ニ從事セシメルヤウニシタナラバ  
ドウデアルカ、サウシテ若キ人々ハ之ヲ生  
産補充ノ方面ニ使ツテ、老練達識、私ヲシ  
テ言ハセマス、誠切ラ切ラレバキ管デナイ  
者デ、罷メサセラレテ居ル者ガ頗ル多ク見  
ラレマシマス、是等ハ小學校教育ニ十分  
適當シテ居リマス、マダ十分ヤレマス、私  
ヲシテ言ハシムレバ六十歳位——文部大臣  
ハ何歳カ存ジマセケレドモ、兎ニ角五十  
歳以上六十歳位マデハ、小學校教育ニ從事  
セシメテ、相當效果ガ得ルコトヲ考ヘテ居  
ルノデアリマスカラ、豫備役ト申シマスカ、  
後備役ト申シマスカ、現役ヲ終ツテ居ル小  
學校教員ヲ、此ノ場合引上ゲテ、サウシテ  
小學校教育ヲ擔當セシメテ、今日差迫ツテ  
居ル小學校教育ノ缺陷ヲ救済スル意思ナキ  
ヤ否ヤト云フコトヲ大臣ニ伺フテ見タイト思

ハ、願ヒマス

○多田委員 具體的ノコトガ申サレマスナ  
ラバ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ、御答  
ヘ願ヒマス

○菊池政府委員 只今國民學校ノ教員ノ精  
神ノ待遇ニ付キマシテ、大臣カラ御話ガ  
ゴザイマシタヤウニ、委任待遇ノ程度ニ於  
キマシテモ、只今ヨリ二等バカリ上ニ上  
得ル途ヲ開カントシテ、議ヲ進メテ居リマ  
ス、ソレカラ委任待遇ノ人數モ、今カラ見  
マスト約二倍位ニナリハセスカト思ヒマス、  
相當ニ増シタイト考ヘマシテ、案ノ審議ヲ  
進メテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○多田委員 物質的ノ方面ニ關スル優遇方  
法ニ付テ、何カ御考ヘニナツタコトハアリ  
マセスカ、ソレカラ今ノ委任官ノ數ヲ、三  
倍程度ニスルト仰シテ居ラマシタガ、凡ソ  
ノ位ノ見當デアリマスガ、若シオ分リデ  
アリマシタラ、御答ヘ願ヒタイ

○菊池政府委員 是ハ實ハ定數デ言ツテ居  
ルノデアリマセマスカラ、ハツキリト數ハ  
申上ゲラレマセマスガ、凡ソノ見當ハ只今ノ所  
ヨリモ約二倍位ニナルダラウ、大體ノ概算  
デゴザイマス、サウ云フ積リデヤツテ居リ  
マス、ソレカラ物質的方面ニ於キマシテハ、  
先程大臣カラモ御話ガゴザイマシタガ、年  
功加俸ノ増加、家族手当ノ支給、其ノ他共  
濟組合ノ施設等ヲ、豫算ニモ計上致シテ居  
リマスガ、相當増額致シ積リデ居リマス

○末松委員 是デ終リマス

○三宅委員 多田主査代理者席  
ニ對シマスル對策ニ付テ、御伺ヒタイト  
考ヘテ居ツタノデアリマス、只今ノ多田君  
初メ澤山ノ方々ガ、此ノ點ニ付テ御心配ニ

ヒマス

○橋田國務大臣 現ニ共ノヤウナ御趣旨ニ  
從ツテ、教育ヲ補充シテ居ル向キモ既ニア  
ルノデアリマス、御趣旨ノ在ル所御尤モデ  
アリマスカラ、十分考究致シマシテ善處致  
シタイト思ヒマス

○多田委員 新規採用ノ場合ニ於ケル東京  
市内アタリノ様子ヲ見マシテ、女ハ  
四十歳以上、男ハ四十五歳以上ハ採用セ  
ト云フ方針ニナツテ居ルコトヲ云フデアリ  
マス、然ルニ來年度カラハ男女モ五十五歳  
以上ノ者ヲ採用シテ宜シト云フ方針ガ、  
東京府ニ於テ決定サレタト聞イテ居リマス、  
或ハ年齢ガ少シ違フカモ知レマセマスガ、兎  
ニ角現在ノ新規採用ノ年齢ヲ、ウシト引上  
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤリ方ハ一  
ツノ方法デアリマセケレドモ、之ヲ全國ニ  
普及セシメテ、豫備役ノ教員諸君ヲウチ  
用シテ職キタイト云フコトヲ希望致シマシ  
テ、此ノ項ニ關スル質問ヲ終リマス

モウ一ツ伺ヒタイコトハ、高度國防國家建  
設ニ關シテ文教ノ府トシテノ心構ヘデア  
リマス、大東亞共榮圈ノ確立、斯ウ云フコ  
トハ日本ノ國是トナツテ居ルノデアリマス、  
之ニ對シテ文部省ト致シマシテハ、既ニ共  
榮圈確立ニ即應スル教育方針ト云フモノガ、  
確定サレテ居ル管デアリマスガ、若シサウ  
デナイトスレバ、如何ナル方針ヲ以テ臨ム  
カト云フコトニ關スル具體的ノ事柄ニ付テ、  
大臣ノ御意見ヲ伺フテ見タイト思ヒマス

○橋田國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ、  
先程御質問ガアリマシテ、十分ニ御答ヘシ  
テ居リマスカラ、速記録ヲ御覽下サイ

○多田委員 サウデアリマスレバ、此ノ點  
ハモウ其ノ程度ニ止メテ置キマスガ、更ニ



ナラレマシテ、屢次御質問ニナツテ居リマ...

ナラレマシテ、屢次御質問ニナツテ居リマ...

○中野(善)政府委員 此ノ統計ハ相當正確...

○三宅委員 其ノ統計ハ私ハ少シ間違...

○中野(善)政府委員 此ノ統計ハ相當正確...

○三宅委員 此ノ統計ハ相當正確...

テ見ルト、全部赤字ニナツテ居ル、六十圓...

○多田主任代理退席、主査着席...

アリマス、ソレカラ俸給令ノ改正ガ困難...

一ツ先生ノ待遇ノ良トスルコトニ付テ...

作ルノニ金ガナイ時ニ借リラレトカ、病...

○横田國務大臣 只今小學校ノ教員優遇...



○中野(警)政府委員 大分項目が多カウツノデ或ハ落スカモ知レマセガ、落シタラ御注意願ヒマス、先程大臣カラモ御説明ガゴザイマシタウニ、俸給表ノ改正ト云フコトハ此ノ際ハ考ヘテ居リマセス、但シ師範教育ノ改善ト云フ時ニハ同時ニ考ヘルベキモノト思フテ今吾々ハ準備ヲ致シテ居リマス、殊ニ先程次官カラモ答辯サレマシタヤウニ、奏任待遇ノ校長ヲ相當額ヤスト云フ計畫ニナツテ居リマス、奏任待遇ノ校長ニ對スル年俸ト云フヤウナ問題モ起ルト思ヒマスガ、此ノ際ハ考ヘテ居リマセス、併シ御此ノ點ハハッキリ申上ゲ兼ネマス、併シ御承知ノ通り、昨年小學校教員ノ俸給表ニ赴任旅費ヲ市町村費ノ負擔カラ道府縣ノ負擔ニシマシタ、ソレニ對シテ半額國庫ニ於テ負擔スル、是ハ議會ノ御協賛ヲ得テデアリマスガ、例ノ義務教育費國庫負擔法デアリマシテ、簡單ニ申シマスナラバ、小學校教員ノ俸給ヲ市町村カラ府縣ニ移管致シマシタ結果、色々ノ議論ガ行ハレタリ、色々ノ豫想ガ行ハレタリデアリマスガ、只今モ御話ガアリマシタヤウニ、最近ニ於キマシテ非常ニ代用教員ガ殖エテ居ルト云フノデ、或ハ教員ノ一人當リノ平均給ト云フモノハ、昨年ヨリモ下ツタノデハナイカト云フノデ、非常ニ恐ルノ統計ヲ見タノデアリマス、所ガ意外ナコトニハ昨年ヨリモ一四〇十錢上ツテ居ルトデアリマス、ソレガ昭和十五年六月一日現在デアリマスカラ、昭和十四年度ニ於キマシテハ一上ハ校長ヨリ下ハ代用教員ニ至ルマデ總テテ合シテ、而モ東京、大阪ト云フヤウナ所カラ山ノ中ノ邊鄙ナ所ニデモ入レタノデアリマスカラ、

ラ、總テテ合シテ平均デアリマスガ、昭和十四年度ニ於キマシテハ五十七圓十三錢デアツタモノガ、昭和十五年六月一日現在ニ於キマシテ五十八圓二十三錢一圓十錢上ツタノデアリマス、是ハ月額デアリマス、吾々ハ決シテ之ヲ以テ満足スル譯デモゴザイマセス、得意ニナル譯デモナイノデアリマス、益々待遇改善ニ付キマシテハ苦心ヲ致サナケレバナラスト思ヒマス、モ、兎ニ角斯ウ云フ狀況ニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、ソレカラ昇給率ノ點デアリマスガ、此ノ點ハハハリ相當各府縣デ考ヘテ居ルヤウデアリマス、殊ニ教員不足ニ關聯致シマシテ、初任給引上ゲマシテ、初任給ヲ二圓、三圓、五圓位上ゲタ所モアルヤウデアリマス、其ノ結果其ノ前ニ就職シテ居リマス者ノ昇給率相當均等ノ圖ヲナケレバナラスト云フノデ、是ハ無論全部ニ互ル譯デハナイト思ヒマスガ、相當ニ昇給率モ良クナツテ居ルヤウデアリマス、ソレト、是モ先程申上ゲマシタ教員俸給費ノ道府縣負擔ノ影響モ相當アルト思フノデアリマシテ、詰リ市町村ノ個々ノ負擔ニナツテ居リマシタモノヲ、府縣ト云フ所ノ一ツノ大キナ所ニ輕メマシタノデ、其ノ間ニ相當ノ餘裕モ出來マシテ、昇給ノ財源モ出來ル、隨テ昇給率ガ良クナルカ、内規トシテノ昇給率ヲ改メル場合モアリマセウシ、或ハ其ノ内規ヲ改メマセウシ、現實ニ内規通りニ昇給ガダンノ出來ルト云フヤウナコトニナツテ來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、決シテ是モ十分分申スノデハナイノデアリマシテ、唯最近ノ物質的待遇ノ傾向ヲ御參考マデニ申上ゲル次第デアリマス

ソレカラ旅費規程ノ問題デアリマスガ、是ハ一ツ十分研究ヲ致シタイト思ヒマス、全ク講習會等ガ昨年カラ今年ニ掛ケマシテ相當アツタノデアリマシテ、町村ノ負擔モ相當ニ重ク、而モ教員ノ旅費ハ十分分、何レモ非常ニ困ツテ居ルヤウデアリマスカラ、是ハ何トカ考ヘナケレバナラスト考ヘテ居リマス、圖書購入費トカ旅行等ノ補助ヲ出ス、是ハ各縣デ色々考ヘテ居ルト思ヒマスガ、十分分ノ點モ研究致シタイト思ヒマス、ソレカラ校長ニ交際費ヲ出セト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ハ一ツ研究ヲ致シテ見タイト思ヒマス、直チニ意見ヲ申上ゲル程度ニマデ研究ヲ致シテ居リマセスノデ、十分研究ヲ致シテ見タイト思ヒマス、ソレカラ共濟組合ハ有難クナイト云フ御話ノヤウデアリマスガ、是ハ何シロ此ノ二月一日カラ實施致シマスノデ、明日カラデアリマスカラ、モウ少シ經テ見マセト、案外喜ブカ喜バナイカ分ラスト思ヒマスガ、掛金ハ非常ニ安いノデアリマシテ、俸給月額千分ノ十三ト云フノデアリマスカラ、百圓取ツテ居ル者ハ一圓三十錢、五十圓ナラバ六十五錢デアリマスカラ、サウ云フコトデアリマス、現在後程申上ゲマスガ、教員互助會ト云フヤウナモノニハ殆ド一圓以上ノ掛金ヲシテ居リマスノデ、俸給月額千分ノ十五ノ掛金ガ出來ナイトハ一寸考ヘラレマセス、併シ是ハ相當負擔ニナル點モアルト思ヒマスガ、運用ノ方デ十分ニ巧キヤツテ行クヤウニシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ教員ノ子弟ノ教育資金ノ問題デアリマスガ、先程モ他ノ委員ノ方カラモ御質問ガゴザイマシテ、大臣カラモ御答辯ニナリマシタガ、常ニ聞カサレル問題デアリ

マシテ、洵ニ尤モナ、同情ト申シマスガ、同感ニ堪ヘナイ事柄デアルト申シマスガ、サウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ實現ニ付キマシテハマダ致シタイト思ヒマス、ソレカラ家族手當ノ方デアリマスガ、是ハ昨年ノ幕ニ確カニ通牒ヲ出シテ居リマス、サウシテ國庫ノ方カラ補助金ヲ市町村ニ出ス、サウシテ現在ハ市町村ノ負擔ト云フコトニナツテ居リマスノデ、市町村ノ方カラソレニ足シ前ヲシテ出スト云フコトニナリマシテ、昨年ノ幕ニ通牒ヲ出シマシタガ、或ハマダ其ノ財源等ノ問題ヲ渡ツテ居ナイ所モアルカモ知レマセスガ、併シ是ハ政府職員ト同様ニ、十月一日ニ廻リマシテ支給スルコトニナツテ居リマスカラ、手ニ渡ルノ方遅レマシテモ、是ハ確實ニ渡ルコトト考ヘテ居リマス、實ハ是非年末ニ渡ルヤウニト思ヒマシテ、非常ニ苦心ヲ致シタノデアリマスガ、色々財務當局トノ折衝等ニ手間ガ取レマシテ、大變詰詰ツタノデアリマス、幕ノ内ニ確カニ通牒ハ出テ居リマス、隨テ或ハ遅レテ居ル所ガゴザイマシテモ、必ズ十月一日現在ニ廻リマシテ、家族手當ハ支給サレルモノト考ヘテ居リマス、尙ホ支給狀況等ニ付テモ目下調査シテ居ル次第デアリマシテ、十分督促ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ青年學校教員トノ兼任ノ問題デアリマスガ、此ノ場合ノ手當デアリマスガ、是ハ或ハ私ノ方ノ關係デナイカト思ヒマスガ、十分關係ノ方面ト相談致シマシテヒドクナイヤウニ出來ルダケノコトヲシタイト斯ウ考ヘテ居リマス、年功加俸ノ内容デアリマスガ、年功加俸ハ只今申シマスカラ

十五年度デアリマスガ、是ハ國費デ、約二百五十萬圓出シテ居リマシテ、地方費デ三百萬圓出シテ居リマス、合ハセマシテ五百五十萬圓出テ居ル譯デアリマス、ソレデ支給受テ居リマス人員ガ約十三萬人デアリマス、是ハ小學校教員タケニ付テ申上ゲルノデアリマスガ、五年以上經過シテ居リマス該當者ガ十七萬人、其ノ該當者十七萬人ニ對シテ現實ニ支給受テ居ル者ガ十三萬人、此ノ金額ガ國費ニ於テ二百五十萬圓、府縣費ニ於テ三百萬圓、合ハセテ五百五十萬圓ト云フモノガ出テ居ル、隨テ一人當リ平均致シマスト三十七圓幾ト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ最初ニ申上ゲマシタヤウニ、來年度ニ於キマシテハ俸給表ヲ改正スルト云フ計畫ハ致シテ居リマセスガ、年功加俸ノ方ニ於テ相當ノ増額ヲ計上シテ貰フコトニナツテ居リマス、其ノ基礎ハ只今申上ゲマシタ現在ノ教員一人當リ平均三十七圓ノ金額ヲ倍ニ致シマシテ、其ノ十割七十四圓ト云フモノヲ基礎ニ致シマシテ、一寸面倒ニナリマスガ、三百七十四萬圓バカリ國費カラ増額シテ貰フコトニナツテ居リマス、是ハ大勢ノ教員ニ對スルモノデアリマスカラ、必ズシモ十分ノ金額トハ申セマセケレドモ、此ノ年功加俸ノ今マデノ沿革ヲ見テ參リマスルト、昨年度ハ六十三萬圓ノ増額ガ認めラレタ譯デアリマスガ、恐ラク過去何十年間ニ於キマシテ、三百七十四萬圓モ一舉ニ國庫カラ増額支出スルト云フコトハ、餘リ例ガナイヤウニ思ヒマス、決シテ之ヲ以テ十分得意ニナル譯デアリマシテ、六百五十萬圓バカリノ金額ガ國庫カラ出ルノデアリマス、サウ致シ

マストニニ對シマシテ府縣費デ同額ヲ支出スルト致シマシタナラバ、千三百萬圓位ノ年功加俸ガ渡ルコトニナリマス、現在國費ト府縣費ト合ハセマシテ五百五十萬圓ノモノガ、若シモ只今申シマシタヤウニ國費ト同額タケ府縣費出シマシタナラバ千三百萬圓ニナル、斯ウ云フ譯デアリマス、相當ノ増額ニナルト考ヘマス、隨テ今マデ該當者デアツテ支給受テ居ラナカウツタ者モ、今後ハ相當支給受ケルコトニナルト思ヒマス、既ニ支給受ケテ居リマス者モ、多少ト申シマスカ、相當増額サレル譯ニナルト考ヘテ居リマス、年功加俸ノ問題モ色々承ツテ居リマシテ、何トカシナケレバナラナイト考ヘテ居リマスガ、十分御慮旨ハ尊重致シマシテ、今後ハ少クトモ同一縣内ニ於キマシテ均等ニ互ルヤウナ方法ヲ講ジタイ、是モ研究致シタイト考ヘテ居リマ

○三宅委員 大變御丁寧ニ御答辯ヲ得マシテ満足デアリマスガ、年功加俸ノ問題ナドニ付キマシテハ只今モ申サレマシタ通り十七萬人ノ適格者ノ中十三萬人シカウツテ居ラヌト云フヤウナ事情ガアツテ、大體五年目ニ年功加俸ガ付タノガ八九年又ハ十年經タナケレバ付カナイ、而モ中等學校若クハ師範ノ附屬方面ニ比レバ給料ニ於キマシテモ、加俸ノ付ケ方ニ於キマシテモ非常ニ開キガアリマスノデ、此ノ點ニ付テハ一ツ改正ノ機會ニ十分御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙共濟組合ニ付キマシテハ私共共濟組合ハ大賛成デアリマシテ、ヤレヤレト云フコトヲ極力主張シテ參ツタ建前カラ、結構ナ制度ダト思フテ居リマスガ、餘リ貧乏ヲシテ居リマスト兎ニ角目先ガ困

ルト云フノデ、病氣ヲシナイ時ニ五十錢デモ出スコトハ困ルト云フヤウナ空氣ガ少シデモアルト云フコトニ付テハ、深キ親心ヲ以テ御考ヘテ願ヒタイト思フノデアリマス、次ハ過勞ヨリノ解放ヲサレスト健康上カラ言ツテモ敵ハスト思フノデアリマス、第一ハ農村ニ於ケル先生ノ過勞デアリマスガ、校長ノ多忙ト云フコトハサツキモ申シマシタ通り實ニ酷イ、農村ノ小學校ニ於キマシテハ、訓練兼校長デアリマスカラ學課ヲ持ツテ居ラレ、ダカラ私ハ農村ノ學校ニ付キマシテハ、文部省ノ御方針ハドウデアルカ知ラナイガ、校長ハ校長專務ニ致シマシテ、訓練カラ解放シテヤツテ戴キタイ、ソレデ青年ノコトモ成人教育ノコトモ、一切ノコトニ付テハハリ小學校ノ先生ガ中心ニナルト云フコトハ、何ト云フテモ必要デアリマスカラ、訓練兼校長ヲ校長專務ニスル御考ヘハナイカドウカト云フコト、ソレカラ都市ニ於キマシテハ、小學校ニヤハリ書記ト申シマスカ、事務員ノヤウナ者ヲ置カナイト無理デハナイカ、ト申シマス、ハ最近ニ於ケル先生ノ仕事ト云フモノハ實ニエライ、切手ヲ蒐集シ、加里肥料ガナイカラト云フノデ灰ヲ集メ、或ハ「ゴム」靴ヲ運動靴ノ配給ヲ商業組合ノ代リニナル、又簡米調査ヲヤレ、炭俵ヲ集メテ呉レ、兎フ飼ヘト云フヤウナ譯デ、實際行ツテ見マスト、私ハ子供ヲ預ケテ置キマシテ、實ニ御苦勞ナ話ダト思ツテ居ル、ソレダケデナシニ、町内ノ會合ダカラト云フテ使フ、事務員ガ居リマセスカラ、誰カ學校ニ殘ツテ居ナケレバナラナイ、殆ド家ニ歸ツテ飯ヲ食フ暇モナイト云フノデ、洵ニ過勞デアリマス、中等學校ニナリ

マシレバ、學校ニ三人モ四人モ事務書記ガ居リマス、斯ウ云フ狀態デアリマスノデ、農村ニ於ケル校長ニ付テハ、一ツ訓練トノ兼職ヲ解イテヤル、都市ニ於キマシテハ、小學校ニ書記トカ事務員トカ云フ職務ヲ行ヒマス者ヲ置キマセト、神經衰弱ノヤウニナツテ居リマスカラ、町内會等デ部屋ヲ汚シテ歸リマスヤウナ場合、ソコデ一寸文句ヲ言ツタト云フノデ、町内會長ト先生ガ喧嘩ヲシタトカ、色々ナ疲勞心理カラ來マス所ノイザコサガ廣アリマスノデ、斯ウ云フ點ニ付テモ考慮シテ戴キタイト思フノデアリマス

ソレカラ青年學校ニ付テハ授業自體ガ重要デアリマスルカラ、專任トシテヤツテ戴キタイト云フコトヲ希望致シマス、是ガ過勞ヨリノ解放ノ問題デアリマス、時間ガアリマセスノデ、序ニ精神的小問題ニ付テハ括シテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、今度官吏制度ノ改革デ以テ古參ノ警視ナドガ高等文官ヲ取ラズニ警察部長ニ出ルコトニナリマシテ、アノ方面ニ於テ大變人心ニ好イ影響ヲ與ヘテ居リマス、私ハ此ノ際事務部長デアルトカ、學務課長ナドヲ古參ノ行政的ナ能力ノアル先生カラ御採リニナル途ニ付テ、一ツ文部省デ御考慮ヲ願ヒタイト思フ、第二ニハ、私ハ見ルニ見兼ネテ居ルノデアリマスガ、例ハバ二十臺ノ法科出身ノ學務課長ガ中等學校ノ五十五カラ六十位ノ大先輩デアル所ノ校長先生ヲ行政的ノ關係デ呼付ケテ居ル、氣骨アル先生トシテハ、ソレガ非常ナ卑屈感デ精神の憤慨致シマス事例ト云フモノガ非常ニ多イコトヲ私ハ知ツテ居ル、斯ウ云フ點ニ付テハ、教員ト云フモノガ何モ物質的ニサウ大キナ要求ヲサレ



テ居ル譯ハナイノデアツテ、問題ハヤハリ精神的ニ其ノ處ヲ得サセケレバイケナイノデ、二十歳ノ學務課長ガ中等學校ノ校長先生ヲ手付テ叱ルト云フヤウナコトニ付テハ、アライドヲ傷ツケナイヤウナ官制改革ヲオヤリニナル必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ痛感スル、此ノ點先生ノ古イ人ヲ學務部長ヲ學務課長ニ登庸スル途ニ付テ考ヘテ居ラレカドウカ、是ハ精神的ノ問題デアリマス、ソレカラ視學制度ニ付テモ私ハ改正サレル必要ガアルト思フ、小學校ノ視學ニ付テハ大體百圓位シカ給料ヲ出シマセヌノデ、大校長ハ給料ノ關係デ出ナイ、中校長ガ出マス、サウシテ百圓位デ給料ガ止マツテ居リマスカラ暫ク經ツト又大校長ニ出ル、詰リ大校長ニ出ル爲ノ腰掛ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ大校長ニハ視ミガ利カナイ、斯ウ云フ事情ハ外部省際一ツ教育新體制ノ建前カラ斯ウ云フ點ニ付テ視學制度ガ腰掛ニナラナイヤウニ、俸給ナドニ付テモモツト出スモノハ出ス、視學ハ視學トシテ伸ビル途ニ付テハ、私ハ素人デアリマスカラ私ノ言フ通りニシテ呉レト云フ譯デハアリマセヌガ、「ヒント」トシテ採ツテ戴キタイト考ヘテ居リマス。

モウ一ツサツキモ出テ居リマシタガ、奏任待遇ヲ殖ヤスト言ツテ居ラレマス、私ハ是ハ非常ニ有難イト思ツテ居リマスガ、校長ダケヲ奏任待遇ニサレト云フ行キ方ハ、實ハ實情ニ副ハヌノデアツテ、校長サノ仕事ハ行政的事務ガ大分アリマスノデ、校長サントシテハ適任デヤナイガ、併シ訓練トシテ一生學課ヲ受持クシテ非常ニ良イト云フ先生ガ相當澤山アル、皆校長適格者バカリデハ實ハ困ルノデアリマシテ、訓練トシテ優秀ガ校長ニシテハ工夫ガ惡イト云フ人モ相當アル、所ガ年次ガ來マスルト給料ノ關係、勳等ノ關係ニ於テ校長ニ出ナイト奏任官ニシテヤレナイト云フノデ、寧ろ訓練トシテ置イタ方ガ、教育者トシテノ任務ヲ果シ得ル人ヲ、無理ニ校長ニスルト云フ弊ガ方々ニアル、ソコデ訓練トシテ校長ニナラナイデ行カレタ方ガ宜シイト云フ性格ヲ持ツテ居ラレル先生ニ付テハ、私ハ訓練ノ儘デ給料モ上ルシ、又勳等モ訓練ノ儘デ奏任官ニナレト云フヤウニ一ツ今度ハ改正シテ戴キタイ、若シサウ云フ途ガ開イテアルトスレバ、運用ニ於テサウ云フヤウニヤツテ戴キタイと思フ、實ハ非常ニ是ハ重大ナ問題ダト思ヒマシテ、色々調ベテ來テ、教ヘテ戴キタイと思ツタノデアリマスガ、時間ノ關係上以上ノ點ニ付テ御答辯ヲ得マシテ、私ハソレデ打切りタイト思ヒマス。

○橋田國務大臣 只今色々御示唆ニ當シテ御意見ヲ拜聴シマシテ洵ニ有難ク存ジマス、學務部長ノ據據等ニ付テハ十分考究ヲシ見タイト存ジマス、又學務課長ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ當初カラ内務當局ノ間ニ相當論議ヲ求メツアル問題デゴザイマシテ、其ノ方針ニ副ヒマスヤウ善處シタイト考ヘテ居リマス、視學制度ニ付キマシテモ御趣旨ノアル所ヲ參照シテ研究致シタイト存ジマス、奏任待遇ノ増加ニ付キマシテハ是モ今案議中デゴザイマシテハツキリ申上テラレマセヌケレドモ、唯學校長ノ範圍ニ止メタノデハナク、モツト廣イ範圍ニ擴張シタイト計畫シテ居リマスコトヲ申上テ置キマス。

ウシテ戰死者ノ遺家族ニ對スル手當ト云フモノハ、洵ニ僅少ナモノデアツタノデシタ、ソレカラ軍人遺家族トカ何ト云フヤウナ救濟事業ト云フコトモ殆ド行届イテ居ナカッタ、ソレデモ國民ハシツクリト解ケ合ツテ、一生懸命國家ノ目的ニ副フヤウニ努力シタト云フコトヲ記憶シテ居リマス、今度ハ政府ガ非常ニ骨ヲ折ラレテ、朝カラ晩マデ、ラチオレヲ通ジ、新聞ヲ通ジ、雜誌ヲ通ジテ指導ナサルト云フ立場ニ立ツテ居ツテモ、此處ニ新聞記者ナドモ居ラレテ實際言ヒニクイデスガ、ドウモシツクリ來ヌノデス、是ハ一體何處ニ原因ガアルカ、森田君モ少シ共處ニ觸ラレタヤウデスガ、私ハ此ノ問題ヲ明確ニスル事ガ此ノ重大ナ時局ヲ乘切ル一番大事ナ事ダト思ヒマス、殊ニ教育行政ノ最高ニ位置セラレテ居リマスル文部大臣トシテハ、是ハ思想ノ指導的地位ニアラレ立場カラ考ヘマシテ、餘程御考ヘニナラヌト、朝カラ晩マデ八紘一字ノ聲ヲ國民ガ飲マセラレテハ、ドンナ良イ聲デモ胃腸ヲ壞スヤウナコトニナリハセヌカ、聽イテ居ル人ハ又カノト言ツテ居ル、而モ其ノ中ニハ大政翼賛會ノ事務總長ノ有馬頼寧ト云フヤウナ伯爵マデ出テ來テ、人間五十二ナツタラモウ隱居スルノガ宜イ、サウ云フ者ハモウ殆ド世ノ中ニ出テ指導スル頭ガナイノダ、舊體制ガト云フヤウナ「ラチオ」演説マデヤツテ居ル、自分ハ五十八歳ダカラ、自分ガ一番最初ニ辭メレバ宜イノダガ、飽ラ國民ニ示スヤウナコトハチツトモシテ居ナイ、「ラチオ」ヤ新聞バカリデエライコトヲ言ツテ居ル、ソレカラ近衛首相アタリノ「ラチオ」放送ヲ聽イテモ或ハ新聞ノ記事ヲ見テモ分ルガ、一人ノ暖

衣飽食ヲ許サズ、一人タリトモ其ノ所ヲ得ザル者ガナイヤウニスル、法律上斯ウ云フ風ナ斷定的ナコトヲ仰セニナルノハ、陛下以外ニハ日本ニハナイ筈デス、サウ云フ大ソレタ言葉ヲ新聞ヤ雜誌ヤ「ラチオ」ヲ通ジテヤラレモノダカラ、國民ハ非常ナ重壓ヲ感ジ、非常ナ強壓ヲ感ジ、非常ナ高壓ヲ感ジテ居ル、サウシテ、アナサヤケ、アナ樂シ、アナ面白ク云フヤウナ明朗調達ナ日本氣分ガ失ハレテ居ル、外敵ニ對スル氣持ヨリモ、自分等ガ將來ドウナルダラウカト云フコトヲ非常ニ心配シテ居ル、故ニ國民ノ間ニビツタリ來ナイ所ガアルト解シテ居ルノデスガ、橋田文部大臣ハサウ云フ點ニ付テハドウ御考ヘデアリマセウカ、大事ナ點デアリマスカラ御答辯シテ置キマス。

○橋田國務大臣 御話ノ通り日清、日露戰役ニ於キマシテ、國民ノ氣概ト申シマスカ、意氣ト申シマスカ、ビツタリ一ツニナツテ居ツタコトハ、私モ同様ニ感ズルノデゴザイマス、今次ノ事變ニ於キマシテ、其ノ點ガ十分デナイ點モ御同様ニ感ズルノデゴザイマシテ、實ニ國民指導ノ立場ニ在ルモノトシテ、憂慮ニ堪ヘナイノデゴザイマス、之ニ付キマシテノ理由ハ多クアルト思ヒマスシ、又表面ニ現ハレナイデ、底ヲ流レテ居ル色々ノモノモアラウカト存ジマスガ、先程カラ申シマス通り、斯様ナ事變ニ際シタ時ニ、唯掛聲バカリニ依ツテモノガ解決スルモノデナイト云フコトハ重々承知シテ居リマス、掛聲ヲ掛ケルバカリナラバ、同時ニヤル、ヤラナイノナラバ徒ラニ掛聲ヲ掛ケルコトヲ止メル、斯ウ云フヤウナコトモ却テ民心ヲ一ツニ歸セシメル爲ニ寧ろ效果ガアルノデハナイカト云フヤウナ

コトモ考ヘテ居リマス、其ノ點ハ實ニ重大ナ問題デゴザイマシテ、是非トモドウニカシテ切開カケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居リマス。

○中山委員 私人文教ノ長トシテ文部大臣ニ眞劍ニ御考ヘテ願ヒタイ、何モ彼モ「ナチス」張リテ、大臣ノ演説ヲ聽ク度ニ國民ハ、又威張ツタコトヲ言フノデハナイカト思フテ居ル、實業學校卒業者ノ一割シカ入學出來ヌト云フヤウナコトモ、是ハ大臣ニナツタカラト云ツテ、輕々ニ御發表ニナツテハイカンノデハナイカト思フ、實ニ我が國ノ思想上ニ與ヘル影響ハ大キイト思ツテ悲シクシテ居ル者デアリマス、ドウカ各大臣ガ相戒メテ、國家ノ爲ニサウ云フ點ハ善處ヲセラレンコトヲ御願ヒ致シテ置キマス。

其ノ次ニ御答辯シタイト思ヒマスノハ、是ハ難詰其ノ他「ラチオ」ヲ通ジテ大臣ガヨク仰シヤツテ居リマス所ノ科學スル心ト云フ、アナタノ何ト申シマスカ、橋田ノ標語ト云フ風ニナツテ居リマスガ、其ノ言葉デス、是ハ普通アリ屬レテ居リマス眞理ヲ掴ム心ト解シテ宜シウゴザイマスカ、ドウ云フ風ニ御説明ニナツテ居リマス。

○橋田國務大臣 極ク廣ク解釋致シマスナラバ、正シク見、正シク掴ムト云フ心デゴザイマス。

○中山委員 正シク見、正シク掴ムト云フコトハ、成程ソレハ私ハ眞理ノ探求デアリ、科學スル心ニナルト思ヒマスガ、議會ノ休會明ケ前ニ、二三日前デシタカ、海軍大臣デアツタト思ヒマスガ、兩軍部ヲ代表シテ新聞ニ御意見ヲ御發表ニナツタ、ソレヲ見マス、ドウ云フコトヲ書イテ居ラレカト云フト、對立スル意見ト云フモノハ出來

ルダケ議會デハ止メテ欲シイト云フ風ナコトヲ言ツテ居ラレ、サウスルト議會デ私共ノ言フ正シイ、所謂アナタ等ノ仰シヤル所ノ科學スル心デ以テ言フ其ノ事柄ガ、萬一對立シテ居ツタトシタラ、其ノ科學スル心ト云フモノハ議會デハ行ハヌヤウニナリマスガ、軍部カラサウ云フ言葉ヲ發シテ居リマス、アナタハ國務大臣ノ一人トシテ、サウ云フ點ニ付テハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレマセウカ。

○橋田國務大臣 私人科學スル心ト申シマスノハ、科學スルト云フ働キニ於テ正シキヲ掴ムト云フ心ノ働キヲ段々自己デ育成シテ行クト云フ建前ニ於テ科學スル心ト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマシテ、例ハバ私ガ科學者トシテ、十分ニ科學スル心ヲ體得シテ居ル、是レ以上ニ科學スル心ハナイト云フヤウナ大ソレタコトヲ決シテ申上テタノデハアリマセヌ、科學スル心ヲ絶エズ養成スルノニ努メナケレバナラヌト云フ心構ヘノ標語トシテ私ハ申上テ居ルノデアリマス。

○中山委員 ソレハ大事ナコトダト思フノデス、文部大臣トシテハ科學スル心ヲ持ツテ居ラレ、他ノ方面ニ於テハ對立スル議論ヲスルコトハイケナイト云フ議論ヲヤツテ居ラレマス、内閣ノ中ニ二ツノ不統一ナ思想ガ流レテ居ルト見ナケレバナラヌ、勿論近衛首相ガ此ノ間豫算總會ニ於キマシテ、日本ノ八紘一字ノ精神ト云フモノヲ説明スルノニ、是ハ復古ノ精神デアル、併シ新シイノダ、斯フ仰シヤルデセウ、是ハ天壤無窮ノ眞理ト云フモノハ一貫シテ居ルト云フコトヲ仰シヤツテ居ル、所ガ一貫シテ居ル眞理ト云フモノハ人間ノ知識デ分

ラヌカラ、知識ガ段々發展サレテ、階段的ニ絕對ノ眞理ニ對シテ相對ノ眞理ガ合流シテ行クノガ文化ノ發展ト云フコトニナツテ來テ、是ガ科學スル心ト云フコトニナツテ居ル、此處ニ首相ノ御説明ガ來ナケレバ意義ヲ成サヌ、アナタガ科學スル心ト云フモノヲ本當ニ御悟リニナツテ居ツタナラバ、軍部ノ「記事」ト云フモノハ抑ヘ付ケラレナケレバナラヌ、科學スル心其ノモノノ絕對ニ歸シタ所ガ即チ天地ノ公道、日本ノ聲國ノ精神ト云フコトニナルノデス、是ハ大事ナ所デス、其ノコトガ分ツテ居ラヌ、大臣ニナツタカラト云ツテ、アツチデモコツチデモ宜イ加減ナコトヲ言ツテ置ツテハ困ル、ソレダケノ確信ヲ持ツテ居ラナケレバ、科學スル心ト云フ言葉ヲ御發表ニナツテハイカヌト私ハ考ヘル、確信ガアルナラバ、アノ軍部大臣ノ意見ハ正シク物ヲ見ナケレバナラヌト云フアナタノ大信念ヲ以テ抑ヘ付ケテ置ヒタイ、然ラズンバ内閣ハ思想的ニ不統一ダ、ドウデゴザイマスカ、ソレダケノ覺悟ガ更ニ今後オアリニナルデアリマセウカ、御答ヲ願ヒタイ。

○橋田國務大臣 正シキニ從フト云フコトヲ努メテ行クノハ、勿論管ニ大臣トシテノミナラズ、絶エズ心懸ケテ居ル次第ナノデゴザイマスガ、其ノ際ニ於キマシテ、私ニ誤リノナイト云フコトハ無論先程申シマシタ通り保證ハ出來マセヌガ、誤リダト云フコトガ十分ニ分リマシタ時ニハ改ムルコトヲ願フナイヤウニ努メテ行キタイと思フノデゴザイマス、唯言葉ノ上ニ現ハレマシタ事柄カラ、其ノ言葉ヲ直ガサマ判斷スルコトハ又一應考ヘナケレバナラヌ點モ十分ニアリマスノデ、唯、今仰セラレタコトカ



ラ政府ノ内部ニ心ガ二ツニナツテ居ルトカ、一ツニナツテ居ルトカ云フコトヲ直グサマハ申上ルルニハ參ラヌノデアリマ

○中山委員 是ハ論理的ニ御考ヘニナルト、對立致シテ居ルト云フコトハハツキリ分

リテ、眞理ノ探究ト云フモノハ中々難シイモ

ノデアリマシテ、例ヘバ「コペルニクス」ガ

地動説ヲ發表致シマシタ時ニハ、「カトリッ

ク」ノ坊サンハ葬式ニ來ナカウタ、所ガ「リ

レオ」ガ望遠鏡ヲ見テ確ニ地球ハ動クノ

ダト云フコトヲ發表シテ、是亦火焙リノ刑

ニ遭ツタ、眞理ノ發見ト云フモノハソレ位

難シイモノデス、火焙リニサレテモ、「カト

リッ」ノ坊サンガ葬式ニ來ヌデモ、ソレ

ヲヤリ達ゲルダケノ科學スル心ガナケレ

バ、先程森田君ノ言ヒマシタヤウニ學生指

導ノ大任ニ當ル資格ハナト私ハ思フ、少

クトモ思想問題ダケハ死ヲ以テ當ラナケレ

バナラヌ今日ダト考ヘテ居ル、ドウカ文部

大臣ハ近衛首相トモ能ク御相談下サイ、今

日徒ラニハ一ツノ精神、肇國ノ理想ト仰

ハ 明治天皇ガ明治二十三年十月三十日ニ

下シ賜ヘタ勅語以外ニハナク、又其ノ勅語

ヲ御奉體スレバ十分デアルト思フ、御勅語

ニ述ベサセラレテ居リマス「斯道ハ」ト

仰セラレテアリマス「恐ラク文

字ハ違ヒマスケレドモ、皇道ト云フコトト

全ク合致スルコトト私信ジテ居リマス、居

リマスガ故ニ所謂宗教ニ對應スル爲メノ國

教ト云フコトヲ掲ゲル必要ハ吾々ニハナイ、

吾々ニハ教育勅語ノ御趣旨ガ唯言葉デナク、

實際ニ於テ實踐出來ルヤウニト努メテ行ク

コトガ、是ガ教ヘテ奉ズルコトデアラウト

思フノデアリマス

○中山委員 御勅語ノ御趣旨能ク分リマス

ガ、私モ文部大臣ト同意見ヲ持ツテ居ルノ

デアリマスガ、唯此ノ際一ノモノヲ三ト打

込デ置イタ方ガ宜イト云フコトト國教ト

云フコトトニサツタ方ガ宜イトデハナイカ

ソレガ實行出來ルカト云フコトハ色々關係

ヲ考慮シナケレバナリマセ、十分ニ研究

シマシテ出來ルダケ早ク實現ヲシタイト考

ヘテ居リマス

○中山委員 ドウゾ一ツ橋田文相ノ居ラレ

マス間ニ實現スルヤウニ御取速ビテ御願ヒ

シテ置キマス

最後ニ御伺ヒシタイノデスガ、是ハ本年

ノ一月十六日ニ東京ノ明治神宮外苑ニア

リマス日本青年館ニ盛大嚴肅ナル結成式ヲ

舉行セラレマシタ大日本青少年團、所謂高

度國防國家ノ建設ニ對シマシテ偉大ナル效

果ガアルト云フ建前デ拵ヘタ此ノ青少年團

ノ綱領ヲ見マスト色々ナコトガ書カレテア

リマスガ、私ノ御尋ネシタイノハ、時間ガ

アリマセスカラ略シマスガ、何レノ綱領ヲ

見マシテモ憲法、選舉制度ニ關スル項目ガ一

ツモ入ツテ居ナイ、十二、三ツツ綱領ガ

ト云フ建前カラ申シマスルト、教ヘノ根源

○橋田國務大臣 我ガ國ニ於キマシテ教ヘ

ト云フ建前カラ申シマスルト、教ヘノ根源

御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 其ノ點多年同感ノ意見ヲ

持ツテ居ルノデゴザイマスガ、唯何時カラ

ハ 明治天皇ガ明治二十三年十月三十日ニ

下シ賜ヘタ勅語以外ニハナク、又其ノ勅語

ヲ御奉體スレバ十分デアルト思フ、御勅語

ニ述ベサセラレテ居リマス「斯道ハ」ト

仰セラレテアリマス「恐ラク文

字ノ精神ガ分ツテ居ラス、言葉ダケ知ツテ

居ル、是ハ文部大臣ニ質問シテモ同ジダラ

ウト思ヒマスカラ略シマス、今日ハ之ヲ以

テ質問ヲ終リマス

○末松主査 是ニテ本分科ニ屬スル各省所

管ノ事項ニ對スル質問ハ終了致シマシタ、一

時カラ開會シテ採決ニ入リマス、尙ホ其ノ點

ニ付テハ公報ヲ御覽ヲ願ヒマス、今日ハ是

ニテ散會致シマス

午後六時十分散會

字ノ精神ガ分ツテ居ラス、言葉ダケ知ツテ

ナケレバナラナイト思フノデスガ、ドウシ

テ斯ウ云フ大事ナコトヲ御覽シニナツタノ

デセウカ、ソレハ又書クノヲ書カセズニ週報

ニ御出シニナツタノデスカ、念ノ爲メ此ノ

點ヲ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○菊池政府委員 中山サンガ只今御讀ミ上

ゲニナリマシタノハ、取調ベマセスト分リ

マセスガ、或ハ元ノ青年團ノ綱領デハナイ

カト思ヒマス、一月十六日ニ結成セラレマ

シタ青少年團ノ綱領等細カイトハ是カラ

色々研究サレルトニナツテ居ルノデアリ

マシテ、後デ御讀ミニナリマシタノハ其ノ

通りデ、大日本青少年團ノ團則ハ定ツテ居

リマス、本團ノ目的ト目標ヲ明カニシタモ

ノデゴザイマス、先ニ御讀ミニナリマシタ

綱領ト云フノハ、是ハ大日本青少年團ノ綱

領トシテマダ決ツテ居ルモノハアリマセヌ

ノデ、恐ラク元ノ舊青年團ノ綱領ノコトデ

ハナイカト考ヘマス

○中山委員 其處ニ書イテアル、團則ノ前

ニ書イテアル、見テ御覽ナサイ、十二、三

項目並ベテ書イテアリマス、團則ハ斯クノ

如クアルベシト其ノ後ニ出テ居ル

○菊池政府委員 此處ニ書イテアリマスヤ

ウニ青少年團ノ一般ノ訓練トシテ適當ト思

ハレル事項ヲ參考ニ舉ゲテ見レバ斯ウ云フ

コトガアル、是ハ唯參考的ニ「ヒント」トシテ

舉ゲラレタモノダラウト思ヒマス、只今ノ御

話ノヤウナ點ハ尙ホ是カラ十分研究致シタ

イト思ヒマス

○中山委員 一番大事ナコトヲ落シテアリ

マス、内閣ノ週報トシテ御出シニナルノデ

アリマスカラ、十分御注意ヲ賜リタイト思

ヒマス、昨日神祇院副總裁ニ色々質問ヲ

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

致シマシタガ、神祇院副總裁ハ一向八絛一

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄

第二回 昭和十六年一月三十一日

ラ政府ノ内部ニ心ガ二ツニナツテ居ルト

カ、一ツニナツテ居ルトカ云フコトヲ直グ

サマハ申上ルルニハ參ラヌノデアリマ

ス

○中山委員 是ハ論理的ニ御考ヘニナル

ト、對立致シテ居ルト云フコトハハツキリ分

ル、眞理ノ探究ト云フモノハ中々難シイモ

ノデアリマシテ、例ヘバ「コペルニクス」ガ

地動説ヲ發表致シマシタ時ニハ、「カトリッ

ク」ノ坊サンハ葬式ニ來ナカウタ、所ガ「リ

レオ」ガ望遠鏡ヲ見テ確ニ地球ハ動クノ

ダト云フコトヲ發表シテ、是亦火焙リノ刑

ニ遭ツタ、眞理ノ發見ト云フモノハソレ位

難シイモノデス、火焙リニサレテモ、「カト

リッ」ノ坊サンガ葬式ニ來ヌデモ、ソレ

ヲヤリ達ゲルダケノ科學スル心ガナケレ

バ、先程森田君ノ言ヒマシタヤウニ學生指

導ノ大任ニ當ル資格ハナト私ハ思フ、少

クトモ思想問題ダケハ死ヲ以テ當ラナケレ

バナラヌ今日ダト考ヘテ居ル、ドウカ文部

大臣ハ近衛首相トモ能ク御相談下サイ、今

日徒ラニハ一ツノ精神、肇國ノ理想ト仰

ト云フ建前カラ申シマスルト、教ヘノ根源

御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 我ガ國ニ於キマシテ教ヘ

ト云フ建前カラ申シマスルト、教ヘノ根源

御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 其ノ點多年同感ノ意見ヲ

持ツテ居ルノデゴザイマスガ、唯何時カラ

ハ 明治天皇ガ明治二十三年十月三十日ニ

下シ賜ヘタ勅語以外ニハナク、又其ノ勅語

ヲ御奉體スレバ十分デアルト思フ、御勅語

ニ述ベサセラレテ居リマス「斯道ハ」ト

仰セラレテアリマス「恐ラク文

字ハ違ヒマスケレドモ、皇道ト云フコトト

全ク合致スルコトト私信ジテ居リマス、居

リマスガ故ニ所謂宗教ニ對應スル爲メノ國

教ト云フコトヲ掲ゲル必要ハ吾々ニハナイ、

吾々ニハ教育勅語ノ御趣旨ガ唯言葉デナク、

實際ニ於テ實踐出來ルヤウニト努メテ行ク

コトガ、是ガ教ヘテ奉ズルコトデアラウト

思フノデアリマス

○中山委員 御勅語ノ御趣旨能ク分リマス

ガ、私モ文部大臣ト同意見ヲ持ツテ居ルノ

デアリマスガ、唯此ノ際一ノモノヲ三ト打

込デ置イタ方ガ宜イト云フコトト國教ト

云フコトトニサツタ方ガ宜イトデハナイカ

ト云フコトト御尋ネシタダケデアリマス

其ノ次ニ各大學ニ勅任ノ教授ガ相當多イ

ト思フノデアリマス、或ハ是ハ私唯想像デ

アリマスカラ、數方間違ツテ居ルカモ知レ

マセスガ、京都トカ、東京ニハ二、三百人ト

云フヤウナ多クノ勅任教授ガ居ラレルト思

フノデアリマス、サウ云フ人ノ上ニ立ツ大

官待遇ト云フ地位ニ引上ゲテヤツテ、サウ

シテ生徒ニ崇高ナ人格ノ所有者、或ハ學問

ノ最モ秀イデタオ方トシテ尊敬スルヤウナ

御手段ヲ御執リニナルコトガ必要デヤナイ

カト思フノデアリマスガ、サウ云フ地位ヲ

御引上ゲニナル思召ハ現在ノ所ゴザイマセ

スカ、ドウデスカ

○橋田國務大臣 其ノ點多年同感ノ意見ヲ

持ツテ居ルノデゴザイマスガ、唯何時カラ

ハ 明治天皇ガ明治二十三年十月三十日ニ

下シ賜ヘタ勅語以外ニハナク、又其ノ勅語

ヲ御奉體スレバ十分デアルト思フ、御勅語

ニ述ベサセラレテ居リマス「斯道ハ」ト

仰セラレテアリマス「恐ラク文

字ハ違ヒマスケレドモ、皇道ト云フコトト

全ク合致スルコトト私信ジテ居リマス、居

リマスガ故ニ所謂宗教ニ對應スル爲メノ國

教ト云フコトヲ掲ゲル必要ハ吾々ニハナイ、

吾々ニハ教育勅語ノ御趣旨ガ唯言葉デナク、

實際ニ於テ實踐出來ルヤウニト努メテ行ク

コトガ、是ガ教ヘテ奉ズルコトデアラウト

思フノデアリマス

○中山委員 御勅語ノ御趣旨能ク分リマス

ガ、私モ文部大臣ト同意見ヲ持ツテ居ルノ

デアリマスガ、唯此ノ際一ノモノヲ三ト打

込デ置イタ方ガ宜イト云フコトト國教ト

云フコトトニサツタ方ガ宜イトデハナイカ

ト云フコトト御尋ネシタダケデアリマス

其ノ次ニ各大學ニ勅任ノ教授ガ相當多イ

ト思フノデアリマス、或ハ是ハ私唯想像デ

アリマスカラ、數方間違ツテ居ルカモ知レ

マセスガ、京都トカ、東京ニハ二、三百人ト

云フヤウナ多クノ勅任教授ガ居ラレルト思

フノデアリマス、サウ云フ人ノ上ニ立ツ大

官待遇ト云フ地位ニ引上ゲテヤツテ、サウ

シテ生徒ニ崇高ナ人格ノ所有者、或ハ學問

ノ最モ秀イデタオ方トシテ尊敬スルヤウナ

御手段ヲ御執リニナルコトガ必要デヤナイ

カト思フノデアリマスガ、サウ云フ地位ヲ

御引上ゲニナル思召ハ現在ノ所ゴザイマセ

スカ、ドウデスカ

○橋田國務大臣 其ノ點多年同感ノ意見ヲ

持ツテ居ルノデゴザイマスガ、唯何時カラ

ハ 明治天皇ガ明治二十三年十月三十日ニ

下シ賜ヘタ勅語以外ニハナク、又其ノ勅語

ヲ御奉體スレバ十分デアルト思フ、御勅語

ニ述ベサセラレテ居リマス「斯道ハ」ト

仰セラレテアリマス「恐ラク文

字ハ違ヒマスケレドモ、皇道ト云フコトト

全ク合致スルコトト私信ジテ居リマス、居

リマスガ故ニ所謂宗教ニ對應スル爲メノ國

教ト云フコトヲ掲ゲル必要ハ吾々ニハナイ、

吾々ニハ教育勅語ノ御趣旨ガ唯言葉デナク、

實際ニ於テ實踐出來ルヤウニト努メテ行ク

コトガ、是ガ教ヘテ奉ズルコトデアラウト

思フノデアリマス

○中山委員 御勅語ノ御趣旨能ク分リマス

ガ、私モ文部大臣ト同意見ヲ持ツテ居ルノ

デアリマスガ、唯此ノ際一ノモノヲ三ト打

込デ置イタ方ガ宜イト云フコトト國教ト

云フコトトニサツタ方ガ宜イトデハナイカ

ト云フコトト御尋ネシタダケデアリマス

其ノ次ニ各大學ニ勅任ノ教授ガ相當多イ

ト思フノデアリマス、或ハ是ハ私唯想像デ

アリマスカラ、數方間違ツテ居ルカモ知レ

マセスガ、京都トカ、東京ニハ二、三百人ト

云フヤウナ多クノ勅任教授ガ居ラレルト思

フノデアリマス、サウ云フ人ノ上ニ立ツ大

官待遇ト云フ地位ニ引上ゲテヤツテ、サウ

シテ生徒ニ崇高ナ人格ノ所有者、或ハ學問



昭和十六年二月一日印刷

昭和十六年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第三號)

第七十六回帝國議會 院 豫算委員第二分科(内務省、文部省及厚生省)會議錄(速記第三回)

會議

昭和十六年二月一日(土曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ  
主席 末松備一郎君

加藤 剛一君 田中 好君  
木村 正義君 大本貞太郎君  
前田房之助君 今井 新造君  
井上 良次君

出席國務大臣左ノ如シ  
厚生大臣 金光 庸夫君  
文部大臣 橋田 邦彦君

出席政府委員左ノ如シ  
内務次官 萱場 軍藏君  
内務省地方局長 留岡 幸男君  
内務省警保局長 橋本 清吉君  
内務省土木局長 成田 一郎君  
内務省計畫局長 藤岡 長敏君  
内務書記官 三好 重夫君  
神祇院副總裁 飯沼 一省君  
文部次官 菊池豊三郎君  
文部省實業學務局長 關口 勳君  
文部省社會教育局長 瀧川 彌三君  
文部省體育局長 小笠原道生君  
文部書記官 柴沼 直君  
教學局長官 藤野 惠君  
厚生省豫防局長 高野 六郎君  
厚生省社會局長 熊谷 憲一君  
厚生省労働局長 持永 義夫君  
厚生省職業局長 內藤 寬一君  
厚生書記官 生悦住求馬君  
保險院長官 樋貝 詮三君

軍事保護院副總裁 三島 誠也君  
保險院簡易保險局長 前田 穰君  
軍事保護院援護局長 曾我 棍松君  
軍事保護院業務局長 櫻井安右衛門君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中内務省、文部省及厚生省所管

豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中内務省、文部省及厚生省所管  
○末松至奎 開會致シマス、是ヨリ本分科ニ付託サレタル内務、厚生、文部各省ノ豫算其ノ他ニ付テ討論及ビ採決ニ入りマス

○前田(房)委員 動議ヲ提出致シマス、本分科ノ所管ニ屬スル豫算各案ニ對シマシテハ、討論ヲ省略シ直チニ採決サレンコトヲ望ミマス  
○末松至奎 只今ノ討論ヲ省略シ、直チニ採決サレタイト云フ動議ニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○末松至奎 起立議員、仍テ本案ハ原案通り可決致シマシタ  
此ノ際一言御挨拶申上ゲマス、委員各位及ビ政府當局各位ノ非常ナル御熱心ニ依ツテ、短時日ノ間ニ無事ニ本分科會ノ終了致シタコトニ對シテ深ク敬意ヲ表シ、又厚ク

感謝致シマス、是ニテ散會致シマス  
午後一時十二分散會

衆議院豫算委員第二分科會議錄第一回中正誤  
頁段行 誤 正  
二二二二 參照 三選



昭和十六年二月一日印刷

昭和十六年二月二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第四號)

第七十六回帝國議會 院 豫算委員第三分科(大藏省)會議錄(速記)第一回

(二四)

會 議  
昭和十六年一月三十日(木曜日)午前十時四十七分開議

出席委員左ノ如シ  
主査 一松 定吉君

川崎 克君  
西川 貞一君  
小笠原三九郎君  
多田 滿長君  
藤本 捨助君

兼務  
勝 正憲君  
宮澤 胤勇君  
矢野庄太郎君  
三宅 正一君  
平川松太郎君

出席國務大臣ノ如シ  
大藏大臣 河田 烈君

出席政府委員左ノ如シ  
大藏次官 廣瀨 豐作君  
大藏省主計局長 谷口 恒二君  
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君  
大藏省理財局長 竹内 新平君  
大藏省銀行局長 相田 岩夫君  
大藏省爲替局長 原口 武夫君  
大藏書記官 梅北 末初君  
大藏事務官 山住 克巳君  
預金部資金局長 中村孝次郎君  
專賣局長官 花田 政春君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏

省所管  
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管  
(特第一號)昭和十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案

〇一松主査 是ヨリ會議ヲ開キマス、先ツ大藏大臣ヨリ議案ノ説明ガアリマス、大藏大臣ノ發言ヲ求メマス

〇河田國務大臣 大藏省所管歳入ト歳出ニ付キマシテ大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、一般豫算ニ付キマシテハ、大體歳入ニ付キマシテモ既ニ本會議議ニ豫算總會デモ申上ゲマシタガ、稍ソレニ敷衍致シマシテ申上ゲタイト思ヒマス

昭和十六年度歳入豫算額ハ、廣シ申上ゲマシタ通り、經常部ガ三十七億九千五百餘萬圓、臨時部ガ三億七千二百七十餘萬圓、合計六十八億六千三百二十餘萬圓デゴザイマスシテ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマス

レバ、經常部ニ於キマシテ四億二千六百四十餘萬圓、臨時部ニ於キマシテ三億三千九百五十餘萬圓、合計七億六千五百九十餘萬圓ヲ増加致シテ居リマス、前年度豫算額ニ比シテ増加シマシタ主要ナル事項ニ付テ一應御説明ヲ申上ゲマス、經常部ニ於キマシテハ、租稅ニ於テ二億九千八百七十餘萬圓、印紙收入ニ於テ二億三千五百二十餘萬圓、官業及官有財産收入ニ於テ五千九百四十餘萬圓、通信事業特別會計納付金ニ於テ五十餘萬圓、日本銀行納付金ニ於テ二千四百四十餘萬圓、雜收入ニ於テ八百五十餘萬

圓ヲ増加致シマス、然ルニ教育改善及農村振興基金特別會計ヨリ繰入ニ於テ四十餘萬圓ヲ減少致シマスノデ、差引四億二千六百四十餘萬圓ノ増加トナルノデゴザイマス

右申上ゲマシタ租稅ニ付キマシテ各稅別ニ其ノ主ナルモノニ付テ申上ゲマス

先ツ所得稅ニ於キマシテハ、分類所得稅ハ昭和十四年度ノ實績又ハ昭和十五年分當初決定所得金額等ヲ基礎ト致シマシテ、之ニ推定ヲ加味シテ算出致シマシタ、綜合所得稅ハ昭和十五年分當初決定所得稅ヲ基礎ト致シマシテ推定致シマシタ額ニ、現行稅法施行第二年度ニ於テ新タニ收入スベキモノノ見込額ヲ加ヘテ算出シ、又ハ昭和十五年四月ヨリ十月マデノ間ニ於ケル課稅實績ヲ年額ニ換算致シマシタ額ヲ基礎トシ、之ニ推定ヲ加ヘタモノデアリマシテ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマスルニ、分類所得稅及綜合所得稅ハ増加シテ居ルノデアリマスガ、第一種所得稅及第二種所得稅ガ前年度ニ於ケル稅制改正等ニ依リ皆減少シマス爲ニ、結局ニ於テ五百六十餘萬圓ノ減少ト相成ルノデアリマス、法人稅ハ昭和十四年中ニ事業年度ノ終了致シマシタ法人ノ所得金額及資本金額ヲ基礎トシ、之ニ推定ヲ加ヘテ算出致シマシタル結果、三億九千五百五十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマスガ、右ノ内二億四千餘萬圓ハ前年度ノ稅制改正ニ伴フ計上ノ増收デアリマス、相續稅ハ昭和十四年度以前ニ決定致シマシタモノノ年賦延納年割額ニ昭和十五年度及比同十六年度決定ノ年賦延納年割見込額並

ニ昭和十六年度決定ノ一時納付見込額ヲ加算シマシタ額ヨリ物納制度實施ニ依ル減少見込額ヲ控除致シマシタ結果、千二百二十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマス、酒稅ニ於キマシテ、酒類造石稅ハ昭和十五年酒造年度又ハ同十六年度造石見込高ヲ基礎トシテ算出シ、酒類庫出稅ハ同年度ノ造石見込高ヲ基礎トシテ計算致シマシタ庫出見込石數ニ依ツテ算出シ、沖繩縣酒類出港稅ハ昭和十五年四月ヨリ十月マデノ實收額ヲ年額ニ換算シタノデアリマシテ、二千五百六十餘萬圓ノ増加トナツテ居リマス、砂糖消費稅ハ昭和十五年十月以前一箇年間ノ課稅斤數ニ相當ノ減少ヲ見込シタノデアリマシテ、千六百六十餘萬圓ノ減少デアリマス、遊興飲食稅ハ昭和十五年十月以前一箇年間ノ課稅料金額、又ハ昭和十五年四月ヨリ十月マデノ課稅料金額ヲ年額ニ換算シマシタ額ニ相當ノ減少ヲ見込シタノデアリマシタ結果、千九百七十餘萬圓ノ減少トナツテ居リマス、關稅ハ昭和十五年十月以前一箇年間ノ實收額ニ相當ノ減少ヲ見込マシタル結果、四千餘萬圓ノ減少デアリマス、兌換銀行券發行稅ハ昭和十六年一月ヨリ三月マデノ間ニ於ケル兌換銀行券發行見込高ヲ基礎トシテ算出シタモノデアリマシテ、前年度ハ之ヲ計上シテ居ラナイ爲ニ八百六十餘萬圓ノ増増デアリマス、又地租、營業收益稅、資本利子稅、法人資本稅、利益配當稅、公債及社債利子稅ハ、前年度ノ稅制改正ニ依リ廢止セラレマシタノデ、皆減少トナツテ居ルノデアリマス、其

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日



ノ他物消費稅、物品稅、取引稅、通行稅、入場稅等ニ於キマシテ、各相當額ヲ増加シテ居リマシガ、配當利子特別稅、外貨債特別稅、揮發油稅等ニ於キマシテハ、各々若干ノ減少トナツテ居ルノデアリマス、次ニ印紙收入ハ昭和十五年十月以前一箇年間ノ實收額ヲ基礎トシテ推定致シマシタリ、本年度ニ於テ新テ收入スベキ分ヲ加算致シマシタ結果、三千五百二十餘萬圓ヲ増加スルコトナルノデアリマス、官業及ビ官有財產收入ハ、森林收入ニ於テ、主トシテ伐製品拂下代ノ増加ノ爲メ四千二百餘萬圓ヲ増加シ、專賣局益金ニ於テ製造煙草賣拂代ノ増加等ノ爲メ二千二百餘萬圓ヲ増加シ、其ノ他印刷局益金等ニ於テ若干ノ増減ガアリマス、結局五千九百四十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマス、日本銀行納付金ニ於テ二千四百四十餘萬圓ヲ増加致シマスノハ、昭和十六年ニ於ケル日本銀行ノ純益見込金額ガ多イ爲デアリマス、雜收入ニ於キマシテ八百五十餘萬圓ヲ増加致シマスノハ、免許及ビ手数料ニ於テ五百餘萬圓、恩給法分擔金、其ノ他ニ於テ若干ノ減少致シマスルニ拘ラス、競馬會納付金ニ於テ七百三十餘萬圓、特別會計恩給負擔金ニ於テ二百十餘萬圓、其ノ他ニ於テ若干ノ増加スルノニ依ルモノデアリマス、

次ニ臨時部ノ普通歲入ニ於キマシテハ、臨時利得稅ニ於テ、二億二千六百六十餘萬圓、公共團體工事費分擔金ニ於テ二百三十餘萬圓、雜收入ニ於テ一億三千七百七十餘萬圓等ノ増加ガアリマス、官有物拂下代ニ於テ八百八十餘萬圓、特別會計ヨリ繰入ニ於テ五十餘萬圓等ノ減少ガアリマスニモ拘ラズ、差引三億六千五百七十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマス、

右ノ政府出資特別會計ヨリ繰入ニ於テ、億四千二百餘萬圓ヲ増加致シマス、昭和十五年度ニ於テ北支那開發株式會社及ビ中支那振興株式會社ノ株式ヲ拂込ニ充ツル爲メ政府出資特別會計ノ所屬ニ移シマシタリ、政府出資特別會計ノ所屬ニ移シマシタリ、政府出資特別會計ノ規定ニ依リ繰入ルルコト致シマシタコト等ニ依リデアリマス、

次ニ普通歲入以外ニ付キマシテハ、公債金ニ於テ二千七百二十餘萬圓ヲ減少シ、前年度剩餘金繰入ニ於テ九十餘萬圓ヲ増加シテ居リマス、右ノ内公債金ハ震災善後公債及ビ繰替借入金、道路公債及ビ繰替借入金ガ多少増加致シマスガ、繰入補填公債及ビ繰替借入金ガ三千四十餘萬圓ヲ減少致シマス、

今右増減ノ主要ナルモノニ付キ大體ノ説明ヲ致シマス、先づ臨時利得稅ハ、法人臨時利得稅ニ付テハ、昭和十四年中ニ事業年度ノ終了シマシタ法人ニ付キ現行稅法ノ趣旨ニ依リ調査致シマシタ利得金額ヲ基礎トシ、之ニ推定ヲ加ヘテ算出シ、個人臨時利得稅ニ付テハ營業利得ニ對スル分ハ昭和十五年分當初決定稅額等ニ相當ノ減少ヲ見込ミ、讓渡利得ニ對スル分ハ昭和十四年度決定稅額等ニ依ツタモノデアリマシテ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマス、二億二千六百六十餘萬圓ノ増加トナツテ居リマスガ、内九千餘萬圓ハ前年度ノ稅制改正ニ伴フ計畫上ノ増收デアリマス、雜收入ハ政府出資特別會計ヨリ繰入ニ於ケル一億四千二百餘萬圓ノ増加、金貨特別會計ヨリ繰入ニ於ケル六百五十餘萬圓ノ減少、其ノ他若干ノ増減ヲ加除致シマシテ、結局一億三千七百七十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマス、

豫算委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日

ノ他物消費稅、物品稅、取引稅、通行稅、入場稅等ニ於キマシテ、各相當額ヲ増加シテ居リマシガ、配當利子特別稅、外貨債特別稅、揮發油稅等ニ於キマシテハ、各々若干ノ減少トナツテ居ルノデアリマス、次ニ印紙收入ハ昭和十五年十月以前一箇年間ノ實收額ヲ基礎トシテ推定致シマシタリ、本年度ニ於テ新テ收入スベキ分ヲ加算致シマシタ結果、三千五百二十餘萬圓ヲ増加スルコトナルノデアリマス、官業及ビ官有財產收入ハ、森林收入ニ於テ、主トシテ伐製品拂下代ノ増加ノ爲メ四千二百餘萬圓ヲ増加シ、專賣局益金ニ於テ製造煙草賣拂代ノ増加等ノ爲メ二千二百餘萬圓ヲ増加シ、其ノ他印刷局益金等ニ於テ若干ノ増減ガアリマス、結局五千九百四十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマス、日本銀行納付金ニ於テ二千四百四十餘萬圓ヲ増加致シマスノハ、昭和十六年ニ於ケル日本銀行ノ純益見込金額ガ多イ爲デアリマス、雜收入ニ於キマシテ八百五十餘萬圓ヲ増加致シマスノハ、免許及ビ手数料ニ於テ五百餘萬圓、恩給法分擔金、其ノ他ニ於テ若干ノ減少致シマスルニ拘ラス、競馬會納付金ニ於テ七百三十餘萬圓、特別會計恩給負擔金ニ於テ二百十餘萬圓、其ノ他ニ於テ若干ノ増加スルノニ依ルモノデアリマス、

次ニ臨時部ノ普通歲入ニ於キマシテハ、臨時利得稅ニ於テ、二億二千六百六十餘萬圓、公共團體工事費分擔金ニ於テ二百三十餘萬圓、雜收入ニ於テ一億三千七百七十餘萬圓等ノ増加ガアリマス、官有物拂下代ニ於テ八百八十餘萬圓、特別會計ヨリ繰入ニ於テ五十餘萬圓等ノ減少ガアリマスニモ拘ラズ、差引三億六千五百七十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマス、

右ノ政府出資特別會計ヨリ繰入ニ於テ、億四千二百餘萬圓ヲ増加致シマス、昭和十五年度ニ於テ北支那開發株式會社及ビ中支那振興株式會社ノ株式ヲ拂込ニ充ツル爲メ政府出資特別會計ノ所屬ニ移シマシタリ、政府出資特別會計ノ所屬ニ移シマシタリ、政府出資特別會計ノ規定ニ依リ繰入ルルコト致シマシタコト等ニ依リデアリマス、

次ニ普通歲入以外ニ付キマシテハ、公債金ニ於テ二千七百二十餘萬圓ヲ減少シ、前年度剩餘金繰入ニ於テ九十餘萬圓ヲ増加シテ居リマス、右ノ内公債金ハ震災善後公債及ビ繰替借入金、道路公債及ビ繰替借入金ガ多少増加致シマスガ、繰入補填公債及ビ繰替借入金ガ三千四十餘萬圓ヲ減少致シマス、

今右増減ノ主要ナルモノニ付キ大體ノ説明ヲ致シマス、先づ臨時利得稅ハ、法人臨時利得稅ニ付テハ、昭和十四年中ニ事業年度ノ終了シマシタ法人ニ付キ現行稅法ノ趣旨ニ依リ調査致シマシタ利得金額ヲ基礎トシ、之ニ推定ヲ加ヘテ算出シ、個人臨時利得稅ニ付テハ營業利得ニ對スル分ハ昭和十五年分當初決定稅額等ニ相當ノ減少ヲ見込ミ、讓渡利得ニ對スル分ハ昭和十四年度決定稅額等ニ依ツタモノデアリマシテ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマス、二億二千六百六十餘萬圓ノ増加トナツテ居リマスガ、内九千餘萬圓ハ前年度ノ稅制改正ニ伴フ計畫上ノ増收デアリマス、雜收入ハ政府出資特別會計ヨリ繰入ニ於ケル一億四千二百餘萬圓ノ増加、金貨特別會計ヨリ繰入ニ於ケル六百五十餘萬圓ノ減少、其ノ他若干ノ増減ヲ加除致シマシテ、結局一億三千七百七十餘萬圓ノ増加トナルノデアリマス、

豫算委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日



シテ行カレノデアリマスカ、又ハ此ノ一  
般會計ノ中ニ組込シテ行クノデアルカ、若  
シクハ一本ノ特別會計ヲ新ニ起サレ見込  
デアルカ、ソレニ對シテ當局ノ方針ヲ伺ツ  
テ置キタイト思ヒマス

○河田國務大臣 非常ニ興味アル御質問ト  
思ヒマス、先ツ少シ學究メキマスケレドモ、  
西川君ノ御説ノ通り、公債財源ニ依ルモノ  
ハ、平時ノ場合ニ於テハ、生産公債、事業  
公債ト云フコトナラバ、一種ノ投資デスカ  
ラ、先ツ公債ニ當ツテ居リマス、次ニハ斯  
カル事變ノヤウナ場合ニハ、事變ノ公債ハ  
一時的ノモノデアリマス、ソレデ公債財源  
ニ依ルモノハ、事業公債カ、事變公債ニ限  
ルト云フコトハ洵ニ御尤モト思ヒマス、從  
來歲出モソレ程要セズ、又收入モ之ニ伴ツ  
タ時代ニ於キマシテハ、普通ノ經費ハ成ベ  
ク公債ニ依ラナイ建前ヲ我ガ帝國ノ財政ハ  
執ツテ參ツタノデアリマスガ、數年前以前カ  
ラ國家ノ經費ト、歳入ノ狀況ガ不一致ニナ  
ツテ、所謂赤字公債ニ依ル意味ニ於テ赤字  
公債、歳入補填公債ト云フモノヲ發行スル  
ニ至リマシタモトデスカラ、其ノ「バラシ  
ス」ガ實ハ壞レタト云フコトニナツテ、今  
日進シテ來テ居ルヤウニ思ヒマス、問題ガ  
複雑化シマスカラ事業公債トカ、事變公債  
トカ一々分ケマセズ、事變公債ト云フコ  
トデ申上ゲマス、御承知ノ通り斯ウ云フ  
事變ノ時ニ事變公債ヲ出スト云フコトハ、  
國民ノ覺悟ヲ促シ、非常ニ國民ノ琴線ニ懸  
ヘ得ルト思ヒマス、唯歳入補填公債ト云フ  
コトニナルト、非常ニソコガ氣味ガ薄イ譯  
デゴザイマス、併シナガラ出來得ルナラバ  
今日ニ於キマシテ事變ノ公債ハ、假令公債  
ガ多額ニ上リマシテモ、普通ノ歳入補填公

債ト云フモノハ理想トスレバ全部廢メタイ、  
併シ一朝ニシテ之ヲ廢メルト云フコトハ、  
今日ノ實情ヲ許シマセヌゾ、前ニ御質問  
ニナリマシタ通り、結局前年度ニ比シマス  
レバ増加スルコトニナルト思ヒマス、ケレド  
モ、兎モ角モ總豫算提出ノ時ニ於テハ出來  
ルダケ之ヲ減ラシテ行キマシテ、又之ヲ前  
年度豫算ト比較シマシテモ、絕對的ニ減  
ラシタイノデアリマスケレドモ、色々ナ各種  
ノ必要カラサウ云フコトニ至リマセズ、今  
西川君ガ、ソレハ便乘等ガアルデアラウト  
言ハレマシタガ、政府ト致シマシテハ、十  
分戒メマシテ、便乘等ハナイヤウニシテ居  
リマスガ、サウ云フ御批評ヲ受ケルコトハ  
甚ダ遺憾デアリマシテ、政府全體ト致シマ  
シテサウ云フ點ニ付テハ十分戒慎シナケレ  
バナラスト思ヒマス、兎モ角モ出來ルダケ  
赤字公債ハ減スル、比較致シマシテ兎モ  
ノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、出來ルダケ減  
ズル方針ヲ執ツテ居ルト云フコトハ、西川  
君ト全ク御同感デアリマシマス

ソコデ本間ニ戻リマシテ、此ノ事變公債ノ外  
ニ初メ御質問ニナリマシタ追加額ノソレ  
ヲ申シマス、前ニ總豫算ニ於キマシテモ陸海  
軍ノ軍事費ト云フモノハ相當ニ數額増シ  
テ居ルノデアリマス、寧ろ思ハス増加ヲス  
ルノデアリマス、ソレカラ此ノ次ニ出マス  
所ノ昭和十六年ノ追加豫算ニ於テモヤハリ  
臨時軍事費ト云フモノハ相當多額ニナツテ  
居リマス、併シナガラ公債ハ歳入補填公債  
ト云フモノモ今日ノ時局、事變ト密接ナル  
關係ガアル、軍事費ノ財源タル所ノ公債ハ  
單ニ臨時軍事費關係ノ公債ノミトハ言ヘヌ  
ト思ヒマス、關係シテ居リマス、直接軍ノ行  
動ニ關係シテ居ル軍事費ニ計上セラレテ居

ル半面ニ於テハ、又通常費ニ於テ臨時軍事  
費ノ外ニ軍ノ行動ヲ致スルノ基礎トナル所  
ノ軍事費ト云フモノガ、一般會計ニ入ツテ  
居リマス、事變ニ要スル所ノ公債ガ臨時  
軍事費タケノ公債トハ言ヒ難ネルノデア  
ル、換言スレバ歳入補填公債ノ或ル部分ハ  
ヤハリ事變ニ要スル經費ト言ヒ得ルト思ヒ  
マス、ソコデ多分西川君ノ御疑念モソコニ  
アルト思ヒマスガ、ソレナラバサウ云フモ  
ノモ皆何カ一過ニ之ヲ事變ニ要スル經費ト  
シテ引抜イテ來テ現ハセバ、非常ニ國民ノ  
心理ニ懸ヘルノニモ能ク分ル、斯ウ云フ御  
考デハナイカト思ヒマス、ソレハ一端ガ現  
ハレテ居ル譯デアリマス、ト申シマス、ハ、  
一般會計ニ於テ九億何千万圓ノ節約減額ヲ  
致シテ居リマスガ、其ノ中ノ數億ト云フモ  
ノハ陸海軍ニ於テ臨時軍事費ヲ以テ支辨ス  
ル所ノ部隊艦船ノ就役ノ爲ニ、普通ノ一般  
會計ノ方ニ於テ組込シテ居ルノデアリマシテ、  
公債財源ヲ以テ支辨スル形ニナツテ居リマ  
ス、其ノ限リハ今ノ御説ノ一端ガ現  
レテ居リマス、借テ第三段ニ、今度ノ陸海  
軍ノ軍備ノ經費並ニ臨時軍事費等ニ付テ、他  
今マデノ支辨事件費ノミデ増加シテ居ルカ  
ニソレ以上ノ計畫ノ爲ニ增加シテ居ルカ  
ドウカト云フ點ニ付キマシテハ、臨時軍事  
費ハ支辨事件ニ關スル經費ノミヲ計上致シ  
テ居ルモノト御諒解願ヒマス

一般會計ノ總豫算並ニ追加豫算ニ於ケル  
軍事關係ノ經費ニ於テ、精細ニ「下」位ガ此ノ  
事變ニ備ヘルモノデアルカト云フコトハ困  
難デアリマス、是ハ西川君ノ所謂今日ノ  
事變ニ備ヘル事變公債トナル譯ナノデアリ  
マス、正確ニ幾ラニナルト云フコトハ作

バ出來マスケレドモ、少シ困難カト思ヒマ  
ス、ソレカラ斯ウ云フコトモアリマス、只  
今申シマシタ通り一般會計カラ六億七千万  
圓繰入レテ居ル、是ハ租稅ニ依ルモノデゴ  
ザイマスガ、昨年ノ稅制改正後ハソレダケ  
歳入補填公債ト云フモノハ減ル譯デアリマ  
ス、ソレダケノモノガ臨時軍事費ニ入ル、  
サウ致シマス、ト今言ハレタ國民ガ臨時軍事  
費ノ方ノ公債ヲ持ツコトモ事變ノ爲ニハ仕  
方ガナイト云フ見地カラ行キマス、其ノ  
ノ方ガハツキリスルノデアリマス、併シナ  
ガラ從來ノ沿革上増稅ハヤハリ此ノ支那事  
變ノ爲メノ増稅デアル、其ノ點ハヤハリ考  
ヘナケレバナラズ、技術的ニ「下」位ニ行ツ  
テモ同ジコトデアアルガ、サウ云フ關係ノコ  
トモゴザイマス

○西川委員 大臣ノ御説明ハ能ク了承シマ  
シタガ、ヤハリ私ハ斯ウ云フ形式ノ豫算ノ  
立テ方ハ餘リ巧妙デハナイト思フ、ソレハ  
ヤハリ公債ハ後代ノ國民ニ一ツノ負擔トシ  
テ殘スノデアリマス、假令私共ガ家督  
ヲ相續致シマス時、借金ヲ殘シテ貰ヒマ  
シテモ、或ハ家ガ地ケタケタケ爲ニアレダケノ借  
金ガ出來タノダ、又アレハ斯ウ云フ事業ヲ  
スル爲ニ出來タ借金デアラト云フコトガハ  
ツキリシテ居リマス、之ヲ後デ辨濟  
スル努力ノ氣分ガ非常ニ違フノデアリマス、  
所ガ食込ミ借金ヲ殘シテ呉レタト云フノデ  
ハ、ドウモ有難クナイ、是ハ國家ノ財政ニ於  
テモ此ノ皇國未曾有ノ國運ノ飛躍ニ 吾々  
ト致シマシテハ國難ト云フヨリモ非常ナル  
國運飛躍ノ聖代ニ生レタル感激ヲ以テ此ノ  
時局ニ對處致シテ居ル、又サウ云フナクテハ  
ナラヌノデアリマスガ、サウ云フ時局ニ特  
別ニ要シタ經費デアル、サウ云フ公債デア

ル、是ハ後代ノ國民モ現在ノ國民モ共ニア  
ラン限リノ力ヲ盡シテ是ガ始末ヲシナケレ  
バナラズ、所ガ赤字公債ト云フモノハ平々  
ク言ヘバ食込ミ借金デアル、此ノ食込ミ借  
金ガ財政上ノ場合ニ於テ理論的ニ許サレ  
ノハドウ云フ場合デアラカト云フ、一般  
ノ財界ノ狀況ガ政府ガ何等カノ事業ヲシ  
イト失業ガ出來テ、ソレダケ國民ノ努力  
ガ無駄ニ浪費サレル、ソコデ政府ハ新ニ政  
治的ニ購買力ヲ設定シテ、一ツノ事業ヲ起  
シテ行ク、是ガ赤字公債ノ財政上ニ於ケル  
積極的ノ意味デアツテ、サウ云フ時以外ニ  
ハ赤字公債ト云フモノハ出スベキデハナ  
イ、所謂食込ミ借金ノナモノハ出スベキデ  
ハナイ、所ガ我が國ニ於テ赤字公債ガ出マ  
シタ當初ハサウ云フ時代ガアツタ、サウ云  
フ時代ニハモット出スベキデアツタ、モツ  
ト澤山サウ云フ特別ノ購買力ヲ設定シテ、  
ソレニ依ツテ「下」位ノ生産力ノ擴充ヲスベ  
キデアツタ、國防ノ充實モスベキデアツ  
タ、今日ニ於テハモウ其ノ狀態ハ全然變ツ  
テ來テ居ルノデアリマシテ、資源ハ遊ラナ  
居ナイ、努力モ遊ラシテ居ナイ、寧ろ足ラナ  
イ時代デアリマス、斯ウ云フ時代ニハ  
赤字公債ハ出スベキモノデハナイト考ヘ  
ル、理論的ニサウデアリマス、ト共ニ、又實  
際的ニ努力ヲサレラバ之ヲ出サズニ濟  
ムデハナイカ、只今ノ御説ニモアリマシタ  
ガ、一體本年度ニ於テモ六億七千万圓ヲ特  
別會計ニ繰入レテ居ル、是ハ私ハ意味ヲナ  
サヌト思フ、前ニハ支那事變ノ臨時ノ増稅デ  
増稅ヲヤツテ來タ、一年カ二年カ、三年デア  
リマシタカ、ヤツテ來マシタ、支那事變ト云  
フ一ツノ題目ヲ擧ゲテノ増稅デアリマス、カ  
ラ、ソレハ事變費ノ方ニ繰入ルベキデアツ

タ、所ガ昨年ニ於キマシテ稅制ノ根本的ノ  
改革ヲヤリマシテ、ソレ等ノ増稅ハ一般ノ  
稅ノ中ニ織込シテ參リマシテ、臨時特別ノ  
稅デハナクナツテ、一ツノ恒常的ノ稅ニナツ  
タ、サウシテ赤字公債ヲ二十億バカリ出シテ  
置イテ、其ノ中カラ六億七千万圓ハ臨時軍  
事費特別會計ノ方ニ繰入レル、サウ云フヤ  
ウナコトヲナサツテ居ル、其ノ赤字公債ノ  
額ヲ特別ニ御覽ヤシニナラヌデモ、臨時事  
件費ノ方ハ公債デモ何デモ是ハドウシテモ  
ヤラナケレバナラズ、國民ノ氣分ガ違フノ  
デスカラ、其ノ方デオヤリニナツタ宜イ  
デハナイカ、ソレカラ又一般會計ノ方ハ中  
中引離シ難イコトガアル、ソレハ豫算技術  
ノ上カラ引離シ難イ點モアルデアリマセウ  
ケレドモ、併シナガラ出來ルダケノ努力ヲ  
ナサツテ、一般會計タケハ赤字ヲ出サズニ  
大體ヤツテ行ク、ドウシテモ此ノ國家ノ重  
大時ニ際シテハ、是ハモウ財源ノ種別ヲ  
論ジテハ居ラナイカ、是デヤツテ行ク、  
サウシテ現代、後代ノ國民ガ非常ニ奮發心  
ヲ起シテ是ハ始末ヲシテ行ク、斯ウ云フヤ  
ウナ形式ヲ財政ノ上ニ於テ整ヘテ置カレ  
コトガ必要デアラウト思フノデアリマス、  
是ハ意見デアリマス、カラ敢テ御答辯ハ求メ  
マセヌ、御反駁ガアリマス、レバ御意見ヲ承  
リマスガ、敢テ御答辯ヲ要求スルモノデハ  
アリマセヌガ……

○河田國務大臣 前同ノ御答辯ニ於テ、極  
メテ興味アル御質問申上ゲマシタ、ハ、  
其二ノ點ニ觸レテ居ルノデアリマシテ、今  
二點ニ分ケテ申上ゲマス、一般會計總豫  
算ノ方ニ計上シテ居リマス相當ノモノガ、  
臨時軍事費ノ方ニ移シ變ヘテ整理セラレ  
ト云フヤウナ時局ノ到來スルコトヲ誰カ知

○西川委員 大體政府ハ低物價政策ニ關聯  
致シマシテ、ヤハリ國民所得ガ餘リ增加シ  
ナイヤウニ抑制政策ヲ執ツテ居ラレト思  
フノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ戰時ノ下  
ニ於キマシテ、斯ウ云フ風ナ政策ガ適當ナ  
リヤ否ヤニ付キマシテハ、根本的ニ檢討ヲ  
要スル點ガアルト思フ、實ハ其ノ點ニ付テ  
ハ、總會ノ席上等ニ於キマシテモ、十分ニ  
檢討シタイ氣持ヲ私ハ持ツテ居ツタノデ  
ス、又當局ニ於テ御考ヘノ足ラナイ點ガ  
アルナラバ、考ヘテ戴クト云フマデニ情勢ガ熱  
シテナイヤウナ氣持モ致シマス、私ハ更  
ニ追加豫算ノ出マシタ時ニハ、總會ニ於キ  
マシテ、多少其ノ問題ニ觸レカモ知レマセヌ  
ガ、此處デハ其ノ點ニ觸レコトニ致シマ  
ス、兎モ角モ所得ノ抑制政策ヲ執ツテ居ラ  
レル、其ノコトハ當然稅收入ノ前途ニ於キマ  
シテモ關係シテ來ルト思フ、經費ハ一面陸  
軍ニ膨脹ヲ抑止シ難イ趨勢ニアル時ニ、國  
民所得ハ抑制サレ、稅收入ガ其ノ影響ヲ受  
ケザルヲ得ナイヤウナ情勢ニ置カレテア  
リマス、コトガ、財政ト云フ見地ノミカラ  
考ヘマシテモ、適當デアラカドウカハ、大  
イニ又モ檢討ヲ要スルコトデアルト思フ  
ガ豫算面ヲ見マス、所得稅ニ於テ僅カデ  
アリマス、ケレドモ、五百六十六萬圓バカリ  
減ツテ居リマス、是ハ洵ニ注意スベキ現象  
ダト思ヒマス、只今御説明ヲ聽キマス、  
是ハ稅制改革前ノ第一種、第二種等ガ全然  
ナクナツタ爲ニ減ツタノデアルケレドモ、

ラ、是ハ後代ノ國民モ現在ノ國民モ共ニア  
ラン限リノ力ヲ盡シテ是ガ始末ヲシナケレ  
バナラズ、所ガ赤字公債ト云フモノハ平々  
ク言ヘバ食込ミ借金デアル、此ノ食込ミ借  
金ガ財政上ノ場合ニ於テ理論的ニ許サレ  
ノハドウ云フ場合デアラカト云フ、一般  
ノ財界ノ狀況ガ政府ガ何等カノ事業ヲシ  
イト失業ガ出來テ、ソレダケ國民ノ努力  
ガ無駄ニ浪費サレル、ソコデ政府ハ新ニ政  
治的ニ購買力ヲ設定シテ、一ツノ事業ヲ起  
シテ行ク、是ガ赤字公債ノ財政上ニ於ケル  
積極的ノ意味デアツテ、サウ云フ時以外ニ  
ハ赤字公債ト云フモノハ出スベキデハナ  
イ、所謂食込ミ借金ノナモノハ出スベキデ  
ハナイ、所ガ我が國ニ於テ赤字公債ガ出マ  
シタ當初ハサウ云フ時代ガアツタ、サウ云  
フ時代ニハモット出スベキデアツタ、モツ  
ト澤山サウ云フ特別ノ購買力ヲ設定シテ、  
ソレニ依ツテ「下」位ノ生産力ノ擴充ヲスベ  
キデアツタ、國防ノ充實モスベキデアツ  
タ、今日ニ於テハモウ其ノ狀態ハ全然變ツ  
テ來テ居ルノデアリマシテ、資源ハ遊ラナ  
居ナイ、努力モ遊ラシテ居ナイ、寧ろ足ラナ  
イ時代デアリマス、斯ウ云フ時代ニハ  
赤字公債ハ出スベキモノデハナイト考ヘ  
ル、理論的ニサウデアリマス、ト共ニ、又實  
際的ニ努力ヲサレラバ之ヲ出サズニ濟  
ムデハナイカ、只今ノ御説ニモアリマシタ  
ガ、一體本年度ニ於テモ六億七千万圓ヲ特  
別會計ニ繰入レテ居ル、是ハ私ハ意味ヲナ  
サヌト思フ、前ニハ支那事變ノ臨時ノ増稅デ  
増稅ヲヤツテ來タ、一年カ二年カ、三年デア  
リマシタカ、ヤツテ來マシタ、支那事變ト云  
フ一ツノ題目ヲ擧ゲテノ増稅デアリマス、カ  
ラ、ソレハ事變費ノ方ニ繰入ルベキデアツ

タ、所ガ昨年ニ於キマシテ稅制ノ根本的ノ  
改革ヲヤリマシテ、ソレ等ノ増稅ハ一般ノ  
稅ノ中ニ織込シテ參リマシテ、臨時特別ノ  
稅デハナクナツテ、一ツノ恒常的ノ稅ニナツ  
タ、サウシテ赤字公債ヲ二十億バカリ出シテ  
置イテ、其ノ中カラ六億七千万圓ハ臨時軍  
事費特別會計ノ方ニ繰入レル、サウ云フヤ  
ウナコトヲナサツテ居ル、其ノ赤字公債ノ  
額ヲ特別ニ御覽ヤシニナラヌデモ、臨時事  
件費ノ方ハ公債デモ何デモ是ハドウシテモ  
ヤラナケレバナラズ、國民ノ氣分ガ違フノ  
デスカラ、其ノ方デオヤリニナツタ宜イ  
デハナイカ、ソレカラ又一般會計ノ方ハ中  
中引離シ難イコトガアル、ソレハ豫算技術  
ノ上カラ引離シ難イ點モアルデアリマセウ  
ケレドモ、併シナガラ出來ルダケノ努力ヲ  
ナサツテ、一般會計タケハ赤字ヲ出サズニ  
大體ヤツテ行ク、ドウシテモ此ノ國家ノ重  
大時ニ際シテハ、是ハモウ財源ノ種別ヲ  
論ジテハ居ラナイカ、是デヤツテ行ク、  
サウシテ現代、後代ノ國民ガ非常ニ奮發心  
ヲ起シテ是ハ始末ヲシテ行ク、斯ウ云フヤ  
ウナ形式ヲ財政ノ上ニ於テ整ヘテ置カレ  
コトガ必要デアラウト思フノデアリマス、  
是ハ意見デアリマス、カラ敢テ御答辯ハ求メ  
マセヌ、御反駁ガアリマス、レバ御意見ヲ承  
リマスガ、敢テ御答辯ヲ要求スルモノデハ  
アリマセヌガ……

○河田國務大臣 前同ノ御答辯ニ於テ、極  
メテ興味アル御質問申上ゲマシタ、ハ、  
其二ノ點ニ觸レテ居ルノデアリマシテ、今  
二點ニ分ケテ申上ゲマス、一般會計總豫  
算ノ方ニ計上シテ居リマス相當ノモノガ、  
臨時軍事費ノ方ニ移シ變ヘテ整理セラレ  
ト云フヤウナ時局ノ到來スルコトヲ誰カ知

○西川委員 大體政府ハ低物價政策ニ關聯  
致シマシテ、ヤハリ國民所得ガ餘リ增加シ  
ナイヤウニ抑制政策ヲ執ツテ居ラレト思  
フノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ戰時ノ下  
ニ於キマシテ、斯ウ云フ風ナ政策ガ適當ナ  
リヤ否ヤニ付キマシテハ、根本的ニ檢討ヲ  
要スル點ガアルト思フ、實ハ其ノ點ニ付テ  
ハ、總會ノ席上等ニ於キマシテモ、十分ニ  
檢討シタイ氣持ヲ私ハ持ツテ居ツタノデ  
ス、又當局ニ於テ御考ヘノ足ラナイ點ガ  
アルナラバ、考ヘテ戴クト云フマデニ情勢ガ熱  
シテナイヤウナ氣持モ致シマス、私ハ更  
ニ追加豫算ノ出マシタ時ニハ、總會ニ於キ  
マシテ、多少其ノ問題ニ觸レカモ知レマセヌ  
ガ、此處デハ其ノ點ニ觸レコトニ致シマ  
ス、兎モ角モ所得ノ抑制政策ヲ執ツテ居ラ  
レル、其ノコトハ當然稅收入ノ前途ニ於キマ  
シテモ關係シテ來ルト思フ、經費ハ一面陸  
軍ニ膨脹ヲ抑止シ難イ趨勢ニアル時ニ、國  
民所得ハ抑制サレ、稅收入ガ其ノ影響ヲ受  
ケザルヲ得ナイヤウナ情勢ニ置カレテア  
リマス、コトガ、財政ト云フ見地ノミカラ  
考ヘマシテモ、適當デアラカドウカハ、大  
イニ又モ檢討ヲ要スルコトデアルト思フ  
ガ豫算面ヲ見マス、所得稅ニ於テ僅カデ  
アリマス、ケレドモ、五百六十六萬圓バカリ  
減ツテ居リマス、是ハ洵ニ注意スベキ現象  
ダト思ヒマス、只今御説明ヲ聽キマス、  
是ハ稅制改革前ノ第一種、第二種等ガ全然  
ナクナツタ爲ニ減ツタノデアルケレドモ、







ヒマス、各省トモ大イニ成メテヤラナケレバナラステレドモ、大蔵省ガ直接責任ヲ負ウテ居ラレドモ、此ノ豫算ノ中ニモ、吾等トシテ洵ニ疑問ヲ持タザルヲ得ヌ點ガ多クアルノデアリマス、ソレヲ具體的ニ伺ヒマスガ、内閣機密費、是ガ前年ニ於キマシテハ二十万六千圓バカリシカ計上シテ居ナイノガ、今年百七十七万圓、百五十万圓バカリ増額シテ居ル、是ハドウ云フ意味デアラカ、時局重大ノ折柄デアリマスカラ、機密費ガ相當増大スルコトハ吾等モ諒承スルノデアリマスガ、軍事關係ナラバ陸海軍ニ於テ相當取ツテアリマセウシ、又外交關係ナラバ其ノ方面、或ハ興亞院ニ於テモ相當ノ機密費ガアルヤウデアリマスガ、特ニ内閣ノ機密費ガ二十二万圓ガ百七十七万圓ニナルト云フヤウナコトハ、實費會問題等ニ絡ンダリ、政黨解消後ニ於キマシテ政界ガ色々ノ問題ヲ持ツテ居リマスル時ニ、此ノ機密費ガ非常ニ増大スルコト云フコトハ、理由ガ明カニナツテ居ラヌト國民ニ疑惑ヲ與ヘルト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ營業費ノ中デ舊體制ヲ特ニ指摘シタイノハ、同ジヤウナ仕事デ同ジヤウナ年度ヲ何過モ延バシテ、澤山ノ仕事ガ一緒ニ行ハレテ居ル、先ヅ貴衆兩院議員ノ專用廳舎ノ經費トシテ僅カバカリデアリマスガ、計上サレテ居ルヤウデス、此ノ專用廳舎ト云フノハ何處カ其處ラアタリニ出來ルト云フヤウナ噂ヲ聞イテ居リマシタガ、是ハ財政ノ都合上當分見込ハナイノデ、軍事保護院ノ建物ヲ建テルカラ、敷地ハソチヲ方ニ借シテ與レト云フヤウナ話ガ付イタト云フヤウナコトモ承ツテ居ル、兩院議員ノ專用廳舎モ必要デアハリマセウ、是ハ大イニ不自由ハシテ居リマスケレドモ、何モ此ノ時局ニ之ヲ建テナケレバナラヌト云フ必要モナイダラウト思フ、サウスルト結局何人カノ職員ヲ存置スル爲ニ是ハ豫算ガ置イテアル、サウ云フヤウナ技術者ハ、此ノ技術者ノ足ラヌ時ニ、サウ云フ所ニ別ニ存置サレタテモ切リニナサツテ、有用ナ方面ニ御使ヒニナリ、又餘裕ガ出來タ時ニオヤリニナツテハドウデアラカ、ソレカラ遺留局ノ東京出張所デモ十五年前カラ十七年マデ三箇年繼續、印刷工場ガ十五年カラ十八年マデ四箇年繼續、アルコールノ製造工場ガ十五年カラ十八年マデ四箇年繼續、其ノ他日タ何、日タ何ト云フモノガ非常ニ多イ、サウ澤山ノモノヲ小刻ミニオヤリニナラヌデ、一番必要ナモノカラドン／＼オヤリニナツテハドウカ、サウシテ一年位完成シテソレガ使ヘル、其次ハ之ヲアルト云フ風ニオヤリニナツテハ如何デアリマスガ、ソレヲサウ云フヤウナコトヲナサナイデ、斯ウ云フ風ニアレコトヲ出サレテ行ク理由ハドウ云フノデスカ、特ニ神戶稅關ノ如キハ、大正十年カラ昭和十七年ト云フヤウナ事業ガアル、其ノ時ニ生レタ娘ガ嫁ニ行ツテ、孫ヲ産ムヤウナ期間マデ是ガ續イテ居ル、ソレカラ補助費ノ方ヲ見マス、國際觀光協會ニ對スル補助五十万圓ガ、十萬圓減ラサレテ四十萬圓ニナツテ居ル、一體斯ウ云フ時局ニノコトコト觀光ニ來ルヤウナ香氣ナガ、居ラスコトハアリマス、相當居ルデアリマセウケレドモ、併シ相當ノ效果ガアルノデアラカ、國際觀光事業ハ外交關係モアリマスノデ、補助金ヲアルノガドウトハ申シマセウガ、相當ニ效力ガアルノカ、其ノ

次ニ戰時物資活用協會、是ハ大イニ意義ノアル仕事ト思ハレマス、前年ノ十五萬圓ガ同ジヤウニ五萬圓程トシテ切ツテ十萬圓ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウニ見マス、斯ウ云フ費用ハ一律ニ何ボカ減ラシテ、仕事ノ内容ハ吟味サレテ居ラナイノデアリカト云フヤウナ氣ガスル、カト思ヒマス、資源調査費、只今御説明ニモアツタノデアリマスガ、四百萬圓ト云フモノガ計上サレテ居ル、是ハ洵ニ有用ナコトデアツテ、異論ハナイガ、ソレハ一括シテ北支開發株式會社ニ補助金トシテオヤリニナルヤウデアリマス、一體役所ノ經費トシテ四百萬圓ト云フモノガ計上サレタト致シマス、其ノ明細書ガ此ノ豫算書ニ載ツテ居ル、吾等ガ之ヲ一々吟味シテ檢討スルコトハ、出來マスガ、一括シテ四百萬圓ト云フモノヲ、マルデ包ミ金デモヤルヤウナ恰好ニ豫算面ニハ現ハレテ居ル、大體北支開發株式會社ト云フヤウナ國策會社ノ資源ノ調査ハ、獨力デアリノガ本當デハナイカ、又政府トシマシテ生産力擴充ガ急ヲ要スル時デアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ經費ハ幾ラ御出シニナリマシテモ、敢テ吾等ハ不當ト云フノデアリマセウガ、モウ少シ前進ヲ立テテ、能ク國民ニ、少クモ吾等ガ豫算ノ審議ノ際ニハ、ドウ云フ仕事ガ行ハレルノデアリカト云フヤウナコトガ、ハヅキリ分ルヤウナ形ニ於テナサツタ方宜イノデアリカト思フノデアリマス、尙ホ澤山アリマス、臨時財政經濟調査及ビ處理費ト云フヤウナモノハ、是ハドウ云フ仕事ヲシテ居ラレルノカ存ジマセウガ、小サイコトヲ言フヤウデアリマスガ、ソレニ對シテ賞與ノ増加率ガ著シク大デアル、他ノ人件費ノ俸給ノ増加ノ

ニナリマシタノハ、第二款内閣ト云フ所ノ第十二項機密費ガ、前年ニ於テハ二十二万六千五百圓ト云フモノガ、百七十七万圓ニナツテ居ル、此ノ部分ヲ御覽ニツツコトト思フノデアリマスガ、私ハ其ノコトノ説明ニ付キマシテハ、先刻申上ゲマシタヤウニ心得テ居リマス、其ノ他先程御尋ネニナリマシタ點ニ付キマシテハ、大臣カラ概括シテ御答ヘニナツタノデアリマスガ、例ヘバ國際觀光ノコトニ付テモ御話ガアリマシタ、此ノ仕事ハ關係ノ方デハ此ノ際ト雖モ非常ニ重要ナ仕事デアリマス、コトイッテ、イタリヤ等ニ於キマシテモ、戰争ノ際ニ於テモ、之ニ非常ニ力ヲ入レテ居ル、國際收支ト云フ點カラモ、又國全體トシテノ對外宣傳ト云フ方面カラモ考ヘラレテ居ルト云フノデ、非常ニ重大ナモノデアルト云フ考ヘ方モアリノデアリマス、何様當今ノコトデアリマシテ、觀光客ノ往來ト云フモノモ、幾ラカ減少氣味デアルト云フヤウナ立場ヲ致シマシテ、前年度ヨリ幾ラカ減少セラレタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ又臨時財政經濟調査費ニ付テ賞與ノコトヲ御指摘ガアリマシタガ、賞與ニ付キマシテハ、西川サン能ク御承知ノ通りニ、昨年新年ニ其ノ科目ヲ設ケマシテ、數年來衆議院ニ於キマシテ科目ナシニナツテ居ルト云フコトノ不當サヲ、色々御非難ヲ受ケマシタ點ニ應ヘマシテ、昨年初メテ設ケタノデアリマス、何様一時ニ改革ヲ仕達サルト云フコトモ難カシイ事情ガアリマシタノデ、昨年ハ賞與ノ計上額ト云フモノハ極ク一部分ニ止メタノデアリマス、本年ハ更ニ其ノ方向ヲ進メマシテ、賞與ト云フモノハ賞與ノ科目カラ必ズ出スト云フ理想ノ方ニ一歩ヲ進メタト云フ

ウ云フコトモ此ノ戰時體制ニ即應スル一ツノ財政新體制トシマシテハ、大イニ檢討ヲ要スルモノガアルト思フノデアリマスガ、ソレ等ニ付テハ財政ノ立テ方ノ上、詰リ其ノ財務ノ機構ニ於テモ一段ト御考ヘニナル點ガ政府ニハアルノデアリカト思フノデアリマス、之ニ對シテ御答ヲ要求シマシテ私ノ質問ハ是デ終リマス

○河田國務大臣 只今ノ既定經費ニ對スル再檢討ト云フコトハ洵ニ必要デゴザイマス、本年モ相當檢討致シマシタガ、中々徹底的ニ行キマセウ、ソレハ今西川君御承知置キ下サイマス通り、ソレヲスル仕事ヲ擔當致シマス事務當局ハ、次々ト期限ノアル仕事ガアリマスノデ、ソレニ没頭シテ居ラレマセウ、其ノ爲ニ洵ニ不徹底ニ終ル、其ノ點ハ相當ニ從來ヨリハ致シタ積リデアリマスガ、御指摘ニナリマシタ通りマダゴザイマス、是ハ一ツドウシテモ再檢討シナケレバナラヌ、出來ルダケ再檢討致シマシテ、又豫算編成等ノ當局ノ機構ト云フモノモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ相當ニ廣範圍ノ改正ヲスル必要ガアル、私モ聊カ腹案ヲ持ツテ居リマスガ、之ヲ提唱スル時期ニ付テハ深く考慮致シマス、尙ホ今ノ前段ノ既定經費ノ檢討ト云フコトニ付テハ豫算豫本考ヘテ居リマセウケレドモ、マダサウマデ者ガ局ニ居リマセウノデ、又局ニ入りマシテモ他ノ緊急ナ用務ノ爲ニ追ハレマシタソコトヲ行ツテ居リマセウ、マダ十分相談致シテ居リマセウガ、今ヨリスツト以前ニ、此ノ前ノ大戦ノ時ニ、英國デハ其ノ局ニ居ナイ者ガソレバカリ専心ニ三年バカリヤリマシテ、ソレニ關係スル者ハ政界ノコトニモ、サウ云フコトニモ相當堪能續達ノ士デ、

能ク分ツタ者ガヤウタ、サウ云フコトニデモシナケレバ中々政府當局ニ居ル者ガ片手間ニナルト云フコトデハ困難デハナイカト思ツテ居リマス、併シ是ハ私ガ肚ニ思ツテ居ルダケデアリマシテ、公ニサウ云フコトヲシナケレバナラヌト云フコトハ、個人ノ意見トシテハ、折々申シテ居ツタコトデアリマスガ、政府當局トシテマダ相談ヲシタ譯デハアリマセウ、甚ダ未熟デアリマスガ、ソノコトデモシタラ宜クハナイカト考ヘテ居リマス

○谷口政府委員 機密費ノ御話デアリマスガ、外交通信特別施設費ト云フモノガゴザイマシテ、ソレガ三百數十萬圓ニナツテ居リマス

○一松至奎 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○谷口政府委員 情報局關係ノモノハ國內ニ關係ナイカト云フ御尋ネデアリマシタガ、情報局關係ノモノハ必ズシモ國內ト云フコトニハ限ツテ居リマセウノデ、情報、啓蒙、宣傳ノ仕事ノ爲ニ國內ノ内外ニ互リマシテ、情報局ニ於テ仕事スルニ付キマシテ必要ナル經費ヲ計上シテ居リマス

○一松至奎 ソレデハ暫時休憩致シマス、午後一時三十分ヨリ引續キ開會致シマス、午後零時十六分休憩

午後一時五十分開議

○一松至奎 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○木暮君 三大藏次官ガ御見エニナリマシタカラ御聽キシタイト思ヒマス、私モ要點ダケヲ簡單ニ御伺ヒシマスカラ、ドウゾ意見デナ

ヤウナ事情デ、多少ノ増額ニ相成ツテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今ノ機密費デアリマスガ、情報局ニ於キマシテハ、百萬圓バカリノモノハ、國外ノ情報事務ノ爲ニ要求致シテ居リマス經費ノ外ニ、更ニ機密費トシテ國內ノ方ニ使フノデアリマスガ、内閣ノ外交通信ノ特別ノ施設ト致シマシテハ、別ニ機密費ガ三百九十六萬圓計上サレテアル、外國關係ノ情報ナラバ、此ノ三百九十六萬ガ其ノ方面ノ機密費トシテ使ハレルモノデハナイカト思フモノデス、情報局ノ關係ト云フコトハ、諒承致シマシタガ、ソレハ國內方面ニ使ハレルモノデアラカドウカ、ソレカラ大蔵省ガ直接所管サレテ居リマスコトニ於テモ色々アリマス、尙ホ政府全體ヲ通ジマスト、此ノ所謂戰時體制ニ即應スル財政新體制ノ形ニ於テ、歲入方面ニ於キマシテモ、歲出方面ニ於キマシテモ、根本的ニ檢討ヲ要スル點ガ多クアルト思フノデアリマス、ソレヲ實行スルノニハ、現在ノ大蔵省ノ主計局ダケノ力デハドウカ、主計局ガ殆ド晝夜發行デ御努力ニナツテ居ルト云フコトハ、吾等ハ萬々承知致シテ居ル、或ハ特別ニ基本豫算トデモ言ヒマスガ、其ノ基本豫算ノ内容ヲ檢討シテ、無意義ナモノハナクタル、其ノ代リ有意義ナ新シイモノハドン認メテ行ク、ドウモ他ノ各省ニ於キマシテハ、一週之ヲ止メテシタラフ、再ビ認メハシナイカラ、一遍取ツテモ小ヤラ絶ヤサレハシナイカ、成ベクソレモ小ヤラ絶分ケシテ置カスト、一遍ニバツサリヤラレルトイカスカラ、天引サレテモ被害ガ少クテ済ムヤウニ拵ヘルト云フコトハ、各省共皆考ヘテ居ルコトノヤウデアリマスガ、サ







云フコトが現下ノ時局ニ鑑ミテ必要デア  
ト云フコトデアリマス。租稅政策ト致  
シマシテモ出來ルダケレバ、合致セシメテ  
行クト云フコトニ付テハ勿論異論ハナイノ  
デアリマスガ、一方租稅ノ負擔ト云フ見地  
カラモヤハリ觀察シナケレバナラズ、  
アリマシテ、其ノ間ニ出來ルダケレバ、  
リタイト思フテ居リマス、御話ニアリマシ  
タヤウニ、今或ル會社ガ現物出資シテ新シ  
ク統制會社ヲ起スト云フヤウナ場合ニ於キ  
マシテ、今マデ十分償却シテ居ル、隨テ  
ソレダケ場合ニ依ツテハ課稅ヲ受ケルコト  
ガ少ク、所謂含ミ谷ヲ澤山持ツテ居ル會社  
ガ、今度現物出資シテ結果、ソコニ從來ノ含  
ミ益ガ評價益トナツテ現ハレテ參ツタト云  
フ場合デアリマスガ、評價益ガ出マシタ場  
合ニ於テモ、一割程度デアリマスレバ勿論  
評價減ヲスルコトガ認めルデアリマスガ、  
ソレ以上澤山出タ場合ニ於テドウスルカト  
云フ問題デアリマス、現在ノ所デハ一定ノ  
斟酌ヲシマスル以上ニ評價益ガ出ルトスレ  
バ、之ヲ課稅シナイト云フコトモ、從來含  
ミ益ヲ出サズニ課稅サレテ參ツタ者トノ權  
衡ガ惡イモノデアリマスルカラシテ、課稅  
セザルヲ得ナイデアリマス。

○木暮委員 ソレカラ廣瀬サン一寸、大臣  
ノ代リニ御聽キ致シマスガ、昨年ノ下半期  
ト云フヨリハ、ズツト秋カラ大分預金ノ増  
勢ガ停頓シテ來タト云フカ、少シ鈍ツテ來  
タト云フコトハ、數字ヲ擧ゲル必要モ何モ  
アリマセズ、能ク分ツテ居ル通りデアル、  
殊ニ郵便貯金ノヤウナ、今マデ躍進的ニ増  
加シテ來タモノガ、鈍ツテ參リマシタノデ  
スガ、大藏省ノ方デハドウ云フ風ニ此ノ原  
因ヲ御考ヘニナツテ居ラレカ、ヤハリ一

部ノ産業ノ少シ不況ト云フヤウナコトニ原  
因アリト御考ヘニナツテ居ラレカデアリマ  
セウカ、最近ニナリマシテ、例ヘバ市場ナ  
ドノ國債ノ消化ガ少シ良イト云フヤウナコ  
トヲ聞クノデスガ、國債ノ消化ガ良イト云  
フコトハ、ヤハリ少シ産業ガ不振ニナツタ  
來テ、産業界ノ前途ニ一寸暗影ヲ投ジタガ  
如ク感じテ居ル人達ガ、株ヲ賣拂ツテ公債  
ヲ買フト云フヤウナコトノ消化ガアルヤウ  
ナコトヲ聞ク所ヲ見マスト、何カ産業ノ一  
部ノ不況ト云フヤウナコトガ、昨年ノ下半  
期後半ニ於ケル預金増ヲ停頓サシタ原因デ  
アルヤウニモ考ヘラレルノデスガ、大藏省  
デハ之ヲドウ云フヤウニ御覽ニナツテ居リ  
マスカ、率直ニソレヲ伺ヒタイ

○廣瀬政府委員 昨年ノ下半期ノ預金ノ減  
少ニ付テ大藏省ハドウ見テ居ルカト云フ御  
趣旨ト考ヘラレデアリマスガ、是ハ先般大  
藏大臣ノ財政演説ニ於キマシテモ、大體大  
藏省ノ考ヘ方ハ既ニアノ中ニ盛込シテアル  
ト思フデアリマス、ソレデ御承知ノヤウ  
ニ昨年ノ下半期ト申シマスガ、之ヲ正確ニ  
申シマスレバ七、八、九、十、三、四箇月  
ノ間ガ前年度ニ比較致シマシテ預金ノ減少  
ヲ來シタモノデアリマス、是ハ細カイコト  
ヲ申シマス、小サナ原因、大キナ原因、  
色々アルト思ヒマス、先程御話ニナリマシ  
タ七、七禁止令ノ發布ト云フコトモ一部ノ原  
因ヲ與ヘテ居ルダラウト思ヒマス、貿易ノ  
一時的停頓ト云フコトモ一ツノ原因ヲ與ヘ  
テ居ルト思フデアリマス、ソレカラ物  
配給ノ圓滑ヲ缺タト云フコトニ依ツテ、一  
部ノ方面ニ於テ事業ノ成績ガ芳バシクナカ  
ツタト云フコトモ、一ツノ原因ヲ與ヘテ居  
ルト思フデアリマス、併シナガラ一番主

タル原因ハ何カ、是ハ當時私共モ最モ心痛  
ヲ致シマシテ、金融機關ノ巨頭ノ人達ノ意  
見ヲ十分聽イタノデアリマス、サウ致シマ  
スト、何レモ口ヲ捕ヘテ申シマスコトハ、  
結局政府ノ支拂方選レテ居ルト云フコトハ、  
是ガ一番大キナ原因デアルト云フコトデア  
ツタノデアリマス、是ハ又能ク若キガ考ヘ  
テ見マスト、思ヒ當ルコトデゴザイマスガ、  
昨年ノ上半期アタリ、殊ニ丁度昨年ノ今頃  
ノ議會ノ空氣カラ申シマシテモ、其ノ後ノ考  
ヘカラ申シマシテモ、ドウモ「インフレ」景  
氣ガ出ヤセスカ、政府ノ豫算ガ大キ過ギヤ  
セスカ、大キ過ギルデハナイカ、通貨ノ膨  
脹ガ相當大キイト云ツクヤウナ聲ガ非常ニ  
大キカツタノデアリマス、ソレガ同時ニ一  
面ニ於テハ豫算ノ緊縮ヲナルベシ、通貨ノ  
收縮ヲ致スベシト云フ聲トナリマシテ、是  
ガ爲メ昨年ノ上半期ニ於キマシテハ、政府  
ノ支拂ニ付テ或ル程度ノ抑制ガ行ハレタ  
デアリマス、是ハ御存ジタト思フデアリ  
マスガ、政府ノ前據、是等ノモノニ付キマ  
シテモ相當抑制ヲ加ヘラレタノデアリマス、  
其ノ結果ガイツ現ハレタカト申シマス、  
是ガ七八九十二現ハレテ來タノデアリマス、  
甚ダシイノニナリマスト、實際ノ問題ト致  
シマシテ、或ル大キナ會社ノ如キハ、運轉  
資金ガ普及ニ於テハ從來ハ五百万圓デア  
ツノガ、アノ當時ニ於テハ約二千万圓ト云  
ツクヤウナ工合デアリマス、サウ云フヤウ  
ニ一方ニ於テ資金ガ凝ル、而モ納入シタモ  
ノ代金ハ得ラレナイト云フ狀況ニナリマ  
スカラ、是ハ所謂資金ノ回轉ガ停頓シタノ  
デアリマス、隨テ預金ノ増勢ガ鈍ルト云フ  
ヤウナコトニナルノハ已ムヲ得ナカツタカ  
ト思フデアリマス、ソコデ政府ト致シマ

事費ノ十六年度ノ追加豫算、此ノ兩方ニ互  
ツテ慎重交渉ヲ重ネテ居ル最中デアリマス、  
隨ヒマシテ何ト申シマシテモ、今日ノ時代  
ニ於キマシテハ政府ノ豫算、即チ豫算ニ伴  
フ所ノ資金ノ撤布ト云フコトガ大キナ要素  
ヲ成スノデアリマスカラ、是ガ決マラナイ  
際ニ於テ、資金計畫ノ全貌ヲハツキリ決メ  
ト云フコトモ難カシイコトデアリマス、又  
具體的ニ決メ得ナイト思フデアリマス、  
併シナガラソレダカラト云ツテ、本年度即  
チ十六年度ハ一體ドウ云フ傾向ニナルノカ  
ト云フコトニ付テハ、大體ハ申上ゲ得ル  
ト思フデアリマス、ソレハ先ツ第一番ニハ  
御承知ノヤウニ此ノ資金計畫ノ最大要素ヲ  
成シテ居リマスル國債消化ノ資源、之ニ付  
テハ今申上ゲマシタヤウニ、臨時軍事費ノ  
豫算ガ決マリマセズト分リマセマスガ、少ク  
トモ十五年度ヨリモ多クナルデアラウト云  
フコトハ申上ゲ得ルト思フデアリマス、  
ソレカラモウ一ツハ、其ノ他ノ生産力擴  
充關係ノ資金ハドウデアアルカト申シマス  
リ、是ハ十五年度ノ實績ガ既ニ相當豫定ヨ  
リモ多ク要スルコトニナツテ居リマス、實  
績ガ豫定ヲ超エテ居リマス、又十六年度ニ  
於キマシテモ、生産力擴充資金ノ所要額ハ相  
當多額ニ上ル見込デアリマス、サウ云フ譯  
金計畫、所謂資金所要額ト云フモノハ、十  
五年度ノ額ヨリモ是亦増加シララウト云  
フコトガ豫想サレ得ルト思フデアリマス、  
ソコデ然ラバ斯ノ如キ多額ノ資金ガ果  
シテ圓滑ニ消化サレ得ララウト云フカ  
ト云フ問題ニナルト思フデアリマス、  
ガ、申スマデモナク是等ノ資金ヲ消化スル  
ガ爲メハ、國內ノ生産力ガ増加シ國民ノ

シテハ是等ノ事情ニ顧ミマシテ、九月下旬  
アタリカラ是ガ對策ヲ講ジマシテ、十月ニ  
於キマシテ從來抑制ヲ致シテ居リマシタ政  
府支拂ノ方法ニ付テ、多少緩和ノ方法ヲ講  
ズルト云フコトニ致シタノデアリマス、其  
ノ結果十月下旬カラ稍、銀行預金ガ増加ノ傾  
向ヲ示シテ參リマシテ、十一月ニ於キマシ  
テハ完全ニ前年ノ同期、即チ前年ノ十一月ヨ  
リモ昨年ノ十一月ノ方ガ絕對額ニ於テ銀行  
預金ガ殖エルト云フ狀況デアリマシタ、然  
ルニ十二月ニナリマシテ、政府支拂ガ更ニ  
多クナリマシテ、御承知デモゴザイマセウ  
ガ十二月ノ政府ノ國債發行額ハ十三億デ  
アリマス、十三億ノ國債ヲ發行シタト云フコ  
トハ、即チ十三億以上ノ政府資金ガ支拂ハレ  
タト云フコトヲ意味スル譯デアリマス、デア  
リマスカラ下半年ノ初メニ於キマシテ相當撤  
布ガ遅レタ所ノ資金ガ十二月ニ至ツテ固メテ  
シマスガ、十一月カラ十二月ニ至ツテ固メテ  
市中ヘ撤布サレテ、サウ云フ狀況ニナリマ  
シテ、十二月末日現在ハ勿論ノコト、此ノ一  
月ニ於キマシテハ銀行預金ノ増加ノ狀況ハ、  
郵便貯金モ同様デアリマスガ、大體圓滑ナ  
情勢ヲ辿ツテ居ルデアリマス、又國民貯  
蓄ノ現狀ニ於キマシテモ、大體豫定通りノ  
貯蓄狀況ヲ示シテ居ルト云フコトデアリマ  
シテ、先ツ此ノ十一月、十二月カラ今月ヘ  
掛ケマシテ、一時停頓致シマシタモノガ、  
茲ニ挽回ノ態勢ヲ取ツテ來タト申上ゲテ宜  
イカト存ジテ居ル次第デアリマス。

○木暮委員 是ハ豫論ニナリマスガ、今ノ  
廣瀬サンノ御話ノ政府資金ノ撤布ノ如何ニ  
依ツテ非常ニ預金ノ増減ヲ來シテ居ルト云  
フコトモ一ツノ重大ナル理由デスケレドモ、  
是ダケデ巧クヤツテ行ケルカト云フト、中

中ヤハリ前ニ御話ノアツタ色々ノ事情ニ依  
リ産業ノ一部ノ不況ト云フヤウナコトガ、今  
年ハ幾ラカ影響シナケレバ宜イガト私ハ國  
家ノ爲ニ心配シテ居リマス、大藏當局トシ  
テモ今ノ政府資金ノ撤布ト云フコトダケデ  
巧ク切盛りガ出來ルト云フ風ニ御考ヘニナ  
ツテ居ル譯デアリマス、外ノ理由ヲ  
御述ベニナツタ所ヲ見ルト、外ノ理由モ相  
當ニアラシク御考ヘニナツテ居ルト思フ  
デアリマスカラ、是ハ大體分ツタコトニ  
致シテ置キマス、ソコデ今年ノ金融界ノ中  
心ノ問題ハ、ヤハリ何ト云フテモマデ臨時  
軍事費ノ全貌ガハツキリ致シマセスケレド  
モ、昨年ニ劣ラザル所ノ公債ガ臨時軍事費  
關係デ出テ來ル、ソレカラ大陸ニ於ケル生  
産擴充ハ既ニ同僚ノ委員カラ説明サレタ如  
クニ、色々ノ方面カラ昭和十四年度ノ頂點  
トシテ蟹ノ横道ヒノヤウナ趨向ヲ示シテ居  
ルノデアリマスカラ、之ニ對シテモ少カラ  
ザル資金ノ用意ガ必要デアルト云フヤウナ  
コトヲ考ヘテ見ルト、大體今年ノ資金計畫  
ハ一體ドナニナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ  
御考ヘニナツテ居ルノデアアルカト云フコト  
ガ、今年度ノ金融界ノ中心ノ問題ダラウト  
私ハ思フデアリマス、預金ノ増勢ト云フ  
モノガ昨年通りドノ行クナラバ餘リ問  
題モアリマセスケレドモ、若シソレガ今廣  
瀬次官ノ言ハレタ如クニ、必ズシモ政府資  
金ノ撤布ト云フコトバカリニ頼ラズニ、外  
ノ産業ノ一部ノ不況ト云フヤウナコトガ何  
等カノ惡イ方ノ影響デモ及ボサヤウナコト  
ニナリマス、日銀當局ガ昨年ノ暮アタリ  
ハ、順調ニ行ツテ居ルト云ハレテ居リマス  
レドモ、今年ハ餘程ハ考ヘテ行カナクテ

ハナラナイ問題ガ茲ニアルノデハナカラウ  
カト云フ風ニ考ヘラレ、是モ要スルニ高  
度國防國家建設ト云フ目標ヲ指シ日本ノ  
國家ノ資金計畫ト云フモノヲドウ附ツテ行  
クカト云フ問題デアリマスカラ、此ノ豫算  
委員會ヲ通過シマシテモ資金計畫ニ付テノ御  
話ガ餘リハツキリシテ居ラナカツタヤウニ  
伺ヒマス、若シ何處カデハツキリ言ハ  
レタコトガアリマスレバ其ノ速記録ヲ拜見  
スレバソレデ宜シイデアリマス、私モ缺  
席シタコトガアリマスカラ、ソレガ若シ  
リマセズ申シタナラバ資金計畫ノ或ル程度  
ノ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ御答辯  
トシテハ今日臨時軍事費ノ全貌ガハツキリ  
シナイノダカラ、其ノ資金計畫ノコトヲ言  
フ譯ニ行カヌデハナイイカト云ハレドモ、一  
應ハ其ノ通りニモ思ハレマセケレドモ、サ  
ウ云フ水臭イ話デナク、臨時軍事費ノ追加豫  
算ガ出レバ、ソレニテツケレバ分ルノデア  
リマスカラ、大體今マデノ所デ生産擴充ノ内  
地ノ資金ガドウ、或ハ又大陸ノ方ダウ、滿  
洲ハドウト云フ大體ノ見當ガ分レバ國民ノ  
所謂生産擴充資金ト國債消化ト云フコトノ  
ノ位ヲ目標ニシテ今年ヤツテ宜イカト云フ  
問題ガソコニ起ルタイト思フ、此ノ點御  
話ガ出來レバ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀬政府委員 只今御覽ノ資金計畫ノ  
問題デアリマスガ、是ハ十五年度ノ資金計  
畫ノ數字モ亦内容モ申上ゲテ居ラナイノデ  
アリマス、唯國民ノ貯蓄目標額ト云フモノ  
ハ一定ノ時期ニ之ヲ公表致シマシテ、國民  
ノ協力ヲ求メルト云フコトニナツテ居ルノ  
デアリマス、是ハ只今木暮サンノ御話シ  
通り、目下十六年度ノ追加豫算並ニ臨時軍

所得ガ増加シナケレバナラズ譯デアリマス、  
此ノ點ニ付テハ一方ニ於テ物ノ關係ガ段々  
窮屈ニナルト云フコトハ、今日何人モ或ル  
程度考ヘテ居ルコトデアリマス、併シナガ  
ラ從來ノ物ガ窮屈ニナルト云フコトノ中ニ  
ハ色々ノ考ヘ方ガアルノデアリマシテ、大  
體物動計畫ト云フモノヲ基本ニシテ物ガ多  
クナル、少クナルト云フコトヲ論議サレ  
ノデアリマスガ、御存ジノヤウニ物動計  
畫ノ從來ノ基本ハ國內ニ於テ新タニ生産サ  
レル所ノ重要物資並ニ海外ヨリ輸入シ得ル  
所ノ物ト云フモノヲ加ヘマシテ、ソレガ前  
年度ヨリ多イカ少イカト云フコトガ基準ニ  
ナツテ論議サレタト思フデアリマス、其  
ノ意味ニ於テ然ラバ來年度ハ如何デアアル  
ト申シマス、此ノ兩者ニ於テ多キヲ望  
ムコトハ出來ナイト思フデアリマス、併  
シナガラ他ノ方法ニ依ツテ物ヲ或ル程度生  
ミ出スト云フコトハ是ハ考ヘナケレバナラ  
ズ、從來ノ方法以外ノ方法ニ依ツテ工夫ヲ  
シナケレバナラズト思フデアリマス、從  
來ハ生産活動ノ目標デナイト思フヤウナ  
モノモ、新シク生産活動ノ目標ニスルト云  
フコトヲ一ツ此處デ十六年度ニ於テハ考ヘ  
ナケレバナラズ時期デアルト思フデアリ  
マス、ソレカラ又今一ツハ、ソレニ加ヘ  
スルニ吾々ノ活動力ナリ、精神力ナリヲ加  
ヘ、又能率ヲ増進サセテ、サウシテ技ニ生  
産額ヲ殖ヤシテ行ク、生産額ガ殖エマス曉  
ニ於キマシテハ、國民所得モソコニ増加ガ  
望ミ得ルト思フデアリマス、サウ云フ  
意味ニ於キマシテ、私ハ十六年度ニ於  
テハ十五年度ヨリモ生産額、國民所得ガ  
必ズ減ルト云フコトハ考ヘ得ラレズト思  
フデアリマス、斯ウ云ツタ方法ニ於キ



マシテ、此ノ際ニ於キマシテハ何トシテモ  
所要ノ生産ハ増加サセナクレバナリマセス、  
之ヲ増加サセマシテ尙ホ不足ラザル所ハ、是  
ハ國民ノ消費生活ガ或ル程度不便ニナルト  
云フコトヲ忍ブト云フ氣持ヲ以テ、此ノ十  
六年度ノ難關ヲ克服スルト云フ覺悟ヲナケ  
レバナラズト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デア  
リマス、大體只今考ヘテ居リマス方法ハ  
サウ云ツタ方法デアルト云フコトヲ御諒承  
願ヒタイと思ヒマス

○本暮委員 大體御話デ分リマシタガ、  
ソコデ要スルニ今年ハ例ノ銀行等資金運  
用令、アレハ一月カラ施行ニナルヤウデ  
アリマス、アア云フヤウナ金融ニ對スル  
國家統制ト云フモノヲ今年ハ強化シテ行  
カナクレバナラナイ時ダラウト私ハ思フ  
ノデアリマスガ、是ハ恐ラク別ニ御異論  
ハナイダラウト思ヒマス、ソコデ金融ニ對  
スル國家統制ヲ強化シテ行クト云フ場合ニ  
何時モ起ル問題ハ、金融ノ「ロス」ヲドウシテ  
減ラスカト云フヤウナコトカラ直グ金融機  
關ノ合同ト云フコトガ起ツテ參リマスガ、  
是ハ外ノ仕事ニ於テ然リデアルト共ニ、殊  
ニ地方ナドノ金融機關ト云フモノニ付テハ、  
合同シタカラ直グ「ロス」ガ減ツテ能率ガ  
上ルカト云フト、中々難カシイ問題ガアル  
ト思ヒマスガ、併シ今大藏省ガ御考ヘニナ  
ツテ居ルノハヤハリ一府縣一行主義デア  
ルコトヲ御考ヘニナツテ居ツテ、サウシテ金  
融ニ對スル國家ノ統制ト云フモノヲ強化シ  
テ行ク、其ノ前提トシテ斯ウ云フ銀行合同  
ト云フヤウナ政策デ大キナ筋道ヲ歩イテ行  
クノデアルト云フ御考ヘヲ今御持チニナツ  
テ居リマスカドウカ、ソレヲ御伺ヒシタイ

ト思ヒマス  
○廣瀨政府委員 銀行ノ合同ニ付キマシテ  
ハ別段一府縣一行主義ト云ツタヤウナ固定  
シタ考ヘ方ヲ持ツテ居リマセス、其ノ土地  
ノ實情ニ即應致シマシテ、一行デ宜クレバ  
一行、二行ガ必要ナラバ二行ト云フコトニ  
致シマシテ、銀行ノ經營ガ合理的ニナリ、  
而モ其ノ地方ノ地方民ノ便宜ニナルト云フ  
コトヲ目標ニ致シマシテ、銀行政策ヲ進メ  
テ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○本暮委員 只今ノ御話ヲ詢ニ私ハ結構ダ  
ト思ヒマシテ、其ノ方針デヤハリ御進ミ下  
サランコトヲ希望致シテ置クノデアリマス  
最後ニ一寸御伺ヒシテ置キタイコトハ、  
是ハ商工大臣ニ御伺ヒスル問題カモ知レナ  
イト思フノデスケレドモ、商工大臣ニ御伺  
ヒシタ所デ、ドウモ商工大臣ハ豫算委員會  
ナドノ答辯デモハツキリシテ居リマセスガ  
ラ、大藏省ノ方カラドウ云フ御考ヘヲ持ツ  
テ居ラレカ同ヒタイと思フコトハ、是ハ  
近衛内閣ト云フノデアリマセス、是カラ  
ノ日本ノ物價政策ヲ一體何處デ一元統合シ  
テ行カウト云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居  
ルダラウカ、最近生鮮食料品ノ總レカヲ物  
價問題ト云フト、從來ノ中央物價委員會ナ  
ドハ、運賃ノコトナドマカ大分研究ヲシテ  
進言ナドヲシタノデアリマスカラ、自然廣  
イ範圍ノ物價統制ト云フコトニナリマス、  
運賃ノ問題ナドモ考ヘラレカトデアリマス、  
所ガ最近ニ於テハ物價形成中央委員會ナド  
ト關聯ナク、船賃ノ決定ナドガ選任省デナ  
ラレテ居ルコト云フコトモ聞クノデアリマ  
ス、斯様ナ大キナ問題ハモウ少シ統合一元  
スル必要ガアルノデアリナイカ、ト云フノハ、

是モ大藏省ノ方ニ御聴キスルヨリハ、政府  
ノ御役人トシテ御伺ヒスルノデアリマスガ、  
物價對策審議會ハ御承知ノ通り、米内内閣  
ノ時ニ出來タノガアルノデアリマス、所ガ  
此ノ内閣ガ出來タ時ニ、多分企業院總裁ノ  
星野君ノ新聞談カ何カデハ、モウ物價對策  
審議會ナドハ廢メテシマフノダ、不必要ナ  
モノダト云フヤウナコトヲ言ツタ、不必要  
ナラニ必要デ廢メテ宜ササウナモノダ  
ガ、廢メモセズニ相變ラズアル、アツテ  
開イタコトガアルカト云フト、一度モ開  
イタコトガナイト云フ工合デス、物價ニ對  
スルコトハ商工省ノ管轄ダト云フケレド  
モ、商工省ノ管轄バカリデナク財政ヲ預カ  
ル大藏省トシテ一番關係ガ深イト思ヒマス  
カラ御伺ヒスルノデアリマスガ、アナタ方  
ハオ役所ノ人トシテ、是カラ物價ノ問題ヲ  
ドウ云フ風ニ統一シテ行カウト云フ御  
考ヘヲ御持チニナツテ居ラレカ、物價對  
策審議會ガ不必要ナラニ必要ナリトシテ、  
アレハ廢メテシマフ、ソレガ此ノ内閣ガ出  
來マシテカララ一度モ開カナイノデス、  
マアオトナシイ人バカリガ居ルノダカラ、  
誰モ苦情ヲ言ハヌデセウケレドモ、國家  
カラ見ルト此ノ戰時體制ノ時代トシテ電  
撃的ニ仕事ヲヤラナクテハナラズト云フノ  
ニ、内閣ヲ組閣シテカラ一度モ開カヌヤウ  
ナ物價對策審議會ガアルト云フコトモ、國  
民カラ見ルト随分ラカシクモノダ、併シ之  
ヲ御廢メニナルナラバ、今マデノ物價政  
策ノ建前カラ云フト一體「ロス」ノ上ツタ  
モノヲ補助金「カバ」スルカ、或ハ價格  
ヲ上ゲルカ、「ブール」制ヲ採ルカト云フヤ  
ウナ、其ノ當時ニ於ケル物價統制ニ對スル  
行キ方ヲ物價對策審議會デ御決メニナツテ、

其ノ決メタ線ニ沿ウテ價格形成中央委員會  
ガ細カイコトヲヤルト云フ建前ニナツテ居  
ルノデスカラ、唯氣ニ入ラスカラ物價對策  
審議會ヲ廢メテシマフト云フヤウニ簡單ニ  
ハ行カナイノデス、ソコデ何カ物價形成機  
構ニ對スル變革ヲスルナラ變革ヲスルヤウ  
ナ方針ヲ一體何處デ決メルカ、サウ云フ委  
員會デナク、内閣ダケデ決メルト云フナラ  
ソレデモ宜シイガ、何處デ決メルカ、サウ  
シテ其ノ下ノコトハ價格形成中央委員  
會デ決メルトカ、何トカ云フヤウナコトヲ  
ハツキリト御決メニナル時機ニ達シテ居ル  
ヤウニ私ハ考ヘルノデス、殊ニ惡性「イ  
ンフレ」ノ懸念ガアルト云フヤウナコトヲ  
言ハレ、大藏大臣ハ要スルニ國民ノ生活ヲ  
切下ゲルノダト云フヤウナコトヲ言ハレテ  
居ル時ニ於テハ、大藏省ノ物價ニ對スル關  
心ト云フモノハ相當重大デナクレバナラズ、  
唯商工省ノ管轄デアルトカ、農林省ノ管轄  
デアルトカ、船賃ハ選任省ダ、鐵道運賃ハ  
鐵道省ダト云フヤウナコトデナク、何處カ  
デ一元統合スルヤウナコトニ物價政策ハシ  
ナケレバナラズト思ヒマス、現在ノ所デハ、  
此ノ間モ此處デ生鮮食料品、殊ニ鹽干魚ノ  
質問ガ出ルト、農林大臣ガ立ツテ答ヘ、今  
マデヤウテ居ツタコトガ惡ケレバ今度ハ直  
グ改メルト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ル、  
其ノ通りデアリマセウガ、是ハヤハリ何處  
カデ一元統合スルヤウナ仕組ニシナケレバ  
ナラズトデアリナイカト私ハ痛感致シテ居  
マス、ソレハ今ノ物價對策審議會ニ對ス  
ル扱ヒ方ヲドウスルカト云フ問題モアルノ  
デアリマス、是ハ商工省ノ方ニ御聴キスル  
ノガ本當デアラウト思ヒマスケレドモ、ヤ  
ハリ大藏省ノ關係モ是カラ物價ノ問題ハ深

刻ニナツテ參リマスノデ、一體皆様方政府  
ノ役人トシテ、此ノ儘ノ狀態デ宜イト云フ  
風ニ御考ヘデアアルカドウカヲ御伺ヒシテ見  
タイシ、又大藏大臣ハ御出席デナイカラ御  
傳ヘテ願ヒマシテ、物價ノ問題ニ付テハモ  
ツトハツキリシタ態度ヲ御決メ下サランコ  
トヲ一ツ希望致シタイト思ツテ質問致シタ  
次第デアリマス

○廣瀨政府委員 只今ノ御質問ニ付テ、取  
敢ズ物價對策審議會ノ取扱ニ付テ先ツ御答  
ヘ申上ゲテ置キマス、アレハ十六年度ノ豫  
算以後ハ豫算ニハ載ツテ居リマセス、即チ  
十六年度以後消滅スルコトニナルニナリ  
デアリマス、ソコデ物價ノ對策ニ付テハ、  
一體ドウ云フ風ニヤウテ居ルカト云フ御尋  
ネデアツタヤウニ思ヒマスガ、是ハ本暮サ  
ンノ御話ノ通り、物價ノ問題ハ今日ニデア  
リマシテハ、單ニ大藏省、商工省ノミデア  
リマセス、例ハ六船ニ關シテハ選任省、農產  
物ニ關シテハ農林省ト云フ風ニ、各省ニ關  
係ノアル問題デアリマシテ、而モソレガ何  
レモ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマ  
ス、此ノ事變ノ始マリマス際ニ於キマシテ  
モ、大藏省ト致シマシテモ、物價ノ問題ヲ  
ドウスベキカト云フコトニ付テハ相當苦慮  
致シタノデアリマスガ、大體各省ニ於テ各  
取上ゲルト云フコトヨリモ、ヤハリ一省  
ニ纏メテヤル方ガ宜カラウト云フノデ、商  
工省ニ物價局ト云フモノガ出來タコトハ御  
承知デアラウト思ヒマス、唯併シ其ノ後ノ  
運用ニ於テ色々御批判ハアラウト思ヒマス  
ガ、各省ノ役人、或ハ民間ノ人達モ此ノ物  
價局ニハ色々資格ニ於テ參加致シマシテ、  
此ノ物價局ヲ中心ニシテ物價ノ問題ハ取扱  
フ管デアリマス、併シナガラ今御説ノ通り、

最高機關、最高ノ方針ヲ決メル問題ニ付キ  
マシテハ、單ニ物價局ダケヲ以テ取扱ヒ得  
ナイ性質ノモノモアルノデアリマスガ、大  
體最近ニ於ケル傾向ト申シマスガ、殊ニ現  
内閣ニ於キマシテノ考ヘ方ハ、先程カラ度  
度御話ニナリマス國策ノ統一的審議ノ方法  
機關ト申シマスガ、サウ云ツタヤリ方ト致  
シマシテハ、先ツ第一番ニ色々ナ事務的問  
題ト致シマシテハ、各省ニ關聯ノアル仕事  
ニ付テハ、企業院ガ之ヲ統合シテ考ヘル、  
サウシテ之ヲ閣議ニ持出スト云フ建前、是  
ガ第一段ノ本筋デアリマス、ソレデ企業院  
ニ於キマシテハ、御存ジノヤウニ各省次官  
何レモ參與シテ參加致シテ居リマス、又  
局長其ノ他ノ役人モ色々ナ關係ニ於テ自分  
ノ所管事項ニ付テハ、常ニ企業院ニ集マツ  
テ審議ヲ重ネルト云フコトニ致シテ居リマ  
ス、此處ニ於テ成ベク各省間ノ連絡ヲ取ル  
ト云フ方法ヲ執ツテ居リマス、尙ホ最近ニ  
於キマシテハ、閣議モ中々忙シイノデ重要  
ナ事項ニ付テハ次官會議ヲモウ少シ活用致  
シマシテ、此處デ重要ナ事項ハ審議スルト  
云フ考ヘ方ガ生ジテ參リマシテ、從來ヨリ  
時間的ニモ、回數的ニモ多ク此ノ次官會議  
ヲ活用スルコトニナツテ居ルノデアリマス、  
サウ云フヤウニ段々各省所管ノ國策ヲ統合  
シテ研究スルト云フ方法ヲ考ヘツツアリマ  
ス、尙ホ今後ニ於キマシテモ更ニ適當ナヨ  
リ良キ案ガアリマスレバ、吾々ハソレヲ研  
究シテ參リタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第  
デアリマス

○本暮委員 モウ宜シウゴザイマス  
○一松主査 ソレデハ森田君  
○森田(禮)委員 大藏大臣ガオイデニナラ  
ナイト質問ノ順序上都合ガ惡イノデスガ、

何時頃オ見エニナルノデスカ  
○一松主査 大藏大臣ハ只今會議中デア  
ルサウデアリマスガ、只今大藏當局カラ御申  
出ニ依リマス、大臣ハ外ニモ已ムラ得ザル  
差支ガアルサウデアリマスカラ、本日ハ是  
ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ委  
員會ヲ繼續致シマス  
午後三時三分散會

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日



昭和十六年一月三十日印刷

昭和十六年一月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第四號)

第七十六回帝國議會 院 豫算委員第三分科(大藏省)會議錄(速記)第二一回

(三三三)

會 議 昭和十六年一月三十一日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 主席 一松 定吉君
- 川崎 克君
- 西川 貞一君
- 小笠原三九郎君
- 多田 滿長君
- 藤本 捨助君
- 勝 正憲君
- 宮澤 胤男君
- 矢野庄太郎君
- 古屋 慶隆君
- 石坂 豐一君

同日第一分科所屬員石坂豐一君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ 大藏大臣 河田 烈君

- 企業院部長 沼田多稼藏君
- 情報局總裁 伊藤 述史君
- 興亞院部長 松村 喬君
- 興亞院部長 宇佐美珍彦君
- 大藏次官 廣瀬 豐作君
- 大藏省主計局長 谷口 恒二君
- 大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
- 大藏省理財局長 竹内 新平君
- 大藏省銀行局長 相田 岩夫君
- 大藏省爲替局長 原口 武夫君
- 大藏書記官 梅北 末初君

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄

第二回 昭和十六年一月三十一日

大藏事務官 山住 克巳君 預金部資金局長 中村孝次郎君 專賣局長官 花田 政春君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管(特第一號)昭和十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案

○一松定吉 前會ニ引續キ是ヨリ會議ヲ開キマス、平川君

○平川委員 私ハ東京開港問題ニ付テ大藏大臣ニ質問シタリト思ヒマス、過日豫算總會ニ於キマシテ此ノ問題ニ付テ大臣ノ御答辯ヲ得タリトデアリマス、實ハ私共ノ際ニ質問ニ於テ述ベマシタ通りニ、斯ウ云フ問題ニ付テハ相剋摩擦ヲ避ケタイ、詳細ナル質問應答ヲシテ、却テ相剋摩擦ヲ増スヤウナ

コトニ相成リマシテハ、私ノ質問ノ趣意ニ反スルコトニナル、ソコデサウ云フ前提ノ下ニ唯結論ヲ申上ゲテ、而シテ大臣ノ同情アル答辯ヲ得タイ、而シテ横濱市民ト東京市民ノ間ニ於テ相剋摩擦ノナイヤウニ、又國家ト横濱市民トノ間ニ於テモ亦然リ、サウ云フ意味デ質問シタリトデアリマス、大

臣ノ御答辯ハ豫期ニ反シテ同情ノアル答辯ガナカク、即チ此ノ場合、ガソリンノ節約スル上ニ於テモ、或ハ百數十萬トシテノ船ノ出入ヲ設備ノアル東京港ト此ノ儘ニ放置スルコトハ國策上イカス、ダカラドウシテモハハナルノト云フヤウナ御答

辯デアリマシテ、ソレガ爲ニ横濱市民ハ非常ニ不安ノ念ヲ生ジタリトデアリマス、却テ私ノ質問ニ對スル大臣ノ答辯ガ、横濱市民ヲシテ不安ノ念ヲ起サシムルヤウニナツタ

ト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、故ニ私ハ今日ハ改メテ東京開港國策上如何ナル必要ガアルノデアルカ、先ヅ斯ウ云フ點ヲ承リマシテ、而シテ私ノ卑見モ申上

ガ、若シモ大臣ノ答辯ガ國策上ドウシテモ是ガ必要ナリト云フコトニ相成リマスレバ私ハ横濱市民ニ向ツテ其ノ旨ヲ説キマシテ、出來ルタテ説得致シテ見ル積リデアリマス、

之ニ反シテ大臣ノ御答辯ガ國策上不可ナリト云フコトヲ考ヘ、マシタ時ニ於キマシテハ、私ハ遺憾ナガラ全然反對ヲシテ、横濱市民ト共ニ反對ノ運動ヲシナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、否私ノミ

ナラス吾々ノ同志、神奈川縣選出ノ代議士全部左様ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、サウ

スルト横濱ト東京市ノ間ニ於キマシテハ、摩擦ヲ増スト云フコトニ相成リマス、遺憾デアリマス、今横濱市民ヲ制スルコトガ出來ナイ、已ムヲ得ズ質問スルノデアリマス、ソコデ先ヅ第一ニ聽キタイノハ、

今マデ東京開港ト云フコトハ問題ニナツテ居リマシタガ、歴代ノ内閣ニ於キマシテ之ヲ決定スルコトガ出來ナカク、然ルニ現内閣ニ於キマシテドウシテモ之ヲ開港シナケレバナラナイト云フコトヲ決定セントスルニハ、相當ノ理由ガナクチヤナラス、第一ニ伺ヒタイノハ、國策上ドウシテモ開港シナケレバナラナイト云フ理由ヲ、詳細

ニ御答辯アラントコトヲ御願ヒスル次第デアリマス

○河田國務大臣 先日豫算總會ニ於キマシテ平川君ノ御質問ニ對シ、東京開港ト横濱トノ關係ニ付キマシテ私ガ申上ゲマシタコトハ横濱港ニ同情ナキ答辯ト云フ御批評ヲ被ツタ、其ノ點ハ實ハ甚ダ失禮ナガラ遺憾ニ存ジマスガ、問題ヲ解決スルノニ、同情、不同情ト云フコトハ唯一ノ解決ノ鍵デハゴザイマス、同情ト申シテ宜シイカドウカ存

ジマセヌガ、先日モ之ニ反對意見ヲ述ベラレタ横濱ノ御立場ハ、十分之ヲ諒解スルコトガ出來ルト云フコトヲ特ニ申上ゲタノデアリマス、サリト今日ノ場合東京ニ入ル横濱揚子ノ貨物ニ對スル色々不便、不利ノ點ヲ此ノ儘ニ見過スノモ如何ナモノカト思ツテ苦慮シテ居ルト、斯ウ申上ゲマシタノデ、行政ヲ致シマスルノニ、一々個人ノ立場ニ同情シタル譯ニハ參リマセヌケレドモ、私ト致シマシテハ、個人ノ氣持ヲ申上ゲマス、横濱側ノ反對セラレルトハ決シテ無理カラスコトと思ツタノデゴザイマス、反對セラレルト云フコトハドウカト思ヒマスガ、心配セラレルトコトニ付テハ決シテ無理カラスコトト、斯ウ特ニ力ヲ入レテ申上ゲタ積リデゴザイマス、隨ヒマシテ今此ノ問題ヲ或ル程度練リニ練ツテ、急遽解決シテ居リマセヌコトハ、反對意見ヲ述ベラレル方ニ對シマシテモ、ドウカ宜シク此ノ場合理解シテ戴キタイト思ヘバ、惡ク言ヘバ長延イテ居ル、何ノ同情モ何ノ理解モナケレバ







藏大臣ハ緊急貴族院ニ出席ノ必要ガアルノ  
デアリマス、直ニ其ノ要件ハ御濟ミニナ  
ルヤウデアリマスカラ、御歸リノ上デ質問  
ヲ續行ナサルコトニシテ、大藏大臣以外ノ  
方ニ御質問ガアレバヤウテ載キタイと思ヒ  
マス

○平川委員 大臣ト議論スルノハ止シマ  
セウ、大臣ハマダ御調ベニナツテ居ナイ  
シ、私モ今横濱ニ影響ガアルト云フ材料ハ  
澤山持ツテ居リマス、此處デ短イ  
ナサル方モ居ラレマス、後ニ質問  
時間ニ議論スルノハ止シマセウ、私ガ同  
情ヲシテ實ヒタカツト云フ點ハ、直接横  
濱市民ニ同情シテ與レト云フデハナイ、  
此ノ戰時下ニ於キマシテ斯ウ云フ摩  
所ノ問題ヲ出シテ、而モ開港ヲ決定シテ、此  
ノ摩擦ヲ大キクスルコトハ是非常ニ不利  
益チヤナイカ、一億一心デ國家ノ爲ニ盡サ  
ナケレバナラヌ今日ニ於テ、斯ウ云フ不  
ナ開港ナドヲシテ、サウシテ不安ヲ與ヘ、摩  
擦ヲ大キクスルノハ、ハイカスチヤナイカ、此  
ノ點ニ同情シナイカト云フデアリマス、ソ  
横濱市民ニ直接同情セイト云フヤウナ、ソ  
ンナケチナト云フ言フデアリマス、今日政  
府ニ於キマシテモ、此ノ議會ニ於テ七十何  
件モ法案ヲ出サナイデ、議會ト協力シテヤ  
ラナケレバナラヌト云フ此ノ時代デアリマ  
ス、此ノ時代ニ今マデ延ビノコトナツテ居  
タ所ノ東京開港ハ、今年之ヲ決定シテ兩者  
ノ間ニ非常ナ摩擦ヲ生ゼシメ、或ハ治安ノ  
維持サヘ出来ナイト云フヤウナ状態ニ  
立至ラセルコトガ、此ノ時局ニ必要デア  
ルカドウカ、此ノ點ニ付テ藏相トシテ  
ノ御答辯ヲ願ヒタイト云フ、詰リ言換  
ヘレバ、是非更ニ能ク再検討シテ後ニ、

之ヲ決定スルコト云フヤウナ御答辯ガア  
ルダラウト思フテ居ツタ、所ガサウ云フ  
答辯ハナクシテ、ヤハリ決行スルノダト云  
フ、是ガ大臣ノ御答辯ニ同情ガナイト云フ  
所以デアル、私ハサウ云フ意味デ同情ガナ  
イト言ツタノデアリマス、此ノ點ハマダ大  
臣モ御調ベニナツテ居ナイヤウデスカラ能  
ク御考ヘテ願ヒタイ、是非横濱ニ影響ガナ  
イドコロデハナイ、非常ニ影響ガアル、國  
策上必要ナ「ガソリン」ノ節約トカ、東京ノ設  
備ヲ無ニスルコトカ、斯ウ云フ理由デハ國策  
上ノ理由ニナラナイ、此ノ點ハ大臣モ能ク  
御研究下サイマシテ、慎重ニ御決定ニナ  
ヤウニ希望スルノデアリマス、私ハ是デ質  
問ヲ切リマス

○一松委員 ソレデハ森田君  
○森田(福)委員 私人社經理統制令ト經  
濟新體制ニ付テハ、此ノ間ノ豫算總會デ要  
領ヲ得テ居リマス、之ヲ分科會デ究  
ミタイト思フテ居リマス、大臣ガ御見エ  
ニナルマデ留保致シマス、事務ノ方ニ體  
テ見タイコトモ段々アルノデスカラ、ドウモ  
事務當局ノ方ニハ、吾々國民ノ希望シテ居  
ルコトカ、斯ウ云フ風ニ是正シテ實ヒタ  
イトカト云フコトヲ申上ゲテモ、ソレガ役人  
ノ心構ヘト云フカ、民間側ガ斯ウヤツテ  
レト云ヘバ、必ズ其ノ反對ニ出テ來ル、斯  
ウ云フコトヲ許可シテ與レト云ヘバ、許可  
シナイヤウニナルト云フヤウナ妙ナ考ヘガ  
アル、ソコデ私ハ事務當局ト押合ウタ所デ  
大シク效果ハナイと思ヒマスガ、例ヘバ理  
財局ノ方デハドウ云フ風ナ問題ガアルカ  
レト私ハ思ヒマスガ、増資デアルトカ、  
拂込デアルトカ、會社ノ新設デアルトカ云

フヤウナモノノ許可ノ申請ヲヤツテ行クト、  
銀座ノ縁日商人ミタヤウニ値切ル、ドウ云  
フコトヲ値切ルカト云フト、四分ノ一拂込  
ノ會社ヲ許可シテ與レト云ヘバ、之ヲ二分  
ノ一ニシテハドウカト云フ、二分ノ一ニ許可  
ヲ申請シテ行クト、今度ハ又其ノ上ヲ來テ、  
全額拂込シテハドウカト云フ、四分ノ三ノ  
拂込ガ殘ツテ居ルノト、二分ノ一ノ拂込ガ  
殘ツテ居ルト、殘ツテ居ラヌトハ資金調整  
ノ上ニ於テドウ云フ關係ガアルカ、四分ノ  
一ノ拂込ヲシテ、殘リノ四分ノ三ノ拂込ヲ  
スル時ニハ、ヤハリ許可ノ申請ヲシナケ  
バ出来ナイ、ソレハ分り切ツタ話デア  
モ拘ラズ、ソレヲ二分ノ一ニセヨトカ、全  
額拂込ニセヨト云フノハ、資金ノ調整ニハ  
何ノ關係モナイ、其ノ時ノ資金ノ調節ヲ巧  
ク圖ツテ行カウト云フナラバ、百万圓ノ會  
社ヲ許可シテ二十五萬圓ノ拂込マヌノモ、  
五十萬圓ノ會社ヲ作ツテ二分ノ一ノ二十五  
萬圓ノ拂込マヌノモ、二十五萬圓ノ全額ヲ  
拂込シテ會社ヲ作ルノモ結果ハ同ジコトデ  
アル、資金ノ調整ニ於テ變ツテ居ルコトハ  
ナイ、ソレヲドウ云フモデアアルカ、ソ  
ンナト云フヤウノデ私ハ不思議ニ堪ヘスカ  
ラ、大藏次官デアツタ石渡君ニ其ノ是非ヲ質  
シタ所ガ、石渡君ハ、ソレハ政府ノ方針デ  
モナシ、大藏省ノ方針デモナイ、ソレハ係  
リノ者ガソソナト云フ言ツテ居ルノデア  
ウカラ、係リノ者ニ能ク話シテ置キマス  
云フコトヲ明快ニ答ヘタコトガアル、然ル  
ニ今日モ尙ホ拂込シテハナルヤウナルト  
計畫カラソソナ考ヘガ出テ來ルノデア  
一ツ事務當局ノ明快ナル御答辯ヲ望ム、要  
スルニ私ガ今事例ヲ引イテ言ツタヤウニ、

シテハ、今申上ゲタヤウナ方針デ法ノ運用  
ニ當ツテ居ル次第デアリマス  
○森田(福)委員 私人大藏省ノ係リノ人ノ  
意見ガ違フコトハ宜シイ、ソソナコトハア  
リ勝チナコトデアツテ、其ノコトヲ私ハド  
ウ斯ウ言フノデハナイ、銀行局長ガ今答辯  
ニ當ラレタノハ、オ門違ヒノ理財局長ノ代  
リデアラレタノガカラ無理ハナイガ、私ガ  
言フコトニハ一ツモ當ツテ居ナイ、私ガ  
言フテ居ルノハ、資金ノ調整ト云フノハア  
ノ法ニ明示シテアル通り、資金ノ調節ヲ圖  
ツテ行クノデアル、ソコデ拂込ヲ四分ノ一  
ニシテ二十五萬圓取ルノト、五十萬圓ニシ  
テ二分ノ一ノ二十五萬圓取ルノト、金額ニ  
シテ二十五萬圓一度ニ取ルノトノ相違ハ何  
處ニアルカ、ソレヲ今アナタノ答辯デハ未  
拂込ヲ殘シテ置クノハ、將來ノ資金ノ調達  
ノ上ノ計畫ニ關係ヲ來スト云フ意味ノ答辯  
ダツタ、ソレハ從來ノ通りニ第二回以後ノ  
拂込金ガ會社ノ定款ノ定ムル所トカ、商法ノ  
定ムル所ニ依ツテ自由ニ調達ガ出来ルナラ  
アナタノ答辯デ宜シイ、サウチヤナイ、第  
二回以後ノ申請ヲ取ラウト思ヘバ、資金  
調整法デ認可ノ申請ガ要ル、隨テ第二回ノ  
拂込ノ申請ヲシテ來タ時ニハ、更ニ資金ノ  
調節上ノ申請ヲシテハ工合ガ惡イト云フコ  
トニナルノナラバ、第二回以後ノ拂込ハ許  
可サヘシナケレバ、未拂込ヲ置イタカ  
ラトテ、ソレガ資金ノ調節ヲ取ル邪魔ニハ  
一ツモナラズ、一方會社側カラ言ヘバ、是  
ガドウ云フコトニナルカト云フト、本當ニ  
増資計畫ヲヤツテ行カウ、本當ニ眞剣ナ心  
構ヘヲ以テ事業ヲヤツテ行カウト云フト、  
是ハアナタハ銀行局長デ、銀行ノコト  
ハ本職ダガ、銀行ガ金ヲ貸ス場合ノ手形ノ

割引ヲナス場合ニ、單名手形デアラナラバ  
會社ガ振出ス、或ハ商業手形デアラナラバ  
其ノ受取人ガ裏書ヲシテ行ク、其ノ何レニ  
シテモ會社ノ信用ヲ調査シテ行ク上ニ、個  
人保證ノナイ場合ニハ未拂込ガ幾ラ此ノ會  
社ニアル、未拂込ガマダ是ダケアルカ  
位ハ割引シテモ宜イ、是レ以上未拂込ガ取  
レナイト云フナラバ増資スルカ、借入金  
ヲシナケレバナラヌノデアアルカ、此ノ手  
形ノ割引ハ出来ヌト云フヤウナコトヲシテ  
居ルコトハ、銀行局ノ連中ハ知ツテ居ラ  
ケレバナラズ、是非銀行屋ノヤツテ居ル常  
時ノ事務ノデアアルガ、ソレナラバ未拂込  
ハドウスルカト云ヘバ、アル方ガ金額ヲ  
ル爲ニ其ノ生産會社ノ爲ニナル、デア  
ラ未拂込ヲ殘シテ置クヤウナ會社ヲ作リ  
タル、拂込ノ許可ヲスル方デモ、若シソ  
レガ銀行ノ借入金片付ケウトスルト云フ  
會社ナラバ、許可シタツテ國家ノ資金ノヤ  
リ繰リニハ何ノ關係モナイ、デアアルカ  
ガ問フテ居ルノハ未拂込ヲ殘シテ置クコト  
ガドウ云フ議デアアルカト云フコトデ、アナ  
タノ今ノ答辯ニ參照ヲ加ヘレバ、未拂込  
ヲ殘シテ置クコトハイツ拂込ヲ取ルカ分  
ヌカラ危険ダト云フ、イツ拂込ヲ取ルカ分  
ラヌカラト云フテモ、大藏大臣ノ許可ヲ取  
ラナケレバ取レナイノデアアルカ、一向差  
支ヘナイチヤナイカト云フコトヲ質問シ  
ノダ、當時ノ大藏次官ノ石渡君ハ斯ウ云  
フコトヲ明確ニシタノデアアルガ、アナタノ今  
答辯シタヤウナコトガ大藏省ノ本當ノ省  
議ト云フカ、意見ト云フモノトシテ決マツ  
テ居ルトスレバ、ソコデ私ノ質問ガ生キテ  
來ル、ドウ云フ理由デサウ云フコトヲ決  
メタカ、資金ノ調節調節ガ何ノ關係モナイ

チヤナイカト云フ質問ヲシタ、私ハソレニ  
對シテ明確ニ答辯ガ出来ル答ハナイと思フ  
ガ、アルナラヤツテ御覽ササイ  
○相田政府委員 百万圓ノ資本金デ二十五  
萬圓ノ拂込シテ仕事ヲシヨウト、五十萬圓ノ  
資本金デ二十五萬圓ノ拂込シテ仕事ヲシヨウ  
ト、二十五萬圓ノ金額拂込シテ仕事ヲシヨウ  
ト何等差異ガナイデハナイカト云フ御話デ  
アリマスガ、今日ノ時代ニ於キマシテ資金  
調整法デ致シテ居ル仕事ハ、何レモ一方ニ  
於テ物資或ハ勞力、原料ト云フヤウナモノ  
ニ密接ナル關係ガアル事業バカリデアリマ  
ス、隨テ今後物資或ハ勞力等ノ關係ニ於テ  
拂込ヲ取ツテ、更ニ事業ヲ擴張スルコトガ  
出来ルカドウカト云フ目途ガ付イテ居ルモ  
ノデナケレバ、未拂込ヲ殘シテ置クコトガ  
意味ヲ成サヌノデアリマス、隨テ二十五萬  
圓ノ金ガアレバ差當リハ澤山デアアルガ、公  
稱資本金ハ百万圓ニシテモ、五百萬圓ニシ  
テモ千万圓ニシテモ宜イデハナイカト云フ  
コトハ、今日ノ時代ニ於テハ私ハ言ヘナイ  
ト思ヒマス

十五萬圓要ル所ハ百万圓ニシテ、四分ノ一  
ノ拂込ニシテ二十五萬圓出スカ、今アナタ  
ノ言ツタノトハ違フ、五十萬圓ニシテ半額  
ノ二十五萬圓ニスルカ、二十五萬圓ノ全額  
面ノ調達ニハ變リガナイ、後ニ未拂込ヲ殘  
シタノハ義務ヲ生ズルノ言ハレルガ、ソレ  
ハ株主ガ義務ヲ生ズルノデ、國家ガ義務ヲ  
生ズルノデハナイ、今ノ調整法カラ云フナ  
ラバ、取ラセヌコトガ出来ル、ソレダカラ  
其ノ會社ノ増資計畫ノ上カラ云フテモ、信  
用ヲ擴充シテ置ク必要ノ上カラ云フテモ、  
未拂込ノ多イ方ガ宜イ、一面ニハ國家ノ資  
金ノ調節ヲ大藏省ガヤツテ居ルノデア  
ラ、國家ノ資金ノ調節スル上ニ於テハ第二  
回以後ノ拂込期ガ來タ時ニ、資金ノ調節上  
是ガ拂込ハ適當ニアラズト考ヘルナラバ、  
不許可ヲ與ヘル權能ヲ持ツテ居ルノデア  
カラ、何モ關係ナイチヤナイカ、將來此ノ  
事業ニ要ルカ要ラヌカノ目鼻ノ付カヌノ  
ヲ、未拂込トシテ殘シテ置クコトハナイト  
銀行局長ハ言ハレルガ、ソレハ何ヲ以テ判  
斷サレルカ、將來此ノ未拂込ガ要ルダラウ  
カ、要ラヌダラウカト云フコトガ役人ノ頭  
デ分ルカ、財界ノ人デスラ中ニ明確ニハ分  
ラズ、銀行局長ヲ連中ニドウシテ將  
來ノ見透シガ出来ルカ、殊ニ今日ノ時代ニ  
於テヤ、ソレガ分ラヌ答ハナイ、ソレガ  
若シ分ツテ居ルナラバ、會社ヲ作ル時ニ資  
金調整法ノ許可ヲ取ルコトハ要ラヌノダ、  
會社設立ノ許可ヲ取レバ宜イ、第二回以  
後ノ徵收ノ許可認可ハ要ラヌコトニナル、  
アナタノ言フコトデアツテ行クナラバ、會







業家諸君が、利益ヲ得サヘスレバ宜イト云フ氣持デナイコトハ、是ハ明瞭ナリデアリマシテ、國益ノ線ノ副ヲウニシテ行ツテ、其ノ間ニハ幾多ノ自由手腕ヲ揮ハレル途方アルノデハナイカト思ヒマス、其ノ國ノ爲政者ハ、戰爭ノ爲ニ一人モ利益ヲ私スベカラズト云フヤウニ言ツタヤニ承ツテモ居リマス、其ノ場合ニ於テ自由ニ利益ヲ舉ゲサシテ置イテ全部租稅ヲ取ツテシマフ、或ハ幾多ノ他ノ方法ヲ混ジヘテ同ジ目的ヲ達スルヤウニ致スカト云フ問題ハ、是ハ其ノ國情ニ依ツテ違フト思ヒマス、我が國ノ國情ニ於キマシテハ、丁度只今森田君ノ御指摘ニナリマシタヤウニ、成程二三ノ資本家ヲ主トシテアル場合モゴザイマセウ、又零細ナク多クノ株主ヲ集メテ居ルト云フ所モ多クアリマス、今森田君ノ言ハレルヤウニ、企業家ガ今マデ借金シテ仕事ヲシテ居テモ、利益ガ上ツテ、悉ク要ラナイ時ニハ其ノ遊金ヲ直ク銀行ニ預ケテ置クト云フヤウナコトデ、資金ハ必要以上ニ撒布サレルヤウナコトハナイト云フ御話デアリマスガ、又零細ナ株主ヲ持ツテ居ル會社デハ、サウハ行カナイダラウト思ヒマス、況ヤ従業員ニ對スル賞與等ハ、是ハドウシテモ細カク分レテ行カケレバナラヌコトデゴザイマシテ、ソレ等ニ付キマシテ相當ノ制限モ加ヘテ置キ、サウシテ一方ニ於テ相當ノ制限シ、而シテ得タ所ノ利益ヲ全然認メナイノデハアリマス、適正ナ利益ハ認メルノデアリマス、併シ適正ト云フコトノ解釋ハ中困難デアリマス、相當ノ利益ガアレバ相當スル、全然相當シナイト云フ意味デハアリマス、配當ヲ制限シ、又従業員等ノ賞與モ制限シ、重役賞與モ制限ス

ト言ヘバ、是ハ唯積立金ニナルカ、或ハ固定資本ノ償却ニナルカ、外ニ行キ道ガナイ、是ハ積立テテ置ク、而モ資本トナル所ノ積立金ガ殖エテ行ケバ、ソレニ相應シテ利益ノ配當率ヲ緩メルト云フ途ヲ執ツテ居ルノデアリマス、要ハ出來ルダケ資金ハ打ツテ一丸トシテ生産資本ニ使ハレルヤウナ方法ヲ執ツテ行クコトガ主眼デアリマス、單ニ之ヲ稅デテ取上ゲルナラバ國庫ニ入ツテシマフ、國庫ハ此ノ稅ヲ何ニ使フカ、更ニ投資ヲ致スト云フコトモゴザイマセウ、或ハ投資ヲセズニ之ヲ國費ニ使ヘバソレダケ公債ガ減ル、公債ガ減レバ市場ニ緩ミガ付ケラ、生産資金ハ其ノ方カラ廻ツテ行クコト云フヤリ方モゴザイマセウ、今日ノ場合ハ何ト申シテ宜イデセウカ、アノ手此ノ手デヤツテ參ラナケレバナラヌ我ガ國情ダト存ジマス、其ノ會社經理統制令ト云フモノハ今日此ノ事情デハ或ル程度ノモノハ維持シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、自分ノコトヲ申上ゲテ其ダ相濟ミマセウガ、貴様モ多少經驗ガアルデハナイカト云フコトデアリマス、此處デ一寸誤解ガアルトイヘマセウ、申上ゲテ置キマス、私ガ與リ申シタ會社ハマダ國策會社ニ實ハナツテ居リマセウ、其ノ形態ハ普通ノ商會社デアリマス、是ハ是非國策會社ニスル必要ガアルノ、近ク本格的ノ國策會社ニ致シマス、申上ゲテ置キマス、承ツテ居リマス、是ハ私ノ主管デアリマセウ、申上ゲテ置キマス、當初生レマシマシカラサウ云フ意味ヲ以テ出來テ居ルノデアリマス、是ハ政府ノ各方面カラサウ云フコトノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、現在

ハ唯一ツノ商會社ニ過ギマセウ、是ハ株主ナドモサウ多クアリマセウ、併シ只今多少ノ經驗ガアルダラウト云フ御話デアリマスカラ申上ゲマスガ、普通ノ商會社デアリマス、制限ト云フモノハ、是ハ或ル程度ノ特別ニ其ノ會社ニ與ヘラレタコトデハナイノデ、一般的ノコトデアリマスガ、逆モ今ノ經理統制令デ想像シテ居ルヤウナモノデ、オ世話ヲ燒イテ非常ニ是ハ細カイモノデアリマス、併シナガラ不肖ナカラ私モ又其ノ間ニ屬シテ居リマス、曾テノ同僚モ、北カラ南、遠隔ノ地マデ置シテ從業員ガ一團トナツテ國家ノ爲ニ働キ、而シテ其ノ間非常ニ細カイ各方面カラノ色々ノ御指圖ノ中ニ居リナガラ、之ニ從業員者ガ、意見ハ色々デアリマシテモ、皆國家ノ爲メト信ジマシテ、其ノ間其ノ御示シノ範圍内ニ於テ相當ナル働キヲ致シテ參ツ積リデゴザイマス、決シテ抑ヘラレタカラト云ツテ國民ガ同志ヲ失ツテ少シモ働カナイト云フヤウナ事柄ハ、若シ私ノ經驗カラ鑑ミロト仰ツシヤルナラバ、法テ頭カラ押ヘラレタカラ、此處ニ坐ツテ居レバ宜イト云フヤウナコトハ毛頭ゴザイマセウ、是ハ尤モ人ノ性質ニ依リマスカラ、人ニ依ツテ違ヒマセウ、私ノ經驗ハ左様デアリマス

○森田(總)委員 今ノ御話ハ、私ハ議論ニナルコトハ、是レ以上追究シテ答辯ヲ得ヨウトモ思ヒマセウ、アノ御話ノ中ニ、是ダケノ統制ヲ受ケテモ働ク餘地ガアル、隨テ自分ハ國策會社デハナイケレドモ、將來國策會社トナルベキ會社ニ働イテ居ツタガ、指圖ヲ受ケテ居ツテモ十分働ク餘地ガアツタ人ニ依ツテハソレハ出來ヌカモ知レ

ナイガ、自分ハ出來タト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、成程大藏大臣ニナラレダケアツテ感心デス、サウ云フ働ク餘地ガアツテ御働キニナツタコトハ、是ハ私御推稱申上ゲナケレバナラナイト思ヒマス、私等デハ永年商賣ヤツテ居リマスガ、私等ハ現在ノ通り束縛サレタノデハ働ク餘地ガナイ、今アノ御話ノ通り、ソレハ人ニ依ルカモ知レマセウ、アノ御話ノ通り、立ツ人ガ行ケバ働ク餘地ガアルシ、私等ノヤウナ役ニ立タナイ者ガ行ケバ働ク餘地ハナイト云フコトデ、私等ハ自分分ラナケレバナラナイノデアリマスガ、具體的ニドウ云フ所ニ働ク餘地ガアルノデアリマセウカ、從來ノ生産會社デモ、商業會社デモ、會社ノ重役ト云フモノハ原料ヲ安ク仕入レテ工賃ヲ成ベク切詰メテ、出來ル限り良品質ノモノヲ多量ニ造ツテ、出來ル限り價格ヲ高ク賣ツテ、サウシテ營利法人ハ營利ヲ以テ目的トシタノデアリマス、大藏大臣ハ會社ノ行クベキ途ガ違フヤウニ仰シヤツタガ、私ハ現在デモ相變ラズ公益法人デモ、財團法人デモナイ限り營利目目的トシ、營利ヲ追求シテ行クコトニ依ツテ増産ノ擴充、國家目的ノ遂行ガ出來ルト考ヘテ居リマス、營利ヲ追求シテ行クツテ、ソレガ皆個人ノ所得ニナラヌコトハ、モウアノタモ御認メニナツテ居ルヤウニ、日本デモ臨時利得稅ト云フモノヲ設ケテ高イ稅ヲ取ツテ居ルノデアリマス、儲ケタカラト云ツテ決シテ其ノ會社、其ノ個人ノ所得ニナツテ居リハシナイ、一應業シマセテ、ソレカラ取上ゲテ行ク方法ニナツテ居ル、今デモヤハリ營利法人ハ營利ヲ追求シテ行ク、營利ヲ追求スルコトニ依ツテ増産ノ擴充ガ

出來、國家目的ノ遂行ガ出來ル、併シナガラ營利ハ上下ト決メラレテ居リ、今日ハ其ノ中間ノ細部ニ至ルマデ決メラレテ居ルノデアリマス、腕ヲ揮フ餘地ガナイ、即チドウ云フコトヲヤレバ宜イカ、之ヲ簡單ニ御教ヘヨヒタイ、斯ウ云フ方面ヲ重役ハ勉強スレバ勉強スル餘地モ殘シテヤツテアルト云フ御教ヘヲ願ヘレバ、吾々モツレニ依ツテ行キタイト思ヒマス、私ハ屢、申上ゲタ通り、今デモ一切合財認可許可ヲ得ナケレバ出來ナイヤウナ状態ニナツテ居リ、原料ノ仕入價格、原料ノ配給、製品ノ販賣價格、製品ノ配給ガ決ツテ居リ、役員カラ社員、労働者ノ賃金賞與ガ決ツテ居リ、働ク時間ガ決ツテ居リ、何ヲ指圖シテ宜イカ分ラヌ、是ハヤハリ私方頭ガ役ニ立タヌノデ分ラヌノデスガ、アノタノハ働ク餘地ガアツタト仰シタルノデスガ、今ノ指圖ヲ受ケル以外ニ重役ガヤル點ヲ、アレバ聽カシテ賞ヒタイト思ヒマスガ、私ハソレヲ本當ハ難カシト思フ、隨テ政府カラ指圖ヲセラレタコトヲ忠實ニ守ツテ居ルト云フコト以外ニハナイデヤナイカ、併シアノタハ現在ノ會社經理統制令ヲ改正スル考ヘモナイ、撤廢スル考ヘモナイト言ハレルガ、私ハ惡クレバ改メルトニ答カナラヌ方ガ宜イト思フケレドモ、兎ニ角自分デヤツタコトデアラカラ、善クテモ惡クテモ改正ハセヌ、廢止モセヌト言ハレルナラ、モウソレカラ先ノ質問ハ要ラヌノデス、オヤリニナレバ宜シ、其ノ代リオヤリニナツテ、サウシテ國家ノ増産ヲ阻ンデ生産ガ縮小シテ、サウシテ國家ガ惡クナルコトノ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、所謂斯ウ云フ惡勸令ヲ出シテ國家ノ増産ガ増シテ行ケバ、私ノ

方ガ負ケデス、若シ今日以後、此ノ席上デアナク議論ヲシテ、物ガ圓滑ニ増産ガ出來ルト云フナラバ、私ガ誤ツタノデスカラ、幾重ニモ私ハ責任ヲ負ヒマス、若シ其ノ反對ニ今後我が國ノ一般生産能力ガ減退シテ縮小シテ行ツタラ、大藏大臣ガ公人トシテ國家ニ、或ハ私人ナラ私人トシテ責任ヲ負ハレタイ、私ハ私デ責任ヲ負ヒマス、今ノ此ノヤリ方デハ國策ニ副フ増産ノ擴充ハ出來ヌト云フコトヲ茲ニ私ハ言明シテ、其ノ言責ニ對シテ責任ヲ負フコトヲ申上ゲテ置キマス

○河田國務大臣 先刻申上ゲヨウト思ツテツイ落シマシタカラ補足致シマス、其ノ前ニ尙ホ念ヲ押シテ置キマス、此ノ前ノ答辯ニ結論ト致シマシテ、經理統制令ヲ此ノ場合廢止スル考ヘハナイ、目下ノ狀況ニ於テ改正ノ意思ナシト申上ゲマシタコトハ、今森田君ノ言ハレルヤウニ、誤ツタ所ガアツタ直シタル宜イデハナイカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、今私ノ申上ゲタノハ、只今責任論モ出マシタガ、其ノ當事者ニ於テ經理統制令ヲ活カシ、而シテ今日ノ狀況ニ於テハマダ此ノ儘改正ノ必要ナシト、斯ウ申上ゲテ居ル次第デアリマス、改正ノ必要ノ起ツタ場合デモ永久ニ是ハ改正シナイ、斯ウ云フ意味デアリマセウ、況ヤ經理統制令ハ國家總動員法第十一條ノ發動デアリマス、國家總動員法ト云フモノハ平常ノ法律デハナク臨時立法デアリマス、總動員法ノ必要ナイト云フ時ニナレバ消滅スルコトハ言フマデモナイ、森田君ノ言ハレルハ國家總動員法ノ發動スルヤウナ時機ガ是カラ先何年續クカ分ラヌ、斯ウ云フ御話デアリマス、續キマス限リハサウ云フコトニ

ナリマセウガ、國家總動員法ト云フモノハ飽クマデ臨時場合ニ發動スルモノデ、國家總動員法ノ條章ニ依ツテ發動シタル立法ハ飽クマデ臨時立法デアアルコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

先刻一寸申上ゲヨウト思ヒマシテ、是ハ御説明ノ内容デアツテ御質問ノ自身デアハナカツタノデアリマスガ、昨年ノ秋ニ銀行ノ資金ヲ引締メタト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、政府ハサウ云フ指圖ヲ致シタ覺シハ毛頭ゴザイマセウ、サウ云フヤウナコトヲ伺ツタコトハゴザイマセウケレドモ、寧ろ政府ハアノ場合丁度三國同盟ノ出來マシ前後デゴザイマセウ、彼此三國同盟ト云フコトソレ自身ガ直チニドウ云フ風ニ影響スルカ、好轉スルカ或ハ惡轉スルカト云フコトハ姑ク措キマシテ、何レニ致シマシテモアレダケノ相當ノ國際關係、外交ノ急轉回ガゴザイマセウ、財界ニ善カ惡カ存ジマセウケレドモ、何レニシテモ、或ル影響ヲ與ヘルコトハ免レナイカト思ヒマシタノデ、萬一惡ノ方ニ行クヤウナコトガアルトイヘマセウ、此ノ場合ニハ十分慎重ノ態度ヲ執ツテ賞ヒタイト云フノデ、所謂大銀行ヲ初メ中小銀行ノ經營者ニモ凡ユル方法ヲ以テ逆ノ警戒ヲ致シタ位デアリマシテ、引締メルト云フヤウナコトヲ指圖シタ覺シハ全然ゴザイマセウカラ、ドウソノ其ノ點御察願ヒマス

○森田(總)委員 後段ノ御答辯ノ、銀行ノ貸付金ノ取立テヲ催促シタ覺シハナイト言ハレルノハ、公文書ヲ催促シタト云フ覺シハナイト言ハレルノハ、或ハアノ前ノ米内閣デアツタカモ知レマセウ、兎ニ角去年ノ七月頃私ノ所ハ催促ガ來タ、私ハ借

錢ヲシテ居ル關係上、銀行カラヤツテ來テ取立テノ催促ヲシタカラ、ドウ云フ譯デ、急ニ二割返濟セヨトカ、三割返濟セヨト云フノカト問ウト、ソレハ政府カラ一時貸金ヲ引締メテ行ケト云フハ、預金ノ増加ヲ催促サレタ、屆ケテ取ラレテ、其ノ屆ケニ依ツテ預金ノ増加トカ、貸付トカノ計畫ヲ出シテ居ツタノデアリマスガ、ソレガ計畫通りニ行キサウニモナイ、ソレデ一應出シテ居ル金ヲ戻シテ貰ツテ、預金ノ増加ヲ圖ツテ行カネナラヌシ、又政府ノ方デモ、大體三割程度ノ預金ヲ回收シテ公債ノ方ニ振向ケルヤウナ仕組ニサレルト云フ指圖デアリマス、御催促申上ゲルト云フ指圖デアリマス、御催促申上ゲルト云フ指圖デアリマス、併シソレハヒョウトスレバ銀行員ガサウ云フコトヲ策略ニ使ツタノカモ知レマセウガ、ソレナラバ極々地方ノナコトデスガ、全國的ニ同ジヤウナコトガ起ツテ居ル、其ノ銀行ニ限ラズ、全國的ニ貸金ノ回收ヲヤツタコトハ、アノタハ否マレテハナラヌ、全國的ニ個人モ會社モ貸金ノ回收ヲ急ガレタ結果、手持株ヲ賣ツテ銀行ハ金ヲ返サウトシタ爲ニ、株ヲ一時ニ賣リニ出シテ來タカラ、株價ガ下ツテ來タト云フコトモアノ通りデアアル、實績ガ示シテ居ルノデアリマス、政府ガ正式ニシタカ、個人的ニ賤ヲ交ヘテノ談笑ノ間ニヤラレタカ知リマセウガ、兎モ銀行ガ一時急速ニ回收ニ掛ツタ爲ニ、皆何トカシテ返サウト云フノデ、手持ノ株ヲ賣リニ出シ、其ノ結果株價シテ下リ、色々ナ關係デアア云フヤウナ結果ヲ來シタコトヲ否マレテハイカスト思フ、ソレハ唯政府ト銀行ノ行違ヒカ、銀行ガ儲覺ヲ起シテ大藏省ノ意圖ヲ想像シテアア云フヤウニヤツタノカ私ハ



知りませスガ、兎も角アア云フ風ニヤツタ結果デス、何ト云ハレテモ、私有権ヲ否認スルヤウナコトガ色々ナ法令ニ現ハレテ來テ居ルノデアリマス、會社經理統制令デモ私有権ヲ否認スルモノデス、自分ノ持つて居ルモノノ自己ニ配當サセスト云フコトハ、私有権ヲ否認スルモノデス、如何ゾヤト私ハ言ヒタクナル、デアルカラソレヲ如何ニ氣ニ掛ケラレテモ陳辯努力ラレテモ、如實ニソレガ皆現ハレテ來ルノデアリマス、仕方ガナイ、會社ノ株主方此ノ程度ハ宜イト云フテ、商法ニ定ムル所ニ依ツテ配當シヨウト云フモノヲ——物ノ價格ヲ政府ガ制限スルコトハ之ヲ肯定シナケレバナラス、國策會社デ政府ガ株主デアレバ、政府ガ配當ヲ指示スルコトモ已ムヲ得ナイ、併シナガラ政府ノ定ムル所ノ價格ニ依ツテ仕入、賣上ヲシ、總テノ使用人ノ給料ヲ拂ヒ、重役ノ報酬ヲ拂フテ残りノ金方アル、其ノ金ヲ株主ガ此ノ程度ハ適當デアラウト云フ配當ニマデ制限ヲ加ヘル必要ハナイ、ソレヲ制限スルコトハ一種ノ私有権ノ否認デアルト云フ風ニ私ハ考ヘル、今ノ銀行ノ問題ハ私ガ實際ヲ申上ゲタノ御分リニナツテ戴キタイ、ソレカラ今ハ臨時立法デアルカラ何時デモ廢ラレルト仰シヤツタガ、ソレハ私ガ前ニ申上ゲタヤウニ、是ハ臨時立法デアハアルガ、中々長ク續ク臨時立法デ、半年キ一年デ取廢メラレルモノデナイノデアリマス、其ノ間ニ生産ガ勢ヒ退嬰シテ行キ、萎縮小シテ行ク、ソレハ國家ノ爲メナラス、併シナガラソレハ意見ノ相違デアルカラ私ハ述べナイト先ニ申上ゲタ、私ハ責任ヲ負ハヌハセス、

ドシナ意味ノ責任デモ負フコトハ一向差支ナイ、公職ノ辭メルコトガ責任ヲ負フコトナラバソレモ宜シイ、人間ノ辭メヨト云フナラ、ソレモ宜シイ、何デモ宜イ、私ハ多年ノ經驗デ、斯ウ云フヤリ方ヲシテ行クナラバ、財界人ハ萎縮小シテ行クテ、幾ラ政府ガ掛掛ヲ掛ケテ増産ノ方ニ振向カヌ、民間人ニダケ、營利追求ヲスナ、公益優先ニ就ケテ言ツテモ、官界人ガ——辭ヲ示サナケレバナラスト云フコトヲ總理大臣ガ仰シヤツタノデアリマスガ、其ノ範ヲ示スベキ官界人ガドウ云フ範ヲ示シマシタカ、今日役人デ月給ノ減額ヲ申出タ者ノアルコトモ聞カス、位階勲章ヲ辭退シタ者ノアルコトモ聞カス、官界人ハ何ニモ新體制ヲ執ツテ居ナイ、ソレデ國民ニダケ營利追求ヲスナ、公益優先ニ就ケテ言ハレ、是ハ耳ニ聒ルガ出來ル程度カサレテ能ク承知致シマシタ、併シソレニハヤハリ總理大臣ガ言ハレルヤウニ官界人ガ具體的ニ範ヲ示サナケレバ、職責デ、民間人ニ具體的ニ、公益優先ニ就ケ、私益追求ヲスナ、併シナガラ吾々モ斯ウ云フヤウニ新體制ニ就ケカテラ前等モ陳辯イテ來イ、斯ウ云フ心構ヘカラ仰シヤラナケレバ國民ハ心服シマセス、ソレカラ大藏大臣ハ、財界人ハ心カラ協力シテ居ルト仰シヤツタガ、是ハ裏ヲ裏破抜イテ言ツタラ斯ウ云フノデス、遠慮ナシニ申上ゲテアタノ參考ニ供シタイと思フノデスガ、商工省、逓信省、大藏省ガ色々ナ統制令ヲ出シテ行ク、其ノ時ニ財界人ガ寄ルト觸ルト、僅シカラスト云フ不平等非常ニ起ル、然ラバ誰カ代表者ヲ立テテ政府ニ談判ニ行ツテ之ヲ是正サセヤウト云フ話ヲスル

ト、ソレハ僕ハ困ル、僕モ困ルト言ツテ、指名サレタ人ガ皆困ル、何故困ルカ、若シ脱マレタラ商賣ガ續ケラレヌカラ、黙ツテ居ラストイカス、斯ウ言フ、商工省デモ選信省デモ大藏省デモ、お前ノ方ガ惡イト言ツテ乘込シテ行ツタラ脱マレル、脱マレタラ自分ノ商賣ノ繼續ガ出來ヌカラ、泣キ子ト地面ニハ勝タレヌノ泣泣入リシナケレバ仕様ガアリマス、斯ウ云フノガ今日ノ實情デス、アナタハ財界人ハ心カラ協力シテ居ルト言ハレマシタガ、心カラ協力シテ居リマセヌ、不平等デス、ケレドモ之ヲ表ニ現ハスト、今言フヤウニ工合ガ惡クナリ、自分ノ商賣ガ繼續サレヌヤウニナリ、ソレデ泣泣入リスルノダト云フ風ニ皆言ウテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ参考ニサレタラ宜イト私ハ思フ、ソレヲ強ヒテ御探リナサイトハ申上ゲマセス、併シナガラ裏面デハ皆斯ウ云フコトヲ言ウテ居ルト云フコトヲ知ツテ置カレテ宜イと思フ、私ノ言フノハ、國民ト政府ト協力シテ行カ平ヲ持ツタノデハ、表面協力シテモ、心カラ實際ノ協力ガ出來ヌカラ、増産目的ノ遂行ハ困難デス、政府ニ本當ニヤツテ行ク考ヘガアルナラバ、國民ニモ本當ニ心カラ打明ケテ、不平等ノ所ハ懸イテヤリ、直サレルコトナラ直シテヤル、直サレナイコトナラ、直サレザル理由ヲモツト明白ニ教ヘ聽カシテ、得心サセテ協力セシメタラバ増産ガ出來ルデナイカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ル、大臣トカ、政府ノ要路ノ前ニ出テハ、自分ノ商賣ガ脱マレテハ困ルカラ、言ヒタイコトモヨウ言ハズニ居ルノダト云フコトダケハ、参考ニシテ置イテ戴

キタイト思ヒマス、ソレデ會社經理統制令ハ惡イト思ツタラバ、時ニ依ツテ改正シテモ宜イト言ハレルガ、改正ト云フノハ政府ノ改正デアツテ、民間カラ見タル改正デハナイ、民間ガ認メル正シイ改正デナケレバナラス、政府ガ自分ノ取扱上便利ガ惡イカラト云フ改正ナラ、ソレハ改惡ニナルカモ知レヌ、兎も角本當ニ國民ガ増産ニ協力シテ行ケルヤウナ仕組ニシテ貰ヒタイト云フ希望ヲ述ベルニ止メテ置キマス  
最後ニモウ一點、是ハ振擲シテ全部大藏省當局カラ簡單ニ御答辯願ヒマス  
○河田國務大臣 政府委員デ宜イコトナラバ、私退席致シタイと思ヒマスガ、其ノ前ニ一寸一言致シタイと思ヒマス、段々御話ヲ承リマシテ、御意見ハ十分承知致シマシタ、別ニ之ヲ論ジアフト云フ目的デモゴザイマセスガ、國民ノ一部ニ斯カル聲ガアルコトハ爲政者トシテ、十分考ヘナケレバナラス所ダト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、唯茲ニ一寸附加ヘテ置キマスノハ、會社經理統制令ハ利益配當ヲ制限スルガ、是ハ利益配當ヲ制限致シマシテモ、之ヲ取上ゲルト云フコトハ少シモゴザイマセス、私有権ヲ否認スルコトガ會社經理統制令ノ精神デアルト云フコトハ毛頭ナイト云フコトダケヲ重ネテ申上ゲテ置キマス  
○森田(福)委員 大藏大臣ニ御歸リニナツテモ宜イト申上ゲマシタガ、今ノ御答辯デモウ一つ附加ヘテ置キタイ、利益ノ配當ハ制限シタガ、併シソレヲ政府ガ取上ゲルト云フノデアリマス、私有権ヲ否認スルノデアリマス、ソレハ此ノ大政覽會ト云フ一ツノ團體ガ收支ヲ決メテ行クニハ、政府カラ補助ノアル九十三萬圓ト、他ニ若干ノ收入ヲ見込シテ居リマシテ、約九十五萬圓バカリノ會計ヲ自分立テテ居ルコトヲ其ノ時承知致シテ居リマシタ、ソレデ大體内譯ヲ申シマス、事務費ト事業費ト此ノ二ツデ其ノ會計ハ成立ツテ居リマス、事務費ガ約七十一萬六千圓、事業費ガ約二十二萬七千圓、サウ云フ數字ヲコチラデ見テ居リマシタ、事務費ノ中ニハ更ニ人員費ガ約三十四萬三千圓、物件費ガ約三十七萬三千圓、合計七十一萬六千圓デアリマス、ソレカラ事業費ノ方ハ、大體宣傳其ノ他各種會議ノ費用等ガ二十二萬七千圓、合計シテ約九十四萬圓餘ノ支出ヲ此ノ團體ガ組ムデアラウト云フコトヲ豫想致シテ居ツタノデアリマス  
○森田(福)委員 此ノ内譯ヲ要求シテアルノデスガ、未ダ出ナイ、内閣所管デアリマスガ、併シ會計ハ大藏省ノ會計課ガ掌ツテ居ルノデスカラ、大藏省ノ會計課ガ内閣ニ要求シテ取寄スベキ材料ガ未ダ提出ニナツテ居ナイ、大政覽會ノ事務ニ從事シテ居ル人々ノ前任時代ノ給料ト、今日ノ給料ノ比較表ヲ私ハ急イデ居ルノデス、ト云フノハ、世間デハ二倍、三倍ニナツト云フ、是ハ個人々々ニ聽イデモドウモ本當ヲシイ、サウカト思フト、會計ノ統制令ヲ出シテ、會計員トカ、銀行員デ百圓取ツテ居

シテ居ツテモソレハ利益ニナラヌノデアリマセヌカ、國モ取ラヌカモ知ラヌガ、兎も角個人ガ取レヌ、個人ノ取レヌモノハドウ考ヘテ見テモ是ハ自分ノ私有権トハ言ヘマセヌ、ソレナラバ政府ノモノデモナイガ個人ノモノデモナイ、其ノ營利法人ノモノデアラウガ、營利法人ノモノデアツテモ、營利法人ノ主體ハ株主デアル、併シ株主ハソレヲ分ケテ取レヌ、株主ノ分ケテ取レヌモノガ營利法人ノモノデアツタ所デ、ソレガ何ノ效果ガアリマセウ、ヤハリソレハ私有権ヲ否認サレルノデアツテ、私有権ヲ認メラレルモノトハ言ヘマセヌ、若シアナタノ言フヤウニ配當ヲ將來許スト云フ法律ガアレバ宜イ、十年經テバ宜イ、五年經テバ宜イ、何年カ先ハ斯ウ云フ記念配當デアルコトハ宜イ、増資ニ振替ヘルコトハ宜イト云フコトガ何處カニアルナラバ私ハ宜イと思フ、併シソレハ未來永久認メテナイ、何時マデ行ツテモ蓄積シタモノノ配當處分ノコトニ付テハ書イテナイ、此ノ法律ガ續ク限リ配當出來ナイ、積立金ガ多クナツテ行クバ配當方餘計出來ルト仰シヤルガ、ソレハ自己資本ノ八米マデハ認メケレドモ、幾ラ積立金ガ多クナツテモ一割デハツキリ止メルト云フ、今私語ヲ取ツテ言フコトハ相濟マスガ、許可ヲ取レバ云々ト言ハレルガ、ソレハ其ノ通り書イテアル、許可ヲ取レバ宜イヤウニナツテ居ルガ、許可ヲ取ツテハルトカヤラストカ云フコトハ問題デハナイ、許可ヲ受ケナケレバ自分ノ物ガ私有ニナラスト云フノハ、私有権ヲ否認デス、私ガ持つテ居ルモノヲ使フノニアナタノ許可ヲ受ケナケレバナラス、ソレハアタガ資本ヲ出シテ居ルナラアナタノ許可ヲ受ケナケレ

バナラヌデセウガ、サウデハナイ、ソレガ許可ヲ受ケナケレババナラヌト云フコトニナルト、アナタガ私有権ヲ自由ニスルコトニナルデハナイイカ、ソレデカラ私有権ヲ否認ダト云フノデス、ソコハ誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス  
○河田國務大臣 同ジコトヲ繰返スコトニナリマスガ、利益ノ配當ニ付キマシテモ、或ハ記念配當トカ、或ハ増資ニ向ケルコトカ云フコトハ、是ハ許可ヲスレバ宜イコトニナツテ居リマシテ、許可ヲ要スルト云フコトガ私有権ヲ否認トハ私思ヒマセヌ、是ハ何モ個人ノ私ガ否認スルノデモ、許可スルノデモ何デモナイ、國家ガ許可ヲスルノデスカラ、之ヲ以テ私有権ヲ否認トハ存ジマセヌ  
○森田(福)委員 ソレデハモウ是以上押合ヒマセヌ、大藏大臣ガ一寸出ラレルサウデスカラ、今度ハ主計局長ニ御伺ヒスルコトガ一ツアノデアリマス、ソレハ昨日西川君カラ質問ガアツタガ、内閣ノ機密費ガ二十何萬圓デアツタガ、百七十幾萬圓ニナツタ、百方圓ハ情報局ノ機密費デアリ、五十萬圓ノ方ハ御話ニナラナカツタノデアリマスタ、五十萬圓ハ何處ノ機密費ガ殖エタカト云フコトガ第一點、ソレカラ第二點備金ト支出ト大政覽會ニ對シテ九十數萬圓セラレテ、ソレハドウ云フ用途ニ充テル爲ニ豫備金ト支出セラレテ居ルノデアリカ、其ノ第二點備金ノ九十何萬圓ノ支出ノ用途ヲ承リタイ、ソレカラ是ハ希望デアラカ、爲替局ノ爲替ノ事務ヲ取扱フ所ガ如何ニモ、怠慢トハ申上ゲヌケレドモ、其ノ決定ガ手間取ツテ居ル、今少シ敏速ニ扱ハレタイ、而モ常識上分リ切ツタコトヲ何時マデモ握リ

込シテ置イテ、其ノ採否ヲ決セスト云フコトハ宜シクナイと思フ、貿易ノ増進ヲ圖ルトカ何トカ政府ハ口デハ言フケレドモ、行フ所ハ一ツモ是ト約合ガ取レテ居ラス、口ハ立派ダケレドモ、行ヒガ之ニ伴ウテ居ラスノデアルカラ、今少シ勉強シテ敏速ニ計ラツテ貰ヒタイ、是ハ答辯ヲスルトモセストモ、私ノ希望デス、主計局長カラハ今ノ二點ヲ簡單ニ御答へ願ヒタイ  
○谷口政府委員 第一點ハ、昨日西川サニ御答へ致シマシテ、其ノ時ニ約百方圓増加シテ居リマスト云フ中デ、其ノ百方圓ト申シマスルモノハ、今回情報局ニ於テ外務省デヤツテ居リマシタ情報事務ノ統合ヲヨリマシタゆエ、其ノ關係上引越シテ來タ増加デアルト云フコトヲ申シマシタ、其ノ點ハ御承知ヒタイと思ヒマス、詰リ其ノ點ハ情報局關係デ其ノ百方圓ガ殖エテ居リマス同時ニ、一方外務省ノ方デハソレヲ減ラシテ計算ニ致シテ居リマスト云フコトヲ申上ゲマス、ソレニ追掛ケマシテ、其ノ他ノ部分ニ付テハ増加ハ何處デ殖エテ居ツタト云フ御質問デアリマス、其ノ點ハ昨日私ノ申シタ言葉ガ足ラナカツタカト思ヒマスガ、情報局デ幾ラ殖シタ、外務省デ百方圓減ラシテ情報局へ百方圓持ツテ行ツタ外ニ、今回情報局ガ出來タニ付テ幾ラ殖シタ部分ガアリマス、第一點ニ付テハソレデ御答へ申上ゲマス  
ソレカラ第二點ノ大政覽會ニ關シテ九十三萬圓ノ補助金ヲ出シマシタ、ソレノ内譯ヲ話セト云フコトデアリマス、九十三萬圓補助金ヲ出スニ付キマシテハ、之ヲ政府ガ出ス時ニハ、御承知ノ通り九十三萬圓補助トシテ出シテ、其ノ後ニハ内譯ハ

ナイノデアリマス、併シ九十三萬圓ヲ補助スルニ付キマシテハ、大政覽會ニ於テ大體ドウ云フ使ヒ方アルデアラウカト云フコトハ當時調ベタノデアリマシテ、其ノ意味ニ於テ内譯ヲ御答へスルコトニナルノデアリマス、ソレハ此ノ大政覽會ト云フ一ツノ團體ガ收支ヲ決メテ行クニハ、政府カラ補助ノアル九十三萬圓ト、他ニ若干ノ收入ヲ見込シテ居リマシテ、約九十五萬圓バカリノ會計ヲ自分立テテ居ルコトヲ其ノ時承知致シテ居リマシタ、ソレデ大體内譯ヲ申シマス、事務費ト事業費ト此ノ二ツデ其ノ會計ハ成立ツテ居リマス、事務費ガ約七十一萬六千圓、事業費ガ約二十二萬七千圓、サウ云フ數字ヲコチラデ見テ居リマシタ、事務費ノ中ニハ更ニ人員費ガ約三十四萬三千圓、物件費ガ約三十七萬三千圓、合計七十一萬六千圓デアリマス、ソレカラ事業費ノ方ハ、大體宣傳其ノ他各種會議ノ費用等ガ二十二萬七千圓、合計シテ約九十四萬圓餘ノ支出ヲ此ノ團體ガ組ムデアラウト云フコトヲ豫想致シテ居ツタノデアリマス  
○森田(福)委員 此ノ内譯ヲ要求シテアルノデスガ、未ダ出ナイ、内閣所管デアリマスガ、併シ會計ハ大藏省ノ會計課ガ掌ツテ居ルノデスカラ、大藏省ノ會計課ガ内閣ニ要求シテ取寄スベキ材料ガ未ダ提出ニナツテ居ナイ、大政覽會ノ事務ニ從事シテ居ル人々ノ前任時代ノ給料ト、今日ノ給料ノ比較表ヲ私ハ急イデ居ルノデス、ト云フノハ、世間デハ二倍、三倍ニナツト云フ、是ハ個人々々ニ聽イデモドウモ本當ヲシイ、サウカト思フト、會計ノ統制令ヲ出シテ、會計員トカ、銀行員デ百圓取ツテ居



ル者ハ一年七回シカ上テラレヌコトニナツ  
テ居ル、併シ一方大政覽會カラ費用ヲ要  
求スレバ、三千圓取ツテ居ル者ヲ六千圓ニ  
シ、百圓取ツテ居ル者ヲ二百圓ニシテ云  
フコトハ、一貫シテ整理ノ統制ヲ行ハ  
持ツテ居ラス、一貫シテ整理ノ統制ヲ行  
頭ヲ持ツテ居ルト云フナラバ、會社員デ  
ラウト、役人デアラウト、大政覽會員デ  
アラウト、同ジ方法ヲ執ラナケレバナラス、  
大政覽會ノ宣傳員、運動員ニナレバ給  
料ヲ二倍モ三倍モ出ス、サウデナク依然  
ル官吏デアリ、依然タル會社員タリ、依  
タル銀行員ハ動カシテハイカス、上テモ  
百分ノ七マデトハ何タル矛盾シタリ方  
デスカ、ソコヲ究メテ見タイカラ其ノ資料  
ガ欲シト云ツテ居ルノデス

其ノ次ニ主計局長ニ御尋ネスルコトハ、第二  
豫備金ヲ大政覽會ニ支出シタコト言フガ、  
ソレハ會計法ノド云フ條項ニ依ルノデア  
ルカ、從來ノ例ニ依レバ、政府ノ項目ノア  
ルモノニ使フ場合ニ、第二豫備金ヲ支出シ  
タ例ハ幾多之ヲ認メル、併シナガラ政府  
ノ支出ノ中、各省ノ款項目ニナイモノニ此  
ノ補助金ヲ與ヘル例ハナイ、ソレハ會計法  
ノ何條ニ依ツテサウ云フコトヲヤツタカ、  
ソレヲ承リタイ

時仰セニナリマシタヤウナ事ノ全クナイヤ  
ウニ、十分從來ノ履歷、其ノ他ニ付テ調ベ  
テ、適當ナル金額ヲ出ス、今日ノ如ク色々  
會社員等ニ於テモ制限ノアル時代デアリマ  
スカラ、ソレニ外レハヤウナコトノナイヤ  
ニシテ云フコトヲ十分能ク相談致シマシ  
タ、ソレカラ補助金ノ支出ニ付キマシテ如  
何ナル根據ニ依ツテ支出シタコト云フ仰セ  
デアリマスカ、從來第二豫備金ニ依リマシ  
テ此ノ種ノ補助金ヲ出シマシタコトハ、相當  
例モ多イノデアリマシテ、御承知ノ通り第  
一豫備金ハ豫算ニ科目ノアリマスコトハ、  
缺クベカラザル豫算ノ不足ヲ補フモノデア  
リ、第二豫備金ハ豫算外ニ生ジタル必要ナ  
事業ニ充テルモノデアルト云フコトハ、第  
二豫備金ノ中カラ先般支出致シマシタノ  
デアリマシテ、只今私ガ申上ゲマシタ事柄ハ、  
會計法ノ第九條ニ其ノ事ガ記載サレテ居  
ルデアリマスカ、此ノ種ノモノハ從來第二  
豫備金カラ支出致シマシタ例ガ相當多數  
ルヤウニ心得テ居リマスカ

語尾ガ明瞭ヲ缺イダノデ、明確ニナツテ居  
リマセシガ、要スルニ民間ニ居ツタ時代、  
或ハ役所ニ居ツタ時代ニ取ツタ給料ヨリ、  
倍ニナルトカ三倍ニナルトカ云フヤウナコ  
トハシナカクツタコト云フノデアツタカ、私ハ  
明確ニ聞エナカクツタガ、其ノ點ハ留意ヲシ  
テ査定シタコト云フヤウナ御答辯デアツタ  
デアリマスカ、私ハサウナツテ居ラス  
云フコトヲ一ツ申上ゲテ見タイと思フ  
デアリマスカ、アナタノ方ニ催促シテモ、  
今尙ホ前任時代ノ給料トノ比較表ヲ出シ  
テ來スト云フノハドウ云フ譯デアルカ、  
ソレ程ノ問題デアリマセシ、ソレハ二十  
三日ノ豫算總會ノ日ニ資料ノ請求ヲシテ居  
ルノデアリマスカ、眞面目ニ其ノ資料ヲ  
作ル氣ニナルナラバ、モノノ一時間カ半日  
アレバ作レルノデアリマスカ、出サスト云  
コトハ、ソコニ出シニクイコトガアルカラ  
出サストハナイカ、是ハ私ノ想像デアリ  
マスカ、茲ニ斯ウ云フ例ガアリマスカ、是ハ  
間違ヒノナイ例デアリマスカ、地方支部ノ常  
務委員ガ、二名ハ相當ナ高給ヲ取ツテ居ル  
ドウ云フ給料ヲ取ツテ居ルカ、即チ年俸三  
千圓、月額二百五十圓拂ツテ居ル、前任ノ給  
料ハドノ程度デアツタカ、五十圓乃至六十  
圓取ツテ居ルツタ村長ガ常務委員ニナツテ  
サウシテ常務委員ト云ウテモ毎日出ルノ  
ハアリマセシ、恐ラク私ノ知ツテ居ル範圍  
デハ支部長デハナイカ知ラヌガ、支部長ノ  
事務ヲ取扱ツテ居ル、知事ガ招集シタ日ニ  
出ルノダラウト思ヒマスカ、ソレガ月額二  
百五十圓、年俸三千圓實ツテ居ル、ソレハ  
非常ナ問題デス、自動車費ノ如キハ一箇月  
千圓一人ニ宛テアルト云フヤウナ話モ聞  
イテ居ル、デアルカラ此ノ點ヲ明確ニシテ

置カケレバナラヌと思フ、現在ノ時局下  
ニ於テ國民ノ給料ヲ取ル人々ノ收入ニ付テ  
ハ、自ラ制限ガアルノデアリマスカ、然ルニ  
今度ハ民間ニ對シテモ自ラデナシニ、國ノ  
勅令ヲ以テ之ニ制限ヲ加ヘテ昇給サセナイ  
ヤウニシテ居ルノデアリマスカ、モ拘ハラ  
ズ前ニ五十四、六十圓乃至百圓取ツテ居  
タ者ガ、二百圓、三百圓ト云フ風ニ飛シ  
行タコト云フコトハドクナモノデアラウカ、  
民間ノ費用ヲ以テ支辨スルノデスラソレハ  
制限シテ居ルノニ、政府ガ國民カラ苛斂ヲ  
求シテ取ツタ金ヲ補助ヲ與ヘテヤツテ居  
ル所ニ、何ト云ヒマスカ、一種ノ秩序ヲ紊  
方法ヲヤツテ行ク、ソレガ而モ政治性モア  
ルサウデアリマスカ、一種ノ教化運動ヲヤ  
ツテ行ク、政府ノ政策ヲ國民ニ徹底サス  
云フヤウナ宣傳ノ術ニ當ル人ハ、身ヲ以テ  
範ヲ示シテ行カケレバナラス、從來給料  
ヲ百圓取ツテ居タモノナラ五十四位ニ落  
シテ、サウ云フ所ニ飛込シテ行ツテヤル  
ガ本當ノ國家奉仕デハナイカ、然ルニ二倍  
三倍、四倍、五倍モ年收ヲ増シテ行クト云  
フコトハ、是ガ若シ世間一般ニ聞エテ行ク  
トモウ相當ニ聞エテ居リマスカ、サウ  
云フコトニナルト、サウ云フ人々ヲ眞面目  
ニ信賴シマセシ、隨テ政府ノ政策ノ宣傳ニ  
却テ害ヲナスノデハナイカ、アナタガ午前  
中ニ御答辯ナサツタノハ、サウ云フコト  
ハナイヤウニ思フトカ云フコトヲ愚圖々々  
言ハレタノデ、要領ヲ得ナカクツタノデア  
リマスカ、本當ヲ言フナラバ、前ニ給料ヲ取  
テ居タモノヨリ以上ニセシヤウニシタ  
カ、或ハ一割増シタカ、五分増シタカ  
云フヤウニ明瞭ニ仰シヤツテ戴キタカ  
ノデス、所ガサウ云フ風ニハ話サレナカ

タノデアリマスカ、例ハバアナタガ主計局長  
主宰ナサツテ居ルコトハ申スニ及バヌガ、  
其ノ部下ニ對シテデモ、サウ云フ程度ノ月  
給取リガ、彼處ニ飛シテ行ケバ二倍三倍ニナ  
ルト云フヤウナコトハ、アナタノ下下仕事  
ヲサシテ居ル者ノ秩序ヲ紊スコトニナリハ  
シマセシカ、政府ノ補助ヲ實ツテ居ラス所  
モ、今日政府ハ給料ニ干渉シテ居ルノデア  
リマセウ、何等ヲ持ツテ居ラス政府ガ、  
一錢一厘ノ補助ヲ得テ居ラス會社員ヤ銀  
行員ニ對シテ、一箇年ニ百分ノ七ヲ超シテ  
ハイカスト云フ制限ヲ大蔵省ハ出シテ置キ  
ナガラ、一面ニ於テハ大蔵省ガ第二豫備金  
ヲ支出スルニ際シテ、斯ウ云フ馬鹿ヲ給  
料ヲ認メテ行クト云フコトハ、是ハ當ヲ得  
ス、内務大臣ハ、大政覽會ニ云フモノハ、  
自ラ政綱政策ヲ掲ゲテ行フ所デアリナイ、政  
府ニ於テ決定マツタ所ノ國策ヲ國民ニ徹底サ  
スノガ實會ノ仕事デアルト云フコトヲ明  
確ニ答辯シテ居ラレバ、デアリマスカ、果シ  
テサウデアラバ、一體政府ノ政策ハ行  
政事務ノ中ニ徹底ガ出來ルノデアリマスカ、  
府縣知事、市町村長ヲ持ツテ居ツテ、  
ナゼ是ガ國民ニ徹底出來ナイカ、徹底出  
來ル筈デス、而モモウ一ツ新聞方面ノ  
通信機關ヲ通ジテ宣傳シタケレバ、情報  
局ト云フ豫算ノ澤山取ツテ居ル立派ナ機關  
ヲ持ツテ居ルノデアルカラ、其ノ上ニ情報  
宣傳ノ必要ハナイ、下意上達モ一種ノ宣傳  
デス、上意下達モ一種ノ宣傳デス、其ノ  
二重ノ機關ヲ備ヘテ置キ、ソレニ補助ヲ與  
ヘテ、給料ハ前ニ取ツテ居ツタモノノ二倍  
倍モ三倍モ與ヘテヤル、其ノコトハ慣例  
ニモナイ、第二豫備金カラ其ノ金ヲ出シテ  
ナルコトハ私ニハドウシテモ斷ニ落チナカ

午後一時五十八分開議  
○一松圭查 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマ  
ス  
○森田(總)委員 昨午午前中ニ質疑ヲ打切  
ツテ置イタノデアリマスカ、一寸モウ一言  
追加サシテ戴キタイと思ヒマスカ、ソレハ  
終り頃ノ主計局長ノ御答辯ニ、第二豫備金  
ヲ支出スルニ付テ私ガ實會ノ給料ノ問題  
ニ付テ御尋ネ申上ゲタノニ對シテ、豫備金  
ヲ出ス際ニハ、給料ノコトニ付テモ相當ニサ  
ウ云フコトノナイヤウニ努メタト云ハレタ  
ノカ、サウ云フ風ニシタト云ハレタノカ、



ノ事務所ノコトニ付テモ御意見ガアツクノ  
デアリマスガ、アノ事ニ付キマシテハ、私  
共ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、而モ官  
廳其ノ他ニ於キマシテハリ建物ノ増加ノ  
要求ガ頻リニアルノデアリマス、併シハ  
成ベク建テクナイト云フ考ヘテ方持ツテ  
居リマシテ、既存ノ建物ヲ使ツテ賅ヒクイ  
ト云フコトヲ展シテ居ルノデアリマス、  
既存ノ建物ト致シマシテハソレハ勿論元  
東京會館以外ニモナイコトハナイノデアリ  
マスルガ、差當リ便利ナ場所トシテ選  
レタノデアルト思フノデアリマスシテ、多  
少派手ナヤウナ趣キハアリマスケレドモ  
建テルヨリハ有合セ、モノヲ使ツテ賅ヒ  
タイト云フ氣持ニハ合致シテ居ルノデア  
リマス、尙又場所ノ選ビ方ニ付キマシテ  
ハ、將來ハドウナリマスガ、先ヅ差當リ  
ノ場所トシテ彼處ガ選ビラ、ハ、ヤハ  
リ已ムヲ得ナイカト云フ風ニ思ツテ居ル  
ノデアリマス

○森田(福)委員 私人主計局長ヲ追究シテ  
困ラセヨウト云フ意味デ問ウテ居ルノデハ  
ナイノデアリマス、其ノ積リテ御答辯ガ願ヒタ  
イノデアリマス、是ハ理窟ニナツテ行クノデ  
ヤガ、アノタハ今大藏省ノ會計ヲ經、内閣  
ノ會計ヲ經テ大政費會ニ行クノデアリカ  
ラ、行先ハドウナルカ分ラスト云ツテ意味  
ニ御話ニナツタノデアリマス、ソレハ違フ所ガ  
アルノデヤナイカ、他ノ事例ニ付テ政府ガ  
補助金ヲ出ストカ助成金ヲ出ストカ云フ時  
ニハ、商工省カラ貰フ時デモ、大藏省カラ  
貰フ場合デモ、何ニ使フカ、ドウ云フ風ニヤ  
ルカト云フコトヲ、洗ヒ洗ヒ明確ニ調ベナ  
ケレバ補助金、助成金ハ出サヌ、況シテ斯  
ウ云フ第二種備金ト云フヤウナ、補助金ノ

目ニモ何モナイヤウナモノヲ出シテ行クノ  
ニハ、政府ハ相當其ノ使途ニ付テハ檢討シ  
テ居ルガデス、若シ又其ノ檢討ヲ行ハヌニ  
出シタト云フナラバ、ソレハドウ云フ譯デ  
サウ云フコトヲシタカ、他ノ一般ノ補助金  
助成金ヲ出ス時ニハ、其ノ金ガ何處ニ行ク  
テ斯ウ云フ事業ヲ斯ウ云フ風ニヤツテ、ソ  
レガ完成シタナラバ斯ウ云フ風ニナルノ  
ダ、最後ノ最後マデ金ノ使途ヲ檢メナケレ  
バ政府ノ方デハ出サヌノデアリマス、況シテヤ  
項目ニモナイ金ヲ出シテ、二倍モ三倍モノ  
給料ヲヤルノニ、其ノ使途ヲ究メテ居ナイ  
管ハナイ、アノタガ色々ナ關係ヲ明確ニ言  
ハスノハ已ムヲ得ナイカモ知レズガ、今後  
ノ計畫ト云フモノハピンカラ切リマデ調ベ  
テアルガデス、此ノ金ノ使途ハ斯ウ云フ風  
ニ使フ、或程ハ已ムヲ得マイ、斯ウ使フ  
ノナラ認メヨウト云フコトニナツテ出シタ  
ノダト私ハ信ズル、大藏省内デ相當ノ檢討  
ヲ加ヘテ出サレタモノデアルト私ハ信ジテ  
居リマス、大體民間デ五十四取ツテ居ツタ  
人間ハ二百五十位ヤラウト云フ計畫デ今  
集メタニ違ヒナイ、サウスルトハ豫備金  
ヲ出ス上ニ於テ如何ニモ不都合チヤナカ  
タカト云フ意味ノコトヲ言ツテ居ル譯デア  
ルガ、アノタノ今ノ答辯デハ會計課カラ會  
計課ヘ渡リ歩イテ、行先ハドウ使ツタカ分  
ラスト云フヤウナ意味ノコトヲ仰シヤル  
ガ、若シソレガ本當ナ豫備金ナドヲ出ス  
ノハドウ云フモノデアリマセウカ、私ハサ  
ウチヤナイト思フ、使途ニ付テハ相當明確  
ニ御取リニナツテ居ルト思フ、ソレカラ建  
物ノ點デ、現在建テルヨリモアレバ使ハセ  
テ方ガ宜イノダト云フ御答辯デアリマシタ  
ガ、私ハ政府ノ補助機關會議ノ補助機關

カ知ラスガ、國策ノ宣傳ヲヤラス所ノ事務  
所ニ、何モ東京會館ヲ借リル必要ハナイト  
思フ、貴衆兩院ノ跡モ空イテ居ルシ、情報  
局ト一緒ニ居ツテモ宜カラウ、ドウシテモ  
特別ノ建物ガ要ルト云フノデアレバ、空地  
ハ今日深山アルシ、アノ屋賃ガ一箇年三十  
万円トカ開イテ居リマスガ、バラックラダ  
ラ今日幾ラ高ク見テモ坪三百間見テ置ケ  
バ宜シト私ハサウ計算スル、サウスルト  
相當大キナモノガ建ツチヤナイカ、三十万  
圓、一箇年分ノ屋賃ガアレバ相當大キナモ  
ノガ建テラレル、而モ覽費會ハ直ダ潰レル  
ノデアリマス、相當永ク續クノデセ  
ウガ、ソレガ今ノヤウナ大變ナ屋賃ノ所ニ  
入ツテ居ルヨリハ、小サナバラックヲ建テ  
テ濟マス、ソレデ濟マナケレバ今出來テ  
居ル既存ノ物ノ中ニ同居シテ行ケバ宜イ、  
カカラサウ云フモノハ節約シテ、サウ大キ  
イ豫備金ハ出サヌモ宜カウツタノデヤナイ  
カト云フ意見モ出テ居ル、國民ノ思想ニ影  
響スル所モ極メテ大キイト思フ、國民ニ節  
約ノ宣傳スル所ガ一番賢澤ナ所ニ入ツテ居  
ル、國民ハ皆鼻ノ先デ嘔吐テ居リマス、參  
考資料トシテ旅費規定ナドモ見セテ賅ヒタ  
イト云フコトヲ申シテ置キマシタガ、今日  
馬鹿ガタ旅費ヲ拂ウテ居ルコトヲ聞  
イテ居ル、今マデ六十圓取ツテ居ツタ町長  
ガ月ニ二百五十圓、年俸三千圓ニナツタ、  
ソレガ地方ニ於テデスヨ、ソレニ旅費トシ  
テモ莫大ナ金ガ要ルデアリマセウ、サウ云  
フヤウナコトヲシテ居ツテ、今後宣傳シテ  
歩イタトシテモ、ソレハ大シク效果ハナイ  
ダラウト思フ、是ハ何レ其ノ豫算ガ上程サ  
レタ時論議スルトシテモ、今御説明ノヤウ  
ナコトデハ豫備金支出ニ付テ國民ノ頭ニハ

物ニ蓋ララスト云フコトデナク、一切合切打  
明ケテ、明瞭ニシテ賅ヒタイト云フコトヲ希  
望シテ、色々必要ナ資料ヲ要求シ、或ハ賅  
問ヲシテ居ルノデアリマスガ、其ノ資料ハ  
出サヌ、又質問ニ對シテハ明答ヲ與ヘナイ、  
是デハ益々疑惑ヲ深クスルベカリデアアル、  
給料ノ如キモ世間ノ噂ガ是デハ實際ダト云  
フコトニナツテシマフ、サウ云フ馬鹿氣ヲ  
コトヲ實際ヤツテ居ルナラバ洵ニイカヌコ  
トデアリ、頗ル不都合ノコトデアアル、今後  
一般ノ俸給生活者ニ對スル思想上ノ影響モ  
宜シクナイ、此ノ點ヲ繰返シテ申上ゲマシ  
テ、以上ニ付テ明瞭ニスルコトガ出來ナケ  
レバ仕方ガナイケレドモ、是ハ明瞭ニナサ  
レタ方ガ宜シイト云フコトヲ申上ゲテ、私  
ノ質問ヲ終リマス

○谷口政府委員 此ノ御答ニ付キマシテ  
ハ出來ルダケ詳シク申上ゲヨウト云フコト  
ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、午前中カラ  
大分御答ヘ致シマシタガ其ノ要領ヲ得ル所  
ガ抜ケテ居ルヤウデアリマシテ、甚ダ恐縮ニ  
思フノデアリマスガ、國民精神總動員ノ任  
事ヲ覽費會ガ續テ行ツテ居リマシテ、其  
ノ國民精神總動員デ使ヒ殘シタモノガ一  
圓幾ツテ居ツテ、ソレガ收入ニナツテ居ル  
デハナイカ、國民精神總動員モ一年間掛ツ  
テ使フベキモノヲ、十月頃モウ一便圓シカ  
後ニ殘スコトガ出來ナカウツ位ニ使ヒ過ギ  
テ居ツタデハナイカト云フヤウニ今御話ガ  
アリマシテ、覽費會ノ補助ノ問題カラ國民  
精神總動員中央聯盟ノ金ノ使ヒ方ニモ及  
シタ點ガアリマシタガ、此ノ點ハ先ヅ第一ニ  
其ノ一萬圓ト申シマスモノハ、國民精神總  
動員運動ノ使ヒ殘リデハナカウツノデアリ  
マシテ、是ハ尙附ト云フコトニ其ノ時ニ承  
テテ居リマス、約一萬二千圓デアリマスガ、  
大政費會デハ政府カラ交付サレル所ノ補  
助ト約一萬二千圓バカリノ寄附金トト合セ  
マシテ、約九十四萬圓バカリノ歳入歳出ヲ  
組ンデ居ルト云フコトハ、是ハ午前申シ  
マシタノデアリマス、午前申上ゲマス時  
ニ九十三萬圓ノ補助ノ内譯ト云フ御話デア  
リマシタガ、補助其ノモノノ内譯ヲ言フコ  
トハムヅカシイガ、補助ヲ交付サレタ相手  
方ニ於テ如何ナル收入、支出ヲスルノデア  
ルカト云フ意味ニ於テ、其ノ收入支出ノ内  
譯ヲ申上ゲマセウト云フコトヲ御答ヘ致シ  
マシテ、支出ノ大體ノ大キナ項目ノ内譯ヲ  
申上ゲタノデアリマス、併シ其ノ支出ノ金額ガ  
九十四萬圓ニナツテ居リマスノデ、森田サンガ  
御考ヘニナルト、收入ガ九十三萬圓デカシ  
イチヤナイカト云フコトヲ御考ヘニナルト豫  
考ヘマシテ、一萬圓バカリノ寄附金ガアツテ、  
會トシテハ九十四萬圓バカリノ豫算ヲ組ムヤ  
ウナコトニナツテ居ルト申シタノデアリマ  
ス、尙ホ一萬圓ト申シマスノハ、只今申上  
ゲマシタヤウニ國民精神總動員ノ使ヒ殘リ  
デナツテ居ツタノデアリマス、序デデアリマ  
スガ、國民精神總動員ノ方ハソレデハ  
一萬圓モ殘サヌニ使ヒ切ツテシマツタカ、  
一萬圓モ殘サヌニ使ヒ切ツテシマツタカ、  
デアリマスシテ、引續キノ時マデニ全部使  
ツテ居ツタナラバ、餘計使ヒ過ギデアルト  
云フ道理ニナルノデアリマスガ、ソレハ國  
民精神總動員ノ方カラ政府ノ方ニ返納シテ  
戴キマシタ、約八萬圓デアツタト思フノデ  
デアリマスガ、七、八萬圓ヲ政府ニ返納ノ手  
續ヲ執リマシテ、是ハ政府ノ手ニ收メタノ  
デアリマス

ソレカラ色々御話デゴザイマスガ、午前  
中ニモ大體申上ゲマシタヤウニ、此ノ會  
組ミマシテ豫算ノ費途ト申シマスノハ、事務  
費ニ於テ七十一萬六千圓、事業費ニ於テ約  
二十二萬七千圓、合計九十四萬圓ト云フコ  
トニナツテ居リマシテ、午前中ニ人件費三  
十四萬三千圓、物件費三十七萬三千圓ト申  
シマシタノハ、事務費七十一萬六千圓ノ内  
譯デアリマスガ、覽費會ノ會計ト致シマシ  
テハ、支出ノ大體事務費ト事業費ト二本ニ  
大キク分ケテ居リマシテ、事務費ノ方ハ年  
ニ七十一萬六千圓、事業費ノ方ガ二十二萬  
七千圓、事務費ノ方ノ小分ケト致シマシテ  
ハ、人件費三十四萬三千圓、物件費三十七  
萬三千圓ト云フコトニ内譯ガナツテ居ルノ  
デアリマス、御話ノ如ク今日各種團體カラ  
ノ補助ノ要求ハ極メテ多イノデアリマシテ、  
其ノ都度只今御話ニナリマシタヤウナ程度  
ノ精密ナ調査ヲシタ上デナケレバ、補助金  
ヲ出サナイト云フコトハ、是ハ十分努メテ  
居ル積リデアリマス、隨ヒマシテ九十三萬  
圓ヲ第二種備金カラ支拂致シマシル時ニモ、  
簡單ニハ參リマセウノデアリマシテ、内譯  
ニ互リマシテ出來ルダケ細カク審査ヲ遂ゲ  
マシテ、國費ノ支出ガ濫ニ流レナイヤウナ  
注意ヲ仕方ハ、出來ルダケ十分ニ致シタノ  
デアリマス、ソレデ人件費、物件費ト云フ  
ヤウナ程度ノ内譯ヲ致シマシタガ、當時ト  
致シマシテハ更ニ人件費三十四萬三千圓ノ  
内譯ト致シマシテハ、手當一十九萬四千圓、  
旅費四萬八千圓ト云フ風ニ分ケテ考ヘタノ  
デアリマス、又物件費ニ付キマシテモ、土  
地建物ノ借用料、各種修繕費、備品費、通信費、  
雜費ト云フヤウニ細目ニ分チマシタ、又事業  
費ノ方面ニ於キマシテモ宣傳ノ爲ニドレダ

ビツクリ來マセヌ、今マデノ出シ方ト云フ  
モノハ何ノ爲ニ幾ラ出スト云フコトヲ十  
分檢討シタ上ニ出シテ居ルノニ、一今度  
ハ恰モ掴ミ取リデテヤツテ居ル、ソレ  
ナコトヲシテ國費ヲ濫用サレテハ大變デ  
ス、掴ミ取リチヤイケマセヌ、事實ニ付テ  
微ニ入り細ニ互ツテ十分檢討シタ上ニ國費  
ヲ補助スルト云フコトデナクテハナラナイ、  
斯ウ云フコトナラ是ダケノ國費ヲ補助スル  
ノハ已ムヲ得マイ、斯ウ云フコトニシナケ  
レバナラヌ、午前中ノ話デハ一萬圓他カラ  
金ガ入ツタト云フガ、是ハ恐ラク國民精神  
總動員ノ使ヒ殘リノ金ダラウト思フ、ソレ  
ナラバ此ノ三月迄ノ豫算ガ餘ツテ居ナケレ  
バナラナイ筈デアアルノニ、ソレガ昨年アノ  
時代マデニ一萬圓シカ殘サヌニ使ツテシ  
マツタト云フコトハ、國民精神總動員中央聯  
盟ガ廢メサセラレルト云フノデ費用ヲ濫費  
シタ、ダカラ斯クノ如ク豫算ガ殘ラナイ、  
サウ云フ所モ配合セテ、國庫カラ補助ヲス  
ルト云フ場合ニハ、主計局長ハ十分調査シ  
テ使途ヲ究メテ査定シナケレバナラヌ、精  
動ノ豫算ニ付テハ、今マデノ所何箇月經ツ  
テ居テアト何箇月經ツテ居ルカラ幾ラマダ  
殘ラナケレバナラヌ筈ダ、ソレハ何處ヘド  
ウナツタカト云フヤウニ十分檢討シテ行ク  
ベキ筈デアラウト思フ、從來ノ補助金ナ  
リ助成金ナリノ出シ方ト云フモノヲ見レバ、  
斯ウ云フヤウナ出シ方ヲシタ例ハ一ツモナ  
イ、私ハ以上ハ決シテ追究センガ爲ニ言ツ  
テ居ルノデハナク、而モ是ハ其ノ承諾ヲ求  
ムル件ガ出タ時ニ申上ゲルベキモノダト思  
ツテ居ルケレドモ、ヤハリ此ノ豫算ニモ關  
係シテ居ルカラ、私ハ其ノコトヲ主計局長  
ニ申上ゲ、願クバ之ニ付テハ決シテ臆イ



内閣官房總務課ニ於テ丁度此ノ前國民精神  
總動員ノ仕事方内閣官房總務課ノ所管デア  
リマシタルガ如ク、今日ニ於キマシテハ大  
政翼賛運動ニ關スルモノハ内閣官房總務課  
ノ所管ニナツテ居リマスルガ、此ノ監督ニ  
當ツテ居ル方カラ補助ヲ出ス時ニ指令ヲ出  
シマシテ、其ノ中ニ細カクモ規定ヲ致  
シマシテ、豫メ金ヲ使フ時ニハ事業計畫ヲ  
提出シテ此ノ承認ヲ得ナケレバナラス、ソ  
レカラ豫算ヲ立テテ、豫算ノ更正或ハ豫算  
ニ定メタル金額ノ流用ヲスル時ニハ豫メ承認  
ヲ得ナケレバナラス、又役員、職員ノ手  
當、旅費其ノ他會計ニ關スル規則ノ制定、  
又ハ改廢ニ付テモ、監督官廳ノ承認ヲ得ナ  
ケレバナラスト云フヤウニ相成ツテ居ルノ  
デアリマス、吾々其ノ支出ノ事務ニ從事ス  
ル者トシマシテハ、更ニ其ノ承認ノ申請ガ  
アリマス時ニハ連絡ヲ致シマシテ、實際ニ  
ドウ行ハレテ居ルカト云フコトヲ能ク調ベ  
テ、不都合ノナイヤウニスルヤウナ仕組  
ニ大體ナツテ居ルノデアリマス、之ヲ支出  
スル前ニ何某方幾ラデヤツテドウ云フヤ  
ウニ、一々具體的ニ人名ハ取ツテナカウツ  
ノデアリマスガ、是ハ勿論此ノ豫算ノ實行  
サレマス將來ニ於キマシテハ、手當ノ方ニ  
餘リ多ク使ヒ過キルト云フコトガナイヤ  
ウニ、而モ其ノ手當方餘リ當ラシナイヤ  
ウニ實行サレテ行クト云フコトハ、其ノ監督  
官廳ノ補助ノ指令ニ依ル命令、其ノ仕組ヲ  
通ジマシテ監督ヲ續ケテ行キタイと思フ  
デアリマス、ソレカラ旅費規定ノ如キモノ  
モ一遍御覽ニナリタイト云フコトデアリマ  
スガ、是ハマダ承認ハ出來テ居リマセヌノ  
承認ヲ與ヘル場合ニ於キマシテハ能ク之ヲ  
調ベマシテ、參考トナリマセヌモノハ官廳ニ

於ケル旅費規則ノ如キモノガ、一番有力ナ  
ル參考トナルト思フデアリマスガ、サウ  
云フモノヲ参照致シマシテ、適正ナル規則  
ヲ制定サセルト云フコトニ致シタイと思フ  
デアリマス、ソレカラ建物ニ付キマシテ  
ハ、洵ニ仰セテ通り坪當リ三百圓モアリマ  
ス、其ノ會ノ事務所トシテ使ヘルヤウナ  
モノガ建ツノデアリマスガ、當時トシマシ  
テハ、只今御話ノ情報局ノ跡トカ云フモノ  
ハ、直ぐニ又役所内ノ借り手ガアルノデア  
リマス、例ハ總力戰研究所ト云フモノガ出  
來ルト、待テ構ヘテ居ツテ其ノ家ニ入ルト  
云フノド、相當多人数ノ事務員ノ入ル建物  
ハ、ヤハリ既存ノ官廳ノ建物ニハナイノデ  
アリマシテ、ドウシテモ建テナケレバナ  
スト云フ關係ニアリマス、建テレバ宜シイ、  
既存ノ建物ニハ合ハシテ居ルモノハ、派  
手過ギルト云フ御意見デアアルノデアリマ  
スガ、營繕費ガ近年餘リ嵩ムモノデアリマ  
ス、只今ノ所デハ差當リ既存ノ建物ヲ借  
リテ住ムト云フコトハ、少クモ當分ノ内  
リテ致シマシテハ、已ムヲ得ナイト云フ風ニ  
考ヘテ居ルノデアリマス

○森田(福)委員 揚足ヲ取ツテ議論スルノ  
デアリナイガ、今ノ物件費デアアルトカ人件費  
デアアルトカ云フヤウナコトニ付テハ總括的  
ナコトハ、午前中ノ御話ニ能ク分ツテ居ル  
私ハソレヲ聽イテ居ルノデハナイ、總括的  
ナコトハ私ハ午前中ニ満足ヲシ得心ヲシ  
居ル、私ガ只今伺フ中ニハモット具體的  
コトデ、例ハ府縣費ガ相當出テ居ツテ、  
其ノ府縣費ハ昭和十五年度ノ追加豫算トシ  
テ各地方ニ支出スルノデアアルガ、アナタ  
方ノ補助金タケテ、今マデ六十圓ヤツテ居  
ツタ者ニ二百五十圓モヤツテ居ル、是ハ府

縣費ヲ併セテヤツテ居ルカラ、中央デ認メ  
ルナラ宜イダラウト云フヨリモ、國民ハ已  
ムヲ得ナイト云フ解釋ヲ下シテ居ル、私ハ  
サウハ解釋シナイガ、アナタノ方デハサウ  
云フ補助ヲ出ス場合ニ、局長ハ何人置イテ  
一人幾ラ、總務ハ何人置イテ幾ラ、地方常  
務委員ハ何人置イテ一人ガ幾ラト云フコト  
ガ出シテアル譯カラナイ譯ハナイ、ソレ  
ガ集マツテ來ナケレバ人件費ガ三十數萬圓  
ト云フコトハ生レテ來ナイ、ソレガ出テ來  
サヘスレバ今ハ誰ソレガ總務ニナツテ居ル、  
誰ソレガ常務委員デアアル、サウシテ其ノ給  
與ハ斯ウナツテ居ツテ、前任者ハ幾ラ取ツ  
テ居ツタト云フコトガ分ルカラ、サウ桁外  
レナコトハ出來ナイ、私ハ國費ヲ出ス以上  
ハ桁外レナコトハシナイト云フコトヲ、立  
法府ノ一人トシテ考ヘテ居ルカラ、ドウカ  
モット具體的ニ豫算委員會ノアル間ニ、成  
ベク速カニ吾々ノ得心ノ行キヤウニ、一人  
一人ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ、官廳ノ連中  
モ相當度胸ガ太クナツテ居ルト感心シテ居  
ルガ、宣傳費ト云フ費用ヲ使ツテ、アナタ  
方官僚ノ惡口ヲ言ツテ歩イテ居ル、自分  
惡口ヲ言フ者ニ自分ガ豫算ヲ出スト云フ  
ハ、其ノ雅量ニ敬服スルト共ニ、今後モサ  
ウアリタイト考ヘルガ、本當ヲ言フナラバ  
此ノヤリ方ハ「ロジック」ニ合ハスヤリ方デ  
アルト思フカラ、適當ナ機會ニ吾々ガ相當  
得心ノ行キヤウニ、詳シク具體的ニ此ノ人  
ノ給料ハ前任者ガ幾ラ取ツテ居ツタカラ此  
ノ額ハ至當ナル、此ノ方ハアナタノ言フ  
ヤウニスル云フ拂ヒ方ヲスルコトハ至當  
ナイ、斯ウ云フ風ナ詳シイ御説明ノ御用意  
置キテ願ヒタイ、即答サラヌトスルカラ  
今ノヤウニ總括的ニオ茶ヲ濁サウナコト

ニナル、ソレハ六十圓ノ者ニ二百五十圓ヤ  
ルノモ、斯ウ云フ理由ダカラ一躍五倍ニシ  
テヤラナケレバナラナカウツノデアアル、サ  
ウカ、ソレデハ吾々モ能ク得心ガ行ツタト  
云フヤウニ、能ク分ルヤウニ一ツ御教ヘテ  
願ヒタイ、ソレデ私ハ宜シウゴザイマス

○谷口政府委員 先程國民精神運動ノコト  
ヲ一寸申シマシテ、一寸御質問ニ對シテハ  
枝葉ダツタノデスガ、ソレガ一寸マダ誤解  
ガアルヤウナコトヲ申シテ居リマスカラ、  
御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、ソレハ七  
萬圓位政府ニ返シタト申シタノハ、七萬八  
百五十圓デアリマシタ、然ラバ國民精神總  
動員運動ト云フモノハ、大體百萬圓ヲ政府  
カラ交付サレテ、七萬圓マデ使ヒ切ツテシ  
マツタト云フ結論ニナリマスガ、サウデ  
ハナクシテ、二十五萬圓タケハ未交付ノモ  
ノガアリマシタ、マダ政府カラ國民精神運  
動ニ交付シテナカウツ二十五萬圓ガアリマ  
シタ、七萬圓ハモウ返シマシタノデスガ、  
合計致シマスト三十二萬八千五百圓ト云フ  
モノハ使ツテナカウツノデ、御參考ノ爲ニ  
申上ゲマス、尙ホ今ノ大政翼賛會ノサウ云  
フ内譯表ハ、初メカラ出テ居ルベキデ、是  
レ是レト云フ御質問ノ御示シハ、洵ニ御尤  
モナ次第デアリマス、尙ホ只今ハ即答シナ  
イデ能ク調ベロト云フ御話デアリマス、又  
現實ニ何某ガドレ位ノ手當デアアルト云フ  
コトハ、私ハ此處ニ得心テ居リマセヌノデ、  
調ベラレルタケ能ク調ベテ、調ベタ後ニ申  
上ゲタイト思ヒマス

○矢野委員 主計局長ニ今ノ森田君ノ質問  
ニ關聯シテ、一寸御伺ヒ致シタイと思ヒマ  
ス、資料ノ要求ノコトハ私ガ此ノ委員會開  
會ノ劈頭ニ、書類ヲ以テ提出致シタノデア

リマス、別ニ森田委員ガ提出サレタモノガ  
アルノカモ存ジマセヌガ、私ノ分ハハツキリ  
書面デ出シテアリマシタノデ、成ベク早ク  
御提出ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレカラ茲  
ニ御伺ヒシタイコトハ、私ガ持ツテ居リマス  
ノハ豫算綱要デ、内務省所管ノ新規支出ヲ  
持ツテ居ルノデスガ、三十三頁ニ部落振興  
ニ要スル經費百二十萬圓ト云フノガアリマ  
ス、是ハ議院内ノ噂デハ大政翼賛會ノ地方  
組織ニ要スル經費ニ使フノダト云フコト  
デアリマス、ソレデ經費會ノ補助ハ、別ニ  
三千五百萬圓トカ政府ニ要求シタト云フ  
コトヲ新聞紙デ承知致シテ居ルノデスガ、  
左様ナ後カラ出ルモノ——出ナイコトヲ希  
望シテ居リマスガ、多分出ル經費ノ外ニ、  
現ニ提出セラレテ居ル此ノ豫算ノ中ニモ、  
只今私ガ申上ゲタヤウナ經費ガ山山含マレ  
テ居ルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、是  
ハ議會ノ中ノ噂デゴザイマス、私ハ豫算ハ  
素人デ分リマセヌノデ、茲ニ一ツ主計局長  
ノ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○谷口政府委員 矢野君ノ御要求ニナツ  
テ居リマス資料ノコトモ承知致シテ居リマ  
ス、森田君ノ御要求ニナツテ居リマス  
モノト似テ居リマスガ、全ク別ノ御要求デ  
アリマシテ、只今調査シテ居リマス、出來  
ルダケ早ク出シタイと思ツテ居リマス、ソ  
レカラ只今御尋ネノ部落振興費ノコトデゴ  
ザイマス、是ハ御覽ニナツテ居リマス御手  
許ノ綱要デハ、新規ト云フ風ニ出テ居ルカ  
ト思ヒマスガ、豫算ノ編成上新規經費トシ  
テ取扱ツタノデアリマシテ、昨年内務省ノ  
所管ニ於キマシテ、部落振興費トシテ三十  
萬圓ヲ計上致シテ居リマシタガ、是ハ一年  
度限リトシテ昨年認メタノデアリマシテ、

本年ハ一應之ヲ洗ヒ落シマシテ、新タニ百  
二十萬圓ヲ形式上新規トシテ計上致シマシ  
タ、之ヲ實質的ニ申シマスト、百二十萬圓ト  
三十萬圓ノ差額九十萬圓ガ増加シタト云フ  
ノガ事ノ實際デアリマス、ソレカラ御尋ネ  
ノ要點ハ、是ハ大政翼賛會ノ地方運動ニ使  
フノデアリナイコト云フコトデアリマス、昨年  
ガ、是ハサウデハナイノデアリマス、昨年  
部落振興費ト云フモノヲ初メテ出シマシタ  
ガ、本年ハ町村ノミナラス、更ニ其ノ下ノ  
單位トシテ部落ト云フモノガ考ヘラレタノ  
デアリマス、昨年部落振興ト云フコトノ經  
費トシテ三十萬圓入ツタノデアリマスガ、  
ソレガ擴充サレテ本年百二十萬圓トナツテ  
居ルノデアリマシテ、大政翼賛會運動以前  
カラノ經費デアリ、又將來ニ於キマシテモ  
之ヲアノ運動ト牽聯セテ使ハウト云フ考  
ヘハナイノデアリマス、其ノ他大政翼賛運  
動ノ經費ト致シマシテハ、先程森田君ノ  
御質問ノアリマシタ、昨年十二月二十日ニ  
支出致シマシタ第二準備金九十三萬圓以外  
ハ、政府トシテハ一切關係ガナイノデアリ  
マス、十六年度ノ總豫算ニ計上致シテ居リマ  
スドノ費目モ、今日關係ノアルモノハ  
全クナイノデアリマス、是ハ若シサウ  
云フ經費ガ出ルト致シマスレバ將來ノ問題  
デアリマシテ、只今提出中ノモノニ付キマ  
シテハ、サウ云フモノハ豫定致シテ居リマ  
セヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○矢野委員 只今ノ主計局長ノ御説明デ私  
ハ非常ニ安心ヲ致シマシタ、今後成ベク  
斯カル性格ノ不明確ナル鵜的存在ノ團體ニ  
對シテハ、經費ノ支出シナイヤウニ今カラ  
御願ヒテ致シテ置キマス、ソレカラ立ツタ  
序デスカラ一寸伺ヒマスガ、是ハ翼賛會ノ  
問題デアリマセヌ、今年ハ非常ニ既定經費  
ノ節約ニ力ヲ入レラレタヤウニ思フ、私ハ  
日本ニ居ラナカウツノデ存ジマセヌデシタ  
ガ、歸ツテカラ新聞等ヲ拾ヒ讀ミシテ承知  
致シタノデスガ、其ノ御努力ニ對シテ衷心  
ヨリ敬意ヲ表シテ居リマス、ソレデ一寸其  
ノ既定經費ノ節約及ビ減少ノ所ニ付テ伺ヒ  
マス、豫算綱要ノ七十一頁、既定經費ノ節  
約額デアリマスガ、昨年ノ既定經費ノ節約  
額ハドレ位デアリマシタカ、昨年ノ豫算ニ  
付テノ金額ガ、其處デ御分リニナリマスレ  
バ伺ヒタイと思ヒマス

○谷口政府委員 既定經費ノ節約減少ノ表ノ  
中デ、陸軍ガ三億四千五百萬圓、海軍ガ一億  
六千三百萬圓トアリマスガ、是ハ臨時軍事  
費ノ方ヘ組替ラスル金額デアリマスガ、併  
セテ伺ヒマス

○谷口政府委員 既定經費ノ節約減少ニ付  
テ、十五年度豫算ノ之ニ相當スル金額ハト  
云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ極メテ簡單  
ナコトデアリマスガ、資料ヲ一寸持合セテ  
居リマセヌカラ、後刻御答ヘ致シマス

ソレカラ陸軍ト海軍トノ關係デアリマス  
ルガ、御覽ニナツテ居リマス七十一頁ノ表  
ノ中ニ節約額ト云フコトヲ入レテ居リマ  
シテ、「節約額」ニ「繰延額」ト云フコトヲ  
節約額ノ中ノ内譯ニ致シテ居リマス、其ノ  
他ノ減少額ト申シマスノハ、只今御想定  
ノ通りニ、大體ニ於キマシテ陸軍部隊ガ出  
征ノ爲メ、海軍ニ於テハ艦船出動ノ爲メ、  
臨時軍事費支辨サレルト云フ關係カラ、  
此ノ方ヲ辨償致シテ居リマスノガ主ナルモ  
ノデアリマス

○矢野委員 ソレカラ節約額ノ三億五千萬  
圓デスガ、是ハ人件費幾何ノ節約ガ出來

テ居ルデセウカ、ソレヲ伺フコトガ出來マ  
セウカ

○谷口政府委員 節約及ビ減少ハ、ヤハリ  
金額ト致シマシテハ人件費デナイモノノ方  
ガ大體多イノデアリマス、併シ人件費ニ付  
キマシテハ、本年ハ大體各省ノ定員ヲ一定  
ノ標準ニ依リマシテ少クスル、打落スト云  
フコトヲ各省ニ付テ實行致シタノデアリマ  
シテ、此ノ關係カラ人員ニ對シマシテ既定ノ  
經費カラ約五千人弱ノ豫算定員ヲ落スコト  
ガ出來タト只今記憶致シテ居リマス、其ノ  
金額ト致シマシテハ五六百萬圓ニ達スルモ  
ノガ、人件費トシテ整理サレルコトニナツ  
タト記憶シテ居ルノデアリマス

○矢野委員 ソレカラモウ二此ノ豫算綱  
要ニ付テ御伺ヒ致シマス、綱要ノ十五頁  
ニ國庫剩餘金ノ計算ガ出テ居ルノデスガ、  
十四年度ノ決算上生ジタ剩餘金ノ三億一千  
六百萬圓ト云フ金額ガ上ツテ居リマス、是  
ハ大體物ノ關係デ翌年度ニ繰越シ使用セナ  
ケレバナラスコトニナツタノダラウト想像  
スルノデスガ、大體サウデセウカ

○谷口政府委員 只今ノ御話ノハ十四年度  
ノ關係ノ繰越デゴザイマスガ、十四年度ノ  
繰越ハ少シ例年ヨリハ多クナツテ居リマス、  
例年ヨリハ五千萬圓乃至一億圓バカリ多イ  
カト思フノデアリマスルガ、全部ガ全部ト  
モ物ノ關係デアルトハ申セナイと思ヒマス  
ガ、資料ノ入手困難ナント云フ事情ガ本年  
ニ於キマシテハ稍、加ハツテ居ルカト思ヒマ  
スルガ、全部ガ全部ト不足ト云フ關係デハ  
ナイト思ツテ居リマス

ソレカラ先程人員ノ節約ノコトヲ申上ゲ  
マシタガ、一寸數字ガ不正確デアリマシタ  
カラ此ノ際申上ゲテ置キマス、六百八十万



圓バカリ、約七百圓バカリ既定ノ經費カ  
ラ人ヲ落シテ居リマス、人員ヲ減少スルコ  
トニ依リマシテ六百八十圓バカリノ經費  
ヲ節約致シテ居リマス、其ノコトヲ申添ヘ  
テ置キマス

○矢野委員 私人剩餘金ノ三億一千六百萬  
圓ト云フハ非常ニ大キイ金額ト思ツテ  
居リマス、ソレデ十五年度ハ一層大キクナ  
リ、十六年度ハ益々大キクナルデハナイカ、  
其ノ點ヲ豫算編成上モウ少シ考慮ヲ拂ハナ  
クテハナラス點ガアルノデハナイカ、斯ウ  
云フ風ナ疑ヒヲ持ツテ居リマスノデ御伺ヒ  
フ致シタリマシマス、之ニ付テハモウ  
ソレ以上御答辯ヲ要求致シマス

ソレカラ豫算編成ノ二十五頁ヲ出シ豫算  
新規増加額ノ分類ト云フノガアルノデスガ、  
此ノ中デ軍備ノ充實ト云フノガ四億四千萬  
圓ト居リマスガ、繼續費デドレ位出スコ  
トニナウテ居ルノデスカ、繼續費ノ年度割  
ハドノ位含シテ居リマスカ、ソレガ御分リニ  
ナリマシタラ伺ヒタイ

○谷口政府委員 二十五頁ノ軍備ノ充實四  
億二千四百萬圓ト云フコトニ相成ツテ居リマ  
スガ、此ノ四億二千四百萬圓ハ大藏省所管陸  
軍省所管ト一 大藏省ノ所管ハ營繕ノ關係  
ガアルノデアリマシマスガ、大藏省所管ト陸  
軍省所管ト、海軍省所管等ニ於ケル所ノ増  
加ヲ茲ニ集計致シマシテ、四億二千四百萬  
圓ノデアリマシテ、是ノ關係ノ繼續費ハ  
ドウ云フコトニナルカト云フ御尋ネデアリ  
マスガ、海軍省所管ニ於キマシテ艦艇製造  
費ノ追加ニ於テ六千六百萬圓、ソレカラ其  
ノ他陸軍整備費ニ於テ九千九百萬圓、艦  
艇整備費ニ於テ千七百七百萬圓等デア  
リマシテ、之ヲ合計致シマシテ約二億四千萬  
圓ト出テ來ルコトニ相成ツテ居リマス

○矢野委員 其ノ次ノ生産力ノ擴充ト云フ  
ノハ私ハ繼續費デハナイト思ツテ居ルノデ  
アリマス、ソレデ現在ノ政府デハ生産力ノ  
擴充、軍備ノ充實、大陸建設ト云フヤウナ、  
私ノヤウナ頭ノ古い男ニハ餘リ分ラナイヤ  
ウナコトニ非常ニ力ヲ入レテ居ルノデアリ  
マスガ、私ハサウ云フヤウニ國家ノ政策ヲ  
或ル主眼點ニ集中シテ行ク場合ニハ、跛行  
的ニナウテハイカスコトデラアツテ、軍備ノ  
充實ニ付テ計畫ヲ立テテモ相違シテ計畫ヲ立  
テテ行カナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居  
リマスルノデ、豫算編成ノ方針トシテ生産  
力ノ擴充ニ對シテ何カ計畫的ニ金ヲ支出スル  
ヤウナコトニナウテ居ルカ、ナウテ居ラス  
カ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○谷口政府委員 此ノ豫算編成ノ中ニ生産  
力ノ擴充ト云フ風ニ致シマシテ、一括シテ  
計上致シテ居リマスルモノガ二億七千七百  
萬圓ノデアリマシマスガ、此ノ中デ内務省所  
管ニ於キマシテ三千五百萬圓、大藏省所管  
ニ於キマシテ千萬元、文部省ノ所管ニ於キマ  
シテ八百萬元、農林省ノ所管ニ於キマシ  
テ三千七百萬圓、商工省ノ所管ニ於キマシ  
テ八百九百萬圓、逓信省ノ所管ニ於キマシ  
テ八百萬元、拓務省ノ所管ニ於キマシテ九  
百萬圓、厚生省ノ所管ニ於キマシテ七百  
萬圓ト云フモノヲ、生産力ノ擴充ノ經費トシ  
テ集計致シタリマシマス、只今御話ノ點  
ハ生産力ノ擴充ト云フヤウナ新シイ部門ニ  
漫然トシテ經費ヲ支出シテ居ルヤウナコト  
ハナイ、計畫的ニ將來ニ互ツテ計畫ガシテ

アルト云フヤウナ跡ガアルカドウカト云フ  
御質問ト心得ルノデアリマシマスガ、生産力  
ノ擴充ニ付キマシテハ、經費ト致シマシテ  
ハ豫算上繼續費ト致シテ居リマスルモノハ  
極メテ少イノデアリマシマスガ、ドウ致シマシ  
テモヤハリ一年限リデ済ムト云フヤウナモ  
ノハ少イノデアリマシマス、商工省關係ニ於  
キマシテ石油補助助成金ノ増加ヨスルト  
云フ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ年割ヲ豫  
メ計畫致シマシテ、本年ハ何井、來年ハ更  
ニ十井ヲ殖ヤス、更ニ五十井ヲ殖ヤスト云  
フヤウナ風ニ計畫ヲ立テテ行クト云フ必要  
ガアルノデアリマシマス、經費ト致シマシテ  
豫算上繼續費等ニ全部ガナツテ居ル譯デハ  
ナイノデアリマシマスガ、計畫ト致シマシテハ  
單ニ一年度タケノコトヲ考ヘナイデ、將來  
ノ計畫モ考慮ノ中ニ入レマシマス、是等ノ經  
費ヲ計上致シテ居ル次第デアリマス

○矢野委員 私人經濟計畫的ニ進ンデ行  
クナラバ、ヤハリ財政計畫的ニ進ンデ行  
クナラバ、從來ノヤウナ考ヘ方ノ財  
政計畫デハナクシテ、新シイ意味ニ於テ  
財政計畫ヲ立テナケレバナラス、斯様ニ考  
ヘテ居リマスルノデ、只今ヤウナ質問ヲ  
出シタヤウナ譯デアリマス、ソレカラ貿易  
ノ振興、海運ノ振興、民間航空ノ振興、科  
學ノ振興ト云ツタウナ項目ガ出テ居ルノ  
デスガ、此ノ各項目ニ付テ民間ノ對スル補  
助金ト云フモノハ幾ラニナウテ居ルカ、ソ  
レガ御分リニナリマシタラ數字ヲ一ツ此處  
デ讀ムガテ貴ヒタイト思ヒマス

○谷口政府委員 貿易ノ振興、海運ノ振興、  
民間航空ノ振興ト云フ風ニ此處ニ一括致シ  
テ居リマスル經費ノ中デ、補助金ノ分ダケ  
ノ集計ハ後デ集計致シテ見ナケレバ分ラナ  
イノデアリマシマスガ、差當リ御參考マデニ補  
助金ニ類スルモノヲ申上ゲテ見タイト思フ  
ノデアリマス、例ヘバ貿易ノ振興ニ關係致  
シマシテハ、商工省所管ニ於キマシテ、海  
外見本市參加費補助、貿易練習生育成費  
補助、輸出品包裝改善費補助ト云フヤウナ  
モノヲ計上致シテ居ルノデアリマス、其ノ  
他商品ノ輸出ノ販賣統制斂金ニ對スル補助  
等モ此處ニ計上サレテ居ルノデアリマス、  
ソレカラ海運ノ振興ニ關係シマシテハ、是ハ  
補助トシテ有力ナモノハヤハリ航路補助ノ  
増加ト云フノガ此處ニアリマス、其ノ他海  
員養成ノ補助ト云フモノモ近年ココ數年來  
續ケテ之ヲ行ツテ來テ居ルノデアリマス、  
其ノ他本年新タニ始メマシタモノト致シマ  
シテハ、タンク船、所謂「タンカー」ナルモ  
ノノ建造助成ニ要スル經費ト致シマシテ、  
約二百八十八萬圓ヲ計上致シテ居ルノデア  
リマス、ソレカラ民間航空ノ振興ト云フ中  
デ補助金等ノ關係ト致シマシテハ、航空獎  
助金ノ増加二十九萬圓、ソレカラ航空事業  
助成補助金ノ計上モアルノデアリマス、補  
助金關係ノミハ一括致シマシテ調査ノ上御  
答ヘテ致シタイト思フノデアリマス

○一松委員 矢野君宜シウゴザイマスカ  
○矢野委員 ソレ宜シウゴザイマス  
○一松委員 ソレデハ中島彌生君  
○中島(彌)委員 伊藤情報局長ニ對シマ  
シテ質問ヲ致シマス、オイデハナウテ居  
マスカ——是ハ總動員會議以來吾々ト  
ノ質問應答致シマシタ行掛リデアリマス  
シ、當時時間モ少カウタラノデアリマス、落  
ス點ガアリマシタガ、マダ情報局ノ方針ガ

國民ニ徹底シテ居ナイ、其ノ意味カラ致シ  
マシテ、十分ニ此ノ議場ヲ通ジテ徹底サシ  
テ置キタイ  
ソコデ第一ニ、言論統制ノ根本方針ハド  
ウ云フ方針デアリヤリナルノデアリマスカ、  
非常ニ吾々ハ迷フノデアリマシテ、御承知  
ノ通りニ、新聞紙ヲ見マシテモ、雜誌ヲ見マ  
シテモ、餘リ統制ガ徹底シ過ギルト申シマ  
スルカ、些末ナ點ニマデ干涉シ過ギルト申  
シマスルカ、要スルニ防諜ト云フコトト國  
民ヲ自覺サスト云フコトト聞、一ツノ  
調和點ガナケレバナラスト思フノデアリマ  
ス、餘リ何モ彼モ隱シテシマツテヤツテ居  
ルモノダカラ、國民ガ分ラナイノデ時局ヲ  
認識シナイ、時局ニ響應スルコトノ程度ガ  
少イト云フコトニナウテ居ル、又餘リ發表  
シテシマフト、防諜關係デ國家上支障ガ生  
ズル、ソコニ防諜ト國民ニ時局認識ヲ與ヘ  
ルコトト聞ニ於キマシテ、ドウ云フヤウ  
ナ方針デアラレルノデアリマセウカ、即チ  
此ノ言論統制ノ根本的ナ考ヘ方ハドウ  
御持チニナウテ居ルカ、是ガ一點デアリマス  
○伊藤情報局長 今中島君サシカカラ御質問ノ  
點ハ、一體情報局ノ言論ノ統制ニ對スル根  
本方針ハ何處ニアルカ、就中防諜ト云フ問  
題ト、國民ニ對シテ理解ヲ與ヘルト云フ問  
題ト聞シテ、ドウ云フ風ナ方針デアツテ居  
ルカト云フ御質問ダト解シマス、サウ云フ  
ヤウニ解シマシテ御答辯ヲ致シマス、言論  
統制ト申シマシテモ、情報局デヤツテ居リ  
マス方法ハ、理解ニ基キ協力ヲ御願ヒスル  
ト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマスノデ、  
言論界ニ對シマシテ協力ヲ御願ヒスルノ非  
常時局デアリマシマス、其ノ非常時局ヲ突

破スル爲ニハ國民ニモ一段ノ努力ヲ協力ヲ  
願ハナケレバナラナイト考ヘテ居リマスル  
ノデ、出來ルダケ此ノ時局ノ真相ヲ國民ニ  
理解セシメルコト云フコトニ努力致シテ居  
ルノデアリマス、唯只今モ御言ハツテ通り  
軍事外交ハ勿論、經濟財政ニ關シマシ  
テモ、機密ニ互ル事項ガ多イノデゴザイマ  
シテ、思フ通りニモ參リマセウカ、併シ努  
力ハ致シテ居リマス、デアリマスルカ  
ラ、先ツサウ云フ心構ヘデ言論界ノ協力ヲ  
願ツテ居ルノデアリマシマスガ、現在ノ難局  
ハ主トシテ國際情勢カラ參ルコトガ多イノ  
デアリマス、我が國ノ言論ガ外國ニ於キマ  
シテ國家ノ不利益ニナルト云フヤウナコト  
ノナイヤウニ、防諜ト云フコトト關係致シ  
マシテ、サウ云フ風ナ體制ニ言論界ガナツ  
テ載キタイ、斯ウ云フコトガ又必要デモア  
ルト存ジマシテ、サウ云フ意味デ言論界ノ  
協力ヲ願ツテ居ル次第デアリマス、方法ト  
方針ハ大體サウ云フ風ナコトデアリマス  
○中島(彌)委員 大體論トシテサウ云フ風  
ニ答ヘルヨリ外仕方ガナイノデアリマス  
ガ、總動員法ニ基キ勅令ニアルヤウニ、  
外交ニ關シテ重大ナル支障ヲ生ズベキ事項、  
財政經濟ニ關シテ重大ナル支障ヲ生ズベキ事  
項、ソレカラ其ノ他國策ノ遂行ニ關シテ重  
ナル支障ヲ生ズベキ事項ト云フヤウナコト  
ノ意義ハ、ドウ云フヤウニ御解釋ニナウテ  
居ルノデアリマシマス、此ノ間發布サレマシ  
テ私共拜見シタリマシマスガ、其ノ他國  
策ニ關シテ重要ナル支障ヲ生ズベキ事項ト云  
フト、非常ニ範圍ガ廣クナウテ參リマシテ、  
ドナナコトデモヤリ得ルコト云フ風ニ解釋  
サレルノデアリマシマスガ、ソコハドノ程度ニ  
限定スルノデアリ、ドノ程度ハ許スノデア

ルト云フコトノ、具體的ナコトヲ擧ゲテ指  
示シテ載キタイノデアリマス  
○伊藤情報局長 今中島君サシノ御尋ネ、  
外交、經濟ニ關シテ重大ナル支障ヲ生ズベキ  
事項、又ハ國策ノ遂行ニ關シテ支障ヲ生ズベ  
キ事項トアルガ、是ハ非常ニ廣イ範圍ニ互  
キ譯デアリマシマス、一體實際ハドウ云フ  
點ヲ考ヘナケレバナラヌカ、斯ウ云フ御質  
問ダト思ヒマスレドモ、勿論重大ナル支  
障ヲ生ズベキ事項ト申シマシテモ、是ハ比  
較的ノ問題デアリマス、私共ノ心構ヘト致  
シマシテハ、先列申シマシタヤウニ非常時  
局デアリマシマス、出來ルナラバ成ベク國  
民ニ時局ノ真相ヲ知ラセタイ、是ガ第一ノ  
原則デアリマス、隨テソレヲヤルノガ情報  
局ノ任務ダト思ヒマスガ、ソレガ只今申上  
ゲマシタヤウニ、此ノ難局ハ國際上カラ參  
ルニ於キマシテモ、國家ノ不利益ニナルヤ  
ウナ事項モ、成ベク限定シテ國民ニ之ヲ知  
ラスト云フコトガ本デアリマシマス、其ノ出  
來ル範圍ニ於テ之ヲ制限シテ參ツテ居ル次  
第デアリマス、一々ノ事例ハ其ノ場ノ場ノ  
色々問題ガ起リマスガ、方針ハサウ云フ方  
針デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス  
○中島(彌)委員 重要ナ國策ト云ヒマス、  
規定ノ解釋ガ、閣議ヲ決定シテ發表シタモ  
ノヲ言フノデアリマシマス、又此ノ内閣ナラ  
バ、近衛内閣成立當初ニ於テ、内閣ノ施政  
ノ方針トシテ發表シタコトヲ言フノデアリ  
マス、又此ノ議會ニ於テ施政方針ノ演說  
ノ如キ内容ガ盛り上ゲタモノヲ言フノデア  
リマシマス、サウデハナクシテ、從來ノ精  
神ニ於テハ、大政翼賛會ノ國民精神指  
導部アタリデ、是ガ國策ダト云フ、所

謂國策ノ線ニ沿ウテヤルヤウナ、消費節約  
ト云フヤウナ輕イ意味ノコトマデモ尙ホ其  
ノ中ニ含メルノデアリマシマス、其ノ場合  
合ニ依ツテ、又省々々省議ヲ決定シテ、各  
方針ガアルヤウニ思フノデアリマシマス、ソ  
レ等モ含メルノデアリマセウカ、又何トナ  
ク空氣ガ出來テ來テ、一體ニ國策トシテ斯  
ウ云フ方向ニ進マナケレバナラス、南進ナ  
ラ南進ニ皆々進メト云フ空氣ガ、國民全體  
ニ澎湃トシテ起ツテ來タ時、南進ト云フ  
コトハ、何等關議ヲ決定シタモノデモナケ  
レバ、省議ヲ決定シタモノデモナケレバ、議  
ノ施政方針ノ演說ニ於テ露ヲタモノデモナイ、  
兎モ角、南進論トカ、北進論トカ、大陸經營  
トカ、大陸進出トカト云フ、色々ノ國民的ナ  
聲氣カラ出テ來タモノモ、重要ナ國策ト云  
フノデアリマセウカ、唯重要ナ國策ト云フ  
ケデ、而モ之ヲ一々取捨ツテ行クト云フ、  
其ノ定義ガ分ラナイ、其ノ點ニ付テハドウ  
御考ヘニナウテ居ルノデアリマセウカ、  
具體的ノ事實、斯ウ云フ場合ハ重要ナ國策ト  
言フノダ、斯ウ云フ場合ハ重要ナ國策ト云  
ハスノダト云フ範圍ヲ一ツ示シテ置キタイ、  
吾々方演說スルニ付テモ、ヤハリ間接的ニハ  
實ハ吾々方雜誌ニ書クニシテモ、新聞ニ書  
クニシテモ、皆其ノ範圍ガ分ラナイデ困ツ  
テ居リマス、一々原稿ヲ書イテ見テ貰ヒニ  
行カナケレバナラヌト云フヤウナ政府ノヤ  
リ方ハ甚ダ困ル、實ニ項末ナコトマデ取捨  
ヤリ過ギテ居ル、其ノ實例ヲ舉ゲレバ、前  
米内内閣ノ末期ニ於テ、某新聞ガ某氏ヲ貴  
族院議員ニ推薦スルダラウト書イタ所ガ、情  
報局デハ之ヲ差止メタ、餘リニ不當ナコト



デアルト云フテ、其ノ新聞記者ハ憤慨シテ居ツタリマスガ、何ガ重要ナ國策ガカ、其ノ限界ガ分ラナイ、故ニ其ノ限界ヲ一ツハツキリシテ載キタリ

○伊藤政府委員 今ノ中島サンノ御質問ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、私ノ御答ヘ出来ル範圍デ御答ヘ致シマス、重要ナ國策ト云ヒマシテモ、實ハハツキリシテ決定義ヲ與ヘルコトノ非常ニ困難ナコトデアリマスコトハ、中島君モ萬々御承知ノコトダラウト思ヒマス、私共ハ大體政府ガ重要ナル政策ト考ヘテ居ルモノヲ重要ナル國策ト解シテ居リマス、隨テ全般カラ申シマス、大體現内閣ガ組織サレマシテ、根本國策ト決定致シマシタコト、其ノ中モ段々ト政府ガ順次ソレヲ實行致シマスカラ、サウ云フモノヲ實行致シマスコト、即チ大體閣議ノ決定シタ方針デアリマスモノヲ重要ナル國策ト致シマシテ、其ノ點カラ色々ナ事ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、其ノ他色々ノ問題ガ例示サレマシタガ、是ハ或ハ學問上カラ言ヘバ机上ノ國策カモ存ジマセズガ、政府ガ自ら考ヘテ重要ナル國策ト決定シタモノ、即チ閣議以來考ヘマシタ根本國策、其ノ中デ實行シテ行クモノ、即チ形式ハ大體閣議ノ決定シタモノデアル、斯ウ云フ風ナコトデアツテ居リマス、是モ今申シマシカシイノデ、時ニ例外ガアルカモ知レマセズ、今モ申シマシタヤウニ、非常ニ難カシイコトデアリマスガ、出来ルダケサウ云フ線ニ沿ウテヤツテ居ル現状デアリマス

ノ範圍内デ重大ナル支障ヲ生ズルト云フノデアルカラ、重大デハナクテ、少々工合ガ悪クテモ構ハスト、云フ點ハ見逃スト云フコトニヤツテ貰フヤウニシナケレバナラヌ、今ノ情報局ノヤリ方デハ、新聞紙ナリ、雜誌ナリ、ヲ國民ガ殆ド信ジナイ、別ニ國民ガ金ノ要ヲ新新聞ノ作ツテ居リマス、ソレハ何カト云フト流言蜚語ノデアル、口カラ耳ヘ傳ヘル新聞デアル、是ガ非常ニ發行サレテ、而モ其ノ發行紙數ガ非常ニ高ガ上ツテ、而モ其ノ速力ハ非常ニ勢ヒデ北海道カラ沖繩縣マデ傳ハルト云フヤウナコトデアル、餘リニ防諜ニ因ハレ過ギテ、國民ガ國民ノ新聞ヲ一ツ作ラナケレバナラヌコトニナツテ來テ居ル、何處ヘ行ツテモ今日程流言蜚語ガ多イコトハナイ、ソレハ實ニ恐ルベキモノガアルノデアリマスカラ、少シハ時局ノ眞相モ知ラセナケレバナラヌ、私共絶エズ多數ノ民衆ニ接シテ居ルコトカラ考ヘテ見マス、政府ノ方針ガ何處ヘ行ツテ居ルカ、ドウ向イテ行クノデアラウカ、國民ガドウナルノダラウカ、少シモ分ツテ居ナイ、日刊新聞ハ一番之ヲ言ツテ與レナケレバナラヌノダガ、ソレハ情報局ガ中々許サナイ、ダカラ國民ノ新聞ガ出來テ來ル、ソレハ流言蜚語デス、此ノ流言蜚語ハ日清、日露ノ戰役ヲ通ジテ今日程ヒドイコトハナイ、此ノ流言蜚語ノ撲滅策ト致シマシテハ、思ヒヲ致シテ致サレタイ、情報局總裁ト致シマシテハ、外國ノ事例ニモ十分御通ジニナツテ居ルコトデアリマセウガ、世界ノ中デ一番流言蜚語ガヒドイノハ、「ロシヤ」、「ドイツ」デアルト聞キマシタガ、「ロシヤ」、「ドイツ」流言蜚語モ言ヘヌヤウニナツテシマツテ、此ノ間ノ新聞ヲ見マス、飯ヲ食ベル時デ

モ、家ノ周圍ニ「ゲール・ウー」ハ來テ居ヤセスカト云フコトヲ調ベテ置イテ、一家團樂ノ食事ヲシテ歡談スルト云フコトモ、新聞ニ載ツテ居リマシタガ、サウ云フ風ニナツテ來マシタナラバ、國民ハ甚ダ退嬰スル、是ハ重大ナルコトデアリマスカラ、私ハ是非其ノ點ニ付キマシテハ十分御一考サレンコトヲ希望致シマス、國民ヲシテ所謂見エザル新聞ヲ作ラセヌヤウニ、新聞紙ヲ通ジテ國民ヲシテ、此ノ重大時局ヲ認識サセル、其ノ本ヲ根本方針トシテ十分ニヤツテ貰ヒタイ、ソレカラ次ニハ新聞紙及ビ雜誌ノ統合ノ方針ハドウ云フ風ニヤツテ居ルカ、是ガ分ラナイ、現在ノヤリ方デハ、言論ノ節約ガ目的カ、紙ノ節約ガ目的カ分ラナイ、之ヲ聽キタイ、紙ノ節約ガ目的カ分ラナイ、現在ニ於キマシテ、小サイ新聞ヲウント廢止シテ澤山ノ犧牲ヲ出シテ居ル、併シ紙ハ餘リ節約サレテ居ナイ、言論ノ節約ガ目的カ、ソレハ其ノ目的ハ達スルデアリマセウガ、是ハドウ云フ方針デアツテ居ルノデアルカ、紙モ大切デアリマス、澤山ノ日刊新聞ハ澤山ノ紙ハ承知ガ出來ヌヤウニナツテ居ルコトモ私ハ承知シテ居リマスガ、何處ガ一體新聞雜誌統合ノ方針デアツテ居ルノカ、其ノ方針ヲ聽キタイ、モウ一ツハ縣々デ非常ニ區々バラバラ、縣々依リマシテハ實大ナ縣モアレバ、嚴シイ縣モアル、私ノ調べタ甚シキ縣ニ至リマシテハ全部ノ新聞ヲ統合セイト云フ命令ヲ出スガ、出シテ置イテ愚圖々々シテ居ツタラ別ニ新聞社ヲ拵ヘテ、縣廳カラ行ツテ編輯シテ、サア來イ、廢メテ統合シテ來イト云フコトヲヤツテ居ル縣モアル、ソレカラ十幾ツアツタ新聞ヲ一ツニシテ置イテ、

○伊藤政府委員 今中島サンノ御質問ノ主ナル點ハ新聞雜誌ノ統合ヲヤツテ居ルカ、一體ドウ云フ方針デアツテ居ルノカ、斯ウ云フ御質問ダラウト思ヒマス、ソレニ對シテ簡單ニ申上ゲマス、實ハ從來新聞雜誌ノ統合ハ政府ノ機關デアリマスルガ、内務省ノ主管デアリマシタノヲ、昨年ノ十二月七日カラ私ノ方ニ所管ヲ移轉シマシタ、デアラシテ方針ハ變リマセズ、從來内務省ノ方針デアツテ居ラレタコトヲ聞ク所ニ依リマスルト、私モソレニ同意デアリマス、ソレガ政府ノ方針デアリマス、要スルニ新聞ガ

公的機關トシテ完全ナル機能ヲ發揮スルヤウニト云フ方針ヲ統合ナシカヤルコトト解釋致シマスガ、私モ大體サウ云フ線ニ沿ツテヤツテ行キタイト思ツテ居リマス、隨テ方法ニ關シマシテモ内務省デアツテ居ラレル時モ、又將來ヤリマス時モ其ノ關係者ト話合ヒラシテ、理解シタ上デサウ云フコトヲヤリタイ、ヤツテ行クト云フ方法ニ出タイト思ツテ居リマス、マダ現在ハソレ以上實際ノコトハヤツテ居リマセズガ、將來必要ガアリマシタナラバサウ云フ方針ト、サウ云フ方法デアツテ行キタイト考ヘテ居リマス

對スル統合ノヤリ方ヲ見マス、下請工業ガ倒レナケレバナラヌコトニナレバ、主人ガ「スリーピング・コミッション」ヲヤツタリ、或ハ失業手當ヲヤルトカ、或ハ大キナ工場ニ労働者ヲ收容シテヤルトカ、或ハ整理サレタ方面ノ小サイ會社ハ大キナ會社ガ相當ニ買收シテヤルトカ、色々ナ方法ヲ執ツテ居ルノデスガ、新聞雜誌ノ方モソレト同一ノ方法ニ出クラドウデセウカ、生産スル者ハ利益ガ擧グテ來ルカラ、倒レル者ハ利益ガ少ナル、倒レル者ハ路頭ニ迷ハナケレバナラヌ、ソレハ儲カル方ガ損ヲシテ居ル方ヲ抱イテヤルトカ、若タハ政府デ補償金ヲ出シテヤルトカ、他ノ事業ノ整理統合ノヤリ方トモモ歩調ヲ一ニシタラドウデゴザイマセウカ、サウナル犧牲者ガ少ナツテ宜クハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、相當各縣ヲ通ジテ言論界ニ從事シテ居ツタ所ノ犧牲者ガ數々出テ來ツツアル、是ハ成ベク抱カシテ行ク、イカヌ所ハ政府カラ「スリーピング・コミッション」ノヤウナモノヲヤルトカ、失業手當ヲ出シテヤルトカ、他ノモノハ更生金庫モ出來テ、中小商工業者ニハヤツテ居ル、然ルニ斯ウ云フモノハ全然放リパナシニシテ居ルノハ、是ハ片手落デハナイカト思ヒマスガ、其ノ救済方法ニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマセウカ

○中島(彌)委員 最後ニ伺ヒタイト思ヒマスコトハ、今マデ陸軍省、海軍省、内務省、外務省、大藏省ト云フヤウナ所ノ宣傳ト云フモノヲ集メテ來テ一ツノ情報局ニシタ、近衛總裁ノ組織ノ方針ニモ此ノコトヲ聽ツテアリマセウカ、實際ノ事務ノ運用トシテドンナモノデセウカ、私ハ外務省ノ宣傳メコトヲ情報局ノ總裁ガヤルノニハ、外務省ニ居ツテ、各局長ノ次官トモ接シ、事務ニ與カツテ毎日見テ居ラナケレバ、拜イ所ニ手ノ届クヤウナ宣傳ガ出來ヌ、デヤナイデセウカ、殊ニ財政、經濟ノ如キハ、情報局ノ五百万圓ニ近イ豫算ノ中ニハ、財政、經濟ニ關スルコトニ付テハ大藏省カラ誰モ行ツテ居ナイヤウニ見ラレル、新聞界カラハ「ス界」「オーソリティー」デアル久富君アツリガオイデニナツテ居ツテ、其ノ消息ハ能ク分ツテ居リマセウ、又外務省ノ方ハアナタガ分ツテ居リマセウケレドモ、一番今日大切ナデアル、國民ニ理解セシメナケレバ、イカヌ點ガ澤山アル、大藏省カラ誰カ行ツテ居ツテ、大藏省ニ毎日居ツテ、局長ノ次官トモ接シ、其ノ仕事ヲ味ハツテ居ナケレ

バ、拜イ所ニ手ノ届イタ宣傳ガ出來ナイノデアリマセウカ、殊ニ情報局内ニ於テ、例ヘバ公債消化ノ問題ニ付テモ、餘程研究シテ居ナケレバ公債消化ガ何チラハ分ラヌ、ソレヲ各省ニアツタモノヲ一ツニ集メテ來テヤル、此ノ機能自體ガ效力ヲ發揮シ得ベキ機能デアリマセウカ、私ハ是非非常ニ疑問ヲ持ツテ居ルノデス、其ノ省々ニ各情報官ミタヤウナモノヲ置イテコソ、情報宣傳ト云フモノガ一番有效適切ニヤレルノデアリカト思フ、各省ニアツタモノヲ集メテ來テ、ソレデ宜ササウニ思フケレドモ、實際ノ效力ハ五百万圓近イ金ヲ使ツテ、ドレダケノモノガ國民ニ知ラシメ得ルデアラウカ、外務省ノ方ハアナタガ長イ間外國ニ居ツタカラ、外交關係ノコトハ御分リデセウガ、併シ外務省ヲ離レテ居レバ外務省ノコトハ中々分リニクナルノデス、各省共今日ノ仕事ハ非常ニ専門ニナツテ行キ居ル、又民衆ニ影響スベキ所ハ澤山アル、是等ノ問題ニ關シマシテ、色々ナ方面デアツテ居ツタノヲ、新體制ト云ヘバ、唯單ニ何モ破モ整理統合シテ行ケバ宜イト云フ考ヘノ下デ、一ツノモノニ集メテ出來タ情報局デアツタナラバ、其ノ性能ヲ發揮スルコトハ出來ナイ、此ノ邊ニ關シマシテ、總裁ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ、部分ノ各都道府県方ガ出來ルノデアリカト云フコトヲ私共ハ感じルノデアリマセウカ、若シ此ノ方法ガ良ケレバ、大藏省デアツテ居ル貯蓄獎勵モ、是モ一ツノ宣傳デアリマセウカ、ソレモ其ノ方ニ持ツテ行ツテ宜イデアリカト、大藏省ニ一局ヲ作ツテ置ク必要ハナイデアリカト云フ議論モ起ツテ來ルガ、是ハヤハリ











銀行が出来マシタ時ニ、今後華興商業銀行ヲ如何ニスルカト云フ點ハ、華興商業銀行ノ今日マデ持ツテ居リマシタ所ノ發行權ト云フモノハ儲蓄銀行が出来マシタ時ニカクナリマシタ、今後ハ華興商業銀行ト云フモノハ發券銀行デアリマセヌデ、普通ノ一般銀行、主トシテ貿易ニ當ル方面ノ機能ヲ發揮スル一般銀行トシテ殘スコトニナツテ居リマス。

○中島(彌)委員 ソレカラ軍票ト新法幣トノ關係  
○竹内(新)政府委員 現在華興商業銀行券ハ五百万元ノ發行ヲ見テ居リマス、サウシテ軍票ト新法幣トノ關係ハ、軍方作戰行動ヲ取ツテ居ル以上、或ル地域ニ於ケル軍票使用ト云フコトハ已ムヲ得ナイと思ヒマシテ、軍票ハ從來通り其ノ儘使用スルコトニナツテ居リマス。

○中島(彌)委員 將來ハドウデアリマスカ  
○竹内(新)政府委員 將來モドノ程度マデ軍票ヲ維持サレ、或ハ新法幣ト云フモノガドレダケ流通スルカト云フ點ハ、今日ノ所車變ノ進展ニモ關係ガアルコトデアリマスカラ、一寸申上テ發券メカ、ソレカラ華興商業銀行トノ關係ニ付キマシテハ、先程申上テマシタ程度ノ通貨ガ現在發行サレテ居リマスガ、多少從來ノ傾向トハ變ツテ、普通銀行ト云フ建前ニナリマスノデ、其ノ通貨ハ漸次新法幣ニ依ツテ回收サレルコトトナリマス。

○中島(彌)委員 軍ノ行動ノアル間ハ軍票ハ發行サレテ行クノデアリマセウガ、軍ハ新法幣ハ使ハヌノデスカ、ドウデスカ、軍票ダケヲ使ハナイデ、新法幣ニ付テハ軍方之ヲ普及サスヤウナ工合ニシテ、軍票ヲ使

ハ相場カラ言ヘバ「シリリング」ニ「ペン」ス「デ」宜イ、「ドル」デ言フト「二三」ドル「デ」アツタカニ決メテ、詰リ「シリリング」ニ「ペン」ヲ換算シテ「ペン」ヲ爲替相場デヤツテ行クノデアリマスガ、其ノ範圍内デ價值維持ヲシテ行ケバ宜イノデアリマスガ、詰リ「シリリング」ノ國際市場ニ於ケル程度ノ價值維持デ宜イノデアリマスガ、ソレトモ單ニサウチヤナクテ、軍票ノ舊法幣ニ對スル價值ヲソレ以上ニ維持シテ行クテ宜イコト云フノデアリマスガ、又舊法幣ガ下レバ軍票モ下ツテ行クテ宜イカ、其ノ點ニ於テ物資ノ裏付ケ關係ガドウナツテ居ルノデアリマスガ、ソコノ程度デス、一體軍票ト云フモノガドウノ程度デ價值維持シテ行クカ、價值ノ物差ガナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ物差ハ何處ニ求メテ居ルノデアリマス、カ、ソレガ今ノ御説明デハ一寸分リナクイ、大事ナコトデアリマスカラ……

○竹内(新)政府委員 軍票ハ本來「シリリング」デアリマスガ、圓ノ對外價值ト同ジヤウナ意味ニ於テ價值有スルコトガ理想ト思ヒマス、併シ上海ニ於ケル軍票ノ現狀ニ於キマシテハ、必ズシモサウナツテ居リマセウガ、併シ軍票ニ新法幣トノ關係ニ付キマシテハ、新法幣ト云フモノハ大體舊法幣ノ

出ア出来ルダケ少クスル、固ヨリ我が現狀ニ於テ對シ必要ナ、我が經濟開發ニ必要ナ資金ハドウシテモ送ラナケレバナラヌノデアリマスガ、不要不急ノ資金ハ出来ルダケ節約スルコト云フ方針ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、又先程申シマシタヤウニ、渡航者ノ制限ヲ致ストカ、日本カラノ資金ノ放出ヲ出来ルダケ少クスルコトニ努メマスト同時ニ、他方日本カラ北支ニ參リマス物資ヲ出来ルダケ多ク致シマス、是モ内地ノ狀況カラ、ドウシテモサウ自由ニ送ルコトノ出来ナイモノデアリマスケレドモ、一般物資ニ付キマシテハ、北支ニ對スル物資ノ供給ヲ出来ルダケ多クスルヤウニ計畫ヲ立テマシテ努力シテ居ル次第デアリマス、日本側ト致シマシテハ、サウ云フヤウナ工作ニ依リマシテ聯銀券ノ不當ナ膨脹ヲ防止スルヤウニ努メテ居ル次第デアリマス、次ニ收縮ノ問題ニ付キマシテハ、私共ノ見テ居ル所ニ依リマスレバ、今日ノ聯銀券ハ北支ノ治安回復、其ノ他經濟活動ノ回復等ノ實情ニ應ジテ居ル發行高ヲ持ツテ居ル、現在ノ發行高ハ決シテ適當ノモノデハナカラウト大體見テ居ルノデアリマス、ソレデ私共ノ方針ト致シマシテハ、此ノ膨脹ヲ寧ろ防止スルコト云フ所ニ眼目ヲ置イテヤツテ居ル次第デアリマス。

○中島(彌)委員 大臣ニ御尋ネ致シマスガ、ソレハ東亞共榮圈内ニ於ケル通貨ノ問題デア、詰リ物ノ關係ニ於テ英米ノ支配ヲ脱スルコト云フコトニ付テハ、商工省其ノ他ノ方面ニ於テモ極力輸出入貿易ノ調整ヲヤツテ居ル、ソレト同時ニ物ト表裏一體ノ關係ニナツテ居ル金、換算スレバ「ドル」ノ支配ヲ如何ニシテ脱スルカ、之ニ付テモ出来ルダ

地域ニ伸展スルモノデアリマシテ、軍票ハ軍票獨自ノ地域ニ今ノ流通シテ居リマシテ、其ノ地域ニハ恐ラク新券ト云フモノガ直チニハ入ツテ行カナイと思ヒマス、隨テ直チ軍票ト新券トノ間ノ交換ト云フ問題モ、勿論大體ハ認メテハ居リマセヌノデ、直チソコノ關係ヲ直接ニ捉ヘテ、價值維持ノ問題ヲ考ヘナクテモ或ハ宜イノデヤナイカト思ヒマス。

○中島(彌)委員 最近現地カラ歸ツタ人ハサウ言ツテ居ナイノデス、私等ノ報告ニハ……一定ノ占領地域ガアツテ、占領地域ト蔣介石政府ノ範圍内ニアル所トガ交錯シテ居ル所ニ於キマシテハ、蔣介石ノ軍隊ガ來タラ舊法幣ヲ使ツテヤル、一方ガ來タラ新法幣ヲ以テヤル、又日本軍ガ來タラ軍票ヲ使ツテヤルト云フヤウニナツテ居リマシテ、通貨ヲ三ツ持ツテ居リマス、サウ云フ例ガアリマス、支那人ノ間ニハ軍票ト新法幣ト舊法幣ト皆相場が出来テ居ル、皆相場ヲチヤント持ツテ居ル、コンナ理窟ヲ言ツテモ仕方ガアリマセヌガ、ソコデ根本的ノ價值維持ヲドウスルカ、中々支那人ハ貨幣價值ノ變動ニ依ツテノ金儲ケガ上手デアリマスカラ、アナタガ言フヤウニ軍票ノ區域ト、新法幣ノ區域ト、舊法幣ノ區域ト、チヤントサウ決メラレルモノデアリマセウガ、舊法幣ノ區域ニ持ツテ行ク新法幣ヲ出サウトシテモサウハ行カナイ、軍票ノ區域ニ舊法幣モ來レバ、新法幣モ來ル、又軍票ガ舊法幣ノ區域ニモ行クノデアリマス、ソコニ貨幣價值ノ變動が出来テ來ル、ソコデ軍票ノ出シ方ニ依ツテハ重クモノナツテ來レバ輕クモノナツテ來ルト云フコトニナツテ居リマスノデ今理財局長ガ御話ニナツタヤ

ケ努力シナケレバイカヌガ、東亞共榮圈内ノ自給自足範圍ニ於テ「ドル」ノ支配ヲ脱スルコト云フ方法ニ付テ、是カラ先々東亞共榮圈内ノ通貨ノ問題ヲドウ云フヤウニ御立テニナル御考ヘデアリマセウカ、「ドル」ノ支配ヲ一日モ早ク脱スルコト云フコトニ方針ヲ向ケテ行カケレバナラヌガ、是ハ容易ナコトデハナイデセウ、世界的ニ大キナ力ヲ持ツテ居ル「ドル」ノ支配ヲ成ベク脱スルヤウニシタイト云フコトノ一端トシテハ政策デモ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウカ、換言スレバ、東亞共榮圈内ニ於ケル通貨政策ノ問題ニナリマスガ、之ニ對スル具體的ノ御考ヘトシテハドウ云フ御考ヘヲ御持チデアリマセウカ、昨年十二月ニ於ケル蘭印トノ資金協定ノ問題、即チ爲替協定ト云フカ、圓デ決済スルヤウナコトモ其ノ一端カト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハ後テ事務當局ニ御伺ヒ致シマス、斯様ニ蘭印ニ於テ昨年十二月ニ圓資金決済スルコト云フ資金協定ヲサレテ、二百萬「ギルダー」マデハ圓デヤリ、四百五十萬圓マデノ間ハ「パータイ」デヤツテ、ソレ以上ニナツテカラ「ドル」デヤルト云フヤウニ色々細カク決メラレタヤウダガ、サウ云フヤウナ方針ハ、「タイ」國及ビ佛印ニモ此ノ關係ヲ及ボシテ、「オン」ロンドン、「オン」ニューヨーク」デアツタモノヲ、成ベク東京、大阪拂ト云フヤウニ爲替ノ關係ヲ向ケテ行キ、貨物取引モ隨テ之ニ依ツテ相互ノ自給自足關係ヲ濃厚ニサセルト云フヤウナ方向ニ持ツテ行ク御考ヘデアリマセウカ、物資對策ト表裏一體ノ通貨對策ニ付テドウ云フ御考ヘデアリマセウカ、國民齊シク此ノ問題ヲ知リタイと思ツテ居リマスノデ、大臣ノ御考ヘダケヲ御知

ウナ工合ニハ現地ノ方デハ行ツテ居ナイ、モウチヤント相場が出来テ居ル、ソコデ軍票ヲ何處デ維持スルカ、爲替相場ノ「シリリング」ニ「ペン」ス「デ」維持スルノデアリト云フナラバ、今ハサウナツテ居ナイ、二「三」「ドル」何分ノ「カノ」「ドル」デ維持スルト云ウタガ、ソレニモナツテ居ナイ、サウスルト物ヲドレ位持ツテ行クテ宜イカ、維持ノ方法如何ニ依ツテハ、物ヲ持ツテ行クベキ一ツノ限度ガハツキリシテ來ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ先程カラ事務當局ト話シテ居ルノデアリマスガ、ドウモ一寸要領ヲ得ナイ點ガアリマス、大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ、是ハ大事ナ點デアリマスカラ、御答辯數ケレバ洵ニ結構デアリマス。

○宇佐美政府委員 只今ノ御質問ニ大體大臣ノ御命令ニ依リマシテ御答ヘ致シマス、法幣ノ實際上ノ價值ノ標準ト致シマシテ、固ヨリ法規ノ規定ト云フモノハナイノデアリマスガ、實際上大體現在ノ相場、即チ法幣ニ對シテ六十圓見當ノ所、之ヲ維持スルコト云フ希望デゴザイマス、併シ法幣ノ價值ガ變動致シマスル場合ハ、固ヨリ更ニ考慮スルト云フコトモアラウト思ヒマス。

○河田國務大臣 大體選レマシテ途中カラ伺ヒマシタガ、大體斯ウ云フコトガラウト思ヒマス、軍票ノ價值維持ノ標準ハ何處ニアルカ、ソレヲ維持セシガ爲ニハ幾ラノ數量ノ物資ヲヤツタ宜イカト云フコトト考ヘマス、第一ノ軍票ノ價值維持ノ標準ハ、軍票ハ四「バー」ナノデアリマスカラ、「シリリング」ニ「ペン」ス「デ」デアリマス、ソレ以上ハ申上テラレマセウ、ソレカラ第一ノソレヲ維持セシガ爲ニハ幾ラノ物資ガ要ル

カト云フ計算ハ、現地調辨ノ物デアリマス、シ、相當ノ物資ヲ要スルコトト思ヒマスガ、是ハ一寸今ノ地位ルカ調ベタモノヲ持ツテ居リマセウカラ申上テ發券メカ、併シ直接開キニナツテ居ル譯デアリマス、併シ直接新法幣ト軍票トハ交換シナイコトニナツテ居リマス、其ノ點ハ多少趣キヲ異ニシテ居

カト云フ計算ハ、現地調辨ノ物デアリマス、シ、相當ノ物資ヲ要スルコトト思ヒマスガ、是ハ一寸今ノ地位ルカ調ベタモノヲ持ツテ居リマセウカラ申上テ發券メカ、併シ直接開キニナツテ居ル譯デアリマス、併シ直接新法幣ト軍票トハ交換シナイコトニナツテ居リマス、其ノ點ハ多少趣キヲ異ニシテ居

出ア出来ルダケ少クスル、固ヨリ我が現狀ニ於テ對シ必要ナ、我が經濟開發ニ必要ナ資金ハドウシテモ送ラナケレバナラヌノデアリマスガ、不要不急ノ資金ハ出来ルダケ節約スルコト云フ方針ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、又先程申シマシタヤウニ、渡航者ノ制限ヲ致ストカ、日本カラノ資金ノ放出ヲ出来ルダケ少クスルコトニ努メマスト同時ニ、他方日本カラ北支ニ參リマス物資ヲ出来ルダケ多ク致シマス、是モ内地ノ狀況カラ、ドウシテモサウ自由ニ送ルコトノ出来ナイモノデアリマスケレドモ、一般物資ニ付キマシテハ、北支ニ對スル物資ノ供給ヲ出来ルダケ多クスルヤウニ計畫ヲ立テマシテ努力シテ居ル次第デアリマス、日本側ト致シマシテハ、サウ云フヤウナ工作ニ依リマシテ聯銀券ノ不當ナ膨脹ヲ防止スルヤウニ努メテ居ル次第デアリマス、次ニ收縮ノ問題ニ付キマシテハ、私共ノ見テ居ル所ニ依リマスレバ、今日ノ聯銀券ハ北支ノ治安回復、其ノ他經濟活動ノ回復等ノ實情ニ應ジテ居ル發行高ヲ持ツテ居ル、現在ノ發行高ハ決シテ適當ノモノデハナカラウト大體見テ居ルノデアリマス、ソレデ私共ノ方針ト致シマシテハ、此ノ膨脹ヲ寧ろ防止スルコト云フ所ニ眼目ヲ置イテヤツテ居ル次第デアリマス。

○中島(彌)委員 大臣ニ御尋ネ致シマスガ、ソレハ東亞共榮圈内ニ於ケル通貨ノ問題デア、詰リ物ノ關係ニ於テ英米ノ支配ヲ脱スルコト云フコトニ付テハ、商工省其ノ他ノ方面ニ於テモ極力輸出入貿易ノ調整ヲヤツテ居ル、ソレト同時ニ物ト表裏一體ノ關係ニナツテ居ル金、換算スレバ「ドル」ノ支配ヲ如何ニシテ脱スルカ、之ニ付テモ出来ルダ

ケ努力シナケレバイカヌガ、東亞共榮圈内ノ自給自足範圍ニ於テ「ドル」ノ支配ヲ脱スルコト云フ方法ニ付テ、是カラ先々東亞共榮圈内ノ通貨ノ問題ヲドウ云フヤウニ御立テニナル御考ヘデアリマセウカ、「ドル」ノ支配ヲ一日モ早ク脱スルコト云フコトニ方針ヲ向ケテ行カケレバナラヌガ、是ハ容易ナコトデハナイデセウ、世界的ニ大キナ力ヲ持ツテ居ル「ドル」ノ支配ヲ成ベク脱スルヤウニシタイト云フコトノ一端トシテハ政策デモ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウカ、換言スレバ、東亞共榮圈内ニ於ケル通貨政策ノ問題ニナリマスガ、之ニ對スル具體的ノ御考ヘトシテハドウ云フ御考ヘヲ御持チデアリマセウカ、昨年十二月ニ於ケル蘭印トノ資金協定ノ問題、即チ爲替協定ト云フカ、圓デ決済スルヤウナコトモ其ノ一端カト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハ後テ事務當局ニ御伺ヒ致シマス、斯様ニ蘭印ニ於テ昨年十二月ニ圓資金決済スルコト云フ資金協定ヲサレテ、二百萬「ギルダー」マデハ圓デヤリ、四百五十萬圓マデノ間ハ「パータイ」デヤツテ、ソレ以上ニナツテカラ「ドル」デヤルト云フヤウニ色々細カク決メラレタヤウダガ、サウ云フヤウナ方針ハ、「タイ」國及ビ佛印ニモ此ノ關係ヲ及ボシテ、「オン」ロンドン、「オン」ニューヨーク」デアツタモノ

ヲ、成ベク東京、大阪拂ト云フヤウニ爲替ノ關係ヲ向ケテ行キ、貨物取引モ隨テ之ニ依ツテ相互ノ自給自足關係ヲ濃厚ニサセルト云フヤウナ方向ニ持ツテ行ク御考ヘデアリマセウカ、物資對策ト表裏一體ノ通貨對策ニ付テドウ云フ御考ヘデアリマセウカ、國民齊シク此ノ問題ヲ知リタイと思ツテ居リマスノデ、大臣ノ御考ヘダケヲ御知

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第二回 昭和十六年一月三十一日



ラセ載ケバ、國民モ今言ツタヤウナ場合ニ、圓系通貨ハ相當滿洲ノ中央銀行或ハ中...

○河田國務大臣 私モ中島サンノ御考ヘト同様デアリマス、東亞共榮團ニ於キマシテ...

ハ、是レ即チ同時ニヤハリ爲替決濟等ニ付テ...

○石坂委員 豫備金支出ニ付キマシテハ、第二豫備金ハ豫算外ノ費用デアリマス...

○谷口政府委員 大政翼賛會ニ於テハ、十二月二十日ニ之ヲ出シタノデアリマス...

タ、此ノ點ハ全クナイノデアリマシテ、大政翼賛會...

成ツテ居リマシテ、マダ調ベ中デ資料ガ出...

○石坂委員 翼賛會ノ性格等ニ付キマシテハ...

シテ政府ガ專斷ニ補助ヲナサルコト云フコト...



地方長官ノ意向イタ所ニ、ドンナ事ニデモ補助ヲサレト云フコトニナリマス、非常ナ弊害ガ伴フト考ヘマス、若シ地方ニ於テサウ云フ經費ガ支出サレテ居ル——勿論十六年度ノ四月一日カラデゴザイマセウガ、昨年決議サレタ府縣會ニ於テ、サウ云フ補助金ヲ出シテ居ルヤウナコトガアリマシタナラバ——若シ政府ニ於テ大政翼賛會ノ性格ガ分ツテ來マシタナラバ、政事團體ニ決ツテ居ルモノニマデ補助ヲ出スト云フコトハ、政府ニ於テ御差止メニナルコトガ本筋ト思ヒマスガ、之ニ對スル財政監督ノ地位ニ居ラレル大藏大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ、之ダケ伺ヒマス

○河田國務大臣 石坂君ノ御質問ノ前提タル地方費ヲ使ツテ居ルカ否カ、私實ハマダ同ツテ居リマセス、大藏省モ成程地方財政ヲ監督致シテ居リマスケレドモ、直接其ノ衝ニ當ツテ居ル内務當局カラ能ク承リマシテ御答ヘヲ致シマス

○石坂(豊)委員 マダ伺ヒタイコトハアリマスケレドモ、私モ是カラ用ガアリマスカラ、是デ質問ヲ止メテ置キマス、要スルニ地方ニ於テ支出ヲ濫用スルト云フコトハ極メテ宜シクナイコトデアリマスカラ、其ノ點ニ於テ賢明ナル大藏大臣ハ宜シク嚴格ナル處置ヲサランコトヲ要望致シテ置キマス

○一松主査 本日はニテ會議ヲ終リマス、而シテ質疑ハ終了致シタノデアリマスカラ、明日ハ午後一時ニ開會致シマシテ、豫算各案ニ對スル討論採決ノ運ビト致シタイト思ヒマス、本日はニテ散會致シマス  
午後五時二分散會

昭和十六年二月一日印刷

昭和十六年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第一類第四號

(四四)

第七十六回帝國議會 豫算委員第三分科(大藏省)會議錄(速記)第三回

會議

昭和十六年二月一日(土曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 主査 一松 定吉君  
川崎 克君 中島彌次君  
西川 貞一君 木暮武太夫君  
小笠原三九郎君 森田 福市君  
多田 滿長君 小野 謙一君  
藤本 捨助君 松村 光三君  
出席政府委員左ノ如シ  
大藏省主計局長 谷口 恒二君  
大藏書記官 梅北 末初君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏省所管  
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管(特第一號)昭和十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案

○一松主査 開會致シマス、本分科會ニ於ケル質疑ハ昨日ヲ以テ終了致シマシタ、是ヨリ昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏省所管、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管、特第一號昭和十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案ノ各案ヲ一括議題トシテ討論及ビ採決ニ入リマス

○西川委員 本分科所管ノ豫算各案ニ對シマシテハ、討論ヲ省略シ直チニ採決セラレシコトヲ望ミマス

○一松主査 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ  
(異議ナシト呼ブ者アリ)

○一松主査 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——是ヨリ採決致シマス、但シ豫算案中皇室費ハ協賛ヲ要セザル費目デアリマスカラ除外致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス  
(議員起立)

○一松主査 起立議員、各案トモ原案ノ通り可決確定致シマシタ  
此ノ場合簡單ニ御挨拶申上ゲマス、當分科ノ審議ニ付キマシテハ、與ヘラレマシタ時間ガ至ツテ短カカツタニ拘リマセズ、委員諸君ノ御動議ニ依リマシテ、茲ニ當分科會ヲ閉ツルコトニ至リマシタコトハ、私ノ欣快トスル所デゴザイマス、是ト同時ニ政府ニ於キマシテモ時局柄極メテ御精勵ニ、且ツ親切丁寧ニ御答辯ヲ與ヘラレマシタコトニ付キ感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス、之ヲ以テ散會致シマス  
午後一時二十二分散會



昭和十六年二月一日印刷

昭和十六年二月二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第一類 第五號

第七十六回帝國議會 豫算委員第四分科(陸軍省及海軍省所管)會議錄(速記)第一回

會議

昭和十六年一月三十日(木曜日)午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

主席 岸田 正記君

勝 正憲君

一宮房治郎君

津雲 國利君

江藤源九郎君

三宅 正一君

兼務

鶴見 祐輔君

池田 秀雄君

今井 新造君

古屋 慶隆君

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 東條 英機君

海軍大臣 及川古志郎君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍次官 阿南 惟幾君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍少將 田中 隆吉君

陸軍大佐 河村 參郎君

陸軍主計大佐 森田 親三君

海軍次官 豊田貞次郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 岡 敬純君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 石川 信吾君

海軍大佐 高木 惣吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中陸軍省所管

豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中陸軍省所管

○岸田主席 是ヨリ豫算委員第四分科會ヲ開會致シマス、議事ニ入ルニ先ダチマシテ御諮リ致シマス、分科會ノ日割豫定ハ今日ノ二日間デアリマスガ、議事ヲ便宜且ツ圓滑ニ進メマス爲ニ、第一日タル今日ハ陸軍省所管ノ豫算案、第二日タル明日ハ海軍省所管ノ豫算案ニ付テ審議致シ、最後ニ總括シテ討論採決ニ入りタイト思ヒマス、尙ホ質疑ハ御通告願ニ依ツテ、順次之ヲ許可致シタイト考ヘテ居リマス、右ニ付テ御異議ゴザイマセヌデセウカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○岸田主席 御異議ナシト認メマシテ左様ニ決定致シマス、ソレデハ先ツ今日ハ陸軍省所管豫算案ヲ議題ニ供シマス、陸軍大臣ノ御説明ヲ求メマス

○東條國務大臣 只今議題トナツテ居リマスル豫算案ニ付キマシテ、御説明ヲ申上ダマス、昭和十六年度一般會計陸軍豫算ハ、其ノ總額ハ十三億八千七百六十九万一千六百五十四圓デゴザイマス、之ヲ昭和十五年度豫算十二億七千五百四万六千四百八十八圓ニ比較致シマスルト、一億二千二百六十四万五千七百七十四圓ノ増加トナツテ居リマス

○陸軍大臣 陸軍省所管豫算案ニ付テ御説明ヲ申上ダマス、昭和十六年度一般會計陸軍豫算ハ、其ノ總額ハ十三億八千七百六十九万一千六百五十四圓デゴザイマス、之ヲ昭和十五年度豫算十二億七千五百四万六千四百八十八圓ニ比較致シマスルト、一億二千二百六十四万五千七百七十四圓ノ増加トナツテ居リマス

○陸軍大臣 陸軍省所管豫算案ニ付テ御説明ヲ申上ダマス、昭和十六年度一般會計陸軍豫算ハ、其ノ總額ハ十三億八千七百六十九万一千六百五十四圓デゴザイマス、之ヲ昭和十五年度豫算十二億七千五百四万六千四百八十八圓ニ比較致シマスルト、一億二千二百六十四万五千七百七十四圓ノ増加トナツテ居リマス

○陸軍大臣 陸軍省所管豫算案ニ付テ御説明ヲ申上ダマス、昭和十六年度一般會計陸軍豫算ハ、其ノ總額ハ十三億八千七百六十九万一千六百五十四圓デゴザイマス、之ヲ昭和十五年度豫算十二億七千五百四万六千四百八十八圓ニ比較致シマスルト、一億二千二百六十四万五千七百七十四圓ノ増加トナツテ居リマス

チ内地部隊ノ維持ニ要スル經費ガ三億三千餘萬圓デゴザイマス、臨時部經費ハ即チ軍隊ノ新設、改編等ニ要スル經費デゴザイマスガ、其ノ額ハ十億五千七百餘萬圓ニナツテ居リマス、其ノ内譯ヲ申シマス、第一ガ兵備改善ニ要スル經費ト致シマシテハ、二億七百餘萬圓、第二ガ航空部隊ノ充備ニ要スル經費デゴザイマスガ、是ハ五億二千八百餘萬圓デゴザイマス、第三ガ、資材整備等ニ要スル經費デゴザイマスガ、是ハ三億一千餘萬圓ニナツテ居リマス

次ニ明年度新規ニ増加致シマスル經費中主ナルモノヲ申上ダマス、先ツ第一ガ物價騰貴ニ伴フ經費デアリマス、其ノ内譯ヲ申シマス、燃料相場變動ニ基テ經費ガ、百九十四萬四千九百四圓、賄料定額ノ増加ニ要スル經費ガ、四十萬一千七百五十三圓、裝蹄料定額増加ニ要スル經費ガ、三萬三千四百八十八圓、旅籠料定額増加ニ要スル經費ガ、十二萬二千五百十三圓デゴザイマス、以上ハ何レモ現在ノ物價騰貴ノ状態ノ下ニ於キマシテ、現定額ヲ以テシマシテハ、教育訓練ニ即應シタ兵員ノ給養或ハ馬匹ノ裝蹄料ニ宿消費費ガ困難トナツテ參リマシタノデ、ソレハ必要ナル最少限度ノ定額ヲ増加致シマスルニ要スル經費デアリマシテ、昭和十六年度一箇年限リノ増加デゴザイマス

第二ガ馬糧定量ノ増加ニ要スル經費デゴザイマスガ、是ハ一萬八千六百七十四圓ニナツテ居リマス、是ハ馬格ノ向上ト教育訓練ノ繁劇化ニ伴ヒマシテ、馬糧定量ノ不足ヲ懸ヘルニ至リマシタノデ、明年度以降全馬匹ニ對シマシテ、燕麥日量百グラムヲ増備致シマスルニ要スル經費デゴザイマス

第三ハ在外武官ノ増加ニ要スル經費デゴザイマスガ、是ハ二ツゴザイマシテ、外國駐在武官ノ増加經費十一万一千九百八圓、第二ガ技術駐在官ノ増加デゴザイマシテ、六万三千八百六十二圓、此ノ二ツハ世界情勢ノ進展ニ伴ヒマシテ、諸外國ニ於ケル軍事情報ノ蒐集並ニ外國ノ兵器技術ノ調査研究ノ爲メ、所要ノ武官ヲ米國、ドイツ、イタリヤ、スエーデン、瀋洲及ビ「タイ」國ニ配置スル爲ニ要スル經費デアリマス

第四ハ結核豫防施設ニ要スル經費デアリマシテ、三十七萬八千五百七十八圓デアリマス、是ハ軍隊内ニ於キマスル結核豫防ノ完備ヲ期スル爲ニ、寢具、被服等ノ消毒施設ヲ新設スルニ要スル經費デアリマス

第五ハ一年以上在校致シマスル學生ニ支給スル旅費定額ノ増加デゴザイマシテ、百二十六萬九千五百九十一圓デゴザイマス、是ハ陸軍諸學校ニ入學スル將校及ビ營外居住下士官ハ、單身ニテ學校所在地ニ移轉スルヲ今日ハ原則ト致シテ居リマス、隨ヒマシテ旅費モ本人ノ旅行ニ要シマスルモノノミヲ支給シテ參ツタデアリマスガ、現況ハ長期在學致シマスルモノハ、何レモ家族ヲ事實的ニ携行致シテ來テ居ルノデゴザイマシテ、其ノ家族移轉ニ要スル經費ハ、各人ノ負擔トナツテ居ル狀況デゴザイマス







ヲ持續スル間ハ、共產黨ト致シマシテハ、其ノ力ニ考ヘテ不即不離ノ態度ヲ以テ進ムモノト、私ハ解釋シテ居ルノスタジアム、ソレカラ今一寸其ノ問題ニ御觸レニナリマシタガ、揚子江、黄河ノ流域地方ニ蟠居シテ居ルト云フ問題ニ付テ御話ヲ致シマスガ、是等ハモウ當然彼等ノヤル手デアリ、且又重慶側ガ成ベクノ北ノ方ニ押シテ行カウ、斯ウ來ルコトハ當然ナ作戦デアアルデアリマス、ト云フノハ北支ト云フモノハ國防上ノ見地ニ立ツテ日本ト重要ナル關係ニ置カレルト云フコトハ、當然ナ常識的ナ問題デアリマスガ、此ノ根據ヲ成ベクサウ云フ風ナ共產黨ノ組織ニ於テ、共產黨ノ力ニ依ツテ、之ヲ崩シテヤラウト、斯ウ掛ツテ來ルノハ當然ナ作戦デアリマス、日本トシマシテモ相當サウ云フヤウナ作戦ガ——作戦ト申シマスガ、サウ云フヤウナ作戦ガ、今後更ニ深クナルト云フコトハ、覺悟シテ居ラナケレバナラスト思ヒマス、又サウ云フ風ナ覺悟ノ下ニ軍トシマシテモ十分ナル對策ヲ講ジテ居ルデアリマス

テハ執ツテハナラスト思ツテ居リマス、支那事變ト云フモノノ解決ハ、自力ノ解決シテ行クト云フコトガ根據デアリ、ソレニ各種ノ事變ヲ擲シテ、之ヲ強化シテ行クト云フ態度デアアルベキダ、ソコト取間違ヘテハナラズト、斯ウルハ考ヘテ居リマス

○泉委員 豫算委員第四分科、私ノ質問ノ態度モ、決シテ機密ヲ發カウトカ、學足ヲ取ラウト云ツタヤウナ考ヘハ一ツツモナイノデアリマス、唯私ハ國民中ノ或ル部分ノ人達ガ、ナハリ斯ウ云フ時勢デアリマスガ、色々ノ「デア」ガ飛ンダリ流言ガアツタリ、乃至ハ心配シテ居ツタリルヤウナ點ヲ取上ゲテ御話シテ、ソレニ對シテ責任アル方カラ心配スルナト、唯々一言——内容ハ言ヘナトモ、サウ云フヤウナ工合ニ言ツテ貫ツテ、サウシテ國民總テ者ヲ安堵サセタイト云フ以外ニ、質問ノ意思ハナイノデアリマス

其ノ次ニ私ノ伺ヒマスコトハ、今時局ガ非常ニ緊迫シテ居リマスコトハ、言フマデモナイノデアリマスガ、日本ハ未ダ曾テ他國ノ爲ニ國土ヲ寸分ト雖モ侵サレタコトガナイノデアリマス、併シナガラ斯ウ云フ時局ニナツテ參リマシテ、科學兵器ハ非常ニ殖エテ來ル、戦ヒガ立體的ニナツテ來ルト云フコトニナリマスレバ、日本ハ今マデ國土ヲ侵サレタコトガナイト云ツテ、安閑トシテ居ル譯ニハ參リマセス、之ニ備ヘルダケノコトハシナケレバナラストデアリマス、例ハ優秀ナル飛行機ヲ多量ニ持つテ居ル國トノ間ニ容易ナラザル事態ヲ生ジマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、今度ノ支那事變ノヤウニ考ヘテハ居ラレマイト思フノデアリマス、隨テ防空上ノ施設ト云モノガ、

完備シテ居ラナケレバナラスト思フノデアリマス、勿論軍モ技ニ心ヲ致シテ、軍ノ方ニハ萬全ヲ期シテ設備ガアルモノト、私ハ推察致シマス、其ノ内容ハ別ニ問ヒマセス、併シ私ノ傾レルコトハ、日本ノ建築モデアリマスガ、重要都市ニ於ケル重要ナル建築物ハ、ナハリ是ハ地震ニ耐ヘ得ルヤウニ拵ヘテ居ルデアリマスガ、簡單ニ小サイ爆彈デケテ飛ンデシマフコトハ思ヒマセスケレドモ、ドウ致シマシテモ、ナハリ多數ノ部分ハ未ダデアリマスレシ、障子張ノ家ガ多イデアリマス、例ハ一機ノ爆撃機ガ參ツタト致シマシテモ——私ハ昨年デアリマシタカ、偶然静岡ノ大火ノ時ニ被虜ヲ通過致シマシテ、其ノコトヲ非常ニ考ヘタノデアリマスガ、アレダケノ市ガ全部ト云ツテ宜イ程ニ燒ケテシマツタ、固ヨリ火元ハ一ツデアリマス、ダカラ條件ノ備ハツタ時ニ、セイン「五」程度ノ油脂性ノ燒夷彈ノ如キモノガ落サレタト致シマシテモ、ソレハ事ニ依レバアア云フ事態ガ生ジナイトモ限ラヌ、勿論之ニ對シマシテハ、民間ノ方ニ於キマシテモ、内務省アタリニ於キマシテモ、力ヲ入レマシテ軍ノ指導ノ下ニ色々ノ設備ハアリマス、防空監視哨モアリマセウ、警防團ノ組織モアリマセウ、年ニ何度カハ指導ヲ戴イテ防空演習ヲヤツテ居ル、隣組、防火群ト云ツタヤウナ組織ガ出來テ居ル、今マデ女ナント云フモノハ何ノ力モナカツタ、火事ガ起ルト唯ウロカヘテバカリ居ツタモノガ、ナハリ防空群ヲ作ツテヤツテ見ルト、自分ノ力ト云フモノニ目覺メテ、小サイ火事位ハ早く見付ケレバ消シテシマフ位ノ實力ハ出來テ居リマス、併シ私ハナハリマダ——是ハ御指

導モ戴カナケレバナラズ、設備モ萬全ヲ期シテ貫ハナケレバイケナイト思フノデアリマス、消火ノ機械器具ニ致シマシテモ、或ハ毒瓦斯ニ對スル防護面ニ致シマシテモ、民間ハ十分ニ備ツテハ居リマセス、此ノ萬全ヲ期シテ行キタイト思フノデアリマスガ、勿論御心配ニナツテ居ラウト思ヒマスケレドモ、軍ノ方デソレ等ニ對スル御用意アリヤラ承ルコトガ出來レバ、幸ヒダト思ヒマス

○東條國務大臣 防空ノ將來ニ付キマシテ、色々御進言ニナツテ居ルコトハ、洵ニ吾々モ御同感ニ考ヘテ、十分努力ヲ致シテ居リマス、今御話ノ一部ニモゴザイマシタヤウニ、戰爭形式ノ變化——私ハ次ノヤウニ考ヘテ居リマスガ、第一次歐洲大戰後ニ於キマシテ内燃機關ノ發達、無線ノ發達、是ガ非常ニ著シイモノガアルノデアリマス、是ガ戰爭形式ノ上ニ於キマシテ、相當大キナ變化ヲ與ヘテ來テ居ルデアリマス、陸軍ニ於ケル内燃機關ノ變化ト申シマス、飛行機、戰車或ハ自動車、要スルニサウ云フ風ナモノニ大キナ進歩ヲ促シテ來テ居リマス、殊ニ航空デアリマス、ソレカラ是等ノモノガ從來ハ出來ナカツタノデアリマスガ、無線ノ發達ニ依リマシテ、軍トシテ大キナ地リトシテ行動スルコトガ出來ルヤウナ事態ニ置カレテ來タ、例ハ飛行機ト申シマシテモ、無線ノ發達ガ十分デナカツタ時代ニハ、空中ニ於テハ指揮命令ガ中々出來ナカツタ、今度ハ無線ガ發達シタ爲ニ、如何ニ大キナモノデモ、自由自在ニ直チニ命令ヲシ、之ヲ動カシテ行ク、即チ指揮官ノ意思ヲ傳ヘルコトガ自由自在ニナツタ、即チ最初ニ申シマシタ内燃機關ノ發

達ト、無線ノ發達ガ大キナ原因トナツテ、今ノヤウナ結果ニナリ、ソレガ今度ハ戰爭形式ノ上ニ、相當大キナ變化ヲ與ヘツツアル、斯ウ考ヘテ居ルデアリマス、是ハ形ト申シマスガ、所謂兵器ノ上ニ付テ今主ニ述ベクデアリマスガ、他面ニ於キマシテ、戰爭形式ノ變化ハ、勿論御承知ノ如ク總力ヘテ來テ居リマス、ソコニ大キナ變化ヲ與ヘテ來テ居リマス、又現況カラ申シマシテ考ヘマス場合ニ於テ、又現況カラ申シマシテ、例ハ日本ニ取リマシテモ、事變直前ノ日本ノ航空ト現在ノ航空トハ、ソコニ雲泥ノ相違ガアリマス、サウ云フ風ニ刻刻ニ是方進歩ヲシ、刻々ニ大キナル必要性ガ、ソコニ生レテ居ルデアリマス、ソコデ一方ハ、先程申シマシタ是カラノ戰爭ノ遂行ハ、ドウシテモ總力戰ニ進ンデ行カナケレバナラスト云フ必要ニ置カレテ居ル、一方ニ於テハ航空ノ變化、是ノ長足ノ進歩ト無線ノ發達トニ依ツテ、大量的ニ行動シ得ルコトヲ點デアリマス、言フマデモナク日清戰爭、日露戰爭時代ノ戰爭ハ第一線デアアル、内地ハ内地、斯ウ云フ風ナ觀念ハ今日ハ取レナイノデアツテ、戰爭ノ開始ト同時ニ、内地モ直チニ戰爭ノ事態ニ置カレルト云フコトハ、國民トシテモ覺悟シテ戴カナケレバナラスト思フノデアリマス、斯ウ考ヘテ來タ場合ニ於キマシテ、ソコニ今御説ノ如キ御心配ガ、當然ニ起ツテ來ルノデアリマス、ソレデ政府ト致シマシテモ、軍ト致シマシテモ以上ノヤウナ觀念ニ立チマシテ、時代ニ即スル防空ヲ速カニ完備シテ行キタイ、勿論國土計畫ト關聯ヲシテ考ヘテ行クノハ當然デアリマスガ、兎ニ角戰

ト云フモノハ何時アルカ分ラヌ、明日アルカ分ラヌソレニ對シテスルダケノ應急處置、ソレカラ又將來ノ色々ナ發達ヲ十分考ヘテノ恆久處置、此ノ兩方ヲ考ヘテヤツテ行カナケレバナラズ、ソレデ政府トシマシテモ、軍トシマシテモ、以上ノヤウナ考ヘノ下ニ、出來ルダケノ施設ハ、講ジテ居リマス、唯茲ニ軍ト致シマシテ、將來ノ戰爭ハ總力戰ニナリマスケレドモ、兎ニ角其ノ主體デアル所ノ軍ノ作戦、即チ第一線ハドウシテモ勝タナケレバナラズデアリマス、是ガ負ケタ日ニハ總テガカラ——ニナルノデアリマス、隨ヒマシテ防空ニ關聯シタ兵器ノ整備ニ付キマシテモ、重點ノ置キ方ハ、今ノヤウナ考ヘノ下ニ、逐次時代ニ即シテ變化シテ參リマシタガ、然レバ其ノ重點ハ内地ニ置カカ、作戦ニ活動スベキ軍ソレ自體ニ置カカト云フコトハ、是ハ變化ガナイノデアリマス、内地ノ防空ニ對スル兵器整備ト云フモノモ、隨テ前ヨリハ向上ヲサセテ行カナケレバナラマセスケレドモ、然ラバ防空ノ重點ハ何處ニ置カカ、内地ニ置カカ、第一線ニ置カカト云フコトハ、是ハ變化ハ顯ヒマス、ソレカラモウ一ツ防空ニ付テ關聯ニ申上ゲマスト、戰時ニナリマシテハ、敵ノ飛行機ニ對シテハ、兎ニ角凡ソル手段ヲ盡シテ之ヲ制限シナケレバナラズ、氣持トシテハ、一機モ敵ノ飛行機ヲ我ガ領土内ニ飛バサスト云フダケノ決意ヲ持つテ當ラナケレバナラズ、是ハ當然ノコトデアリマス、吾々モ其ノ積リテ居リマス、併シナガラ其ノ半面國民ノ側ト致シマシテハ、來ルモノダト云フ覺悟ノ下ニ、凡ソル方法ヲ盡シテ置カナケレバナラズ、此ノ兩

方デ行ツテ欲シト思フノデアリマス、是ハ言フマデモナク、現ニ歐洲大戰ニ於キマシテモ、英國ガアレ程ノ防禦ヲシテ居リマシテモ、連日敵ノ飛行機ガ空ヲ飛ンデ來テ居ルデアリマス、之ヲ考ヘタ場合ニ於テモ明瞭デアリマス、ソコデ防空ノ色々ナ施設ニ付テハ、豫算ノ許ス範圍内ニ於テ、十分盡シマスルガ、結局ハ精神デアアル、人デアルト思ヒマス、即チ假令如何ナル困苦ノ前ニ立ツトモ、如何ニ空中カラ爆撃ヲ受ケテモ、ビクトモシナイト云フ所ノ、シツカリシタ精神ヲ植付ケルコトガ、防空上最モ大事ナ點ダト、私ハ解釋シテ居リマス、是ハ十分拵方ノ御協力ヲ得テ、此ノ精神狀態ヲ早ク固メルコトガ、防空上最モ大事ナ點ダト思フノデアリマス、施設其ノ他ニ付テハ、十全ヲ盡ス考ヘデアリマスガ、其ノ點ヲ御承知ニナツテ戴キタイト思ヒマス

○泉委員 ソレカラ是モ國民ノ全部デアアリマセスケレドモ、一部ニ心配シテ居ル人達ガアリマスノデ、其ノ心配ハ要ラヌト云フ氣持ニサセタイト思フ點ガアリマス、ソレハ軍ノ機械的、化學的ナ所謂近代裝備ニ關シテデアリマス、私決シテ學足ヲ取ル積リデ言フ譯デアリマセウガ、曾テ陸軍ノ首腦者デアツタ方ナドガ、戰爭ナドハ竹槍ガ何本トカアレバ出來ルト云ツタヤウナ——是ハ勿論精神方面ヲ御話ニナツタノデアリマセウケレドモ、サウ云フ御話ガアツタリナニカ致シマシテ、實ハ國民ノ間ニハ、餘リニ軍ハ精神ノ方ニバカリ頼リ過キテ居ツタノデハナイカト云フヤウナ疑念ヲ持つテ居ル人ガナイデアリマス、殊

ニ「モンハン」事件以來サウ云フコトヲ考ヘテ心配シテ居ル國民ガナハリ若干ハアルデアリマス、其ノ内容ニ付テハ問ヒマセウガ、サウ云フ裝備ニ付テハ缺タル所ガナイ、同時ニ裝備ニ付テ萬全ノ施設ヲスル、ソレニ對スル豫算ハ能ク限リ協賛スル積リデアリマスガ、裝備ヲ全ウシテ戴キタイト云フノガ、吾々ノ希望デゴザイマス、殊ニ事變以來風行機ノ何カノ製造能率ハ、ドウナツテ居ルカ分リマセウガ、勿論長足ノ進歩ヲラウト思ヒマス、一方ソレヲ線線スベキ飛行機ト何カノ質ト申シマスルカ、サウ云フ方面ノ向上、乃至ハ量ノ問題デアリマスガ、其ノ補充ト云ツタヤウナ問題ニ付テモ、國民ハ餘計ニ心配シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テモ若干御洩ラシテ願ヒタイノデアリマス

其ノ次ニハ前線ノ將兵ノ士氣ノ問題デアリマス、是ハ大臣ガ廣く御報告ニナル通り、洵ニ士氣旺盛デアアルモノト考ヘマス、併シナガラ「ドイ」ノ向トカト云フ將軍ガ「國家總力戰」トカ云フ本ヲ書イテ居ル中ニモ、戰爭ガ長引キマスト、其ノ間ニ豫備、後備ノ者ガ應召サレテ、サウシテ統後ノ因却シテ居ル話ヲ前線ニ傳ヘル、前線ノ者ガ歸ツテ來テ、前線ノ容易ナラザルコトヲ、統後ニ話スト云フヤウナコトガ度重ナル爲ニ、ソコニ士氣ニ緩ミガ生ズルト云フコトハ、洵ニ已ムヲ得ナイト云ツタヤウナコトヲ書イテ居ルノデアリマス、皇軍ニハ勿論サウ云フコトハナイコトヲ私ハ信ジマス、併シナガラ皇軍ト雖モ——其ノ事實ハアリマセウガ、其ノ處ハアル、隨テソレニ處スベク大臣ハ「戰陣訓」ノ如キ立派ナ教典ヲ示サレタモノト信ジマスルガ、是ハ質問ト云フヨリモ、此



ノ前ノ裝備ノ點ト、前線ノ士氣ノ問題ト云フコトニ付テハ萬全ヲ期シテ、眞ニ國民ヲシテ安んぜシメル爲ニ、御努力ヲ願ヒタイ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

ニズ良クシテ行クコトハ、是亦當然ニ閉却シテハナラナイノデアリマス、サウ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

テ之ヲ入替ヘルト云フ風ナコト、各方面ニ行政的ニ全度ハ親心トシテ、ソコヲ十分ニ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

思ヒマスガ、現在ノ軍需産業ハ、軍其ノモノガヤツテ居ル部分モアリ、或ハ三菱トカ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

○東條國務大臣 今ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、前某大臣ガ竹槍云々ト云フ...

現在ノ配置ト云フモノハ非常ニ危険ナモノデアルト考ヘマスガ、ソレ等ニ對スル御意...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

第三ノ重要産業ノ分布デアリマスガ、是ハ將來ノ總力戰ノ遂行ト云フヤウナ點、防...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

全支ヲ風靡致シマシテ、全世界ヲ驚嘆セシメタルデアリマス、是レ申スマデモナク、...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

ガ米テモ恐ルルニ足ラズ、茲ニ高射砲ガアルンダト、大都市附近ニハ高射砲多數ヲ御...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...

○東條國務大臣 第一ノ朝鮮半島ニ徴兵及ボシタラドク、其ノ時期ハナイカト...



第一類第五號 豫算委員第四分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日

コトハ、御説ノ如ク當然ノコトデアリマス、唯是ガ政府或ハ當路者トシマシテハ、其ノ土地ノ防空ニ餘リ必要ガナイト申シマスカ、老人トカ子供トカ云フヤウナモノハ、成ベク被害ヲ受ケサセヌヤウニ、事前ニ之ヲ他ニ移スト云フ必要ガ、ソコニアルノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於テ行ハレテ居ルモノデアラウト、私ハ只今ノ御言葉ヲ通ジテ察シテ居リマス、サウ云フ意味デアラウトハ解釋シテ居リマス、ソレカラ高射砲ノ備ヘ付デアリマスガ、ソレハ先程モ國防獻金其ノ他ニ付テ申上ゲマシタ如ク、陸軍ト致シマシテモ、出来ルダケ地方ノ要望ニハ應ズルヤウニ努力シテ居リマス、今後モ努力ハ積テ行キタイト考ヘテ居リマス、唯此ノ高射砲ノ生産能力ノ關係モゴザイマス、軍ノ需要ト云フ點モゴザイマス、其ノ邊ノ調整ト云フコトモ、相當ニ執ツテ行カナケレバナリマス、サウ云フ點カラ地方カラ見マシタナラバ、モットヤウテ貴ヒタイト云フ點ニ御不滿モアルカト思ヒマスガ、出来ルダケノ努力ハ積テ行キタイト考ヘテ居リマス

上海ノ治安ノ問題ニ付キマシテハ、私モ最近上海ニ行ツテ参リマシタガ、局部ノハハ工合ノ惡イ點モアルト思ヒマス、併シナガラ之ヲ總括的ニ申シマスレバ、逐次治安ハ回復シツツアリ、良好ニ向ヒツツアルト云フ風ニ、大局的ニハ判斷シテ宜カラウト考ヘテ居リマス、租界ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ二、三日間ニ申上ゲマシタ通り、之ニ對シマシテハ支那中央政府モ先般出来マシタノデ、又是ハ逐次強化サレテ行クベキモノト、大ナル期待ヲ持ツテ居ルノデアリマス、支那政府ニ於テモ、適當ナル處置

ヲ講ズルモノト期待ヲ致シテ居リマス  
○古田委員 モウ一點御伺ヒ致シタイト思ヒマスハ、先程申上ゲマシタヤウニ、銃後國民ハ全ク一億一心デヤツテ居リマスガ、實例ヲ以テ御話申上ゲマシタレバ、此ノ間モ私共丁度講演ヲ致シテ、「アメリカ」アタリカラ鐵ナドガ来ヌコトニナレバ、日本ハマダ相當要ヲス所ニ鐵ヲ使ウテ居ル、門ノ扉トカ或ハ格子トカ、斯ウ云フモノヲ場合ニ依レバ出シテ賣フコトガアルカモ知レヌト申シタ所、其ノ翌日大キナ石門ニ付イテ居ツタ鐵ヲ、人ヲ二、三人雇ウテ外シテ、是ノ寄贈ヲ申出タ人モアルノデアリマス、斯ウマデ銃後國民ハ熱心ニ協力シテ居ルノデアリマス、所ガ偶々東京ノ真中ニ、知識階級ノ方デ、何カ日獨逸ノ同盟ハ失敗デハナカッタカノ如キ言ヲ弄スル者ガアル、又一面——私ハ軍部ヲ御承知ノ廣島デアリマスルガ、朝ニハ出征兵士ヲ饗應ニ於テ萬歳歌呼ノ聲ヲ御送リ申上ゲ、午後ニハ傷病兵士ヲ御出迎ヘシ、歸還兵士ヲ御出迎ヘ致シテ、源ダマシキ本營ノ第一線ニ變テザル狀況ヲ呈シテ居リマス、全市民、全國民ガ殆ド戦争ニ行ツタ積リテ居ル所ヘ、個々中央カラ——私ハ覽費會ヲ言フノデアリマセヌ、覽費會ノ出来ル以前ノ昨年ノ夏、或ル外交官ノ方ガ講演ヤツツ、而モ縣、市及工商會議所ト云フ三團體後援ノ下ニ、市ヲ通ジテ徹底的ニ宣傳致シモノデスカラ、多數此ノ講演ヲ聴キニ行ク、サウ致シマス、政府又軍ノ考ヘテ居ラレルコトト全ク正反對ナ御話ヲナサル、日本ノ力ヲ過小ニ見タリ、南ニ進ムベキ力ガナイガ如キ現狀維持ノコトヲ申サレマスノデ、偶々國一體トナツテ居ル時ニ、サウ云フ方ニ講演ニ來テ賣ツタ

當ナ身體ヲ持ツト云フコトハ事實デアリマシテ、ソコニ既ニ御承知ノヤウニ、志願制度ニ依ツテ、希望者ハ十七歳カラ採リ得ルト云フコト、個別ノ方法ヲ講ジテ徵兵ノ目的ヲ達シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノコトニ付キマシテハ、昨年或ハ大臣カラ御答辯ガアツタカト考ヘルノデアリマスガ、ヤハリ同ジヤウナ感ジテ居リマス  
○三宅委員 モウ一點ケケ伺ツテ置キマス、是ハ軍事保護ニ關スル問題デアリマスガ、戦争ノ初期ニ於キマシテハ、日本人ノ一ツノ長所デアリテ缺點デアアル熱シ易ク冷メ易イト云フ點カラ、慰問袋ニ致シマシテモ、何ニ致シマシテモ、實ニヨク行ツテ居ツタト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ、斯ウ云フ段階ニナツテ來レバ、來ル程意識的ニ軍人保護等モ、前線ニ對シテモ、銃後ニ對シテモヤラナケレバイカスト思フノデアリマスガ、私ノ大變心配シテ居リマス點ハ、歸還兵士ノ問題デゴザイマス、實ハ私ハ商工省ノ方ニモ、是ハ嚴重ニ分科會テ聽イテ見ヨウト思フノデアリマスガ、一昨日デアリマシタカ、歸還軍人ガ、新潟縣カラ出テ東京ニ居ルト云フ因縁ヲ以テ、私ノ全ク知らズ人デアリマスガ、態々訪ネテ來タノデアリマス、ソレデ聽イテ見マシタ、昭和十二年ノ九月ニ召集セラレマシテ、十四年ノ十月ニ召集解除ニナツテ歸ツテ來タ、ソレハ菓子屋デアリマスガ、留守中細君ガ六十六歳ノ年寄ト、八歳ト四歳ノ子供ヲ二人抱ヘマシテ、二年間ノ留守ヲ守ツテ居ツタノデアリマス、サウシテ砂糖製粉ノ原料ヲ、運召前ハ一箇年ノ實績ニ依ツテ四百六十七袋ツツノ配給ヲ受ケテ居ツタノ

爲ニ、一體國民ハドレガ本當カ、ドツチ向イテ行ツタ宜イカ、斯ウ云フ誤解ヲ生ゼシメルコトガ度々アルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ名ガ講演會デアリマスノデ、治安維持ノ警察アタリハ勿論行ツテモ居リマセヌ、之ヲ取締ルノハ誰カト言ヘバ、憲兵隊ニ之ヲ檢舉シテ貴ヒタイ、サウ致シマセヌト、折角私共ガ命懸ケテ國民ニ協力ヲ求メテ、皆ク行ツテ居ルモノガ、トシテモナイコトニナルノデアリマスガ、此ノ點ヲ一ツ嚴重ニ御取締アレンコトヲ熱望シテ、私ノ質問ヲ終リマス  
○岸田主査 ソレデハ此ノ際御諸リ致シタイコトガゴザイマス、先刻泉君ノ御質問中、東亞共榮圈內ノ諸國ノ共同防共ノ方途如何ト云フ御質問ガアリマシタガ、之ニ對シテ陸軍大臣ハ、此ノ席デナク他ノ適當ノ機會ニ答辯ヲ致シタイ、斯ウ御答ニ相成ツタノデアリマス、恐ラク御答辯ノ内容ハ、機密ニ屬スルコトモ多クアラウト考察致スノデアリマス、尙ホ時局ノ重大性、緊迫下ニ於キマシテ、他ノ委員諸君ヨリモ、種々陸軍當局ニ對シ、重要ナル諸問題ニ付テ、率直ナル御所見ヲ御陳ネシタイト云フ趣キデアリマスガ、午後一時ヨリ特ニ秘密會ヲ開キマシテ、懇談裡ニ實答ヲ重ネル機會ヲ得タイト思ヒマス、如何デアリマスカ  
○泉委員 其ノ點ニ異議ゴザイマセヌ、唯、今日ハ國防ニ關スル法案ガ本會議ニ出ルカ

ガ、細君ガ子供二人ト年寄ヲ抱ヘテヤツテ居リマシタカラ、應召中ノ實績ト云フモノハ、一箇年ニ九十袋シカ仕事ガ出来ナカッタ、所ガ戦争デ統制經濟ヲヤルコトニナリマシテ、配給ハ大體實績主義ト云フコトニナツテ居ル、是ハ當然ノ話デアリマス、併シ東京府知事ガ東京府ニ於ケル傷痍軍人ノ後援聯盟ノ會長ト致シマシテ、歸還軍人ニ付テハ、主人ガ出征中細君ケケヤツテ居レバ實績ハ減ルノダカラ、商工組合ニ對シテ、應召前ノ實績ニシテヤレト云フコトヲ、チャント振興部長ノ名前デ指令ガ出シテアル、ソレヲ、歸ツテ參リマシテ仕事ヤル場合、四百何十袋シカ寄越シマシタノデ、斯ウ云フ指令ガ出テ居ルト云フコトデアリマスガ、商工組合ノ方デハ、ソレハ知リマセヌト云フ、ソコ軍人保護ノ東京府ノ關係ノ所ヘ行ツテ見ルト、是ハ出テ居ルト云フ、ソコデソナ馬鹿ナ話、ナイト云フノデ、振興部長ノ所ヘ行ツテ、斯ウ云フ事情タカラト云フコトデ面會ショウトシテ今年ノ一月十五日ニ行ツタラ、忙シト云フテ會ハナイ、ソレカラ一月二十一日ニ行ツタラ、又忙シト云フテ會ハナイ、ソレカラ一月二十三日ニ行ツタラ、又會ハナイ、兎モ角立派ニ斯ウ云フ歸還將兵ニ對シテヤレト云フ指令ガ出シテアリマス、是ハ其ノ印刷物ノ寫シデアリマスガ、斯ウ云フモノガ出シテアル、サウシテ商工省ヘ行ツタ、振興部長ハ忙シイカラ何モ知ラヌト思ヒマスガ、受付カ何カデ制付ケラレテシマツテ會ハナカッタ、サウシテ非常ニ憂鬱ナ顔ヲシテ來ラレマシテ、兎ニ角子供二人抱ヘ、年寄ヲ持ツテ居ルガ心配スルナト云フコト

モ知レマセヌカラ、ソコラノ時間ハ主査ニ於テ然ルベク御取計ヲヒ願ヒタイト云フコトト、ソレカラ私ノ伺ヒマシタコトハ、今ノ共榮圈內ノ指導理念ハ、善隣友交ト經濟提携ト共同防共、共同ニ共產主義ヲ防グト云フノデアアルガ、之ニ付テハモット踏ミ出テ、共產黨ヲ共同防防ガバカリデナク、全國防ヲ共同防防ガナケレバナラヌト云フ所マデ發展シナクテハナラヌノデアリナイカト云フ質問デスカラ、其ノ點御含ミ置キテ願ヒタイト思ヒマス  
○岸田主査 御趣旨ハ能ク分リマシタ、ソレデハ午後一時カラ秘密會ニ致シマス、暫時休憩致シマス  
午後零時二十分休憩  
午後一時三十分再開  
○岸田主査 休憩前ニ引續イテ會議ヲ再開致シマス、是ヨリ秘密會ニ入りマス、議員及ビ所管政府委員以外ノ退場ヲ求メマス  
午後一時四十分秘密會ニ入ル  
午後三時五分秘密會ヲ終ル

デアツタガ、歸ツテ來テ斯ウ云フコトデハ、コナ指令ヲ出シテ賣ツタダケ迷惑デアアル、思想ガ惡クナツタナラバ大事ダカラト云フ話デアリマシタノデ、書イテ出セ、書イテ出セバ、一ツサウ云フ問題ニ付テハ喧シク言ツテ置カラト云フコトヲ言ツタノデアリマス、私ハ今日此處ガ濟ミマシタ後、商工省ノ分科會言ハウト思フノデアリマスガ、此ノ間私ハ豫算總會デモ言ツタノデアリマスガ、有限會社ノ問題デ書類ヲ出サセテ、何回モ商工省ヘ小サイ業者ガ來テ居ル、連レテ行ツテ呉レト云フノデ連レテ行キマス、屬方居リマシテ、コチカラ名刺ヲ出シタノニ向フハ名刺モ出サナイ、又技師ニ會ツテコチカラ名刺ヲ出スト、向フハ上着ヲ脱イデ、「スチーム」ニアツテ居テ名刺モクレナイ、平素代議士ハ近頃全ク值打ガナイガ、議會前ニナリマスレバ多少ハ禮儀ヲ盡スノガ當リ前ダシ、何等ノ資格ノナイ者ガ行キマシテモ、日本人ナラバ此方ガ名刺ヲ出セバ、向フモ出スノガ當然デアアル、所ガ代議士ガ連レテ行ツテモ其ノ狀態デアリマスガ、業者ケケガ行ツタラ、テンド相手ニシナイコトハ、分リ切ツテ居ル、斯ウ云フ狀態ハ——私ハ統制經濟ヲ結構デアリマシテ、兎モ角下手ナガラ統制經濟ヲヤリマシテ、戰時ノ體制ヲ此處マデ持ツテ來タ官僚ノ功績ト云フモノハ、偉大ナルモノガアツテ、無批判ニ之ヲ攻撃スル立場ニ對シテハ、常ニ擁護シテ居ルノデアリマスケレドモ、サウ云フ不親切ノ態度デアツテ何處ニ責任ノ所在ガアルカ分ラナイト云フ狀態デアレバ、一般民衆ノ怒ルノモ當然デアアル、況ン忠義ヲ盡シテ歸リマシタ歸還兵士ニ對シテ、斯ウ云フ狀態デアリマスレバ、

ノ兵隊ニ付テモサウデスガ、學校ニ行ツテ徵兵猶豫ヲ受ケテ居ル者ニナリマス、學校ヲ出テ大部分兵隊ニ採ラレ、兵隊カラ歸ツテカラト云フコトニナリマスノデ、是ガ人口ノ増殖問題ニ非常ナ大キナ影響ガアルノデ、私ハ去年モ十八歳カラ御採リニナツタラドウカ、徵兵適齡ヲ十八歳ニ御引下ゲニナツタラドウカト云フ質問ヲ致シタノデアリマスガ、如陸軍大臣ハ、ドウモ能力其ノ他ノ關係ニ於テ、十八歳デハ困ルト云フヤウナ御答辯デアリマシタ、若シ十八歳デイケナケレバ、十九歳デモ宜イト思フノデアリマスガ、私ハ兎ニ角全國ノ青年ガ、一應軍務ニ就クト云フ状態ニナリマス限リハ、ソレニ依ツテ人口ノ増殖ガ減ルト云フコトヲ防止シ得ルト云フ見地ニ於テ、十八歳ト云フコトハ是非實現シテ貴ヒタイト考ヘルノデアリマス、若シ出来ナケレバ十九歳デモ結構ダト思フノデアリマスガ、恐ラク内部ニ於テモ色々御研究ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス  
○東條國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ、兵役法ニ依ル徵兵ト云フコトニナリマス、ト、ヤハリ大局ヲ擱ンデ考ヘテ見ナケレバナラヌト思ヒマス、ソコ大局ヲ擱ンデ考ヘマス場合ニ於キマシテ、青年即チ軍務ニ堪ヘ得ル所ノ年齢ヲ、何處ニ擱ムカト云フ點ニナリマス、今マデノ研究デヤハリ二十歳ト云フ所ガ宜イヤウニ、私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、勿論農家ニ育ツタ人アタリハ、十八九ニナルト相當ノ體力ヲ持ツテ居リマスガ、全般的ニ何處ニ擱ムカト云フコトニナリマス、ヤハリ二十歳デアアル、併シ一部十八ナリ十九ナリデ、相

第一類第五號 豫算委員第四分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日

第一類第五號 豫算委員第四分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日

第一類第五號 豫算委員第四分科會議錄 第一回 昭和十六年一月三十日



憤慨スルハ當然デアリマスノデ、是ハ私ハ、私ノ思付キデアリマスガ、軍人援護ノコトニ付テハ厚生省デヤツテ居ラレマスケレドモ、一種ノ御目付ノ意味ニ於キマシテ、警察ニ人事相談ガアリマスヤウニ、サウ云フモノハ憲兵隊ヘ一ツ直グ相談ニ行ケ、サウシタラ憲兵隊ハ、單ニ取締ト云フコトデナシニ、サウ云フコトモ相談ニモ乗ツテヤルカラト云フコトデ、筋ガ直グ通リマシテ、是ハ斯ウ云フ事情ダ、前ノ實額ハ四百何十袋實ツテ居ツタカモ知レナイガ、是ハ國策デ二百袋シカ来ナイ、併シソレデモ歸還將兵ト云フコトヲ考慮シテ、少シハ餘計行ツテ居ルノダト云フコトガ分リマスレバ、是ハ喜ンデ感激スル譯デアリマスカラ、一ツ國事多端ノ時ニ斯ウ云フコトヲ申上ゲテ甚ダ恐縮デスガ、國內ニ於ケル治安、國內ニ於ケル結束ノ意味ニ於キマシテ、何等カ一ツ特殊ナ憲兵隊ヲ御使ヒニナルナリ、何等カノ方法ニ付テ、大事ナ場面デアリマスカラ、其ノ御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ一寸希望シマス

○東條國務大臣 歸還兵士ノ家族ノ點ニ付キマシテノ御配慮ハ、寧ロ私カラ御禮ヲ申上ゲマス、出征遺家族ノ點ニ付キマシテハ、後顧ノ憂ヒヲナクスル上ニ於キマシテ、私ハ常ニ最大ノ努力ヲ盡シテ居ルノデアリマス、只今ノヤウナ事態ガ發生致シマスルコトハ、洵ニ遺憾ニ存スルノデアリマスガ、色々ソコニ事情モアルダラウトハ考ヘマス、今度モ色々經濟ノ新體制其ノ他ニ依リマシテ、サウ云フ事態ノ起ランカト云フコトヲ、多分ニ私ハ懸念ラシテ居リマシテ、當ノ責任大臣ニモ十分其ノ點ハ御願ヒラシテ、出征遺家族ノ點ニ付キマシテハ、十分ニ配慮

シテ貰フヤウニト云フコトハ御願ヒラシ、又當ノ責任大臣ニ於テモ、十分其ノ點ハ參酌シテ御考ヘニナツテ戴イテ居ルコト安心ラシテ居ツタノデアリマスガ、併シナガラ一ツニセヨ今ノヤウナ事情ガアリマシタコトニ付キマシテハ、甚ダ遺憾ト存スルノデアリマス、早速サウ云フ點ニ付キマシテハ、私トシマシテノ處置ハシテ見タイト思ツテ居リマス、又勿論此ノ主管ハ厚生省デアリマスガ、何處ノ省ト言ハズ、總テガ協力スルト云フコトデ行カナケレバナラスカラ、サウ云フ意味ニ於テ陸軍省トシテモ十分盡シテ行キタイト思ツテ居リマス、又憲兵隊ト云フ御話ガアリマシタガ、洵ニ結構デアツテ、當然ニ陸軍ニ關係シタ人ノ御世話ヲスルコトハ、道德的義務デアルト思ツテ居リマス、ソレハ、主管ヲ使ストカ何トカ云フ問題デナクシテ、自分ノ子供ノ困ツテ居ル時ニハ、御世話ヲシテヤルノガ當然デアリマシテ、世話スルト云フ意味ニ於テ、憲兵隊ニ於テ能ク御相談ニ乗ルト云フコトハ結構ダト思ヒマス、サウシテ憲兵隊ニ於キマシテ、此ノ主管ノ方面ニ話ヲシテヤルト云フコトハ、是カラ執ラシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○泉委員 大體秘密會ヲ開イテ戴イタリナド致シマシテ、十分ニ質問ヲ盡シタモノト思ハレマス、此ノ程度デ陸軍ニ對スル質問ヲ打切ノ動議ヲ提出致シマス

○岸田主査 泉君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○岸田主査 御異議ガナイヤウデアリマスカラ左様決定致シマス、以上ヲ以テ、即チ大體今日議題ニ供シマシタ陸軍省所管豫算

昭和十六年一月三十日印刷

昭和十六年一月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第一類 第五號

第七十六回帝國議會 豫算委員第四分科會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年一月三十一日(金曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

- 主査 岸田 正記君
- 一宮房治郎君 官澤 胤勇君
- 津雲 國利君 泉 國三郎君
- 江藤源九郎君 古田喜三太君
- 三宅 正一君 笠井 重治君
- 兼務 鶴見 祐輔君 中島彌團次君
- 池田 秀雄君 井上 良次君
- 今井 新造君 中山 福藏君
- 古屋 慶隆君 矢野庄太郎君

同日第一分科所屬員矢野庄太郎君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 及川古志郎君

出席政府委員左ノ如シ

海軍次官 豊田貞次郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 岡 敬純君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 石川 信吾君

海軍大佐 高木 惣吉君

海軍省法務局長 潮見 茂樹君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 小山 亮君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中海軍

第一類第五號 豫算委員第四分科會議錄

省所管

豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中海軍省所管

○岸田主査 會議ヲ開キマス、昨日開會ノ勢頭ニ申上ゲテ置キマシタ通り、今日ハ海軍省所管豫算案ヲ議題トシテ審議ヲ進メマス、先ツ海軍大臣ノ御説明ヲ求メマス

○及川國務大臣 豫算ノ説明ヲ致シマス、昭和十六年度海軍省所管豫算ニ付テ概要ヲ御説明申上ゲマス、御手許ニ差上ゲテアリマス海軍省所管豫算參考書ヲ、御参照願ヒマス

昭和十六年度一般會計豫定經費要求額ハ、經常部臨時部合セマシテ、十二億四千三百四十四圓一圓二角五分、之ヲ前年度豫算額十億二千九百七十五萬五千餘圓ニ比較致シマス、二億一千九百九十五萬八千五百九十七圓ノ増加トナツテ居リマス、此ノ増加ヲ來シマシタノハ、前年度ヨリノ施設等ニ伴フ經費ノ増加、二億四千三百四十三萬六千三百二十圓、新規要求ニ依ル經費ノ増加、一億八千六百七十二萬八千二百四十七圓、前年度ヨリノ施設等ニ伴フ經費ノ減少三千九百六十七萬四百九十四圓、節約ニ依ル經費ノ減少四千四百七十七萬四千八百七十二圓、要求ニ依ル經費ノ減少一億六千三百八十一萬六千四百圓、是等ノ差引致シマシタ結果デゴザイマス、其ノ増減ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマス

第一ニ前年度ヨリノ施設等ニ伴フ經費ノ増加ハ、既ニ協賛ヲ經テ居リマス豫定年額ノ増加及ビ前年度計畫一箇年度限り節約

額ノ繰戻シ等デゴザイマス、第二ニ新規要求ニ依ル經費ノ増加ヲ申上ゲマス、一、新艦船維持ニ關スル經費、九百四十六萬七千四百四十圓、是ハ既定計畫ニ基テ艦船ノ竣工ニ伴ヒ必要トスル維持費デアリマシテ、昭和十五年度末マデ竣工スルモノノ分ヲ計上致シテ居リマス、二、定員充實ニ關スル經費七百八十九萬九千六百八十二圓、是ハ海軍工作廳ヲ初メ官衙、學校、病院ノ施設増備等ニ依ル定員充實並ニ艦船部隊ノ定員充實ニ要スル經費デアリマス、三、航空ニ關スル經費六百三十三萬三千圓、是ハ輸送機、艦載飛行機等ノ維持費及ビ艦上機訓練場設備等ニ要スル經費デアリマス、四、艦船建造ニ關スル經費三千三百三十萬圓、是ハ既定計畫ニ依ル建造艦艇ノ計畫變更ニ伴ヒ必要トスル經費デアリマス、五、水陸諸施設ニ關スル經費五千三百九十九萬四千圓、是ハ工作廳軍需部ノ建物、機械等ノ整備、防備部隊ノ整備、軍港要港各種設備ノ整備等ニ要スル經費及ビ工作廳、病院設備ノ既定計畫後年度額額ノ繰上ゲデアリマス、六、艦船整備ニ關スル經費千二百五十三萬八千圓、是ハ各種艦艇ノ兵器機關ノ改善、整備ニ要スル艦船改裝費ノ追加、特定修理期ニ到達致シマシタ艦船ノ特定修理費ノ追加、潜水艦二次電池換裝費ノ追加及運搬船製造ニ要スル臨時雜費製造費ノ追加デアリマス、七、軍需品整備ニ關スル經費三百七十一萬七千六百圓、是ハ軍需品ノ充實整備ニ要スル經費デアリマシテ、教育用兵器及ビ教材整備ガ其ノ主ナルモノデアリマス、

八、諸研究ニ關スル經費千五百二十三萬五千八百圓、是ハ船體、機關、兵器、其ノ他ノ試驗、研究ニ要スル經費デアリマス、九、教育ニ關スル經費三百四十一萬四千九百一圓、之ハ生徒、練習生ノ増加ニ伴ヒ、是ガ教育ニ要スル諸費及ビ兵舎、講堂等ノ施設増備ニ要スル經費デアリマス、一〇、其ノ他ノ經費三千二百二十八萬四千圓、是ハ各種ノ經費ヲ合シテ居リマシテ、特ニ説明申上ゲナケレバナラヌト思ヒマスモノハ、醫務衛生ニ關スル經費ノ増加、艦艇派遣等ニ要スル經費、特別會計資本繰入ニ要スル經費デアリマシテ、其ノ他ハ例年要求ノ經費デアリマス、醫務衛生ニ要スル經費ハ金額ハ多クハアリマセスガ、兵員ノ胸部疾患ヲ早期ニ診斷シ、其ノ體力向上ヲ圖ル爲メ、各海兵團ニ集團攝影裝置ヲ裝備スルニ必要ナル經費デアリマス、艦艇派遣等ニ要スル經費ハ、帝國權益擁護ノ爲メ、北洋方面ニ艦艇ヲ派遣致シマスニ必要ナル經費ヲ含シテ居リマシテ、例年臨時部デ要求致シテ居リマシタモノモ、今回經常部デ要求ノコトト致シマシタ、特別會計資本繰入ニ要スル經費ハ、海軍工廠、火藥廠、燃料廠等ノ事業量ノ増加ニ伴ヒマシテ、資本ノ不足ヲ感ジマスノデ、海軍工廠資金ヲ五百萬圓、海軍火藥廠作業會計據置運轉資本ヲ五十萬圓、海軍燃料廠作業會計據置運轉資本ヲ、二百萬圓増額致シマス爲メ繰入ニ要スル經費デアリマス

第三ニ、前年度ヨリノ施設等ニ伴フ經費ノ減少ハ、前年度限費途ノ減少二千四百四







イカト云フコトハ吾々ニモ分リマセヌ、大體只今ノ所デハ政府ト統帥府ノ間ノ連繫ナリ、又感情ナリハ非常ニ圓滿ニ行ツテ居ルコトハ、先般モ總理ガ豫算總會デ御述ベニナツタ通りデアリマス

○中山委員 モウ是デ終ヒデアリマス、新南群島ノ軍事施設ハ、モウスツカリ完備シタノデアリマセウカ、私コナコトヲ此處デ聽クノハ、御遠慮申シタ方ガ宜イカトモ考ヘマスガ、是ハ差支ナイト思ヒマシテ、此ノ一點タケヲ御聽キシマス、外ノ點ハ御遠慮致シマス

○及川國務大臣 是ハ何か好イ時機ガゴザイマシタラ申上ゲルコトニ致シマシテ、此處デハ御答ヘテ差控ヘマス

○岸田主査 現下ノ重大時局ニ對應スル國防問題ニ付キマシテ、特ニ秘密會ヲ開會シマシテ、海軍御當局ヨリ説明ヲスルコトヲ要求サレテ居リマスルノデ、是ヨリ秘密會ニ入りマス、議員及ビ所管政府委員以外ノ方ノ御退場ヲ求メマス

(午前十時五十三分秘密會ニ入ル)  
(午後零時二十九分秘密會ヲ終ル)

○岸田主査 是ヨリ會議ヲ公開致シマス、大體今日ノ議題デアリマスル海軍省所管ノ豫算案ニ對スル質問ハ、終了致シタヤウデアリマスルカラ、質疑ハ之ヲ以テ打切りマス、明日ハ午後カラ陸軍省所管豫算案並ニ海軍省所管豫算案ヲ、一括議題ト致シマシテ、其ノ討論採決ニ移リタイト思ヒマス、追ツテ其ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ之ニテ散會致シマス  
午後零時三十一分散會

昭和十六年一月三十一日印刷

昭和十六年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第五號)

第七十六回帝國議會 院 豫算委員第四分科(陸軍省及海軍省所管)會議錄(速記)第三回

(四五)

會議  
昭和十六年二月一日(土曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

主査 岸田 正記君

宮澤 胤勇君

泉 國三郎君

江藤源九郎君

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 東條 英機君

海軍大臣 及川古志郎君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍次官 阿南 惟幾君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍少將 田中 隆吉君

陸軍大佐 河村 參郎君

陸軍主計大佐 森田 親三君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

海軍次官 豊田貞次郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 岡 敬純君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 石川 信吾君

海軍大佐 高木 惣吉君

海軍省法務局長 潮見 茂樹君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中陸軍省及海軍省所管  
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中陸軍省及海軍省所管

第一類第五號 豫算委員第四分科會議錄 第三回 昭和十六年二月一日

○岸田主査 是ヨリ會議ヲ開キマス、本分科會ニ於ケル質疑ハ、昨日ヲ以テ全部終了致シマシタ、仍テ今日ハ是ヨリ昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案、及ビ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、陸軍省及ビ海軍省所管各案ヲ、一括議題ト致シマシテ討論ニ入りマス——一宮房治郎君

○一宮委員 本分科會ニ付セラレマシタ豫算各案ニ對シマシテハ、一括シテ賛成ノ意ヲ表シマス

○岸田主査 討論ハ終リマシタ——是ヨリ採決致シマス、原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

(議員起立)

○岸田主査 起立議員、政府原案ハ全會一致ヲ以テマシテ、豫算委員會ニ於テ可決スベキトノ意見ニ可決致シマシタ此ノ際一言御挨拶申上ゲマス、本分科會開會以來、議員諸君並ニ政府委員各位ニハ終始非常ナル精勵ヲ致サレマシテ、御質疑ハ眞摯熱誠ヲ極メ、其ノ御答辯ハ懇切精細ヲ盡シ、經過日數僅ニ三日間ニ過ギナカッタノデアリマスケレドモ、其ノ間從來稀ニ見ル充實緊張セル審議ヲ重々得マシタコトハ、洵ニ感激ニ堪ヘマセヌ、殊ニ極メテ不行届デアリマシタ私ニ對シマシテ、御同情ノ下ニ御指導下サイマシタコトヲ厚ク感謝致シマス、本分科會ハ是ニテ散會致シマス  
午後一時三分散會

頁段行 誤 正  
五四九 風行機 飛行機

衆議院豫算委員第四分科會議錄第一回中正誤